FOMA® F705i

ISSUE DATE: '08.5

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

ドコモ　W-CDMA方式

このたびは、「FOMA F705i」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、裏面のお問い合わせ先にご連絡ください。

FOMA F705iは、お客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナアイコンが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い所や静かな所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、メモ帳、伝言メモ、音声メモ、動画メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDメモリーカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、専用のデータリンクソフトを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。
  お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、グローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo and DoCoMo's roaming area.

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

1. 「安全上のご注意」を確認しましょう→P12
2. 電池パックをセットし､充電しましょう→P49
3. 電源を入れ初期設定を行い､自分の電話番号を確認しましょう→P55、58
4. 本体のキーなどの役割を確認しましょう→P32
5. 画面に表示されるマーク(アイコン)の意味を確認しましょう→P34
6. メニューの操作方法を確認しましょう→P41
7. 電話のかけかた／受けかたを確認しましょう→P60､72

本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

- 「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード

http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

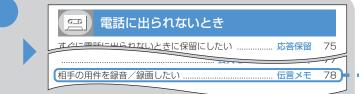
知りたい機能をすぐに探すことができるように、本書は次の検索方法を用意しています。

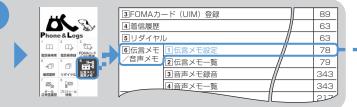
- この『FOMA F705i取扱説明書』の本文中においては、「FOMA F705i」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中ではmicroSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDメモリーカードが必要です。
  microSDメモリーカードについて→P289
- 本書に掲載されている画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- ディスプレイに表示されるアイコンや画面は、FOMA端末にあらかじめ用意されている組み合わせの中から、FOMA端末のカラーに合わせてあらかじめ設定されています。
  本書では、主にコーディネイト／きせかえの設定が「モイモイ」の場合で説明しています。→P107
- 本書は主にお買い上げ時の設定をもとに説明しています。設定を変更していると、FOMA端末の表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。
- 本書では、「ICカード機能に対応したおサイフケータイ対応ｉアプリ」を「おサイフケータイ対応ｉアプリ」と記載しています。
- 本書内の「認証操作」という表記は、4～8桁の端末暗証番号を入力する操作を表しています。→P124
- 本書の内容を一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

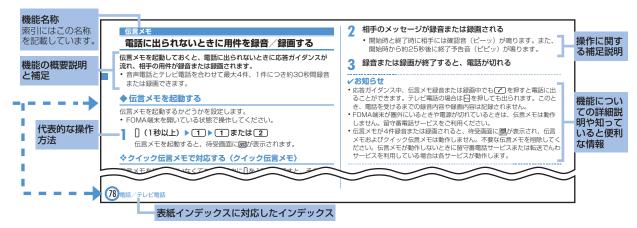
本書の見かた／引きかた

「伝言メモ」を例に記載ページを探す方法を説明します。

かんたん検索 から探すとき

よく使う機能や知っていると便利な機能が目的別に分類されています。

メニュー一覧 から探すとき

FOMA端末の画面に表示される言葉から探すことができます。

表紙インデックス から探すとき

表紙→章扉→機能の説明ページという順でインデックスを頼りに探すことができます。
章扉には詳しい目次も掲載されています。

※ ページはイメージです。本文中のページとは異なります。

操作手順とキーの表記

• 本書の操作の説明では、キーを押す動作をイラストで表現しています。→P32「各部の名称と機能」
• 操作手順の表記と意味は、次のとおりです。

表記の例	意　味
MENU（1秒以上）	MENUを1秒以上押し続ける。
MENU▶8 1 7▶設定する項目を選択▶1～5	待受画面でMENUを押した後、8 1 7を順番に押す。続けて、設定する項目にカーソルを合わせて■を押し、設定したい番号に対応する1から5のいずれかのダイヤルキーを押す。

• 本書では（マルチカーソルキー）で項目にカーソルを合わせ、■（決定キー）を押す操作を「選択」と表記しています。また、入力欄に文字を入力する操作においては、最後に■［確定］を押す操作を省略しています。

かんたん検索

知りたい機能をわかりやすい言葉から調べたいときにご活用ください。

通話に便利な機能

電話に出られないとき

音・ランプ色・振動を変える

画面表示を変える

メールを使いこなす

カメラを使いこなす

安心して使うために

こんなこともできます

※1 有料サービスです。
※2 お申し込みが必要な有料サービスです。

● その他の機能の検索方法については、「本書の見かた／引きかた」を参照してください。→P1
● よく使う機能などの操作手順をクイックマニュアルとして案内しています。→P472

目　次

FOMA F705iの主な機能

FOMAは、第三世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の1つとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

i モードだからスゴイ！

i モードは、i モード端末のディスプレイを利用して、i モードのサイト（番組）や i モード対応のインターネットホームページから便利な情報を利用したり、手軽にメールをやりとりしたりできるオンラインサービスです。

F705iの主な特徴

i モードメール、デコメ絵文字

テキスト本文に加えて、合計2Mバイトまたは最大10個のファイル（画像、トルカなど）を添付することができます。→P198
また、デコメールやデコメ絵文字にも対応しているので、メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えたり、画像や動く絵文字を挿入することができます。→P194

メガ i アプリ

i アプリをサイトからダウンロードすると、ゲームを楽しんだり、自動的に株価や天気情報などを更新させたりできるようになります。
大容量のメガ i アプリ対応なので、高精細3Dゲームや長編ロールプレイングゲームなども楽しむことができます。

国際ローミング

日本国内でお使いのFOMA端末、電話番号、メールアドレスが海外でもそのまま使えます。音声電話、テレビ電話、i モード、i モードメール、SMS、ネットワークサービスを利用できます。→P388

きせかえツール

i モードからお気に入りのキャラクターの画像などをダウンロードして、待受画面やメニューアイコンなどを一括して変更することができます。→P116

着うたフル®／うた・ホーダイ／ビデオクリップ

1曲まるごと楽曲をダウンロードできる着うたフル®や、定額で好きな曲を好きなだけ楽しめるうた・ホーダイに対応。
また、10MBまでの i モーションに対応しているので1曲まるごとのミュージッククリップなどのビデオクリップも楽しめます。

※「着うたフル」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイ対応 i アプリをダウンロードすると、サイトからFOMA端末内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認したりできるようになります。さらにドコモのクレジットサービス「DCMX」の i アプリをプリインストールしています。また、機種変更などのFOMA端末お取り替え時でもICカード内データを簡単に移行できる「iCお引っこしサービス」にも対応しています。→P260
トルカは読み取り機やサイトなどから取得が可能な電子カードで、メールや赤外線通信を使って簡単に交換できます。→P262

F705iの多彩な機能

防水性能

外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けてロックした状態でIPX5、IPX7の防水性能を有しております。→P22
雨の中で通話やメールを送受信したり、お風呂場やプールサイドで使用したりできます。汚れた場合には、水道水で手洗いすることができます。

ワンタッチアラームとイミテーションコール

ワンタッチアラーム設定を利用すると、簡単なサイドキー操作で大音量のアラームを鳴らして、周囲に自分の居場所を知らせることができます。→P330
イミテーションコールは、誰かから電話がかかってきたように動作し、通話中を装うことのできる機能です。
音声ガイダンスが流れるので、会話もスムーズに行えます。→P342

はっきりボイス

騒音の中でも相手の声を明瞭にし、音量調整をする「はっきりボイス」を備えています。→P62

赤外線通信とiC通信

赤外線通信では、赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータの送受信ができます。また、iC通信では、送信側のFOMA端末と受信側のFOMA端末のFeliCaマーク（）を重ね合わせて、データの送受信ができます。→P304

あんしん設定

大切な個人情報を守ったり、第三者によるFOMA端末の使用を防いだりする各種のロック機能を備えています。→P124

おまかせロック※

おまかせロックは、ご契約者本人からのお申し出によりFOMA端末にロックをかけるサービスです。ご契約者本人とFOMA端末を所持しているお客様が異なる場合でも、ご契約者本人からのお申し出がある場合は、おまかせロックがかかりますのでご了承ください。→P128

※ 有料サービスです。ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。
ご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細については『ご利用ガイドブック（手続き・アフターサービス編）』をご覧ください。

電話帳お預かりサービス※

FOMA端末に保存している電話帳やメール、画像をお預かりセンターに保存し、紛失時などに保存したデータをFOMA端末に復元できるサービスです。さらに、お預かりセンターに保存したデータをパソコンで編集・管理ができ、編集したデータをFOMA端末に反映できます。→P141

※ お申し込みが必要な有料サービスです。ご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

豊富なネットワークサービス

- 留守番電話サービス（有料）→P370
- キャッチホン（有料）→P371
- 転送でんわサービス（無料）→P372
- 迷惑電話ストップサービス（無料）→P373
- デュアルネットワークサービス（有料）→P374
- マルチナンバー（有料）→P376
- 2in1（有料）→P377

※ 迷惑電話ストップサービス以外は、すべてお申し込みが必要なサービスです。

FOMA F705iを使いこなす！

F705iの優れた機能を実際の画面やイラストで紹介します。

テレビ電話

離れている相手とお互いの映像を見ながら会話することができます。お買い上げ時の状態で、相手の声がスピーカーから聞こえるようになっているため、すぐに会話を始めることができます。また、通常の音声通話中でも電話を切ることなくテレビ電話へ切り替えることができます。→P60

自分の画面

相手の画面

新着アニメ

新着情報（未確認の不在着信、未読メール、未確認の伝言メモ）がある場合、待受画面に新着アニメを表示したり、背面表示部にパターンを表示したりします。すべての着信または電話帳に登録している相手や電話帳グループごとに設定できます。

背面表示部

メール受信

ディスプレイ

i チャネル

自分で操作することなく、ニュースや天気などのグラフィカルな情報を定期的に受信できます。チャネル一覧でチャネルを選択することにより、Flash（→P166）で作られたリッチな詳細情報を取得できます。→P188

未契約

※ お申し込みが必要な有料サービスです。

リラックスモードプラス

調和のとれた音や光、画像でリラックスした雰囲気を演出します。周囲の音や声を感知して変化するイルミネーションや画像を楽しむことができます。→P341

2in1

1つの携帯電話で2つの電話番号・メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにFOMA端末をご利用いただけるサービスです。電話帳やメールBOX、発信履歴、待受画面なども1台で「Aモード」「Bモード」に分けて別々に管理できるほか、AB両モードを同時に管理できる「デュアルモード」で利用することもできます。→P377

※ お申し込みが必要な有料サービスです。

ミュージックプレーヤー

音楽配信サイトからダウンロードした着うたフル®（うた・ホーダイにも対応）や音楽CDなどからパソコンに取り込んだWindows Media® Audio（WMA）ファイルを、ステレオサウンドで再生できます。バックグラウンド再生にも対応しています。→P314

着もじ

電話をかけて相手を呼び出している間、相手の着信画面にメッセージを表示させることができます。着信側はメッセージを見て、用件や気持ちなどを事前に知ることができます。→P66

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為に対する強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の6項目に分けて説明しています。

◆FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

危険

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。

機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると、発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック　F12
卓上ホルダ　F22
FOMA ACアダプタ　01／02
FOMA DCアダプタ　01／02
FOMA 乾電池アダプタ　01
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01
FOMA補助充電アダプタ　01
FOMA海外兼用ACアダプタ　01

※ その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

警告

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。

また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご利用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。
（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

1. 電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

落下して、けがや故障の原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

故障の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらｉアプリやテレビ電話などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

◆FOMA端末の取り扱いについて

警告

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。
また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される所にFOMA端末を置かないでください。

エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

禁止

FOMA端末内のFOMAカード挿入口やmicroSDメモリーカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、感電、故障の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。
また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

スピーカーホン機能を動作させて通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える可能性があります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示

ワンタッチアラームを鳴らす場合は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

難聴になる可能性があります。

注意

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

禁止

着信音が鳴っているときや、FOMA端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。
難聴になる可能性があります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。
安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となります。

◆電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

濡れた電池パックを充電しないでください。
電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。
皮膚に傷害を起こす原因となります。

◆オプション品（ACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダ、車内ホルダ）の取り扱いについて

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
感電の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災の原因となります。

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。
また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。
また、充電器および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で利用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。
感電の原因となります。

◆FOMAカードの取り扱いについて

FOMAカード（IC部分）を取り外す際は切断面にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

◆医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上の注意について

◆共通のお願い

- F705iは防水性能を有しておりますが、FOMA端末内部に浸水させたり、付属品、オプション品に水をかけたりしないでください。
  - FOMA端末は、外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けてロックした状態でIPX5、IPX7の防水性能を有しておりますが、完全防水というわけではありません。雨の中や水滴がついたままでの電池パックの取り付け／取り外しや、外部接続端子キャップおよびリアカバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。また、付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
  - FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれたりすることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- FOMA端末、アダプタ（充電器含む）、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
  - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。

◆FOMA端末についてのお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。
  - 温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上はお風呂場などでの一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
  - 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の所で行ってください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子（イヤホンマイク端子）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を折り畳まないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- 使用中や充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

- 通常は外部接続端子キャップをはめた状態でご使用ください。
  - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
  - 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- ディスプレイやキーのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
  - 故障の原因となります。

◆電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
  - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックは、電池残量なしの状態で保管、放置をしないでください。
  - 電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

◆アダプタ（充電器含む）についてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  - 故障の原因となります。

◆FOMAカードについてのお願い

- FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- 使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなどの窓口にお持ちください。
- 極端な高温や低温は避けてください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障の原因となります。

- FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
  - 故障の原因となります。

◆FeliCaリーダー／ライターについて

- FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲に他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

◆注意

- 改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  - FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
    FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。
    技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
  - 運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。
    やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。
- FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。
  - FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
    海外でご使用になると罰せられることがあります。

防水性能について

F705iは、外部接続端子キャップをしっかりと閉じ、リアカバーを取り付けてロックした状態でIPX5（旧JIS保護等級5）※1、IPX7（旧JIS保護等級7）※2の防水性能を有しています。

※1　IPX5とは、F705iを設置したターンテーブルを回転させた状態で2.5m～3mの距離から最低3分間12.5L/分の直接噴流をあてた後に、電話機としての機能を有することです。

※2　IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの所にF705iを静かに沈め、30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することです。

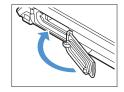
❖具体的には

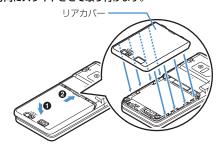
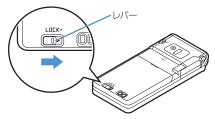
- 雨の中で傘をささずに通話できます（1時間の雨量が20mm程度）。
  ※ 手が濡れているときやFOMA端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外し、外部接続端子キャップの開閉はしないでください。
- 洗面器などに張った静水につけて、ゆすりながら汚れを洗い流すことができます。
  ※ 洗うときはリアカバーを取り付けてロックした状態で、外部接続端子キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水には浸けないでください。
  ※ プールの水がかかった場合は、上記の方法で洗い流してください。
  ※ 水中で使用しないでください。故障の原因となります。
- お風呂場で使用できます。ただし、湯船には浸けないでください。
  ※ 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
  ※ 水中で使用しないでください。故障の原因となります。

◆ ご使用にあたっての重要事項

防水性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- 外部接続端子キャップ、リアカバーをしっかりと閉じてください。
- キャップやリアカバーが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
- リアカバーのレバーがLOCK位置にあることを確認してから使用してください。

■ 外部接続端子キャップの閉じかた

■ リアカバーの取り付けかた

① リアカバーの8箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせます。FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付けます。

② リアカバーのレバーを矢印方向にスライドさせて、ロックします。

- 水中でFOMA端末を使用（開閉、キー操作を含む）しないでください。
- 常温の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。

〈例〉

せっけん／洗剤／入浴剤

海水

プール

温泉

砂／泥

防水性能を維持するため、異常の有無に関わらず必ず2年に1回、部品の交換が必要となります。部品の交換はFOMA端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモショップなどの窓口にお持ちください。

◆注意事項

- リアカバーは確実にロックし、外部接続端子キャップはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。
- 外部接続端子キャップまたはリアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子キャップ、内蓋のゴムパッキンは防水性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
- 規定以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。F705iはIPX5の防水性能を有しておりますが、不具合の原因となります。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- 付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 濡れている状態で絶対に充電しないでください。
- 送話口、受話口、スピーカーなどを綿棒や尖ったものでつつかないでください。防水性能が損なわれることがあります。
- 濡れたまま放置しないでください。電源端子がショートするおそれがあります。
- FOMA端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水性能の劣化を招くことがあります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- 送話口、受話口、スピーカーに水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。
調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

◆水に濡れたときの水抜きについて

FOMA端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水が後から漏れてくる場合がありますので、下記の手順で水抜きを行ってください。

① FOMA端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

② FOMA端末のヒンジ部をしっかりと持ち、約20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。

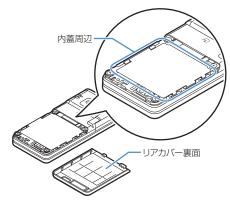
送話口の水抜きのために送話口を上にして振る

受話口の水抜きのために受話口を上にして振る

スピーカーの水抜きのためにスピーカーを上にして振る

※ リアカバー周りの水抜きを行う際には、リアカバー側を上にして振ってください。

③ 送話口、受話口、スピーカー、キー、ヒンジ部などの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などにFOMA端末を軽く押し当てて拭き取ってください。

④ **リアカバーを取り外して、内蓋周辺とリアカバー裏面の水滴を拭き取ってください。拭き取った後にリアカバーを取り付けてロックしてください。**
リアカバーの取り外しかた→P49「電池パックの取り付けかた／取り外しかた」■取り付けかた①
※ 内蓋は絶対に開かないでください。

⑤ **FOMA端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取ってください。**
※ 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
※ 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

◆充電のときには

付属品、オプション品は防水性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- FOMA端末が濡れていないか確認してください。濡れている場合はよく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- 水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子キャップを開いたりしてください。
- 外部接続端子キャップを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとキャップを閉じてください。
  外部接続端子からの浸水を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。

※ FOMA端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。
※ 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。
※ ACアダプタ、卓上ホルダは、水のかからない状態で使用してください。火災や感電の原因となります。
※ ACアダプタ、卓上ホルダは、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

知的財産権について

◆著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

◆商標について

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「mova」「ｉモーション」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉモーションメール」「ｉショット」「ｉメロディ」「DoPa」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「WORLD WING」「着モーション」「デコメール」「Vライブ」「ｉエリア」「おサイフケータイ」「キャラ電」「ｉアプリDX」「ｉチャネル」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「sigmarion」「セキュリティスキャン」「musea」「公共モード」「トルカ」「メッセージF」「iD」「マルチナンバー」「2in1」「パケ・ホーダイ」「おまかせロック」「電話帳お預かりサービス」「着もじ」「DCMX」「iCお引っこしサービス」「きせかえツール」「ファミリーワイドリミット」「うた・ホーダイ」および「FOMA」ロゴ「ｉ-mode」ロゴ「ｉ-αppli」ロゴ「DCMX」ロゴ「iD」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- JavaおよびJavaに関連するすべての商標は、米国およびその他の国において米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Multitask／マルチタスク」は日本電気株式会社の商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Sync Clientを搭載しています。

  ACCESS、NetFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのFlash® Lite™およびAdobe Reader®テクノロジーを搭載しています。

  Adobe、Flash、Flash LiteおよびAdobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

- FlashFX® Pro™ はDATALIGHT, Inc.の登録商標です。
  FlashFX® Copyright 1998-2007 DATALIGHT, Inc.
  U.S.Patent Office 5,860,082/6,260,156
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- miniSD™およびminiSDロゴはSDアソシエーションの商標です。（miniSD™メモリーカードをminiSDメモリーカードと表記しています。）
- microSDロゴは商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- フェリカロゴはフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2007 Aplix Corporation. All rights reserved.
JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米Gemstar-TV Guide International,Inc.およびその関係会社の日本国内における登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- 本製品は、日本語変換機能として、株式会社ジャストシステムのATOK＋APOTを搭載しています。
「ATOK」「APOT(Advanced Prediction Optimization Technology)」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 本機には、Symbian Software Ltd © 1998-2007よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。symbianおよびSymbian OS はSymbian Ltd.の商標です。
- リュウミンは株式会社モリサワの登録商標です。
- 「プライバシーモード」は富士通株式会社の登録商標です。
- 「ナップスター」は、Napster,LLC.の米国内外における登録商標です。
- その他、本取扱説明書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  - Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。

◆その他

- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 「学研モバイル国語辞典」「学研モバイル和英辞典」「学研モバイル英和辞典」「今日は何の日」「今日の歴史」は、学研編集の著作物です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;
4,901,307 5,504,773 5,109,390 5,535,239
5,267,262 5,600,754 5,416,797 5,490,165
5,101,501 5,511,073 5,267,261 5,568,483
5,414,796 5,659,569 5,056,109 5,506,865
5,228,054 5,544,196 5,337,338 5,657,420
5,710,784 5,778,338

- コンテンツ所有者はWindows Mediaデジタル著作権管理テクノロジ（WMDRM）を使用して、著作権を含む自身の知的財産権を保護します。このデバイスはWMDRMソフトウェアを使用してWMDRM保護されたコンテンツにアクセスします。WMDRMソフトウェアがコンテンツの保護に支障を来たした場合、コンテンツ所有者はマイクロソフトに対して、保護されたコンテンツをソフトウェアがWMDRMを使用して再生、コピーするための許可を失効させるように要求することができます。失効しても、WMDRMで保護されていないコンテンツは影響を受けません。WMDRMで保護されたコンテンツのためのライセンスをダウンロードするときは、マイクロソフトがライセンスに“Revocation List”を含めることに同意したものと見なします。コンテンツ所有者は、コンテンツがアクセスされる時にWMDRMをアップグレードするよう要求することがあります。アップグレードを拒否すると、そのアップグレードを必要とするコンテンツにアクセスできなくなります。

本体付属品および主なオプション品について

〈本体付属品〉

FOMA F705i
（リアカバーF25、保証書含む）

電池パック F12

取扱説明書

※ P472にクイックマニュアルを記載しています。

FOMA F705i用CD-ROM

※ PDF版「パソコン接続マニュアル」および「区点コード一覧」を収録しています。

卓上ホルダ F22（取扱説明書付き）

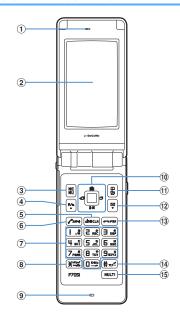
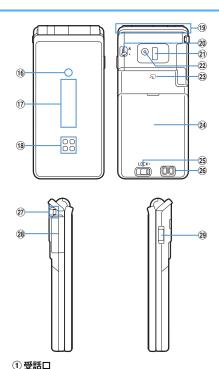
外部接続端子用
イヤホン変換アダプタ（試供品）
（取扱説明書付き）

〈主なオプション品〉

FOMA ACアダプタ 01／02
（保証書、取扱説明書付き）

その他のオプション品→P434

ご使用前の確認

各部の名称と機能

① **受話口**
相手の声をここから聞く

② **ディスプレイ→P34**

③ **MENUキー**
メニューの表示、ガイド表示領域左上に表示される操作の実行
1秒以上押す：HOLDの起動／解除

④ **／▲（スクロール）／A/aキー**
テレビ電話を受ける、メール画面やサイト、ホームページ表示中の上方向への1画面スクロール、大文字／小文字切り替え、ガイド表示領域左下に表示される操作の実行

⑤ **CLR ch／α／クリアキー**
ｉチャネル一覧の表示、ｉアプリ待受画面とｉアプリ起動の切り替え、文字の消去や1つ前の画面に戻る
1秒以上押す：セルフモードの起動／解除

⑥ **音声電話開始／文字／スピーカーホンキー**
音声電話をかける／受ける、文字入力モードの切り替え、スピーカーホン機能の通話切り替え
1秒以上押す：スピーカーホン機能で音声電話をかける

⑦ **ダイヤルキー**
電話番号や文字の入力、メニュー項目の実行
1～9を1秒以上押す：セレクトメニューに登録されている機能の実行
0を1秒以上押す：国際電話をかけるとき、国際ダイヤルアシスト設定の自動変換機能設定の利用

⑧ ＊／公共モード（ドライブモード）キー
「＊」や「゛」「゜」などの入力
1秒以上押す：公共モードの起動／解除

⑨ **送話口／マイク**
自分の声をここから送る
※ 通話中や録音中に指でふさがないでください。

⑩ **マルチカーソルキー**
決定キー
操作の実行、フォーカスモードの実行
1秒以上押す：ワンタッチｉアプリに登録したｉアプリの起動
カメラ／↑キー
静止画撮影の起動、音量の調整、上方向へのカーソル移動
1秒以上押す：動画撮影の起動
ｉモード／ｉアプリ／↓キー
ｉモードメニューの表示、音量の調整、下方向へのカーソル移動
1秒以上押す：ｉアプリフォルダ一覧を表示
着信履歴／←（前へ）キー
着信履歴の表示、画面の切り替え、左方向へのカーソル移動
1秒以上押す：プライバシーモード設定中にプライバシーモードの起動／解除
リダイヤル／→（次へ）キー
リダイヤルの表示、画面の切り替え、右方向へのカーソル移動
1秒以上押す：ICカードロックの起動／解除
※ のように表記する場合があります。

⑪ **電話帳／スケジュールキー**
電話帳の表示、ガイド表示領域右上に表示される操作の実行
1秒以上押す：スケジュール帳の表示

⑫ **メール／▼（スクロール）キー**
メールメニューの表示、メール画面やサイト、ホームページ表示中の下方向への1画面スクロール、ガイド表示領域右下に表示される操作の実行
2回押す：ｉモード問合せ
1秒以上押す：メール作成画面の表示

⑬ **電源／終了キー**
応答保留、通話／操作中の機能の終了、待受カスタマイズの表示／非表示
2秒以上押す：電源を入れる／切る

⑭ **#／改行／マナーモードキー**
「#」の入力、文字入力時の改行
1秒以上押す：マナーモードの起動／解除

⑮ **マルチタスクキー**
通話中や操作中に別の機能の実行（マルチアクセス／マルチタスク）

⑯ **ランプ→P118、138**
開閉ロック起動時、静止画や動画の撮影時などに点灯または点滅、不在着信お知らせやイルミネーション設定の設定に従って動作

⑰ **背面表示部→P38**

⑱ **スピーカー**
着信音や、スピーカーホン機能利用中の相手の声などをここから聞く

⑲ **FOMAアンテナ**
※ FOMAアンテナは本体に内蔵されています。よりよい条件で通話をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

⑳ **接写切り替えスイッチ→P81、155**
カメラで近い距離の被写体を撮影するときに、側に切り替える

㉑ **赤外線ポート→P304、309**
赤外線通信、赤外線リモコン

㉒ **カメラ**
静止画や動画の撮影、テレビ電話で映像の送信

㉓ **FeliCaマーク→P260、305**
ICカードの搭載
※ FeliCaマークを読み取り機にかざしておサイフケータイを利用したり、iC通信でデータを送受信したりできます。なお、ICカードは取り外せません。

㉔ **リアカバー**
※ リアカバーを外し、電池パックを取り外すと、microSDメモリーカードスロットがあります。→P292

㉕ **リアカバーのレバー→P49**

㉖ **充電端子**

㉗ **ストラップ取付口**

㉘ **外部接続端子**
スイッチ付イヤホンマイクの接続→P350

㉙ **サイドキー**
：着信音やアラーム音、ワンタッチアラーム、バイブレータの停止、FOMA端末を閉じているときの背面表示部の照明点灯、表示切り替え
（1秒以上）：着信中にクイック伝言メモを起動、通話中に音声メモや動画メモの起動／停止、FOMA端末を閉じているときはマナーモードの起動／解除※1、ワンタッチアラームの起動※2、FOMA端末を開いているときは待受画面表示中に伝言メモ／音声メモの起動
※1 サイドキー長押し設定がお買い上げ時の状態での動作です。
※2 ワンタッチアラームを「ON」にした場合の動作です。

ディスプレイの見かた

ディスプレイに表示されるマーク（アイコン）で現在の状態を確認できます。

①：電池アイコン→P54
②：アンテナアイコン→P55
圏外：圏外表示→P55
Self：セルフモード中→P129
：データ転送モード中→P134、290、304
③／：ｉモード中（ｉモード接続中）／（パケット通信中）→P164
④：赤外線通信中→P304
赤外線リモコン使用中→P309
¥：積算通話料金が上限を超過→P346
⑤：スピーカーホン機能利用中→P62
⑥：電話帳データ、スケジュールデータがシークレット属性→P96、337
⑦※1 未読メール、メッセージR/F状態表示→P179、201、231
：未読ｉモードメール、SMS満杯かつFOMAカードにSMS満杯
：未読ｉモードメール、SMS満杯
：FOMAカードにSMS満杯
：未読ｉモードメールとSMSあり
：未読ｉモードメールあり
：未読SMSあり
（赤）／（青）：未読メッセージR満杯／あり
（赤）／（緑）：未読メッセージF満杯／あり
⑧※1 ｉモードセンター蓄積状態表示→P179、201
：センターにｉモードメールとメッセージR/F満杯、またはいずれかが満杯で未受信あり
／／：センターにｉモードメールまたはメッセージR/F満杯
：センターに未受信のｉモードメールとメッセージR/Fあり
／／：センターに未受信のｉモードメール、メッセージR、メッセージFのいずれかがあり
⑨※1 ：SSLページ表示中／ｉアプリでSSL通信中、SSLページからダウンロードしたｉアプリを使用中→P165
：圏内自動送信失敗メールあり→P199
：圏内自動送信メールあり→P199
⑩ ｉアプリ／ｉアプリDX状態表示→P238、253
：ｉアプリ動作中
（αがグレー）：ｉアプリ待受画面表示中
（αがオレンジ）：ｉアプリ待受画面からｉアプリ起動中
：ｉアプリDX動作中
（dxがグレー）：ｉアプリDX待受画面表示中
（dxがオレンジ）：ｉアプリDX待受画面からｉアプリ起動中
⑪※2 ：ｉアプリ自動起動失敗→P252
⑫※2 ：ワンタッチアラームを「ON」に設定中→P330
⑬ 2：新着情報→P45
⑭：マナーモード中→P105
：オリジナルマナーモード中→P106

⑮ S：電話着信音量消音設定中→P102
V：音声電話着信のバイブレータ設定中→P103
SV：電話着信音量消音と音声電話着信のバイブレータを同時に設定中→P103
⑯ ：公共モード（ドライブモード）中→P76
⑰ ／：伝言メモ設定中／満杯→P78
※1
⑱ ：ダイヤル発信制限中→P130
：HOLD中→P136
⑲ ：パーソナルデータロック中→P129

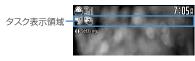
※1
⑳ ：FOMAカード読み込み中→P46、55
：ICカードロック中→P269
（背景が黄緑）：個別ICカードロック→P269
㉑ ／：フォーカスモード時の有効マルチカーソルキーの表示→P45
：開閉ロック中→P137
㉒ ：目覚まし設定中→P329
：スケジュールアラーム設定中→P333
：目覚ましとスケジュールアラームを同時に設定中→P329、333

㉓ USBモード設定とmicroSDメモリーカードの状態表示→P292、299
：通信モード中にmicroSDメモリーカードあり
（青）／（グレー）：microSDモード中にmicroSDメモリーカードあり／なし
（青）／（グレー）：MTPモード中にmicroSDメモリーカードあり／なし
㉔ ：USBケーブルで外部機器と接続中→P83、299
※1
㉕ ：ソフトウェア更新予約中→P453
：更新お知らせアイコン→P451
／：最新パターンデータの自動更新失敗／成功→P455

※1　現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※2　待受画面以外のときは、時刻が表示されます。

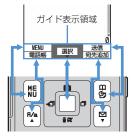
◆ タスク表示領域の見かた

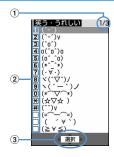
タスク表示領域には、動作中の機能（タスク）を示すアイコンが表示されます。マルチアクセス中、マルチタスク中に動作中の機能を確認できます。

〈例〉音声電話中に静止画撮影を起動したとき

❖ タスク表示領域に表示されるアイコン一覧

：音声電話
：リダイヤル
：着信履歴
：伝言メモ／音声メモ
：テレビ電話
：外部機器によるテレビ電話
：電話（切り替え中）
：電話（切断中）
：電話帳
：プライバシーモードのシークレット反映
：きせかえツール
：静止画撮影
：動画撮影
：バーコードリーダー
：ｉモード
：ｉモードのBookmark／Internet／画面メモ／ラストURL／ワンタッチサイト表示
：メッセージR/F
：メール
：ｉモードメール受信中
：ｉモード／SMS問合せ中
／：メール送信履歴／受信履歴
：チャットメール
：SMS受信中
：ｉアプリ
：トルカ
：マイピクチャ
：動画／ｉモーション
：キャラ電
：メロディ
：microSDメモリーカードへアクセス中
：ミュージックプレーヤー
：サウンドレコーダー
：マルチタスクで音量設定中
：お知らせタイマー
：目覚まし
：ワンタッチアラーム鳴動中
：スケジュール帳
：スケジュールアラーム鳴動中
：イミテーションコール通話中／停止中
：リラックスモードプラス
：プロフィール情報
：電卓
：メモ帳
：辞典
：お預かりセンターに接続中
：電話帳通信履歴表示中
：ネットワークサービス設定中
／：USB経由でパケット発信・通信中／送受信中
：64Kデータ通信中
：外部データ連携中
／：ソフトウェア更新中／更新の通知あり
：パターンデータ更新中／バージョン表示中／自動更新設定中
（青）／（グレー）：各機能の設定中／保留中

◆ガイド表示領域の見かた

ガイド表示領域には、[MENU]、[A/a]、[■]、[電話帳]、[メール]を押して実行できる操作が表示されます。表示される操作は画面によって異なります。
表示位置とキーは、図のように対応しています。

- ガイド表示領域の◆は、マルチカーソルキーの[マルチカーソルキー]に対応しています（使用する機能や表示しているサイトやホームページの作りかたによっては異なる場合があります）。

◆一覧画面の見かた

① 一覧が複数ページにわたる場合、表示中のページ番号と総ページ数が表示されます。
② 数字や記号が表示されている項目は、対応するキー（[1]～[9]、[0]、[＊]、[＃]）を押しても選択できます。数字や記号が表示されていない項目は、カーソルを移動して[■]を押して選択してください。
③ ▲▼は、カーソル位置の項目の上下に選択項目があることを示しています。[上下キー]を押してカーソルを移動します。ページの最後の項目で[下キー]を押すと次ページが、先頭の項目で[上キー]を押すと前ページが表示されます。
◀▶は、選択項目が複数ページにわたっていることを示しています。[左右キー]を押してページを切り替えます。アイコンの選択画面など、画面によっては切り替えできません。

背面表示部の見かた

FOMA端末を閉じていても、時間やロック状態、新着情報があるかどうかなどをパターンの表示で確認できます。

- パターンが表示されているときにFOMA端末を開くと、表示は消えます。

❖表示されるパターン一覧

パターンの意味は次のとおりです。なお、掲載している画面はパターンの一部です。

- 着信パターン、メール受信中パターン、メール着信結果パターン、時計パターン、開閉動作パターンは背面表示パターン設定で変更できます。→P114
- 背面表示新着アクションは新着アニメ設定で変更できます。→P120

■ 電話／テレビ電話がかかってきたとき

- お買い上げ時は「CALL」の着信パターンが表示されます。

「ウェーブ」　「電話」　「CALL」
「フェイス」　「ワープ」

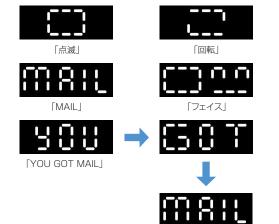
■ メール／メッセージ受信中

- お買い上げ時は「MAIL」のメール受信中パターンが表示されます。

「ウェーブ」　「封筒」　「MAIL」
「フェイス」　「自転車」

■ メール／メッセージ受信完了

- お買い上げ時は「MAIL」のメール着信結果パターンが表示されます。

「点滅」　「回転」
「MAIL」　「フェイス」
「YOU GOT MAIL」

■ 時計を表示するとき

- ▯を押すか、またはFOMA端末を閉じたときに表示します。
- 毎時0分に時計を表示するように設定できます。→P119
- 時計表示パターンが「表示なし」の場合は、▯を押しても時計を表示しません。

12時間表示　　24時間表示

- オールロック中、おまかせロック中、HOLD中に▯を押したときは、次のパターンを表示した後に時計を表示します。FOMA端末を閉じたときに開閉ロックが起動すると時計を表示せず、パターンのみ表示します。

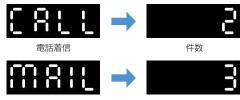
■ 新着情報を確認するとき

新着アニメが「ON」で新着情報があるときは、▯を押すと時計を表示した後に背面表示新着アクションのパターンが表示されます。

背面表示新着アクション（「イヌ」の場合）

なし※

※ 新着アニメが「OFF」のときなどにも表示されます。

- 時計、開閉動作パターン、背面表示新着アクションの表示中に▯を押すと、次のパターンを表示し、新着情報の種類と件数を確認できます。

■ マナーモードを起動／解除したとき

- マナーモードを起動するとランプが赤色で1回点灯し、バイブレータが1回振動します。解除するとランプが青色で2回点滅し、バイブレータが2回振動します。
- お買い上げ時は、FOMA端末を閉じた状態で▯を1秒以上押す操作で、マナーモードの起動／解除ができます。

起動　　解除

■ 目覚まし／スケジュールアラーム鳴動中

指定した時刻を点滅表示します。

■ お知らせタイマーカウントダウン中
残り時間を表示します。
• 残り時間が3分以上あるときは、10秒ごとに表示します。

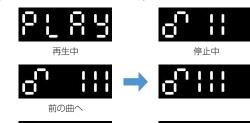
■ ｉモード問合せ／SMS問合せをしたとき
ｉモード問合せ※1をすると問合せ中のパターンを表示した後に、メールやSMSがあるかどうかを示します。メールやSMSがある場合は、メール着信結果パターンが表示されます。

問合せ中

なし※2

※1 サイドキー長押し設定で「ｉモード問合せ」を設定した場合は、FOMA端末を閉じた状態で▯を1秒以上押す操作で、ｉモード問合せができます。
※2 SMSがなかったときは表示されません。

■ ミュージックプレーヤーを操作したとき
操作により、次のようなパターンが表示されます。

再生中
停止中
前の曲へ
次の曲へ

■ 各種通信中

電話発信中／呼出中
通話中
パソコンとつないだパケット通信中
64Kデータ通信中

• この他にも、動画／ｉモーションのプレイリスト再生時などにもパターンが表示されます。

メニューから機能を選択する

メニューには、お買い上げ時に表示されるノーマルメニューと、メニュー項目を自由に登録できるセレクトメニューがあります。

- メニューの表示形式は、待受画面でMENU A/aを押すと表示されるメニュー設定で、ノーマル欄またはセレクト欄を選択して表示される次の種類から選択できます。→P115

1リスト

2タイルアイコン

33Dアイコン

4アニメーション※1、2
（お買い上げ時）

5シンプル※2

※1 メニュー設定やコーディネイト／きせかえの設定により、アニメーションデザインは異なります。
※2 セレクトメニューでは選択できません。

◆機能を選択する

待受中にMENUを押し、表示されるメニューから各種機能を選択して実行します。
機能を実行するには、メニュー項目に対応したダイヤルキーを押す方法と、マルチカーソルキーでメニュー項目を選択する方法があります。

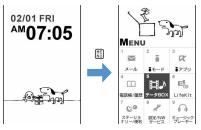
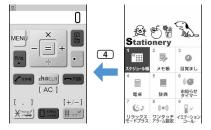
- 各種ロック機能やFOMAカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、アイコンが🔒で表示されたり文字の色が変わったりして選択できません。ただし、アニメーションメニューの場合、表示は変わりません。機能を選択すると、実行できない理由などを表示します。
- カーソル位置のメニュー項目の機能説明が表示されます（アニメーションメニューを除く）。また、メニュー項目によっては設定内容も表示されます。

❖ダイヤルキーでメニューを選択する（ショートカット操作）

メニュー項目にはそれぞれ番号が割り当てられています（項目番号）。対応するダイヤルキー（0～9）を押してメニュー項目を選択できます。

- メニューの項目番号→P398「メニュー一覧」

〈例〉「電卓」を選択する

1

❖マルチカーソルキーでメニューを選択する

〈例〉「電卓」を選択する

1 MENU▶「ステーショナリー／便利」または「設定／ステーショナリー」にカーソルを合わせて■

アニメーションまたはタイルアイコンのとき

アニメーション　　タイルアイコン

- ✥で移動します。ただし、アニメーションのデザインによっては◎での移動はできません。

リストまたはシンプルのとき

リスト　　シンプル

- ◎で移動します。カーソルを合わせて◎を押しても次の階層のメニューを表示できます。

3Dアイコンのとき

- [上下左右キー]でメニュー項目を中央最前面に移動します。操作するキーとメニュー項目の移動は次のようになります。
  [右キー]：時計回りで回転し、カーソルの右のアイコンがカーソル位置に移動
  [左キー]：反時計回りで回転し、カーソルの左のアイコンがカーソル位置に移動
  [上キー]：反時計回りで回転し、奥のアイコンがカーソル位置に移動
  [下キー]：時計回りで回転し、奥のアイコンがカーソル位置に移動

2 「電卓」にカーソルを合わせて[■]

- リストまたはシンプルの場合は、カーソルを合わせて[右キー]を押してもメニューが選択できます。

❖待受画面や1つ前のメニューに戻すには

メニューを選択した後で待受画面や1つ前のメニューに戻すには、次のキーを押します。
[終話]：待受画面に戻ります。
[CLR]：1つ前のメニューに戻ります。リストまたはシンプルの場合は、[左キー]を押しても戻ります。

◆サブメニューの選択方法

ガイド表示領域の左上に「MENU」と表示される場合は、サブメニューを使ってさまざまな操作ができます。

〈例〉リダイヤルのサブメニューを選択する

1 リダイヤル一覧画面で[MENU]▶項目番号に対応するダイヤルキーを押す

- 項目にカーソルを合わせて[■]または[右キー]を押しても選択できます。
- サブメニューの項目番号は、同じ機能でも操作する画面によって異なる場合があります。
- [MENU]または[CLR]を押すと、サブメニューが閉じます。

◆各項目の操作方法

❖項目の選択

1 項目番号に対応するダイヤルキーを押す

- 項目にカーソルを合わせて■を押しても選択できます。
- 機能によっては、項目にカーソルを合わせると、バイブレータの振動パターン、イルミネーションの色や点灯パターン、新着アニメの新着アクション、背面表示パターン、スクリーン設定の配色、画面の明るさなどを確認できます。

❖プルダウンメニューの操作方法

1 設定する項目にカーソルを合わせて■▶項目番号に対応するダイヤルキーを押す

- 項目にカーソルを合わせて■を押しても選択できます。

❖チェックボックスの操作方法

1 項目番号に対応するダイヤルキーを押す

- 項目にカーソルを合わせて■を押しても選択できます。
- ダイヤルキーまたはカーソル位置で■を押すたびに、チェックボックスが☑（選択）と□（解除）に切り替わります。
- 機能によってはMENUを押すと、すべての項目を選択または解除できます。

❖確認画面の操作方法

登録内容の削除や設定などの操作中に、機能を実行するかどうかの確認画面が表示される場合があります。

〈例〉電話帳データを1件削除する

1 「はい」または「いいえ」にカーソルを合わせて■

- 機能によっては、「はい」「いいえ」以外の項目が表示される場合があります。

◆情報をすばやく表示する〈フォーカスモード〉

待受画面で新着情報アイコンが表示されているときや、カレンダー／待受カスタマイズを設定して表示しているときは、待受画面で[■]を押すと、対応する情報をすばやく表示できるフォーカスモードになります。

〈例〉新着情報を表示する

1 [■]▶アイコンにカーソルを合わせて[■]

カーソル位置のアイコンが赤い枠で囲まれます。

マルチカーソルキーで移動可能な方向を示します。

- 選択したアイコンに対応する画面が表示されます。
  (不在着信)：着信履歴一覧が表示されます。
  (伝言メモ)：伝言メモ一覧が表示されます。
  (留守番電話サービスの伝言メッセージ)：メッセージ再生確認画面が表示されます。2in1がONでデュアルモードのとき、Bナンバーへの伝言メッセージのみがある場合は、Aナンバー、Bナンバーそれぞれの伝言メッセージがある場合はを表示します。
  (未読メール)：受信メールのフォルダ一覧が表示されます。
  (未読トルカ)：最新の未読トルカが保存されているフォルダのトルカ一覧が表示されます。
- 次のアイコンが表示されたときも同様に操作できます。
  - ：USBケーブルで外部機器と接続
  - ：ソフトウェア更新お知らせ
  - ／：最新パターンデータの自動更新成功／失敗

フォーカスモードを解除する：[CLR]または[終話]

✔お知らせ

- 新着情報のアイコンにカーソルを合わせて[CLR]を1秒以上押すと、アイコンは一時的に消えます。留守番電話サービスの伝言メッセージのアイコンの場合は、表示を消去するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると表示されなくなります。新たに情報が蓄積されたり、情報を閲覧して件数が変化したりすると再び表示されます。
- フォーカスモード中は、[MENU]を押してもメニューを表示できません。
- 2in1がONのとき、新着情報アイコン（未読トルカを除く）には、Aモードのときは Aナンバー／Aアドレスのみ、BモードのときはBナンバー／Bアドレスのみ、デュアルモードのときはすべての件数が表示されます。

FOMAカードを使う

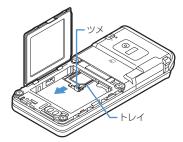
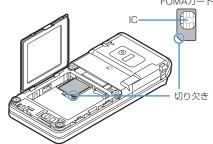
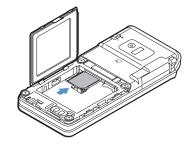
FOMAカードとは、電話番号などのお客様情報を記録できるカードです。

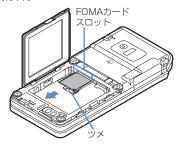
- FOMAカードを正しく取り付けていない場合や、FOMAカードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。
- FOMAカードの取り扱いについての詳細は、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

◆取り付けかた／取り外しかた

- 電源を切ってからFOMA端末を閉じ、手に持って行ってください。
- IC部分に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。
- リアカバーと電池パックの取り付けかた／取り外しかた→P49

■取り付けかた

①ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出す

②IC面を下にして、図のような向きでFOMAカードをトレイに載せる

③トレイを奥まで押し込む

■ 取り外しかた

① ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出し、FOMAカードを静かに取り外す

✔お知らせ

- FOMAカードを無理に取り付けようとしたり、取り外そうとしたりすると、FOMAカードやトレイが壊れる場合があるので、ご注意ください。
- トレイが外れてしまった場合は、FOMAカードは取り外した状態で、トレイをFOMAカードスロット内部のガイドレールに合わせてまっすぐに押し込んでください。

◆FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、「PIN1コード」「PIN2コード」という2つの暗証番号が設定されています。

暗証番号はお客様ご自身で変更できます。→P126

◆FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護したり、第三者が著作権を有するデータやファイルを保護したりするための機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

- FOMA端末にお客様のFOMAカードを取り付けている状態で、サイトなどからファイルやデータをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得したりすると、それらのデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
- 異なるFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルの表示や再生はできません。また、FOMAカード動作制限機能が設定されたｉアプリは、削除以外の操作ができません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルは、赤外線通信／iC通信やmicroSDメモリーカードへのコピーや移動ができません。
- 動作制限の対象となるデータは次のとおりです。
  - テレビ電話伝言メモ、動画メモ
  - ｉモードメールの添付ファイル（トルカを除く）、デコメールや署名に挿入されている画像、メッセージR/F、動作制限の対象となるデータが含まれたメールテンプレート
  - 画面メモ
  - ｉアプリ（ｉアプリ待受画面を含む）
  - トルカ（詳細）の画像
  - 画像（GIFアニメーションやFlash画像、お預かりセンターからダウンロードした画像を含む）、ｉモーション、コンテンツ移行対応のデータ、メロディ、キャラ電
  - きせかえツール
  - 着うた®・着うたフル®

※「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

✔お知らせ

- FOMAカード動作制限機能の対象になっているデータを、待受画面や発着信時の画像、着信音などに設定しているとき、異なるFOMAカードに差し替えて使用したり、FOMAカードを差し込まずに使用したりすると、音や画像の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。その場合、設定されている音や画像と、実際に鳴る音や表示される画像が異なることがあります。データをダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、データの動作制限は解除され、設定は元の状態に戻ります（データをランダムイメージ設定に利用していたときは、設定が解除される場合があります）。
- 赤外線通信／iC通信、microSDメモリーカード、ドコモケータイdatalinkを利用して入手したデータ、内蔵のカメラで撮影した静止画や動画などには、FOMAカード動作制限機能は設定されません。
- 次の設定はFOMAカードに保存されます。FOMAカードを差し替えると、差し替えたFOMAカードに保存されている設定内容が有効になります。
  - 自局電話番号
  - SMS設定（「送達通知」以外）
  - 証明書管理のドコモ証明書、ユーザ証明書
  - バイリンガル、FOMAカード（UIM）、優先ネットワーク設定

◆FOMAカードの機能差分について

FOMA端末でFOMAカード（青色）をご使用になる場合、FOMAカード（緑色／白色）とは次のような違いがありますので、ご注意ください。

項　目	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色／白色）	参照先
FOMAカード電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	P89
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可	P184
WORLD WINGサービスの利用	利用不可	利用可	P388
サービスダイヤル	利用不可	利用可	P374

WORLD WING

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）をサービス対応のFOMA端末や海外用携帯電話（W-CDMAまたはGSM方式）に差し替えることにより、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

※ 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいたお客様は、WORLD WINGのお申し込みは不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいたお客様や途中でご解約されたお客様は、再度お申し込みが必要です。

※ 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをお申し込みいただいていないお客様は、お申し込みが必要です。

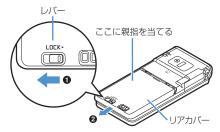
※ 一部ご利用になれない料金プランがあります。

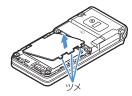
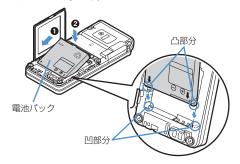
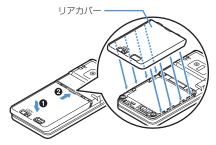
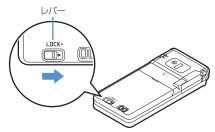
※ 万一、海外でFOMAカード（緑色／白色）の紛失・盗難にあった場合などは、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

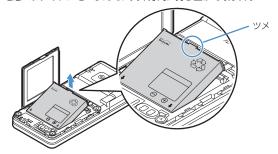
電池パックの取り付けかた／取り外しかた

- 電源を切ってからFOMA端末を閉じ、手に持って行ってください。
- 電池パックを取り外すと、ソフトウェア更新の予約が解除される場合があります。また、日付時刻設定で自動時刻・時差補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外すと日付・時刻が消去される場合があります。

■ 取り付けかた

① リアカバーのレバーを❶の方向にスライドさせてロックを外した後、親指でリアカバーを押しながら、❷の方向に約3mmスライドさせて外す

② 内蓋のツメをつまんで、矢印方向に持ち上げて開く

※ 内蓋は、防水性能を維持するため、しっかりと閉じる構造になっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける場合がありますので、ご注意ください。

③ 電池パックのラベル面を上にして、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、さらに、❷の方向に押し付けてはめ込んでから内蓋を閉じる

④ リアカバーの8箇所のツメをFOMA端末のミゾに合わせて、FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付ける

⑤ リアカバーのレバーを矢印方向にスライドさせてロックする

■ 取り外しかた

① 取り付けかたの操作①〜②を行う
② 電池パックのツメをつまんで、矢印方向に持ち上げて取り外す

✔お知らせ

- 電池パックを無理に取り付けようとするとFOMA端末の端子が壊れる場合があるため、ご注意ください。
- 上記以外の方法で取り付け／取り外しを行ったり、力を入れすぎたりすると、FOMA端末やリアカバーが破損するおそれがあります。
- 浸水を防ぐため、リアカバーをしっかりと取り付けてレバーでロックしてください。
- 内蓋のゴムパッキンは防水性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。

❖電池パックの上手な使いかた

- **電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。**
  FOMA端末の電源を入れた状態で充電が完了した後は、FOMA端末は電池パックから電源が供給されます。そのままの状態で長時間置くと、電池パックが消費され、短い時間しか使用できずに電池アラームが鳴ってしまう場合があります。その場合はFOMA端末をACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットして充電し直してください。
- **環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。**

Li-ion 00

FOMA端末を充電する

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタまたはDCアダプタで充電してからお使いください。

- F705iの性能を十分に発揮するために、必ず電池パック F12をご利用ください。

❖充電時間（目安）

F705iの電源を切って、電池パックを空の状態から充電したときの時間です。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

ACアダプタ	約120分
DCアダプタ	約120分

❖十分に充電したときの使用時間（目安）

充電のしかたや使用環境によって、使用時間は変動します。

連続待受時間	**FOMA／3G**	静止時：約490時間 移動時：約340時間
連続通話時間	**FOMA／3G**	音声電話時：約170分 テレビ電話時：約100分

- 連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態での目安です。
- 連続待受時間はF705iを閉じて電波を正常に受信できる状態での目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間は約半分程度になる場合があります。ｉモード通信を行うと通話や通信、待受の時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、ｉモードメールの作成、ダウンロードしたｉアプリの起動やｉアプリ待受画面設定、データ通信、マルチアクセスの実行、カメラの使用、動画／ｉモーションの再生、ミュージックプレーヤーでの曲の再生、ワンタッチアラームの設定や起動などを行うと、通話や通信、待受の時間は短くなります。

❖電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 充電しながらｉアプリやテレビ電話などを長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。

❖充電について

- 詳しくは、FOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA 海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02およびFOMA 海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

✔お知らせ

- ｉアプリによっては、FOMA端末を閉じても常に動作状態となり、電力を消費し続ける場合があります。その場合、通話や通信、待受の時間が短くなることがあります。
- 通話中や通信中は充電が完了しない場合があります。また、動画／ｉモーション再生中、ミュージックプレーヤー起動中、ｉアプリの動作中などに充電を開始すると充電が完了しないことがあります。充電を完了させるには、動作を終了してから充電することをおすすめします。
- 照明設定の点灯時間設定で通常時を「常時」に設定した状態でFOMA端末を開いたまま充電するなど、照明設定の設定や充電のしかたによっては、充電が完了しない場合があります。充電を完了させるには、FOMA端末を閉じて充電することをおすすめします。
- 充電中はFOMA端末や電池パック、卓上ホルダ、ACアダプタ、DCアダプタが温かくなる場合がありますが、異常ではありません。ただし、充電中にテレビ電話をかけたり、パケット通信や64Kデータ通信を行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が正常に終了しない場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がるのを待って充電を行ってください。

◆充電する

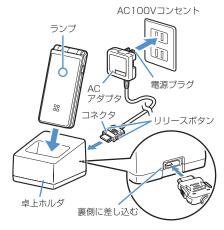
別売りのACアダプタやDCアダプタ、卓上ホルダを利用するときは、それぞれの取扱説明書もご覧ください。

- 外部接続端子からの浸水を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- 電池パック単体での充電はできません。FOMA端末に電池パックを取り付けて充電します。

■ 卓上ホルダとACアダプタを使って充電する

① ACアダプタのコネクタを、矢印の表記面を上にして卓上ホルダへ差し込む

② ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む

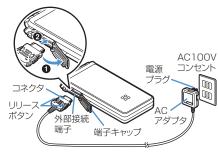
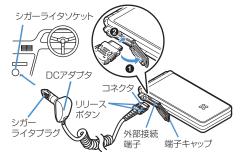
③ FOMA端末を閉じて、図のようにランプを手前にして卓上ホルダに差し込む

④ 充電が終わったら、卓上ホルダを押さえてFOMA端末を取り外す

■ ACアダプタまたはDCアダプタで充電する

① FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開き（❶）、コネクタを矢印の表記面を上にして水平に差し込む（❷）

② ACアダプタの場合は、電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む
DCアダプタの場合はシガーライタプラグを車のシガーライタソケットへ差し込む

③ 充電が終わったら、ACアダプタの場合は電源プラグをコンセントから、DCアダプタの場合はシガーライタプラグをシガーライタソケットから抜き、コネクタの両側のリリースボタンを押しながら、FOMA端末から水平に引き抜く

〈ACアダプタ〉

〈DCアダプタ〉

✔お知らせ

- ACアダプタやDCアダプタのコネクタを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
- FOMA端末を使用しないときや車から離れるときは、DCアダプタのシガーライタプラグをシガーライタソケットから外し、FOMA端末からDCアダプタのコネクタを抜いてください。
- DCアダプタのヒューズ（2A）は消耗品です。交換するときは、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

❖充電中の動作と留意事項

充電が開始されると充電開始音が鳴り、ランプが点灯し、ディスプレイの電池アイコンが点滅します。充電が終わると充電完了音が鳴り、ランプは消灯し、電池アイコンの点滅も止まります。

- 充電を開始するとランプが赤色で点灯します。ただし、環境によっては充電開始時にすぐに点灯しない場合がありますが、故障ではありません。しばらくたっても点灯しない場合は、FOMA端末を一度ACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットし直してから充電を行ってください。充電開始後、しばらくたっても点灯しない場合は、ドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。
- 充電中にメールを受信したり、撮影をしたりするとランプは一時的に異なる色で点灯しますが、しばらくたつと赤色に点灯します。
  これらの理由以外で充電中にランプが点滅する場合→P437「故障かな？と思ったら、まずチェック」
- 十分に充電されている電池パックをFOMA端末に取り付けてACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタに接続すると、ランプが一瞬点灯してすぐに消灯する場合がありますが、故障ではありません。
- 通話中や通信中、マナーモード中、公共モード中、充電確認音が「OFF」の場合、充電開始時や完了時の確認音は鳴りません。

電池残量

電池残量の確認のしかた

ディスプレイ上部に表示される電池アイコンで、電池残量の目安が確認できます。

（電池残量3）：十分残っています。
（電池残量2）：少なくなっています。
（電池残量1）：ほとんどありません。充電してください。

- お買い上げ時の電池アイコンは、FOMA端末のカラーによって異なります。→P409

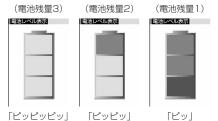
❖電池が切れそうになると

電池がない旨のメッセージが表示されます。■、CLR、⏎のいずれかを押すとメッセージは一時的に消えます。しばらくするとスピーカーから電池アラームが鳴り、ディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅します。この約1分後に電源が切れます。充電を開始するとこれらの動作は止まりますが、すぐに電池アラームを止める場合は⏎を押します。

- 通話中は、メッセージの表示とともに受話口から電池アラームが聞こえます。約20秒後に通話が切れ、スピーカーから電池アラームが鳴り、ディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅します。

◆電池残量を音と表示で確認する〈電池レベル表示〉

1 MENU ▶ 8 7 6 5

電池残量が表示され、残量に応じてキー確認音（→P104）が鳴ります。しばらくたつとメニュー一覧表示に戻ります。

電源ON／OFF

電源を入れる／切る

❖電源を入れる

1 ⌒（2秒以上）

ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。FOMAカードの読み込み中はディスプレイ下部にが表示されます。

- ディスプレイ上部に表示されるアンテナアイコンで、電波の受信レベルの目安が確認できます。

待受画面

アイコン	(アンテナアイコン4種)	圏外
受信レベル	強 ←→ 弱	サービスエリア外や電波の届かない所

- お買い上げ時のアンテナアイコンは、FOMA端末のカラーによって異なります。→P409

❖電源を切る

1 [終話キー]（2秒以上）

◆初めて電源を入れたときに行う操作

文字の表示サイズの選択と初期設定を行います。設定した内容は後から変更できます。

- 文字を大きいサイズに変更するかどうかの確認画面で「はい」を選択すると、コーディネイト／きせかえの設定が「アドバンストモード」に設定されます。→P409
  [CLR]または[終話キー]を押して確認画面を消すと、次に電源を入れたときに、再び確認画面が表示されます。

❖初期設定

- 暗証番号設定は必ず設定してください。暗証番号設定を設定せずに[□]または[CLR]、[終話キー]を押すと、終了するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して終了すると、次に電源を入れたときに、再び初期設定画面が表示されます。

1 **初期設定画面で各項目を設定▶[□]**

日付時刻設定：日付・時刻を設定します。→P56
暗証番号設定：認証操作を行った後、端末暗証番号を変更します。→P125
キー確認音設定：キーを押したときの確認音を設定します。→P104

❖Welcomeメールを確認する

お買い上げ時は、「おすすめBEST5」のメールが保存されています。待受画面には新着アニメと[✉ 1]が表示され、FOMA端末を閉じるとランプが水色で点滅し、未読メールがあることをお知らせします。

1

以降の操作→P209「受信／送信メールBOXのメールを表示する」操作2以降

✔お知らせ

- FOMAカードを差し替えたときは、電源を入れた後認証操作を行う必要があります。正しく認証されると待受画面が表示されます。誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、電源が切れます（ただし再び電源を入れることは可能です）。
- FOMA端末を開いたまま約5分間何も操作しないでいると、ディスプレイが自動的に表示されなくなります（省電力）。音声電話中も同様です。操作をしたり、電話の着信などがあると、ディスプレイは再び点灯します。

日付時刻設定

日付・時刻を合わせる

時刻や時差を自動で補正するように設定するか、日付・時刻などを自分で入力します。自動で補正するように設定すると、国内ではドコモのネットワークからの時刻情報を、海外では利用中の通信事業者のネットワークからの時差補正情報を受信した場合に補正します。

1

自動時刻・時差補正：時刻や時差の補正を自動で行うかどうかを設定します。

オフセット時間：「＋」に設定すると、補正される時刻から、常に設定した時間進めて表示されます。「－」に設定すると、補正される時刻から、常に設定した時間遅らせて表示されます。

日付：2000年1月1日から2050年12月31日の間で日付を入力します。

時刻：24時間制で時刻を入力します。

タイムゾーン：時差のある場所に移動するとき、日付・時刻の設定を変更せずにタイムゾーンを設定します。

- 日付・時刻を設定したときのタイムゾーンから時差が計算され、表示されます。
- 国内では「GMT＋09:00」に設定します。

サマータイム：「ON」に設定すると、設定した時刻から1時間進めた時間が表示されます。

✔お知らせ

- 自動時刻・時差補正を「ON」に設定した場合は、電源を入れたときなどに時刻や時差の補正を行います。電源を入れてからしばらくたっても補正されない場合は、電源を入れ直してください。
  ただし、FOMAカードを取り付けていない場合や電波状態によっては、電源を入れ直しても補正は行われません。また、ｉアプリによっては、動作中に補正できない場合があります。
- 自動時刻・時差補正を「ON」に設定していても、数秒程度の誤差が生じる場合があります。また、海外で利用中の通信事業者のネットワークによっては時差補正が行われない場合があります。
- 自動時刻・時差補正を「ON」に設定し、海外で時差補正が行われたときは、時差補正を行った旨のメッセージが表示されます。時差補正が行われた後は、発着信履歴やメール送信などの表示時間は現地時間になります。
- 自動時刻・時差補正とデュアル時計設定を「ON」に設定すると、海外で利用中の通信事業者のネットワークによる時差補正情報を受信したときにデュアル時計が24時間表示で表示されます。
- 自動時刻・時差補正を「OFF」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。その場合は、充電した後にもう一度日付・時刻の設定を行ってください。
- 一度も補正が行われず、日付･時刻が「--」や「？」などで表示されているときは、日付・時刻情報を利用する時計やFlash画像などが正しく表示されません。また、次の機能は利用できません。
  - ユーザ証明書の操作
  - メール検索（カレンダーでメール検索）
  - 著作権保護により再生制限が設定されている着うたフル®のダウンロードやｉモーションの取得および再生
  - ｉアプリDX、ｉアプリの自動起動
  - 著作権保護により再生制限が設定されているWMAファイルの再生
  - 目覚まし、スケジュール帳（データ送受信やスケジュールデータの表示含む）
  - ライフスタイル設定、ICカードロック解除予約、パターンデータ更新、自動電源ON設定、自動電源OFF設定、ソフトウェア更新
  - うた・ホーダイの再生、再生期限更新、着信音設定
- 一度も補正が行われず、日付･時刻が「--」や「？」などで表示されていると、次の機能で日時が記録されず、「----/--/--」「----------------」などと表示されます。さらに枝番（細分化するための番号）が付く場合もあります。
  - 送信メール、未送信メール、メール送信履歴の日時、作成したメールテンプレートの保存日時
  - ダウンロードしたデータやファイルの保存日時
  - ｉアプリのダウンロード日時
  - 着信履歴、リダイヤル、伝言メモ／音声メモ
  - 静止画や動画、音声ファイル、バーコードリーダーで読み取ったデータのファイル名の日時
  - トルカの受信日時

発信者番号通知設定

相手に自分の電話番号を通知する

音声電話やテレビ電話をかけたときに、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。

- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。

1 MENU▶8 8 4 1 1

- 設定内容を確認するときはMENU 8 8 4 1 2を押し、「はい」を選択します。

2 **ネットワーク暗証番号を入力▶1または2**

❖発信者番号通知の優先順位について

自分の電話番号を相手に通知／非通知にする方法は複数あります。これらを同時に設定したり操作したりした場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。ただし、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知が異なる場合があります。

① 発信時に発信オプションで番号通知方法を設定した場合→P69
② 相手の電話番号の前に「186」または「184」を付けた場合→P68
③ 電話帳データの発番号設定→P95
④ 発信者番号通知設定

✔お知らせ

- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが聞こえたときは、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。

プロフィール情報

自分の電話番号を確認する

自局電話番号（ご契約電話番号）や登録した名前、メールアドレスなどを確認します。

1

通話中などに確認する：MULTI 0

✔お知らせ

- ｉモードのメールアドレスの確認方法については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- 2in1がONでデュアルモードのときは、✉を押してAナンバーとBナンバーのプロフィール情報を切り替えられます。
- 2in1がONのとき、FOMAカードの差し替え（2in1契約者→2in1契約者）を行う場合は、正しいBナンバーを取得するために、2in1をOFFにしてから再度2in1をONにしてください。
  また、FOMAカードの差し替え（2in1契約者→2in1未契約者）を行う場合も、正しいプロフィール情報に更新するために、2in1をOFFにしてください。→P377

電話／テレビ電話

電話／テレビ電話のかけかた

電話／テレビ電話の受けかた

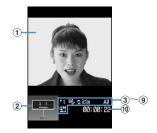
電話／テレビ電話に出られないとき／出られなかったとき

テレビ電話の設定

テレビ電話について

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。自分側の映像としてキャラ電や静止画を送信したり、外側のカメラを利用して周囲の映像などを送信したりできます。

- テレビ電話は64kbpsでのみ通信できます。
- ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。
  ※1 3GPP（3rd Generation Partnership Project）…第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体
  ※2 3G-324M…第3世代携帯テレビ電話の国際規格

◆テレビ電話中の画面の見かた

① **親画面**
相手側の映像を表示

② **子画面**
自分側の映像を表示

③ **ズーム**
：標準～：12倍

④ **状態**
：カメラ映像送信中　：カメラオフ画像送信中　：キャラ電中
：フレーム送信中　：静止画送信中　：通話保留中
：応答保留中　：伝言メモ録画中　：動画メモ録画中
アクションモード
：全体アクション　：パーツアクション

⑤ **撮影モード**
：標準　：逆光　：モノトーン　：セピア

⑥ **ナイトモード**
表示なし：OFF　：ON

⑦ **送信画質**
表示なし：標準　：動き優先　：画質優先

⑧ **音声・映像の送受信状態**
：音声送受信中　：映像送受信中　：音声・映像送受信中
スピーカーホン音量／受話音量
～：スピーカーホン音量／受話音量調整中

⑨ **テレビ電話切替機能**
表示なし：切り替え不可　：切り替え可

⑩ **通話時間**
時:分:秒の形式で表示

電話／テレビ電話をかける

テレビ電話をかけるとき、代替画像設定で設定した代替画像が相手に送信されます。外側のカメラに切り替えたり、代替画像を変更したりできます。→P80

1 電話番号を入力（80桁以内）

- 一般電話にかけるときは、同じ市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

CLR：1桁削除

2 発信方法を選択

音声電話をかける：

テレビ電話をかける：[A/a]

テレビ電話接続中は、自分側の映像が表示されます。

- マナーモード中は、スピーカーへの切り替え確認画面が表示されます。
- 画面に「テレビ電話接続」と表示された時点から通話料金がかかります。

3 通話が終わったら[終話]

✔お知らせ

〈音声電話・テレビ電話共通〉

- 2in1がONでデュアルモードのときは、発信番号選択画面が表示されます。「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択します。
- 番号通知お願いガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。

〈音声電話のみ〉

- [発信]を押した後に電話番号を入力しても電話をかけられます。その場合、電話番号を入力した後、約5秒後に電話がかかります。

〈テレビ電話のみ〉

- キャラ電や静止画を送信しても、通信料金は音声通話料ではなくデジタル通信料になります。
- テレビ電話がかからなかったときは、画面に次のメッセージが表示され待受画面に戻ります。なお、通話する相手の電話機種別やネットワークサービスのご利用の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります。

メッセージ	理　由
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号にかけた場合
お話中です	相手が話し中※
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が電波の届かない所にいるか、電源を切っている
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号が非通知（ビジュアルネットなどへの発信時）
音声電話でおかけ直しください	相手が転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末
パケット通信中です	相手がパケット通信中
ｉモードから接続してください	IP（情報サービス提供者）が提供しているサイトに接続してからテレビ電話発信していない
上限額を超過しているため接続出来ません	リミット機能付料金プラン（タイプリミット、ファミリーワイドリミット）の上限額を超過している
接続できませんでした	上記のいずれにも該当しない場合

※ 相手の端末によっては、パケット通信中の場合にも表示されることがあります。

- 音声自動再発信が「ON」のときに着もじを付加してテレビ電話を発信した場合は、再発信時も着もじが付加されます。
- 音声自動再発信が「ON」のときにFOMA端末から緊急通報（110番、119番、118番）へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。

◆通話中に保留にする〈通話中保留〉

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにします。

- 保留中も発信側に通話料金がかかります。

1 通話中に[■]

通話が保留になり、ランプが緑色で点滅し、メロディが流れます。テレビ電話のときは、自分と相手にテレビ電話保留中画像が表示されます。

- 音声電話の保留を解除するときは、[■]または[発信]を押します。
- テレビ電話の保留を解除するときは、次のいずれかの操作を行います。

[■]：保留前に送信していた画像に戻る
[A/a]／[発信]：カメラ映像が送信される
[✉]：代替画像が送信される

◆スピーカーホン機能を利用する

スピーカーホン機能を利用せずにテレビ電話をかけたり受けたりするには、テレビ電話動作設定のスピーカーホン設定を変更します。

1 電話番号を入力▶（1秒以上）または

ディスプレイ上部にが表示されます。

- 電話帳、リダイヤル、着信履歴、伝言メモ一覧、音声メモ一覧から操作する場合も同様です。
- テレビ電話動作設定のスピーカーホン設定が「OFF」のときに、スピーカーホン機能を利用してテレビ電話をかける場合は、を1秒以上押します。
- 発信中、呼出中、通話中は、を押すたびにスピーカーホン機能のON／OFFを切り替えられます。

✔お知らせ

- スピーカーに切り替えると音量が急に大きくなります。FOMA端末を耳から離して使用してください。
- FOMA端末に向かって約50cm以内の距離でお話しください。周囲や相手側の雑音が大きく、スピーカーからの相手の声が聞き取りにくい場合は、スピーカーホン機能をOFFにしてください。
- マナーモード中でも本機能を利用できます。

◆通話中に受話音量を調整する〈受話音量〉

- 通話中に調整した受話音量は、音量設定の「受話音量」に反映されます。

1 通話中に

◆はっきりボイスを利用する

音声電話中に周囲の騒音レベルを測定し、一定レベルを超えて騒音が大きくなった場合に、自動で相手の声を強調し聞き取りやすくします。また、相手や自分の声が小さいときにも自動で音量を大きくします。

- お買い上げ時は、「ON」に設定されています。
- スピーカーホン機能利用中は動作しません。
- 通話終了後も設定内容は保持されます。
- 本機能は受話音量を調整するためのものではありません。相手の声の音量は、受話音量で調整してください。

1 音声電話中に▶7

はっきりボイスをONにすると、自動はっきりボイスが表示されます。ONでも動作しないときはグレーで表示されます。

音声電話／テレビ電話を切り替える

音声電話やテレビ電話をかけた側の端末からのみ、切り替え操作ができます。

- 音声電話／テレビ電話切り替え対応機種どうしでご利用いただけます。
- 音声電話とテレビ電話の通話時間に応じて、通話料金がそれぞれ加算されます。
- 切り替え操作を行うには、相手がテレビ電話切替機能通知を開始している必要があります。→P82

〈例〉音声電話中にテレビ電話へ切り替える

1　音声電話中に[A/a]▶「はい」

- 切り替え中は、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。
- テレビ電話に切り替わるとスピーカーホン機能を利用した通話になります。

テレビ電話中に音声電話へ切り替える：**テレビ電話中に[MENU]▶[1]▶「はい」**

- 音声電話に切り替わるとスピーカーホン機能は解除されます。

✔お知らせ

- 切り替えには5秒程度かかります。電波状態によっては、切り替えに時間がかかる場合があります。
- 切替中画面が表示されている間は、料金は加算されません。
- 電波状態によっては切り替えができず、電話が切れる場合があります。
- キャッチホンでの音声電話中は、テレビ電話に切り替えられません。
- 音声電話中にパケット通信を行っている場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- 相手側がパケット通信中の場合は、テレビ電話に切り替えられません。
- カメラ画像の送信などテレビ電話中に行った設定は、音声電話とテレビ電話を切り替えるたびに解除されます。→P80

リダイヤル／着信履歴

リダイヤル／着信履歴を利用して電話をかける

音声電話やテレビ電話の発信履歴（リダイヤル）と着信履歴を記録しておく機能です。

- リダイヤルと着信履歴はそれぞれ最大30件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。
- 2in1がONのときは、リダイヤルと着信履歴はそれぞれAナンバー最大30件、Bナンバー最大30件の合計60件まで記録されます。AモードではAナンバーの履歴のみ、BモードではBナンバーの履歴のみ表示されます。デュアルモードではすべての履歴が表示されます。
- 同じ電話番号に発信した場合は、番号通知の「指定なし」「通知」「非通知」のそれぞれについて最新の1件がリダイヤルに記録されます。

1　[リダイヤル]（リダイヤル）または[着信履歴]（着信履歴）▶相手にカーソルを合わせる

- かけ直す相手を選択すると詳細画面が表示されます。

リダイヤル画面の見かた

リダイヤル一覧画面　リダイヤル詳細画面

① 発信日時（海外滞在時は滞在地の日時）

② 海外滞在時（GMT＋09:00を除く）の発信※1

③ 発信の種類

　：音声電話　：国際音声電話

　：テレビ電話　：国際テレビ電話

④ 発信者番号の通知／非通知

　：発信オプションまたは電話帳の発番号設定で番号通知に設定した場合

　：発信オプションまたは電話帳の発番号設定で番号非通知に設定した場合

⑤ Bナンバーでの発信（2in1がONでデュアルモードの場合）

⑥ 電話番号※2**／電話帳の電話番号アイコン、名前（電話帳に登録している場合）**

⑦ 名前（電話帳に登録している場合）

⑧ 電話帳の電話番号アイコン（電話帳に登録している場合）、電話番号※2

⑨ リダイヤル番号／件数

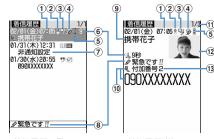
⑩ 画像（電話帳に登録している場合）※3

⑪ 発信したマルチナンバーの名称（マルチナンバーを利用している場合）

※1　発信日時が記録されていないときなど、表示されない場合があります。

※2　国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます。

※3　画像／名前表示切替の設定に従って表示されます。

着信履歴画面の見かた

着信履歴一覧画面　着信履歴詳細画面

① 着信日時（海外滞在時は滞在地の日時）

② 海外滞在時（GMT＋09:00を除く）の着信※1

③ 着信の種類

　：音声電話　：国際音声電話

　：テレビ電話　：国際テレビ電話

　：64Kデータ通信　：国際64Kデータ通信

④ 状態マーク

　：不在着信（未確認）　：不在着信（確認済み）

　：伝言メモ　：伝言メモ（削除済み）

　：着もじ

　：着もじ付きの不在着信（未確認）

　：着もじ付きの不在着信（確認済み）

　：着もじ付きの伝言メモ

　：着もじ付きの伝言メモ（削除済み）

⑤ Bナンバーへの着信（2in1がONでデュアルモードの場合）

⑥ 不在着信の呼出時間マーク（詳細画面のみ）、不在着信の呼出時間（一覧画面では100秒以上の場合「99"」と表示されます）
⑦ 電話番号※2／電話帳の電話番号アイコン、名前（電話帳に登録している場合）／発信者番号非通知理由
⑧ 着もじマーク、着もじ
⑨ 名前（電話帳に登録している場合）／発信者番号非通知理由
⑩ 電話帳の電話番号アイコン（電話帳に登録している場合）、電話番号※2
⑪ 着信履歴番号／件数
⑫ 画像（電話帳に登録している場合）※3
⑬ 着信したマルチナンバーの名称（マルチナンバーを利用している場合）

※1 着信日時が記録されていないときなど、表示されない場合があります。
※2 国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます。
※3 画像／名前表示切替の設定に従って表示されます。

2 【発信】または【A/a】

- 詳細画面で【■】を押すと、選択しているリダイヤル／着信履歴の発着信方法と同じ方法で発信されます。
- 【MENU】【1】を押すと、条件を設定して電話をかけられます。→P69
- 2in1がONでデュアルモードのときは、発着信時のナンバーに従って発信されます。

❖リダイヤル／着信履歴を利用する

電話帳に登録する：
① 相手にカーソルを合わせて【MENU】▶【4】▶【1】または【2】▶【1】または【2】
- 登録済みの電話帳データに登録するときは、電話帳データを選択します。

② 名前やメールアドレスなどを登録
電話帳登録→P87、89

ｉモードメールを作成する：相手にカーソルを合わせて【✉】
SMSを作成する：相手にカーソルを合わせて【✉】（1秒以上）

リダイヤル一覧と着信履歴一覧を切り替える：【MENU】▶【6】
メール送信履歴／受信履歴を表示する：【📖】

✔お知らせ
- 2in1がONのときは、Bナンバーのリダイヤル／着信履歴ではｉモードメールとSMSは作成できません。

❖詳細画面の表示を切り替える〈画像／名前表示切替〉

1 詳細画面で【MENU】▶【8】▶【1】～【3】

各設定項目→P93「詳細画面の表示を切り替える」

❖かかってきた電話に出られなかったとき〈不在着信〉

待受画面に【不在着信 2】（数字は件数）が表示され、着信履歴に不在着信として記録されます。
- 覚えのない番号からの不在着信があった場合、呼出時間により、着信履歴を残すことだけを目的としたような迷惑電話（「ワン切り」など）かどうかを確認できます。

✔お知らせ
- 会社などでダイヤルインを利用している相手から着信した場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります（ダイヤルインとは、1本の回線で着信用の電話番号を複数持てるサービスです）。
- 通話中に音声電話とテレビ電話が切り替わった場合、着信履歴には着信時の種別（音声電話またはテレビ電話）が記録されます。
- 呼出動作開始時間設定で設定した呼出開始時間内の不在着信も含め、すべての着信履歴を表示する場合は、着信履歴一覧で【MENU】【8】【1】を押します。元の着信履歴に戻す場合は、【MENU】【8】【2】を押します。
- 音声電話中に【📹】を押すと、リダイヤル／着信履歴が表示されます。

◆リダイヤル／着信履歴を削除する〈リダイヤル／着信履歴削除〉

〈例〉1件削除する

1 [リダイヤル]（リダイヤル）または[着信履歴]（着信履歴）▶相手にカーソルを合わせて[MENU]▶[5][1]

複数削除する：[リダイヤル]（リダイヤル）または[着信履歴]（着信履歴）▶[MENU]▶[5][2]▶相手を選択▶[確定]

全件削除する：[リダイヤル]（リダイヤル）または[着信履歴]（着信履歴）▶[MENU]▶[5][3]▶認証操作

2 「はい」

✔お知らせ

- 詳細画面からの操作：[MENU]→「削除」→「1件削除」または「全件削除」

着もじ

着もじを利用する

音声電話やテレビ電話をかける際、呼出中に相手側へメッセージを送ることで、あらかじめ用件や緊急度を伝えることができます。

- 着もじの詳細や対応機種については、ドコモのホームページまたは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 送信側は料金がかかります。受信側は料金がかかりません。

◆着もじを登録する

- 最大10件登録できます。

1 [MENU]▶[8][8][3][1]

2 「〈新しいメッセージ〉」

- 登録済みの着もじを選択すると修正できます。

送信した着もじを引用して作成する：[MENU]▶[1]▶着もじを選択

着もじを削除する：着もじにカーソルを合わせて[MENU]▶[2]または[3]▶「はい」

3 着もじを入力（10文字以内）

- 絵文字・記号も入力できます。

4 📖

登録済みの着もじを修正したときは、登録確認画面が表示されます。

◆着信時の着もじの表示について設定する〈メッセージ表示設定〉

1 MENU ▶ 8 8 3 2 ▶ 1 〜 4

- 「表示しない」にすると着もじを受信しません。

◆着もじをつけて電話をかける

着もじは相手の着信画面に表示されます。

- 送信した着もじは送信メッセージ履歴に最大10件保存されます。超過すると古いものから上書きされます。
- 2in1がONのときは、送信した着もじは送信メッセージ履歴にAナンバー最大10件、Bナンバー最大10件の合計20件まで保存されます。AモードではAナンバーで送信した着もじのみ、BモードではBナンバーで送信した着もじのみ表示されます。デュアルモードではすべての着もじが表示されます。

〈例〉着もじを作成する

1 **電話番号を入力** ▶ MENU ▶ 3

2 1 ▶ **着もじを入力（10文字以内）** ▶ 📖

発信オプション画面

- 絵文字・記号も入力できます。

登録した着もじから選択する：2 ▶ **着もじを選択**

送信メッセージ履歴から選択する：3 ▶ **着もじを選択**

着もじを送信しない：**発信オプション画面で着もじ欄を選択** ▶ 1

3 MENU

呼出中画面に「送信しました」と表示され、送信料金がかかります。相手が非対応端末の場合やメッセージ表示設定などにより届かなかった場合、または海外に滞在している場合は、呼出中画面に「送信できませんでした」と表示され、送信料金はかかりません。

✔お知らせ

- 着信側が次の場合は着もじは送信できず、着信履歴にも記録されません。発信側には送信結果は表示されず、送信料金はかかりません。
  - 圏外にいるときや電源が切れている場合
  - 伝言メモ応答時間設定が「0秒」の場合
  - 公共モード（ドライブモード）中　など
- リダイヤル、着信履歴からの操作：MENU→「着もじ」
- 伝言メモ一覧、音声メモ一覧、スケジュールのメンバーリスト一覧画面からの操作：MENU→「発信オプション」
- 電話帳の電話帳一覧からの操作：MENU→「発信オプション／メール」→「発信オプション」
- 電話帳の電話番号の詳細画面からの操作：MENU→「着もじ／マルチナンバー」→「着もじ」
- 相手が呼出動作開始時間設定を設定している場合、呼出開始時間内でも着もじは送信され、送信料金がかかります。
- 電波状態によって、相手の端末に着もじが届いても発信側に送信結果が表示されない場合があります。この場合でも送信料金はかかります。
- 海外での利用時には着もじを送受信することはできません。
- 2in1がONでデュアルモードのとき、Bナンバーの送信メッセージ履歴にはBが表示されます。

186／184

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 番号通知方法の優先順位→P58

発信者番号を通知する：186▶電話番号を入力▶[発信]または[A/a]
発信者番号を通知しない：184▶電話番号を入力▶[発信]または[A/a]

✔お知らせ

- 国際電話では「186」を付けても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。
- 「186」または「184」を付けて発信した場合、リダイヤルにはその番号が付いた電話番号が記録されます。

プッシュ信号（DTMF）を送出する

FOMA端末からプッシュ信号（DTMF）を送出して、ご自宅の留守番電話の操作や各種のプッシュホンサービスなどを利用できます。また、音声電話をかけるときにポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を入力することにより、番号を区切ってプッシュ信号（DTMF）を送出できます。

- ポーズとタイマーは音声電話にのみ有効です。

❖ポーズ「P」を入力する

ご自宅の留守番電話の操作やチケットの予約などに利用します。ポーズ（「P」）が入力された箇所で電話番号を区切ってプッシュ信号が送出されます。

1 電話番号を入力▶[＊]（1秒以上）▶送出する番号を入力▶[発信]

電話がつながった後に[■]を押すと、ポーズ（「P」）以降の番号が送出されます。

❖タイマー「T」を入力する

外線番号に続けて内線番号を入力するときなどに利用します。外線番号と内線番号の間にタイマー（「T」）を入力することによって、外線番号に続いて一定の秒数が経過した後に内線番号が発信されます。

1 電話番号を入力▶[#]（1秒以上）▶内線番号を入力▶[発信]

- タイマー（「T」）は連続して入力できます。
- タイマー（「T」）1つにつき、約1秒の間隔をとります。

❖テレビ電話中にプッシュ信号を送出する

1 通話中に[MENU]▶[8]▶送出する番号を入力

押した番号が画面に表示され、プッシュ信号が送出されます。
[CLR]：送出解除

- カメラ映像送信中やカメラオフ画像送信中は[MENU][8]を押さなくても、ダイヤルキーを押すだけでプッシュ信号が送出できます。
- カメラ映像に設定したフレームや代替画像に設定した静止画は解除されます。
- プッシュ信号はダイヤルキーで送出するため、キャラ電中はダイヤルキーによるアクション操作はできません。

✔お知らせ

- プッシュ信号は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。
- 通話を保留にして別の相手にポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を入力して電話をかけることはできません。

発信オプション

条件を設定して電話をかける

音声電話やテレビ電話をかけるたびに、発信時の条件を設定します。

- 番号通知方法の優先順位→P58

1 電話番号を入力▶MENU▶2▶各項目を設定

着もじ：相手に送信する着もじを作成したり選択したりします。→P66

マルチナンバー／自局番号：発信番号を選択します。

- マルチナンバーの発信方法→P376
- 2in1がONでデュアルモードまたはBモードのときは「自局番号」が表示されます。デュアルモードのときは「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択します。→P377

発信方法：発信方法を選択します。

番号通知：発信者番号の通知／非通知を設定します。「指定なし」にすると、発信者番号通知設定に従って動作します。

プレフィックス：電話番号の前に付加する番号（プレフィックス）を選択します。

国際電話発信：国際電話をかけるかどうかを設定します。→P70

国際プレフィックス：国際電話をかけるときに、国際アクセス番号を選択します。

国番号：国際電話をかけるときに、国番号を選択します。

2 MENU

設定した内容で電話がかかります。

- 「発信方法」で「テレビ電話」を選択した場合は、A/aを押すと通話中に表示するキャラ電を選択できます。

✔お知らせ

- 受信／送信メール詳細画面から操作する場合、またはPhone To（AV Phone To）機能を利用する場合は、各項目を設定しMENUを押すと発信確認画面が表示されます。「元の番号で発信」を選択すると、「着もじ」と「発信方法」以外の設定内容が解除された状態で発信されます。
- 国際電話では番号通知で「通知」を選択しても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。

WORLD CALL

国際電話を利用する

- 海外利用について→P388
- 「WORLD CALL」はドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通信料金と合わせて請求させていただきます。
- 申込手数料は不要です。また、月額使用料は無料です。
  ※ FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 国際電話ダイヤル手順の変更について
  携帯電話などの移動体通信は、電話会社選択サービス「マイライン」のサービス対象外であるため、「WORLD CALL」についても「マイライン」をご利用いただけませんが、「マイライン」の導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合の入力手順が変更となりました。従来の入力手順（下記入力手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。
- 「WORLD CALL」についての詳細は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
  ※ ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用いただく場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、下記ダイヤル方法の後にテレビ電話モードで発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。

1 **0 0 9 1 3 0 ▶ 0 1 0 ▶ 国番号 ▶ 地域番号（市外局番）▶ 電話番号を入力 ▶ テレビ電話キー**
- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。
- 上記の電話番号をFOMA端末の電話帳に登録できます。

❖「+」を入力して国際電話をかける

「+」を入力すると国際アクセス番号「009130010（WORLD CALL)」に変換されます。
- 「+」の後に日本の国番号「81」を入力して発信した場合は、国際アクセス番号は変換されません。

1 **0（1秒以上）▶ 国番号 ▶ 地域番号（市外局番）▶ 電話番号を入力 ▶ テレビ電話キー**
- 0を1秒以上押すと「+」が入力されます。
- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

2 **「はい」**
- 「元の番号で発信」を選択すると、「着もじ」と「発信方法」以外の設定内容が解除された状態で発信されます。

❖国際アクセス番号と国番号を選んで国際電話をかける

国際ダイヤルアシスト設定に登録している国際アクセス番号や国番号を選択します。

1 **地域番号（市外局番）▶ 電話番号を入力 ▶ MENU ▶ 2 ▶ 国際電話発信欄を選択 ▶ 2 ▶ 国際プレフィックス欄を選択 ▶ 国際アクセス番号の名称を選択 ▶ 国番号欄を選択 ▶ 国番号を選択 ▶ MENU**

2 **「はい」**
- 「元の番号で発信」を選択すると、「着もじ」と「発信方法」以外の設定内容が解除された状態で発信されます。

国際ダイヤルアシスト設定

国際ダイヤルアシスト設定を変更する

◆自動変換機能を設定する〈自動変換機能設定〉

「+」を入力して国際アクセス番号を自動変換するかどうかを設定します。また、海外から電話をかけるときに国番号を付加するかどうかを設定します。

1 **MENU ▶ 8 9 2 1 ▶ 各項目を設定 ▶ 完了キー**

国番号変換：「ON」を選択し、国番号を選択します。
- 海外で電話をかけるときに有効です。

国際プレフィックス変換：「ON」を選択し、「+」を自動変換させる国際アクセス番号を選択します。

◆国番号を編集する〈国番号設定〉

海外から国際電話をかけるときに必要な国番号を最大22件登録できます。

1 **MENU ▶ 8 9 2 2**

2 国番号を選択

自動変換させる国番号を選択する：国番号にカーソルを合わせて[📖]
選択した番号の前に✔が表示されます。
国番号を削除する：国番号にカーソルを合わせて[MENU]▶[3]▶「はい」

3 各項目を設定▶[📖]

国名称：全角8（半角16）文字以内で入力します。
国番号：5桁以内で入力します。

◆国際アクセス番号を登録する〈国際プレフィックス設定〉

国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際アクセス番号を最大3件登録できます。

1 [MENU]▶[8][9][2][3]

2 「〈未登録〉」

自動変換させる国際アクセス番号を選択する：国際アクセス番号にカーソルを合わせて[📖]
選択した名称の前に✔が表示されます。
国際アクセス番号を削除する：国際アクセス番号にカーソルを合わせて[MENU]▶[3]▶「はい」

3 各項目を設定▶[📖]

名称：全角8（半角16）文字以内で入力します。
国際アクセス番号：10桁以内で入力します。

プレフィックス設定

電話番号の先頭に付加するプレフィックスを設定する

国際アクセス番号など、電話番号の先頭に付加する番号（プレフィックス）をあらかじめ設定できます。

- 最大3件登録できます。
- プレフィックスを選択して電話をかける→P69

1 [MENU]▶[8][5][6][2]▶入力欄に番号を入力（10桁以内）▶[📖]

- 番号（プレフィックス）にポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を含めてプレフィックスを設定すると、そのプレフィックスを付加して電話をかけることはできません。

サブアドレス設定

サブアドレスを指定して電話をかける

サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出すかどうかを設定します。

- サブアドレスとは、同じ電話番号内にある複数の電話機や通信機器の中から、特定の機器を呼び出すときに使う番号です（ISDN回線で、サブアドレスが振られている機器を複数接続している場合など）。
  また、映像配信サービス「Vライブ」でコンテンツを選択するときにも利用します。

1 [MENU]▶[8][5][6][3]▶[1]または[2]

❖サブアドレスを指定して電話をかける

1 電話番号を入力▶ [＊] ▶サブアドレスを入力▶ [発信] または [A/a]

✔お知らせ

- サブアドレス設定を「ON」にしていても、ポーズ（「P」）やタイマー（「T」）を入力した後に「＊」を入力した場合は、サブアドレスの区切りとしては認識されず、「＊」を含んだプッシュ信号として送出されます。

ノイズキャンセラ設定

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

通話中の周囲の騒音を抑える機能（ノイズキャンセラ）を設定することにより、自分の声と相手の声を明瞭にして通話できます。

- 通常は、「ON」にした状態で使用することをおすすめします。

1 [MENU] ▶ [8] [5] [7] [1] ▶ [1] または [2]

電話／テレビ電話を受ける

テレビ電話を受けるとき、代替画像設定で設定した代替画像が相手に送信されます。外側のカメラに切り替えたり、代替画像を変更したりできます。**→P80**

- FOMA端末を開くだけでは電話を受けられません。

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅します。

[側面キー]：着信音量調整

[側面キー]：着信音、バイブレータの動作を止める

- 着もじを受信した場合は、着もじが表示されます。電話に出ると、着もじは消えます。着もじは着信履歴に記録されます。→P66

相手の電話番号が通知されたとき

相手の電話番号を電話帳に登録している場合は、着信／受信時動作設定に従って名前や電話番号が表示されます。また、人物画像表示設定が「ON」のときは、電話帳に設定している画像や動画／ｉモーションが表示されます。

相手の電話番号が通知されなかったとき

発信者番号非通知理由が表示されます。

非通知設定：発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合

公衆電話：公衆電話などから発信した場合

通知不可能：海外や一般電話から各種転送サービスを経由した場合など、発信者番号を通知できない状態で発信した場合（経由する電話会社によっては通知される場合もあります）

2 着信方法を選択

音声電話を受ける：[発信キー]

- ダイヤルキーなどを押しても電話を受けられます（エニーキーアンサー）。

テレビ電話を受ける：[発信キー]または[A/a]

テレビ電話接続中は、自分側の映像が表示されます。

- エニーキーアンサーは無効です。
- マナーモード中は、スピーカーへの切り替え確認画面が表示されます。

3 通話が終わったら[終話キー]

✔お知らせ

- FOMA端末から転送された電話を着信したとき、転送元の電話番号を電話帳に登録していない場合は電話番号が、登録している場合は名前が、着信画面に表示されます。ただし、転送元によっては、電話番号や名前が表示されない場合があります。
- 国際電話がかかってきた場合、発信者番号の先頭に「+」が表示されます。

◆着信中のサブメニューからの操作

音声電話またはテレビ電話の着信中に、サブメニューから次の操作ができます。

通話中着信動作選択が「通常着信」の場合、音声電話中に別の音声電話がかかってきたときも同様に操作できます。

サブメニュー	動　作
1着信拒否	電話を受けずに切断
2留守番電話	留守番電話サービスセンターに接続
3転送でんわ	転送先へ転送

◆音声電話中に「ププ…ププ…」という音（通話中着信音）が聞こえたとき

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただくと、音声電話中に別の音声電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、次の動作ができます。

ご契約の内容	動　作
留守番電話サービス※	留守番電話サービスセンターに接続
キャッチホン	通話中の音声電話を保留にし、かかってきた音声電話に応答
転送でんわサービス※	転送先へ転送

※ 通話中着信動作選択が「通常着信」のときのみサブメニューから選択できます。

音声電話／テレビ電話を切り替えて電話を受ける

音声電話をかけてきた相手がテレビ電話に切り替えたときや、テレビ電話をかけてきた相手が音声電話に切り替えたときには、対応する操作が必要です。

- 切り替えは、発信側の端末からのみ操作できます。
- テレビ電話や音声電話への切り替えに応じるには、テレビ電話切替機能通知を開始しておく必要があります。→P82

1 通話中に切り替え要求を受ける

- 切り替え中は、電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。
- テレビ電話に切り替わるとスピーカーホン機能を利用した通話になります。音声電話に切り替わるとスピーカーホン機能は解除されます。

エニーキーアンサー設定

ダイヤルキーなどを押して電話に出られるようにする

電話がかかってきたとき、[発信]以外に[0]～[9]、[*]、[#]を押して電話に出られるようにするかどうかを設定します。

- 音声電話に有効です。ただし、通話中の着信に対しては無効です。

1 [MENU]▶[8][5][3]▶[1]または[2]

通話中クローズ設定

FOMA端末を閉じて通話を切断／保留／継続するように設定する

- 64Kデータ通信中、パケット通信中は動作しません。

1 [MENU]▶[8][5][7][2]▶[1]～[3]

✔お知らせ

- 次の場合は、FOMA端末を閉じても本設定に関わらず通話は継続されます。
  - 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続中
  - 伝言メモ録音または録画中
- 「通話継続（マイクミュート）」にした場合、スピーカーホン機能を利用しているときは、自分の声は相手には聞こえませんが、相手の声がスピーカーから聞こえます。また、テレビ電話中にカメラ映像を送信しているときは、相手には代替画像が送信されます。送信していたフレームは解除されます。
- 音声電話中の操作：[MENU]→「通話中クローズ設定」

優先通信モード設定

通話中やパケット通信中の着信時に優先して表示する画面を設定する

音声電話中にパソコンとつないだパケット通信の着信があったときや、ｉモード中に音声電話がかかってきたときに、どちらの画面を優先的に表示させるかを設定します。

- 画面の表示が切り替わっても、通話やパケット通信は中断されません。
- 音声電話中にｉモードメールやメッセージR/Fを受信したときは、本設定に関わらず、音声電話中の画面が優先して表示されます。

1 [MENU]▶[8][5][6][1]▶[1]～[3]

設定なし：表示の優先を決めずに後から着信した方の画面を表示します。ただし、音声電話中にパケット通信を着信したときは、音声電話中の画面を表示します。

音声通話表示優先：音声電話中の画面を表示します。

パケット通信表示優先：音声電話中はパケット通信中の画面を、ｉモード中はｉモード中の画面※を表示します。

※ [MULTI]を押すと画面切替メニューが表示され、電話を受けられます。

応答保留

すぐに電話に出られないときに保留にする

- 応答保留中でも発信側には通話料金がかかります。

1 着信中に[終話キー]

応答保留になり、相手に応答保留ガイダンスが流れます。
テレビ電話の場合は、自分と相手にテレビ電話応答保留画像が表示されます。

2 電話に出られる状態になったら[通話キー]

- テレビ電話の場合は[キー]を押しても電話に出ることができます。
- 応答保留中に[終話キー]を押すか、相手が電話を切ると、通話が終了します。

応答保留ガイダンス設定

応答保留ガイダンスを設定する

自分の声を応答保留ガイダンスとして録音できます。

- ガイダンスは1件、約10秒間録音できます。
- 内蔵音には「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」と登録されています。

1 [MENU]▶[8][1][1][6][1]▶保留音欄を選択▶[2]

- 内蔵音のガイダンスに戻すときは[1]を押し、操作3に進みます。

2 ガイダンスの編集欄の「録音」▶発信音の後に応答保留ガイダンスを録音する

メッセージが表示された後、録音が開始されます。

- 録音開始から約10秒後に終了音（ピーッ）が鳴ります。
- 録音を途中で停止するときはを押します。
- 録音したガイダンスを削除すると、内蔵音のガイダンスに戻ります。
- ガイダンスを確認するときは「再生」を選択します。

3 [キー]

公共モードを利用する

◆公共モード（ドライブモード）を起動する

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、切断されます。

- 公共モードの設定や解除は、待受中のみできます。ディスプレイ上部に「圏外」が表示されているときでも可能です。
- 公共モード中でも、通常どおり電話をかけることができます。
- マナーモード中、伝言メモ設定中でも、公共モードが優先されます。
- 公共モード中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うと、公共モードは解除されます。

1 **＊（1秒以上）**

公共モードが設定され、待受画面にが表示されます。
着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。
解除する：**＊（1秒以上）**

❖公共モード（ドライブモード）を起動すると

音声電話がかかってきたときは、相手に運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、切断されます。テレビ電話がかかってきたときは、相手に公共モードの映像ガイダンスが表示され、切断されます。どちらの場合も、お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面には 2(数字は件数）が表示され、不在着信として記録されます。

- 次の音が鳴りません。また、バイブレータやランプも動作しません。
  - 電話の着信音
  - メールやメッセージR/Fなどの着信音
  - お知らせタイマー、目覚まし、スケジュールアラームの音
  - ｉアプリのサウンド
  - 通話料金上限通知※
  - 電池アラーム音
  - 充電開始／完了音

  ※ 通話料金上限通知を「ON」にし、アラームを設定している場合でも、メッセージは表示されません。
- 公共モード中でもワンタッチアラームは起動します。ただし、ワンタッチアラーム設定中のランプは点滅しません。
- セキュリティランプ設定と開閉ロックを「ON」にし、FOMA端末を閉じても、開閉ロックの状態をランプではお知らせしません。
- ｉチャネルのテロップは表示されません。

◆公共モード（電源OFF）を設定する

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）を設定すると、電源を切っている間の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、切断されます。

1 [＊][2][5][2][5][1]▶[発信]

公共モード（電源OFF）が設定されます（待受画面上の変化はありません）。
公共モード（電源OFF）設定後、電源を切っている間の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。
解除する：[＊][2][5][2][5][0]▶[発信]
設定を確認する：[＊][2][5][2][5][9]▶[発信]

❖公共モード（電源OFF）を起動すると

音声電話がかかってきたときは、相手に電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、切断されます。テレビ電話がかかってきたときは、相手に公共モードの映像ガイダンスが表示され、切断されます。
- 「＊25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
- サービスエリア外または電波が届かない所にいる場合も、公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れます。

◆ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード／電源OFF）中の着信動作

サービス名	電話を着信した場合	テレビ電話を着信した場合
留守番電話サービス	相手に公共モードのガイダンスが流れ、留守番電話サービスセンターに接続される※	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、留守番電話サービスセンターに接続される
転送でんわサービス	相手に公共モードのガイダンスが流れ、転送先に転送される※ 相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従う	相手に公共モードの映像ガイダンスは表示されず、転送先に転送される 転送先がテレビ電話に対応していない場合は切断される
迷惑電話ストップサービス	相手を着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否のガイダンスが流れ切断される	相手を着信拒否に登録している場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスが表示され、切断される
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れ切断される • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードのガイダンスが流れ切断される	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスが表示され切断される • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスが表示され切断される

※ 呼出時間が「0秒」の場合は公共モードのガイダンスは流れず、着信履歴には記録されません。

伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音／録画する

伝言メモを起動しておくと、電話に出られないときに応答ガイダンスが流れ、相手の用件が録音または録画されます。

- 音声電話とテレビ電話を合わせて最大4件、1件につき約30秒間録音または録画できます。
- 2in1がONのときは、AナンバーとBナンバーに着信した伝言メモを合わせて最大4件録音または録画できます。AモードではAナンバーに着信した伝言メモのみ、BモードではBナンバーに着信した伝言メモのみ表示されます。デュアルモードのときはすべての伝言メモが表示されます。

◆伝言メモを起動する

伝言メモを起動するかどうかを設定します。

- FOMA端末を開いている状態で操作してください。

1 （1秒以上）▶1▶1または2

伝言メモを起動すると、待受画面にが表示されます。

❖クイック伝言メモで対応する〈クイック伝言メモ〉

伝言メモを起動していなくても、着信中にを1秒以上押すと、その着信に限り伝言メモを1回だけ動作させられます。この操作は、伝言メモを開始に設定する操作ではありません。

◆伝言メモの起動中に電話がかかってくると

1 電話がかかってくる

伝言メモ応答時間設定で設定した応答時間が経過すると、伝言メモガイダンス中画面が表示されます。相手には伝言メモ応答ガイダンス設定に従って応答ガイダンスが流れます。

2 相手のメッセージが録音または録画される

- 開始時と終了時に相手には確認音（ピーッ）が鳴ります。また、開始時から約25秒後に終了予告音（ピピッ）が鳴ります。

3 録音または録画が終了すると、電話が切れる

✔お知らせ

- 応答ガイダンス中、伝言メモ録音または録画中でもを押すと電話に出ることができます。テレビ電話の場合はを押しても出られます。このとき、電話を受けるまでの録音内容や録画内容は記録されません。
- FOMA端末が圏外にいるときや電源が切れているときは、伝言メモは動作しません。留守番電話サービスをご利用ください。
- 伝言メモが4件録音または録画されると、待受画面にが表示され、伝言メモおよびクイック伝言メモは動作しません。不要な伝言メモを削除してください。伝言メモが動作しないときに留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを利用している場合は各サービスが動作します。

◆応答ガイダンスが始まるまでの時間を設定する〈伝言メモ応答時間設定〉

- お買い上げ時は、「13秒」に設定されています。

1 （1秒以上）▶13▶応答時間を入力（0～120秒）

◆応答ガイダンスを設定する〈伝言メモ応答ガイダンス設定〉

自分の声を応答ガイダンスとして録音できます。

- ガイダンスは1件、約10秒間録音できます。
- 内蔵音には「ただいま電話に出ることができません。ピーッという発信音の後に30秒以内でメッセージをお話しください。」と登録されています。

1 （1秒以上）▶1 4▶伝言メモ応答ガイダンス欄を選択▶2

- 内蔵音の応答ガイダンスに戻すときは1を押し、操作3に進みます。

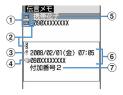
2 ガイダンスの編集欄の「録音」▶発信音の後に応答ガイダンスを録音する

メッセージが表示された後、録音が開始されます。
録音操作の補足説明→P75「応答保留ガイダンスを設定する」操作2

3

伝言メモを再生／削除する

◆伝言メモを再生する

1 （1秒以上）▶2

① 状態マーク
　：音声電話伝言メモ（未再生）
　：音声電話伝言メモ（再生済み）
　：テレビ電話伝言メモ（未再生）
　：テレビ電話伝言メモ（再生済み）
② Bナンバーへの着信（2in1がONでデュアルモードの場合）
③ 海外滞在時（GMT＋09:00を除く）の着信※1
④ 国際電話の着信
⑤ 電話番号※2／名前（電話帳に登録している場合）／発信者番号非通知理由
⑥ カーソル位置の相手の録音または録画の日時（海外滞在時は滞在地の日時）、電話番号※2／発信者番号非通知理由
⑦ 着信したマルチナンバーの名称（マルチナンバーを利用している場合）

※1　着信日時が記録されていないときなど、表示されない場合があります。
※2　国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます。

2 伝言メモを選択

音声電話伝言メモ再生中　　テレビ電話伝言メモ再生中

- 再生中は次の操作ができます。
  ：音量調整　：停止
  ：スピーカーホン機能ON／OFFの切り替え（音声電話伝言メモ再生中のみ）
- テレビ電話伝言メモ再生中はスピーカーホン機能がONに設定されて再生されます。スピーカーホン機能の切り替えはできません。
- マナーモード中にテレビ電話伝言メモを再生するときは、音声の再生確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると、消音で再生されます。

電話をかける：相手にカーソルを合わせてまたは

- 3を押すと、条件を設定して電話をかけられます。→P69

電話帳に登録する：
①相手にカーソルを合わせて MENU ▶ 4 または 5 ▶ 1 または 2
- 登録済みの電話帳データに登録するときは、電話帳データを選択します。

②名前やメールアドレスなどを登録
電話帳登録→P87、89

3 伝言メモを削除するかどうかを選択

◆伝言メモを削除する

1 （1秒以上）▶ 2 ▶ 伝言メモにカーソルを合わせて MENU ▶ 2 ▶ 1 または 2 ▶「はい」
- 「全件削除」を選択した場合は、認証操作を行います。

キャラ電を利用する

テレビ電話中に送信するキャラクタを変更します。
- キャラ電の表示→P287

1 通話中に MENU ▶ 4 2 1 ▶ フォルダを選択 ▶ キャラ電を選択

- 通話中に次の操作ができます。
  1 〜 9 、 # ：アクション　0 ：アクションの中止
  ：アクション一覧の表示

通話中に相手側に送信する映像について設定する

1 通話中に目的に応じた操作を行う

カメラ画像／代替画像を切り替える：
「カメラ画像」にすると、外側のカメラに切り替わります。

ナイトモードに切り替える※1：
ナイトモードを「ON」に切り替えると、ランプが点灯します。

表示倍率を切り替える〈ズーム〉※1：
- を押すたびに次の順で、を押すと逆の順で切り替わります。
  標準→2倍→4倍→6倍→8倍→10倍→12倍

映像に特殊な効果をかける〈撮影モード〉※1：MENU ▶ 2 ▶ 1 〜 4
標準：標準的な映像
逆光：逆光になる被写体を撮影する
モノトーン：白黒にする
セピア：セピア調にする

映像の明るさを調整する※1、2：MENU ▶ 3 1 ▶ で調整 ▶
- お買い上げ時は、「3段階目」に設定されています。
- 5段階で調整できます。

ちらつきを調整する※1、2：MENU ▶ 3 2 ▶ 1 〜 3
お使いの地域の電源周波数に合った設定に切り替えると、ちらつきが抑えられる場合があります。
- お買い上げ時は、「自動」に設定されています。
- カメラ、バーコードリーダーのちらつき調整の設定にも反映されます。

映像にフレームを重ねる※1：MENU ▶ 4 1 ▶ フレームを選択
- 画像サイズが176×144以下のフレームのみ選択できます。
- 解除するときは ■ を押します。

カメラオフ画像を送信する：MENU▶4 3
代替画像設定で設定した代替画像が送信されます。
- 代替画像にキャラ電を設定している場合は、標準画像が送信されます。

静止画を送信する：MENU▶4 4▶**フォルダを選択▶静止画を選択**
- 画像サイズが176×144以下で、FOMA端末外への出力ができる静止画のみ設定できます。
  FOMA端末外への出力が禁止されている画像→P302「表示項目と変更可否一覧」の「ファイル制限」
- 解除するときは■を押します。

接写撮影に切り替える※1：**接写切り替えスイッチを🌷側に切り替える**
約6～11cmのごく近い距離の映像を送信するときに映像のピントを合わせられます。
- 解除するときは、接写切り替えスイッチを ● 側に切り替えます。

送信／受信画像の品質を設定する：MENU▶6▶1**または**2▶1～3
標準：標準的な品質
動き優先：映像の動きがなめらかになり、画質がやや粗くなる
画質優先：映像は細やかになり、動きがやや鈍くなる
※1　カメラ映像送信中のみ設定できます。
※2　通話終了後も設定内容は保持されます。

テレビ電話中の画面表示について設定する

- 通話終了後も設定内容は保持されます。

1 通話中に目的に応じた操作を行う

親子画面の表示を切り替える：📖
- お買い上げ時は、親画面が「相手画像」に、子画面が「自画像」に設定されています。

親画面のサイズを変更する：📖**（1秒以上）**
- お買い上げ時は、「大」に設定されています。
- 押すたびに大→中→小→大→…の順に切り替わります。

画面表示を設定する：MENU▶7▶**各項目を設定**▶📖
各項目設定→P81「テレビ電話の設定を変更する」

テレビ電話動作設定

テレビ電話の設定を変更する

テレビ電話がつながらなかったときの動作や、テレビ電話中の画面、スピーカーホンについて設定します。
- 相手へのアクセスをより確実なものとするために、音声自動再発信があります。「ON」にすると、テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合や、デュアルネットワークサービスでmovaサービスを利用中の場合などでテレビ電話を受けられないときなどに、音声電話に切り替えて再発信します。ただし、ISDN同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2007年12月現在）、間違い電話をした場合は、このような動作にならないことがあります。通話料金が発生する場合もあるためご注意ください。

1 MENU▶8 6 1 3▶各項目を設定▶📖

音声自動再発信：テレビ電話がつながらなかった場合、音声電話で再発信するかどうかを設定します。
テレビ電話画面設定：通話中に「自画像」または「相手画像」のどちらか一方を表示するか、「両方」を表示するかを設定します。
- 「自画像」または「相手画像」にすると、子画面表示は設定できません。

子画面表示：通話中の子画面に「自画像」と「相手画像」のどちらを表示するかを設定します。
画面サイズ設定：親画面の表示サイズを設定します。
受信画質設定：相手から受信する画像の画質を設定します。
照明設定：「端末設定に従う」にすると、ディスプレイの照明設定の明るさ調整に従います。

スピーカーホン設定：テレビ電話接続時にスピーカーホン機能を利用するかどうかを設定します。

✔お知らせ

- 音声自動再発信を「ON」にし、パソコンとつないだパケット通信中にテレビ電話を発信すると、再発信が行われ音声電話に接続されます。音声電話中や64Kデータ通信中は、音声自動再発信が「ON」でも、テレビ電話を発信できません。
- 音声自動再発信が「ON」の場合、音声で再発信したときの通話料金はデジタル通信料ではなく音声通話料になります。

テレビ電話画像選択

テレビ電話の代替画像や保留画像などを設定する

テレビ電話で相手に送信する代替画像、伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像を変更します。

- 次の画像は設定できません。
  - サイズが176×144より大きい静止画
  - アニメーション、パラパラマンガ
  - JPEG形式、GIF形式以外の静止画
  - FOMA端末外への出力が禁止されている画像→P302「表示項目と変更可否一覧」の「ファイル制限」

1 MENU▶8 6 1 5▶1～5▶イメージ表示欄を選択

2 1または2▶□

- 代替画像設定の場合は1～4を選択します。
- 「選択キャラ電」（代替画像設定のみ）または「イメージ」を選択した場合は、イメージ一覧欄を選択し、画像を選択します。

✔お知らせ

- 代替画像に設定したキャラ電を削除した場合、代替画像は標準キャラ電に戻ります。静止画、標準キャラ電を削除した場合は標準画像になります。
- 伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像に設定した静止画を削除した場合は標準画像に戻ります。

テレビ電話切替機能通知

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する

音声電話とテレビ電話を切り替えて通話するには、あらかじめテレビ電話切替機能通知を開始しておく必要があります。テレビ電話切替機能通知とは、自分の端末が音声電話とテレビ電話を切り替えられる端末であることをネットワークに通知しておく機能です。

- 音声電話中やテレビ電話中は、テレビ電話切替機能通知の設定を変更できません。
- 圏外では設定の操作はできません。電波状態のよい所で操作してください。
- お買い上げ時は、テレビ電話切替機能通知は開始に設定されています。

1 MENU▶8 6 1 7

2 1または2▶「はい」

- 設定内容を確認するときは3を押し、「はい」を選択します。

パケット通信中着信設定

パケット通信中着信設定を設定する

ｉモード中にテレビ電話がかかってきたときの応対方法を設定します。

1 MENU ▶ 8 6 1 4 ▶ 1 ～ 4

テレビ電話優先：テレビ電話の着信画面が表示され、電話に出るとパケット通信が切断されます。テレビ電話を終了すると、ｉモードの画面に戻ります。

パケット通信優先：ｉモード通信が継続され、着信履歴に記録されます。

留守番電話：留守番電話サービスセンターに接続します。

転送でんわ：転送先へ転送します。

✔お知らせ

- 留守番電話サービスや転送でんわサービスを契約していない場合は、「留守番電話」または「転送でんわ」を設定しても「パケット通信優先」の動作となります。
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始にし、呼出時間が「0秒」の場合は、本設定に関わらず各サービスが動作します。着信履歴には記録されません。

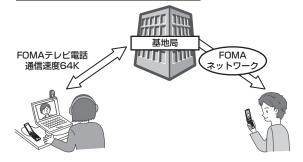
テレビ電話使用機器設定

外部機器と接続してテレビ電話を使用する

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をUSBケーブルで接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。
この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器（市販品）を用意する必要があります。

- FOMA端末が外部機器と接続されていないときは利用できません。
- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定、操作方法については、外部機器の取扱説明書などをご覧ください。

※ 本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト」をご利用いただけます。
ドコモテレビ電話ソフトホームページからダウンロードしてご利用ください。
（パソコンでのご利用環境など詳細については、サポートホームページでご確認ください。）
http://videophonesoft.nttdocomo.co.jp/

1
MENU ▶ 8 6 1 6 ▶ 1 または 2

✔お知らせ

- 音声電話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- キャッチホンをご契約いただいていると、音声電話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、不在着信として記録されます。外部機器からのテレビ電話中に音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

F705iでは、FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳を利用できます。これらの電話帳からは、音声電話やテレビ電話の発信や、メール、SMSの送信などが行えます。

- FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳の登録内容は次のとおりです。

○：可　×：不可

項目		FOMA端末電話帳	FOMAカード電話帳
電話帳登録件数		最大1000件※1	最大50件
登録内容	メモリ番号	○	×
	名前	全角16（半角32）文字	全角10（半角21）文字※2
	フリガナ	半角32文字	全角12（半角25）文字※3
	画像・動画	1人につき1件	×
	グループ	「グループなし」および30グループ	「グループなし」および10グループ
	電話番号	1人につき5番号、電話帳全体で最大3005番号※1	1人につき1番号
	電話番号アイコン	○	×
	メールアドレス	1人につき5アドレス、電話帳全体で最大3005アドレス※1	1人につき1アドレス
	メールアドレスアイコン	○	×
	その他の設定※4	○	×

※1 実際に登録できる件数は、各電話帳データの登録内容により少なくなる場合があります。

※2 全角と半角が混在または半角カタカナを含む場合は10文字以内で入力します。

※3 全角と半角が混在の場合は12文字以内で入力します。

※4 設定できる項目は誕生日、テキストメモ、郵便番号／住所、会社名、役職名、URLです。

- お客様のFOMAカードを他のFOMA端末に挿入しても、FOMAカード内の電話帳データを利用できます。

◆名前の表示について

FOMA端末電話帳、FOMAカード電話帳に登録した相手に電話発信を行うと、電話帳に登録している名前と電話番号が発信中、呼出中、通話中の画面に表示されます。着信した場合は、着信／受信時動作設定に従います。
電話帳に登録している名前は、発着信情報を記録しているリダイヤルや着信履歴、電話帳を検索せずに電話番号やメールアドレスを直接入力した場合、伝言メモ、通話中音声メモ、受信メールの発信元、送信／未送信メールの宛先、セレクトメニューの人物などにも表示されます。
2in1がONでAモードのときは、電話帳2in1設定で「B」にした電話帳データの名前は表示されません。また、Bモードのときは、電話帳2in1設定で「A」にした電話帳データの名前は表示されません。

- FOMA端末電話帳に同じ電話番号やメールアドレスで名前が異なる電話帳を登録している場合、最初に登録した電話帳の名前が表示されます。
- FOMA端末電話帳とFOMAカード電話帳に、同じ電話番号やメールアドレスで名前が異なる電話帳を登録している場合、FOMA端末電話帳に登録している名前が表示されます。
- メールを受信した際、発信元のメールアドレスと電話帳に登録しているメールアドレスが@以降のドメイン名も含めて完全に一致すると、電話帳に登録している名前が表示されます。ただし、発信元がｉモード端末の場合は、ドメイン名（@docomo.ne.jp）を省略してメールアドレスを電話帳に登録しても、電話帳に登録している名前が表示されます。メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録してください。

- SMSを受信した際、電話帳に登録している電話番号が一致した場合は電話帳に登録している名前が表示されます。

電話帳登録

FOMA端末電話帳に登録する

- ドコモショップなどの窓口で機種変更時など新機種へ登録内容をコピーする際は、仕様によってはFOMA端末にコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 発着信動作の優先順位→P112、113
- 最大登録件数→P86

1 m▶42
- 電話帳一覧から操作する場合はm2を押します。

2 名前を入力▶C

3 各項目を設定▶C

メモリ番号（No.000～999）：最も小さい空きメモリ番号が割り当てられます。
- 登録済みのメモリ番号を指定すると、登録時に上書き確認画面が表示されます。上書きしないときは「新規登録」を選択し、他のメモリ番号を指定してください。
- 100の位や10の位の頭の0は省略できます。

フリガナ：入力した名前のフリガナが入力されています。
- 名前を修正してもフリガナには反映されません。

画像選択・撮影：発着信時または電話帳データ確認時に表示する画像や動画／iモーションを設定します。着信時は、登録相手が電話番号を通知してきた場合に表示されます。

画像を設定する：1▶**フォルダを選択**▶**画像を選択**

画像のフォルダや一覧の見かた→P272
- 縦横（横縦）のサイズが640×480より大きい画像を選択すると、画像の縮小確認画面が表示されます。
- パラパラマンガは動作しません。

カメラで静止画を撮影して設定する：2▶**静止画を撮影**▶■
- 撮影する静止画のサイズは電話帳用（96×72）に設定されます。

動画／iモーションを設定する：3▶**フォルダを選択**▶**動画／iモーションを選択**

動画／iモーションのフォルダや一覧の見かた→P279
- 映像のみの動画／iモーションが設定できます。
- 電話発信時は最初のコマが表示されます。

カメラで動画を撮影して設定する：4▶**動画を撮影**▶■
- 撮影する動画のサイズはQCIF（176×144）に設定されます。音声は録音されません。

グループ：新規登録時は「グループなし」に設定されています。
Cを押すとグループを追加できます。
グループの追加→P89

電話番号：26桁以内で入力し、アイコンを選択します。
- 1人につき最大5番号登録できます。1件目を登録すると、追加登録する項目が表示されます。
- ポーズ（「P」）、タイマー（「T」）、「＋」、「#」、サブアドレスの区切り（「＊」）を登録できます。
- 「186」または「184」を付けて登録すると、SMS作成時の宛先に選択しても送信できません。

メールアドレス：半角50文字以内で入力し、アイコンを選択します。
- 1人につき最大5アドレス登録できます。1件目を登録すると、追加登録する項目が表示されます。

シークレットコード設定→P95

誕生日：誕生日設定を「ON」にして誕生日を入力します。
テキストメモ：全角100（半角200）文字以内で入力します。
郵便番号／住所：郵便番号は7桁、住所は全角100（半角200）文字以内で入力します。
会社名：全角50（半角100）文字以内で入力します。
役職名：全角50（半角100）文字以内で入力します。
URL：半角256文字以内で入力します。

電話帳別着信設定

電話帳データごとに着信動作を設定する

FOMA端末電話帳の電話帳データごとに音声電話とテレビ電話、またはメールの着信音やイルミネーションなどを設定できます。

- 着信動作の優先順位→P102、103、119

1 [帳]▶**電話帳検索**▶**設定する電話帳データにカーソルを合わせて**[MENU]▶[3][2]▶**各項目を設定**▶[帳]

[TV]：電話とメールの着信設定画面の切り替え

電話着信設定画面

- 「グループなし」で登録すると、すべての項目は「端末設定に従う」に設定されています。グループを選択した場合、テレビ電話代替画像は「端末設定に従う」に、それ以外の項目は「グループ設定に従う」に設定されています。

着信音：「端末設定に従う」にすると、電話着信音、テレビ電話着信音、またはメール着信音に従います。
- 動画／iモーションとミュージックは詳細情報の着信音設定が「可」の場合のみ着信音に設定できます。

ミュージックの設定→P101

着信バイブレータ：「端末設定に従う」にすると、バイブレータ設定に従います。
着信イルミネーションパターン：「端末設定に従う」にすると、イルミネーション設定に従います。
- 「メロディ連動」にすると、着信イルミネーションカラーは「レインボー」で動作します。

着信イルミネーションカラー：「端末設定に従う」にすると、イルミネーション設定に従います。
着信背面表示パターン（電話着信設定のみ）：「端末設定に従う」にすると、背面表示パターン設定に従います。
着信結果背面パターン（メール着信設定のみ）：「端末設定に従う」にすると、背面表示パターン設定に従います。
テレビ電話代替画像（電話着信設定のみ）：「端末設定に従う」にすると、テレビ電話画像選択の設定に従います。

✔お知らせ
- FOMA端末電話帳の詳細画面からの操作：[MENU]→「編集／設定」→「電話帳別着信設定」

FOMAカード電話帳登録

FOMAカード電話帳に登録する

- 最大登録件数→P86

1 MENU▶4 3

- 電話帳一覧から操作する場合はMENU 2を押します。

2 名前を入力▶□

3 各項目を設定▶□

フリガナ：入力した名前のフリガナが入力されています。

- 名前を修正してもフリガナには反映されません。

グループ：新規登録時は「グループなし」に設定されています。

電話番号：26桁以内で入力します。→P48

- ポーズ（「P」）、「+」、「#」、サブアドレスの区切り（「＊」）を登録できます。タイマー（「T」）は入力できますが、登録できません。

メールアドレス：半角50文字以内で入力します。

グループ設定

グループについて設定する

FOMA端末電話帳ではグループの追加や削除、グループごとの発着信動作の設定、並び順の変更ができます。FOMAカード電話帳ではグループ名のみ変更できます。

- 「グループなし」の名前の変更や発着信動作の設定、削除はできません。

〈例〉グループを追加する

1 MENU▶4 1 2

FOMAカード電話帳のグループ名を変更する：
MENU▶4 1 7▶2▶グループにカーソルを合わせて
MENU▶2▶操作3に進む

2 MENU▶2

グループを削除する：グループにカーソルを合わせてMENU▶3▶認証操作▶「はい」

グループとその中の電話帳データが削除されます。

- プライバシーモード中（電話帳・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）でも、シークレット属性を設定している電話帳データは削除されます。
- 「グループなし」ではグループ内の電話帳データのみ削除されます。

グループ名を変更する：グループにカーソルを合わせてMENU▶4

グループの発着信動作を設定する：グループにカーソルを合わせて
MENU▶5▶各項目を設定▶□

発着信画像の設定操作→P87「FOMA端末電話帳に登録する」操作3

その他の項目の設定操作→P88「電話帳データごとに着信動作を設定する」

グループの並び順を変更する：グループにカーソルを合わせて
MENU▶6または7

3 グループ名を入力（全角10（半角20）文字以内）▶[電話帳]

- FOMAカード電話帳の場合は、全角10（半角21）文字以内で入力します。全角と半角が混在、または半角カタカナを含む場合は、10文字以内で入力します。

電話帳検索

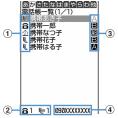
電話帳から電話をかける

電話をかける相手の電話帳データを、FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳から呼び出し、簡単に電話をかけられます。

- プライバシーモード中（電話帳・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）は、シークレット属性を設定している電話帳データまたはグループは検索できません。また、クイックダイヤル、クイックメール、イヤホンスイッチ発信、メール検索も同様です。

1 [電話帳]▶電話帳検索

前回使用した電話帳（FOMA端末電話帳またはFOMAカード電話帳）が表示されます。

- お買い上げ時は全件表示（50音）の電話帳一覧が表示されます。よく利用する検索方法の画面が表示されるように設定を変更できます。→P92

電話帳一覧（全件表示（50音））

① 1件目の電話番号に設定しているアイコン

② カーソル位置の相手に登録されている電話番号およびメールアドレスの件数

③ 電話帳2in1設定で設定したマーク（2in1がONでデュアルモードの場合）

[A]：Aモードの電話帳データ

[B]：Bモードの電話帳データ

[AB]：A／B両モードの電話帳データ

④ カーソル位置の相手の1件目の電話番号

2 相手にカーソルを合わせて[通話]

- テレビ電話をかけるときは、相手にカーソルを合わせて[MENU][1][1]を押し、「発信方法」で「テレビ電話」を選択し、[MENU]を押します。
- 詳細画面から操作する場合は、電話番号を表示して[通話]または[A/a]を押します。
- [MENU][1][1]を押すと、条件を設定して電話をかけられます。→P69
- 2in1がONでデュアルモードのときは、電話帳2in1設定で「A」または「共通」にした相手にはAナンバーで、「B」にした相手にはBナンバーで発信されます。

❖電話帳を利用する

iモードメールを作成する：相手にカーソルを合わせて[電話帳]

- 詳細画面から操作する場合は、メールアドレスを表示して[メール]または[■]を押します。

iモードメールの作成・送信方法→P192

SMSを作成する：相手にカーソルを合わせて[電話帳]（1秒以上）

- 電話番号のみ登録している場合は、[電話帳]を押してもSMSを作成できます。
- 詳細画面から操作する場合は、電話番号を表示して[メール]を押します。

SMSの作成・送信方法→P230

サイトを表示する：相手にカーソルを合わせて[MENU]▶[1][5]

電話帳データをメールに添付する：相手にカーソルを合わせて MENU▶ 1 3
iモードメールの作成・送信方法→P192

送受信したメールを検索する：相手にカーソルを合わせて MENU▶ 1 6 ▶ 1 または 2
- FOMAカード電話帳の場合は、相手にカーソルを合わせて MENU 1 5 を押し、 1 または 2 を押します。

◆検索方法を指定して検索する

- FOMAカード電話帳一覧では、名前の前に□が表示されます。
- 電話帳一覧が複数ページあるときは、□と□でページを切り替えられます。全件表示（50音）以外の検索方法では□でも切り替えられます。

1 MENU▶ 4 1
- 電話帳一覧から操作する場合は MENU 5 を押します。

2 検索方法を指定する

全件表示（50音）： 1 ▶ □で表示する行を選択
- 50音順（あ行→か行→…→わ行）→他（アルファベット、数字、フリガナが空白で始まるもの、記号、フリガナなし順）の順に表示されます。
- フリガナを1文字ずつ入力するたびに、最も近いフリガナの電話帳が検索されます。

グループ検索： 2 ▶ グループを選択
- 同じグループ内の電話帳データは次のフリガナ順に表示されます。50音順→アルファベット順→数字→空白で始まるもの→記号→フリガナなし
- ダイヤルキー 0 ～ 9 、 # 、 * を押すと、それぞれのキーに割り当てられている行が表示されます。
  1 ：あ行　2 ：か行　3 ：さ行　4 ：た行　5 ：な行
  6 ：は行　7 ：ま行　8 ：や行　9 ：ら行　0 ：わ行
  * ／ # ：アルファベット、数字、フリガナが空白で始まるもの、記号、フリガナなし順

ランキング検索※： 3 ▶ 1 または 2
通話回数またはiモードメール送受信回数が多い順に表示されます。
- 最大9999回カウントされます。
- 通話回数とメール回数をリセットするときは、相手にカーソルを合わせて MENU 9 3 を押し、「はい」を選択します。

メモリ番号検索※： 4 ▶ メモリ番号を入力 ▶ □
- 100の位や10の位の頭の0は省略できます。
- 何も入力せずに□を押すと、メモリ番号順の電話帳一覧が表示されます。

電話番号検索： 5 ▶ 電話番号の一部を入力 ▶ □
入力した数字を含む電話番号を検索し、FOMA端末電話帳はメモリ番号順に、FOMAカード電話帳はフリガナ順に電話帳一覧が表示されます。
- 何も入力せずに□を押すと、メモリ番号順またはフリガナ順の電話帳一覧が表示されます。

シークレット検索※： 6
シークレット属性を設定した電話帳データがメモリ番号順に表示されます。

FOMAカード電話帳の検索方法に切り替える： 7
- FOMA端末電話帳の検索方法に切り替えるときは、FOMAカード電話帳の検索方法選択画面で 4 を押します。

※ FOMAカード電話帳では利用できません。

❖ロケットサーチで検索する

ダイヤルキー 0 ～ 9 に割り当てられている文字から電話帳データを検索します。

〈例〉「携帯花子」を検索する

1 2 （か行）▶ □
全件表示（50音）の電話帳一覧が表示されます。

◆優先する検索方法を設定する〈電話帳検索優先設定〉

待受画面で[□]を押して表示される検索方法を設定します。

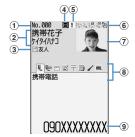
1 [MENU]▶[4][1]▶検索方法にカーソルを合わせて[MENU]

- 設定した検索方法に✔が表示されます。

✔お知らせ

- ランキング検索またはメモリ番号検索を優先設定していても、前回FOMAカード電話帳を検索した場合には、待受画面で[□]を押したときにFOMAカード電話帳の全件表示（50音）の電話帳一覧が表示されます。

◆電話帳の詳細を確認する

1 [□]▶電話帳検索▶電話帳データを選択

FOMA端末電話帳の詳細画面（電話番号）

① **メモリ番号**
② **名前、フリガナ**
③ **グループマーク、グループ名**
④ **電話帳2in1設定で設定したマーク（2in1がONでデュアルモードの場合）**
　A：Aモードの電話帳データ
　B：Bモードの電話帳データ
　AB：A／B両モードの電話帳データ
⑤ **着信許可／拒否設定、発番号設定、シークレットコードのいずれかを設定**
⑥ **着信音などの設定状態（電話／メール）※1**
　♪／♪：着信音
　／：着信バイブレータ
　／：着信音と着信バイブレータ
　／：着信イルミネーションパターン／着信イルミネーションカラー／着信イルミネーションパターンとカラー
　／：背面パターン
　／：着信イルミネーションパターンとカラーと背面パターン
　：テレビ電話代替画像（電話のみ）
⑦ **画像※2**
⑧ **登録したアイコン、アイコン種別**
⑨ **各登録項目**

※1　電話帳別着信設定で設定しているとアイコンが色付きで表示されます。
※2　画像／名前表示切替の設定に従って表示されます。

[◎]：前後の電話帳データの詳細画面の表示
[◎]：登録した各項目の表示
- 電話番号やメールアドレスを複数登録している場合でも、[◎]を押して各項目を表示できます。

累積情報を確認する：電話番号またはメールアドレスの詳細画面で[□]

累積回数と最終日時が表示されます。
- 累積情報画面で[□]を押すと、通話とメールの累積をまとめてリセットできます。

基本情報を確認する：[MENU]▶[9][1]

名前、フリガナ、1件目の電話番号およびメールアドレスなどが表示されます。名前やフリガナは省略されずにすべて表示されます。

◆詳細画面の表示を切り替える〈画像／名前表示切替〉

- お買い上げ時は、「画像登録時のみ表示」に設定されています。
- 電話帳、リダイヤル、着信履歴、メール送受信履歴、プロフィール情報の画像／名前表示切替設定はそれぞれに反映されます。

1 **[電話帳]▶電話帳検索▶電話帳データを選択▶[MENU]▶[9][4]▶[1]～[3]**

- FOMAカード電話帳から操作する場合は、[MENU][9][3]を押し[1]～[3]を押します。

画像表示優先：画像が表示されます。名前は全角5（半角11）文字まで、フリガナは半角11文字まで表示されます。

名前表示優先：画像が表示されません。名前は全角9（半角19）文字まで、フリガナは半角19文字まで表示されます。

画像登録時のみ表示：画像を登録しているときは「画像表示優先」、登録していないときは「名前表示優先」の設定で表示されます。

電話帳修正

電話帳を修正する

◆登録内容を修正する

1 **[電話帳]▶電話帳検索▶電話帳データにカーソルを合わせて[MENU]▶[3][1]▶電話帳データを修正**

各設定項目→P87「FOMA端末電話帳に登録する」操作2～3、P89「FOMAカード電話帳に登録する」操作2～3

2 **[電話帳]**

登録方法の選択確認画面が表示されます。

- 上書き登録すると以前登録されていた電話帳データは破棄されます。

✔お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面からの操作：[MENU]→「編集／設定」→「編集」
- FOMAカード電話帳からの操作：[MENU]→「編集」
- FOMAカード電話帳では、電話番号に「＊」が含まれていると上書き登録ができないことがあります。
- 複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、1件目の電話番号やメールアドレスを削除すると、2件目以降が繰り上げ登録されます。

◆登録内容をコピーする

コピーした内容は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けられます。

- コピーした文字は最新の1件だけが電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。

1 **[電話帳]▶電話帳検索▶コピー元の電話帳データにカーソルを合わせて[MENU]▶[6]▶[1]～[8]**

該当項目のデータが一時的に記録されます。電話番号とメールアドレスは、1件目の内容がコピーされます。

- FOMAカード電話帳から操作する場合は、[MENU][6]を押し[1]～[3]を押します。
- 2件目以降の電話番号、メールアドレスをコピーするときは、詳細画面でコピーする電話番号またはメールアドレスを表示して、[MENU][6]を押し[2]または[3]を押します。

2 **貼り付け先の文字入力画面を表示▶文字を貼り付ける**

文字の貼り付け方法→P363

◆電話番号やメールアドレスの順番を入れ替える

FOMA端末電話帳の電話帳データに複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合に、電話番号やメールアドレスの順番を入れ替えます。

〈例〉電話番号の順番を入れ替える

1 [電話帳]▶電話帳検索▶電話帳データにカーソルを合わせて [MENU]▶[3][3][1]

- メールアドレスの順番を入れ替えるときは[MENU][3][3][2]を押します。

2 1件目にする電話番号を選択

選択した電話番号と1件目の電話番号が入れ替わります。

✔お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面からの操作：[MENU]→「編集／設定」→「入替え」→「電話番号入替え」または「メールアドレス入替え」

◆メモリ番号を入れ替える

FOMA端末電話帳の2つの電話帳データのメモリ番号を入れ替えます。

1 [電話帳]▶電話帳検索▶電話帳データにカーソルを合わせて [MENU]▶[3][3][3]▶入れ替え先の電話帳データを選択

✔お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面からの操作：[MENU]→「編集／設定」→「入替え」→「メモリ番号入替え」

電話帳をコピーする

FOMA端末電話帳をFOMAカード電話帳にコピーしたり、FOMAカード電話帳をFOMA端末電話帳にコピーしたりします。

- FOMA端末電話帳をmicroSDメモリーカードへコピーすることもできます。→P293
- コピー先に同じ名前のグループがある場合は、そのグループにコピーされます。
- FOMAカード電話帳に保存できる最大文字数を超えた部分は削除されます。

〈例〉FOMA端末電話帳からFOMAカード電話帳へコピーする

1 [電話帳]▶電話帳検索▶[MENU]▶[7][1]▶電話帳データを選択▶[電話帳]

- FOMAカード電話帳からFOMA端末電話帳へコピーする場合は、[MENU][7]を押して電話帳データを選択し、[電話帳]を押します。

✔お知らせ

- FOMA端末電話帳からFOMAカード電話帳へコピーすると、電話番号に登録しているタイマー（「T」）は削除されます。
- 電話番号のアイコンはすべて[電話]に、メールアドレスは[メール]に置き換えられます。

電話帳削除

電話帳を削除する

- 全件削除すると、作成したグループはすべて削除されます。
- FOMAカード電話帳の電話帳データは全件削除できません。

〈例〉FOMA端末電話帳の電話帳データを削除する

1 [電話帳]▶電話帳検索

2 電話帳データにカーソルを合わせて[MENU]▶[4]▶[1]または[2]▶「はい」

- 「全件削除」を選択した場合は、認証操作を行います。

FOMAカード電話帳から削除する：相手にカーソルを合わせて[MENU]▶[4]▶「はい」

✔お知らせ
- 電話帳の詳細画面からの操作：[MENU]→「電話帳削除」

電話帳に各種機能を設定する

- FOMAカード電話帳の電話帳データには設定できません。

◆電話番号ごとに発信者番号通知／非通知を設定する〈発番号設定〉

- お買い上げ時は、「設定なし」に設定されています。
- 番号通知方法の優先順位→P58

1 [電話帳]▶電話帳検索▶電話帳データにカーソルを合わせて[MENU]▶[3][4][2]▶認証操作▶電話番号を選択▶[1]～[3]

- 「設定なし」にすると、発信者番号通知設定に従って動作します。

✔お知らせ
- FOMA端末電話帳の詳細画面からの操作：[MENU]→「編集／設定」→「詳細設定」→「発番号設定」

◆メールアドレスにシークレットコードを設定する〈シークレットコード設定〉

相手がメールアドレス（携帯電話番号@docomo.ne.jp）にシークレットコードを登録している場合は、そのシークレットコードを電話帳データのメールアドレスに設定しておくと、電話帳を検索してｉモードメールを作成するときに自動的にシークレットコードが付加されます。

1 [電話帳]▶電話帳検索▶電話帳データにカーソルを合わせて[MENU]▶[3][4][4]▶認証操作▶メールアドレスを選択

2 4桁のシークレットコードを入力

解除する：シークレットコードを削除▶[■]

✔お知らせ
- FOMA端末電話帳の詳細画面からの操作：[MENU]→「編集／設定」→「詳細設定」→「シークレットコード設定」
- 設定したシークレットコードは、電話帳データの詳細画面やｉモードメール作成時の宛先などには表示されません。シークレットコードの設定と同様の操作で確認できます。
- メールアドレスを「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」と登録している場合は、その相手にメールを送信できません。

シークレット属性

他人に見られたくない電話帳を守る

電話帳データまたはグループにシークレット属性を設定します。プライバシーモード中（電話帳・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）は、シークレット属性を設定した電話帳データまたはグループは表示されません。

- FOMAカード電話帳の電話帳データまたはグループには設定できません。
- シークレット属性を変更すると、電話帳を終了し待受画面に戻ったときに、シークレット反映の実行確認画面が表示されます。
- プライバシーモードの設定→P131

◆電話帳データにシークレット属性を設定する

1 [帳] ▶ 電話帳検索 ▶ 電話帳データにカーソルを合わせて [MENU] ▶ [3][4][1]

カーソル位置の電話帳データにシークレット属性を設定していると[鍵]が点滅

解除する：[帳] ▶ 電話帳検索 ▶ 電話帳データにカーソルを合わせて [MENU] ▶ [3][4][1]

✔お知らせ

- FOMA端末電話帳の詳細画面からの操作：[MENU]→「編集／設定」→「詳細設定」→「シークレット属性設定」

◆グループにシークレット属性を設定する

- シークレット属性を設定したグループ内の電話帳データにはシークレット属性は設定されません。ただし、シークレット属性を設定した電話帳データと同様の動作をします。
- 「グループなし」には設定できません。

1 [MENU] ▶ [4][1][2] ▶ グループにカーソルを合わせて [MENU] ▶ [8]

- カーソル位置のグループにシークレット属性を設定していると[鍵]が点滅します。

解除する：[MENU] ▶ [4][1][2] ▶ グループにカーソルを合わせて [MENU] ▶ [8]

登録件数確認

電話帳の登録件数を確認する

- プライバシーモード中（電話帳・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）は、シークレット属性を設定しているFOMA端末電話帳の電話帳データの件数は表示されません。

1 [帳] ▶ 電話帳検索 ▶ [MENU] ▶ [9][2]

クイックダイヤル

少ないキー操作で電話をかける

FOMA端末電話帳のメモリ番号が0〜99の相手には、簡単な操作で電話をかけられます。

- 複数の電話番号を登録している場合、1件目の電話番号が発信対象になります。

〈例〉メモリ番号2の電話番号に電話をかける

1 メモリ番号（[2]）を入力 ▶ [発信]または[A/a]

電話帳お預かりサービス

電話帳をお預かりセンターに保存（復元・更新）する

FOMA端末電話帳の電話帳データをお預かりセンターに保存します。保存した電話帳データは、お預かりセンターに接続してFOMA端末に復元・更新できます。

- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとすると、その旨をお知らせする画面が表示されます。
- 自動更新や復元などの詳細は『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- FOMAカード電話帳に登録している電話帳データは保存できません。

◆ 電話帳を保存／更新する

1 MENU ▶ 6 8 1 ▶「はい」▶ 認証操作

■：保存を中止

FOMA端末電話帳から操作する：📖 ▶ 電話帳検索 ▶ MENU ▶ 7 4 ▶「はい」▶ 認証操作

2 通信結果を確認する

- 通信結果の表示は約5秒後に消えます。

✔お知らせ

- 電話帳の自動更新時に他の機能が起動している場合は、待受画面に戻ると自動更新を開始します。FOMA端末の電源を切ったときや圏外にいるとき、FOMAカードが挿入されていないときは自動更新されません。
- 電話帳の自動更新に失敗したときは、待受画面にマークなどは表示されません。電話帳通信履歴表示で確認できます。
- お預かりセンターに接続中に音声電話やテレビ電話がかかってきたときの動作は次のとおりです。
  - 電話帳に登録している相手からの着信の場合でも、相手の名前や画像は表示されず電話番号のみ表示されます。また、電話帳に設定している着信音やバイブレータなどは動作せず、FOMA端末の設定に従います。
  - メモリ別着信拒否／許可設定、メモリ登録外着信拒否、呼出動作開始時間設定は動作しません。
  - 着もじは受信しません。
- 電話帳のグループの並び順は、復元しても保存したときの並び順に戻らない場合があります。

◆ お預かりセンターを利用した履歴を確認する〈電話帳通信履歴表示〉

- 通信履歴は最大30件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 MENU ▶ 6 8 2 ▶ 履歴を選択

◆ 電話帳に登録した画像を送信するかどうかを設定する〈送信設定〉

1 MENU ▶ 6 8 3 ▶ 電話帳内画像送信欄を選択 ▶ 1 または 2 ▶ 📖

音／画面／照明設定

音の設定

画面／照明の設定

着信時の動作を設定する

- 本設定は、電話着信音、メール・メッセージ着信音、電話発着信画像設定の電話着信設定／テレビ電話着信設定、バイブレータ設定、イルミネーション設定にも反映されます。

◆電話着信時の動作を変更する〈電話着信設定／テレビ電話着信設定〉

〈例〉音声電話着信時の動作を設定する

1 MENU▶8512▶各項目を設定▶□

テレビ電話着信時の動作を変更する：MENU▶8612▶各項目を設定▶□

着信音：着信音を設定します。

- 「メロディ」「着モーション」「ミュージック」のいずれかを選択した場合は着信音を選択します。「着モーション」に音声と映像のある動画／iモーションを設定すると、イメージ表示は「着信音連動」になります。
  ミュージックの設定→P101

イメージ表示：表示画像を設定します。

- 「標準画像」に設定すると、お買い上げ時の画像が表示されます。
- 「イメージ」を選択した場合は、イメージ一覧欄を選択し、画像を選択します。
- 「iモーション」を選択した場合は、動画一覧から動画／iモーションを選択します。

バイブレータ：バイブレータの動作パターンを設定します。

イルミネーション：ランプの点灯パターンと色を設定します。

- 点灯パターンを「メロディ連動」に設定すると、着信音に合わせて「レインボー」で点滅します。

◆メッセージR/F着信時の動作を変更する〈メッセージR着信設定／メッセージF着信設定〉

1 □▶73▶4または5▶各項目を設定▶□

着信音選択：着信音を設定します。

- 「メロディ」「着モーション」「ミュージック」のいずれかを選択した場合は着信音を選択します。
  ミュージックの設定→P101

着信イルミネーション設定／バイブレータ設定：各設定項目→P100「電話着信時の動作を変更する」

鳴動時間（秒）：着信音が鳴ったり、バイブレータが動作したりする時間を1～30秒の範囲で設定します。

◆メール着信時の動作を変更する〈メール着信設定〉

1 □▶91▶各項目を設定▶□

各設定項目→P100「メッセージR/F着信時の動作を変更する」

◆チャットメール着信時の動作を変更する〈チャットメール着信設定〉

1 □▶92▶各項目を設定▶□

着信動作設定：メールの着信動作に従うか、着信時の動作を設定するかを設定します。

- 「設定する」にすると、次の項目を設定できます。

着信音選択／着信イルミネーション設定／バイブレータ設定／鳴動時間（秒）：各設定項目→P100「メッセージR/F着信時の動作を変更する」

✔お知らせ

- 電話着信設定、テレビ電話着信設定のイメージ表示にパラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。
- 電話着信設定、テレビ電話着信設定で、ミュージックまたは音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を着信音に設定しているときに、イメージ表示を映像のみの動画／ｉモーションまたはFlash画像に設定し直すと、着信音はお買い上げ時の設定に戻ります。メロディは変更できます。
- 動画／ｉモーションによっては、電話着信設定、テレビ電話着信設定のイメージ表示に設定できない場合があります。また、音声のある動画／ｉモーションは設定できません。
- バイブレータ（バイブレータ設定）、イルミネーション（着信イルミネーション設定）を「メロディ連動」に設定しても、メロディによっては連動しない場合があります。

電話着信音／メール・メッセージ着信音

電話やメール・メッセージの着信音などを変える

- 着信音に動画／ｉモーションを設定すると、着信時に映像や音が再生されます（着モーション）。
- 本設定は、電話着信設定、テレビ電話着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージR着信設定、メッセージF着信設定にも反映されます。
- お買い上げ時に登録されている着信音用メロディ→P411

〈例〉電話着信時の音を設定する

1 MENU ▶ 8 1 1

2 1 1

テレビ電話着信時の音を設定する：1 2

メール、チャットメール、メッセージR/Fの着信音を設定する：2 ▶ 1～4

3 電話欄※を選択 ▶ 1～5 ▶ 回

- 「メロディ」「着モーション」「ミュージック」のいずれかを選択した場合は、着信音を選択します。
  ミュージックの設定→P101
- チャットメール着信音では「メール連動」が選択できます。「メール連動」を選択するとメールの設定で動作します。

※ 操作2で選択した各機能名が表示されます。

❖ミュージックを設定するには

各着信音にミュージック（着うたフル®）を設定するには、ミュージック全体を設定する「まるごと着信音設定」と、あらかじめ決められている部分を選択して設定する「オススメ着信音設定」の2種類の方法があります。

〈例〉まるごと着信音を設定する

1 各設定で「ミュージック」▶ フォルダを選択

2 設定するミュージックを選択

- microSDメモリーカードのミュージックを選択すると確認画面が表示されます。「はい」を選択するとミュージックが本体に移動され、着信音に設定されます。

オススメ着信音を設定する：ミュージックにカーソルを合わせて ✉ ▶ 項目を選択

- microSDメモリーカードの会員制以外の着うたフル®を選択した場合、着信音として設定する部分を切り出して、ｉモーションフォルダに保存する確認画面が表示されます。「はい」を選択して、表示名を入力し、回を押します。切り出されたミュージックはコンテンツ移行対応のｉモーションとして、ｉモーションの「ｉモード」フォルダに保存されます。

✔お知らせ

- 次のデータは着信音に設定できません。
  - 映像のみの動画／ｉモーション
  - 詳細情報（→P302）の着信音設定が「不可」の動画／ｉモーション
  - 詳細情報（→P323）のまるごと着信音設定とオススメ着信音設定が「不可」のミュージック
- 電話着信音やテレビ電話着信音の設定では、次のような場合、着信時の画像が標準画像になります。ただし、電話着信設定やテレビ電話着信設定で画像を変更できます。
  - 着信音を映像のある動画／ｉモーションからミュージック、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）、メロディに変更した場合
  - 着信時の画像に映像のみの動画／ｉモーションまたはFlash画像を設定しているときに、着信音に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定した場合

❖着信音の優先順位

複数の機能で着信音を設定している場合は、次の優先順位で着信音が鳴ります。

①マルチナンバーの着信設定
②FOMA端末電話帳の電話帳別着信設定
③FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
④電話着信音／テレビ電話着信音／メール着信音／電話着信設定／テレビ電話着信設定／メール着信設定／Bナンバー着信設定

- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合、音声電話の着信音は発番号なし動作設定に従います。テレビ電話の着信音はテレビ電話着信音／テレビ電話着信設定／Bナンバー着信設定の設定に従います。

アラーム音

目覚まし音とスケジュール音を設定する

〈例〉目覚まし音を設定する

1 MENU ▶ 8 1 1 3

2 1 ▶ 目覚まし音欄を選択 ▶ 1 ～ 4

- 「メロディ」「ｉモーション」「ミュージック」のいずれかを選択した場合は、アラーム音を選択します。「ｉモーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定すると、表示される画像は動画／ｉモーションの映像になります。
  ミュージックの設定→P101

スケジュール音を設定する：2 ▶ アラーム欄または予告アラーム欄を選択 ▶ 1 ～ 3

3 📖

音量設定

着信音やアラーム音などの各種の音量を設定する

- 各設定で変更できる音量は次のとおりです。

電話着信音量：音声電話、テレビ電話の着信音量を設定します。通話料金上限通知のアラーム音量はこの設定に従います。

メール・メッセージ着信音量：メール、チャットメール、メッセージR/Fの着信音の音量を設定します。

受話音量：音声電話、テレビ電話の受話音量を設定します。伝言メモ、音声メモの再生音、画像へのスタンプ貼り付けとテキスト貼り付けの効果音の音量はこの設定に従います。

目覚まし音量：目覚ましの音設定画面で音量を「端末設定に従う」に設定したときの音量を設定します。お知らせタイマーの音量はこの設定に従います。

スケジュール音量：スケジュールのアラーム音や予告アラーム音の音量を設定します。

ｉアプリ音量：ｉアプリから鳴る音の音量を設定します。

トルカ取得音量：トルカの取得が完了したときに鳴る音の音量を設定します。トルカ取得確認設定のトルカ取得音量にも反映されます。

キー／開閉操作音量：キー確認音、端末の開閉操作音の音量を設定します。

メロディ音量：メロディの音量を設定します。メロディの動作設定の音量にも反映されます。メールやメッセージR/Fに添付されたメロディ再生時の音量はこの設定に従います。

1 MENU ▶ 8 1 2 ▶ 1 ～ 8

- アラーム音量を選択したときは、さらに 1 または 2 を選択します。

2 ▶ ■

- 受話音量は「Silent」と「Steptone」を設定できません。ｉアプリ音量、トルカ取得音量、キー／開閉操作音量、メロディ音量は、「Steptone」を設定できません。
- 電話着信音量を「Silent」に設定すると、待受画面に S が表示されます。また、同時に電話着信時のバイブレータを設定しているときは SV が表示されます。

バイブレータ設定

着信やアラームを振動で知らせる

- 64Kデータ通信着信時のバイブレータの動作は、音声電話着信時の設定に従います。
- 本設定は、電話着信設定、テレビ電話着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージR着信設定、メッセージF着信設定、ｉアプリ設定のバイブレータ設定にも反映されます。
- バイブレータ動作時にFOMA端末が机の上などにあると、振動が原因で落下するおそれがあります。

〈例〉音声電話、テレビ電話着信時のバイブレータを設定する

1 MENU ▶ 8 1 3

2 1 ▶ 1 または 2

メール、チャットメール、メッセージR/F着信時のバイブレータを設定する：2 ▶ 1 ～ 4

- チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、チャットメール着信時の設定不可を示す画面が表示されます。

目覚まし、スケジュールのアラーム鳴動時のバイブレータを設定する：3 ▶ 1 または 2

ｉアプリ利用時のバイブレータを設定する：4

3 1 ～ 5

バイブレータが設定され、着信時やアラーム通知時にFOMA端末が振動します。

- 「パターンA」「パターンB」「パターンC」にカーソルを合わせると、カーソル位置のパターンで振動します。
- 「メロディ連動」に設定すると、着信音などに設定したメロディに合わせて振動します。ただし、メロディによっては連動しないことがあります。
- ｉアプリ利用時のバイブレータを設定するときは、「ON」または「OFF」を設定します。
- 電話着信時のバイブレータを設定すると、電話着信音量が「Level1」以上のときは待受画面に V が表示されます。電話着信音量が「Silent」のときは SV が表示されます。

❖バイブレータの優先順位

複数の機能でバイブレータを設定している場合は、次の優先順位でFOMA端末が振動します。

①FOMA端末電話帳の電話帳別着信設定
②FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③バイブレータ設定／電話着信設定／テレビ電話着信設定／メール着信設定

✔お知らせ
- 通話中に着信があった場合は振動しません。
- 「OFF」のときでも、Flash画像の動作時に振動する場合があります。

キー確認音

キー確認音を設定する

キーを押したとき（[]を除く）に鳴る音を変更します。音が鳴らないように設定することもできます。
- 電池レベル表示時の音と、データ送受信設定の通信終了音を「ON」に設定中の通信終了音は、本設定に従って鳴ります。

1 [MENU]▶[8][1][1][4][1]▶[1]～[4]

✔お知らせ
- キー確認音が鳴るように設定しても、ｉアプリの起動中はキー確認音が鳴りません（[MULTI]を除く）。

静止画撮影シャッター音／動画撮影シャッター音

シャッター音を設定する

静止画撮影時や動画撮影時（サウンドレコーダー録音時も含む）のシャッター音を設定します。
- 本設定は、静止画詳細設定と動画／録音詳細設定のシャッター音にもそれぞれ反映されます。

1 [MENU]▶[8][1][1][4]▶[2]または[3]▶[1]～[5]

開閉操作音

開閉操作音を設定する

FOMA端末を開閉したときに鳴る音を変更します。

1

充電確認音

充電時の確認音を設定する

充電の開始時と完了時に確認音を鳴らすかどうかを設定します。

1

✔お知らせ
- 「ON」に設定しても、次の場合は充電確認音は鳴りません。
  - マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中、音声電話中、テレビ電話中、64Kデータ通信中、ｉモード中、パケット通信中

通話保留音

通話保留音を設定する

1 [MENU]▶[8][1][1][6][2]▶[1]～[3]

通話品質アラーム音

通話が切れそうなときにアラームで知らせる

音声電話の通話状態が悪く、途中で通話が途切れる可能性のある場合、直前にアラームを鳴らして知らせるかどうかを設定します。
- 急に通話状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れることがあります。

1 [MENU]▶[8][1][1][6][3]▶[1]～[3]

✔お知らせ

・音声電話中に設定する場合は、MENUを押し「通話品質アラーム音」を選択します。

再接続アラーム音

途切れた通話を再接続するときのアラームを設定する

トンネルやビルの陰などで電波状態が悪くて途切れた音声電話、テレビ電話を、電波状態がよくなったときに再接続する際のアラームを設定します。

・電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
・利用状態や電波状態により、再接続されるまでの時間は異なります。目安は最長10秒間です。
・再接続されるまでの時間（最長10秒間）も通話料金がかかります。
・利用状態や電波状態により、アラームが鳴らずに通話が切れる場合があります。

1 MENU ▶ 8 1 1 6 4 ▶ 1～3

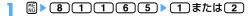
✔お知らせ

・音声電話中に設定する場合は、MENUを押し「再接続アラーム音」を選択します。

電池アラーム音

電池アラーム音を設定する

電池が切れそうなとき、アラームを鳴らすかどうかを設定します。

1

✔お知らせ

・通話中に電池が切れそうになると、「OFF」に設定していても受話口からアラームが鳴ります。

マナーモード

電話から鳴る音を消す

周囲の迷惑にならないように、着信を振動で知らせたり、キーを押したときの確認音を消したりして、FOMA端末からの音を鳴らさないように設定します。

◆マナーモードを起動する

1 **#（1秒以上）**

マナーモード選択で指定したマナーモードが起動し、待受画面に（通常マナーモード中）または（オリジナルマナーモード中）が表示されます。

・お買い上げ時は、FOMA端末を閉じた状態でを1秒以上押しても、マナーモードを起動／解除できます。ただし、ワンタッチアラームを起動できる状態のときにを1秒以上押すと、マナーモードは起動せずワンタッチアラームが鳴動しますのでご注意ください。

背面表示部の見かた→P39

解除する：#（1秒以上）

❖通常マナーモードを起動すると

着信音、キー確認音、端末の開閉操作音、アラームなどFOMA端末から出る音を消し、着信をバイブレータ（振動）でお知らせします。また、マイクの感度が上がり、小さな声でも通話できます。

- 次の場合は、バイブレータの動作は「パターンA」になります。
  - 音声電話着信時、テレビ電話着信時、メール受信時、64Kデータ通信着信時
  - お知らせタイマーで設定した時間が経過したとき
  - スケジュールで指定した日時になったとき
- 目覚ましで指定した時刻になると、バイブレータは目覚ましの設定に従って動作します。
- 添付ファイル自動再生設定を「自動再生する」に設定して送受信メールやメッセージR/Fを表示しても、メロディは自動再生されません。
- 音声のある動画／ｉモーションの再生時には、音声の再生確認画面が表示されます。「はい」を選択すると音声や映像が再生されます。映像がある動画／ｉモーションの場合は「いいえ」を選択すると映像のみが再生されます。
- メロディやミュージックの再生時には、再生確認画面が表示されます。「はい」を選択すると再生されます。
- リラックスモードプラスの再生時には、音声の再生確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると、画像やイルミネーションのみが再生されます。

✔お知らせ

- マナーモード中でも、シャッター音は鳴ります。

◆オリジナルマナーモードを設定する〈マナーモード選択〉

1 MENU▶8 1 4

2 2

通常マナーモードを設定する：1

3 各項目を設定▶[書]

バイブレータ：電話の着信中やメール受信中にバイブレータを動作させるかどうかを設定します。
- 「ON」にすると、着信や受信をバイブレータ設定に従って振動で知らせます。ただし、バイブレータ設定が「OFF」の場合は、「パターンA」で振動します。

キー確認音：キー確認音を設定します。

開閉操作音：端末の開閉操作音を設定します。

電話着信音量：音声電話、テレビ電話の着信音量を設定します。

メール着信音量：メールの着信音量を設定します。

メロディ音量：メロディの音量を設定します。
- メールやメッセージR/Fに添付されたメロディ再生時の音量にも反映されます。

トルカ取得音量：読み取り機からトルカを取得したときの確認音の音量を設定します。

ワンタッチアラーム音：ワンタッチアラーム設定が「ON」のとき、ワンタッチアラームを動作させるかどうかを設定します。

電池アラーム音：電池が切れそうなとき、アラームを鳴らすかどうかを設定します。

目覚まし音：お知らせタイマーの音や目覚まし音を鳴らすかどうかを設定します。
- 「ON」にすると、目覚まし音は目覚ましの設定に従って鳴ります。

スケジュール音：スケジュールアラームの音を鳴らすかどうかを設定します。
- 「ON」にすると、スケジュール音の設定とスケジュール音量の設定に従って鳴ります。

ｉアプリ音：ｉアプリの音を鳴らすかどうかを設定します。
- 「ON」にすると、ｉアプリ音量の設定に従って鳴ります。

イミテーションコール音：イミテーションコールの着信音を鳴らすかどうかを設定します。

マイク感度UP：マイクの感度を上げるかどうかを設定します。

コーディネイト／きせかえ

FOMA端末の画面をコーディネイトする

ディスプレイの待受画面やメニューアイコン、時計デザイン、電池アイコン、アンテナアイコンなどの画面のデザインは、FOMA端末のカラーに合わせてコーディネイトされています。他のカラーに対応したコーディネイトにも変更できます。

◆コーディネイトを設定する

1 MENU▶8 3 1

2 1～9

- 文字サイズ設定の一括設定が「最大」に設定されていないときに「アドバンストモード」を選択した場合は、文字サイズ変更確認画面が表示されます。
- 🔍を押すとカーソル位置のコーディネイトを確認できます。

きせかえツールを設定する：**6▶フォルダを選択▶設定するきせかえツールにカーソルを合わせて📖▶「はい」**

- きせかえツール内のデータが一括で設定されます。
きせかえツールの利用→P116

◆オリジナルのコーディネイトを作成する

各設定項目をカスタマイズして、3種類のオリジナルのコーディネイトを作成できます。

1 MENU▶8 3 1

2 **7～9のいずれかにカーソルを合わせて📖▶各項目を設定▶📖**

タイトル：全角10（半角20）文字以内で入力します。

スクリーン設定：ディスプレイの表示色の配色を設定します。

待受画像設定：待受画面に表示する画像を設定します。静止画、GIFアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像を設定できます。

待受時計／形式／表示位置／曜日：待受画面に時計を表示するかどうか、表示する時計のデザイン、形式、表示位置、曜日の表示の種類を設定します。
時計表示設定の項目→P121「時計の表示を設定する」操作1

電池アイコン：電池アイコンの種類を設定します。

メニューデザイン：ノーマルメニュー使用時のアイコンのデザインを設定します。

- 待受画面でMENUを押したときに表示される1階層目のメニューと次の2階層目のメニューのデザインが設定されます。

アンテナアイコン：アンテナアイコンの種類を設定します。

開閉イルミネーション：開閉時のイルミネーションを設定します。

新着アニメ：新着情報があったときの新着アニメを設定します。

背面表示パターン設定：背面表示の「時計パターン」、「開閉動作パターン」、「着信パターン」、「メール受信中パターン」、「メール着信結果パターン」をそれぞれ選択します。

✔お知らせ

- 設定中のコーディネイトを編集しても設定は反映されません。再び設定してください。
- 新着アニメの設定一覧に「すべての着信」がないときは、コーディネイトの新着アニメや背面表示パターン設定を設定しても動作しません。

ライフスタイル設定

ライフスタイルに応じて待受画面やマナーモードなどを切り替える

指定した時間に待受画面を切り替えたり、マナーモードやプライバシーモードを起動したりするように設定します。1回のみ行うか、毎日繰り返し行うか、毎週同じ曜日に行うかを選択できます。

- 最大18件登録できます。

1 **MENU▶8 3 2▶タイトルを選択**

設定中のライフスタイル設定には、タイトルの左に🕒が表示されます。

設定／解除する：タイトルにカーソルを合わせて[MENU]

2 各項目を設定▶[田]

時刻：切り替えを行う時刻を24時間制で入力します。
繰り返し：切り替えの繰り返しの動作を設定します。
- 「曜日指定」を選択した場合は、「曜日選択」を選択し、曜日を選択して[田]を押します。

タイトル：全角10（半角20）文字以内で入力します。
トータルコーディネイト：コーディネイトを変更するかどうかを設定します。
- 「変更する」を選択した場合は、コーディネイトを選択します。

マナーモード：マナーモードを起動するかどうかを設定します。
- 「ON」にすると、マナーモード選択で設定したマナーモードが起動します。

プライバシー：プライバシーモードを起動するかどうかを設定します。
- 「ON」にすると、プライバシーモード設定で設定したプライバシーモードが起動します。

✔お知らせ
- トータルコーディネイトを「変更する」に設定している場合は、本機能で指定した時刻になると、待受画面に設定している画像、動画／ｉモーション、キャラ電、ランダムイメージ設定は解除されます。ただし、ｉチャネルのテロップ表示は解除されません。
- ｉアプリ待受画面を設定している間は、本機能は動作しません。
- 設定されている項目が複数あり、動作時刻が同じ場合は、ライフスタイル設定一覧で最も上にあるものが動作します。
- ライフスタイル設定とアラームを同じ時刻に設定した場合は、アラームが動作した後にライフスタイル設定が動作します。
- 指定した時刻に電源が切れている場合は、電源を入れたときに、まだ動作していないライフスタイル設定が順に動作します。

待受画面設定

待受画面の表示を変更する

待受画面に、画像や動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリを設定したり、フォルダ内の画像をランダムに表示するように設定したりできます。また、新着情報やカレンダー、スケジュールなどを表示するように画面をカスタマイズできます。時計の表示（→P121）、電池アイコンやアンテナアイコンの表示（→P118）、ｉチャネルのテロップ表示（→P189）も設定できます。

- 画像や動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリによっては、ダウンロード時と同じFOMAカードを挿入していないと待受画面設定が無効になります（FOMAカード動作制限機能）。
- 「プリインストール」フォルダ内のデータを設定している場合は、パーソナルデータロック中でも設定した待受画面が表示されます。

◆画像／動画／ｉモーション／キャラ電を待受画面に設定する

ｉモードのサイトやメールから取得した画像、動画／ｉモーション、キャラ電、FOMA端末で撮影した静止画や動画などを待受画面に設定します。また、GIFアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像なども設定できます。

1 [MENU]▶[8][2][1][1]

2 [1]または[3]～[4]

3 フォルダを選択▶画像、動画／ｉモーション、キャラ電を選択

- microSDメモリーカードに保存されている画像や動画／ｉモーションは選択できません。FOMA端末に移動またはコピーしてから選択してください。

キャラ電のアクションを設定する：**キャラ電一覧画面でキャラ電にカーソルを合わせて[MENU]▶待受アクション設定画面で各項目を設定▶[田]**
各設定項目→P287「待受画面に設定する」操作①

4 「はい」

- 動画／ｉモーションを待受画面に設定すると、最初のコマが表示されます。
- 選択した画像、動画／ｉモーション、キャラ電が拡大表示できる場合は、等倍表示するか拡大表示するかの確認画面が表示されます。「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて画像が拡大されて待受画面に表示されます。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面解除の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除されます。
- テロップ表示設定のテロップ表示を「表示する」に設定している場合に、動画／ｉモーションまたはキャラ電を選択すると、テロップ表示が解除されます。
- ｉアプリ待受画面が設定されていない場合で、待受画面の動画／ｉモーションやキャラ電を解除すると、テロップ表示設定のテロップ表示は「表示する」に設定されます。

❖待受画面に設定した動画／ｉモーションやアニメーション、キャラ電を再生するには

- 動画／ｉモーションの場合は次の操作ができます。
  [ー]／FOMA端末を開く：再生
  [CLR]／[ー]：停止
  [▯]：ミュート（消音）／ミュート解除
- GIFアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像の場合は次の操作ができます。
  FOMA端末を開く／待受画面に戻る／電源を入れる：再生
  [ー]：一時停止／再生
- キャラ電の場合は次の操作ができます。
  [CLR]／FOMA端末を開く：再生
  [CLR]／[ー]：停止

✔お知らせ

- 動画／ｉモーションによっては待受画面に設定できない場合があります。音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）は設定できません。
- 待受画面を表示すると、Flash画像やGIFアニメーションは、一定時間再生した後に停止します。
- GIFアニメーションを拡大表示で設定した場合、表示が乱れることがあります。
- 再生回数や再生期限などの制限が設定されているコンテンツは、待受画面に設定できません。

◆画像をランダムに表示する〈ランダムイメージ設定〉

マイピクチャ内のフォルダに保存されている複数の静止画を、指定したタイミングでランダムに切り替えて待受画面に表示します。

- 表示できる画像はJPEG形式、GIF形式（GIFアニメーションを除く）の画像です。

1 [MENU]▶[8][2][1][1][2]▶**各項目を設定**

フォルダ：画像が保存されているフォルダを選択します。
切替設定：画像を切り替えるタイミングを設定します。
- 「30分ごと」を選択すると毎時0分と30分に、「60分ごと」を選択すると毎時0分に、画像が切り替わります。

2 [□]▶「はい」

- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面解除の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が解除されます。

✔お知らせ

- 選択したフォルダを削除したり、フォルダ内の静止画を移動または削除したり、パラパラマンガを作成したりして表示できる静止画がないときは、お買い上げ時の画像が待受画面に表示され、ランダムイメージの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。ただし、待受画面に表示されている静止画を移動したりパラパラマンガとして作成した直後は、次に画像が切り替わるまでその画像が一時的に表示されます。

◆ｉアプリ待受画面を設定する

- ｉアプリ待受画面に対応しているｉアプリのみ設定できます。
- 他の待受画面設定よりも、ｉアプリ待受画面が優先して表示されます。
- ｉアプリの操作・設定・待受画面の解除→P253

1 MENU▶8 2 1 1 5

ｉアプリ待受画面に対応したｉアプリが一覧表示されます。

2 ｉアプリを選択

3 「はい」

ｉアプリ待受画面が設定され、待受画面にまたはが表示されます。

- テロップ表示設定のテロップ表示を「表示する」にしている場合は、テロップ表示が解除されます。
- 待受画面に動画／ｉモーションやキャラ電が設定されていないとき、ｉアプリ待受画面を解除すると、テロップ表示設定のテロップ表示は「表示する」に設定されます。

◆待受画面の表示をカスタマイズする〈カレンダー／待受カスタマイズ〉

待受画面をいくつかのエリア（領域）に分割し、それぞれのエリアに未読メールや不在着信などの新着情報、スケジュール、カレンダー、メモ一覧、メモ内容を表示するように設定します。

- 設定した情報は、待受画面に画像が設定されている場合、画像に重ねて表示されます。待受画面に動画／ｉモーションやキャラ電、ｉアプリ待受画面が設定されている場合は表示されません。

1 MENU▶8 2 1 5

2 1

解除する：2

3 でパターンを切り替え▶エリアを選択▶1〜6

- MENUを押して「はい」を選択すると、すべてのエリアの設定を解除できます。

新着情報を設定する：2▶情報を選択▶

- 「未読メール一覧」を選択すると、未読メールの受信日時と題名を表示します。
- 「メッセージR」／「メッセージF」を選択すると、メッセージR/Fの受信日時とタイトルを表示します。
- 「不在着信一覧」を選択すると、着信日時と相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）を表示します。
- 「伝言メモ一覧」を選択すると、録音日時または録画日時と、相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）を表示します。

メモ内容を設定する：6▶メモを選択

4 ▶「はい」

❖待受画面で情報を確認する

1 **情報表示中に■**

エリアが赤いカーソル枠で囲まれます。

- 情報が表示されていないときは、⌐を繰り返し押して表示させてから■を押します。

2 **◎でカーソル枠を移動▶■**

✔お知らせ

- 待受画面で⌐を押すたびに、情報の表示と非表示を切り替えることができます。
- 待受画面選択のイメージ設定でGIFアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像を設定していた場合、再生が停止または一時停止した後に⌐を押すと情報が表示されます。

❖各情報の表示内容

カレンダー／待受カスタマイズで設定した各情報は次のように表示されます。

- 表示される情報の件数や行数は、エリアのサイズによって異なります。
- 各情報の日時には、当日の場合は時刻が、当日以外の場合は日付が表示されます。

■ 新着情報

情報が新しいものから順に表示されます。エリアを選択すると、先頭の情報を確認できます。

- 未読メールの題名などの一部が表示されない場合があります。

✉：未読メール
R／F：メッセージR／メッセージF
不在着信アイコン：不在着信
伝言メモアイコン：伝言メモ

■ スケジュール

開始日時になっていないスケジュールの早いものから順に、アイコン、開始日時、内容が表示されます。エリアを選択すると、先頭のスケジュールが確認できます。

- 内容の一部が表示されない場合があります。
- 開始日時と終了日時が同じ日でない場合は、表示されるアイコンはアイコンになります。
- 終日をONにしたスケジュールが当日の場合は、「終日」と表示されます。

■ カレンダー

当月のカレンダーが表示されます。エリア内のカレンダーを選択すると、スケジュール帳のカレンダーが表示されます。

- 当日は黄、休日と祝日は赤、土曜日は青で表示されます。休日と祝日は、スケジュール帳の設定に従います。ただし、スケジュール帳の休日設定で休日にした日は、パーソナルデータロック中は赤で表示されず、お買い上げ時の表示に戻ります。
- スケジュールが設定されているときは、日付の右上に赤いマークが表示されます。パーソナルデータロック中は表示されません。

■ メモ一覧

メモ帳に登録されているメモの一覧が表示されます。エリアを選択するとメモ一覧が表示されます。

- 内容の一部が表示されない場合があります。

■ メモ内容

メモ内容に設定したメモの先頭部分が表示されます。エリアを選択するとメモの詳細が表示されます。

- 内容の一部が表示されない場合があります。

✔お知らせ

- パーソナルデータロック中の場合、新着情報は不在着信一覧の設定のみ変更できます。また、スケジュール、メモ一覧、メモ内容は選択できません。

電話発信画像設定

音声電話やテレビ電話の発信時の画像を変更する

1 **MENU▶8 2 5 2▶1または3▶イメージ表示欄を選択▶1～3**

- 「標準画像」に設定すると、お買い上げ時の画像が表示されます。
- 「イメージ」を選択した場合は、イメージ一覧欄を選択し、画像を選択します。

2 **📖**

✔お知らせ

- 「イメージ」にパラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。

❖発信画像の優先順位

複数の機能で発信画像を設定している場合は、次の優先順位で画像が表示されます。

①FOMA端末電話帳に登録した画像※
②FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③電話発信設定／テレビ電話発信設定
※ 人物画像表示設定が「ON」のときに有効です。

電話着信画像設定

音声電話やテレビ電話の着信時の画像を変更する

- 本設定は、発着信・通話機能の電話着信設定、テレビ電話のテレビ電話着信設定にも反映されます。

1 **MENU▶8 2 5 2▶2または4▶イメージ表示欄を選択▶1～5**

- 「標準画像」に設定すると、お買い上げ時の画像が表示されます。
- 「イメージ」を選択した場合は、イメージ一覧欄を選択し、画像を選択します。
- 「ｉモーション」を選択した場合は、動画一覧から動画／ｉモーションを選択します。
- 電話着信音、テレビ電話着信音に音声と映像のある動画／ｉモーションが設定されていると「着信音連動」になります。

2 **📖**

✔お知らせ

- 「イメージ」にパラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。
- 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を着信音に設定しているとき、イメージ表示を映像のみの動画／ｉモーション、Flash画像に設定し直すと、着信音は「着信音1」（音声電話）または「ハープ」（テレビ電話）になります。メロディは変更できます。
- 動画／ｉモーションによってはイメージ表示に設定できない場合があります。また、音声のある動画／ｉモーションは設定できません。

❖着信画像の優先順位

複数の機能で着信画像を設定している場合は、次の優先順位で画像が表示されます。

①マルチナンバーの着信設定
②FOMA端末電話帳に登録した画像※1
③FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
④電話着信音※2／テレビ電話着信音※2／電話着信設定／テレビ電話着信設定／Bナンバー着信設定

※1 人物画像表示設定が「ON」のときに有効です。
※2「着モーション」に音声と映像のある動画／iモーションを設定したときに有効です。

- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合、音声電話の着信画像は発番号なし動作設定に従います。テレビ電話の着信画像はテレビ電話着信設定に従います。
- 電話帳別着信設定の着信音に動画／iモーションを設定しているとき(「端末設定に従う」に設定し、電話着信設定などで動画／iモーションを設定している場合も含む）は、電話帳に設定した画像や動画／iモーションは表示されず、着信音に設定した動画／iモーションが表示されます。ただし、電話着信設定などで音声のみの動画／iモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）を設定しているときは、次のように動作します。
  - 電話帳に静止画を設定した場合は静止画が表示されます。
  - Flash画像や動画／iモーションを設定した場合は、電話帳の画像は表示されず、グループ別発着信設定や電話着信設定などに設定した画像が表示されます。
- 電話帳のグループ別発着信設定で着信音を「端末設定に従う」に設定し、電話着信設定などで動画／iモーションを設定しているときは、グループ別電話帳に設定した画像や動画／iモーションは表示されず、着信音に設定した動画／iモーションが表示されます。ただし、電話着信設定などで音声のみの動画／iモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）を設定しているときは、次のように動作します。
  - グループ別発着信設定に静止画を設定した場合は静止画が表示されます。
  - グループ別発着信設定にFlash画像や動画／iモーションを設定した場合は、電話着信設定などに設定した画像が表示されます。

人物画像表示設定

発着信時の電話帳の人物表示を設定する

音声電話やテレビ電話の発着信時に、FOMA端末電話帳に登録されている画像を表示するかどうかを設定します。

- 電話帳に登録されている画像は、相手が電話番号を通知してきた場合に表示されます。

1 MENU▶8 2 5 2 5▶1または2

メール送受信・着信結果・問合せ画像設定

メール送受信や問合せ時の画面を変更する

メールの送信、メール（メッセージR/Fを含む）の受信や着信結果、iモード問合せ時に表示する画像を設定します。

1 MENU▶8 2 5 3▶1～4

2 イメージ表示欄を選択▶1～3

- 「標準画像」を選択すると、お買い上げ時の画像が表示されます。
- 「イメージ」を選択した場合は、イメージ一覧欄を選択し、画像を選択します。

メール着信結果画像を設定する：イメージ表示欄を選択▶1～5

- 「iモーション」を選択した場合は、動画一覧から動画／iモーションを選択します。
- メール着信音に音声と映像のある動画／iモーションが設定されていると「着信音連動」になります。

3

背面表示パターン設定

背面表示のパターンを設定する

電話の着信時やメールの受信時などに表示されるパターンを設定します。また、時計を表示する際や端末を閉じたとき、パターンを表示するかどうかを設定します。

1 MENU▶8 2 3▶各項目を設定▶

- 背面表示を「ON」にすると、本設定に従って各パターンが表示されます。
- パターンクリエーターで作成、取得したオリジナルのパターンを選択できます（時計パターンを除く）。「オリジナル」を選択し、作成したパターンを選択します。
- 開閉動作パターンで「バラエティー」、「アート」、「フェイス」、「メッセージ」、「なんでもランダム」を選択すると、それぞれのグループのアニメーションパターンがランダムに表示されます。

照明設定

ディスプレイとキーの照明を設定する

◆照明時間を設定する〈点灯時間設定〉

ディスプレイの照明の点灯時間を設定します。照明を点灯すると、ディスプレイがより明るくなり、キー部分が点灯します。

- 通常時のほかにACアダプタ接続時（DCアダプタ接続時も含む）、iモード中、静止画や動画の撮影中、iモーション再生中、iアプリ動作中の点灯時間も設定できます。
- 本設定は、iモード設定、静止画詳細設定、動画／録音詳細設定、iモーションの動作設定、iアプリ設定の照明設定にも反映されます。

〈例〉通常時の点灯時間を設定する

1 MENU▶8 2 6 1

2 1▶1～7

- 「常時」に設定すると、明るさ調整で設定した明るさで常に照明が点灯し、省電力の状態になりません。

ACアダプタ接続時、iモード中、静止画撮影中、動画撮影中、iモーション、iアプリの点灯時間を設定する：2～7▶1または2

- 「端末設定に従う」に設定すると、通常時で設定した点灯時間に従って照明が点灯します。
- 「常灯」に設定すると、明るさ調整で設定した明るさで常に照明が点灯し、省電力の状態になりません。ただし、ACアダプタ接続時は、明るさ調整の設定に関わらず、「明るさ5」で点灯します。
- iアプリの場合は「ソフトに従う」に設定すると、iアプリの設定に従って点灯します。常に照明を点灯するiアプリの場合は省電力の状態になりません。

◆照明設定範囲を設定する〈照明設定範囲〉

1 [MENU]▶[8][2][6][2]▶[1]または[2]

◆照明の明るさを設定する〈明るさ調整〉

1 [MENU]▶[8][2][6][3]▶[1]〜[5]

スクリーン設定

画面のカラー配色を変更する

1 [MENU]▶[8][2][5][1]▶配色を選択

メニュー設定

メニューのデザインを変更する

メニューの表示形式やアイコンのデザインを変更したり、オリジナルのメニューを作成したりできます。

- 設定項目のノーマルを「シンプル」に設定すると、バイリンガルの設定は利用できなくなります。また、本書の操作の説明と項目番号が異なりますのでご注意ください。
「シンプル」に設定した場合の項目番号→P409

1 [MENU]▶[A/a]▶各項目を設定▶[□]

ノーマル：ノーマルメニュー使用時の表示形式を設定します。
- 「きせかえツールに従う」が設定されていると、きせかえツールのメニューが表示されます。
- 既に「きせかえツールに従う」が設定されている場合に他の項目を選択して[□]を押すと、きせかえツール解除の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、「きせかえツールに従う」は選択できなくなります。
- バイリンガルの設定が英語のときは、「シンプル」は設定できません。

セレクト：セレクトメニュー使用時の表示形式を設定します。

アイコンデザイン：ノーマルメニューの表示形式で「タイルアイコン」を選択したときのデザインを設定します。
- アイコンデザインで設定するのは、待受画面で[MENU]を押したとき最初に表示される1階層目のメニューのデザインです。
- 「カスタム1」「カスタム2」は、メニューアイコンを変更してオリジナルメニューを作成するときに設定します。

アニメーションデザイン：ノーマルメニューの表示形式で「アニメーション」を選択したときのデザインを設定します。

アイコン拡大表示：アイコン選択時にアイコンを拡大表示するかどうかを設定します。

起動メニュー：待受画面で[MENU]を押したときにノーマルメニューとセレクトメニューのどちらを表示させるかを設定します。

セレクトメニューショートカット：セレクトメニュー使用時のショートカット操作を設定します。
- 「ノーマル」に設定すると、起動メニューを「セレクト」にした場合でもノーマルメニューの項目番号でショートカット操作ができます。→P42

◆オリジナルメニューを作成する

ノーマルメニュー使用時のメニュー画面のアイコンや背景画像を変更して、2種類のオリジナルメニューを作成できます。
- アイコンは96×96、背景画像は240×240より大きい画像は縮小して表示されます。

1 [MENU]▶[A/a]▶**ノーマル欄を選択**▶[2]▶**アイコンデザイン欄を選択**▶[2]**または**[3]

2 **カスタマイズを選択▶機能を選択▶画像フォルダ一覧で画像を選択**

他の機能のメニューアイコンも同様に設定します。
- メニューアイコンを解除するときは、解除するアイコンにカーソルを合わせて[MENU][1]を押し、「はい」を選択します。
- メニューアイコンを全件解除するときは[MENU][2]を押し、「はい」を選択します。

3 ✉▶画像フォルダ一覧でメニュー画面の背景画像を選択

背景を解除する：MENU▶4▶「はい」

4 📖▶📖

✔お知らせ

- パラパラマンガ、Flash画像、「アイテム」フォルダ内の画像は選択できません。また、GIFアニメーションを選択すると最初のコマが表示されます。
- パーソナルデータロック中は、アイコンデザインの「カスタム1」「カスタム2」の設定内容を変更できません。

きせかえツールを利用する

きせかえツールを利用すると、待受画像、メニューアイコン、発着信画像、着信音などを一括で設定できます。

- きせかえツールでは、次の項目が設定できます。きせかえツールによって、設定できる項目の組み合わせの内容は異なります。
  - 待受画面、アニメーションメニュー※1、メニューアイコン、メニューアイコン（背景）、音声電話発信画面、音声電話着信画面、テレビ電話発信画面、テレビ電話着信画面、メール送信画面、メール受信中画面、メール着信結果画面、センター問合せ画面、電池アイコン、アンテナアイコン、音声電話着信音、テレビ電話着信音、メール着信音、チャットメール着信音、メッセージR着信音、メッセージF着信音、目覚まし音、カラーテーマ※2

  ※1 きせかえツールによっては、待受画面で📺や✉を押したときの動作が通常と異なる場合や、ショートカット操作ができない場合があります。

  ※2 スクリーン設定の配色が設定できます。
- 2in1がONのときは、デュアルモードとBモードの待受画面、およびBナンバーの電話着信音とテレビ電話着信音には、きせかえツールの項目は設定されません。

◆きせかえツールを変更する

1 MENU▶5 6

きせかえツールの各フォルダには次のようなきせかえツールが保存されています。

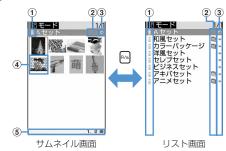
📁ｉモード：サイトからダウンロードしたきせかえツール

📁マイフォルダ：他のフォルダから移動したきせかえツール

- フォルダを追加すると表示されます。→P300

2 フォルダを選択▶きせかえツールにカーソルを合わせる

カーソル位置のファイルの表示名と詳細を示すマークが表示されます。

サムネイル画面　リスト画面

① 取得元

　ｉ：ｉモード

② ファイルの種類

　（うしろのカードが赤）：最後に設定されたきせかえツール

　（うしろのカードがグレー）：現在設定されているきせかえツール

　表示なし：設定されていないきせかえツール

　（下半分がグレー）：部分的に保存されているきせかえツール

③ ファイル制限

　➡（グレー）：ファイル制限あり

④ サムネイル画像
　：プレビュー画像なし
　：FOMAカード動作制限機能が設定されているきせかえツール
　：部分的にダウンロードしたきせかえツール
⑤ ファイルサイズ（実メモリサイズ）

一覧画面の動作設定をする：MENU▶4▶1または2
- 「あり」にするとサムネイル表示に、「なし」にするとリスト表示になります。

設定をリセットする：MENU▶5▶認証操作▶「すべてリセット」または「メニュー画面のみ」
- 「すべてリセット」を選択すると、きせかえツールで設定されていたすべての項目がお買い上げ時の状態に戻ります。
- 「メニュー画面のみ」を選択すると、「アニメーションメニュー」「メニューアイコン」「メニューアイコン（背景）」の設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

3 ▶「はい」

きせかえツールのデータが一括で設定されます。
- 部分的にダウンロードしたきせかえツールにカーソルを合わせて、■、、を押した場合は、残りデータのダウンロード確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードが開始されます。

詳細情報を表示／変更する：MENU▶2▶1または2
詳細情報について→P302

設定を解除する：MENU▶3▶「はい」

データを移動する／戻す：MENU▶4▶1または2
移動／戻しについて→P301

データを削除する：MENU▶5
削除について→P303

データをソートする：MENU▶6▶各項目を設定▶
ソートについて→P304

◆きせかえツールの内容を確認する

1 MENU▶5 6▶フォルダを選択

2 きせかえツールにカーソルを合わせて

きせかえツールに登録されている項目の一覧が表示されます。

① 項目
　項目のアイコンと項目名が表示されます。
② ファイル形式
　JPG：JPEG形式の画像　GIF：GIF形式の画像
　：SWF（Flash画像）　MP4：MP4形式の動画
　MFi：MFi形式のメロディ　SMF：SMF形式のメロディ
　表示なし：ファイルなし
- MENUを押し、「内容表示」を選択しても内容を確認できます。
- を押すと、きせかえツールを設定できます。

きせかえツールのプレビューイメージを表示する：きせかえツールにカーソルを合わせて■
- プレビュー画面でを押してもきせかえツールを設定できます。

3 項目を選択

項目のデータや情報が表示または再生されます。
- カラーテーマにカーソルを合わせると、その配色とフォントで画面が表示されます。

✔お知らせ

- きせかえツールによって変更された機能は、「きせかえツールに従う」に設定されます。複数のきせかえツールを設定した場合で重複する項目があるときは、最後に設定したきせかえツールの項目のデータが設定されます。きせかえツールを設定後、各設定画面で「きせかえツールに従う」以外を選択すると、きせかえツールの解除確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、該当項目のみ解除されます。きせかえツールの設定に戻すには、再度きせかえツールを設定してください。
- きせかえツール内に表示・再生できないデータがあるときは、きせかえツールを設定しても、そのデータのみ設定されません。

電池アイコン設定／アンテナアイコン設定

電池やアンテナのアイコンを変更する

1 MENU ▶ 8 2 1 ▶ 3 または 4 ▶ 1 〜 6

不在着信お知らせ

不在着信や未読メールなどの新着情報をランプで知らせる

FOMA端末を閉じているときに未確認の不在着信（音声電話／テレビ電話）や未読情報（メール／チャットメール／SMS）があるときにランプを点滅させて知らせるかどうかを設定します。

1 MENU ▶ 8 2 8 ▶ 1 または 2

- 「ON」にした場合、未確認の不在着信があるときは、着信イルミネーションの電話着信のイルミネーションカラーに従って約6秒間隔で点滅します。未読情報があるときは、着信イルミネーションのメール着信のイルミネーションカラーに従って約6秒間隔で点滅します。新着情報を確認すると点滅は停止します。

✔お知らせ

- 新着情報に複数の項目がある場合は、次の優先順位に従ってランプが点滅します。
  ① 不在着信（音声電話／テレビ電話）
  ② 未読情報（メール／チャットメール／SMS）
- 「ON」にした場合、最後の新着情報から約6時間経過したときや、待受画面の 2 2（数字は件数）を消去したときは、情報を確認していなくてもランプの点滅は停止します。

イルミネーション設定

着信時や通話中などの点灯パターンと点灯色を設定する

- 本設定は、電話着信設定、テレビ電話着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージR着信設定、メッセージF着信設定、トルカ取得確認設定のイルミネーション設定にも反映されます。
- イルミネーションカラーを選択するときは、MENUを押すとイルミネーションパターンを切り替えて点灯または点滅します。iを押すと、ランダムで色と点灯パターンが表示されます。

◆ 電話／メールの着信やトルカ取得の点灯パターンと点灯色を設定する〈着信イルミネーション〉

1 MENU ▶ 8 2 7 1 ▶ **各項目を設定** ▶ i

- イルミネーションパターンを「メロディ連動」にすると、着信音に合わせて「レインボー」で点滅します。ただし、メロディによっては連動しない場合があります。
- イルミネーションパターンを「メロディ連動」に設定して不在着信お知らせを「ON」にしている場合で、新着情報があるときのイルミネーションカラーは、電話着信のイルミネーションカラーおよびメール着信のイルミネーションカラーに従います。
- トルカ取得時の点灯を設定するときは、イルミネーションを「ON」にして、イルミネーションカラーを選択します。

✔お知らせ

- チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、チャットメール着信は選択不可を示す画面が表示されます。

❖着信イルミネーションの優先順位

複数の機能で着信イルミネーションのイルミネーションパターン、イルミネーションカラーを設定している場合は、次の優先順位でランプが点灯します。

①FOMA端末電話帳の電話帳別着信設定
②FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
③着信イルミネーション／電話着信設定／テレビ電話着信設定／メール着信設定

◆通話中／ICカードアクセス中の点灯と点灯色を設定する〈通話中イルミネーション／ICカードアクセスイルミネーション〉

1 MENU▶8 2 7▶2または3▶各項目を設定▶📖

- イルミネーションを「ON」にすると、イルミネーションカラーを選択できます。

◆開閉時の点灯パターンと点灯色を設定する〈開閉イルミネーション〉

1 MENU▶8 2 7 4▶各項目を設定▶📖

- 端末開閉時点灯を「ON」にすると、イルミネーションパターンとイルミネーションカラーを選択できます。

✔お知らせ

- ランプの点灯時は、次の現象が起きることがあります。これはランプに用いているLEDやFOMA端末の特性によるものであり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。
  - FOMA端末ごとに、ランプの点灯色や明るさに差異があります。
  - FOMA端末の塗装色により、ランプの色が点灯色名とは異なる色に見えることがあります。

◆毎時0分にランプを点灯させる〈時報イルミネーション〉

1 MENU▶8 2 7 5▶各項目を選択▶📖

- 設定を「時間指定」にすると、開始時刻（時）と終了時刻（時）を選択できます。「OFF」以外にすると、時報イルミネーション音を選択できます。
- 時報イルミネーション音を「OFF」以外にすると、音量が選択できます。

■ 時報イルミネーションを設定すると

設定した時刻の毎時0分にランプが約3秒間点灯し、時計が表示されます。時報イルミネーション音を設定していると、設定した音量で時報イルミネーション音が鳴ります。

- 背面表示部に時計やその他の情報が表示されているときは、時報イルミネーションは動作しません。
- 時刻によりランプの色が変わります。

新着アニメ

新着情報があるときに新着アニメを表示する

新着情報（未確認の不在着信、未読メール、未確認の伝言メモ）がある場合、待受画面に新着アニメを表示します。また、FOMA端末を閉じているときは、背面表示部にパターンが表示されていない状態で▯を押すと、時計表示の後に背面表示新着アクションを表示します。すべての着信または電話帳に登録している相手や電話帳グループごとに設定できます。

- 最大16件設定できます。

〈例〉電話帳を指定して設定するとき

1 MENU ▶ 8 2 2

2 📖 ▶ 1 〜 4

- 「電話帳登録相手すべて」または「すべての着信」を選択したときは操作4に進みます。

設定を削除する：**削除する設定にカーソルを合わせて MENU ▶ 3 または 4 ▶「はい」**

- 全件削除の場合は認証操作を行います。

設定内容を変更する：**変更する設定を選択**

- 操作4に進みます。

／：電話帳指定（本体）／（FOMAカード）
Gr／Gr：電話帳グループ（本体）／（FOMAカード）
：設定時のFOMAカードが挿入されていない電話帳指定（FOMAカード）
Gr：設定時のFOMAカードが挿入されていない電話帳グループ（FOMAカード）
ALL：電話帳登録相手すべて　ALL：すべての着信
OFF：新着アニメの設定がOFF

3 **電話帳を検索 ▶ 設定する電話帳データを選択 ▶ ■**

- 「電話帳グループ」を選択したときは、「本体」または「FOMAカード」を選択して、グループを選択します。

4 **各項目を選択 ▶ 📖**

新着アニメ：「ON」にすると、待受画面新着アクションと背面表示新着アクションを選択できます。
待受画面新着アクション：待受画面に表示する新着アニメを選択します。
背面表示新着アクション：背面表示部に表示するパターンを選択します。「オリジナル」を選択すると、パターンクリエーターで作成、取得したオリジナルのパターンが選択できます。

✔お知らせ

- 次の場合は、背面表示新着アクションの替わりに、左右から点線が中央に向かって動くパターンが表示されます。
  - 新着情報がない場合
  - 新着情報があっても本設定で背面表示新着アクションが動作する条件に該当しない場合
  - 新着アニメの設定がない場合
- 新着情報がチャットメールの場合は、チャットメンバーに登録している相手からの新着時のアクションは動作しません。
- 各新着アニメには3つの表示パターンがあります。新着情報が更新されたり、待受画面が表示されたりすると、表示パターンはランダムに切り替わります。
- ｉアプリ待受画面を設定している間は、待受画面新着アクションは動作しません。
- 同じ電話帳データを複数の項目に登録した場合は、優先順位は次のようになります。
  ① 電話帳別指定
  ② 電話帳グループ
  ③ 電話帳登録相手すべて
  ④ すべての着信
- 新着アニメを複数設定しているときに複数の相手から新着情報があった場合は、最新の相手からの新着情報のアクションが表示されます。
- 設定した電話帳データや電話帳グループを削除すると新着アニメの設定は削除されます。
- 待受画面に新着アニメが表示されている状態で、その相手の新着アニメの設定を変更すると、待受画面には変更した新着アニメが表示されます。

フォント選択

フォントを変える

メニュー画面やｉモードサイト、文字入力画面などに表示される文字の種類を変更できます。

- ひらがな／カタカナはお買い上げ時に登録されている「プリティー桃」のほかに、ダウンロードしたフォントを利用できます。

1 MENU▶8 2 9 2▶漢字／英数字欄を選択▶1 または2

2 ひらがな／カタカナ欄を選択▶フォントを選択

ダウンロードしたフォントを削除する：ひらがな／カタカナ欄を選択▶フォントにカーソルを合わせてMENU▶「はい」

- お買い上げ時に登録されているフォントや、現在利用中のフォントは削除できません。

3 📖

✔お知らせ

- カメラ、ｉアプリ、ｉモーションなど、一部の機能には本設定は反映されません。

文字サイズ設定

文字の大きさを変更する

メモ帳、メール本文入力などの全画面入力や画面メモ、ｉモードサイト、メールを表示したりするときの文字サイズを変更できます。

〈例〉一括で設定するとき

1 MENU▶8 2 9 1

2 1▶1～5

ｉモードを設定する：2▶1～3
メール閲覧を設定する：3▶1～3
メール編集／文字入力を設定する：4▶1～5

✔お知らせ

- 「一括」で設定を行った場合は、電話帳一覧、電話帳検索、電話帳検索結果を表示するときの文字サイズにも反映されます。また、ｉモード、メール閲覧、メール編集／文字入力がすべて同じ設定になります。ただし、「最大」「最小」に設定したときには、ｉモード、メール閲覧の設定はそれぞれ「大」「小」になります。
- メール詳細画面からも文字サイズを変更できます。設定内容は本設定のメール閲覧にも反映されます。→P225

時計表示設定

時計の表示を設定する

待受画面の時計表示の有無や、時計のデザイン、表示位置を設定できます。また、曜日の表示言語や時刻の表示形式も設定できます。

1 MENU▶8 7 1 4▶各項目を設定▶📖

デザイン：時計を表示するかどうかを設定します。「ON」にした場合は時計のデザインを「アナログ」「デジタル1～4」「世界時計」から選択します。

- 「世界時計」に設定すると、左側に日本国内の時刻を、右側に設定したタイムゾーンの時刻と名称を表示します。

形式：時計の表示形式を「24時間表示」と「12時間表示」のどちらかに設定します。

表示位置：時計を表示する位置を設定します。

曜日：曜日の表示を日本語と英語のどちらで表示するかを設定します。

- 「バイリンガルに従う」に設定すると、バイリンガルの設定に従って表示します。

世界時計：デザインで「世界時計」を選択したときに、表示するタイムゾーンの設定やサマータイムを有効にするかどうかを設定します。また、タイムゾーンの名称を設定します。
- サマータイムを「ON」にすると、設定したタイムゾーンの時刻を1時間進めて表示します。

✔お知らせ
- 待受画面以外の画面では、ディスプレイ右上に時刻が表示されます。この表示は、形式で設定した時計の表示形式に従って「24時間表示」または「12時間表示」に変更されます。
- 待受画面に動画／ｉモーションやキャラ電、ｉアプリが表示されている場合は、タスク表示領域に時計が表示されます。形式は24時間表示で、曜日は英語で表示されます。
- オールロック中、おまかせロック中は、本設定に関わらず時計の表示位置は「上」になります。
- 海外で利用中は、デュアル時計設定に従います。→P394
- 「デジタル1」と「世界時計」は形式の設定に関わらず24時間表示となり、曜日を選択できません。

バイリンガル

画面を英語表示に切り替える

1 MENU▶8 2 9 3▶1または2

✔お知らせ
- バイリンガルの設定は、FOMAカードにも保存されます。FOMAカードを差し替えると、差し替えたFOMAカードに保存されている設定に切り替わります。

あんしん設定

暗証番号について

携帯電話の操作や機能を制限する

発着信や送受信を制限する

その他の「あんしん設定」について

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要な場合があります。暗証番号には、各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

- 入力した端末暗証番号やネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどは「*」で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、ご契約者本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

❖端末暗証番号

お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P125

- 誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、電源が切れます。

❖ネットワーク暗証番号

ドコモeサイトでの各種手続き時や各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字4桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
なお、ｉモードからは、ドコモeサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

- 「My DoCoMo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

❖ｉモードパスワード

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモード有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には、4桁の「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P169
この他にも各IP（情報サービス提供者）が独自にパスワードを設定している場合があります。

❖PIN1コード／PIN2コード

FOMAカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P125
PIN1コードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、FOMAカードを取り付ける、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する番号（コード）です。PIN1コードを入力すると、発着信および端末操作ができます。
PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算通話料金リセット、通話料金自動リセット設定を変更するときなどに使用する暗証番号です。

- 別のFOMA端末で利用していたFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前に設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。

❖PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための数字8桁の番号です。お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を連続10回間違えると、FOMAカードがロックされます。

PIN1／PIN2コード入力

連続3回間違い

PINロック解除コード入力

新PIN1／PIN2コード設定可能

連続10回間違い

ドコモショップ窓口にお問い合わせください

✔お知らせ

- パスワードマネージャーは、端末暗証番号を「0000」以外に変更しないとご利用になれません。変更する端末暗証番号も、電話番号の下4桁などのわかりやすい番号の使用は避け、他人に知られないよう十分ご注意ください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようご注意ください。
  ※ 万一、第三者の不正な使用による不利益があっても、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

端末暗証番号変更

端末暗証番号を変更する

1 MENU▶8 4 6▶認証操作▶新しい端末暗証番号を入力

2 新しい暗証番号（確認）欄に新しい端末暗証番号を入力▶📖

PINコードを設定する

◆電源を入れたときにPIN1コードを入力するかどうかを設定する〈PIN1コードON／OFF〉

PIN1コードを連続3回間違えると、PIN1コードがロックされます。■を押してPINロック解除コードを入力してください。

- 現在の設定を変更する場合のみPIN1コード入力画面が表示されます。

1 MENU▶8 4 5 3▶1または2▶PIN1コードを入力

❖PIN1コードON／OFFを「ON」に設定すると

FOMA端末の電源を入れるとPIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力すると、待受画面が表示されますが、正しいPIN1コードを入力しないと、すべての操作ができません。

✔お知らせ

- アラーム自動電源ON設定が「ON」の場合、目覚ましやスケジュールで指定日時になると電源がONになり、PIN1コード入力画面が表示される前にアラームが鳴ります。[終話]を押してアラームを停止させるとPIN1コード入力画面が表示されます。このとき、アラームにダウンロードしたメロディやｉモーション、ミュージックを設定していても、お買い上げ時の設定で動作します。

◆PIN1／PIN2コードを変更する

- PIN1コードを変更するときは、PIN1コードON／OFFを「ON」にする必要があります。

1 [MENU]▶[8][4][5]▶[1]または[2]▶認証操作

2 現在のPIN1／PIN2コードを入力▶新しいPIN1／PIN2コード欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力▶新しいPIN1／PIN2コード（確認）欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力▶[📖]

- PIN1／PIN2コードを間違えると、認証の失敗を示す画面が表示されます。[■]を押して正しいPIN1／PIN2コードを入力してください。連続3回間違えると、PINコードがロックされます。[■]を押してPINロック解除コードを入力してください。

✔お知らせ

- PIN2コードの入力を連続3回間違えてPIN2コードがロックされた場合でも、電話の発着信、メールの送受信などはできますが、PIN1コードの入力を連続3回間違えてPIN1コードがロックされた場合には、それらの操作はできなくなります。

PINロックを解除する

PINコード入力画面でPIN1コード、PIN2コードを連続3回間違えると、PINコードがロックされます。その場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

1 PINコードロックの確認画面で「OK」▶8桁のPINロック解除コードを入力

2 新しいPIN1／PIN2コード欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力▶新しいPIN1／PIN2コード（確認）欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力▶[📖]

各種ロック機能について

FOMA端末には、さまざまなロック機能があります。目的に合わせてご利用ください。

ロック機能	説　明	参照先
オールロック	各種メニュー機能の操作などをできないようにして、他人が不正に使用するのを防ぐ	P127
おまかせロック	紛失した場合などに第三者に不正に使用されないようロックをかける	P128
セルフモード設定	電話やｉモード、メール、赤外線通信などの通信を必要とするすべての機能を利用できないようにする	P129
パーソナルデータロック	ｉモードやメール、個人情報などの利用を一時的に制限する	P129
ダイヤル発信制限	ダイヤルキーを押して電話をかけられないようにする	P130
プライバシーモード	個人情報を利用・表示するときの動作を設定する	P131
着信／受信時動作設定	電話帳に登録している相手からの着信時に、名前などを表示するかどうかを設定する	P135
HOLD	FOMA端末を閉じているときの▯の操作を無効にし、誤動作を防ぐ	P136
開閉ロック	FOMA端末を閉じるたびに▯以外のキー操作を無効にし、他人が不正に使用するのを防ぐ	P137
ICカードロック	ICカード機能を利用できないようにする	P269
電源OFF時ICロック設定	FOMA端末の電源を切ったときに、すべてのICカード機能を利用できないようにする	P270

- 複数のロック機能を同時に設定できます。
- おまかせロック以外のロック機能を設定していても、緊急通報（110番、119番、118番）はできます。

オールロック

他の人が使用できないようにする

オールロックを起動すると、各種メニュー機能の操作などができなくなり、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。

オールロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、待受画面で緊急通報番号を入力して［発信］を押します。

※ 端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。

- ICカードロックとオールロックの両方を起動するには、ICカードロック→オールロックの順に起動してください。→P269
- microSDメモリーカードやFOMAカードにはロックはかかりません。

1 **［MENU］▶［8］［4］［1］［2］▶認証操作**

待受画面に「オールロック中」と表示されます。

解除する：**待受画面で端末暗証番号を入力**

✔お知らせ

- メモリ別着信拒否／許可の設定に関わらず着信します。
- 待受画面を設定していてもお買い上げ時の画像が表示されます。
- 開閉ロックを「ON」に設定していても、オールロックが優先されます。
- オールロックを解除し、待受画面に新着情報が表示されていても、新着アニメは動作しません。
- 指定した日時になっても目覚ましやスケジュールアラームは動作しません。
- 指定した時刻になっても、ライフスタイル設定は切り替わりません。オールロックを解除すると、動作していないライフスタイル設定が順に動作します。

- 次の機能は利用できます。
  - 音声電話やテレビ電話を受ける操作※1
  - 電話帳お預かりサービスの自動更新
  - iモードメールやメッセージR/F、SMSの受信※2
  - おまかせロックの起動
  - 読み取り機からのトルカの取得
  - ワンタッチアラーム

  ※1　電話帳に登録している相手の名前や画像は表示されず、電話番号のみ表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などはお買い上げ時の状態に戻り、テレビ電話の代替画像は標準画像になります。着もじは受信できますが着信画面には表示されません。オールロックを解除すると、着信履歴に表示されます。

  ※2　受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。

おまかせロック

おまかせロックを利用する

FOMA端末を紛失した場合などに、ドコモにご連絡いただくか、またはMy DoCoMoからの操作により遠隔操作でFOMA端末にロックをかけるサービスです。お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。

お客様からのお申し出などによりロックを解除することができます。

※ おまかせロックは有料サービスです。ただし、ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合は無料になります。

おまかせロックの設定／解除

0120-524-360　受付時間　24時間

※ パソコンなどでMy DoCoMoのサイトからも設定／解除ができます。

- おまかせロックの詳細については『ご利用ガイドブック（手続き・アフターサービス編）』をご覧ください。

❖おまかせロックを起動すると

待受画面に「おまかせロック中です」と表示されます。

- 電源を入れる／切る操作や、音声電話やテレビ電話を受ける操作以外のキー操作ができなくなるほか、ICカード機能も使用することができなくなります。ただし、microSDメモリーカードやFOMAカードにはロックはかかりません。

✔お知らせ

- 音声電話やテレビ電話の着信はしますが、電話帳に登録している相手の名前や画像などは表示されず、電話番号が表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などはお買い上げ時の状態に戻り、テレビ電話の代替画像は標準画像になります。おまかせロックを解除すると設定は元の状態に戻ります。
- 着もじは受信できますが着信画面には表示されません。おまかせロックを解除すると、着信履歴に表示されます。
- 受信したメールは、メールセンターに保存されます。
- 他の機能が起動中におまかせロックを起動した場合は、起動中の各機能を終了します（編集中のデータがあるときには、編集中のデータを保存せずに終了する場合があります）。
- 各種ロック機能を設定中でも、おまかせロックが優先されます。
- FOMA端末を紛失したときに電源が入っていない場合や圏外、セルフモード中は、おまかせロックがかかりません。
- 電源を入れる／切る操作はできますが、電源を切ってもロックは解除されません。
- デュアルネットワークサービスをご契約のお客様が、movaサービスをご利用中の場合はおまかせロックがかかりません。
- おまかせロックはFOMA端末に挿入されているFOMAカードのご契約者本人からのお申し出によりロックをかけるサービスのため、ご契約者本人とFOMA端末を所持しているお客様が異なる場合でも、ご契約者本人からのお申し出がある場合は、おまかせロックがかかります。
- おまかせロックは、お客様がご契約中のFOMAカードが挿入されているFOMA端末に対してロックをかけるサービスです。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のFOMAカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。万一解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

セルフモード設定

発信や着信ができないようにする

電話やｉモード、メール、赤外線通信などの通信を必要とするすべての機能を利用できないようにします。

1 CLR（1秒以上）▶「はい」

ディスプレイ上部にSelfが表示されます。

解除する：CLR（1秒以上）▶「はい」

✔お知らせ

- 次の機能が利用できません。
  - 電話の発着信
  - ｉモード、メールの送受信
  - 読み取り機からのトルカ取得
  - 赤外線通信／iC通信や赤外線リモコン
  - パソコンとつないだパケット通信や64Kデータ通信、データ転送
- 電話がかかってきたときは、相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。
- 受信したｉモードメールやメッセージR/Fはｉモードセンターに、SMSはSMSセンターに保管されます。受信する場合は、セルフモードを解除してからｉモード問合せ、SMS問合せを行ってください。
- 緊急通報（110番、119番、118番）を行うと、セルフモードは解除されます。

パーソナルデータロック

個人情報などを利用できないようにする

ｉモードやメール、個人情報などの利用を一時的に制限します。

- メモリ登録外着信拒否が「ON」の場合は、本機能は起動できません。
- パーソナルデータロック中の発着信は記録されます。リダイヤルや着信履歴からの発信はできます。

1 MENU▶8 4 1 3▶認証操作▶1または2

- 「ON」に設定すると待受画面にが表示されます。

❖パーソナルデータロックを起動すると

次の操作（すべて、または一部の設定）が利用できなくなります。ただし、microSDメモリーカードやFOMAカードにはロックはかかりません。

- メール※1、チャットメール※1、SMS※1
- ｉモード、ｉモード問合せ、メッセージR/F※1、ｉチャネル
- ｉアプリ
- 電話帳、伝言メモ／音声メモ（動画メモ）、メール送受信履歴※2
- データBOX（すべての機能）
- バーコードリーダー、赤外線・iC・PC連携※3、トルカ、ICカード一覧、microSD、カメラ、サウンドレコーダー、電話帳お預かりサービス
- スケジュール帳、メモ帳、目覚まし
- コーディネイト／きせかえ、電話着信音、メール・メッセージ着信音、アラーム音、待受画面選択、テロップ表示設定、新着アニメ、電話発着信画像設定（人物画像表示設定を除く）、メール送受信画像設定、スキャン機能、電話発着信設定、発番号なし動作設定、イヤホンスイッチ設定（イヤホンスイッチ発信）、メモリ着信拒否／許可、テレビ電話発信設定、テレビ電話着信設定、テレビ電話画像選択※4、ソフトウェア更新、通話料金上限通知、各種設定リセット、データ一括削除、件数増加鳴動設定、着もじ※5、2in1設定、マルチナンバーの電話番号設定、着信設定
- ミュージックプレーヤー

- プロフィール情報

※1　自動受信はできますが、受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。また、メール送受信履歴からのメール作成はできません。

※2　電話帳に登録している相手の名前や画像は表示されず、メールアドレスのみ表示されます。

※3　赤外線通信／iC通信、USB接続によるデータの送受信はできません。

※4　テレビ電話の代替画像は標準画像になります。

※5　受信できますが、着信画面には表示されません。パーソナルデータロックを解除すると、着信履歴に表示されます。

✔お知らせ

- 電話帳に登録している相手の電話発着信時は、相手の名前や画像は表示されず、電話番号のみ表示されます。
- 伝言メモ起動中でも、待受画面に[アイコン]は表示されず、未再生の伝言メモのマークも表示されません。
- パーソナルデータロックの対象となっているデータを待受画面や着信音などに設定していると、パーソナルデータロック中はお買い上げ時の状態に戻ります（メニュー設定のノーマルが「きせかえツールに従う」に設定されている場合は、タイルアイコンになります）。解除すると、設定は元の状態に戻ります。ただし、「プリインストール」フォルダ内のデータを設定している場合は、パーソナルデータロック中でも設定は変更されません。
- セレクトメニューでは、起動が制限されている機能や人物のアイコンが[アイコン]に変わり、人物名は「＊＊＊」で表示されます。

ダイヤル発信制限

ダイヤル発信を禁止する

電話帳を利用する以外の方法では、電話を発信できないように設定します。

1 MENU▶8 4 1 5▶認証操作▶1または2

- 「ON」に設定すると待受画面に[アイコン]が表示されます。

❖ダイヤル発信制限を起動すると

次の操作ができなくなります。

- リダイヤルや着信履歴からの発信※1
- 電話帳の修正、登録、削除、グループ設定
- プロフィール情報の修正、リセット
- Phone To（AV Phone To）、Mail To機能
- 外部機器との電話帳データやプロフィール情報の送受信
- メールやチャットメール※1、SMSの送信※1、メール送受信履歴からの送信※1
- メール作成画面でのテンプレート読み込み、メールテンプレート一覧画面やテンプレート詳細画面からのメール作成※2
- ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用
- パソコンとつないだパケット通信、64Kデータ通信

※1　電話帳に登録している相手への発信や送信はできます。

※2　電話帳に登録しているメールアドレスが宛先に入力されているテンプレートからメール作成はできます。

プライバシーモード

個人情報を利用・表示するときの動作を設定する

電話帳などの個人情報を利用するたびに認証操作が必要になるように設定したり、シークレット属性を設定した電話帳やスケジュール、シークレット属性を設定した相手からの着信や送受信メールなどを表示しないように設定したりできます。

- プライバシーモードの項目と設定内容は次のとおりです。

○：設定あり　－：設定なし

項　目	設定内容		
	表示する	認証後に表示	指定電話帳非表示・指定フォルダを非表示・指定スケジュール非表示
電話帳・履歴	○	○	○※
メール・履歴	○	○	○※
マイピクチャ	○	○	－
ｉモーション	○	○	－
スケジュール	○	○	○※
ｉアプリ	○	○	－

※ シークレット属性の設定が必要です。
電話帳→P96、メール→P213、スケジュール→P337

- プライバシーモードの設定を有効にするには、プライバシーモードを起動する必要があります。自動的に起動するようにも設定できます。
- 電話帳データのシークレット属性の変更や電話帳データを編集した後にシークレット反映をしなかった場合、プライバシーモードを起動しても、変更や編集した電話帳データのメールやSMSは非表示になりません。非表示にするにはシークレット反映を実行してください。→P134

◆プライバシーモードの動作を設定する

1 MENU▶8 4 2 1▶認証操作▶各項目を設定▶📖▶■

電話帳・履歴：電話帳やリダイヤルなどを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。
- 「指定電話帳非表示」に設定すると、シークレット属性を設定した電話帳データやグループ（グループ内の電話帳データを含む）、シークレット属性を設定した相手が対象のリダイヤル、着信履歴、メールやSMSなどの表示をしません。また、シークレット属性を設定した相手からのメールやSMSの受信はしますが、画面や着信音でのお知らせをしません。プライバシー新着通知を設定すると、電池アイコンで新着情報があることを確認できます。

メール・履歴：メールやメール送受信履歴などを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。
- 「指定フォルダを非表示」に設定すると、シークレット属性を設定したフォルダを表示しません。また、シークレット属性を設定したフォルダに振り分けるように設定した相手からのメールを受信した場合、画面や着信音でのお知らせをしません。プライバシー新着通知を設定すると、電池アイコンで新着情報があることを確認できます。

マイピクチャ：マイピクチャを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

ｉモーション：ｉモーションを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

スケジュール：スケジュールを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。
- 「指定スケジュール非表示」に設定すると、シークレット属性を設定したスケジュールを表示しません。

ｉアプリ：ｉアプリを利用するとき、認証操作を行うかどうかを設定します。

プライバシー新着通知：シークレット属性を設定した電話帳の相手から電話がかかってきたり、メールを受信したりした場合、シークレット属性を設定したフォルダに振り分けされるように設定した相手からのメールを受信したときに電池アイコンの種類を変えて新着情報があることをお知らせするかどうかを設定します。表示させる電池アイコンを選択するか、「OFF」を選択します。

自動起動：待受画面表示中に何も操作しなかった場合、プライバシーモードが自動起動するまでの時間を設定します。

◆プライバシーモードを起動する

1 （1秒以上）

解除する：（1秒以上）▶**認証操作**

- プライバシーモード設定で自動起動が「OFF」以外のときは、待受画面表示中に設定時間が経過するとプライバシーモードが起動します。

❖プライバシーモードを起動すると

プライバシーモードの項目によって設定した内容により次のような制限があります。

〈iアプリ以外：「認証後に表示」〉

- 利用できないiアプリ（メール・履歴が「認証後に表示」のときを除く）またはiアプリDXがあります。

〈電話帳・履歴またはメール・履歴：「表示する」以外〉

- メールグループの表示やメール振り分け、チャットメールの起動をするには、認証操作が必要です。

〈電話帳・履歴：「表示する」以外〉

- 通話中に撮影した静止画をメール送信するときに、通話相手のメールアドレスを電話帳に登録していても、相手のメールアドレスは宛先に入力されません。

〈電話帳・履歴：「認証後に表示」〉

- リダイヤル、着信履歴、伝言メモ、音声メモを利用するには、認証操作が必要です。
- 発着信時に電話帳に登録している名前や画像は表示されず、電話番号またはメールアドレスのみ表示されます。電話帳に設定している着信音やバイブレータ、テレビ電話代替画像なども動作せず、FOMA端末の設定に従って動作します。また、電話帳に登録している相手からの着信でも、呼出動作開始時間設定が動作します。
- 待受カスタマイズの新着情報エリアに、不在着信一覧、伝言メモ一覧は表示されません。
- メールやメール送受信履歴などでは、電話帳に登録している名前は表示されず、メールアドレスが表示されます。
- スケジュール帳のメンバーリスト一覧で、メンバーの名前が表示されません。
- セレクトメニューで人物を登録している場合は、人物の選択ができません。アイコンがに変わり、人物名は「＊＊＊」で表示されます。
- イヤホンスイッチ設定の電話帳メモリ番号を設定していても、イヤホンスイッチ発信はできません。

〈電話帳・履歴：「指定電話帳非表示」〉

- シークレット属性を設定した相手が対象の新着情報は表示しません。また、リダイヤルや着信履歴、伝言メモ、通話中音声メモ、受信／送信／未送信メール一覧、メール送受信履歴での表示をしません。
- 待受カスタマイズの新着情報エリアに、シークレット属性を設定した相手が対象の未読メール一覧、不在着信一覧、伝言メモ一覧は表示されません。
- 新着アニメの設定一覧に、シークレット属性を設定した電話帳データやグループの設定は表示されません。
- シークレット属性を設定した電話帳データに登録した画像または動画／iモーション、バイブレータなどの着信時の動作は、FOMA端末の設定に従って動作します。また、着信画面には名前は表示されず、電話番号が表示されます。
- スケジュール帳のメンバーリスト一覧で、シークレット属性を設定した電話帳データのメンバーの名前が表示されません。
- セレクトメニューで、シークレット属性を設定した電話帳データの人物が表示されません。

・イヤホンスイッチ設定の電話帳メモリ番号に、シークレット属性を設定した電話帳データを設定している場合、イヤホンスイッチ発信はできません。

〈メール・履歴：「認証後に表示」〉

・待受カスタマイズの新着情報エリアに、未読メール一覧は表示されません。
・電話帳やスケジュール帳からメールを検索したり、メール送受信履歴の表示やメール連動型ｉアプリのダウンロードやバージョンアップ、削除をしたりする場合は、認証操作が必要です。

〈メール・履歴：「指定フォルダを非表示」〉

・シークレット属性を設定したフォルダに振り分けるように設定した相手からのメールを送受信した場合、新着情報やメール送受信履歴での表示をしません。
・待受カスタマイズの新着情報エリアに、シークレット属性を設定したフォルダに振り分けるように設定した相手からのメールを未読メール一覧に表示しません。
・シークレット属性を設定したフォルダにメール連動型ｉアプリに対応した受信メールが保存されていた場合に、メール連動型ｉアプリをダウンロードしてもメール連動型ｉアプリ用のフォルダに自動的に振り分けられません。

〈マイピクチャまたはｉモーション：「認証後に表示」〉

・着信音や発着信画像に「プリインストール」フォルダ以外の動画／ｉモーションや画像を設定している場合は、お買い上げ時の設定で動作します。ただし、「プリインストール」フォルダの動画／ｉモーションや画像を設定している機能がある場合は、着信音や発着信画像の優先順位に従って動作します。
・待受画面に設定した画像や動画／ｉモーションは表示されます。
・各機能の設定でマイピクチャまたはｉモーションのデータを利用する場合は、認証操作が必要です。また、機能によっては非表示に設定している項目は、プライバシーモード解除後に反映されることを示す画面が表示されます。

〈マイピクチャ：「認証後に表示」〉

・スケジュールに「プリインストール」フォルダ以外の画像を設定している場合は、お買い上げ時の設定で動作します。
・静止画撮影や動画撮影でフレームを重ねて撮影できません。
・メール作成中のデコメピクチャ一覧やデコメ絵文字一覧に「デコメピクチャ」「デコメ絵文字」フォルダ以外の画像は表示されません。
・FOMA端末電話帳のデータをmicroSDメモリーカードにコピー、バックアップした場合、FOMA端末電話帳に設定された静止画はコピー、バックアップされません。

〈ｉモーション：「認証後に表示」〉

・目覚ましやスケジュールに「プリインストール」フォルダ以外の動画／ｉモーションを設定している場合は、アラーム音の目覚まし音やスケジュール音の設定で動作します。ただし、アラーム音の目覚まし音やスケジュール音に「プリインストール」フォルダ以外の動画／ｉモーションを設定している場合は、お買い上げ時の設定で動作します。

〈スケジュール：「表示する」以外〉

・待受カスタマイズのカレンダーで、スケジュールが設定されていることを示す日付の右上の赤いマークは表示されません。

〈スケジュール：「認証後に表示」〉

・待受カスタマイズのスケジュールエリアは表示されません。
・待受カスタマイズのカレンダーで、スケジュールの休日設定で休日にした日は赤で表示されず、お買い上げ時の表示に戻ります。
・設定した日時になってもスケジュールアラームは鳴りません。

〈スケジュール：「指定スケジュール非表示」〉

・設定した日時になっても、シークレット属性のスケジュールのアラームは鳴りません。
・待受カスタマイズのスケジュールエリアに、シークレット属性のスケジュールは表示されません。また、登録件数確認で表示される件数に含まれません。

〈ｉアプリ：「認証後に表示」〉

・メール連動型ｉアプリ用のメールフォルダを選択したり、ｉアプリをダウンロードしたりする場合は、認証操作が必要です。
・待受画面設定でｉアプリを待受画面に設定する場合は、認証操作が必要です。また、非表示に設定している項目はプライバシーモード解除後に反映される旨のメッセージが表示されます。

✔お知らせ

- プライバシー新着通知と自動起動以外のすべての項目が「表示する」のとき、プライバシーモードは起動しません。既に起動していると解除されます。
- データ一括削除を行ったり、次の機能で「全件削除」したりした場合、プライバシーモード中で非表示になっているデータも削除されます。
  - リダイヤル／着信履歴
  - 伝言メモ
  - 電話帳データ
  - 新着アニメの設定
  - メール※
  - メール送受信履歴
  - スケジュール
  - 音声メモ

  ※「1件削除」「複数削除」以外の削除操作をした場合も非表示のメールは削除されます。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴が「指定電話帳非表示」またはメール・履歴が「指定フォルダを非表示」のとき）に、プライバシーモードを解除し、待受画面に新着情報が表示されていても、新着アニメは動作しません。
- プライバシーモード中に、プライバシーモード設定の電話帳・履歴を「表示する」または「認証後に表示」から、「指定電話帳非表示」に変更した場合、メールへのプライバシーを反映するために、シークレット反映を行うよううながす旨のメッセージが表示されます。
- プライバシーモードの設定によっては、プライバシーモード中にｉアプリからメールやスケジュールを利用したり、マイピクチャにデータを保存したりすると、指定された機能が実行できない旨のメッセージが表示される場合があります。
- プライバシーモード中、「認証後に表示」に設定した機能を利用するときは、一度認証操作を行うと待受画面に戻るまで認証操作は不要です。「認証後に表示」に設定した複数の機能を利用する場合も同様です。
  〈例〉プライバシーモード中（電話帳・履歴、マイピクチャが「認証後に表示」のとき）にマイピクチャに保存している画像をメールで送信する場合、マイピクチャを表示するときに認証操作を行うため、メール作成画面で電話帳を表示するときは、認証操作は不要です。

◆プライバシーモードを一時解除する

非表示のデータがある一覧画面などで一時的にプライバシー状態を解除して非表示のデータを表示できます。

- 待受画面に戻るまで一時解除は有効です。ただし、画面によっては一時解除できない場合があります。

1 一時解除する画面でCLR（1秒以上）▶認証操作

◆宛先、発信元がシークレット属性の電話帳データのメールを非表示にする〈シークレット反映〉

電話帳データのシークレット属性を変更したときや、データ通信などで本FOMA端末にメールを保存した場合などにシークレット反映を実行すると、シークレット属性が設定された電話帳データの電話番号またはメールアドレスと、宛先または発信元が一致したメールやSMSに、シークレット属性が設定できます。

- シークレット属性を設定したメールやSMSは、プライバシーモード中（電話帳・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）に非表示となります。

1 MENU▶8 4 2 2▶認証操作▶「はい」

✔お知らせ

- 電話帳データのシークレット属性の変更や電話帳データを編集した後にシークレット反映をしなかった場合、プライバシーモードを起動しても、変更や編集した電話帳データのメールやSMSは非表示になりません。
- シークレット属性に設定されるメールやSMSは次のとおりです。
  - 宛先（TO、CC、BCC）に登録されている電話帳データにシークレット属性が設定されている送信／未送信メールやSMS
  - シークレット属性が設定されている電話帳データが発信元である受信メールやSMS
- シークレット反映中はディスプレイ上部に が表示され、データ転送モード中（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。また、MULTIを押して他の機能に切り替えることもできません。

- シークレット属性が設定されている電話帳データを外部から取り込んだり、電話帳データにシークレット属性を設定したりした場合に待受画面に戻ると、電話帳のシークレット属性をメールに反映するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとシークレット反映を実行します。プライバシーモードを起動していない場合は、プライバシーモードの設定をうながす旨のメッセージが表示されます。
- 2in1がONのときは、2in1のモードや電話帳2in1設定に関わらず、シークレット属性が設定されます。
- 次の場合にシークレット反映を実行すると、これらのデータが対象のメールやSMSに設定されていたシークレット属性は解除されます。
  - 電話帳データのシークレット属性の解除をしたとき
  - シークレット属性を設定した電話帳データを変更したとき（変更前の電話番号またはメールアドレスが対象）
  - シークレット属性を設定した電話帳データを削除したとき（電話帳データの電話番号またはメールアドレスの削除含む）

着信／受信時動作設定

電話やメールの着信時に名前などを表示しないようにする

電話帳に登録している相手からの着信時に、名前などを表示するかどうかを設定します。

- パーソナルデータロックの設定よりも本設定が優先されます。
- 「プライバシーモードに従う」以外に設定した場合、プライバシーモード中（電話帳・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）の着信時や受信時の動作は、本設定が優先されます。

- プライバシーモードと着信／受信時動作設定を設定したときの着信動作は次のとおりです。

○：着信音設定の優先順位に従って動作→P102
●：複数の着信設定に関わらずFOMA端末の設定で動作
×：着信動作しない

プライバシーモード中※1		着信／受信時動作設定（電話着信時動作）			
		プライバシーモードに従う	電話番号のみ	名前のみ	名前＋電話番号
電話帳・履歴	表示する	○	○	○	○
	認証後に表示	●	○	○	○
	指定電話帳非表示※2	●	○	○	○
iモーション	表示する	○	○	○	○
	認証後に表示※4	●	●	●	●

プライバシーモード中※1		着信／受信時動作設定（メール受信時動作）				
		プライバシーモードに従う	メールアドレス＋題名	名前＋題名	受信通知のみ	テロップなし
電話帳・履歴	表示する	○	○	○	○	○
	認証後に表示	●	●	○	●	●
	指定電話帳非表示※2	×	○	○	○	×
メール・履歴	表示する	○	○	○	○	○
	認証後に表示	○	○	○	○	○
	指定フォルダ非表示※3	×	○	○	○	×

プライバシーモード中※1		着信／受信時動作設定（メール受信時動作）				
		プライバシーモードに従う	メールアドレス＋題名	名前＋題名	受信通知のみ	テロップなし
iモーション	表示する	○	○	○	○	○
	認証後に表示※4	●	●	●	●	●

※1 複数の機能を同時に設定していないことを前提としています。
※2 シークレット属性を設定した電話帳データのみが対象です。
※3 シークレット属性を設定したフォルダに振り分けしたときのみが対象です。
※4 電話帳別着信設定または電話帳グループ別着信設定で着信音に「プリインストール」フォルダ以外の動画／iモーションを設定しているときのみが対象です。

◆着信／受信時の動作を設定する

1 **MENU▶8 4 4▶認証操作▶各項目を設定▶□**

電話着信時動作：音声電話やテレビ電話着信時（通信中含む）に名前と電話番号を表示するかどうかを設定します。
- 「プライバシーモードに従う」に設定すると、プライバシーモード中（電話帳・履歴が「認証後に表示」または「指定電話帳非表示」のとき）に名前は表示されません。
- 「名前＋電話番号」に設定すると、音声電話やテレビ電話の着信時は、電話番号と名前を表示します。

メール受信時動作：メール受信時の受信結果の表示方法を設定します。
- 「プライバシーモードに従う」に設定すると、プライバシーモード中（電話帳・履歴が「認証後に表示」または「指定電話帳非表示」のとき）に名前は表示されません。また、プライバシーモード中（メール・履歴が「認証後に表示」のとき）は受信結果テロップにはメールを受信した旨のメッセージのみ表示されます。
- 「受信通知のみ」に設定すると、受信結果テロップにはメールを受信した旨のメッセージのみ表示されます。
- 「テロップなし」に設定すると、受信結果テロップは表示されません。

HOLD

サイドキーの誤動作を防止する

FOMA端末を閉じているときの□の操作を無効にし、かばんなどに入れて持ち歩く際の誤動作を防ぎます。

1 **MENU（1秒以上）**

待受画面に が表示されます。

解除する：**MENU（1秒以上）**

✔お知らせ

- HOLD中でも、背面表示部の表示、クイック伝言メモの起動、着信音の停止、着信中のバイブレータの停止はできます。
- HOLD中でも、FOMA端末を閉じた状態で□を押すと、背面表示部にHOLD中であることを示すパターンが表示された後に時計が表示されます。また、ワンタッチアラームが起動できる状態のときは、FOMA端末を閉じた状態で□を1秒以上押すと、ワンタッチアラームが起動します。

FOMA端末を閉じるたびにキーをロックする

開閉ロックを「ON」にすると、FOMA端末を閉じるたびに▯以外のキーがロックされます。解除しても開くたびに認証操作が必要なので、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。

開閉ロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、端末暗証番号入力画面または待受画面、開閉ロック中画面で緊急通報番号を入力して[発信]を押します。

※ 端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。

- FOMA端末が次の場合は、開閉ロックがかかりません。
  - 通話中※
  - メロディ再生中※
  - 赤外線通信／iC通信での受信
  - スケジュールアラーム、目覚まし、ワンタッチアラーム、お知らせタイマー鳴動中（スヌーズ中、停止中、カウントダウン中を含む）、リラックスモードプラス再生中※、イミテーションコール着信中（カウントダウン中を含む）
  - ソフトウェア更新中
  - ミュージックプレーヤー起動中※
  - USB接続によるデータの送受信
  - microSDメモリーカードの動画を連続再生中

  ※ FOMA端末を閉じている状態で動作が終了した場合は、開閉ロックがかかります。

◆開閉ロックを「ON」に設定する

1 [MENU]▶[8][4][1][1]▶認証操作▶各項目を設定▶[決定]

開閉ロック：開閉ロックを自動起動するかどうかを設定します。

ロック起動時間：FOMA端末を閉じてから自動起動するまでの時間を設定します。

❖開閉ロックが起動すると

FOMA端末を閉じるたびに、ロック起動時間で設定した時間に従って開閉ロックが起動し、▯以外のキーがロックされます。ただし、▯を押しても伝言メモ、音声メモ、動画メモは動作しません。

- 解除するときは、FOMA端末を開いて認証操作を行います。次の画面が表示されたときは、端末暗証番号を直接入力するか、[MENU]または[MULTI]を押して認証操作を行います。

待受画面で開閉ロックを起動した場合の待受画面

待受画面以外で開閉ロックを起動した場合の開閉ロック中画面

✔お知らせ

- 開閉ロック中でも、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）のスイッチを押して電話をかけられます。
- 開閉ロックが「ON」の場合に電源を入れ直すと、開閉ロックが起動します。また、おまかせロックが起動したときは、おまかせロックを解除した後に開閉ロックが起動します。
- 次の機能は利用できます。
  - 電源を入れる／切る操作
  - 音声電話やテレビ電話を受ける操作
  - 電話帳お預かりサービスの自動更新
  - 待受カスタマイズの表示と非表示の切り替え操作
  - ｉモードメールやメッセージR/F、SMSの受信※
  - おまかせロックの起動
  - 読み取り機からのトルカの取得

  ※ FOMA端末を開いた状態で受信した場合は、受信中および受信結果の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。

◆開閉ロックの起動をランプで知らせる〈セキュリティランプ設定〉

開閉ロックの状態を、背面表示部とランプでお知らせするかどうかを設定します。

1 MENU▶8 4 3▶認証操作▶1または2

❖セキュリティランプを設定すると

FOMA端末を閉じて開閉ロックが起動すると、背面表示部に開閉ロック中であることを示すパターンが表示され、ランプが青色で約3秒間点滅します。「閉じた直後」以外に設定しているときは、設定した時間が経過すると、背面表示部に開閉ロック中であることを示すパターンが表示され、ランプが青色で約3秒間点滅し、開閉ロックが起動したことをお知らせします。ただし、ランプが赤色で約3秒間点滅したときは、開閉ロックが起動しなかったことを示します。

指定した電話番号からの着信を許可／拒否する

FOMA端末電話帳に登録されている電話番号ごとに、着信の許可／拒否を設定します。

- 本機能を利用するには、電話番号ごとの着信許可／拒否の設定と、メモリ別着信拒否／許可の設定をする必要があります。設定項目と着信の許可／拒否の動作は次のとおりです。

設　定		電話番号ごとの着信許可／拒否設定		
		着信許可	着信拒否	設定なし
メモリ別着信拒否／許可設定	設定解除	着信する	着信する	着信する
	拒否設定	着信する	着信を拒否する※	着信する
	許可設定	着信する	着信を拒否する※	着信を拒否する※

※ 設定した電話番号から電話がかかってきても、着信音が鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。

- 本機能は相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
- 着信を拒否しても、不在着信として記録されます。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していた場合は、留守番電話サービス、転送でんわサービスが動作し、着信履歴には記録されません。
- 番号通知お願いサービス、および発番号なし動作設定を併用することをおすすめします。

◆着信を許可／拒否する電話番号を指定する〈着信許可／拒否設定〉

FOMA端末電話帳に登録されている電話番号に対して、着信許可／拒否を設定します。

1 [電話帳]▶**電話帳検索**▶**設定する電話帳データにカーソルを合わせて**[MENU]▶[3][4][3]▶**認証操作**▶**電話番号を選択**▶[1]～[3]

- 指定した電話番号からの着信許可／拒否をするには、続けてメモリ別着信拒否／許可の設定を有効にしてください。

✔お知らせ

- 着信許可／拒否を設定している電話番号を変更または削除すると、本設定は解除されます。その場合は、変更または登録後の電話番号に対して着信許可／拒否を設定してください。

◆着信許可／拒否設定を有効にする〈メモリ別着信拒否／許可〉

- 本設定は着信許可／拒否を設定したすべての電話番号が対象になります。
- 拒否設定と許可設定を同時に有効にはできません。

1 [MENU]▶[8][5][5][1]▶**認証操作**▶[1]～[3]

✔お知らせ

- 着信拒否を設定した相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、本設定に関わらず、発番号なし動作設定に従った動作となります。
- 着信許可を設定した電話帳データがない場合に許可設定を選択すると、すべての着信を拒否する旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、すべての着信を拒否するように設定されます。
- ｉモードメールやSMSは、本設定に関わらず受信します。

発番号なし動作設定

電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する

電話番号が通知されない着信があった場合、通知されない理由（発信者番号非通知理由）ごとに着信動作を設定します。

- 電話番号が通知されない音声電話の着信があったときの着信音と着信画像は、電話着信設定よりも本設定が優先されます。

1 [MENU]▶[8][5][2]▶**認証操作**▶[1]～[3]▶**各項目を設定**▶[電話帳]

〈着信動作〉：発信者番号が通知されない電話の着信があったときの動作を設定します。

- 「設定解除」にすると、それぞれの着信音の設定に従って着信音が鳴ります。
- 「着信拒否」にすると、相手からの着信を拒否します。
- 「着信音OFF」にすると、着信音は鳴りません。「イメージ表示」で画像を設定します。
- 「メロディ」にしたときは、メロディを選択し、「イメージ表示」で画像を設定します。
- 「着モーション」にしたときは、動画／ｉモーションを選択します。
- 「ミュージック」にしたときは、音楽データを選択し、「イメージ表示」で画像を設定します。
  ミュージックの設定→P101

イメージ表示：発信者番号が通知されない電話がかかってきたときに表示する画像を設定します。

- 「ｉモーション」を選択したときは、動画一覧から動画／ｉモーションを選択します。

イメージ一覧：イメージ表示で「イメージ」を選択したときは、イメージ一覧欄を選択して画像を設定します。

✔お知らせ

- 「着信拒否」に設定した場合、拒否された着信は不在着信として記録されます。
- 電話番号が通知されないテレビ電話の着信があった場合は、「着信拒否」に設定しているときのみ動作します。それ以外に設定した場合の着信音や着信画像は、それぞれの着信音や着信画像の設定に従って動作します。
- 着信動作の「着モーション」に音声のみの動画／iモーション（歌手の歌声など映像のないiモーション）を設定した場合、「標準画像」に設定されますが、イメージ表示欄で「イメージ」を選択して画像（Flash画像を除く）を変更できます。

呼出動作開始時間設定

電話帳に登録していない相手からの着信をすぐに受けないようにする

- 「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。
- メモリ登録外着信拒否が「ON」の場合は、本機能は設定できません。

1 MENU▶8 1 5▶**各項目を設定**▶回

着信呼出動作：着信呼出動作を有効にするかどうかを設定します。
呼出開始時間（秒）：着信してから呼出動作を開始するまでの時間を1～99秒の範囲で設定します。
時間内不在着信表示：呼出開始時間で設定した時間に満たなかった不在着信を、着信履歴に表示するかどうかを設定します。

❖着信呼出動作を設定すると

電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手から音声電話やテレビ電話がかかってきたときは、設定した時間内は画面表示のみで着信をお知らせします。設定した時間が経過すると、通常の呼出動作を開始します。

- 設定した時間が経過する前でも、電話に出たり伝言メモで応答したりできます。
- パーソナルデータロック中やプライバシーモード中（電話帳・履歴が「認証後に表示」のとき）は、電話帳に登録している相手からの着信でも本機能が動作します。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）に、電話帳にシークレット属性を設定している相手から電話がかかってきたときも、本機能が動作します。

✔お知らせ

- 本設定に関わらず、次の機能やサービスは動作します。
  - 公共モード
  - 伝言メモ
  - 留守番電話サービス
  - 転送でんわサービス
- メモリ別着信拒否／許可や発番号なし動作設定で着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってきた場合は、本機能よりもそれらの動作が優先されます。
- 呼出開始時間を、留守番電話サービス、転送でんわサービスの設定時間と同じ秒数に設定している場合、着信音が鳴ることがあります。

メモリ登録外着信拒否

電話帳に登録していない番号からの着信を拒否する

- 番号通知お願いサービスを併用することをおすすめします。
- パーソナルデータロック中や呼出動作開始時間設定の着信呼出動作が「ON」の場合は、本機能は設定できません。

1 MENU ▶ 8 5 5 2 ▶ 認証操作 ▶ 1 または 2

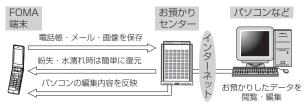
❖メモリ登録外着信拒否を設定すると

電話帳に登録していない相手から電話やテレビ電話がかかってきたとき、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。

- 着信を拒否しても、不在着信として記録されます。
- プライバシーモード中（電話帳・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）に、電話帳にシークレット属性を設定している相手からの着信を拒否します。また、公衆電話や発信者番号を通知しないで発信した電話からの着信があった場合の動作は、発番号なし動作設定よりも本設定が優先されます。
- ｉモードメールやSMSは、本設定に関わらず受信します。

電話帳お預かりサービスとは

FOMA端末に保存している電話帳やメール、画像（以降、保存データ）を、ドコモのお預かりセンターに預けることができるサービスです。万一紛失や水濡れでFOMA端末に保存したデータが消失しても、ｉモードで操作することにより、お預かりセンターに預けている保存データを新しいFOMA端末に復元できます。また、FOMA端末の電話帳データとお預かりセンターの電話帳データを、定期的に自動で最新の状態にすることができます。さらに、お預かりセンターに預けている保存データを簡単にパソコンからMy DoCoMoのサイトで編集したり、編集した保存データをFOMA端末に保存したりできます。

- 電話帳お預かりサービスの詳細については、『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

※ 電話帳お預かりサービスはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。

- 電話帳・メール・画像をお預かりセンターに保存／復元する操作方法については、各ページをご覧ください。
電話帳→P97、メール→P213、画像→P278

その他の「あんしん設定」について

本章でご紹介した以外にも、次のようなあんしん設定に関する機能・サービスがありますのでご活用ください。

目 的	機能・サービス名称	参照先
ICカード機能を利用できないようにする	ICカードロック	P269
いたずら電話や繰り返しかかってくる間違い電話などの「迷惑電話」を受けない	迷惑電話ストップサービス	P373
発信者番号を通知してこない電話を受けない	番号通知お願いサービス	P373
電子認証サービスを利用して、安全で信頼性の高いデータ通信を行う（FirstPass対応サイトに限る）	FirstPass	P165 P184
必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新する	ソフトウェア更新	P449
障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る	スキャン機能	P455
大量に届くメールの中から、必要なメールのみを受信する	メール選択受信	P222
災害時にｉモードを利用して、安否情報を登録／確認する	「ｉモード災害用伝言板」サービス	※
メールアドレスを変更する	メールアドレス変更	
URLが記載されたメールを受信しない	迷惑メール対策（URL付きメール拒否設定）	
指定したドメインからのメールのみを受信／拒否する	迷惑メール対策（受信／拒否設定）	
ｉモードどうしのメールのみ受信／拒否する		
指定したアドレスからのメールを受信／拒否する		
迷惑メール対策のおすすめ設定を簡単に設定する	迷惑メール対策（かんたんメール設定）	
1日に1台のｉモード端末から送信される500通目以降のｉモードメールを拒否する	迷惑メール対策（ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限）	
SMSの受信を拒否する	迷惑メール対策（SMS拒否設定）	
一方的に送られてくる広告メールを受信しない	迷惑メール対策（未承諾広告※メール拒否）	
受信するメールサイズを制限する	メールサイズ制限	
メール機能の設定状況を確認する	メール設定確認	
メール機能を一時的に停止する	メール機能停止	

※『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

カメラ

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影または録音したもの、およびサイト（番組）やインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。撮影または録音などしたものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

カメラをご使用になる前に

◆カメラのご使用について

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間FOMA端末を放置したりすると、撮影する画像が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズの特性により、画像がゆがんで見える場合があります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があり、撮影のタイミングによっては画像の色合いが異なることがあります。撮影時の明るさを調整することで、ちらつきや縞模様を軽減できる場合があります。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。

◆撮影時の留意事項

- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- 撮影の際、レンズ部分を指などで覆わないでください。
- 手ぶれにご注意ください。FOMA端末は手ぶれ補正を行えますが、撮影環境や被写体によっては効果が薄くなる場合があります。FOMA端末が動かないようにしっかり持って撮影するか、FOMA端末を安定した場所に置き、セルフタイマー機能を利用して撮影することをおすすめします。手ぶれ補正やセルフタイマー機能は、静止画撮影時のみ利用できます。
- ■を押してから実際に撮影されるまでに、多少の時間差があります。■を押してから少しの間、FOMA端末を動かさないでください。また、速く動いている被写体を撮影すると、■を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
- 動きの激しいものを動画撮影すると、映像が乱れる場合があります。
- iアプリからカメラ撮影した画像はiアプリ内（iアプリによっては、「iモード」フォルダや「デコメピクチャ」フォルダ）に保存されます。また、自動的にサーバへ送られる場合があります。
- 保存先がmicroSDメモリーカードの場合は、カメラ使用中にmicroSDメモリーカードを抜かないでください。FOMA端末の故障の原因になります。
- 撮影した画像を保存する前に電池残量がなくなると、保存できません。
- カメラは電池の消費が非常に早いため、カメラを長時間起動しておいたり、撮影後に保存せず長時間放置したりしないでください。
- 設定によっては、カメラを起動してから撮影画面に映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- 電話帳、メール、iアプリからカメラを起動したときは、利用できない機能や変更できない設定があります。

◆撮影方法について

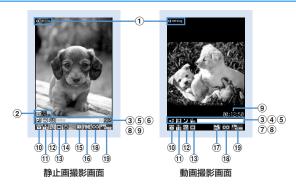
FOMA端末が動かないように、しっかり持って撮影してください。

- 手ぶれのない画像を撮影→P157
- 撮影待機中に約3分間キー操作をしないと、カメラは終了します。

◆撮影画面とファイルについて

FOMA端末では、さまざまなサイズや撮影モードで撮影できます。撮影した静止画や動画は、FOMA端末だけでなく、microSDメモリーカードに保存したり、iモードメールに添付して送信できます。

❖撮影画面の見かた

静止画撮影画面　　動画撮影画面

① 撮影時設定操作ガイド
　[カメラキー]を押して撮影時の設定ができることを示します。
② 全画面表示／標準画面表示操作ガイド
　[＊キー]を押して全画面表示と標準画面表示を切り替えられることを示します。
③ 保存先→P153　[アイコン]: FOMA端末本体　[アイコン]: microSDメモリーカード
④ 撮影種別→P153　[アイコン]: 画像+音声　[アイコン]: 画像のみ　[アイコン]: 音声のみ
⑤ ナイトモード→P155
⑥ セルフタイマー→P155
⑦ 共通再生モード→P155
⑧ インジケータ（撮影待機中）
　保存領域の使用率を示します。セルフタイマー使用時（カウントダウン中）はシャッターが切れるまでの残り時間を示します。
　• microSDメモリーカードの使用領域は、静止画や動画を撮影していなくても0にならない場合があります。
　インジケータ（動画撮影中／一時停止中）
　サイズ制限で設定しているファイルサイズに対して、現在撮影している割合を示します。
⑨ カウンタ（静止画撮影時）
　撮影できる最大枚数（目安）を示します。セルフタイマー使用時（カウントダウン中）はシャッターが切れるまでの残り時間を示します。
　連続撮影手動中、4コマ撮影手動中、連続パノラマ撮影中は現在の撮影枚数と最大撮影枚数を示します。
　カウンタ（動画撮影時）
　撮影待機中は、撮影できる最大時間（目安）を示します。撮影中は経過時間と設定したサイズ制限の残り撮影時間（目安）を表示します。
⑩ 撮影モード→P156
⑪ 明るさ→P157
⑫ ホワイトバランス→P157
⑬ フレーム→P157
⑭ 手ぶれ補正→P157
⑮ 連続撮影→P149、151
⑯ 画質→P158
⑰ 品質→P158
⑱ サイズ制限→P158
⑲ 画像サイズ→P158

動画撮影の横撮影時（→P156）には、撮影状態を示す□STANDBY（撮影待機中）、●REC（撮影中）、II PAUSE（一時停止中）と、カウンタが表示されます。カウンタは、撮影待機中は撮影できる最大時間（目安）を示し、撮影中は設定したサイズ制限の残り撮影時間（目安）をカウントダウンします。

❖静止画ファイル／動画ファイルについて

静止画ファイル

ファイル形式	拡張子
JPEG（Exif形式、PRINT Image Matching Ⅲ※1対応）	jpg

動画ファイル

ファイル形式	符号化方式	拡張子
MP4（MobileMP4）	映像：MPEG4 音声：AMR	3gp
ASF※2	映像：MPEG4 音声：G.726	asf

※1 撮影モードが「モノクロスケッチ」または「カラースケッチ」の場合には対応していません。
※2 品質が「XQ」のときのファイル形式です。

- 表示名／タイトル／ファイル名には、撮影した日時が自動的に付けられます。
  - FOMA端末では表示されませんが、ファイル名には拡張子が付けられます。
  - 撮影後、ファイル名を変更できます。→P302
- 静止画ファイル、動画ファイルは、メールに添付して送信したり、赤外線通信／iC通信やmicroSDメモリーカード、データリンクソフトを利用してパソコンや他の端末に送ったりできます。

❖静止画の保存枚数

保存できる静止画の枚数は、画像サイズやサイズ制限、画質、撮影状況によって変わります。

- 画像サイズ、サイズ制限、画質の設定→P153
- 次の表は、お買い上げ時の状態で静止画撮影画面のカウンタに表示される枚数を記載しています。

■F705i、microSDメモリーカード（容量が64MBの場合）に保存できる静止画の枚数（目安）

画像サイズ	画　質	保存先	
		F705i	microSDメモリーカード
電話帳用（96×72）	エコノミー	約402枚	約3822枚
	スタンダード	約402枚	約3822枚
	ファイン	約402枚	約3822枚
Sub-QCIF（128×96）	エコノミー	約402枚	約3822枚
	スタンダード	約402枚	約3822枚
	ファイン	約402枚	約3822枚
QCIF（176×144）	エコノミー	約402枚	約3822枚
	スタンダード	約402枚	約3822枚
	ファイン	約402枚	約1911枚
QVGA（240×320）	エコノミー	約402枚	約1911枚
	スタンダード	約402枚	約1911枚
	ファイン	約257枚	約1274枚
待受用（240×432）	エコノミー	約402枚	約1911枚
	スタンダード	約386枚	約1911枚
	ファイン	約233枚	約955枚
横長VGA（640×480）	エコノミー	約224枚	約955枚
	スタンダード	約171枚	約764枚
	ファイン	約94枚	約424枚
縦長VGA（480×640）	エコノミー	約224枚	約955枚
	スタンダード	約171枚	約764枚
	ファイン	約94枚	約424枚
SXGA（960×1280）	エコノミー	約103枚	約477枚
	スタンダード	約64枚	約294枚
	ファイン	約35枚	約173枚

❖動画の撮影時間

動画の撮影時間はサイズ制限や品質、画像サイズ、撮影種別の設定や、撮影状況によって変わります。

- サイズ制限、品質、画像サイズ、撮影種別の設定→P153
- 次の表は、お買い上げ時の状態で動画撮影画面のカウンタに表示される時間を記載しています。

■ サイズ制限がある場合の1回あたり撮影時間（目安）

- メール添付用（大／小）の制限サイズ→P158
- 保存先に関わらず1回あたりの撮影時間は同じです。
- サイズ制限を「制限なし」に設定すると、1回あたりの撮影時間は合計撮影時間と同じになります。

サイズ制限：メール添付用（小）

画像サイズ	品質			
	LP	STD	HQ	XQ
Sub-QCIF（128×96）	約83秒 約100秒	約52秒 約63秒	約37秒 約42秒	約17秒 約20秒
QCIF（176×144）	約56秒 約63秒	約29秒 約32秒	約20秒 約21秒	約9秒 約10秒
QVGA（320×240）	約30秒 約32秒	約15秒 約16秒	約10秒 約11秒	約4秒 約4秒

※ 上段：画像＋音声　下段：画像のみ

サイズ制限：メール添付用（大）

画像サイズ	品質			
	LP	STD	HQ	XQ
Sub-QCIF（128×96）	約340秒 約411秒	約214秒 約257秒	約152秒 約172秒	約72秒 約84秒
QCIF（176×144）	約228秒 約258秒	約118秒 約129秒	約81秒 約86秒	約39秒 約42秒
QVGA（320×240）	約121秒 約129秒	約62秒 約65秒	約42秒 約43秒	約16秒 約16秒

※ 上段：画像＋音声　下段：画像のみ

■ 保存できる動画の合計撮影時間（目安）

- サイズ制限を「制限なし」に設定した数値です。サイズ制限を設定した場合、保存可能な合計撮影時間が変わることがあります。

F705i本体に保存した場合

画像サイズ	品質			
	LP	STD	HQ	XQ
Sub-QCIF（128×96）	約54分 約65分	約34分 約40分	約24分 約27分	約11分 約13分
QCIF（176×144）	約36分 約41分	約18分 約20分	約12分 約13分	約373秒 約406秒
QVGA（320×240）	約19分 約20分	約589秒 約10分	約398秒 約413秒	約152秒 約157秒

※ 上段：画像＋音声　下段：画像のみ

microSDメモリーカードに保存した場合（容量：64MB）

画像サイズ	品質			
	LP	STD	HQ	XQ
Sub-QCIF（128×96）	約169分 約224分	約106分 約127分	約75分 約85分	約39分 約41分
QCIF（176×144）	約113分 約128分	約58分 約64分	約40分 約42分	約20分 約21分
QVGA（320×240）	約60分 約64分	約30分 約32分	約20分 約21分	約487秒 約492秒

※ 上段：画像＋音声　下段：画像のみ

静止画撮影

カメラで静止画を撮影する

連続撮影やフレーム撮影など、さまざまな方法で静止画を撮影できます。

- 撮影前に撮影方法を設定できます。→P154
- 撮影時の設定を変更できます。→P156
- 各種の音量設定を「Silent」に設定した場合やマナーモード中、公共モード中でも、シャッター音は鳴ります。
- 最大保存件数→P458

1 [カメラ]

静止画撮影が起動して撮影待機状態になり、ランプが青色で点滅します。

2 **被写体にカメラを向けて[■]**

シャッター音が鳴り、ランプが赤色で点灯して静止画が撮影されます。

3 **撮影した静止画を確認**

すぐに保存する：操作4に進む

保存しないで撮影し直す：[CLR]

等倍表示に切り替える：[A/a]

- [方向キー]を押すと、画面をスクロールして確認できます。
- 解除するときは[CLR]、[MENU]、[A/a]、[□]、[✉]のいずれかを押します。
- 等倍表示できるのは、横長／縦長VGA（640×480、480×640）以上のサイズのみです。

静止画を添付したメールを作成する：[✉]

保存の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると保存され、メール作成画面が表示されます。

- 画像サイズやファイルサイズによっては、横長／縦長QVGA（320×240、240×320）への変換の確認画面が表示されます。→P198
- 保存先がmicroSDメモリーカードの場合も、FOMA端末に保存されます。
- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、ファイルサイズ調整の確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで、「メール添付用（小）」を選択すると90Kバイトより小さいファイルサイズで保存されます。
- ファイルサイズが90Kバイトより小さい場合は、本文内への貼り付けの確認画面が表示されます。

待受画面に設定する：[MENU]▶[2][1]▶「はい」

静止画がFOMA端末に保存され、待受画面に設定されます。

- 画像サイズがQCIF（176×144）以下のときは、「はい（等倍表示）」または「はい（拡大表示）」を選択します。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面解除の確認画面が表示されます。
- 保存先がmicroSDメモリーカードの場合は、待受画面に設定できません。

電話帳の画像に登録する（画像サイズが電話帳用（96×72）の場合のみ）：[MENU]▶[2]▶[2]または[3]▶「はい」

静止画がFOMA端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。

- 更新登録するときは登録する相手を選択します。
- 保存先がmicroSDメモリーカードの場合は、電話帳の画像に登録できません。

タイトルを変更する：[MENU]▶[3][1]▶タイトルを変更して[□]

- 31文字以内で入力します（連続撮影した画像は30文字以内）。

回転させる：

① [MENU]▶[3][3]

左に90度回転した画像が表示されます。

- [MENU]または[□]を押すとさらに90度ずつ回転します。

② [■]▶「はい」

静止画が回転した状態で保存されます。

- 次の場合は回転させられません。
  - フレームを設定している場合
  - 連続撮影自動／手動時
  - 連続パノラマ撮影時

明るさや色のバランスを補正する：[口]

編集画面が表示されます。→P278

- 次の場合は補正できません。
  - 画像サイズが横長／縦長VGA（640×480、480×640）以上の場合
  - 4コマ撮影でフレームを設定している場合
  - 連続パノラマ撮影時
  - 撮影モードが「モノクロスケッチ」または「カラースケッチ」の場合

保存先をFOMA端末／microSDメモリーカードに切り替える：[MENU][8]

保存されている画像を一覧表示する：[MENU]▶[9]▶[1]または[2]

4 [■]

撮影した静止画がマイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。

- 保存先がmicroSDメモリーカードの場合は「マイピクチャ」フォルダに保存されます。

保存した静止画を確認する：[口]▶**静止画を選択**

画像の表示方法→P272「画像を表示する」操作2～3

- 確認後、[CLR]を2回押すと静止画撮影画面に戻ります。

✔お知らせ

- 画像サイズ、画質によっては、撮影した静止画の保存に時間がかかる場合があります。
- 画像サイズが横長／縦長VGA（640×480、480×640）以上の場合に手ぶれ補正オートで撮影すると、次の操作を行えるまでに時間がかかります。
  - [A/a]を押しての等倍表示
  - [✉]を押してのメール作成
  - [MENU]を押してから操作できる機能（[MENU][3][1]によるタイトル編集と[MENU][9]による保存先一覧表示を除く）
- 音声電話中に静止画を撮影すると、通話が途切れる場合があります。
- microSDメモリーカードが取り付けられていないときやmicroSDメモリーカードが他の機能で使用されているとき、microSDモード中は、保存確認画面で利用できない機能があります。

◆連続撮影する〈連続撮影〉

静止画を連続で撮影できます。連続撮影には次の4種類があります。

連続撮影自動：設定した枚数分（最大9枚）を自動で連写

連続撮影手動：設定した枚数分（最大9枚）を手動で連写

4コマ撮影自動：4コマを自動で連写して1枚の静止画にする

4コマ撮影手動：4コマを手動で連写して1枚の静止画にする

- 連続撮影自動と4コマ撮影自動は、約0.4秒間隔で撮影されます。
- 静止画詳細設定の連続撮影枚数で連続撮影する枚数を設定できます。
- 連続撮影自動、連続撮影手動で撮影できるのは、画像サイズが次の場合です。
  - Sub-QCIF（128×96）
  - QCIF（176×144）
  - QVGA（240×320）
  - 待受用（240×432）
- 4コマ撮影自動、4コマ撮影手動ができるのは、画像サイズが次の場合です。
  - QVGA（240×320）
  - 待受用（240×432）

1 **[カメラ]▶[◀▶]で連続撮影のマークにカーソルを合わせる▶[▲▼]で連続撮影の種類を切り替えて[■]**

連続撮影のマークの位置→P145

[A]: 連続撮影自動　[M]: 連続撮影手動　[田A]: 4コマ撮影自動

[田M]: 4コマ撮影手動　[1]: OFF（1枚撮影）

2 被写体にカメラを向けて■

- 連続撮影手動、4コマ撮影手動では■を押すたびに1枚撮影されます。
- 1枚撮影されるごとにシャッター音が鳴り、ランプが色を変えて点滅します。
- 連続撮影自動、4コマ撮影自動を始めると、FOMA端末を閉じても撮影は継続されます。
- 連続撮影手動、4コマ撮影手動の撮影中にFOMA端末を閉じたり📖を押したりすると、撮影が中断されます。連続撮影手動の場合は操作3に進みます。4コマ撮影手動の場合は撮影待機中の画面に戻り、それまで撮影した静止画は破棄されます。

3 連続撮影した静止画を確認

連続撮影自動、連続撮影手動のとき

- A/aを押すたびに1枚表示とサムネイル表示が切り替わります。
- 1枚表示時に◀▶を押すと、前後の静止画に切り替わります。
- 連続撮影手動で1枚だけ撮影した場合は、サムネイル表示されません。

4 ■

連続撮影や4コマ撮影した画像がマイピクチャの「カメラ」フォルダに1つの画像データとして保存されます。なお、連続撮影した画像はパラパラマンガの形式で保存されます。

静止画の確認画面での操作や静止画を保存するときの動作→P148「カメラで静止画を撮影する」操作3～4

- 保存先がmicroSDメモリーカードの場合は「マイピクチャ」フォルダに保存され、連続撮影した静止画はパラパラマンガ形式ではなく1枚ずつの静止画として保存されます。

表示されている静止画1枚だけを保存する（連続撮影自動、連続撮影手動撮影時）：■（1秒以上）▶「はい」

- サムネイル表示のときはカーソル位置の静止画が保存されます。

連続撮影した静止画の中から複数選択して保存する（連続撮影自動、連続撮影手動でサムネイル表示時）：

① MENU▶ 5 2 ▶保存する静止画を選択

- すべての静止画が選択された状態で表示されます。保存しない静止画を、■を押して選択状態から解除してください。
- ✉を押すとカーソル位置の静止画が1枚表示されます。■またはCLRを押すとサムネイル表示に戻ります。

② 📖▶「はい」

選択した静止画が保存されます。

✔お知らせ

- 連続撮影自動、連続撮影手動で撮影した静止画を1枚または複数選択で保存すると、選択しなかった画像は破棄されます。
- パラパラマンガ形式の画像は、解除機能で1枚ずつの静止画にできます。このとき、静止画のファイル名の末尾にそれぞれ「-1」～「-9」の番号が付きます。→P274
  静止画のファイル名→P146
- 撮影中に電話がかかってきたり、お知らせタイマーや目覚まし、スケジュールの指定日時になったりすると、それぞれ次のように動作します。
  - 連続撮影自動、4コマ撮影自動時は撮影が続行され、通話やアラームの終了後に確認画面が表示されます。
  - 連続撮影手動時は撮影が中止され、確認画面が表示されます。
  - 4コマ撮影手動時は撮影が中断され、それまで撮影した静止画は破棄されます。
  - 着信音およびアラームはシャッター音が鳴り終わるまで鳴りません。
- セルフタイマーを設定しているときには、連続撮影手動、4コマ撮影手動、連続パノラマ撮影はできません。

◆連続パノラマ撮影する〈連続パノラマ撮影〉

被写体に合わせてFOMA端末の方向を変えて連続撮影した2〜8枚の静止画を、1枚の静止画につなぎ合わせることができます。

1つ前の撮影画像の約5分の1が撮影画面の左または上に透過表示されます。

- 画像サイズ、最大画像サイズ、最大撮影枚数は次のとおりです。

画像サイズ	最大画像サイズ		最大撮影枚数
QVGA（240×320）	➡»⇣	1584×320	8
	⇢«⬇	2112×240	
待受用（240×432）	➡»⇣	1200×432	6
	⇢«⬇	2160×240	
横長VGA（640×480）	➡»⇣	2176×480	4
	⇢«⬇	1632×640	
縦長VGA（480×640）	➡»⇣	1632×640	
	⇢«⬇	2176×480	

※ ➡»⇣、⇢«⬇はガイド表示領域左下に表示されます。
緑色の矢印は次に静止画を撮影する方向を示します。

- 次の場合は連続パノラマ撮影できません。
  - 電話帳、iアプリから静止画撮影を起動した場合
  - フレーム使用中
  - iアプリ動作中
  - サイズ制限を「メール添付用（小）」または「メール添付用（大）」に設定している場合
  - セルフタイマーを設定している場合
  - 撮影モードが「モノクロスケッチ」または「カラースケッチ」の場合

1 [カメラ]▶[MENU]▶[6][5]

連続撮影のマークが[1]から[P]に変わります。

- [A/a]を押して連続パノラマ撮影する方向を切り替えられます。

解除する：[MENU]▶[6][6]

2 被写体にカメラを向けて[■]

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。続けてFOMA端末を右または下にずらし、撮影を行います。[■]を押すたびに、ランプが色を変えて点滅します。

- 連続パノラマ撮影中は、結合部分側に1つ前の撮影画像の約5分の1が透過表示されます。透過部分を重ね合わせるようにして次の撮影を行います。
- ガイドラインを表示していると、次の撮影時の透過部分を確認できます。
  ガイドラインを表示する→P156

合成する：**2枚以上撮影して[田]**

- 最大撮影枚数を撮影すると、自動的に合成されます。
- 1枚だけ撮影して[田]を押すと撮影が中断され、撮影した画像は破棄されます。

中断する：[CLR]

撮影した画像は破棄されます。

3 連続パノラマ撮影した静止画を確認

等倍表示に切り替える：[A/a]
- [十字キー]を押すと、画面をスクロールできます。
- 解除するときは[CLR]、[MENU]、[A/a]、[i]、[✉]のいずれかを押します。

自動スクロールする：[i]
- [■]を押すと、スクロールの一時停止／再開ができます。
- 中断するときは[CLR]、[MENU]、[A/a]、[i]、[✉]のいずれかを押します。

4 [■]

静止画が1枚に合成され、マイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。

静止画の確認画面での操作や静止画を保存するときの動作→P148「カメラで静止画を撮影する」操作3～4
- 保存先がmicroSDメモリーカードの場合は「マイピクチャ」フォルダに保存されます。

✔お知らせ
- 連続パノラマ撮影中に電話がかかってきたり、目覚ましやスケジュールの指定日時になったりすると、撮影が中断され、それまで撮影した静止画は破棄されます。

動画撮影

カメラで動画を撮影する

音声付きの動画を撮影します。
- 撮影前に撮影方法を設定できます。→P154
- 撮影時の設定を変更できます。→P156
- 各種の音量設定が「Silent」の場合やマナーモード中、公共モード中でもシャッター音は鳴ります。
- 最大保存件数→P458

1 [カメラ]（1秒以上）

動画撮影が起動して撮影待機状態になり、ランプが青色で点滅します。

2 被写体にカメラを向けて[■]

シャッター音が鳴り、ディスプレイに●が表示され、動画の撮影が始まります。ランプが赤色で点滅します。
- 一時停止するときは[■]を押します。一時停止するとシャッター音が鳴りランプが緑色に点灯し、●が▮▮に切り替わります。もう一度[■]を押すとシャッター音が鳴り、撮影を再開します。

3 [i]

シャッター音が鳴り、動画の撮影が終了します。
- ファイルサイズが制限値に達すると、撮影は終了します。
- 一時停止中でも撮影は終了します。

4 撮影した動画を確認

- [i]を押すと撮影した動画が再生されます。

すぐに保存する：**操作5に進む**

保存しないで撮影し直す：[CLR]

撮影した動画をメールに添付する：[✉]

保存の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると保存され、メール作成画面が表示されます。
- 保存先がmicroSDメモリーカードの場合も、FOMA端末に保存されます。
- 次の場合はメールに添付できません。
  - 動画のファイルサイズが2Mバイトより大きい場合
  - 品質が「XQ（最高品質）」の場合

待受画面（待受ｉモーション）に設定する：[MENU]▶[2][1]▶**「はい」**

動画がFOMA端末に保存され、待受画面に設定されます。
- 動画が拡大表示できる場合は、「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのままで、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて動画を拡大して待受画面に表示されます。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面解除の確認画面が表示されます。

- 次の場合は待受画面に設定できません。
  - 品質が「XQ（最高品質）」の場合
  - 保存先がmicroSDメモリーカードの場合

電話帳の画像に登録する：MENU▶2▶2または3▶「はい」
撮影した動画がFOMA端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。
- 撮影種別を「画像のみ」に設定しているときのみ電話帳の画像に登録できます。
- 更新登録するときは登録する相手を選択します。
- 次の場合は電話帳の画像に登録できません。
  - 品質が「XQ（最高品質）」の場合
  - 保存先がmicroSDメモリーカードの場合

タイトルを変更する：MENU▶3▶タイトルを変更して□
- 31文字以内で入力します。
- 品質が「XQ（最高品質）」の場合は、タイトルを変更できません。

保存先をFOMA端末／microSDメモリーカードに切り替える：MENU5
- 次の場合は保存先を切り替えられません。
  - 撮影した動画のファイルサイズが2Mバイトより大きい場合
  - 品質が「XQ（最高品質）」の場合

保存されている動画を一覧表示する：MENU▶6▶1または2

5 ■
撮影した動画がｉモーションの「カメラ」フォルダに保存されます。
保存した動画を確認する：□▶動画を選択
動画の表示方法→P280「動画／ｉモーションを再生する」操作2～3
- 確認後CLRを2回押すと、動画撮影画面に戻ります。

✔お知らせ
- 撮影中にFOMA端末を閉じると、撮影が停止します。もう一度FOMA端末を開くと保存確認画面が表示されます。
- 撮影や録音するデータによっては、設定しているサイズ制限の上限まで撮影できない場合があります。
- 撮影中や録音中に電池残量がなくなるとデータが保存されないことがあります。
- 保存先がmicroSDメモリーカードの場合は、動画はmicroSDメモリーカードの「動画」フォルダに保存されます。録音した音声は「その他の動画」フォルダに保存されます。
- 撮影中や録音中に電話がかかってきたり、お知らせタイマーや目覚まし、スケジュールの指定日時になったりした場合は、その時点で撮影や録音が中止され、確認画面が表示されます。
- 撮影中や録音中に電池が切れそうになると、撮影や録音は中止されます。
- microSDメモリーカードが取り付けられていないときや他の機能で使用されているとき、microSDモード中は、保存確認画面で利用できない機能があります。

静止画詳細設定・動画／録音詳細設定

静止画／動画のサイズや保存方法などを設定する

画像サイズ、画質、品質、撮影種別、サイズ制限など、撮影時の条件を設定できます。
- 静止画と動画で、設定できる機能は異なります。
- お買い上げ時の設定

画像サイズ：静止画撮影時「待受用（240×432）」、動画撮影時「QCIF（176×144）」　サイズ制限：「制限なし」　画質：「ファイン」　品質：「HQ（高品質）」　撮影種別：「画像＋音声」　連続撮影枚数：9枚　自動保存：「しない」　保存先：「本体」　シャッター音：「標準」　照明設定：「常灯」

〈例〉静止画詳細設定を変更する

1 □▶MENU▶9
動画／録音詳細設定を変更する：□（1秒以上）▶MENU▶7

2 **各項目を設定▶□**
画像サイズ：静止画撮影の場合、設定画面が表示され、使用できる機能が確認できます。→P158
サイズ制限：保存するファイルのサイズ制限値を設定します。→P158

画質：静止画撮影でのみ設定可能です。→P158
品質：静止画撮影では設定できません。動画、サウンドレコーダーで設定は個別です。→P158
撮影種別：静止画撮影では設定できません。「音声のみ」だとサウンドレコーダーになります。→P310
連続撮影枚数：静止画撮影でのみ設定可能です。連続撮影自動、連続撮影手動で撮影する枚数を設定します。→P149
自動保存：「する」に設定すると、撮影後の保存確認画面を表示せずに、設定した保存先に保存します。
保存先：撮影した画像や録音した音声の保存先を設定します。
シャッター音：撮影する際に鳴る音を選択します。各シャッター音にカーソルを合わせると、音が鳴ります。
照明設定：「端末設定に従う」に設定すると点灯時間設定の「通常時」に従い（→P114)、「常灯」に設定すると常に点灯します。

✔お知らせ

- 静止画詳細設定画面でMENUを押すと、撮影可能枚数が表示されます。ここで表示される撮影可能枚数は目安です。
- 動画／録音詳細設定画面でMENUを押すと、撮影／録音可能時間が表示されます。ここで表示される撮影／録音時間は目安です。
- 静止画の画像サイズのSXGA（960×1280）とサイズ制限の「メール添付用（小)」は同時に設定できません。
- シャッター音の設定は、操作確認音の静止画撮影シャッター音、動画撮影シャッター音の設定にも反映されます。→P104

撮影前に撮影方法を設定する

ズーム機能やセルフタイマー、接写撮影、ナイトモードなどを使用して、さまざまな方法で撮影できます。

- 設定後の撮影→P148「カメラで静止画を撮影する」、152「カメラで動画を撮影する」

◆ズームする

撮影倍率を変更し、被写体を拡大して撮影します。

- 各画像サイズで変更できる表示倍率は次のとおりです。

画像サイズ	最大倍率表示	
	静止画撮影時	動画撮影時
電話帳用（96×72）	約16.0倍（32段階）	―
Sub-QCIF（128×96）		約16.0倍（8段階）
QCIF（176×144）	約12.0倍（32段階）	約12.0倍（7段階）
横長QVGA（320×240）（縦撮影）	―	約4.0倍（3段階）
横長QVGA（320×240）（横撮影）	―	約8.0倍（5段階）
縦長QVGA（240×320）	約8.0倍（32段階）	―
待受用（240×432）		―
横長VGA（640×480）	約3.0倍（32段階）	―
縦長VGA（480×640）	約4.0倍（32段階）	―
SXGA（960×1280）	約2.0倍（6段階）	―

1 撮影画面で

押すたびにスライダの目盛が移動し、表示倍率が変わります。

静止画撮影のとき

W(標準）からT(最大ズーム）まで変更できます。

動画撮影のとき
1倍（標準）、2倍、4倍、6倍、8倍、10倍、12倍、16倍に変更できます。

◆セルフタイマーを使う〈セルフタイマー〉

設定時間が経過すると自動的にシャッターが切れるため、撮影者自身が被写体になったり、手ぶれを防いだりできます。

1 静止画撮影画面で[MENU]▶[5]▶[1]～[4]

シャッターが切れるまでの秒数に応じて～が表示されます。
解除する：[MENU]▶[5][5]

2 被写体にカメラを向けて[■]

カウントダウン音に合わせて、ランプが緑色で点滅します。インジケータとカウンタには撮影までの残り時間の目安と残り秒数が表示されます。残り秒数が少なくなると、カウントダウン音とランプの点滅が速くなります。
カウントダウンが終わると、シャッター音が鳴り、ランプが赤色で点灯して撮影されます。
セルフタイマーのマークの位置→P145
中止する：[□]

✔お知らせ

- 次の場合はカウントダウンが中止されます。
  - FOMA端末を閉じたとき
  - 電話がかかってきたとき
  - お知らせタイマーや目覚まし、スケジュールの指定日時になったとき
  - [MULTI]を押したとき
- 次の場合はセルフタイマーを使用できません。
  - 連続撮影手動のとき
  - 4コマ撮影手動のとき
  - 連続パノラマ撮影のとき

◆ナイトモードに切り替える

カメラの感度を上げて暗い場所でもはっきり写るようにします。

1 撮影画面で[✉]

が表示され、ランプが点灯します。
- [✉]を押すたびにナイトモードON／OFFが切り替わります。

✔お知らせ

- 撮影モードが「夜景」または「スポーツ」の場合はナイトモードを使用できません。

◆近くのものを撮影する〈接写撮影〉

カメラから約6～10cm離れた被写体にピントを合わせられます。

1 撮影画面で接写切り替えスイッチを側へ切り替える

- 解除するときは接写切り替えスイッチを●側へ切り替えます。

◆共通再生モードに切り替える

FOMA端末の機種に関わらず再生可能な動画を撮影できます。
- サイズ制限が「メール添付用（小）」、品質が「HQ（高品質）」以下、画像サイズが「QCIF（176×144）」以下に制限されます。

1 動画撮影画面で[MENU]▶[6]

共通再生モードに切り替わり、が表示されます。
解除する：**動画撮影画面で[MENU]▶[6]**

◆全画面モードと標準画面モードを切り替える

全画面モードにすると設定アイコンやガイド表示領域が消え、被写体を確認しやすくなります。

1 静止画撮影画面で[✱]

◆縦撮影と横撮影を切り替える

- 撮影待機中のみ切り替えられます。

1 動画撮影画面で[✱]

- 画像サイズがQVGA（320×240）の場合のみ切り替えられます。

◆静止画撮影と動画撮影を切り替える

1 撮影画面で[A/a]

◆ガイドラインを表示する

撮影の際の目安になる直線を表示します。ガイドラインは実際に撮影された画面には表示されません。

1 静止画撮影画面で[#]

ガイドラインが表示されます。
- [#]を押すたびに、ガイドラインの表示／非表示が切り替わります。
- フレームを設定しているときは、ガイドラインは表示できません。

撮影時の設定を変更する

撮影モード、明るさ、ホワイトバランス、フレーム、手ぶれ補正、画質、品質、サイズ制限、画像サイズ、ちらつき調整の設定を変更できます。

- 動画撮影で、撮影種別が「音声のみ」のときに設定できるのは、品質、サイズ制限のみです。

◆画面のマークを使って設定する

撮影画面の下に表示されているマークにカーソルを合わせて、撮影時の設定を変更できます。

〈例〉フレーム設定をする

1 撮影画面で[◎]▶フレームのマークにカーソルを合わせる

- 撮影待機中に[4]を押してもフレームのマークを選択できます。

2 [◎]でフレームを切り替える

解除する：[4]（1秒以上）
- カーソルをフレームのマークに合わせているときは「フレームなし」を選択すると解除されます。

3 [■]

❖撮影モードを設定する

撮影状況や好みに合わせて、撮影モードを設定します。

[MODE A]: オート　[人物]: 人物※1　[風景]: 風景　[夜景]: 夜景※1　[逆光]: 逆光
[スポーツ]: スポーツ　[ABC]: 文字※1　[モノトーン]: モノトーン　[セピア]: セピア
[鉛筆]: モノクロスケッチ※1、2、3　[カラー]: カラースケッチ※1、2、4

※1　動画撮影時は設定できません。
※2　ｉアプリから起動した場合には設定できません。
※3　えんぴつでスケッチした感じになります。
※4　えんぴつでスケッチして水彩絵の具で色をつけた感じになります。

✔**お知らせ**

- 撮影画面でMENU 1を押すと、撮影モードを一覧から設定できます。撮影モードの一覧の下には、現在のカーソル位置の撮影モードの説明が表示されます。
- 静止画撮影で「夜景」に設定している場合、連続撮影自動および4コマ撮影自動はできません。
- 静止画撮影で「モノクロスケッチ」または「カラースケッチ」に設定できるのは、待受用（240×432）以下のサイズのみです。
- 静止画撮影で「モノクロスケッチ」または「カラースケッチ」に設定している場合、連続撮影／4コマ撮影／連続パノラマ撮影はできません。
- 「オート」以外に設定している場合、「ホワイトバランス」の設定を変更できません。「明るさ」の設定は、「オート」に切り替えるまで保持されます。
- ナイトモードと「夜景」または「スポーツ」は同時に設定できません。

❖明るさを調整する

撮影する静止画や動画の明るさを－2～+2の5段階で調整します。

❖ホワイトバランスを調整する

自然光や照明光のある場所で撮影するとき、場に適した色合いに調整できます。

WB AUTO: オート　☀: 太陽光　☁: くもり　蛍: 蛍光灯　電: 電球

✔**お知らせ**

- 撮影モードが「オート」の場合のみ設定できます。

❖フレームを重ねて撮影する

FOMA端末に保存されているフレームや、サイトからダウンロードしたフレームを重ねて撮影できます。

▣: フレーム　▣: フレーム解除

- お買い上げ時にFOMA端末に保存されているフレームは、QCIF（176×144）、QVGA（240×320）、待受用（240×432）の画像サイズに対応しています。
- フレームを使用できるのは、画像サイズが次の場合です。
  - Sub-QCIF（128×96）
  - QCIF（176×144）
  - QVGA（240×320）※
  - 待受用（240×432）※

  ※ 静止画撮影のみ

✔**お知らせ**

- 撮影画面でMENU 3 1を押すと、フレームの一覧からフレームを選択できます。
- 選択したフレームのサイズが表示画像サイズと縦横反対のとき、フレームは右に90度回転して表示されます。その後、MENU 3 3を押すと、フレームは180度回転します。
- 撮影中にダウンロードして保存したフレームは、撮影画面に戻ってMENU 3 4を押して更新しないと、使用できない場合があります。

❖手ぶれを補正する

静止画撮影時に、手持ち撮影で起きやすい手ぶれを補正します。

オート：手ぶれを自動補正します。

OFF：設定を解除します。

✔**お知らせ**

- 次の場合、設定はOFFになります。
  - 連続撮影自動／手動時
  - 4コマ撮影自動／手動時
  - 連続パノラマ撮影時
  - ｉアプリから静止画撮影を起動した場合
  - ｉアプリ動作中
- 被写体や撮影状況により手ぶれ補正の効果が得られないことがあります。

❖静止画の画質／動画の品質を設定する

- 画質／品質によって、保存できる撮影枚数と撮影時間は変わります。→P146

静止画撮影のとき

[FINE]: ファイン　[ST]: スタンダード　[ECO]: エコノミー

動画撮影のとき

[XQ]: XQ（最高品質）　[HQ]: HQ（高品質）　[STD]: STD（標準）　[LP]: LP（長時間）

❖ファイルサイズを制限する

- 撮影または録音したファイルをｉモードメールに添付して送信する場合は「制限なし」以外に設定してください。

静止画撮影のとき

ファイルサイズが制限値より大きくなると、ファイルサイズを小さくして保存します。

[∞]**制限なし**：ファイルサイズを制限しません。

[メール(大)]**メール添付用（大）**：ファイルサイズを2Mバイトに制限します。ファイルサイズを変更せずに、ｉモードメールに添付できます。

[メール(小)]**メール添付用（小）**：ファイルサイズを90Kバイトに制限します。ｉモードメールに添付するのに適したファイルサイズです。

動画撮影のとき

ファイルサイズが制限値に達すると、撮影が終了します。

[∞]**制限なし**：ファイルサイズを制限しません。

[メール(大)]**メール添付用（大）**：ファイルサイズを2Mバイトに制限します。大容量メールに対応している機種に送信できるファイルサイズです。

[メール(小)]**メール添付用（小）**：ファイルサイズを500Kバイトに制限します。ｉモードメールに添付して大容量メールに対応していない機種に送信できるファイルサイズです。

✔お知らせ

- 静止画の画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更される場合があります。

❖画像のサイズを設定する

- 設定できる画像サイズは次のとおりです。

静止画撮影のとき

[96×72]: 電話帳用　[128×96]: Sub-QCIF　[176×144]: QCIF　[240×320]: QVGA　[240×432]: 待受用※1　[640×480]: 横長VGA※1、2　[480×640]: 縦長VGA※1、2　[960×1280]: SXGA※1、2

動画撮影のとき

[128×96]: Sub-QCIF　[176×144]: QCIF　[320×240]: QVGA

※1　ｉモードメールに添付するとき、QVGAサイズ変換の確認画面が表示されます。

※2　撮影モードが「モノクロスケッチ」または「カラースケッチ」に設定されている場合は選択できません。

- ｉモード端末に最大2Mバイトの画像を送信できます。

✔お知らせ

- 静止画の画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更される場合があります。
- 静止画撮影画面で[MENU][9]を押して静止画詳細設定画面から設定を行う場合、画像サイズの選択画面で、画面の下にアイコンが表示されます。それぞれのアイコンはカーソルを合わせた画像サイズで使用できる機能を示します。使用できない機能のアイコンはグレーで表示されます。
- 画像サイズの選択画面で[MENU]を押すと、撮影可能枚数が表示されます。ここで表示される撮影可能枚数は目安です。

◆ちらつきを調整する

撮影する静止画や動画のちらつきを調整すると、蛍光灯などの照明下で画面にちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えることができます。

- テレビ電話、バーコードリーダーのちらつき調整の設定にも反映されます。
- カメラを終了しても、設定は保持されます。

1 **撮影画面で[MENU]▶[2][3]▶[1]～[3]**

自動：ちらつきを消すように自動的に調整します。通常はこちらに設定してください。

50Hz（東日本）：東日本の電源周波数に合わせて調整します。

60Hz（西日本）：西日本の電源周波数に合わせて調整します。

- 「自動」に設定してもちらつきが消えないときは、お使いの地域に合わせて設定してください。

✔お知らせ

- ちらつき調整を「自動」以外に設定していても、蛍光灯などの光が強く当たっている場所ではちらつきが消えない場合があります。
- ちらつき調整が「自動」に設定されているときに手ぶれ補正機能を使うと、ちらつき調整が十分にできないことがあります。お使いになっている地域に合わせてちらつき調整を設定することをおすすめします。

◆撮影時の設定を初期値に戻す

- 撮影モード、明るさ、ホワイトバランス、ちらつき調整の設定が初期値に戻ります。

1 **撮影画面で[MENU]▶[2][4]▶「はい」**

通話中に撮影した静止画を送信する

音声電話中に撮影した静止画をｉモードメールに添付して、通話相手に送信します。

- 本機能を使用すると、静止画詳細設定で保存先を「microSD」に設定しても、画像はFOMA端末に保存されます。
- 保存先が「microSD」で自動保存が「する」の場合、通話中に撮影した静止画を送ることができません。静止画詳細設定で設定を変更してください。

1 **通話中に[✉]▶静止画を撮影**

撮影のしかた→P148「カメラで静止画を撮影する」

- 連続撮影した場合は、撮影した静止画がサムネイル表示されます。[方向キー]を押し、送信する静止画にカーソルを合わせてください。

2 **[✉]▶「はい」**

撮影した静止画がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。

- 撮影した静止画の画像サイズやファイルサイズによっては、横長／縦長QVGA（320×240、240×320）への変換確認画面が表示されます。→P198
- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、撮影した静止画のファイルサイズ調整の確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで保存されます。「メール添付用（小）」を選択すると90Kバイトより小さいファイルサイズでFOMA端末に保存されます。
- 撮影や保存した静止画のファイルサイズが90Kバイトより小さい場合は、本文貼り付けの確認画面が表示されます。
- 通話相手のメールアドレスが電話帳に登録されている場合、自動的に相手のメールアドレスが宛先に入力されます。
- ｉモードメールを作成せずに撮影画面に戻るときは[CLR]を押します。そのまま撮影を中止するときは、撮影画面で[CLR]を押します。

3 **ｉモードメールを編集▶[📖]**

ｉモードメールを送信すると、撮影画面に戻ります。[CLR]または[終話]を押すと撮影を終了し、通話中の画面に戻ります。

バーコードリーダー

バーコードリーダーを利用する

カメラを使ってJANコード、QRコード、NW7コード、CODE39コードに含まれている文字や数字などの情報を読み取ります。読み取った情報は電話帳やブックマークに登録したり、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web Toに利用したりできます。

- 読み取った情報は最大5件保存できます。

- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- NW7コード、CODE39コードは横幅が長いため、全体を画面に写そうとするとピントがぼけて認識できない場合があります。コードの中心に向かってピントが合う程度までFOMA端末を近づけると、認識しやすくなります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。
- 文字入力画面からバーコードリーダーを起動して、読み取った情報をそのまま入力できます。→P362

❖JANコードとは

幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のバーコードを読み取れます。
上のJANコードでは、「4942857315721」という文字情報を読み取れます。

❖QRコードとは

縦横方向の模様で英数字、漢字、ひらがな、カタカナ、絵文字、メロディ、画像などのデータを表現している2次元コードです。
上のQRコードでは、「株式会社NTTドコモ」という文字情報を読み取れます。

❖NW7コードとは

幅の異なる縦の線（バー）で英数字を表現しているバーコードです。20桁までのデータと2桁の開始記号、停止記号を含むバーコードを読み取れます。
上のNW7コードでは「A123456789012A」という文字情報を読み取れます。

❖CODE39コードとは

幅の異なる縦の線（バー）で英数字と記号を表現しているバーコードです。20桁までのデータと2桁の開始記号、停止記号を含むバーコードを読み取れます。
上のCODE39コードでは「*123456ABC*」という文字情報を読み取れます。

◆コードを読み取る

1 MENU▶6 1

バーコードリーダーが起動し、コード読み取り中を表す🔍が表示されます。

- 読み取るコードとカメラの距離が近いときは、接写切り替えスイッチを🌷側に切り替えて接写モードにし、カメラをコードから約6～11cm離して読み取ってください。

- コード読み取り待機中は次の操作ができます。
  ▲：ズームON　▼：ズームOFF
- サイズの大きいコードを読み取るときは接写切り替えスイッチを●側へ切り替えてください。また、ズームをOFFにするとコードを認識しやすくなる場合があります。

通常の静止画撮影または動画撮影に切り替える：MENU▶2▶1または2

- カメラや待受画面以外からバーコードリーダーを起動した場合は切り替えられません。

ちらつきを調整する：MENU▶1▶1～3

お使いの地域の電源周波数を選択してください。「自動」を選択すると電源周波数は自動的に調整されます。

- バーコードリーダーを終了しても、設定は保持されます。
- テレビ電話、カメラのちらつき調整の設定にも反映されます。

2 **カメラをコードに合わせる**

自動的にコードを読み取ります。読み取りが完了すると確認音が鳴り、読み取ったデータが表示されます。

- 読み取ったデータが半角で11000文字、全角で5500文字を超える場合、超過した文字は表示されませんが保存はできます。

分割されたQRコードを読み取るとき

複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータを、画面に表示されるメッセージに従って次々に読み取ってください。

- 読み取り表示欄には、QRコードの総数分のマスが表示されます。読み取りが完了したマスは青、まだ読み取っていないマスはグレー、最後に読み取られたマスは緑で表示されます。
- 読み取りを中止するには、CLRを押して「はい」を選択します。

3 MENU▶4

読み取ったデータが保存されます。

- 既にデータを5件保存しているときやデータの保存領域の空きが足りないときは、保存されているデータの削除の確認画面が表示されます。

読み取ったデータの文字情報をコピーする：MENU▶1▶**コピーする範囲を選択**

コピー／貼り付け情報→P363

コードを読み取り直す：□

✔お知らせ

- コード読み取り待機中は🔍のアイコンは🔍になります。
- コードが読み取りにくい場合は、コードとカメラの距離、角度、方向などを調節することにより、読み取れることがあります。
- 音量設定の電話着信音量とメール・メッセージ着信音量がどちらも「Silent」の場合やマナーモード中、公共モード中は、コードを読み取ったときに確認音が鳴りません。

◆保存した読み取りデータを利用する

〈例〉情報をFOMA端末またはFOMAカードの電話帳に登録する

1 MENU▶6 1▶📖▶読み取りデータを選択

読み取りデータを削除する：読み取りデータにカーソルを合わせて MENU▶3▶1または2▶「はい」

- 「全件削除」を選択した場合は、認証操作を行います。

2 電話帳に登録する情報にカーソルを合わせて MENU▶3▶1または2▶1または2

選択した情報が入力されている電話帳登録画面が表示されます。

情報を電話帳に一括登録する：「電話帳登録」▶1または2

名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、誕生日、テキストメモ、郵便番号／住所、URLが入力されている電話帳登録画面が表示されます。

ｉモードメールを送信する：メールアドレスまたは「メール作成」

宛先が入力されているメール作成画面が表示されます。

- 「メール作成」を選択した場合は、宛先、題名、本文が入力されています。

サイトまたはインターネットホームページに接続する：URLを選択▶「はい」

URLをブックマークに登録する：

① URLにカーソルを合わせてMENU▶3 3

- 「ブックマーク登録」を選択しても登録できます。

② 登録先フォルダを選択

以降の操作→P170「ブックマークに登録する」操作2

- 「ブックマーク登録」を選択した場合は、サイト名がタイトルとして入力されています。

ｉアプリを起動する：「ｉアプリ起動」

音声電話、テレビ電話をかける：電話番号を選択▶発信条件を設定▶MENU▶「はい」

条件を設定して電話をかける→P69

静止画ファイルを保存する：静止画ファイルを選択▶「保存」

以降の操作→P174「画像をダウンロードする」操作2以降

ただし、保存先はマイピクチャの「デコメピクチャ」または「データ交換」フォルダを選択します。

- 「表示」を選択すると、静止画ファイルが表示されます。

メロディデータを保存する：メロディデータを選択▶「保存」

以降の操作→P174「メロディをダウンロードする」操作3

ただし、保存先はメロディの「データ交換」フォルダになります。

- 「再生」を選択すると、メロディデータが再生されます。

トルカを保存する：トルカを選択▶「保存」

トルカの「トルカフォルダ」に保存されます。

- 「表示」を選択すると、トルカが表示されます。

✔お知らせ

- カメラ起動中や、バーコードリーダーに対応しているｉアプリ起動中、バーコードリーダーを起動できます。ｉアプリから起動した場合、読み取ったデータはｉアプリで保存、利用されます。
- 読み取ったデータのファイル名は、読み取り日時＋ファイル項番＋拡張子になります。拡張子はJANコードの場合「jan」、QRコードの場合「qr」、NW7コードの場合「nw7」、CODE39コードの場合「c39」になります。既に同じ日時で保存したデータがある場合は、ファイル項番が+1されます。ファイル名は変更できません。

ｉモード／ｉモーション／ｉチャネル

ｉモードとは

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスを利用できます。

- ｉモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- ｉモードの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

ｉモードのご利用にあたって

- サイト（番組）やインターネット上のホームページの内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト（番組）やホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 異なるFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れたりした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画、ｉモーション、メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画、動画、メロディなど）、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示、再生できません。
- FOMAカード動作制限機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定している場合、異なるFOMAカードに差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源を入れたりすると、設定内容はお買い上げ時の状態に戻ります。

サイトを表示する

ｉモードに接続して、さまざまなサイトを表示します。

1 [i]▶[1]

- 接続中画面で[■]：接続を中止
- [1]、[2]などの番号付きの項目は、項目に対応するダイヤルキーを押して選択できる場合があります（ダイレクトキー機能）。

2 「メニュー／検索」

スクロールバー
・ページ読み込み中や画面スクロール時などに、すべての行が表示されていない場合は全体に対する現在の位置が一時的に表示されます。

- スクロールバーを表示するかどうかを設定できます。→P168
- ページ読み込み中に回：ページの読み込みを中止

3 表示する項目を選択

サイトに接続されます。以降同様にして目的のページを表示します。

4 サイトを見終わったら[－]▶「はい」

✔お知らせ

- サイト表示中にｉMenuに戻る：[MENU]→「ｉMenu」
- サイトから、お客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を要求されたときは、送信の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、お客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号が送信されます。送信される携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定したりするために使われます。
  送信するお客様の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得される可能性があります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
- 画像を含むサイトを表示したとき、画像の代わりに次のマークが表示される場合があります。
  [画像]：表示・効果設定で画像が「表示しない」の場合
  [×]：画像のデータが不正なときや画像が見つからないとき、受信中に圏外になるなどで画像を受信できなかったとき
  [画像]：画像のURLの誤りなどで表示できないとき

◆SSLページに接続する

SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示できます。

- 日付・時刻が設定されていない場合、SSLページによっては接続できないことがあります。
- SSL通信を行うには、接続サイトとFOMA端末に同じ認証機関が発行した「証明書」という電子情報が必要な場合があります。→P183
- FirstPass対応ページに接続するには、ユーザ証明書をFirstPassセンターからダウンロードし、FOMAカードに保存する必要があります。

1 SSL通信の開始を示す画面が表示

ディスプレイ上部に[SSL]が表示されます。

SSLページ表示中に証明書を表示する：[MENU]▶[9][2]

- SSLページから通常ページに進む場合は、確認画面が表示されます。「はい」を選択すると通常ページが表示され、ディスプレイ上部の[SSL]が消えます。

❖FirstPass対応ページに接続する

1 送信するユーザ証明書を選択▶PIN2コードを入力

ユーザ証明書が送信され、FirstPass対応ページが表示されます。

- 60秒以内に正しいPIN2コードを入力しないとSSL通信は切断されます。

✔お知らせ

- SSLページに接続したときに、証明書の選択画面が表示される場合があります。そのときは、送信する証明書を選択します。

・FirstPass対応ページに接続した際のパケット通信料は、パケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルの対象となります。ただし、パソコンと接続してデータ通信を行う場合は、パケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルの対象外となります。

◆以前表示したページに再接続する〈ラストURL〉

以前表示したサイトやホームページのURLはFOMA端末に記録されています。ラストURLを利用すると、以前表示したページに簡単に再接続できます。
・最大10件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 [i]▶[5]

2 URLを選択

1件削除する：URLにカーソルを合わせて[MENU]▶[4][1]▶「はい」
複数削除する：[MENU]▶[4][2]▶URLを選択▶[i]▶「はい」
全件削除する：[MENU]▶[4][3]▶認証操作▶「はい」

✔お知らせ

・サイトやホームページ表示中からの操作：[MENU]→「Internet」→「ラストURL」
・URLによっては、表示できない場合や、異なるページを表示する場合があります。

サイトの見かたと操作

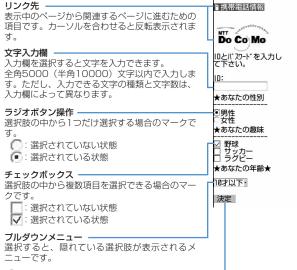
サイト表示中の基本的な操作方法について説明します。

◆Flash画像の表示について

FOMA端末ではFlash画像を表示できます。Flash画像によって、サイトの表現力がより豊かになります。
・表示・効果設定の画像が「表示しない」の場合は、Flash画像は表示されません。
・Flash画像が表示されているときは、動作が通常のサイトと異なる場合があります。
・ガイド表示領域に[◆]が表示されていない場合でも、Flash画像の操作ができる場合があります。
・Flash画像をデータBOX、画面メモ、microSDメモリーカードなどに保存して再生した場合、保存箇所により見えかたが異なる場合があります。
・Flash画像が表示されていても正しく動作しない場合や、再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できない場合があります。
・Flash画像によっては効果音が鳴る場合があります。音量は音量設定のメロディ音量に従います。効果音を鳴らさない場合は[MENU][9][3]を押し、効果音設定を「OFF」に設定してください。なお、待受画面や着信画面に設定されたFlash画像の効果音は鳴りません。
・バイブレータ設定が「メロディ連動」の場合でもFlash画像の効果音には連動しません。また、「OFF」の場合でもFOMA端末を振動させることがありますのでご注意ください。
・再生中に30秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。再生を再開するには[MENU]、[カメラ]、[終話]、[CLR]、[■]、[MULTI]以外のキーを押してください。
・もう一度Flash画像を動作させるときは、[MENU][9][7]を押してください。
・Flash画像が画面に収まっていない場合は、スクロールにより画面内に収まった時点で動作が開始されます。

・Flash画像によっては、端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを利用するかどうかは、表示・効果設定の端末情報データ利用設定で設定できます。

◆リンク先や項目を選択する

iモード中、サイトによっては次のような操作ができます。

✔お知らせ

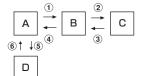
・プルダウンメニューによっては選択画面で［］を押して項目を選択する操作を繰り返すと、複数の項目が選択できます。選択後に［］を押すと、選択項目がすべて反映された画面に戻ります。
・ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニュー、文字入力欄のそれぞれに入力した内容は、登録したブックマークや画面メモなどには反映されません。

◆ページを戻す／進める

ページの表示履歴を一時的に記録する端末内の場所のことを「キャッシュ」といい、最大20件記録しています。［］で通信を行わずにキャッシュに記録されたページを表示できます。
・端末のキャッシュサイズをオーバーしていたり、必ず最新情報を読み込むように設定されたページを表示したりするときは通信を行います。
・FirstPassセンター接続中（→P184）は本機能を利用できません。

1 サイト表示中に［］（ページを戻す）または［］（ページを進める）

✔お知らせ

・ページA→B→Cの順に表示（①、②）した後でページAに戻り（③、④）、ページDに進む（⑤）と、ページA→B→Cの表示履歴は消去されます。ページDからページAには戻れますが（⑥）、さらにページBには戻れません（①）。

・入力した文字や設定などの情報はキャッシュに記録されません。

- ｉモードを終了すると、キャッシュに記録された表示履歴はすべて消去されます。
- Flash画像が表示されている場合は、ページの操作方法が異なる場合があります。

◆画面をスクロールする

1 サイト表示中に[↕]

- 連続スクロールさせるときは[↕]を1秒以上押します。
- [A/a]または[✉]を押すと、ページ単位でスクロールします。

◆情報を再読み込みする

1 サイト表示中に[MENU]▶[5]

◆URLを表示する

1 サイト表示中に[MENU]▶[9][1]

- ラストURL一覧、URL履歴一覧、ブックマーク一覧、ツータッチサイト一覧、画面メモ一覧から操作する場合は[i]を押します。

◆スクロールバーの表示を切り替える

1 サイト表示中に[MENU]▶[9][8]

- [MENU][9][8]を押すたびに、スクロールバーの表示／非表示が切り替わります。

✔お知らせ

- 画面メモ表示画面からの操作：[MENU]→「表示」→「スクロールバー表示」または「スクロールバー非表示」
- メッセージR/F詳細画面からの操作：[MENU]→「スクロールバー表示」または「スクロールバー非表示」

マイメニュー

マイメニューを使う

よく利用するサイトをマイメニューに登録することによって、次回からそのサイトに簡単にアクセスできます。

- マイメニューには最大45件登録できます。登録にはｉモードパスワードが必要です。
- 有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。
- マイメニューに登録できるのはｉモードのサイトだけです。ただし、マイメニューに登録できないサイトもあります。登録できないサイトやホームページはブックマークに登録してください。

◆マイメニューに登録する

1 サイトを表示▶「マイメニュー登録」

- 各サイトによりページ構成が異なります。項目に対応するダイヤルキーを押すか、該当する項目を選択してください。

2 ｉモードパスワードの入力欄を選択▶ｉモードパスワードを入力▶「決定」

- ご契約時のｉモードパスワードは「0000」に設定されています。

◆マイメニューからサイトを表示する

1 [i]▶[1]▶「マイメニュー」▶表示するサイトを選択

iモードパスワード変更

iモードパスワードを変更する

マイメニューの登録または削除、メッセージサービスやiモード有料サイトの申し込みまたは解約、メール設定を行うときはiモードパスワードが必要です。iモードパスワードはiモードご契約時には「0000」に設定されていますが、安全のためお客様独自の4桁のiモードパスワードに変更してください。なお、iモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

- iモードパスワードをお忘れの場合は、ご契約者本人であることを確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口で確認させていただいた上で、iモードパスワードを「0000」にリセットさせていただきます。

1 [i]▶[1]▶「料金＆お申込・設定」▶「オプション設定」▶「iモードパスワード変更」▶現在のパスワードの入力欄を選択▶現在のiモードパスワードを入力

iﾓｰﾄﾞﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ変更
現在のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
新ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
新ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ確認
決定
※iﾓｰﾄﾞのﾊﾟｽﾜｰﾄﾞはﾏｲﾒﾆｭｰの登録/削除やｵﾌﾟｼｮﾝ設定時に利用します。

2 新パスワードの入力欄を選択▶新しいiモードパスワードを入力

3 新パスワード確認の入力欄を選択▶操作2で入力したiモードパスワードを入力▶「決定」

インターネット接続

ホームページを表示する

インターネットに接続して、iモード対応のホームページにアクセスします。接続する際は、ホームページのアドレス（URL）で指定します。

1 [i]▶[3][1]

- 2回目からは前回入力して接続したURLが表示されます。

2 URLを入力（半角256文字以内）▶[□]

- 半角英字入力モード時に[1]を繰り返し押すと「.」「/」「-」などを、[✻]を繰り返し押すと「.com」「.ne.jp」「.co.jp」「http://www.」「.html」などを入力できます。

✔お知らせ

- サイトやホームページ表示中からの操作：[MENU]→「Internet」→「URL入力」
- 受信データが1ページの最大サイズを超えたときは、メッセージが表示されます。[■]を押すとメッセージが消え、受信できた分のデータが表示されます。

◆URL履歴を使って表示する〈URL履歴〉

URLを入力して接続したホームページのURLは、FOMA端末に記録されています。この履歴からホームページに接続できます。

- 最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 [i]▶[3][2]

2 ホームページのURLを選択

1件削除する：URLにカーソルを合わせて[MENU]▶[4][1]▶「はい」
複数削除する：[MENU]▶[4][2]▶URLを選択▶[□]▶「はい」
全件削除する：[MENU]▶[4][3]▶認証操作▶「はい」

✔お知らせ

- サイトやホームページ表示中からの操作：MENU→「Internet」→「URL履歴」

◆文字を正しく表示する〈文字コード〉

サイトやホームページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示できる場合があります。文字コードとは、文字をコンピュータで利用できるようにするために作られた文字の番号体系のことです。

1 サイトやホームページ表示中にMENU▶9 6 1

- MENU 9 6 1を押すたびに文字コードが、自動選択→SJIS→EUC→JIS→UTF8の順に切り替わります。MENU 9 6 2を押すと、「自動選択」に切り替わります。

ブックマーク

ホームページやサイトを登録してすばやく表示する

よく見るサイトやホームページをブックマークに登録しておくと、ブックマークを選択するだけですばやく表示できます。

- 最大登録件数→P458
- ブックマークに登録できるURLの文字数は、半角256文字以内です。ただし、ホームページやサイトによってはブックマークに登録できない場合があります。

◆ブックマークに登録する

1 サイトやホームページを表示▶MENU▶2 1▶登録先フォルダを選択

2 タイトル名を入力（全角12（半角24）文字以内）▶□

- タイトルを入力しないで登録すると、ブックマーク一覧にはURLが表示されます。

✔お知らせ

- 画面メモ一覧、画面メモ表示画面、ラストURL一覧、URL履歴一覧からの操作：MENU→「Bookmark登録」

◆ブックマークからサイトやホームページを表示する

1 □▶2▶フォルダを選択

- マークの意味は次のとおりです。
  □／□：ブックマークなし／あり

2 ブックマークを選択

マークの意味→P171「ツータッチサイトにブックマークを登録する」操作3

✔お知らせ

- サイトやホームページ表示中からの操作：MENU→「Bookmark」→「表示」

◆フォルダを作成／削除する

- 最大20個作成できます。
- フォルダが1個のときは削除できません。

〈例〉作成する

1 □▶2

2 MENU▶1

フォルダ名を変更する：フォルダにカーソルを合わせてMENU▶3

並び順を変更する：フォルダにカーソルを合わせてMENU▶7または8

削除する：フォルダにカーソルを合わせてMENU▶2▶認証操作▶「はい」

3 フォルダ名を入力（全角8（半角16）文字以内）▶□

◆ブックマークのタイトルを変更する

1 📱▶2▶フォルダを選択▶ブックマークにカーソルを合わせてA/a

以降の操作→P170「ブックマークに登録する」操作2

◆少ないキー操作でサイトやホームページに接続する〈ツータッチサイト〉

ブックマークをツータッチサイト登録すると、待受画面からサイトやホームページをすばやく表示できます。

❖ツータッチサイトにブックマークを登録する

- 1つのダイヤルキーにつき1件、合計10件登録できます。

1 📱▶2▶フォルダを選択

2 登録するブックマークにカーソルを合わせて✉

解除する：ブックマークにカーソルを合わせてMENU▶2

3 登録先を選択

マークの番号（0〜9）は、ツータッチサイト表示に使用するダイヤルキー（0〜9）に対応しています。

- ブックマーク一覧で、登録されたブックマークのマークがから0〜9に変わります。
- 登録済みの登録先を選択すると上書きの確認画面が表示されます。

❖ツータッチでサイトやホームページを表示する

1 0〜9▶📱

❖ツータッチサイト一覧から操作する

〈例〉ツータッチサイト登録する

1 📱▶9 1

2 未登録にカーソルを合わせてMENU▶1

サイトを表示する：ブックマークを選択

解除する：ブックマークにカーソルを合わせてMENU▶2▶「はい」

3 フォルダを選択▶登録するブックマークを選択

◆ブックマークを削除する

1 📱▶2

2 フォルダを選択

全件削除する：MENU▶4▶認証操作▶操作4に進む

3 ブックマークにカーソルを合わせてMENU▶3 1

複数削除する：MENU▶3 2▶ブックマークを選択▶📖

フォルダ内を全件削除する：MENU▶3 3▶認証操作

4 「はい」

✔お知らせ

- ツータッチサイト登録されているブックマークを削除すると、ツータッチサイト登録も解除されます。

◆ブックマークを移動する

保存されているブックマークを別のフォルダに移動できます。

- ブックマークをmicroSDメモリーカードへコピーできます。→P293

1 📱▶2▶フォルダを選択

2 ブックマークにカーソルを合わせてMENU▶5 1

複数移動する：MENU▶5 2▶ブックマークを選択▶📖

3 移動先のフォルダを選択

◆ブックマークを並べ替える〈ソート〉

ブックマーク一覧の並び順を一時的に並べ替えます。
- 並べ替えはすべてのフォルダが対象です。

1 [i]▶[2]▶フォルダを選択▶[MENU]▶[6]▶[1]～[4]

✔お知らせ
- タイトルに、全角や半角、英字、漢字、URL表示のものが混在していると、「タイトル名順」の並べ替えの結果が50音順にならない場合があります。

◆ｉモードメールにブックマークデータを添付する

1 [i]▶[2]▶フォルダを選択▶ブックマークにカーソルを合わせて[MENU]▶[9]

以降の操作→P192

画面メモ

サイトの内容を保存する

表示中のサイトの内容を画面メモとして保存します。
- 最大保存件数→P458

◆画面メモを保存する

- 保存できる画面メモのファイルサイズは、1件あたり最大100Kバイトです。

1 サイトを表示▶[MENU]▶[4][1]

2 タイトル名を入力（全角12（半角24）文字以内）▶[□]
- タイトルを入力しないで登録すると、画面メモ一覧には「無題」と表示されます。

◆画面メモを表示する

1 [i]▶[4]▶画面メモを選択
- 画面メモ一覧のマークの意味は次のとおりです。
  [画面メモ]：画面メモ　[保護]：保護されている画面メモ
- 画面メモ表示画面の操作方法は、一部を除きサイト表示中と同じです。

✔お知らせ
- サイト表示中からの操作：[MENU]→「画面メモ」→「表示」
  このとき、文字コードを変更していた場合、サイト表示に戻ると文字コードは「自動選択」に戻ります。
- 画面メモ表示画面でもう一度Flash画像を動作させる：[MENU]→「表示」→「リトライ」
- Flash画像が画面メモ表示画面に収まっていない場合は、スクロールにより画面内に収まった時点で動作が開始されます。

◆画面メモのタイトルを変更する

1 [i]▶[4]▶画面メモにカーソルを合わせて[A/a]

以降の操作→P172「画面メモを保存する」操作2

✔お知らせ
- 画面メモ表示画面からの操作：[MENU]→「タイトル変更」

◆画面メモを保護する

保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防げます。
- 最大保護件数→P458

〈例〉1件保護する

1 [i]▶[4]

2 画面メモにカーソルを合わせて[MENU]▶[1][1]

• 保護された画面メモのマークがからに変わります。

複数保護する：[MENU]▶[1][2]▶画面メモを選択▶[i]
1件解除する：画面メモにカーソルを合わせて[MENU]▶[1][3]
複数解除する：[MENU]▶[1][4]▶画面メモを選択▶[i]
全件解除する：[MENU]▶[1][5]

✔お知らせ

• 画面メモ表示画面からの操作：[MENU]→「保護」または「保護解除」

◆画面メモを削除する

〈例〉1件削除する

1 [i]▶[4]

2 画面メモにカーソルを合わせて[MENU]▶[2][1]

複数削除する：[MENU]▶[2][2]▶画面メモを選択▶[i]
全件削除する：[MENU]▶[2][3]▶認証操作

3 「はい」

✔お知らせ

• 画面メモ表示画面からの操作：[MENU]→「削除」

◆画面メモを並べ替える〈ソート〉

画面メモ一覧の並び順を一時的に並べ替えます。

1 [i]▶[4]▶[MENU]▶[8]▶[1]または[2]

✔お知らせ

• タイトルに、全角や半角、英字、漢字、URL表示のものが混在していると、「タイトル順」の並べ替えの結果が50音順にならない場合があります。

サイトから各種データ（ファイル）をダウンロードする

サイトからデータ（ファイル）をダウンロードして、FOMA端末に保存します。

• 保存可能なデータ（ファイル）と1件あたりの保存可能な最大サイズは次のとおりです。
  - 画像、メロディ、キャラ電、トルカ（詳細）、フォント：100Kバイト
  - 辞書：32Kバイト
  - トルカ：1Kバイト
  - きせかえツール：2Mバイト
• ダウンロード中に[i]を押すと、ダウンロードを中止します。
• ダウンロードしたデータ（ファイル）によっては、正しく表示や再生、設定ができない場合があります。
• 最大保存件数→P458

◆画像をダウンロードする〈画像保存〉

保存した画像はマイピクチャ内のフォルダなどから表示したり、待受画面などに設定したりできます。また、デコメ絵文字はメール作成時や署名編集時に使用できます。
JPEG形式、GIF形式の画像、GIFアニメーション、SWF（Flash画像）を保存できます。

1 サイトを表示▶[MENU]▶[6][1]▶画像を選択

• 保存する画像にカーソルを合わせると、画像が枠で囲まれ、ファイル名とファイルサイズが表示されます。

背景画像を保存する：サイトを表示▶[MENU]▶[6][2]

2 各項目を設定

- 画像によっては選択できない項目があります。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像（ファイル制限に「あり」と表示）は、表示名以外は変更できません。

表示名：36文字以内で入力します。

ファイル名：半角英数字と「.」「-」「_」で36文字以内で入力します。ファイル名の先頭に「.」は使用できません。

コメント：100文字以内で入力します。

フレーム候補：画像をフレーム画像として貼り付け可能にするかどうかを設定します。

- 横縦（縦横）のサイズが352×288または240×432より大きい画像はフレーム候補にできません。

スタンプ候補：画像をスタンプ画像として貼り付け可能にするかどうかを設定します。

- 横縦（縦横）のサイズが240×432以上の画像はスタンプ候補にできません。

ファイル制限：メール添付によって他の携帯電話に画像を送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話に画像を送信することを制限するかどうかを設定します。

- サイトからダウンロードした画像は、ファイル制限を変更できません。

3 [m]▶保存先を選択

- 次の条件をすべて満たす画像は、「デコメ絵文字」フォルダに自動的に保存されます。
  - サイズが20×20で90Kバイト以内
  - メール添付やFOMA端末外への出力可
  - JPEG形式またはGIF形式
- ガイド表示領域に「[icon]」が表示された場合は、[A/a]を押して[m]を押すと、microSDメモリーカードの「マイピクチャ」「その他の画像」「デコメ絵文字」フォルダのいずれかに保存されます。→P290
- FOMA端末に保存する場合は、[MENU]を押すと画像の利用先一覧が表示され、待受画面などに設定できます。→P273

✔お知らせ

- 画像入りのサイトを表示する際、画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
- 横縦（縦横）のサイズが、GIF形式で640×480、JPEG形式で1728×2304より大きい画像はFOMA端末には保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できない場合もあります。

◆メロディをダウンロードする〈iメロディ〉

保存したメロディはメロディ内のフォルダなどから再生したり、着信音に設定したりできます。

- SMF形式、MFi形式のメロディを保存できます。

1 サイトを表示▶メロディを選択

2 「保存」

再生する：「再生」

保存を中止する：「戻る」▶「いいえ」

3 表示名を入力（全角25（半角50）文字以内）▶[m]

ダウンロードしたメロディは、メロディの「iモード」フォルダに保存されます。

- ガイド表示領域に「[icon]」が表示された場合は、[A/a]を押して[m]を押すと、microSDメモリーカードの「メロディ」フォルダに保存されます。

◆辞書をダウンロードする

保存した辞書はFOMA端末で文字を入力するときに利用できます。

- 辞書の設定→P365

1 サイトを表示▶辞書を選択

2 「保存」▶ [■]

ダウンロードした辞書は、文字入力設定の「ダウンロード辞書」に保存されます。

保存を中止する：「戻る」▶「いいえ」

◆キャラ電をダウンロードする

保存したキャラ電はテレビ電話で自分の映像の代わりに送信したり、待受画面に設定したりできます。

1 サイトを表示▶キャラ電を選択

2 「保存」

表示する：「表示」

保存を中止する：「戻る」▶「いいえ」

3 各項目を設定▶ [📖]

ダウンロードしたキャラ電は、キャラ電の「ｉモード」フォルダに保存されます。

- 表示名は36文字以内、コメントは100文字以内で入力します。

◆トルカをダウンロードする

保存したトルカは、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で利用できます。

1 サイトを表示▶トルカを選択

2 「保存」

ダウンロードしたトルカは、トルカの「トルカフォルダ」に保存されます。

表示する：「プレビュー」

保存を中止する：「戻る」▶「いいえ」

◆きせかえツールをダウンロードする

保存したきせかえツールは待受画像、メニューアイコン、発着信画像、着信音などに設定できます。

- きせかえツールの設定→P116

1 サイトを表示▶きせかえツールを選択

2 「保存」

表示する：「プレビュー」

保存を中止する：「戻る」▶「いいえ」

3 表示名を入力（36文字以内）▶ [📖]

ダウンロードしたきせかえツールは、きせかえツールの「ｉモード」フォルダに保存されます。

- [MENU]を押すと、きせかえツールの設定確認画面が表示されます。

✔お知らせ

- ダウンロードを中止したり通信が中断されたりしたときは、再開の確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードが再開されます。「いいえ」を選択すると、部分保存できる場合は部分保存の確認画面が表示されます。部分保存できない場合はそれまでダウンロードしたデータは削除されます。部分保存したきせかえツールの残りは、ダウンロードできます。→P117「きせかえツールを変更する」操作3

◆フォントをダウンロードする

保存したフォントは、メニュー画面やｉモードサイト、文字入力画面などに表示される文字に利用できます。

- フォントの設定→P121

1 サイトを表示▶フォントを選択

2 「保存」▶ [■]

保存したフォントは文字表示設定の「フォント選択」に保存されます。

保存を中止する：「戻る」▶「いいえ」

ｉモードの便利な機能

・サイトやホームページによっては利用できない機能があります。

◆Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を使う

1 サイトやホームページを表示▶電話番号、メールアドレス、URLにカーソルを合わせる

・カーソルを合わせられる情報のみ選択できます。

2 ■

Phone To（AV Phone To）：**発信条件を設定▶MENU▶「はい」**
条件を設定して電話をかける→P69

Mail To：**ｉモードメールを作成して送信**
選択したメールアドレスを宛先としてｉモードメールを作成し、送信できます。
ｉモードメールの作成・送信方法→P192

Web To：
サイトやホームページに接続されます。
・メール本文中などのURLを選択した場合はサイト接続の確認画面が表示されます。

✔お知らせ

・複数のメールアドレスが続けて表示されている場合、正しくMail To機能を利用できないことがあります。

◆URLをコピーする

表示中のサイトやホームページ、画面メモのURLをコピーします。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けられます。
・コピーした文字は最新の1件だけが電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。

〈例〉サイトのURLをコピーする

1 サイトのURLを表示▶MENU▶1

URLを表示する→P168

2 コピーする範囲を選択

コピー／貼り付け方法→P363

✔お知らせ

・ラストURL一覧、URL履歴一覧、ツータッチサイト一覧、画面メモ一覧からの操作：MENU→「URLコピー」
ブックマーク一覧からの操作：MENU→「URL表示／入力／コピー」→「URLコピー」
これらの画面から操作する場合はURL全体がコピーされます。

◆ｉモードメールにURLを貼り付ける

表示中のサイトやホームページのURLをｉモードメールに貼り付けて送信できます。

1 サイトを表示▶MENU▶7

以降の操作→P192

◆電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する〈電話帳登録〉

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/F）の、カーソルを合わせられる電話番号やメールアドレスを登録できます。

- サイトによっては、画面に表示されている項目以外の情報も登録できる場合があります。

〈例〉サイト画面に表示されている電話番号を新規登録する

1 サイトを表示

2 電話番号にカーソルを合わせてMENU▶8 1▶1または2

登録済みの電話帳データに追加する：電話番号にカーソルを合わせてMENU▶8 2▶1または2▶電話帳データを選択

3 名前やメールアドレスなどを登録

電話帳登録→P87、89

✔お知らせ

- 画面メモ表示画面からの操作：MENU→「電話帳」→「新規登録」または「更新登録」
- メッセージR/F詳細画面からの操作：MENU→「登録」→「電話帳新規」または「電話帳更新」

◆URLを電話帳に登録する

ブックマーク一覧や画面メモ一覧などからURLを登録できます。

〈例〉ブックマーク一覧から新規登録する

1 i▶2▶フォルダを選択

2 ブックマークにカーソルを合わせてMENU▶7 1

登録済みの電話帳データに追加する：ブックマークにカーソルを合わせてMENU▶7 2▶電話帳データを選択

3 名前やメールアドレスなどを登録

電話帳登録→P87

✔お知らせ

- ラストURLのURL表示画面からの操作：MENU→「電話帳新規登録」または「電話帳更新登録」
- 画面メモ一覧からの操作：MENU→「電話帳」→「新規登録」または「更新登録」

iモード設定

iモードの設定を行う

iモード接続に関する各種機能を設定します。

◆接続待ち時間を設定する〈接続待ち時間設定〉

iモードセンターに接続するまでの最大待ち時間を設定します。接続が正常に行われないときなどに、設定した時間で自動的に接続が中断されます。

1 i▶9 2▶1～3

✔お知らせ

- 「無制限（設定なし）」に設定していても、電波状況などによりiモードセンターとの接続が中断される場合があります。

◆ｉモードから接続先を変更する（ISP接続通信）〈接続先設定〉

※ ドコモのｉモードサービスをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

ISP接続通信とは

ドコモのｉモード端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）への接続ができます。プロバイダに接続した際にパケット通信料がかかります。

- ISP接続を行った際のパケット通信料は、パケ・ホーダイ／パケ・ホーダイフルの対象とはなりません。あらかじめご了承ください。
- 通信中は接続先を設定、変更できません。

※ ドコモへの新たなお申し込みは不要です。

プロバイダ契約について

- ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。
- プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合がありますが、ドコモからご請求することはありません。
- お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様の電話番号がサイトを提供するプロバイダに通知される場合があります。
- 登録できる接続先は最大10件です。

1 [i]▶[9][7]

- ｉモード契約時の接続先は、ご契約いただいた地域により異なります。

2 **ユーザ設定にカーソルを合わせて[MENU]**

ｉモードを利用する設定に戻す：「ｉモード（FOMAカード）」▶[□]

以前に設定した接続先に変更する：接続先を選択▶[□]

3 **認証操作▶各項目を設定▶[□]**

- [MENU]を押すと、既に入力した項目の内容を一括削除できます。

接続先名称：全角8（半角16）文字以内で入力します。

接続先番号：半角英数字99文字以内で入力します。

接続先アドレス：半角英数字30文字以内で入力します。

接続先アドレス2：半角英数字30文字以内で入力します。

- 接続先アドレス2はｉチャネルの接続先です。

4 **編集した接続先を選択▶[□]**

✔お知らせ

- 接続先を変更すると、ｉチャネルの情報が初期化され、待受画面にｉチャネルのテロップは表示されなくなります。待受画面で[CLR]を押してｉチャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、テロップも表示されます。
- 接続先番号または接続先アドレスを変更すると、圏内自動送信の設定は解除されます。
- 2in1を利用しているときに接続先を変更すると、各モードのテロップ表示設定のテロップ表示が「表示する」に戻ります。

◆照明を設定する

サイトや画面メモ、メッセージR/F、ｉチャネルの内容を表示したときの照明を設定します。

1 [i]▶[9][3]▶[1]または[2]

- 「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（通常時）に従います。

✔お知らせ

- サイトやホームページ、画面メモ表示画面からの操作：[MENU]→「表示」→「照明設定」
- 本設定はディスプレイの照明設定の点灯時間設定（ｉモード中）にも反映されます。

◆ 画像表示／効果音を設定する〈表示・効果設定〉

サイトや画面メモ、メッセージR/Fなどの内容を表示したときの画像やFlash画像の効果音を設定します。

1 [i]▶[9][5]▶**各項目を設定**▶[i]

画像：画像を表示するかどうかを設定します。

- 「表示しない」に設定すると、画像やFlash画像、GIFアニメーションの代わりに[画像]が表示されます。
- 「表示する」に設定すると、アニメーション、端末情報データ利用設定を設定できます。

アニメーション：GIFアニメーションを表示するかどうかを設定します。

- 「表示しない」に設定すると、GIFアニメーションの最初のコマが表示されます。

端末情報データ利用設定：Flash画像を表示するときにFOMA端末の登録データを利用するかどうかを設定します。

効果音設定：Flash画像の効果音を再生するかどうかを設定します。

✔お知らせ

- サイトや画面メモ表示画面からの操作：[MENU]→「表示」→「表示・効果設定」
- ｉチャネル一覧表示中からのFlash画像の効果音設定の操作：[MENU]→「効果音設定」
- 画像を「表示しない」に設定すると、ｉモードメールにWeb To機能を使用して添付されてきた画像の保存や表示もできなくなります。
- 画像の設定は、添付ファイルとして添付されている画像やメッセージR/Fの本文中の画像には反映されません。
- 効果音設定は、メッセージR/Fには反映されません。
- 端末情報データ利用設定を「利用する」に設定すると、電池残量、受信レベル、時刻情報、音量設定のメロディ音量、バイリンガル、機種情報がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。

メッセージR/F受信

メッセージR/Fを受信したときは

- 最大保存件数→P458

1 **メッセージR/Fを受信**

[i]と[R]（青）または[F]（緑）が点滅し、「メッセージR受信中…」または「メッセージF受信中…」と表示されます。

メッセージR/F着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅して受信結果画面が表示されます。

受信したメッセージR/FはFOMA端末に保存されます。

- [■]：受信を中止
  受信時の状況によっては受信する場合があります。

受信中画面　受信結果画面

① **マーク**

[R]（青）：未読のメッセージRあり

[F]（緑）：未読のメッセージFあり

② **受信結果テロップ**

③ **受信したメッセージR/Fの件数**

- 受信結果画面が表示されてから未読メッセージR/Fの内容が表示され約15秒間何も操作しないと、受信前の画面に戻ります。

受信に失敗したとき：

受信結果画面の「メッセージR」「メッセージF」の後ろに「×」が表示されます。受信し直すには、ｉモード問合せを行ってください。

✔お知らせ

- 複数のメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したメール、メッセージR/Fに設定した条件に従って動作します。
- メッセージR/Fを受信すると、ｉモードセンターに保管されているメッセージR/Fは削除されます。
- 次のような場合に送られてきたメッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないとき
  - テレビ電話中
  - お預かりセンター接続中
  - セルフモード中
  - おまかせロック中
  - FirstPassセンター接続中
  - 受信に失敗したとき
  - ｉモード圏外のとき
  - SMS受信中
  - 赤外線通信／iC通信中
  - 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯のとき
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護していない未読以外の古いメッセージR/Fから順に上書きされます。
- 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯で上書きできないときは、メッセージR/Fの受信は中止され、画面には（赤）や（赤）が表示されます。受信する場合は、未読メッセージR/Fの内容表示（→P181）、不要メッセージR/Fの削除（→P182）、保護解除（→P182）などを行う必要があります。
- ｉモードセンターにメッセージR/Fが残っているときはやが表示されます。ただし、メッセージR/Fがあっても表示されない場合があります。また、ｉモードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークがやに変わります。

◆新着メッセージR/Fを表示する

1 受信結果画面で 2 または 3

- 1 を押すとｉモードメールが表示されます。

2 メッセージR/Fを選択

- メロディが添付されている場合の再生について→P224

メッセージR/Fの見かた→P181

◆メッセージR/Fを自動的に表示する〈メッセージ自動表示設定〉

受信結果画面から受信前の画面に戻るときに、内容を表示（約15秒間）するかどうかを設定します。

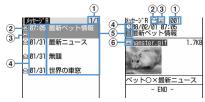
1

✔お知らせ

- 自動表示中にキー操作をしなかった場合は、メッセージR/Fは未読の状態で保存されます。
- 待受画面表示中に自動受信した場合のみ自動表示できます。

メッセージR/Fを表示する

1 ▶7▶1または2▶表示するメッセージR/Fを選択

◆ メッセージR/F一覧画面／詳細画面の見かた

メッセージR一覧画面　　メッセージR詳細画面

①**ページ番号／総ページ数（一覧画面）、メッセージR/F番号（詳細画面）**

②**状態マーク**

：未読　：既読　：保護

③**添付ファイルマーク**

一覧画面

：画像　：メロディ　：トルカ　：複数添付ファイルあり

詳細画面

：画像　：メロディ　：トルカ　：複数添付ファイルあり

④**受信日時**

- 一覧画面の場合は、受信した日付が当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付で表示されます。

⑤**タイトル**

⑥**添付ファイルマーク（詳細）**

：画像
：画像（メール添付やFOMA端末外への出力不可）
：画像（データ異常）
：メロディ
：メロディ（メール添付やFOMA端末外への出力不可）
：メロディ（データ異常）
：トルカ
：トルカ（データ異常）

◆ 添付されているファイルを表示・保存する

1 メッセージR/F一覧を表示

マークの意味→P181「メッセージR/F一覧画面／詳細画面の見かた」

2 ファイルが添付されているメッセージR/Fを選択

3 保存する添付ファイルのファイル名にカーソルを合わせて MENU▶52

画像の場合の以降の操作→P174「画像をダウンロードする」操作2以降

メロディの場合の以降の操作→P174「メロディをダウンロードする」操作3

- トルカの場合は、保存先の選択画面が表示されます。1を押すとトルカの「トルカフォルダ」に保存され、2を押すとmicroSDメモリーカードの「トルカ」フォルダに保存されます。ただし、トルカによっては、どちらか一方の保存先しか選択できない場合があります。
- 1024バイトを超えるトルカはmicroSDメモリーカードにのみ保存できます。

表示・再生する：**ファイル名を選択**

- 添付ファイルが画像の場合は、画像の表示／非表示が切り替わります。
- 1024バイトを超えるトルカは表示できません。

タイトルを表示する：ファイルにカーソルを合わせて[MENU]▶[5][3]
- 画像の添付ファイルは操作できません。

✔お知らせ
- 本文中の画像または背景画像を保存する場合は、[MENU]を押し「画像保存」→「画像選択」または「背景画像保存」を選択し、保存する画像を選択します。
- トルカによっては、一度しか保存できない場合があります。

◆メッセージR/Fを保護する〈メッセージ保護〉

保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防げます。
- 最大保護件数→P458
- 未読のメッセージR/Fは保護できません。

〈例〉1件保護する

1 メッセージR/F一覧を表示

2 メッセージR/Fにカーソルを合わせて[MENU]▶[2][1]

メッセージR/Fが保護され、状態マークが から に変わります。

複数保護する：[MENU]▶[2][2]▶メッセージR/Fを選択▶[□]
1件解除する：メッセージR/Fにカーソルを合わせて[MENU]▶[2][3]
複数解除する：[MENU]▶[2][4]▶メッセージR/Fを選択▶[□]
全件解除する：[MENU]▶[2][5]

✔お知らせ
- メッセージR/F詳細画面からの操作：[MENU]→「保護」または「保護解除」

◆メッセージR/Fを削除する〈メッセージ削除〉

〈例〉1件削除する

1 メッセージR/F一覧を表示

2 メッセージR/Fにカーソルを合わせて[MENU]▶[1][1]

既読のみ削除する：[MENU]▶[1][2]
複数削除する：[MENU]▶[1][3]▶メッセージR/Fを選択▶[□]
全件削除する：[MENU]▶[1][4]▶認証操作

3 「はい」

✔お知らせ
- メッセージR/F詳細画面からの操作：[MENU]→「削除」

◆表示するメッセージR/Fの種別を選ぶ〈表示種別〉

メッセージR/F一覧に、指定した種別のメッセージR/Fだけを一時的に表示します。

1 メッセージR/F一覧を表示▶[MENU]▶[3]▶[1]～[4]
- 「既読のみ表示」を選択すると、保護されているメッセージR/Fは表示されません。

◆メッセージR/Fを並べ替える〈ソート〉

メッセージR/F一覧の並び順を一時的に並べ替えます。

1 メッセージR/F一覧を表示▶[MENU]▶[4]▶[1]または[2]

✔お知らせ
- タイトルに、全角や半角、英字、漢字、URL表示のものが混在していると、「タイトル順」の並べ替えの結果が50音順にならない場合があります。

証明書を操作する

SSL通信時に必要な証明書の操作を行います。

◆証明書を表示して有効／無効を設定する〈証明書管理〉

- SSLページに接続するには、次の証明書が必要です。
  CA証明書：認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時の端末内に保存されています。
  ドコモ証明書：FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、あらかじめFOMAカード内に保存されています。
  ユーザ証明書：FirstPass対応サイトへ接続するために必要な証明書です。FirstPassセンターで発行申請を行い、ダウンロードするとFOMAカード内に保存されます。
  オリジナル証明書：各企業・自治体等から発行される証明書で、ダウンロードすると端末内に保存されます。ダウンロードした証明書に対応しているサイトで利用できます。
- 青色のFOMAカードを差し込んでいる場合は、CA証明書以外は表示されません。

〈例〉有効／無効を設定する

1 ▶9 4 1

- マークの意味は次のとおりです。
  : CA証明書　: ドコモ証明書／ユーザ証明書
  : オリジナル証明書　: 有効に設定されている証明書

2 ▶**設定する証明書を選択**▶

- ドコモ証明書2は設定できません。

表示する：**証明書を選択**

✔**お知らせ**

- 証明書の表示内容
  所有者
  CN=：(Common Name) サーバの名前、管理者名、または識別番号
  O=：(Organization) 会社名など
  C=：(Country) 国名
  発行者
  CN=：(Common Name) サーバの名前、管理者名、または識別番号
  OU=：(Organization Unit) 会社の部署など
  O=：(Organization) 会社名など
  有効期限
  シリアル番号
- 証明書の所有者、発行者、有効期限について記述がない場合、項目名のみ表示されます。

◆FirstPassを設定する〈ユーザ証明書操作〉

FirstPassセンターに接続し、ユーザ証明書の発行申請をしてダウンロードを行います。

- FirstPassセンター接続時の画面や操作方法は、変更される場合があります。
- FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/Fの受信はできません。
- 海外では本機能を利用できません。

1 ▶9 4 2▶「次へ」▶「証明書発行」

発行されたユーザ証明書を失効させる：「その他」▶「証明書失効」▶送信するユーザ証明書を選択▶PIN2コードを入力▶「実行」▶「次へ」▶「実行」

2 「実行」▶PIN2コードを入力

完了画面が表示され、ユーザ証明書の発行申請が完了します。

ものとします。なお、当社がお客様に損害賠償義務を負う場合といえども、当社が負担すべき損害賠償額は、当社の責に帰すべき事由に基づきお客様に発生した現在かつ通常の損害に限り、かつ一つのﾕｰｻﾞ証明書に起因する損害賠償額の総額は、FOMAｻｰﾋﾞｽ基本使用料の1か月分を上限とします。

「ご利用規則」にご同意の上、実行を行って下さい。

実行/ﾒﾆｭｰ

- 60秒以内にPIN2コードを入力しないと発行申請はキャンセルされます。

3 「ダウンロード」▶「実行」

完了画面が表示され、ユーザ証明書がダウンロードされます。

- ダウンロードしたユーザ証明書は、「証明書管理」で確認できます。→P183

✔お知らせ

- FirstPassセンターに接続した際のパケット通信料は無料です。
- ユーザ証明書は、お客様がFOMA契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカードに保存され、FirstPassに対応しているサイトで利用できます。

FirstPassのご使用にあたって

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証ができます。
- FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただけます。パソコンでご利用いただくためには、付属のCD-ROM内のFirstPass PCソフトが必要です。詳細はCD-ROM内の「簡易操作マニュアル」をご覧ください。「簡易操作マニュアル」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe® Reader®（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細は、「Adobe Readerヘルプ」をご覧ください。
- ユーザ証明書の発行申請をする際は、画面に表示される「FirstPassご利用規則」をよくお読みになり、同意の上、申請してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN2コードの入力が必要です。PIN2コード入力後になされたすべての行為はお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN2コードが他人に不正に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行えます。
- FirstPass対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関して保証するものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

◆オリジナル証明書をダウンロードする

- オリジナル証明書は最大5件、ルート証明書と中間証明書は合わせて最大10件、合計35Kバイトまで保存できます。

1 サイトを表示▶証明書を選択

- ダウンロード中に[CLR]：ダウンロードを中止

2 「保存」

- ダウンロードした証明書は、「証明書管理」で確認できます。→P183
- パスワードの入力を要求されたときは、パスワードの入力欄にパスワードを入力し、「OK」を選択します。

✔お知らせ

- オリジナル証明書は各企業・自治体等から発行されます。ダウンロードした証明書は、その証明書に対応しているサイトで利用できます。
- オリジナル証明書をダウンロードする際のパケット通信料は有料です。
- 青色のFOMAカードを差し込んでいる場合、オリジナル証明書はダウンロードできません。

❖証明書の管理名を変更する

ダウンロードしたオリジナル証明書の管理名称を変更します。

1 [メニュー]▶[9][4][1]▶証明書にカーソルを合わせて[A/a]

2 名称を入力（全角9（半角18）文字以内）▶[□]

ダウンロードしたときの管理名称に戻す：[✉]

❖証明書を削除する

ダウンロードしたオリジナル証明書を削除します。

1 [メニュー]▶[9][4][1]▶証明書にカーソルを合わせて[✉]▶「はい」▶認証操作

◆証明書発行接続先を変更する〈証明書発行接続先設定〉

FirstPass以外のサービスを受けるときに、証明書発行の接続先を設定します。設定を変更するとFirstPassセンターに接続できなくなります。

通常は設定を変更する必要はありません。

1 [メニュー]▶[9][4][3]

2 接続先欄を選択▶[2]

- FirstPassに接続する設定に戻すときは[1]を押し、[□]を押します。

3 各項目を設定▶[□]

ユーザ設定接続先：接続先を半角英数字99文字以内で入力します。
ユーザ設定初期画面URL：URLを半角英数字100文字以内で入力します。

◆端末暗証番号を省略するかどうかを設定する〈暗証番号入力省略設定〉

オリジナル証明書を利用するときは、端末暗証番号を入力することで認証を行います。認証が完了したオリジナル証明書を再び利用するときに、端末暗証番号入力を省略するかどうかを設定します。

1 [メニュー]▶[9][4][4]▶[1]または[2]

iモーションとは

サイトやホームページから映像や音を取得し、再生・保存します。保存した映像や音はiモーションとして再生したり、着モーションに設定できます。メロディだけではなく歌手の歌声なども着信音として利用できます（一部の対応していないiモーションは着モーションに設定できません）。

- iモーションには大きく分けて次の2種類があります。取得時にデータの種類を変更したり、選択したりできません。

種　類	再生動作
標準タイプ（保存可※）	iモーションのデータを取得しながら再生（最大10Mバイト）。取得完了後は、データを取得後に再生するiモーションと同様に操作可能。
	iモーションのデータをすべて取得後に再生（最大10Mバイト）。
ストリーミングタイプ（保存不可）	iモーションのデータを取得しながら再生（最大10Mバイト）。再生終了後、iモーションのデータは消去。

※ 保存できないiモーションもあります。

サイトからｉモーションを取得する

- 最大保存件数→P458

1 サイトを表示▶ｉモーションを選択

受信済みのデータ量／全体のデータ量

ｉモーションの取得が始まり、完了すると完了を示す画面が表示されます。

- 取得中に[■]を押して「はい」を選択すると、取得を中止します。ファイルサイズが500Kより大きく10Mバイトまでの部分保存できるｉモーションの場合は、再開の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると取得が再開され、「いいえ」を選択すると部分保存の確認画面が表示されます。部分保存したｉモーションの残りは取得できます。→P281「動画／ｉモーションを再生する」お知らせ
- ストリーミングタイプのｉモーションを選択した場合は、再生の確認画面が表示されます。
- データを取得しながら再生するｉモーションの再生中は次の操作ができます。再生終了後は、データを取得後に再生するｉモーションと同様に操作できます。
  [●]：標準タイプは一時停止／再生
  [○]：音量調整
  [■]：ストリーミングタイプは確認画面で「はい」を選択すると中断、標準タイプは停止（停止中に[●]を押すと先頭から再生）
  [MENU]：詳細情報の表示

  ※ 再生を一時停止または停止しても、データの取得は継続します。
- データ取得後に再生するｉモーションを再生したときのキー操作（[CLR]を除く）→P280「動画／ｉモーションを再生する」操作3

2 「保存」

- ストリーミングタイプのｉモーションは保存できません。

もう一度再生する：「再生」
詳細情報を表示する：「情報表示」
保存を中止する：「戻る」▶「いいえ」

- ストリーミングタイプのｉモーションは「戻る」を選択するとサイト画面に戻ります。

3 表示名を入力（36文字以内）▶[■]

取得したｉモーションは、ｉモーションの「ｉモード」フォルダに保存されます。

- ガイド表示領域に「[アイコン]」が表示された場合、ファイル制限なしのデータは[A/a]を押して[■]を押すと、microSDメモリーカードの「動画」フォルダ（音声のみのｉモーションは「その他の動画」フォルダ）に保存されます。ファイル制限ありのデータは[■]を押した後、microSDメモリーカードの保存先のフォルダにカーソルを合わせて[■]を押すと、選択したフォルダに保存されます。
- FOMA端末に保存する場合は、[MENU]を押すとｉモーションの利用先一覧が表示され、待受画面などに設定できます。→P283

✔お知らせ

- 取得、再生できるｉモーションはMP4（Mobile MP4）形式のみです。ASF形式のｉモーションの取得、再生はできません。
- ｉモーションにテロップ（テキスト）が含まれていてもテロップ（テキスト）は再生できません。
- ｉモーションには、再生回数や再生期限などの再生制限が設定されている場合があります。

- ｉモーションを取得しながら再生しているときにデータの受信待ちになり、再生が一時停止する場合があります。データを受信し始めると自動的に再生を再開します。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときに、電波状況などにより再生ができなくなったり、画像が乱れたりする場合があります。その場合でも、データが正常に受信されていると取得後に再生できます。ただし、ｉモーションによってはデータを取得できても、正しく再生できない場合があります。
- ｉモーションのデータが不正だった場合、ｉモーションの受信が中止されることがあります。
- ｉアプリからｉモーションを利用して、保存する前に詳細情報を表示したときに着信音設定および着信画面設定が「可」と表示されても、保存できない場合があります。その場合には、着信音および着信画像に設定できません。
- ストリーミングタイプのｉモーションを取得しながら再生しているときにFOMA端末を閉じたり、電話がかかってきたり、目覚ましやスケジュールの指定日時になった場合は、取得が中断され、再生が中止されます。標準タイプのｉモーションを取得しながら再生しているときにFOMA端末を閉じると、再生は停止しますが取得は継続されます。

ｉモーション設定

ｉモーションの自動再生を設定する

標準タイプのｉモーションを自動的に再生するかどうかを設定します。

1 [メニュー]▶[9][6]▶自動再生設定欄を選択▶[1]または[2]▶[完了]

✔お知らせ

- サイト表示中からの操作：[MENU]→「表示」→「ｉモーション設定」
- 「自動再生しない」に設定しても、取得完了画面で「再生」を選択すると再生できます。
- ストリーミングタイプのｉモーションは本設定に関わらず、再生の確認画面が表示されます。

ｉチャネルとは

ニュースや天気などをグラフィカルな情報としてドコモまたはIP（情報サービス提供者）がｉチャネル対応端末に配信するサービスです。
定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、[CLR]を押すことでチャネル一覧に表示されます。さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。
ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。

チャネルには「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」の2種類があり、「ベーシックチャネル」はドコモが提供するチャネルであり、あらかじめ登録されていますので、ｉチャネルの利用開始時からすぐに利用することができます。「ベーシックチャネル」に関しては、配信される情報の自動更新にパケット通信料はかかりません。
「おこのみチャネル」はドコモ以外のIP（情報サービス提供者）が提供するチャネルで、お客様ご自身がお好きなチャネルを登録して利用できます。「おこのみチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料などは、ｉチャネルのサービス利用料には含まれません。
ただし、「ベーシックチャネル」も「おこのみチャネル」も、チャネル一覧から詳細情報を閲覧する場合は、ｉチャネルのサービス利用料とは別にパケット通信料がかかります。
また、国際ローミング中のベーシックチャネルに関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料は、ｉチャネルのサービス利用料に含まれませんのでご注意下さい。

- ｉチャネルの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

ｉチャネルを表示する

ｉチャネルを表示すると、テロップで流れている情報の詳細を見ることができます。

1 待受画面で CLR

- 待受画面に動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリを設定しているときは、 8 1 を押します。

2 チャネルを選択

サイトに接続され、詳細情報が表示されます。

✔お知らせ

- 情報受信中は が点滅します。
- 情報を受信しても、着信音、バイブレータ、ランプは動作しません。
- 待受画面に設定したアニメーションが再生中のときは、テロップは表示されません。ただし、アニメーションが自動的に再生しているときは、約5秒後に停止してテロップが表示されます。
- 次の場合は、待受画面で CLR を押してｉチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、テロップが表示されるようになります。
  - FOMA端末の電源が切れていたり、圏外などで情報を受信できなかったとき
  - 他のｉチャネル対応端末にFOMAカードを差し替えたとき
  - 接続先を変更したとき→P178
  - ｉチャネルを初期化したとき→P189
- ｉチャネルサービスまたはｉモードサービスを解約するとテロップは表示されなくなり、 CLR を押すと未契約時の画面が表示されます。ただし、解約の手続きが完了するまではテロップが表示され、 CLR を押すと最後に受信した情報がｉチャネル一覧に表示される場合があります。
- ｉチャネル一覧表示中にもう一度Flash画像を動作させる： MENU →「リトライ」
- 使用状況によりｉチャネル一覧を表示したときに情報を受信する場合があります。

テロップ表示設定

ｉチャネルのテロップを設定する

1 ▶ 8 2 ▶各項目を設定▶

✔お知らせ

- 待受画面に動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリを設定している場合は、本機能のテロップ表示を「表示する」に設定しようとすると、待受画面解除の確認画面が表示されます。
- ｉチャネルサービス解約前にｉモードサービス解約を行った場合、本機能のテロップ表示は「表示する」に設定されたままになっています。
- 2in1がONのときは、モードごとに設定できます。
- 異なるFOMAカードに差し替えると、テロップ表示は「表示する」に戻ります。

ｉチャネル初期化

ｉチャネルを初期化する

ｉチャネルをお買い上げ時の状態に戻します。

1 ▶ 8 3 ▶「はい」

✔お知らせ

- ｉチャネル初期化を行うと、待受画面のテロップは表示されなくなります。待受画面で CLR を押してｉチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップが表示されるようになります。
- 2in1がONのときは、モードごとに初期化が必要です。

メール

ｉモードメールとは

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末間はもちろん、インターネットを経由してe-mailでのやりとりができます。
テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内で10個までファイル（画像、トルカなど）を添付することができます。また、デコメールにも対応しており、メール本文の文字の色や大きさ、背景色を変えられるほか、絵文字のように挿入可能なデコメ絵文字もたくさんプリインストールされているため、簡単に表現力豊かなメールを作成し、送信できます。

- ｉモードメールの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

新規メール

ｉモードメールを作成して送信する

1 ✉（1秒以上）

メール作成画面

2 宛先欄を選択

3 入力方法を選択▶宛先を入力

メール送受信履歴から入力する：「メール送信履歴」または「メール受信履歴」▶メール送受信履歴を選択

電話帳から入力する：「電話帳参照」▶電話帳検索▶電話帳データを選択

メールグループから入力する：「メールグループ」▶メールグループを選択

- 既に入力されている宛先との合計が5件を超える場合メールグループは追加できません。

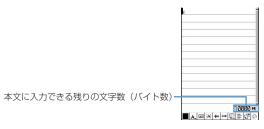
直接入力する：「直接入力」▶宛先を入力（半角50文字以内）

- ｉモード端末に送信する場合は、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。

4 題名欄を選択▶題名を入力（全角15（半角30）文字以内）

5 本文欄を選択▶本文を入力（全角5000（半角10000）文字以内）

署名を挿入する：MENU▶5 6

6 [i]

- 接続中画面で[■]、送信中画面で[i]を押すと送信を中止します。ただし、操作のタイミングによっては送信される場合があります。そのとき送信されたメールは、未送信メールの「未送信BOX」フォルダに保存されます。
- 圏外で圏内自動送信メールが5件未満の場合、圏内自動送信の設定確認画面が表示されます。「はい」を選択すると圏内自動送信メールとして未送信メールの「未送信BOX」フォルダに保存されます。

✔お知らせ

- 送信が正常に終了すると、ｉモードメールは送信メールのフォルダに保存されます。保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護していない古い送信メールから上書きされます。
- デコメ絵文字（絵文字D）を使用すると、デコメールとして送信されます。
- 絵文字を入力したｉモードメールを他社携帯電話（au／ソフトバンク／ツーカー）に送信すると、受信側の類似絵文字に自動的に変換されます。ただし、受信側の携帯電話の機種や機能によって正しく表示されないことや、該当する絵文字がない場合に文字または〓に変換されることがあります。
- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- ｉモードメールを正常に送信できていても、電波状況によっては「送信できませんでした」というエラーメッセージが表示される場合があります。
- 送信に失敗したときは未送信メールの「未送信BOX」フォルダに保存されます。
- ドコモ以外のアドレスにメールを送信した場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、ｉモードメールは作成または送信できません。未送信メールのフォルダから不要なｉモードメール、SMSを削除してください。
- 2in1のBアドレスを発信元にしてｉモードメールを送信するにはWEBメールを利用します。→P202
- 他の機能が起動するなどして、10000バイトを超える作成中のｉモードメールが自動保存された場合、一部が保存されないことがあります。

◆宛先を追加する〈宛先追加〉

ｉモードメールは同じ内容を一度に最大5件の相手に送信（同報送信）できます。

- 宛先種別には次の3種類があります。
  [To]：直接の送信相手の宛先
  [Cc]：直接の送信相手以外にメールの内容を知らせたい相手の宛先
  [Bcc]：他の送信相手にメールアドレスを表示させずにメール内容を知らせる相手の宛先
- [To]の宛先が1件も入力されていないときは、メールを送信できません。

1 メール作成画面で宛先欄にカーソルを合わせて[✉]▶入力方法を選択

- 「メールグループ」を選択した場合は、操作3に進みます。

宛先種別を変更する：**メール作成画面で宛先欄にカーソルを合わせて[MENU]▶[9]▶宛先種別を選択**

追加した宛先を削除する：**メール作成画面で宛先にカーソルを合わせて[MENU]▶[8]▶「はい」**

2 宛先種別を選択

3 宛先を入力

✔お知らせ

- 「TO」と「CC」の宛先欄に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。

デコメール

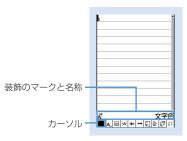
デコメールを作成して送信する

ｉモードメール本文に文字サイズや背景色の変更、撮影した静止画やお買い上げ時に登録されているデコメピクチャ、デコメ絵文字の挿入などの装飾（デコレーション）をして、デコメールを作成できます。

■ 装飾例

- デコメールの作成方法には、装飾方法を選択してから文字を入力する方法（→P194）と文字を入力した後に装飾方法を選択する方法（→P195）があります。
- 送信できるデコメールのサイズは100Kバイト以内です。100Kバイトのうち本文中に貼付できる画像は最大20種類で90Kバイト以内です。
- 下記機種※以外のデコメール対応のｉモード端末に、10000バイトを超えるデコメールを送信した場合は、受信側では閲覧用URLが記載されたメールを受信します。
  ※ 903iシリーズ、904iシリーズ、905iシリーズ、703iシリーズ（P703iμ除く）、704iシリーズ（P704iμ除く）、705iシリーズ、F801i
- デコメール非対応のｉモード端末にデコメールを送信した場合は、受信側では閲覧用URLが記載されたメールを受信します。ただし、非対応機種によってはデコメールのサイズが10000バイトを超えるときは本文のみ受信し、閲覧用URLを受信できない場合があります。

◆装飾を指定してから文字を入力する

1 メール作成画面で本文欄を選択▶[メール]

装飾選択画面

2 装飾を選択▶文字を入力

装飾選択画面で装飾のマークを選択すると、その装飾が選択状態になります。

装飾の操作方法→P195「デコメール装飾選択画面の操作手順」

複数の装飾を設定する：**マークにカーソルを合わせて[MENU]▶文字を入力**

- テロップ、スウィング、文字位置は同時に設定できません。

選択状態の装飾を解除して文字を入力する：**入力位置にカーソルを合わせて[メール]▶[A/a]▶文字を入力**

- 解除される装飾は文字色、文字サイズ、点滅、テロップ、スウィング、文字位置です。

装飾を変更する：[MENU]▶[1][8]▶**開始位置を選択**

以降の操作→P195「文字を入力してから装飾を指定する」操作2以降

装飾をすべて解除する：[MENU]▶[1][9]

3 MENU ▶ 0 ▶ **装飾を確認**

設定した装飾と、画面の右下に入力できる残りのデータ量の正確なバイト数を確認できます。

4 ■ ▶ ■ ▶ 📖

✔お知らせ

- メール本文の入力画面でMENUを押し、「デコレーション」を選択しても装飾を選択できます。

❖デコメール装飾選択画面の操作手順

機　能	操作方法・補足
文字色	**文字色を選択▶文字を入力** ・標準の20色または「その他の色」の64色から選択できます。 ・絵文字（デコメ絵文字（絵文字D）を除く）の文字色も変更できます。 ・範囲を指定して元の色に戻せます。→P195
文字サイズ	**文字サイズを選択▶文字を入力** ・デコメ絵文字（絵文字D）は変更できません。
画像挿入	**①挿入元を選択** ・microSDメモリーカードを取り付けている場合のみ「microSD」を選択できます。 ・「静止画を撮影」を選択すると、横長／縦長VGA（640×480、480×640）以下のサイズで静止画を撮影して挿入できます。 ・画像挿入アイコンの代わりに✉を押すと、デコメピクチャ一覧を表示できます。 ・デコメ絵文字は絵文字を入力する手順でも挿入できます。→P360 **②フォルダを選択▶画像を選択**
点滅	**文字を入力** ・デコメ絵文字（絵文字D）は設定できません。
テロップ	**文字を入力** ・テロップ開始記号とテロップ終了記号の間に文字を入力します。
スウィング	**文字を入力** ・スウィング開始記号とスウィング終了記号の間に文字を入力します。
文字位置	**文字の位置を選択▶文字を入力** ・カーソル位置に文字が入力されている場合は、改行されます。
ライン挿入	文字色アイコン（文字色）で指定されている色でライン（罫線）が挿入されます。
背景色	**背景色を選択** ・標準の20色または「その他の色」の64色から選択できます。
元に戻す	直前に設定した装飾または文字入力が取り消されます。

◆文字を入力してから装飾を指定する

- 「ライン挿入」「画像挿入」「背景色」は操作できません。装飾を指定してから操作してください。→P194

1 **メール作成画面で本文欄を選択▶装飾の開始位置にカーソルを合わせてA/a**

2 **終了位置を選択**

開始位置から文頭までを選択する：MENU▶■
開始位置から文末までを選択する：📖▶■
全文を選択する：✉

3 **装飾を選択**

文字色を変更する：1▶**文字色を選択**

- ライン（罫線）の色も変更されます。
- 元の色に戻すときは「指定なし」を選択してください。

文字のサイズを変更する：2▶1〜3
文字を点滅させる：3▶1

- 解除するときは2を押します。

文字をテロップ表示させる：4▶1
• 解除するときは2を押します。
文字をスウィング表示させる：5▶1
• 解除するときは2を押します。
文字の表示位置を変更する：6▶1～3
• 画像の表示位置も変更されます。
選択範囲の装飾をすべて取り消す：7
コピーする：8
切り取る：9
1つ前の状態に戻す：0
• 直前に設定した装飾または文字入力が取り消されます。
続けて文字を装飾する：MENU▶操作3を繰り返す
装飾の確認や解除方法→P194「装飾を指定してから文字を入力する」操作2～3

4 ■▶■▶📖

✔お知らせ
• 装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力可能な文字数が少なくなる場合があります。装飾を解除してから文字を削除してください。なお、CLRを1秒以上押すと、装飾データも含めてカーソル位置以降の文字を削除できます。
• 点滅、テロップ、スウィング、アニメーションなどは、メール作成画面やプレビュー画面では一定時間が経過すると自動的に停止します。
• パソコンなど、デコメール対応FOMA端末以外とメールを送受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。

メールテンプレートを利用する

メールテンプレートは、iモードメールの雛形です。この雛形に変更を加えるだけで、簡単にiモードメールが作成できます。
お買い上げ時に登録されているテンプレートのほか、自分で作成したメールテンプレートやサイトからダウンロードしたテンプレートを利用できます。
• 最大保存件数→P458

◆メール作成時にテンプレートを使う〈テンプレート読込み〉

1 メール作成画面でMENU▶6 1▶読み込むテンプレートを選択

2 メールを編集▶📖

✔お知らせ
• 既に入力済みの項目があるメール作成画面からテンプレートの読み込みを行うと、入力済みの内容を削除して読み込むかどうかの確認画面が表示されます。

◆テンプレートを表示してメールを作成する

1 ✉▶8▶テンプレートを選択

2 📖▶メールを編集▶📖

◆テンプレートを作成して登録する〈テンプレート登録〉

作成または送受信したｉモードメールをテンプレートとして登録できます。

- 次の場合は、テンプレートに登録できません。
  - 本文と装飾データで10000バイトを超えている場合
  - 本文と装飾、添付ファイルの合計サイズが100Kバイトを超える場合
- 送受信したｉモードメールの場合は、本文がないと登録できません。また、宛先、題名は登録されません。

1 メール作成画面で[MENU]▶[6][2]▶「はい」

送受信したｉモードメールを登録する：メール詳細画面で[MENU]▶[4][5]

2 各項目を設定

表示名：全角10（半角20）文字以内で入力します。

ファイル名：半角英数字と「.」「-」「_」で36文字以内で入力します。ファイル名の先頭に「.」は使用できません。

3 [□]

保存したテンプレートは、「テンプレート読込み」内に保存されます。

- 登録済みのテンプレートに上書きするときは[✉]を押し、テンプレートを選択し、「はい」を選択します。ただし、お買い上げ時に登録されているテンプレートには上書きできません。

✔お知らせ

- メール送信できない画像が含まれたテンプレートを登録しようとすると、画像が削除される場合があります。

◆テンプレートをダウンロードする

- 保存できるメールテンプレートのサイズは1件あたり最大200Kバイトです。

1 サイトを表示▶メールテンプレートを選択

- ダウンロード中に[□]：ダウンロードを中止

2 「保存」

以降の操作→P197「テンプレートを作成して登録する」操作2以降

表示する：「プレビュー」

保存を中止する：「戻る」▶「いいえ」

✔お知らせ

- 利用できないファイルが添付されている場合は、添付ファイルを削除して保存するかどうかの確認画面が表示されます。

◆テンプレートの詳細情報を変更する

- お買い上げ時に登録されているテンプレートは変更できません。

1 [✉]▶[8]

2 テンプレートにカーソルを合わせて[MENU]▶[4][2]

以降の操作→P197「テンプレートを作成して登録する」操作2以降

- 詳細情報の表示中に[□]を押しても、詳細情報を変更できます。

◆テンプレートを削除する

〈例〉1件削除する

1 [✉]▶[8]

2 テンプレートにカーソルを合わせて[MENU]▶[2][1]

複数削除する：[MENU]▶[2][2]▶テンプレートを選択▶[□]

全件削除する：MENU▶2 3▶認証操作

3 「はい」

添付ファイル（送信）

ファイルを添付する

ｉモードメールにファイルを添付して送信できます。

- 最大10件で合計2Mバイトまで添付できます。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイル（自端末でファイル制限を「あり」に設定した画像やメロディを除く）、FOMAカード動作制限機能が設定されているファイルは添付できません。
- 添付できるファイルの種類は次のとおりです。

ファイルの種類	添付の条件
画像※1	• JPEG形式、GIF形式の画像、GIFアニメーションのみ添付可（パラパラマンガは添付不可）
動画／ｉモーション、音声※2	• MP4形式の動画／ｉモーションのみ添付可（ASF形式や部分的に取得した動画／ｉモーションは添付不可） • 再生制限が設定されている動画／ｉモーションは添付不可※3
メロディ	• SMF形式、MFi形式のメロディのみ添付可
トルカ※4	•「利用済みトルカ」フォルダのトルカは添付不可 • IP（情報サービス提供者）の設定によっては添付不可
スケジュールデータ	—
ブックマークデータ	—
電話帳データ	—
その他	• microSDメモリーカードの「その他」フォルダのファイルのみ添付可

※1 下記機種※以外のｉモード端末に10000バイトより大きいJPEG形式の画像を送信した場合は、ｉショットセンターで受信する端末に適したサイズに変換されます。movaサービスのｉモード端末へはJPEG形式の画像を1枚のみ送信できます。なお、受信側の端末では画像閲覧用URLが記載されたｉモードメールを受信します。

※2 映像のある動画／ｉモーションは、受信側の端末や機器によっては連続静止画に変換されて表示される場合があります。
下記機種※以外のｉモード端末に送信する場合は、共通再生モードで撮影した動画をおすすめします。→P155
受信側が下記機種※以外のｉモード端末の場合、動画／ｉモーションはｉモーションメールセンターに保存され、ｉモーション閲覧用URLが記載されたｉモードメールを受信します。
サウンドレコーダーやボイス録音で録音した音声は、音声のみの動画／ｉモーションとして添付されます。なお、movaサービスのｉモード端末では受信できません。
※ 903iシリーズ、904iシリーズ、905iシリーズ、703iシリーズ（P703iμ除く）、704iシリーズ（P704iμ除く）、705iシリーズ、F801i

※3 再生制限が設定されていないファイルでも添付できない場合があります。

※4 受信側がトルカ対応機種の場合でも、機種によってはトルカ（詳細）を受信できない場合があります。

1 **メール作成画面で添付ファイル欄を選択▶添付するファイルを選択**

メール作成画面の添付ファイル欄に選択したファイルが表示されます。

- microSDメモリーカードを取り付けている場合は、添付元を「本体」「microSD」から選択する画面が表示されます（「その他」を除く）。
- microSDメモリーカードを取り付けている場合のみ「その他」を選択できます。

画像（「1イメージ」）を選択したとき

- 画像サイズがQVGA（240×320、320×240）より大きいJPEG形式の画像の場合は、QVGAサイズへの変換確認画面が表示されます。
- ファイルサイズが2Mバイトより大きいJPEG形式の画像は、メールに添付可能なサイズに変換されます。
- 添付元で「カメラ撮影」を選択したときには、静止画を撮影して添付できます。

動画／ｉモーション（「2ｉモーション」）を選択したとき

- 添付元で「カメラ撮影」を選択したときには、動画を撮影して添付できます。

「3メロディ」を選択したとき

- お買い上げ時は、「メール添付メロディ」フォルダにメロディが保存されています。→P411

「4トルカ」を選択したとき

- トルカ（詳細）を添付できる場合は、詳細を含めてメールへの貼り付け確認画面が表示されます。
- トルカ（詳細）を添付できない場合は、詳細は含まれないがメールに貼り付けするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると詳細は切り取られますが、サイトに詳細情報がある場合は、受信側でダウンロードできます。

音声（「8ボイス録音」）を選択したとき

- 音声を録音して添付できます。
  音声の録音方法→P311「音声を録音する」操作2～5

2 メールの編集▶[本]

✔お知らせ

- 受信側の端末が対応していない添付ファイルは、ｉモードセンターで削除されたり、正しく表示や再生されなかったりします。
- 添付ファイルのサイズによっては、送信するまでに時間がかかる場合があります。

◆添付ファイルを変更／解除する

〈例〉解除する

1 メール作成画面で添付ファイル欄にカーソルを合わせる

2 [メール]▶「はい」

変更する：[A/a]▶ファイルの添付をやり直す→P198

ｉモードメール保存

ｉモードメールを保存しておき、あとで送信する

◆ｉモードメールを保存する

作成中のｉモードメールを、送信せずに保存します。

- 最大保存件数→P458

1 メール作成画面で[MENU]▶[3]

ｉモードメールが未送信メールの「未送信BOX」フォルダに保存されます。

◆電波の届く所になったらメールを自動送信する〈圏内自動送信〉

圏外で作成したｉモードメールを、電波の届く所になったら自動的に送信するように設定できます。

- 最大5件設定できます。

1 メール作成画面で[MENU]▶[2]

- ディスプレイ上部に[AUTO]が表示されます。
- 圏内自動送信を設定したｉモードメールは未送信メールの「未送信BOX」フォルダに保存されます。

❖電波の届く所になると

自動送信されます。自動送信中は が点滅します。送信が正常に終了すると、ｉモードメールは送信メールのフォルダに保存され、 が消えます。

- 自動送信を中断したときや失敗したときは が に変わって点滅し、ｉモードメールは未送信メールの「未送信BOX」フォルダに残ります。未送信メール一覧で自動送信に失敗したｉモードメールにカーソルを合わせて[MENU][5][2]を押すと、未送信理由が表示されます。
- 「未送信BOX」フォルダに保存されたすべての圏内自動送信失敗メールが編集、解除、削除、メール連動型ｉアプリ用のフォルダに移動、FOMAカードの差し替えなどによってなくなると、 は消えます。

✔お知らせ

- 圏外のため失敗した場合は最大2回再送されます。
- メール作成中や署名編集中は自動送信されません。

❖圏内自動送信の設定を解除する

1 [✉]▶[4]▶フォルダを選択▶ｉモードメールにカーソルを合わせて[📖]▶「はい」

✔お知らせ

- 次の場合も圏内自動送信の設定は解除されます。
  - 未送信の圏内自動送信メールを選択して、メール作成画面になった場合
  - 未送信の圏内自動送信メールをメール連動型ｉアプリ用のフォルダに移動した場合
  - FOMAカードを差し替えた場合
  - 接続先設定で接続先番号または接続先アドレスを変更した場合
  - 2in1をONにしてBモードに設定した場合

◆送信・保存したｉモードメールを編集・送信する

送信したｉモードメールやSMS、送信せずに保存したり送信に失敗したりしたｉモードメールやSMSを編集、送信できます。

1 [✉]▶[4]または[5]▶フォルダを選択

- SMSは が表示されます。

2 メールを選択

送信メールを再編集する：メールにカーソルを合わせて[📖]

3 メールを編集▶[📖]

クイックメール

すばやくメールを作成する

FOMA端末電話帳のメモリ番号が0～99の相手には、簡単な操作でｉモードメールやSMSを送信できます。

- 電話帳データに複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、ｉモードメールは1件目のメールアドレス、SMSは1件目の電話番号が宛先になります。

〈例〉メモリ番号23のメールアドレスにｉモードメールを送信する

1 メモリ番号（[2][3]）▶[✉]

入力したメモリ番号の電話帳データに登録されているメールアドレスを宛先にしたｉモードメールの作成画面が表示されます。

SMSを作成する：メモリ番号▶[✉]（1秒以上）

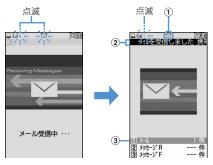
入力したメモリ番号の電話帳データに登録されている電話番号を宛先にしたSMSの作成画面が表示されます。

i モードメールを受信したときは

- 最大保存件数→P458

1 i モードメールを受信

と✉が点滅し、「メール受信中…」と表示されます。
メール着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅して受信結果画面が表示されます。
受信した i モードメールは受信メールのフォルダに保存されます。

- ■：受信を中止
  受信時の状況によっては受信する場合があります。

受信中画面　受信結果画面

① **マーク**
✉：未読の i モードメールあり
✉：未読の i モードメールとSMSあり
② **受信結果テロップ**
③ **受信した i モードメールの件数**

- 受信結果画面が表示されてから約15秒間何も操作しないと自動的に受信前の画面に戻ります。

受信に失敗したとき
受信結果画面の「メール」の後ろに「×」が表示されます。受信し直すには、 i モード問合せを行ってください。

✔お知らせ

- 複数のメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したメール、メッセージR/Fに設定した条件に従って動作します。
- i モードメール1件につき、添付ファイルも含めて最大100Kバイトまで自動受信できます。100Kバイトを超える添付ファイルは、 i モードセンターから手動で取得できます。→P205
- 極端に容量の大きい i モードメールは、 i モードセンターで受け付けずにエラーメッセージとともに発信元に返信される場合があります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、未読または保護以外の古い受信メールから上書きされます。このとき、受信したメールのサイズによっては大量に消去される場合があります。
- 次のような場合に送られてきた i モードメールは、 i モードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないとき
  - テレビ電話中
  - お預かりセンター接続中
  - セルフモード中
  - おまかせロック中
  - FirstPassセンター接続中
  - 受信に失敗したとき
  - i モード圏外のとき
  - SMS受信中
  - メール選択受信設定が「ON」のとき
  - 赤外線通信／iC通信中
  - 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯のとき
- 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、 i モードメールの受信は中止され、画面には✉や▦が表示されます。受信する場合は、未読メールの既読への変更（→P215）、未読メールの内容表示（→P209）、不要メールの削除（→P216）、保護解除（→P215）などを行う必要があります。

• iモードセンターにiモードメールが残っているときは、[icon]や[icon]が表示されます。ただし、iモードメールがあっても表示されない場合があります。また、iモードセンターの保管件数が満杯になったときは、マークが[icon]や[icon]に変わります。
• iモードメールの送信直後は自動受信できない場合があります。iモード問合せを行ってください。

◆新着iモードメールを表示する

1 受信結果画面で1

• 2や3を押すとメッセージR/Fを表示できます。

2 フォルダを選択▶メールを選択

• メロディが添付されている場合の再生について→P224
受信メール詳細画面の見かた→P211

◆WEBメールを操作する

2in1のBアドレスでメールを送受信するには、WEBメールサイトへの接続が必要です。2in1がONでBモードまたはデュアルモードのときのみ、WEBメールサイトへ接続できます。
• 2in1はお申し込みが必要な有料サービスです。

1 [メール]▶65▶iモードパスワードの入力欄を選択▶iモードパスワードを入力▶「決定」

WEBメールサイトに接続されます。
• WEBメールサイト内の操作方法は『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。

メール選択受信

iモードメールを選択して受信する

iモードセンターに保管されているiモードメールの題名などを確認し、受信するiモードメールを選択したり、受信前にiモードセンターでiモードメールを削除したりできます。
• メール選択受信を利用するには、あらかじめメール選択受信設定を「ON」に設定しておく必要があります。

❖iモードセンターにメールが届いたときは

ディスプレイに「センターに✉あり」と表示されます。
• iモードメールがiモードセンターに保管されても着信音やバイブレータなどは動作しません。
• MULTI以外のキーを押すと「センターに✉あり」が消えます。

✔お知らせ

• オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、開閉ロック中はメッセージが表示されません。
• iモード問合せを行うとすべてのメールを受信します。メールを受信したくない場合は、iモード問合せ設定で問合せ項目から「メール」を外してください。
• メール選択受信設定を「ON」に設定しても、SMS、メッセージR/Fは自動受信します。

◆メールを選択受信する

1 ✉▶6 3

ｉモードセンターに接続され、保管されているｉモードメールが一覧表示されます。

- メール末尾のマークの意味は次のとおりです。
  📷: 画像添付あり　♪: メロディ添付あり
  🎥: ｉモーション添付あり　▦: トルカ添付あり
  📄: 上記以外のファイル添付あり

2 メールごとに「保留」▶「受信」「削除」「保留」から選択

- 「保留」を選択した場合は、そのままｉモードセンターに保管されます。
- ｉモードセンターに保管されているすべてのメールを削除するときは、「ｉモードセンターから全てのメールを」の「削除」を選択します。
- ページが複数ある場合は、メール一覧の最後に表示される「前ページ」「次ページ」を選択すると前後のページを表示できます。

3 「受信／削除」▶「決定」

ｉモード問合せ

ｉモードメールがあるかどうかを問い合わせる

圏外にいた間や電源を切っていた間などに、ｉモードメールが届いていないかを問い合わせます。
ｉモード問合せ設定でメッセージR/Fも問い合わせするように設定している場合は、同時にメッセージR/Fもあるかどうかを問い合わせます。

- 電波状態によってはｉモード問合せができない場合があります。

1 ✉▶✉

- ｉモード問合せ中はランプがレインボーで点灯します。ｉモード問合せ後、新着のｉモードメールがないときは、ランプが赤色で点滅します。ｉモード問合せに失敗したときは、ランプが黄色で点滅します。
- 受信結果画面の操作は自動受信時と同じです。→P201

iモードメールに返信する

受信したiモードメールやSMSに返信します。

- 受信メールによっては返信できない場合があります。
- 発信元が「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」の受信SMSには返信できません。

1 **[メール]▶[1]▶フォルダを選択▶メールにカーソルを合わせて[i]**

クイック返信本文選択画面が表示されます。

- 複数の宛先に送られたメールの場合は、宛先の選択画面が表示されます。「差出人」または「全員」を選択します。
- 次の場合は、クイック返信本文選択画面は表示されません。操作3に進みます。
  - クイック返信設定が「OFF」の場合
  - クイック返信本文が1件も登録されていない場合
  - SMSに返信する場合

2 **[1]**

引用文字（>）と受信メール本文が入力されます。

クイック返信を使用する：[2]〜[6]

選択したクイック返信本文が引用した本文の前に挿入されます。

3 **メールを編集▶[i]**

宛先欄には受信メールの発信元のメールアドレスまたは電話番号、題名欄には先頭に「RE:」の付いた受信メールの題名（iモードメールのみ）、本文欄には引用文字（>）と受信メール本文が入力されます。

- 受信メールの状態マークが[既読]から[返信済]、または[既読]から[返信済]に変わります。

✔お知らせ

- 返信する際にクイック返信を利用するかどうかと、クイック返信の本文を登録できます。→P223
- 返信する際に本文を引用するかどうかと、引用した本文の先頭に付ける引用文字を設定できます。→P223
- メール返信引用設定に関わらず、受信メールの一覧画面および詳細画面で[MENU]を押し「返信／転送」を選択すると、「返信」（受信メール本文の引用なし）または「引用返信」（受信メール本文の引用あり）を選択できます。また、microSDメモリーカードの受信メール詳細画面からも同様に操作できます。
- 受信メールの添付ファイルは、返信メールには添付されません。
- 受信メール本文中に貼付されたメロディ、iアプリが起動できるリンク項目があるときは返信メールには貼付されず、文字としても引用されません。
- 本文中に貼付された画像にファイル制限が設定されている場合は、返信メールに引用されません。また、引用したときに本文中の画像が最大20種類で合計90Kバイトを超える場合は、上限を超えた画像の削除を示す画面が表示されます。

iモードメール転送

iモードメールを他の宛先に転送する

受信したiモードメールやSMSを他の宛先に転送します。iモードメールはiモードメールとして、SMSはSMSとして転送されます。

1 **[メール]▶[1]▶フォルダを選択▶転送するメールにカーソルを合わせて[メール]**

題名欄には先頭に「FW:」の付いた受信メールの題名（iモードメールのみ）、本文欄には受信メールの本文が入力されます。

- 添付ファイルがある受信メールを転送する場合は、添付ファイルも設定されます。ただし、未取得、取得途中の選択受信添付ファイルは設定されません。

2 メールを編集▶[四]

- 受信メールの状態マークが[アイコン]から[アイコン]、または[アイコン]から[アイコン]に変わります。

✔お知らせ

- 受信メール詳細画面からの操作：[MENU]→「返信／転送」→「転送」
  microSDメモリーカードの受信メール詳細画面からも同様に操作できます。
- 受信メール本文中に貼付されたメロディ、ｉアプリが起動できるリンク項目があるときは転送メールには設定されず、また文字としても引用されません。
- 受信メールの添付ファイル（画像、メロディ、トルカ）のうち、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは転送メールに添付されません。microSDメモリーカードの受信メールを転送する場合は、すべての添付ファイルが解除されます。
- 本文中に画像がある受信メールを転送するときに、本文中の画像の合計サイズが90Kバイトを超える場合は、上限を超えた画像の削除を示す画面が表示されます。
- 2in1がONでデュアルモードのときにFOMA端末に保存したBアドレスまたはBナンバー宛の受信メールを転送すると、発信元がAアドレスまたはAナンバーのメールとして送信されます。

選択受信添付ファイルを取得する

受信したｉモードメールに添付された未取得または取得途中の選択受信添付ファイルをダウンロードします。

- メール本文と添付ファイルの合計サイズが100Kバイトを超える場合は、添付ファイルの一部またはすべてを選択受信添付ファイルとして受信します。
- 未取得または取得途中の添付ファイルがあると、受信メール詳細画面にｉモードセンターでの保存期限が表示されます。
- ダウンロードできるサイズは1件あたり最大2Mバイトです。

1 [✉]▶[1]▶フォルダを選択▶ファイルが添付されたｉモードメールを選択

マークの意味→P211「受信メール詳細画面」

2 ファイル名を選択

- ダウンロード中に[四]を押し「いいえ」を選択すると、ダウンロードを中止し、中止した部分まで保存されます。
- ダウンロード後の操作は自動受信した添付ファイルの操作と同様です。→P206

✔お知らせ

- 選択受信添付ファイルをダウンロードしようとしたときに、保存領域の空きが足りないときはダウンロードできません。受信済みのｉモードメールの添付ファイル削除（→P208）、未読メールの内容表示（→P209）、未読メールの既読への変更（→P215）、保護解除（→P215）、不要メールの削除（→P216）などを行ってからダウンロードし直してください。
- ファイルのサイズによっては、選択受信添付ファイルをダウンロードする際に既読メールが削除される場合があります。
- 圏外などでダウンロードが中断すると再開の確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると中断した部分まで保存され、添付ファイルマークに[アイコン]が表示されます。

添付ファイル（受信）

自動受信添付ファイルを操作する

ｉモードメールに添付されているファイルを表示・保存します。

- 次のファイルは本FOMA端末では表示・再生できません。また、microSDメモリーカードにのみ保存できます。
  - 100Kバイトを超えるメロディ
  - 1024バイトを超えるトルカや100Kバイトを超えるトルカ（詳細）
  - 複数件の電話帳、スケジュール、ブックマークのデータ
- 最大保存件数→P458

〈例〉画像が添付されているｉモードメール

マークの意味→P211「受信メール詳細画面」

◆画像を表示・保存する

1 ✉▶1▶フォルダを選択▶ｉモードメールを選択

2 画像のファイル名にカーソルを合わせてMENU▶6 3

以降の操作→P174「画像をダウンロードする」操作2以降

デコメールの画像を保存する：MENU▶4 4▶画像を選択

以降の操作→P174「画像をダウンロードする」操作2以降

画像の表示／非表示を切り替える：ファイル名を選択

タイトルを表示する：画像のファイル名にカーソルを合わせてMENU▶6 2

✔お知らせ

- デコメールに添付された画像を表示するときは、画像のファイル名を選択します。
- 横幅が画面サイズより大きい画像は、縮小して表示されます。
- 保存した画像によっては、本FOMA端末で表示できない場合があります。
- 横縦（縦横）のサイズがGIF形式で640×480、JPEG形式で1728×2304より大きい画像はFOMA端末には保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できない画像もあります。
- 送信メールに添付した画像も同様に操作できます。

◆ｉモーションを再生・保存する

1 ✉▶1▶フォルダを選択▶ｉモードメールを選択

2 ｉモーションにカーソルを合わせてMENU▶6 3

以降の操作→P187「サイトからｉモーションを取得する」操作3

再生する：ｉモーションにカーソルを合わせてMENU▶6 1

タイトルを確認する：ｉモーションにカーソルを合わせてMENU▶6 2

✔お知らせ

- 保存したｉモーションによっては、本FOMA端末で再生できない場合があります。
- 送信メールに添付した動画／ｉモーションも同様に操作できます。
- メールに添付されたｉモーションをパソコンで再生するには、対応ソフトが必要です。詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

◆メロディを再生・保存する

1 ✉▶1▶フォルダを選択▶ｉモードメールを選択

- 受信したメロディは、本文の後に添付されている場合と、本文中に貼付されている場合があります。

2 メロディにカーソルを合わせてMENU▶6 2

以降の操作→P174「メロディをダウンロードする」操作3以降

再生する：メロディにカーソルを合わせてMENU▶6 1

タイトルを確認する：メロディにカーソルを合わせてMENU▶6 5

- 本文中に貼付されているメロディのときは、メロディにカーソルを合わせてMENU 6 4を押します。

✔お知らせ

- 送信側の端末や受信したメロディによっては、正しく再生できない場合があります。
- 本文の文字が誤ってメロディのデータとして認識された場合は、メロディにカーソルを合わせてMENU→「添付ファイル」→「データ表示」を選択すると文字として表示できます。データ表示されたメロディの先頭行で■を押すと、メロディの表示に戻ります。
- 送信メールに添付したメロディも同様に操作できます。

◆トルカを表示・保存する

1 ✉▶1▶フォルダを選択▶ｉモードメールを選択

2 トルカにカーソルを合わせてMENU▶6 3

表示する：トルカにカーソルを合わせてMENU▶6 1

タイトルを確認する：トルカにカーソルを合わせてMENU▶6 2

詳細情報をダウンロードする：→P264「トルカを表示する」操作2

3 1または2

保存したトルカは、トルカの「トルカフォルダ」、またはmicroSDメモリーカードの「トルカ」フォルダに保存されます。

- トルカによっては、どちらか一方の保存先しか選択できない場合があります。

✔お知らせ

- トルカによっては、一度しか保存できない場合があります。
- 送信メールに添付したトルカも同様に操作できます。

◆電話帳データを表示・保存する

1 ✉▶1▶フォルダを選択▶ｉモードメールを選択

2 電話帳データを選択

表示する：電話帳データにカーソルを合わせてMENU▶6 1

ファイル名を確認する：電話帳データにカーソルを合わせてMENU▶6 2

3 📖

保存した電話帳データは、FOMA端末電話帳に保存されます。

- microSDメモリーカードを取り付けている場合は、A/aを押すとmicroSDメモリーカードの「電話帳」フォルダに保存されます。

✔お知らせ

- 送信メールに添付した電話帳データも同様に操作できます。

◆スケジュールデータを表示・保存する

1 ✉▶1▶フォルダを選択▶ｉモードメールを選択

2 スケジュールデータを選択

表示する：スケジュールデータにカーソルを合わせてMENU▶6 1

ファイル名を確認する：スケジュールデータにカーソルを合わせて[MENU]▶[6][2]

3 [□]

保存したスケジュールデータは、スケジュール帳に保存されます。

- microSDメモリーカードを取り付けている場合は、[A/a]を押すとmicroSDメモリーカードの「スケジュール」フォルダに保存されます。

✔お知らせ

- 送信メールに添付したスケジュールデータも同様に操作できます。

◆ブックマークデータを表示・保存する

1 [✉]▶[1]▶フォルダを選択▶ｉモードメールを選択

2 ブックマークデータを選択

表示する：ブックマークデータにカーソルを合わせて[MENU]▶[6][1]
ファイル名を確認する：ブックマークデータにカーソルを合わせて[MENU]▶[6][2]

3 タイトル名を入力（全角12（半角24）文字以内）▶[□]

保存したブックマークデータは、Bookmarkの先頭行のフォルダに保存されます。

- タイトルを入力しないで登録すると、ブックマーク一覧にはURLが表示されます。
- microSDメモリーカードを取り付けている場合は、[A/a]を押すとmicroSDメモリーカードの「Bookmark」フォルダに保存されます。

✔お知らせ

- 送信メールに添付したブックマークデータも同様に操作できます。

◆さまざまなファイルを保存する

本FOMA端末で表示できないファイルをmicroSDメモリーカードに保存します。

- FOMA端末内への保存や表示はできません。

1 [✉]▶[1]▶フォルダを選択▶ｉモードメールを選択

2 ファイルにカーソルを合わせて[MENU]▶[6][3]

ファイル名を確認する：ファイルにカーソルを合わせて[MENU]▶[6][2]

3 「はい」

microSDメモリーカードの「その他」フォルダに保存されます。

✔お知らせ

- 本FOMA端末で識別できないファイルは、microSDメモリーカードへの保存および転送のみできます。なお、保存する際に、ファイル名が書き換えられる場合があります。
- 送信メールに添付したデータも同様に操作できます。

添付ファイル削除

添付ファイルを削除する

- 本文中に貼付される画像やメロディ、ｉアプリが起動できるリンク項目は削除できません。

1 [✉]▶[1]▶フォルダを選択▶ｉモードメールを選択

2 ファイル名にカーソルを合わせて[MENU]▶[6][4]

- 複数添付されている場合に一括削除するときは、ファイル名にカーソルを合わせて[MENU][6][5]を押します。

メロディまたは選択受信添付ファイルを削除する：ファイル名にカーソルを合わせて MENU ▶ 6 3

- 複数添付されている場合に一括削除するときは、メロディまたは選択受信添付ファイルのファイル名にカーソルを合わせて MENU 6 4 を押します。

3 「はい」

- 削除した添付ファイルはファイル名が薄く表示されて選択できなくなります。

✔お知らせ

- 送信メールに添付したファイルも同様に操作できます。

受信メールBOX／送信メールBOX

受信／送信メールBOXのメールを表示する

受信、送信、未送信のｉモードメールやSMSを確認できます。

- お買い上げ時には、「おすすめBEST5」のメールが「受信BOX」フォルダに保存されています。
- 最大保存件数→P458

〈例〉受信メールを表示する

1 ✉ ▶ 1

送信メールフォルダ一覧を表示する：✉ ▶ 5
未送信メールフォルダ一覧を表示する：✉ ▶ 4

2 フォルダを選択

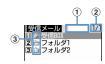
受信メール一覧が表示されます。

- メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択すると、それに対応するｉアプリが起動します。ｉアプリを起動せずにメールを表示するときは、メール連動型ｉアプリ用のフォルダにカーソルを合わせて MENU 1 を押します。

3 表示するメールを選択

- メールの便利な機能→P218

◆フォルダ一覧画面の見かた

❖受信メールフォルダ一覧画面

① 保存領域の使用率
② ページ番号／総ページ数
③ フォルダ
: メールなし　: 未読メールなし
: 未読メールなし、メールなし（シークレット属性ON）
: 未読メールなし、メールなし（メール連動型ｉアプリで利用）
: 未読メールあり
: 未読メールあり（シークレット属性ON）
: 未読メールあり（メール連動型ｉアプリで利用）

❖送信／未送信メールフォルダ一覧画面

① ページ数／総ページ数
② フォルダ
: メールなし　: メールあり
: シークレット属性ON　: メール連動型ｉアプリ

◆メール一覧画面／詳細画面の見かた

❖受信メール一覧画面

① ページ番号／総ページ数

② 状態マーク

：未読　：未読（返信不可）
：既読　：既読（返信不可）
：既読（返信済み）　：既読（転送済み）
：保護　：保護（返信不可）
：保護（返信済み）　：保護（転送済み）

※ 返信済み、転送済みは後から行った操作のマークが優先表示されます。

③ 添付ファイル／SMS／通知／メール連動型ｉアプリ

：画像　：ｉモーション　：メロディ　：トルカ
：電話帳データ　：スケジュールデータ
：ブックマークデータ
：本FOMA端末で表示できないファイル
：複数添付ファイルあり
：SMS
：送達通知、着信通知、伝言通知
：メール連動型ｉアプリで利用されるメール
：ｉアプリToあり

※ メール一覧表示設定の表示スタイルが「1行表示」のときは、日時の後ろに次のマークが表示されます。
：添付ファイルあり

④ 発信元

電話帳に登録されているときは名前が表示されます。

⑤ 受信日時

当日の場合は時刻が、当日以外の場合は日付が表示されます。

⑥ 題名

ｉモードメールによっては、表示されない場合があります。また、SMSの場合は本文の先頭が表示されます。

⑦ 本文

カーソルを合わせたメールの本文が表示されます。

- 海外から送られてきたSMSは発信元の先頭に「+」が表示されます。
- 海外滞在時（GMT+09:00を除く）に受信したｉモードメール、SMSは受信日時の後ろにが表示される場合があります。
- 2in1がONでデュアルモードのときは、Bアドレスまたは Bナンバー宛のｉモードメール、SMSは題名の先頭にが表示されます。

❖送信／未送信メール一覧画面

① ページ番号／総ページ数

② **状態マーク**
表示なし：未保護
：保護
：圏内自動送信設定中
：圏内自動送信失敗
：保護＋圏内自動送信設定中
：保護＋圏内自動送信失敗

③ **添付ファイル／SMS／メール連動型ｉアプリマーク**
→P210「受信メール一覧画面」
※ 送信メール一覧の場合、メール一覧表示設定の表示スタイルが「1行表示」のときは、添付ファイルがあると日時の後ろにが表示されます。

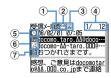
④ **宛先**
宛先が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。

⑤ **送信／保存日時**
当日の場合は時刻が、当日以外の場合は日付が表示されます。

⑥ **題名**
SMSの場合は本文の先頭が表示されます。

- 海外滞在時（GMT+09:00を除く）にｉモードメール、SMSを作成して保存、送信すると、日時の後ろにが表示される場合があります。

❖受信メール詳細画面

① **宛先種別マーク**
To Cc Bcc：宛先（Cc、Bccはｉモードメールのみ）
ｉモードメールでは発信元からどの宛先種別で送られてきたのかを確認できます。

② **状態／通知マーク**
→P210「受信メール一覧画面」

③ **添付ファイルの種類／SMSマーク**
添付ファイルの種類
：画像　：ｉモーション　：メロディ　：トルカ
：電話帳データ　：スケジュールデータ
：ブックマークデータ
：本FOMA端末で表示できないファイル
：複数添付ファイルあり
：ｉアプリ（ｉアプリTo）
：貼り付けデータ不正
※ 添付ファイルの状態によって、上記マークとともに次のマークが表示されます。
：著作権あり（メール添付やFOMA端末外への出力不可）
／：データ異常／データ超過
：選択受信添付ファイル未取得
：選択受信添付ファイル取得途中
：選択受信添付ファイル取得不可
SMSマーク
：SMS

④ **メール番号／件数**

⑤ **受信日時**

⑥ **発信元／同報アドレスの宛先種別**
From：発信元　：発信元（返信不可）
To Cc：宛先（ｉモードメールのみ）
：宛先（返信不可）（ｉモードメールのみ）

⑦ **題名**

- 海外滞在時（GMT+09:00を除く）に受信したｉモードメール、SMSは受信日時の後ろにが表示される場合があります。
- 2in1がONでデュアルモードのときは、BアドレスまたはBナンバー宛のｉモードメール、SMSは受信日時の後ろにBが表示されます。

❖受信メールの表示を拡大／縮小する〈クイックズーム〉

受信メール一覧画面と受信メール詳細画面では本文を8段階で拡大／縮小できます。

- 次の操作ができます。

1／3：縮小／拡大
2：初期画面に戻す
*／#：スクロール（一覧画面のみ）

- キー操作一覧を表示するには、各画面でMENUを押し、「表示」→「キー操作一覧」を選択します。

❖送信メール詳細画面

① 状態マーク
→P210「送信／未送信メール一覧画面」
② 添付ファイル／SMSマーク
→P211「受信メール詳細画面」
③ メール番号／件数
④ 送信日時
⑤ 宛先種別マーク
To Cc Bcc：宛先（Cc、Bccはｉモードメールのみ）
⑥ 題名

- 海外滞在時（GMT+09:00を除く）にｉモードメール、SMSを送信すると、送信日時の後ろに🌐が表示される場合があります。

✔お知らせ

- 表示できない文字は空白などに置き換わります。
- 題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- 本文が受信できる文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた分が自動的に削除されます。
- パソコンで装飾されたメールを受信した場合は、パソコン上と同じ動作にならないことがあります。
- 受信メールに添付されたファイルが受信可能なデータ量（添付可能なデータ量→P198）より大きい場合やファイルによっては、ｉモードセンターで削除され、題名の下に［添付ファイル削除］と表示されます。
- メール本文中に貼付されたメロディ、ｉアプリが起動できるリンク項目は1件のみ有効です。複数貼付されていると、貼付データは無効になります。このとき貼付マークには?が表示されます。

- 受信したSMSおよび送達通知、着信通知、伝言通知の題名、発信元は次のように表示されます。

項　目	題　名	発信元
SMS	受信SMS	電話番号
送達通知	SMS送達通知	SMS Center
着信通知	留守番　着信通知	DoCoMo SMS
伝言通知	留守番　テレビ電話	DoCoMo MSG

なお、送信したSMSの題名には「送信SMS」と表示されます。
※ 電話番号が電話帳に登録されているときは、名前が発信元に表示されます。
※ 発信者番号が通知されなかったときは、次の文字が発信元に表示されます。
「非通知設定」(非通知に設定して送られてきた場合)
「公衆電話」(公衆電話から送られてきた場合)
「通知不可能」(発信者番号を通知できない方法で送られてきた場合)

◆メールをお預かりセンターに保存する〈電話帳お預かりサービス〉

電話帳お預かりサービスを利用して、ｉモードメールやSMSをネットワーク上のお預かりセンターに保存します。

- 電話帳お預かりサービスについて→P141
- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとすると、その旨をお知らせする画面が表示されます。
- 1回の操作で最大10件保存できます。
- ｉモードメールにファイルが添付されている場合は、保存するときに削除されます。ただし、本文中の画像やメロディ(メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されたファイルを除く)は削除されません。
- 送達通知は保存できません。
- 復元操作の詳細は『ご利用ガイドブック(ｉモード〈FOMA〉編)』をご覧ください。復元したメールは、次の場合を除き保護されます。
  - お預かりセンターに保存されている受信メール、受信SMSが未読だった場合
  - 保護されているメールが最大保護件数に達している場合
- お預かりセンターに保存した履歴を確認できます。→P97

1 ✉▶1または4～5▶フォルダを選択

2 MENU▶45▶メールを選択
未送信メールを保存する：MENU▶43▶メールを選択

3 📖▶「はい」▶認証操作
- ■：保存を中止

4 通信結果を確認する
- 通信結果の表示は約5秒後に消えます。

◆フォルダを作成/削除する

- 作成したフォルダにはシークレット属性を設定できます。プライバシーモード中(メール・履歴が「指定フォルダを非表示」のとき)は、シークレット属性が「ON」のメールフォルダは表示されません。
- プライバシーモードの設定→P131

❖フォルダを作成する

- 受信メール内には「受信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダ以外に最大40個作成できます。
- 送信メール、未送信メール内には「送信BOX」「未送信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダ以外にそれぞれ最大20個作成できます。
- 「受信BOX」「送信BOX」「未送信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダは、フォルダ設定を変更できません。

1 ✉▶1または4～5

2 MENU▶1

フォルダ設定を変更する：フォルダにカーソルを合わせてMENU▶3
並び順を変更する：フォルダにカーソルを合わせてMENU▶7または8

3 各項目を設定▶

フォルダ名：全角8（半角16）文字以内で入力します。
シークレット属性：プライバシーモード中（メール・履歴が「指定フォルダを非表示」のとき）に、フォルダを表示させるかどうかを設定します。

❖フォルダを削除する

- 「受信BOX」「送信BOX」「未送信BOX」フォルダは削除できません。
- フォルダ内に保護されているメールがあるときは削除できません。
- メール連動型ｉアプリ用のフォルダは、そのフォルダに対応するｉアプリがあるときは削除できません。

1 ▶1または4～5▶フォルダにカーソルを合わせてMENU▶2▶認証操作▶「はい」

◆メールの件数を確認する〈フォルダ内メール件数〉

受信メール、送信メール、未送信メールの未読、既読、保護の保存件数をフォルダごとに確認します。

1 ▶1または4～5▶フォルダにカーソルを合わせてMENU▶5

✔お知らせ
- メール一覧からの操作：MENU→「表示」→「メール件数確認」

◆メールアドレスを表示する〈アドレス表示〉

- 未送信メール詳細画面からは確認できません。

1 ▶1または5▶フォルダを選択▶メールを選択▶MENU▶3 2

✔お知らせ
- メール詳細画面で確認する発信元または宛先を選択しても確認できます。
- 受信メール、送信メール、未送信メール一覧からの操作：メールにカーソルを合わせてMENU→「表示」→「アドレス表示」
送信メール、未送信メールの場合、宛先が複数あるときは全宛先のメールアドレスが、受信メールの場合は自分以外の宛先（「TO：」「CC：」）が表示されます。
- メールテンプレート詳細画面からの操作：MENU→「表示」→「アドレス表示」

◆受信／送信／未送信メールをフォルダに移動する〈メール移動〉

- メールをmicroSDメモリーカードへコピーできます。→P293

〈例〉1件移動する

1 ▶1または4～5▶フォルダを選択

2 メールにカーソルを合わせてMENU▶4 1 1

複数移動する：MENU▶4 1 2▶メールを選択▶
フォルダ内を全件移動する：MENU▶4 1 3

3 ■▶移動先のフォルダを選択▶「はい」

◆メールを検索する

電話帳に登録している受信メールの発信元や送信メールの宛先、送受信した日でメールを検索できます。

〈例〉電話帳で検索する

1 ▶1または5

2 MENU ▶ 9 1 ▶ **電話帳検索**

- 電話帳データや日付にカーソルを合わせると、該当するメールが表示されます。
- 送信メールを電話帳で検索する場合、同報メールも検索の対象となります（画面には1件目の宛先が表示されます）。

送受信日で検索する：MENU ▶ 9 2 ▶ **日付を検索**

3 **電話帳データを選択**

全メールから検索されたメールが一覧で表示されます。

- 検索結果画面からはメール一覧と同様の操作ができます。
- 検索を解除するには、MENU 0 を押します。

送受信日で検索する：**日付を選択**

- 📖を押して日付を入力しても検索できます。

✔お知らせ

- 受信メール、送信メール一覧からの操作：MENU→「メール検索」→「電話帳でメール検索」または「カレンダーでメール検索」
  この場合は、フォルダ内のメールだけが検索されます。

◆受信／送信メールを並べ替える〈ソート〉

受信メールと送信メールのメール一覧の並び順を一時的に並べ替えます。

1 ✉ ▶ 1 **または** 5 ▶ **フォルダを選択**

2 MENU ▶ 7 4

送信メールを並べ替える：MENU ▶ 5

3 1～4

✔お知らせ

- 「送信者順」または「宛先順」の場合、メールアドレスが電話帳に登録されていても電話帳の名前ではなくメールアドレスの順に並び替わります。
- 全角や半角の文字が混在していると、「タイトル順」の並べ替えの結果が50音順と一致しない場合があります。
- SMSが含まれていると、一覧画面ではSMSはメッセージの本文の先頭が表示されるため、「タイトル順」で並べ替えた場合、50音順と一致しません。

◆受信メールの既読／未読を変更する

- 保護されている受信メールの既読／未読は変更できません。

〈例〉1件未読から既読にする

1 ✉ ▶ 1 ▶ **フォルダを選択**

2 **変更する受信メールにカーソルを合わせて** MENU ▶ 5 1

1件既読から未読にする：**メールにカーソルを合わせて** MENU ▶ 5 2

複数未読から既読にする：MENU ▶ 5 3 ▶ **メールを選択** ▶ 📖 ▶ **「はい」**

複数既読から未読にする：MENU ▶ 5 4 ▶ **メールを選択** ▶ 📖 ▶ **「はい」**

フォルダ内を全件既読にする：MENU ▶ 5 5 ▶ **「はい」**

フォルダ内を全件未読にする：MENU ▶ 5 6 ▶ **「はい」**

◆受信／送信メールを保護する〈メール保護〉

受信メール、送信メール、未送信メールを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防げます。

- 最大保護件数→P458
- 未読メールは保護できません。

〈例〉1件保護する

1 ✉ ▶ 1 **または** 4～5 ▶ **フォルダを選択**

2 **メールにカーソルを合わせて** MENU ▶ 3 1

- 状態マークが次のいずれかに変わります。
  受信メール：🔒(既読)、🔒(返信不可)、🔒(返信済み)、🔒(転送済み)
  送信／未送信メール：🔒

複数保護する：MENU▶3 2▶メールを選択▶📖
• MENUを押すたびに全選択／全解除を一括で設定できます。
フォルダ内を全件保護する：MENU▶3 3
1件解除する：メールにカーソルを合わせてMENU▶3 4
複数解除する：MENU▶3 5▶メールを選択▶📖
フォルダ内を全件解除する：MENU▶3 6

✔お知らせ
• メール詳細画面からの操作：MENU→「保護」または「保護解除」
•「全件保護」を選択すると、日時が新しいメールから順に、最大保護件数に達するまで保護されます。

◆ メールを削除する〈メール削除〉

❖受信メールを削除する

次の方法で削除できます。

○：実行可　×：実行不可

削除方法	実行する画面		
	フォルダ一覧	メール一覧	詳細表示
メール全件	○	×	×
	• 全メール（未読を含む）を削除		
フォルダ内 -既読	○	○	×
	• フォルダ内の既読メールを削除		
フォルダ内 -全件	○	○	×
	• フォルダ内の全メール（未読を含む）を削除		
フォルダ内 -7日経過 -14日経過 -30日経過	○	○	×
	• フォルダ内の受信後指定日数経過したメール（未読を含む）を削除		
1件削除	×	○	○
	• 選択したメール1件を削除		
複数削除	×	○	×
	• 選択した複数メールを削除		

1 ✉▶1
• メール全件を削除するときは、MENU 4 6を押し、認証操作を行い、操作4に進みます。

2 フォルダを選択▶MENU▶2
• 受信メールを1件だけ削除するときは、削除する受信メールにカーソルを合わせてMENU 2を押します。

3 1～7
複数削除する：2▶メールを選択▶📖
フォルダ内を全件削除する：4▶認証操作

4 「はい」

❖送信／未送信メールを削除する

次の方法で削除できます。

○：実行可　×：実行不可

削除方法	実行する画面		
	フォルダ一覧	メール一覧	詳細表示
メール全件	○	×	×
	• 全メールを削除		
フォルダ内 -全件／全件削除	○	○	×
	• フォルダ内の全メールを削除		
1件削除	×	○	○※
	• 選択したメール1件を削除		
複数削除	×	○	×
	• 選択した複数メールを削除		

※ 送信メールのみ削除できます。

〈例〉1件削除する

1 ✉ ▶ 4 または 5

2 フォルダを選択 ▶ メールにカーソルを合わせて MENU ▶ 2 1

複数削除する：フォルダを選択 ▶ MENU ▶ 2 2 ▶ メールを選択 ▶ 📖

フォルダ内を全件削除する：フォルダを選択 ▶ MENU ▶ 2 3 ▶ 認証操作

全件削除する：MENU ▶ 4 2 ▶ 認証操作

3 「はい」

✔お知らせ

- フォルダ一覧からの操作：MENU→「メール削除」
- メール詳細画面からの操作：MENU→「削除」

メール送受信履歴

メールの履歴を利用する

送受信したメールの宛先や発信元をメールの履歴として記録しておく機能です。これらのメールを作成したり、電話帳に登録したりできます。

- 送信履歴と受信履歴はそれぞれ最大30件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。
- 2in1がONのときは、受信履歴はAアドレス／Aナンバー最大30件、Bアドレス／Bナンバー最大30件の合計60件まで記録されます。Aモードのときは Aアドレス／Aナンバーの履歴のみ、Bモードのときは Bアドレス／Bナンバーの履歴のみ表示されます。デュアルモードのときはすべての送受信履歴が表示されます。
- 同じ宛先にメールを送信した場合は、メール送信履歴には最新の1件のみが記録されます。
- 返信不可のｉモードメールやSMSの受信履歴は記録されません。

◆ メール送受信履歴を表示する

〈例〉メール送信履歴を表示する

1 📹 ▶ 📖

- 表示する相手を選択すると詳細画面が表示されます。

メール送信履歴一覧　メール送信履歴詳細

①**ページ番号／総ページ数（一覧画面）、履歴番号／件数（詳細画面）**

②**送受信日時（海外滞在時は滞在地の送信日時）**

③**履歴の種別**

ｉ：ｉモードメール　SMS：SMS

④**海外滞在時（GMT+09:00を除く）の送信履歴**

送信履歴の画面のみ表示されます。

- 送信日時が記録されていないときなど、表示されない場合があります。

⑤**BアドレスまたはBナンバーの受信履歴（2in1がONでデュアルモードの場合）**

受信履歴の画面のみ表示されます。

⑥ 電話帳のメールアドレスアイコン（ｉモードメール）／電話番号アイコン（SMS）（電話帳に登録している場合）、メールアドレス（ｉモードメール）／電話番号（SMS）
- メール送受信履歴一覧の場合は、メールアドレスや電話番号を電話帳に登録していると、電話帳に登録している名前が表示されます。

⑦ 名前、画像
- メールアドレスや電話番号を電話帳に登録していると、電話帳に登録している名前や画像が表示されます。

メール受信履歴を表示する：▶

❖メール送受信履歴を利用する

ｉモードメールを作成する：宛先にする履歴にカーソルを合わせて▶メールを編集▶
- SMSの履歴の場合は、電話帳にメールアドレスが登録されていないと電話番号を宛先にしたメール作成画面が、登録されているとメールアドレスを宛先にしたメール作成画面が表示されます。

SMSを作成する：履歴にカーソルを合わせて（1秒以上）▶SMSを編集▶
- ｉモードメールの履歴の場合は、電話帳に電話番号が登録されていないとSMSは作成できません。

電話帳に登録する：

① 電話帳に登録する履歴にカーソルを合わせて▶4または5▶1または2
- 登録済みの電話帳データに登録するときは、電話帳データを選択します。

② 名前やメールアドレスなどを登録

電話帳登録→P87、89

電話をかける：またはA/a

リダイヤル／着信履歴を表示する：

❖メール送受信履歴詳細画面の表示を切り替える〈画像／名前表示切替〉

1 メール送受信履歴詳細画面でMENU▶9▶1〜3

各設定項目→P93「詳細画面の表示を切り替える」

◆メール送受信履歴を削除する

〈例〉1件削除する

1 メール送受信履歴一覧で削除する履歴にカーソルを合わせてMENU▶61

複数削除する：メール送受信履歴一覧でMENU▶62▶メール送受信履歴を選択▶

全件削除する：メール送受信履歴一覧でMENU▶63▶認証操作

2 「はい」

メールの便利な機能

◆Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を使う

1 メール詳細画面で電話番号、メールアドレス、URL情報にカーソルを合わせる
- カーソルを合わせられる情報のみ選択できます。

以降の操作→P176「Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To機能を使う」操作2

✔お知らせ
- パソコンなどから受信したメールは、本機能を利用できない場合があります。
- お預かりセンターに保存しているメールは、本機能を利用できません。

◆本文などをコピーする

ｉモードメール、SMS中の文字をコピーできます。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けられます。

- コピーした文字は最新の1件だけが電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。

1 [✉]▶[1]または[5]▶フォルダを選択▶メールを選択▶[MENU]▶[2]

- 選択項目コピーをする場合は、コピーする項目にカーソルを合わせて[MENU][2]を押します。

2 コピー方法を選択

本文コピー：本文中の指定した範囲の文字をコピーします。
コピー方法→P363「文字をコピー／切り取りする」操作2以降

題名コピー：題名をコピーします。

選択項目コピー：項目（メールアドレス、電話番号など）を選択してコピーします。

貼り付け方法→P363

✔お知らせ

- メールテンプレート詳細画面やFOMAカードのSMS詳細画面からの操作：[MENU]→「コピー」または「移動／コピー」
- FOMAカードのSMSの場合は、本文、宛先、発信元をコピーできます。
- デコメールの場合は、装飾はコピーされず、テキストのみコピーされます。
- Date To形式の本文は、いったんメモ帳に貼り付けるとスケジュール登録できます。→P348

◆メールから電話をかける〈電話発信〉

受信メールの発信元や送信／未送信メールの宛先のメールアドレスを電話番号とともに電話帳に登録してあれば（SMSやメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、登録なしで）電話をかけられます。

〈例〉電話をかける

1 [✉]▶[1]または[4]～[5]▶フォルダを選択▶メールにカーソルを合わせて[MENU]▶[6]

- 宛先が複数ある場合は、電話をかける相手のメールアドレスを選択します。
- 受信／送信メール詳細画面から操作する場合は発信元または宛先にカーソルを合わせて[MENU][7]を押します。

2 発信条件を設定▶[MENU]

条件を設定して電話をかける→P69

◆電話番号やメールアドレス、URLを電話帳に登録する

ｉモードメール、SMSの本文中の電話番号、メールアドレス、URLを電話帳に登録できます。

〈例〉電話番号を新規登録する

1 [✉]▶[1]または[5]▶フォルダを選択▶メールを選択

2 電話番号にカーソルを合わせて[MENU]▶[4][1]▶[1]または[2]

- カーソルを合わせられる電話番号、メールアドレス、URLのみ登録できます。

登録済みの電話帳データに追加する：電話番号にカーソルを合わせて[MENU]▶[4][2]▶[1]または[2]▶電話帳データを選択

3 名前やメールアドレスなどを登録

電話帳登録→P87、89

✔お知らせ

- FOMAカードのSMS詳細画面からも同様に操作できます。
- microSDメモリーカードのメール詳細画面からの操作：MENU→「登録」
- デコメールからは登録できない場合があります。
- メール本文などに複数のメールアドレスが列記されている場合は、登録できないことがあります。

◆URLをブックマークに登録する

iモードメール、SMSの本文中にURLがあるとき、メール詳細画面から直接、URLをブックマークに登録できます。

1 **✉▶1または5▶フォルダを選択▶メールを選択▶URLにカーソルを合わせてMENU▶4 3▶登録先フォルダを選択**

以降の操作→P170「ブックマークに登録する」操作2

✔お知らせ

- FOMAカードのSMS詳細画面からも同様に操作できます。
- デコメールからは登録できない場合があります。

メール設定

FOMA端末のメール機能を設定する

◆メールを自動的にフォルダに振り分ける〈メール振り分け設定〉

振り分け条件を設定し、受信または送信したiモードメールやSMSを自動的にフォルダに振り分けます。

- 受信メール、送信メールの振り分け条件は、それぞれ30件登録できます。
- 通常のメールをメール連動型iアプリ用のフォルダに振り分けることもできますが、メール連動型iアプリの振り分け条件が優先されます。

❖振り分け条件を設定する

- 振り分け条件を設定したり実行したりするには、自動振り分け設定を「ON」に設定する必要があります。→P222
- 送受信済みのメールは振り分けられません。

1 **✉▶9 3▶1または2**

登録済みの振り分け条件（優先順位順）

- マークの意味は次のとおりです。
  To：メールアドレス（送信振り分け設定）
  From：メールアドレス（受信振り分け設定）
  No.：メモリ番号　：電話帳登録なし
  ：題名　Gr.：グループ　：条件なし

2 **MENU▶1▶振り分け条件を設定**

メールアドレスを指定する：

指定したメールアドレスのメールを振り分けます。@以降の文字も含めたメールアドレス全体を指定します。半角50文字を超えるアドレスは指定できません。

- FOMA端末とFOMAカードの電話帳に同じメールアドレスを登録して指定した場合は、FOMA端末電話帳のメールアドレスとして振り分けられます。
- 指定するメールアドレスがiモード端末の場合は、ドメイン（@docomo.ne.jp）を省略して指定しても振り分けられます。ただし、「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、ドメイン（@docomo.ne.jp）を除いた携帯電話番号のみを登録してください。
- 電話番号を指定すると、SMSも振り分けられます。
- メール送受信履歴から選択する場合
  ① 1 1または1 2▶**メール送受信履歴を選択**
- 電話帳から選択する場合
  ① 1 3▶**電話帳データを選択**

- 直接入力する場合
  ① 1 4 ▶メールアドレスを入力▶ 📖

題名を指定する：
指定した文字を含む題名のメールを振り分けます（全角15（半角30）文字以内）。
SMSは題名では振り分けられません。
① 2 ▶題名を入力▶ 📖

メモリ番号を指定する：
指定したFOMA端末電話帳のメモリ番号に登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。iモードメールでは電話帳のメールアドレス、SMSでは電話帳の電話番号と照合されます。
① 3 ▶メモリ番号を入力▶ 📖 ▶ ■

グループを指定する：
指定した電話帳のグループに登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。
① 4 ▶ 1 または 2 ▶グループを選択

電話帳登録なしを指定する：
電話帳に登録されていないメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。
① 5

条件なしを指定する：
条件を設定せずにすべてのメールを操作3で指定するフォルダに振り分けます。
① 6

3 振り分け先フォルダを選択

- メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択したときは、選択したフォルダのメールがｉアプリで利用されることを示す画面が表示されます。振り分け先として設定するときは「はい」を選択します。

4 優先順位を選択

選択した行の上に新しい振り分け条件が追加されます。

- 1件目の振り分け条件を登録する場合は、「最後に追加する」を選択します。
- 優先順位の高い条件から順に並びます。
- 登録済みの条件を変更したときは「最後に追加する」は、「最後に移動する」と表示されます。

✔お知らせ

- 複数の条件を設定すると、優先順位の高い条件から順に判定され、先に条件に合ったフォルダに保存されます。すべての条件に合わなかったメールは、「受信BOX」または「送信BOX」フォルダに保存されます。
- 2in1を利用しているときは、「メモリ番号」と「グループ」の振り分け条件が無効な場合があります。「メールアドレス」「題名」「電話帳登録なし」「条件なし」のいずれかの振り分け条件を設定してください。

❖振り分け条件を確認・変更・削除する

〈例〉確認する

1 ✉ ▶ 9 3 ▶ 1 または 2

2 振り分け条件を選択

振り分け条件を変更する：
① 振り分け条件にカーソルを合わせて MENU ▶ 2
振り分け条件の指定の操作→P220「振り分け条件を設定する」操作2～4
②「変更する」

優先順位を変更する：振り分け条件にカーソルを合わせて MENU ▶ 5 ▶ 移動する位置を選択

- 一覧の最後に移動するときは、「最後に移動する」を選択します。

削除する：

① 振り分け条件にカーソルを合わせて MENU ▶ 3 または 4
  - 「全件削除」を選択した場合は、認証操作を行います。

②「はい」

❖自動的に振り分けるかどうかを設定する

- 振り分けを開始するには、「ON」に設定するほかに、振り分け条件を設定する必要があります。

1 ✉ ▶ 9 3 ▶ 1 または 2

2 MENU ▶ 6 ▶ 1 または 2

◆ メールの署名を設定する〈署名設定〉

❖署名を自動挿入するかどうかを設定する

新規、返信、転送メール作成時に署名を自動挿入するかどうかを設定します。

1 ✉ ▶ 9 4 1 ▶ 1 または 2

❖署名を登録する

1 ✉ ▶ 9 4 2 ▶ ■ ▶ 署名を入力（全角4999（半角9998）文字以内）▶ 📖

✔お知らせ

- 既にメール本文に装飾や文字などが入力されている場合や、受信メールを引用して返信、転送する場合は、署名に設定した背景色は反映されません。
- 署名もメール本文の文字数に含まれます。
- デコメ絵文字（絵文字D）を使用すると、デコメールとして送信されます。
- 次の場合は、SMSに署名を挿入できません。
  - SMS設定で送信文字種が「英語」の場合
  - 送信文字種が「英語」の受信SMSに返信、転送する場合
  - 装飾（デコレーション）した署名の場合
  - 署名を挿入すると本文の文字数が70文字を超える場合

◆ｉモード問合せの内容を設定する〈ｉモード問合せ設定〉

1 ✉ ▶ 6 4 ▶ 問合せ項目を選択 ▶ 📖

- いずれかを選択しないと登録できません。

◆ メールを選択して受信できるようにする〈メール選択受信設定〉

1 ✉ ▶ 9 7 2 ▶ 1 または 2

- 「ON」にすると、メールを自動的に受信できないことを示す画面が表示されます。■を押してください。

✔お知らせ

- メール選択受信設定が「ON」の場合、チャットメールは利用できません。

◆ メールグループに登録する〈メールグループ〉

複数のメールアドレスをメールグループに登録すると、ｉモードメールを簡単な操作で複数の宛先に送信できます。

- メールグループは最大20件登録できます。1つのメールグループには、最大5件のメールアドレスを登録できます。

1 ✉ ▶ 9 6

2 📖

メールを作成する：✉ ▶ メールを編集 ▶ 📖

メールグループ名を編集する：メールグループにカーソルを合わせて MENU ▶ 2

メールグループをコピーする：メールグループにカーソルを合わせて[MENU]▶[3]

メールグループを削除する：メールグループにカーソルを合わせて[MENU]▶[4]▶[1]または[2]▶「はい」

- 「全件削除」を選択した場合は、認証操作を行います。

メールグループ内の登録済みのメールアドレスを操作する：メールグループを選択▶操作5に進む

3 メールグループ名を入力（全角8（半角16）文字以内）▶[□]

- 続けて別のメールグループを登録する場合は、[□]を押します。

4 メールアドレスを登録するメールグループを選択

5 [✉]▶各項目を設定

宛先種別：宛先種別を設定します。

アドレス：半角50文字以内で入力します。

- メール送受信履歴、電話帳から入力するときは[MENU]を押して[1]～[3]を押し、宛先を選択します。

登録済みのメールアドレスを編集する：メールアドレス（または名前）にカーソルを合わせて[MENU]▶[1]▶編集

登録済みのメールアドレスを1件削除する：メールアドレス（または名前）にカーソルを合わせて[MENU]▶[2]▶「はい」▶操作7に進む

登録済みのメールアドレスの詳細を表示する：[MENU]▶[3]▶確認が終わったら[■]

6 [□]

- 他のメールアドレスを追加する場合は、操作5から繰り返します。

7 [□]

✔お知らせ

- 宛先種別がTOのメールアドレスがないと、メールを送信できません。

◆返信時に本文を引用するかどうかを設定する〈メール返信引用設定〉

iモードメールやSMSに返信する際に、受信メールの本文を引用するかどうかを設定します。また、引用する本文に付ける引用文字を設定します。

1 [✉]▶[9][5][1]▶各項目を設定▶[□]

引用：メール返信時に本文を引用するかどうかを設定します。

引用文字：全角1（半角2）文字以内で入力します。

- 引用文字も本文の文字数に含まれます。
- 送信できない文字が設定された場合、お買い上げ時の引用文字が使用されます。

◆クイック返信を設定する〈クイック返信設定〉

iモードメールに返信する際にクイック返信を使用するかどうかを設定します。

1 [✉]▶[9][5][2]▶[1]または[2]

◆クイック返信の本文を登録する〈クイック返信本文登録〉

- 最大5件登録できます。

1 [✉]▶[9][5][3]

2 本文を選択▶本文を入力（全角20（半角40）文字以内）▶[□]▶「はい」

本文を参照する：本文にカーソルを合わせて[□]

本文を削除する：本文にカーソルを合わせて[MENU]▶[1]▶「はい」

本文を全件リセットする：[MENU]▶[2]▶認証操作▶「はい」

新たに本文を登録する：「〈新しい返信本文〉」▶本文を入力▶[□]

◆ メール一覧の表示形式を設定する〈メール一覧表示設定〉

受信メール、送信メールのメール一覧の表示形式を設定します。
- 未送信メール、FOMAカードのSMS一覧の表示形式は、本設定に関わらず2行表示です。

〈例〉表示スタイルを「2行表示」、本文お試し表示を「する」にしたときの受信メール一覧

受信BOX 1/3
07:05 docomo.taro.…
おつかれさまです。
01/31 docomo.taro.…
おはようございます。
01/30 docomo.taro.…
こんにちは。
01/29 docomo.ΔΔ.ta…
明日の予定です。
感想、ご意見はdocomotaro@ΔΔ.□□□.co.jpまで連絡を。レポートの詳細はhttp://www.ΔΔΔΔΔΔΔΔ.ne.jp/2008/index.htmlをクリック。好天に恵まれすばらしい北海道を満喫できました。

1 ✉▶[9][7][5]▶各項目を設定▶📖

表示スタイル：表示するスタイルを設定します。
本文お試し表示：受信メール一覧の下に本文を表示させるどうかを設定します。
自動既読設定：受信メール一覧の下にメール本文がすべて表示されたときに、既読にするかどうかを設定します。

◆ 添付ファイルを自動受信するかどうかを設定する〈メール受信添付ファイル設定〉

iモードメールに添付されたファイルを同時に受信するかどうかを、ファイルの種類ごとにあらかじめ設定します。
- 自動受信しないように設定したファイルは、選択受信添付ファイルとして受信します。→P205

1 ✉▶[9][7][3]▶受信するファイルの項目を選択▶📖
- 「ツールデータ」とは、電話帳、ブックマーク、スケジュールのデータです。
- 「その他」とは、本FOMA端末で表示できないファイルです。

✔お知らせ
- 本文中に貼付された画像やメロディは、本設定に関わらず自動受信します。

◆ メロディを自動再生するかどうかを設定する〈添付ファイル自動再生設定〉

メロディが添付されているiモードメールやメッセージR/Fを表示したときに、メロディを自動的に再生するかどうかを設定します。

1 ✉▶[9][7][4]▶[1]または[2]

✔お知らせ
- 「自動再生する」に設定した場合、メロディが添付されている受信メール、送信メール、メールテンプレート、メッセージR/Fを表示すると、音量設定のメロディ音量で設定されている音量でメロディが1回再生されます。複数のメロディが添付されているときは順番にメロディが再生されます。再生を途中で止めるときは[CLR]を押します。
- 「自動再生する」に設定してもメッセージR/Fが自動表示されたときは、メロディは自動再生されません。

◆表示するメールの種別を選ぶ〈表示種別〉

受信／送信メール一覧で指定した種別のメールだけを一時的に表示します。表示を終了すると「すべて表示」に戻ります。
- 未送信メール、FOMAカードのSMSの表示種別は選択できません。

1 **✉▶1または5▶フォルダを選択▶MENU▶72▶1または2**

選択した表示種別のメールが表示されます。
- 受信メールの場合は「既読のみ表示」「保護のみ表示」も選択できます。
- 「既読のみ表示」では、保護されている受信メールは表示されません。

◆メールの文字の大きさを変更する〈文字サイズ〉

メールを表示するときの文字サイズを「大」（24ドット）、「中（標準）」（20ドット）、「小」（16ドット）の3種類から変更します。
- お買い上げ時は「中（標準）」に設定されています。
- メール作成時や編集時、デコメ絵文字（絵文字D）の文字サイズは変更されません。

1 **✉▶1または5▶フォルダを選択▶メールを選択▶MENU▶31▶1〜3**

✔お知らせ

- メールテンプレート詳細画面やFOMAカードのSMS詳細画面からの操作：MENU→「表示」→「文字サイズ」
- microSDメモリーカードのメール詳細画面からの操作：MENU→「文字サイズ」
- 文字サイズの変更は、次に設定を変更するまで保持されます。
- 本設定は文字サイズ設定のメール閲覧にも反映されます。

◆操作中のメール受信通知を設定する〈受信・自動送信表示設定〉

FOMA端末の操作中にｉモードメールやSMS、メッセージR/Fを受信したときに受信中画面および受信結果画面や圏内自動送信中の画面を優先的に表示するかどうかを設定します。

1 **✉▶971▶1〜3**

操作優先：受信中画面および受信結果画面、送信中画面を表示しません。

通知優先：受信中画面および受信結果画面、送信中画面を表示します。

開：操作/閉：通知 優先：FOMA端末を開いているときは操作優先、閉じているときは通知優先になります。

✔お知らせ

- 「操作優先」に設定していても、メニューを表示しているときは、受信中画面や受信結果画面が表示され、着信音とランプも動作します。また、圏内自動送信中画面も表示されます。
- 「通知優先」に設定して、音声電話中やカメラ起動中、ストリーミングタイプのｉモーション再生中、ｉアプリ動作中、アラーム鳴動中の受信時などにｉモードメールやSMS、メッセージR/Fを受信しても、受信中画面および受信結果画面は表示されず、着信音とランプも動作しません。また、圏内自動送信中画面も表示されません。

チャットメール作成・送信

チャットメールを作成して送信する

1つの画面で複数の相手と、会話をするような感覚でメールをやりとりします。

- メール選択受信設定が「ON」の場合、メールの保存領域に空きがない場合、2in1がONでBモードの場合はチャットメールを利用できません。
- チャットメール非対応端末にチャットメールを送信した場合、受信側の端末は題名に「チャットメール」と記載されたメールを受信します。
- 題名に「チャットメール」が含まれたメールは、チャットメールとして受信できます。

❖チャットメール画面の見かた

チャットメール画面

① 送受信履歴

最新の履歴から最大100件表示されます。

- ガイド表示領域に▲や▼が表示されているときは、[Q]を押すとスクロールできます。[A/a]や[✉]を押すと、画面単位でスクロールできます。また、[MENU][5][1]を押すと先頭行に移動し、[MENU][5][2]を押すと最終行に移動して表示されます。
- 左側に発信者のニックネームが表示されます。

② 詳細表示欄

最新またはカーソル位置のチャットメールの詳細を表示します。表示可能文字数は全角250（半角500）文字以内です。

- 表示しきれない場合は、欄下の左右に◀▶が表示されます。[C]で欄内のページを切り替えられます。
- 左側に発信者のニックネームと送受信日時（当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付）が表示されます。メンバーに未登録の同報アドレスが含まれるメールの場合は、[アイコン]が表示されます。海外滞在時（GMT+09:00を除く）に送受信した場合は[アイコン]が表示される場合があります。

③ 本文欄

◆チャットメンバーを登録・編集する〈チャットメンバー設定〉

- 最大5件登録できます。

1 [✉]▶[3]▶「はい」

- メンバーが既に登録されている場合は、チャットメール画面が表示されます。[MENU][7]を押します。

2 [✉]

1件削除する：**メンバーにカーソルを合わせて[MENU]▶[2]▶「はい」▶操作4に進む**

詳細を表示する：**[MENU]▶[3]▶確認が終わったら[■]**

メンバー全件をメールグループと入れ替える：**[MENU]▶[5]▶メールグループを選択▶「はい」▶操作4に進む**

3 各項目を設定▶[完了]

アドレス：半角50文字以内で入力します。

- 登録する相手がシークレットコードを登録している場合は、シークレットコードを登録してある電話帳からの検索、または相手の携帯電話番号のみを直接入力してメンバーに登録します。
- メール送受信履歴、電話帳から入力するときは[MENU]を押して[1]～[3]を押し、宛先を選択します。

ニックネーム：全角4（半角8）文字以内で入力します。

- アドレス欄のメールアドレスと電話帳に登録したメールアドレスが一致すると、電話帳に登録した名前（全角4（半角8）文字目まで）が表示されます。
- 入力しなかった場合、チャットメール画面では、メールアドレスの@マークより前の部分の8文字目までが表示されます。

文字色：ニックネームの色を選択します。

4 [完了]

- メンバーを追加登録する場合は[メール]を押し、操作3を繰り返します。

◆個人情報を設定する

チャットメール画面に表示する自分のニックネームとその文字色を設定します。

1 チャットメール画面で[MENU]▶[8]▶各項目を設定▶[完了]

ニックネーム：全角4（半角8）文字以内で入力します。

- 入力しなかった場合、「自分」と表示されます。

文字色：ニックネームの色を選択します。

◆チャットメールを作成して送信する

- チャットメール送信時は、登録したメンバー全員に送信する設定になっています。送信画面でメンバーを選択することもできますが、チャットメールを終了したり、メンバーの登録内容を変更したりすると、メンバー全員が選択された状態になります。
- 送信したチャットメールは、送信メールのフォルダに保存されます。

1 [メール]▶[3]

- メンバー登録の確認画面が表示された場合は「はい」を選択してメンバー登録をしてください。

2 本文欄を選択▶本文を入力（全角250（半角500）文字以内）

チャットメール画面の履歴から本文をコピーして貼り付ける：コピーするチャットメールにカーソルを合わせて[MENU]▶[6]

文字のコピー／貼り付け方法→P363

送信するメンバーを選択する：[MENU]▶[3]▶メンバーを選択▶[完了]

3 [完了]

- 正常に送信されると、送信されたチャットメールがチャットメール画面に表示されます。

受信したメールの同報アドレス全員に返信する：[MENU]▶[2][2]

✔お知らせ

- 送信に失敗したり、チャットメール終了時に未送信だったチャットメールは未送信メールの「未送信BOX」フォルダに保存されます。「未送信BOX」フォルダにはチャットメールは1件のみ保存できます。さらに送信に失敗すると、「未送信BOX」フォルダに保存されているチャットメールは上書きされます。また、「未送信BOX」フォルダに保存されているチャットメールは、チャットメール起動時に本文欄に表示されます。再送信するときは、チャットメール画面から送信してください。

◆チャットメールを受信する〈チャットメール受信〉

❖チャットメールを起動していないとき

チャットメールまたは題名に「チャットメール」が含まれたメールを受信したときは、受信メールのフォルダに保存されます。

- メンバーに登録している相手から受信した場合は、チャットメールを起動すると自動的にチャットメール画面に読み込まれます。
- メンバーに登録していない相手から受信した場合は、次の操作に従ってメンバーに登録し、チャットメール画面に読み込んでください。

1 **✉▶1▶フォルダを選択▶受信メールにカーソルを合わせてMENU▶7 5▶「はい」▶登録するメンバーを選択▶編集**

チャットメンバー設定方法→P227「チャットメンバーを登録・編集する」操作3以降

2 **「はい」**

✔お知らせ

- 受信メール詳細画面からの操作：MENU→「表示」→「チャットメール表示」
  題名に「チャットメール」が含まれた送信メールも同様に操作できます。
- デコメールやパソコンなどから受信したHTMLメールは、チャットメール画面に読み込めません。

❖チャットメールを起動しているとき

メンバーに登録している相手からチャットメール、または題名に「チャットメール」が含まれたメールを受信したときは、履歴の更新を示す画面が表示され、チャットメール画面に読み込まれます。

- FOMA端末を開いているときは、チャットメールやメール、メッセージR/Fを受信しても、着信音やバイブレータなどは動作しません。
- メンバーに登録していない相手から受信した場合は、受信メールのフォルダに保存されます。
  「チャットメールを起動していないとき」の操作に従って、チャットメール画面に読み込んでください。→P228

❖ｉモードセンターに保管されているチャットメールを受信するとき

圏外にいた間や電源を切っていた間などにチャットメールが届いていないかを問い合わせます。このとき、ｉモードセンターにｉモードメールが保管されていると同時に受信します。

1 **チャットメール画面でMENU▶1**

チャットメールがある場合は、履歴の更新を示す画面が表示され、受信したチャットメールがチャットメール画面に追加されます。

❖同報アドレスを表示する

受信したチャットメールに同報がある場合は、同報アドレスを表示して確認できます。

1 チャットメール画面で、チャットメールにカーソルを合わせて[MENU]▶[4]

- メンバー登録されていない同報者はニックネームの代わりに「未登録」と表示されますが、メールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録された名前が表示されます。[■]を押すとメールアドレスを表示できます。

未登録の同報者をメンバーとして登録する：**同報アドレス一覧画面で同報アドレスにカーソルを合わせて[m]**

以降の操作→P227「チャットメンバーを登録・編集する」操作3以降

同報アドレスをコピーする：**同報アドレス一覧画面で同報アドレスにカーソルを合わせて[MENU]▶[2]**

❖チャットメールの履歴をすべて削除する

- 受信メール、送信メールのフォルダ内の保護されていないチャットメールが削除されます。

1 チャットメール画面で[MENU]▶[9]▶「はい」

✔お知らせ

- チャットメールにｉモードメールとして返信するときは、ｉモードメールと同じ操作で返信します。
- チャットメール画面では、本文中に情報（電話番号、メールアドレス、URLなど）が含まれていても、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To、ｉアプリToは使用できません。また、添付ファイルも表示されません。チャットメールを削除せずに終了し、受信メールのフォルダからチャットメールを表示すると、これらの機能が使用できます。
- 受信メールのフォルダからチャットメールを削除した場合は、チャットメール画面のニックネームが「--------」、日付または時刻が「--/--」、本文が「削除されました」と表示されます。
- チャットメール画面で受信したチャットメールは、受信メールのフォルダでは既読になります。

◆チャットメールを終了する

1 チャットメール画面で[⌒]または[CLR]▶「はい」または「いいえ」

- 「はい」を選択すると、チャットメールがすべて削除されます。その場合は、受信メール、送信メールのフォルダの保護されていないチャットメールが削除されます。
- 「いいえ」を選択すると、次回のチャットメール起動時に前回のチャットメールが表示されます。

SMS作成・送信

SMSを作成して送信する

携帯電話番号を宛先にして文字メッセージを送信します。

- ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 最大保存件数→P458
- 受信、送信、未送信のSMS一覧／詳細画面の見かた→P210

〈例〉宛先を直接入力して作成・送信する

1 [メール]▶[7][1]▶宛先欄を選択

2 「直接入力」▶宛先を入力（半角数字20文字以内）

- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、「+」を含めた21文字まで入力して送信できます。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、「+」（[0]を1秒以上押す）「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力するか、または「010」「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力します（受信した海外からのSMSに返信する場合も、「+」または「010」を入力します）。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。

メール送受信履歴から入力する：**「メール送信履歴」または「メール受信履歴」▶履歴を選択**

電話帳から入力する：**「電話帳参照」▶電話帳検索▶電話帳データを選択**

3 本文欄を選択▶本文を入力

- SMS設定で送信文字種を「日本語」に設定した場合は、70文字以内で入力します。「英語」に設定した場合は、半角の英数字と記号で160文字以内で入力します（｀。「」、・゛゜を除く）。
- [#]を押すと改行できます（全角／半角数字入力モード時を除く）。改行も本文の文字数に含まれます。ただし、相手の端末によっては空白に置き換わります。

署名を挿入する：[MENU]▶[4][6]

4 [i]

- 送信せずに保存する場合は、[MENU][2]を押すと未送信メールの「未送信BOX」フォルダに保存されます。

✔お知らせ

- 送信が正常に終了すると、SMSが送信メールのフォルダに保存されます。保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護していない古い送信メールから上書きされます。
- 電波状況や送信する文字の種類、相手の端末によっては、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 送信する文字種や送達通知を受け取るかどうかは、あらかじめSMS設定で設定します。また、送達通知、有効期間の設定はSMSの作成開始後に変更することもできます。
- 送信文字種が日本語の場合は、半角カタカナを使うと、受信側に正しく表示されない場合があります。絵文字を使うと[絵文字]は[絵文字]に、[絵文字]以外の絵文字は空白に置き換わって表示されます。
- 送信文字種が英語の場合は、記号（｜＾{}[]～￥）を入力すると送信できる文字数が少なくなります。また、記号（｀）は入力できますが、送信すると受信側で空白に置き換わって表示されます。
- 送信に失敗したときは未送信メールの「未送信BOX」フォルダに保存されます。
- 送達通知を「要求する」に設定して送信した場合は、SMSが相手のFOMA端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は受信メールのフォルダに保存されます。
- 発信者番号通知設定が「通知しない」の場合でも、SMS送信時は送信相手に発信者番号が通知されます。
- 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、SMSを作成できません。未送信メールのフォルダから不要なｉモードメール、SMSを削除してください。
- 2in1を利用しているときは、BナンバーではSMSは送信できません。

❖送信・保存したSMSを編集・送信する

送信したSMSや、送信せずに保存したり送信に失敗したりしたSMSを編集、送信できます。→P200

SMS受信

SMSを受信したときは

- 最大保存件数→P458

1 SMSを受信

✉が点滅し、「メッセージ受信中…」と表示されます。
メール着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅して受信結果画面が表示されます。
受信したSMSは受信メールのフォルダに保存されます。

- [終話]：受信を中止
  受信時の状況によっては受信する場合があります。

受信中画面　受信結果画面

① マーク
✉: 未読のSMSあり　✉: 未読のｉモードメールとSMSあり
② 受信結果テロップ
③ 受信したSMSの件数

- 受信結果画面が表示されてから約15秒間何も操作しないと自動的に受信前の画面に戻ります。

受信したSMSをすぐに読む： 受信結果画面で[1]▶フォルダを選択▶SMSを選択

- 受信したSMSに返信したり、転送したりできます。→P204

受信に失敗したとき：
受信結果画面の「メール」の後ろに「×」が表示されます。受信し直すには、SMS問合せを行ってください。

✔お知らせ

- 複数のメール、メッセージR/Fを同時に受信したときは、最後に受信したメール、メッセージR/Fに設定した条件に従って動作します。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、未読または保護以外の古い受信メールから上書きされます。
- ｉモードメール、メッセージR/F受信中はSMSを自動受信しません。SMS問合せを行ってください。
- ドコモ以外の海外通信事業者からSMSを受信した場合は、発信元のアドレスに自動的に「＋」が付きます。電話帳に「＋」を付けて登録していると、電話帳で登録している名前が表示されます。
- スキャン機能設定のメッセージスキャンが「有効」のときに、電話番号やURLが記載されているSMSを受信し、表示しようとすると、注意を示す画面が表示されます。
- 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、SMSの受信は中止され、画面には✉や✉が表示されます。受信する場合は、未読メールの既読への変更（→P215）、未読メールの内容表示（→P209）、不要メールの削除（→P216）、保護解除（→P215）などを行う必要があります。
- FOMAカードにSMSが最大件数（20件）保存されているときは、受信メールのフォルダに空きがあっても、SMSを受信できない場合があります。このとき、画面には✉や✉が表示されます。FOMA端末に移動するか（→P234）、FOMAカードのSMSを削除してください。→P234
- FOMAカードへの保存を指定されているSMSを受信すると、直接FOMAカードに保存されます。ただし、FOMAカード内に保存されているSMSが20件に達している場合は、SMSを受信できません。不要なSMSを削除してから、SMS問合せを行ってください。

SMS問合せ

SMSがあるかどうかを問い合わせる

圏外にいた間や電源を切っていた間などに、SMSが届いていないかを問い合わせます。

- 電波状態によってはSMS問合せができない場合があります。

1

✔お知らせ

- 受信するまでに時間がかかる場合があります。
- 「＊143＃」をダイヤルしてもSMS問合せができます。

SMS設定

SMSの設定を行う

SMSC、アドレス、Type of Numberの設定は、通常変更する必要はありません。

1 ✉▶7 4▶各項目を設定▶📖

送信文字種：送信するメッセージの文字種を選択します。文字種により送信できる文字数が異なります。

送達通知：SMSを送信する際に、送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。

有効期間：送信したSMSを相手が受け取れないときに、SMSセンターで保管する期間を選択します。

- 「0日」を設定すると一定時間再送が行われた後、SMSセンターから削除されます。

SMSC：ドコモ以外のSMSサービスを受ける場合に設定します。

アドレス：SMSC欄を「その他」に設定したときは、半角20文字以内でメールアドレスを入力します。

Type of Number：「international」「unknown」から選択します。

- SMSC欄で「その他」を選択し、かつアドレス欄に番号を設定した場合は、Type of Numberを「unknown」に設定する必要があります。

✔お知らせ

- SMSの作成画面からの操作：MENU→「SMS設定」
  その場合は、送達通知、有効期間のみ設定できます。また、作成中のSMSにだけ有効です。
- 送信文字種、有効期間、SMSC、Type of Numberの設定は、FOMAカードに保存されます。

FOMAカード保存SMS

SMSをFOMAカードに保存する

◆SMSをFOMAカードに移動／コピーする

- 未送信SMSは、FOMAカードに保存できません。
- 送信SMSを移動またはコピーする場合は、対応する送達通知があると同時に移動またはコピーされます。どちらか一方だけの移動またはコピーはできません。
- 最大保存件数→P458

〈例〉1件移動する

1 ✉▶1または5▶フォルダを選択

2 SMSにカーソルを合わせてMENU▶4 2 1

複数移動する：MENU▶4 2 2▶SMSを選択▶📖

1件コピーする：SMSにカーソルを合わせてMENU▶4 3 1

複数コピーする：MENU▶4 3 2▶SMSを選択▶📖

3 「はい」

✔お知らせ

- 受信メール詳細画面、送信メール詳細画面からの操作：MENU→「移動／コピー」→「FOMAカードへ移動」または「FOMAカードへコピー」
- 保護したSMSをFOMAカード内に移動／コピーすると、移動／コピー先で保護は解除されます。

◆FOMAカードのSMSを表示する

1 ✉▶7▶2または3

①ページ番号／総ページ数

②状態マーク
✉：未読（返信可） ✉：未読（返信不可）
✉：既読（返信可） ✉：既読（返信不可）
✉：送達通知、着信通知、伝言通知
✉：SMS違反

③送受信日時
当日の場合は時刻が、当日以外の場合は日付が表示されます。
送信SMSの場合は、送達通知のある送信SMSを除き、送信日時のデータが消去されます。

④発信元／宛先
電話帳に登録されているときは名前が表示されます。

⑤本文の先頭
送達通知は「SMS送達通知」、着信通知は「留守番　着信通知」、伝言通知は「留守番　テレビ電話」と表示されます。

- 一覧の既読、未読のマークは、FOMAカードのSMSを表示したかどうかを示します。移動またはコピー前の未読、既読の状態も引き継がれます。
- 海外から送られてきたSMSでは発信元の先頭に「+」が表示されます。
- データ異常のSMSには✉や✉が表示されます。✉が表示されたSMSは、受信日時は「--/--」（受信当日のみ）になり、発信元や本文の先頭は表示されません。✉が表示されたSMSは、詳細表示が不可能なSMSです。
- 海外滞在時（GMT+09:00を除く）に受信したSMSには、受信日時の後ろに🌐が表示される場合があります。

2 表示するSMSを選択

①状態マーク
：受信（返信可） ：受信（返信不可） ：送信
：送達通知、着信通知、伝言通知
：FOMAカードのSMS

②メール番号／件数

③マーク
：日時 To：宛先
From：発信元 ：発信元（返信不可）
送達通知は「SMS Center」、着信通知は「DoCoMo SMS」、伝言通知は「DoCoMo MSG」と表示されます。
：題名「受信SMS」「送信SMS」「SMS送達通知」「留守番　着信通知」「留守番　テレビ電話」

- 送信SMSをFOMAカードに移動またはコピーした場合、FOMAカードの送信SMSから送信日時のデータが消去されます。ただし、送達通知のある送信SMSの場合は、送信日時が表示されます。
- データ異常のSMSにはFromの代わりに✕が表示され、✕以外は表示されません。
- 海外滞在時（GMT+09:00を除く）に受信したSMSには、受信日時の後ろに🌐が表示される場合があります。

✔お知らせ

- FOMAカードのSMSからも、受信SMSの返信や転送、送信SMSの再送信、文字サイズの変更、電話帳登録などの操作ができます。操作方法は受信SMS、送信SMSと同じです。
- FOMAカードのSMSから返信や転送、再送信などを行った場合の送信SMSは、FOMA端末の送信メールのフォルダに保存されます。

◆FOMAカードのSMSをFOMA端末に移動／コピーする

- 送達通知のある送信SMSを移動またはコピーすると、対応する送達通知が同時に受信メールのフォルダに移動またはコピーされます。どちらか一方だけの移動またはコピーはできません。

〈例〉FOMA端末に1件移動する

1 ✉▶7▶2または3

2 SMSにカーソルを合わせてMENU▶31

複数移動する：MENU▶32▶SMSを選択▶📖
1件コピーする：SMSにカーソルを合わせてMENU▶33
複数コピーする：MENU▶34▶SMSを選択▶📖

3 ■▶移動先のフォルダを選択▶「はい」

✔お知らせ

- FOMAカードのSMS詳細画面からの操作：MENU→「移動／コピー」→「本体へ移動」または「本体へコピー」

◆FOMAカードのSMSを削除する

- 送信SMSを削除した場合、対応するFOMAカードの送達通知も同時に削除されます。

〈例〉1件削除する

1 ✉▶7▶2または3

2 SMSにカーソルを合わせてMENU▶21

複数削除する：MENU▶22▶SMSを選択▶📖
全件削除する：MENU▶23▶認証操作
送達通知を全件削除する：MENU▶24▶認証操作

3 「はい」

✔お知らせ

- FOMAカードのSMS詳細画面からの操作：MENU→「削除」

ｉアプリ

ｉアプリとは

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード端末がさらに便利になります。たとえば、ｉモード端末にさまざまなゲームをダウンロードして楽しめたり、ｉアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存、画像取得などデータBOXと連動できるｉアプリもあります。

- ｉアプリの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

✔お知らせ

- ｉアプリまたはｉアプリDXにより画像、動画が保存される場合は、それぞれマイピクチャの「ｉモード」「デコメピクチャ」「デコメ絵文字」フォルダ、ｉモーションの「ｉモード」フォルダ、追加したアルバム、またはｉアプリ内に保存されます。トルカが保存される場合は、トルカの「トルカフォルダ」に保存されます。
- ｉアプリDXにより着信音が保存される場合はメロディの「ｉモード」フォルダまたはｉアプリ内に保存されます。

ｉアプリをダウンロードする

サイトからｉアプリをダウンロードしてFOMA端末に保存します。

- 保存できるｉアプリのサイズは1件あたり最大1Mバイトです。
- 最大保存件数→P458

1 サイトを表示▶ｉアプリを選択

選択したｉアプリがダウンロードされます。

- ダウンロード中に■を押して「はい」を選択するとダウンロードを中止します。
- ダウンロードを中止したり、通信が中断されたりしたときは、再開の確認画面が表示される場合があります。「はい」を選択すると、ダウンロードを再開し、「いいえ」を選択すると、部分保存できる場合は部分保存の確認画面が表示されます。部分保存できない場合は、それまでダウンロードしたデータは削除されます。部分保存したｉアプリの残りは、ダウンロードできます。→P238「ｉアプリを起動する」操作3

ICカード内にFOMAカード情報が保存されていないときにおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードするとき

FOMAカード情報とICカードの対応付けを行う旨の画面が表示されます。

ソフト情報表示設定が「表示する」のとき

ｉアプリの情報とダウンロードの確認画面が表示されます。

- 📖を押すと、ｉアプリの詳細情報を表示できます。

登録データや携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号、ICカードの製造番号、microSDメモリーカードを利用するｉアプリをダウンロードするとき

ダウンロードの確認画面が表示されます。

- ガイド表示領域に「ガイド」と表示された場合に📖を押すと、そのｉアプリが利用するデータの詳細を確認できます。

選択したｉアプリが既にダウンロードされているとき
ダウンロード済みを示す画面が表示されます。ｉアプリのバージョンが更新されているときは、バージョンアップの確認画面が表示されます。

選択したｉアプリが既に異なるFOMAカードでダウンロードされているとき
上書きの確認画面が表示されます。

2 保存先を選択

- ｉアプリによっては待受画面（ｉアプリ待受画面）、通信設定の設定画面が表示されます。
  各設定項目→P240「ｉアプリの動作条件を設定する」操作1

3 「はい」または「いいえ」

- 待受画面を「設定する」に設定した場合は設定の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると待受画面に設定され、テロップ表示設定のテロップ表示が「表示する」の場合はテロップ表示が解除されます。
- 2in1がONでBモードのときにメール機能を利用するｉアプリをダウンロードし、設定画面が表示されているときは[回]を押してください。表示されていないときはサイト画面に戻ります。

✔お知らせ

- ｉアプリの保存領域に空きがあってもICカード内の保存領域の空きが足りないときや、保存されているおサイフケータイ対応ｉアプリと同じサービスを利用するおサイフケータイ対応ｉアプリは、ダウンロードできない場合があります。その場合は画面の指示に従ってｉアプリを削除してください。ただし、ｉアプリによっては、削除対象として表示されなかったり、ｉアプリを起動または再ダウンロードしてICカード内のデータを削除する必要があります。

◆メール連動型ｉアプリのダウンロードについて

メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、送信メール、受信メール、未送信メールのフォルダ一覧にメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名に設定され、変更できません。

- メール連動型ｉアプリは最大5件（ｉアプリの最大保存件数100件に含む）保存できます。最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従ってメール連動型ｉアプリ用のフォルダを削除してください。
- 同じメールフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、既にFOMA端末に保存されている場合は、ダウンロードできません。

✔お知らせ

- メール連動型ｉアプリ用のフォルダのみが残っているときに、そのフォルダを利用するメール連動型ｉアプリを再ダウンロードしようとすると、メールフォルダ利用の確認画面が表示されます。利用しない場合は、メールフォルダを削除してからダウンロードしてください。
- ダウンロードするメール連動型ｉアプリに対応したメールが既にFOMA端末に保存されている場合、ダウンロード時に自動的に作成されたフォルダにメール移動の確認画面が表示されます。

◆ダウンロード時にｉアプリの情報を見る〈ソフト情報表示設定〉

ｉアプリをダウンロードするときに、ｉアプリの情報を表示するかどうかを設定します。

1 [MENU]▶[3][2][3]▶[1]または[2]

ｉアプリを起動する

1 （1秒以上）

おサイフケータイ対応ｉアプリのみ表示する：▶6 4 1▶操作3に進む

2 フォルダを選択

- マークの意味は次のとおりです。
  ／：ｉアプリなし／あり

3 起動するｉアプリを選択

〈ソフト一覧〉 〈ICカード一覧〉

リスト表示

- マークの意味は次のとおりです（ICカード一覧では※がついたマークのみ表示されます）。
  ：おサイフケータイ対応ｉアプリ
  ：ICお引っこしサービスにより移し替えたICカードデータ
  ：メール連動型ｉアプリ
  ：ｉアプリDX
  （オレンジ）：ｉアプリ
  （背景色なし）：ｉアプリ待受画面に設定可
  （背景色緑）：ｉアプリ待受画面に設定中
  ：自動起動設定中
  （上半分グレー、下半分オレンジ）：部分保存したｉアプリ※
  ：FOMAカード動作制限機能により使用不可※
  ：IP（情報サービス提供者）によって停止状態※
  ：SSLページからダウンロードしたｉアプリ
  ：2in1がONでBモードのため起動不可※
  ：ワンタッチｉアプリ登録中
  ～：ツータッチｉアプリ登録中
  ：個別ICカードロックに指定中※
- を押すたびにリスト表示とサムネイル表示が切り替わります。
- 起動するｉアプリの通信設定が「起動ごとに確認」の場合は、通信の確認画面が表示されます。
- 部分保存したｉアプリを選択すると、残りをダウンロードの確認画面が表示されます。残りをダウンロードすると起動できますが、ダウンロードできないときは、部分保存したｉアプリは削除される場合があります。
- ICお引っこしサービスにより移し替えたICカードデータを選択すると、ダウンロード、またはサイト接続の確認画面が表示されます。対応するおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードすると、起動できます。
- ICカード内にFOMAカード情報が保存されていないときにおサイフケータイ対応ｉアプリを起動するときは、対応付けを行う旨の画面が表示されます。
- ｉアプリを終了するには、ｉアプリごとに設定されている方法で操作を行ってください。を押し「はい」を選択しても終了できます。

✔お知らせ

- ｉアプリによって、表示領域は異なることがあります。
- 縦が432ドットで表示される全画面では、を押すたびに電池アイコンの表示／非表示が切り替えられます。
- ｉアプリ動作中に鳴る音の音量は調整できます。ただし、音が鳴らないｉアプリもあります。→P102

・ｉアプリで利用する画像（ｉアプリからカメラ撮影した画像やｉアプリの赤外線通信／iC通信機能によって取得した画像）やお客様が入力したデータなどは、インターネットを経由してサーバに送信される可能性があります。
・部分保存したｉアプリは、ソフト詳細情報の表示、削除、フォルダ移動ができます。
・iCお引っこしサービスにより移し替えたICカードデータは、削除のみできます。
・microSDメモリーカードを利用するｉアプリは、ｉアプリからmicroSDメモリーカードにデータを保存できます。microSDメモリーカードに保存したデータは、他機種で利用できない場合があります。microSDメモリーカードを利用するｉアプリは、「ｉアプリのデータ」で確認できます。→P297
・次のような場合、ｉアプリは中断されます。動作中の機能が終了するとｉアプリは再開しますが、ｉアプリによっては、中断したときの状態に戻らない場合があります。
- 電話がかかってきたとき
- 開閉ロックが起動したとき
- お知らせタイマー、目覚まし、スケジュールで指定した時刻や日時になったとき
- 他の機能に切り替えたとき
・圏外にいる場合や登録データを利用できない場合、ｉアプリによっては起動しないことや、正常に動作しないことがあります。
・ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにアクセスし、直接使用停止状態にすることがあります。その場合はそのｉアプリの起動、待受画面設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト詳細情報の表示のみできます。もう一度ご利用いただくにはｉアプリ停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
・ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにデータを送信する場合があります。
・IP（情報サービス提供者）がｉアプリに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、FOMA端末は通信を行い、[アイコン]が点滅します。その場合、通信料はかかりません。
・ｉアプリ作成者の方へ
ｉアプリを作成中、正常に動作しないときはトレース情報が参考になる場合があります。トレース情報は、待受画面で[MENU][3][3][4]を押すと表示されます。ただし、トレース情報を記録するｉアプリが保存されていないときは、表示できません。
トレース情報を削除するときは[ｉ]を押して「はい」を選択します。

◆登録データを利用できずに終了したときの履歴を表示する〈セキュリティエラー履歴〉

ｉアプリが登録データを利用できないなどの理由でエラーが発生して終了したときは、ｉアプリ名、日時、セキュリティエラー理由が記録されます。
・最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 [MENU]▶[3][3][3]
・履歴を削除するときは[ｉ]を押して「はい」を選択します。

◆ｉアプリの詳細情報を表示する〈ソフト詳細情報〉

1 **[ｉアプリ]（1秒以上）▶フォルダを選択▶ｉアプリにカーソルを合わせて[ｉ]**
・表示される項目はｉアプリによって異なります。
・SSLページからダウンロードしたｉアプリの場合、ソフト詳細情報画面で[ｉ]を押すとサイトの証明書を確認できます。

◆ｉアプリの動作条件を設定する〈ソフト動作設定〉

- ｉアプリが対応していない項目は選択できません。
- 2in1がONでデュアルモードまたはBモードのときは、「ｉアプリ待受画面」「ｉアプリ待受画面通信設定」は選択できません。

1 **(1秒以上)▶フォルダを選択▶ｉアプリにカーソルを合わせて MENU ▶ 6 ▶各項目を設定▶**

ｉアプリ待受画面：待受画面に設定するかどうかを設定します。
- 設定できるｉアプリは1件のみです。

ｉアプリ待受画面通信設定：ｉアプリ待受画面動作中に自動的に通信するかどうかを設定します。

通信設定：ｉアプリ動作中に自動的に通信するかどうかを設定します。

アイコン情報：ｉアプリがメール、メッセージR/F、電池、マナーモード、アンテナの各種アイコン情報を利用するかどうかを設定します。

ブラウザからの起動：サイトからの起動（ｉアプリTo）を許可するかどうかを設定します。

トルカからの起動：トルカからの起動（ｉアプリTo）を許可するかどうかを設定します。

メールからの起動：メールからの起動（ｉアプリTo）を許可するかどうかを設定します。

外部機器からの起動：外部機器からの起動（ｉアプリTo）を許可するかどうかを設定します。

ソフトからの着信音／画像変更を※：ｉアプリが着信音や待受画面などの画像の設定を自動的に変更することを許可するかどうかを設定します。

変更ごとに確認画面を※：ｉアプリが着信音や画像の設定を変更するごとに確認画面を表示するかどうかを設定します。

ソフトからの電話帳／履歴参照を※：ｉアプリが電話帳やリダイヤル、着信履歴を自動的に参照することを許可するかどうかを設定します。FOMA端末に保存したトルカも対象です。

※ ｉアプリDXのみ設定できます。

✔お知らせ

- ｉアプリ待受画面を「設定する」に設定したときは、設定の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると待受画面に設定され、テロップ表示設定のテロップ表示が「表示する」の場合はテロップ表示が解除されます。ただし、既にそのｉアプリを待受画面に設定している場合は、確認画面は表示されません。
- 通信設定を「通信しない」に設定すると、ｉアプリが起動できない場合や、株価情報やお天気情報などのｉアプリによるタイムリーな情報提供ができない場合があります。
- アイコン情報を「利用する」に設定すると、未読メール、未読メッセージR/F、電池残量、マナーモード、アンテナアイコンの有無がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。アイコン情報が必要なｉアプリの場合、「利用しない」に設定すると、動作しないｉアプリがあります。

◆ｉアプリ動作中の各種動作を設定する

❖照明を設定する

1 **MENU ▶ 3 2 4 ▶ 1 または 2**

- 「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（通常時）に従います。

✔お知らせ

- ｉアプリ待受画面の照明はディスプレイの照明設定に従います。
- 公共モード中は、「ソフトに従う」に設定してもｉアプリ動作中の照明は点灯しません。
- 本設定はディスプレイの照明設定の点灯時間設定（ｉアプリ）にも反映されます。

❖バイブレータを設定する

ｉアプリによるバイブレータを動作させるかどうかを設定します。

1 **MENU ▶ 3 2 5 ▶ 1 または 2**

✔お知らせ

- 本設定は音／バイブのバイブレータ設定（ｉアプリ利用時）にも反映されます。

◆ ｉアプリから他のｉアプリを起動する

ｉアプリによっては指定されたｉアプリを起動でき、ソフト一覧に戻ることなくｉアプリを楽しめます。

- 起動するｉアプリが指定されていない場合は、ｉアプリを選択します。
- 起動するｉアプリが指定されていても、ソフト一覧にない場合はダウンロードする必要があります。

◆ プリインストールｉアプリを使う

- お買い上げ時は、次のｉアプリが登録されています。
  - ケータイ脳力ストレッチング2
  - ZOOKEEPER DX F
  - パターンクリエーター
  - 地図アプリ
  - Gガイド番組表リモコン
  - ｉアプリバンキング
  - 楽オク出品アプリ2
  - iD 設定アプリ
  - DCMXクレジットアプリ
- お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は、サイトからダウンロードできます。→P411

❖ケータイ脳力ストレッチング2（東北大学 川島隆太教授監修）

さまざまな問題を解いて、脳年齢をはかり、脳をトレーニングしていくゲームです。

■ MENU画面について

タイトル画面で[■]を押すと、MENU画面が表示されます。

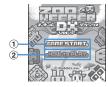
① プレイヤーの脳年齢に応じた問題でトレーニングの開始や、過去の記録を表示
② 問題を選んでトレーニングの開始や、過去の記録を表示
③ カレンダーの表示、サウンドやバイブレーションの設定、データクリア
④ 操作説明を表示

[十字キー]：カーソルを上下に移動
[■]：項目の決定
[MENU]：タイトル画面に戻る
[本]：ｉアプリの終了
[＊]：音量調整
[＃]：バイブレーションのON／OFF

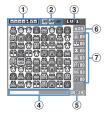
■ 遊びかた
「毎日！トレーニング」を選択すると、その日の問題が3種類出題されます。「選んで！トレーニング」を選択すると、問題を選んでトレーニングできます。開始する前に[Ɔ]を押して解説を確認してから問題を解いてください。それぞれのトレーニング状況によっては、新しい問題が出現します。

❖ZOOKEEPER DX F

動物を入れ替えて、同じ動物をタテヨコ3匹以上並べて捕まえていきます。制限時間付きのハラハラ、ドキドキのアクションパズルゲームです。

■ タイトル画面について

① [■]を押すとゲームスタート
② [Ɔ]を押して「HOW to PLAY」「STORY」「HI SCORE」「CREDIT」「OPTION」を選択
- 「HOW to PLAY」を選択すると、基本ルールを確認できます。
- 「OPTION」で「Ultimate」に設定すると、動物が消えている間に他の動物を入れ替えられます。

[MENU]／[✱]：サウンドのON／OFF
[📖]／[#]：ｉアプリの終了（ゲーム中はゲームの休止／戻る）

■ 遊びかた
交換したい動物を選んで[■]（または[5]）を押し、入れ替えたい動物の方向に合わせて[✥]（または[2][4][6][8]）を押すと、動物が入れ替わります。タテかヨコに同じ動物を3匹以上並べ、動物が消えると得点になります。レベルは最大12までアップしていきます。

① 得点
② 双眼鏡の残り使用回数
③ 現在のゲームレベル
④ 残りタイム
⑤ 経過時間
⑥ 捕まえなければならない各動物のノルマ
⑦ 捕まえた各動物の数

[✥]：カーソルを上下左右に移動
[■]：動かす動物の決定／キャンセル
[1]：双眼鏡を選択
- 消せる動物が拡大表示されます。

❖パターンクリエーター

FOMA端末の背面表示部の表示パターン（パターンデータ）を作成します。作成したパターンデータをFOMA端末に保存すると、背面表示パターン設定の開閉動作パターンや着信パターンなどで設定できます。また、パターンデータをダウンロードしたり、F705iどうしで赤外線通信を使って送受信したりもできます。

- ｉアプリ内に最大20件、FOMA端末に最大10件保存できます。

■ メニュー画面について

① 文字を入力し、速度、明るさを設定して作成
② 1セグメントごとに点灯を設定し、点滅パターンや速度、明るさを設定して作成
③ 1セグメントごとに点灯や明るさを設定してアニメーションを作成
④ パターンデータの編集や削除
⑤ ｉアプリ内に保存したパターンデータをFOMA端末へ保存
⑥ パターンデータをダウンロード
⑦ 赤外線通信でパターンデータを送受信
⑧ 操作方法を表示

：カーソルを上下に移動
：項目の決定
：サウンドのON／OFF
：ｉアプリの終了

■ 作成のしかた

「かんたんテロップ作成」「かんたんパターン作成」「マニュアル作成」のいずれかを選択し、作成して保存します。

- それぞれの作成方法の詳細は「ヘルプ」をご覧ください。

❖地図アプリ

「地図アプリ」とは、オープンｉエリアを利用した現在地の確認や、指定した場所の地図を見たり、目的地までのルート確認などを行うことができるｉアプリです。

- 本ソフトのご利用にあたっては、パケ・ホーダイまたはパケ・ホーダイフルのご契約をおすすめします。
- 本ソフトを削除した場合、「ｉエリア－周辺情報－」のサイトからダウンロードできます。
- 本ソフトはメール機能を利用するｉアプリのため、2in1がONでBモードのときは利用できません。
- 地図、経路情報などについて、正確性、即時性など、いかなる保証もいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- 走行中は必ず、ドライバー以外の方が操作を行ってください。
- 掲載している画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

■ 基本サービスと付加サービスについて

本ソフトには、基本サービスと付加サービスがあります。
基本サービス：ドコモが無料で提供するサービス
付加サービス：ゼンリンデータコムが有料で提供するサービス

- 初めて本ソフトを起動した日から90日までは交通情報以外の付加サービスを無料でご利用いただけます。91日以降に付加サービスを利用するには、ゼンリンデータコムが提供する「ゼンリン地図＋ナビ」の会員登録（有料）が必要です。
- 本ソフトを利用途中に会員登録しても、ソフトを再度ダウンロードする必要はありません。本ソフトをそのままご利用いただけます。

メニュー	内　容	90日まで	90日以降
このあたりの場所	• オープンｉエリアを用いて、今いる場所の地図を見たり、地図をメールで送ったりします。	無料	無料
周辺を調べる	• 今いる場所や指定した場所周辺のお店や施設、iDご利用店舗などの情報を調べ、グルメ情報からクーポンを取得します。 • 周辺の天気確認や駐車場の満空情報を確認します。	無料	無料
地図を見る	• フリーワードやジャンル、住所、電話番号などを入力して地図を見ます。	無料	無料
	• 本ソフトやサーバに登録した場所や以前検索した場所の地図を確認します。 • サーバに登録するとパソコンと登録地点を共有します。	無料	有料
ルートを探す	• 目的地まで乗り物、徒歩、自動車を含めたトータルのルートを検索します。 • 登録した自宅まで簡単にルートを検索します。	無料	有料
乗換案内	• 電車の乗換案内や時刻表を確認します。 • 電車ルートを地図で確認、出発前にアラーム設定をします。	無料	有料
設定	• 地図表示の設定、使い方の確認をします。	無料	無料

■「地図アプリ」TOP画面のメニューと操作

TOP画面に各メニューが表示されます。CLRでメニューを閉じると、前回検索した地図が表示されます。

• 初回起動時には利用規約やご利用の注意事項が表示されます。

TOP画面

■ 会員登録をせずに91日以降過ぎた場合

91日以降に最初に起動した際に、利用できる機能が制限されることを通知するメッセージと、会員登録の照会メッセージが表示されます。また、付加サービスメニューを選択した場合にも、同様のメッセージが表示されます。

- 会員登録する場合は、本ソフトから「ゼンリン🏠地図＋ナビ」のサイトで会員登録します。

■ 地図の画面と操作

地図表示画面

- 地図表示画面では次の操作ができます。
  MENU：TOPメニューの表示
  拡大／縮小バーの表示（[上]で広域表示、[下]で詳細地図を表示）
  ■：クイックアクセスメニューの表示
  [方向キー]：地図を上下左右にスクロール
  CLR：メニューを閉じる　最初の検索結果の場所へ戻る
  ✱：地図を左回転
  0：北を上にして地図を表示
  #：地図を右回転
- クイックアクセスメニューでは次の操作ができます。
  [上]：表示している地図の場所を中心に周辺情報を調べる
  [下]：出発地を設定して表示している地図の中心までのルートを検索
  [左]：表示している地図のURLをメールで送信
  [右]：地図の中心の位置情報を本ソフトやサーバに登録（サーバに登録するとパソコンでも登録地点を共有可能）
  ■：クイックアクセスメニューを閉じる

1：パノラマ画像が閲覧できるポイントの表示（ポイントの選択でパノラマ画像を表示）
2：周辺に存在するビルの表示（ポイントの選択で情報を確認）

■ 周辺情報の検索結果の画面と操作

- 検索結果表示を地図で表示した場合の画面と操作であり、一覧で選択した場合ではありません。

周辺情報の検索結果画面

- 検索結果画面では次の操作ができます。
  ■：検索結果の詳細情報を確認（検索結果が選択されていない場合はクイックアクセスメニューの表示）
  5：表示している位置を中心にして再検索
  4：前の検索結果を選択
  6：次の検索結果を選択
  MENU／□／◆／＊／0／#：地図表示画面と同様の操作

■ 目的地までルートを検索する

出発地と目的地を設定してルートを検索します。徒歩、公共交通機関、自動車を利用したルートを表示します。

1 本ソフト起動中にMENU▶「ルートを探す」

2 「出発地」を以下の操作から設定

このあたり：オープンｉエリアでおおよその位置を測位して設定
フリーワード検索：キーワードで検索して設定
地図上で指定：地図で出発地を設定
TEL／〒検索：電話番号や郵便番号で検索して設定
住所一覧から：住所を選択して設定
ジャンルから：ジャンルを選択して設定
履歴から：過去に表示した地図から設定
登録地点から：本ソフトやサーバ、電話帳に保存している位置情報から設定
自宅：自宅の位置情報を設定
出発地の確認：出発地の情報を確認

3 「目的地」を設定

- 操作2と同様の操作で設定します。

4 「時間指定」を以下の操作から設定

現時刻で指定：現在の時間でルートを調べる
出発時刻指定：出発時間を指定してルートを調べる
到着時刻指定：到着時間を指定してルートを調べる
終電を利用：当日の最も遅い時刻の電車ルートを調べる

5 「条件設定」を以下の操作から設定▶「上記で設定」▶「OK」

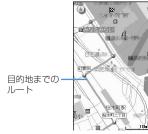
乗換条件：乗り換えの選択基準を「早い」「安い」「楽々」から選択
徒歩ルート：ルートの選択基準を「おまかせ」「屋根多い」「階段少ない」から選択
特急利用：ルートの総距離が100km以内の場合でも特急を利用するかどうかを選択
通常利用車種：利用する車種を選択

6 ルートを検索する

トータルルート検索の「で検索」と自動車だけの「のみで検索」でルートを検索できます。検索結果としてルート（最大6件まで）が表示されます。異なる交通機関の乗り換えルートがある場合は、ルートの特徴をアイコンで表示します。
早：到着時間が早いルート
安：運賃が安いルート
楽：乗換えが少ないルート
オススメ：上記3つの条件が揃ったルート
有料：有料道路を使った自動車ルート
一般：一般道路を使った自動車ルート

7 ルートを選択▶「ルート確認」

ルートを登録する：**「ルートを登録」**
時刻表を確認する：**ルートを選択▶「時刻表」**

■ ルート（自動車）表示の画面と操作

©ZENRIN DataCom CO.,LTD. 2007
ルート（自動車）表示画面

- ルート画面では、次の操作ができます。
  MENU：ルート表示を終了してTOPメニューを表示
  2：交差点モードへ切り替え
  CLR：出発地点に戻る
  ■／□／◎／＊／0／＃：地図表示画面と同様の操作
- クイックアクセスメニューでは次の操作ができます。
  ：ルートの検索結果（時刻や料金など）の表示やルート表示の設定
  ：目的地までのルートに経由地を3箇所まで加えてルートを検索
  ：現在地から目的地までのルートを再度検索
  1：表示中のルートを消去
  2：交差点モードへ切り替え

■ 設定を利用する

1 本ソフト起動中にMENU▶「設定」

- 次の機能を利用できます。
  会員情報確認：「ゼンリン地図＋ナビ」の会員登録の確認
  基本設定：地図表示色や文字サイズの設定などのソフト全般に関する設定

ルート検索設定：ルート検索全般に関する設定
自宅設定：自宅の場所の登録
履歴系クリア：地図やルート検索などを利用した履歴の削除
使い方の説明／よくある質問／利用規約：使い方の説明やよくある質問、利用規約の確認

❖Gガイド番組表リモコン

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じた番組表が表示されます。

テレビ番組表とAVリモコン機能が1つになった月額使用料が無料の便利アプリです。
知りたい時間の地上デジタル、地上アナログ、もしくはBSデジタルのテレビ番組情報をいつでもどこでも簡単に取得できます。テレビ番組タイトル・番組内容・開始／終了時間などを知ることができます。気になる番組があったら、インターネットを通じて番組をDVDハードディスクレコーダーに録画予約をすることができます（リモート録画予約機能に対応しているDVDハードディスクレコーダーが必要になります。ご利用の際には本アプリの初期設定が必要です）。さらにテレビのジャンルや好きなタレントなどのキーワードで番組情報の検索ができます。また、テレビ、ビデオ、DVDプレイヤーのリモコン操作（→P309）ができます（一部対応していない機種もあります）。

- 初めて利用するときは、初期設定を行って利用規約に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 2in1がONでBモードのときは、利用できません。
- 海外でのご利用時は、FOMA端末の日付時刻設定を日本時間に合わせてください。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

■ リモート録画予約機能について

リモート録画予約に対応しているDVDハードディスクレコーダーをお持ちの場合には、インターネットを通じて、外出先などから本アプリの番組表より録画予約をすることができます。
リモート録画予約には本アプリにおいて初期設定が必要です。

初期設定方法：

① DVDハードディスクレコーダーにインターネット接続の設定をしてください（ご利用のDVDハードディスクレコーダーの取扱説明書をご確認ください）。
② 本アプリを立ち上げ、メニューの「リモート録画予約」を選択するとガイダンスが表示されますので、ガイダンスに沿って初期設定を進めてください。

番組予約の方法：

初期設定が完了した後、お好きな番組を指定してメニューから「リモート録画予約」を選択すると、インターネット経由で本アプリに設定したDVDハードディスクレコーダーと接続し、録画予約をすることができます。

❖ｉアプリバンキング

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

モバイルバンキングを便利にご利用いただくためのｉアプリです。モバイルバンキングとは、携帯電話からお客様ご自身の口座の残高照会や入出金明細の確認、振込・振替などをいつでもどこでも利用できるサービスです。ｉアプリを起動する際に、お客様ご自身で設定したパスワードを入力するだけで、最大2つまでの金融機関のモバイルバンキングをご利用いただけます。

- モバイルバンキングを利用するには、対応金融機関の口座と、各金融機関へのモバイルバンキングサービスの利用申し込みが必要です。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- ｉアプリバンキングの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- ｉアプリバンキングに関する情報は、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→メニュー／検索→モバイルバンキング→ｉアプリバンキング

サイトアクセス用QRコード

❖楽オク出品アプリ2

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

「楽オク出品アプリ2」は、楽オクにいつでもどこでもカンタンに出品できる便利なアプリです。

ガイド表示付きで、初めて出品する方にもわかりやすく使えます。また写真撮影や編集、履歴の保存など便利な機能もあり、サイトからの出品よりも短時間で出品することができます。

- 初めてご利用される際には、「利用規約」に同意する必要があります。
- ご利用には別途パケット通信料がかかります。
- 楽オクの詳細については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- 楽オクで出品をするには楽天会員登録と出品者登録が必要になります。
- 楽オクに関する情報については、ｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→楽オク-オークション-

サイトアクセス用QRコード

❖iD 設定アプリ

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

チャージいらずの電子マネー「iD」とは、おサイフケータイや「iD」を搭載したクレジットカードをかざすだけでショッピングができるサービスです。いままでのようにサインをすることなく、簡単・便利にショッピングができます。カード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- 「iD」のご利用には、iDに対応した各カード発行会社へのお申し込みのほか、iDアプリと各カード発行会社提供のカードアプリにより所定の設定を完了したおサイフケータイまたは「iD」を搭載したクレジットカードが必要になります。
- おサイフケータイで「iD」をご利用の場合、iDアプリを起動して「ご利用上の注意」にご同意いただき、iDアプリ側の所定の設定を完了の上、カードアプリをダウンロードまたは起動し、カードアプリ側の所定の設定を行う必要があります。
- iD対応のクレジットサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、各カード発行会社により異なります。
- iDアプリおよびカードアプリをダウンロードするにはパケット通信料がかかります。
- iDに関する情報については、iDのｉモードサイトをご覧ください。

  ｉモードサイト：ｉMenu → メニュー／検索 → 「iD」

サイトアクセス用QRコード

❖DCMXクレジットアプリ

※ 画面はイメージです。実際の画面とは異なることがあります。

「DCMX」とは、「iD（アイディ）」に対応した、エヌ·ティ·ティ·ドコモグループが提供するクレジットサービスです。

DCMXには、月々１万円まで利用できるDCMX miniと、DCMX miniよりたくさん使えてドコモポイントもたまるDCMXの各サービスがあります。

DCMX miniなら、本アプリからの簡単なお申し込みで今すぐケータイクレジットがご利用いただけます。

入会申し込み・審査※1 ▶ **カード情報設定** ▶

使う

面倒なチャージは不要！
設定済ケータイを店頭の読み取り機にかざすだけで、サインレス※2でショッピングが楽しめます。

確認する※3

当月のご利用可能残額やご利用明細もアプリから確認！

変更する

お使いのカードの更新および機種変更の際にもアプリから設定可能！

※1 DCMX miniはお申し込み時にオンラインで入会審査をさせていただきます。また、DCMX mini以外のお申し込みについては、ｉモードのお申し込みページに接続します。
※2 一定の条件で暗証番号の入力が必要な場合があります。
※3 ご利用状況などの確認機能は、DCMX miniのみ可能です。

- サービス内容やお申し込み方法の詳細についてはDCMXのｉモードサイトをご覧ください。
  ｉモードサイト：ｉMenu→DCMX iD
  サイトアクセス用QRコード

✔お知らせ

- 本アプリを初めて起動される際には、「ご利用上の注意」に同意の上、ご利用ください。
- 各種設定、操作時にはパケット通信料がかかります。

おサイフケータイ対応ｉアプリに関するご注意

- ICカードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ｉアプリをすばやく起動する

待受画面から簡単な操作でｉアプリを起動できます。

◆ワンタッチｉアプリ・ツータッチｉアプリを登録する

- ワンタッチｉアプリは1件登録できます。
- ツータッチｉアプリは1つのダイヤルキーにつき1件、合計10件まで登録できます。

〈例〉ツータッチｉアプリを登録する

1 [ｉ]（1秒以上）▶フォルダを選択

2 ｉアプリにカーソルを合わせて[MENU]▶[8][2]

ワンタッチｉアプリを登録する：ｉアプリにカーソルを合わせて[MENU]▶[8][1]

- 解除する場合もそれぞれ同様の操作です。

3 登録先を選択

- アイコンの番号（[0]〜[9]）が、ツータッチｉアプリを起動するときに使用するダイヤルキー（[0]〜[9]）に対応します。
- 登録済みの登録先を選択すると上書きの確認画面が表示されます。

✔お知らせ

- ソフト情報で、どのｉアプリがワンタッチｉアプリに登録されているかを確認できます。
- 待受画面で[MENU][3][2][6]を押すと、ツータッチｉアプリ一覧を表示できます。一覧のサブメニューから、詳細情報の表示やツータッチｉアプリ解除ができます。

◆ワンタッチ・ツータッチで起動する

〈例〉ツータッチでｉアプリを起動する

1 0～9▶（1秒以上）

ワンタッチでｉアプリを起動する：■（1秒以上）

ｉアプリを自動起動する

◆自動起動するかどうかを設定する〈自動起動設定〉

自動起動情報登録のユーザ設定を「ON」に設定したすべてのｉアプリの自動起動を一括して設定します。

1 MENU▶3 2 2▶1または2

◆自動起動の日時を設定する〈自動起動情報登録〉

ｉアプリごとに自動起動のON／OFFや起動日時を設定したり、あらかじめ設定されている内容を表示したりします。

- 設定できる条件は、ｉアプリによって異なります。
- 自動起動できないｉアプリもあります。
- 自動起動設定が「自動起動しない」の場合は、自動起動情報を登録できません。

1 （1秒以上）▶フォルダを選択▶設定するｉアプリにカーソルを合わせてMENU▶5▶各項目を設定▶

ユーザ設定：次の設定する条件で自動起動するかどうかを選択します。

時刻：自動起動する時刻を入力します。

繰り返し：自動起動を繰り返し行うときの条件を設定します。

毎週：繰り返しを「毎週」に設定したとき、自動起動する曜日を設定します。

日付：繰り返しを「1回のみ」に設定したとき、自動起動する日付を設定します。

ソフト設定：ｉアプリにあらかじめ設定されている時間間隔で自動起動させるかどうかを設定します。

ｉアプリ設定1～4：ｉアプリDXによっては、動作中に自動起動の条件を最大4件設定できます。それらの設定を有効にするかどうかを設定します。

✔お知らせ

- 自動起動を設定しても、次のときは起動せず、待受画面にが表示され、自動起動失敗履歴に記録されます。
  - 待受画面以外が表示されているとき
  - FOMAカード動作制限機能が設定中（プリインストールｉアプリを除く）
  - FOMAカードを認識できないとき
  - 自動起動の間隔が短すぎたとき
  - オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、プライバシーモード中（ｉアプリが「認証後に表示」のとき）
  - 2in1がONでBモードのとき（メール機能を利用するｉアプリのみ）
  - IP（情報サービス提供者）によってｉアプリの使用を停止されているとき
- 複数のｉアプリを「繰り返し」を変更して同時刻に自動起動するように設定しても、設定時刻に起動するのはいずれか1つです。起動できなかったｉアプリの情報は自動起動失敗履歴に記録されますが、待受画面には表示されません。

◆自動起動できなかったときの履歴を表示する〈自動起動失敗履歴〉

ｉアプリの自動起動に失敗したときに、待受画面にが表示され、ｉアプリ名、日時、起動失敗理由が記録されます。

- 最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。
- 自動起動失敗履歴を表示するか、次の自動起動が成功すると、待受画面のが消えます。

1 MENU▶3 3 1

- 履歴を削除するときはを押し、「はい」を選択します。

i アプリTo

サイトやメール、トルカからｉアプリを起動する

1 サイトやｉモードメール、トルカのｉアプリを起動できるリンク項目を選択▶「はい」

✔お知らせ

- ｉアプリToで起動するｉアプリがFOMA端末に保存されていない場合は、起動できません。ただし、ｉアプリによっては、サイトからダウンロード後、保存されていなくてもすぐに起動するものがあります。
- メールからｉアプリToで起動する場合、部分保存したｉアプリは起動できません。
- サイトからダウンロード後すぐに起動するｉアプリは、起動中に通信の確認画面が表示される場合があります。
- FOMA端末に保存できないｉアプリもあります。
- ｉアプリToでｉアプリを起動しないように設定している場合は起動できません。→P240

i アプリ待受画面

ｉアプリ待受画面を操作する

ｉアプリを待受画面に設定し、待受画面からｉアプリを起動して操作します。

- ｉアプリ待受画面表示中は、ディスプレイ上部に(αがグレー）または(dxがグレー）が表示されます。
- ｉアプリ待受画面の設定→P110、240

◆ ｉアプリ待受画面のｉアプリを起動する

1 ｉアプリ待受画面でCLR▶ｉアプリを操作

ディスプレイ上部の(αがオレンジ）または(dxがオレンジ）が点滅します。

✔お知らせ

- ｉアプリ待受画面を設定中にFOMA端末の電源を入れると、ｉアプリ待受画面起動の確認画面が表示されます。「はい」を選択するか、約5秒間何も操作しないと起動します。「いいえ」を選択するとｉアプリ待受画面を解除します。ただし、自動電源ON設定によって電源が入った場合は確認画面は表示されず、自動的にｉアプリ待受画面が起動します。
- 通信を行うｉアプリをｉアプリ待受画面に設定した場合、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
- オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、プライバシーモード（ｉアプリが「認証後に表示」のとき）中、2in1がONでデュアルモードまたはBモードのときは、ｉアプリ待受画面は一時的に解除されます。
- ｉアプリ待受画面が解除されるようなエラーが発生すると、解除の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると解除され、異常終了履歴に記録されます。

◆ ｉアプリを終了してｉアプリ待受画面に戻る

1 ｉアプリ動作中に[終話]▶「終了する」

ディスプレイ上部のマークがからに、またはからに変わります。

ｉアプリを終了してｉアプリ待受画面に戻る方法は、ｉアプリによって異なります。

- 「解除する」を選択するとｉアプリ待受画面が解除されます。ディスプレイ上部のまたはが消えます。

✔お知らせ

- ソフト一覧からの解除の操作：MENU→「ｉアプリ待受画面」→「解除する」

◆ｉアプリ待受画面の終了履歴を表示する〈異常終了履歴〉

ｉアプリ待受画面が解除されるようなエラーが発生したときに、ｉアプリ名と日時が記録されます。
- 最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 MENU▶3 3 2
- 履歴を削除するときは[CLR]を押して「はい」を選択します。

ｉアプリを管理する

ｉアプリのバージョンアップやフォルダの作成、不要なｉアプリの削除など、ｉアプリをより使いやすくするためのさまざまな機能があります。

◆ｉアプリをバージョンアップする〈バージョンアップ〉

ｉアプリが更新されている場合はバージョンアップできます。

1 [ｉアプリ]（1秒以上）▶フォルダを選択▶ｉアプリにカーソルを合わせてMENU▶4▶「はい」

✔お知らせ
- バージョンアップすると、ｉアプリが記録しているゲームスコアなどのデータが消去される場合があります。
- ｉアプリによっては、使用期間と使用回数によりドコモのサーバへ継続して使用できるかどうかを問い合わせる場合があります。このとき、サーバからｉアプリが更新されていると通知された場合は、バージョンアップできます。
- 自動的にバージョンアップするｉアプリもあります。

◆フォルダを作成／削除する

❖フォルダを作成する

- 最大20個作成できます。

1 [ｉアプリ]（1秒以上）

2 MENU▶4

フォルダ名を変更する：フォルダにカーソルを合わせてMENU▶1
並び順を変更する：フォルダにカーソルを合わせてMENU▶5または6

3 フォルダ名を入力（全角8（半角16）文字以内）▶[確定]

❖フォルダを削除する

- フォルダが1個のときは削除できません。

1 [ｉアプリ]（1秒以上）▶フォルダにカーソルを合わせてMENU▶2 1
- フォルダ内にｉアプリが含まれる場合は、認証操作を行います。

2 「はい」
- フォルダ内にメール連動型ｉアプリが含まれる場合は、メールフォルダも削除の確認画面が表示されます。
  -「はい」：メールフォルダとフォルダ内のすべてのメールも削除
  -「いいえ」：ｉアプリのみ削除
  ただし、「はい」を選択しても、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合は、ｉアプリやメールフォルダは削除できません。
- フォルダ内にICカード内のデータを削除しておく必要があるおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれる場合は、それ以外のｉアプリを削除の確認画面が表示されます。

- フォルダ内にmicroSDメモリーカード内のデータを使用するｉアプリが含まれる場合は、microSDメモリーカード内のデータも削除の確認画面が表示されることがあります。
  -「はい」：microSDメモリーカード内のデータも削除
  -「いいえ」：ｉアプリのみ削除

✔お知らせ

- ｉアプリのみ削除し、メール連動型ｉアプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メールフォルダ一覧のサブメニューからメールを表示できます。→P209
- 削除対象のメール連動型ｉアプリ用のフォルダが使用中（一覧表示中など）の場合、ｉアプリを削除できないことがあります。

◆ ｉアプリを他のフォルダに移動する

〈例〉1件移動する

1 （1秒以上）▶フォルダを選択

2 ｉアプリにカーソルを合わせて[MENU]▶[3][1]

複数移動する：[MENU]▶[3][2]▶ｉアプリを選択▶
フォルダ内を全件移動する：[MENU]▶[3][3]

3 移動先のフォルダを選択▶「はい」

◆ ｉアプリを削除する

- ｉアプリによっては、ICカード内のデータも削除されたり、削除する前にｉアプリを起動してICカード内のデータを削除したりしておく必要があります。
- おサイフケータイ対応ｉアプリによっては、削除できない場合があります。

〈例〉1件削除する

1 （1秒以上）▶フォルダを選択

2 ｉアプリにカーソルを合わせて[MENU]▶[2][1]

複数削除する：[MENU]▶[2][2]▶ｉアプリを選択▶
フォルダ内を全件削除する：[MENU]▶[2][3]▶認証操作

3 「はい」

- メール連動型ｉアプリを削除する場合は、メールフォルダも削除の確認画面が表示されます。
  -「はい」：メールフォルダとフォルダ内のすべてのメールも削除
  -「いいえ」：ｉアプリのみ削除
  ただし、「はい」を選択しても、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合は、ｉアプリやメールフォルダは削除できません。
- 「複数削除」または「全件削除」するｉアプリに、ICカード内のデータを削除しておく必要があるおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれる場合は、それ以外のｉアプリを削除の確認画面が表示されます。
- microSDメモリーカード内のデータを使用するｉアプリを削除する場合は、microSDメモリーカード内のデータも削除の確認画面が表示されることがあります。
  -「はい」：microSDメモリーカード内のデータも削除
  -「いいえ」：ｉアプリのみ削除

✔お知らせ

- フォルダ一覧からフォルダ内のｉアプリを全件削除：フォルダにカーソルを合わせて[MENU]→「削除」→「ソフト削除」
- ｉアプリのみ削除し、メール連動型ｉアプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メールフォルダ一覧のサブメニューからメールを表示できます。→P209
- 削除対象のメール連動型ｉアプリ用フォルダが使用中（一覧表示中など）の場合、ｉアプリを削除できないことがあります。

◆ｉアプリを並べ替える〈ソフトの並べ替え〉

1 MENU▶321▶1～5

✔**お知らせ**

- ソフト一覧からの操作：MENU→「ソート」
- ダウンロード日時および使用日時は、日付時刻設定で設定されている日時で記録されます。
- ｉアプリ名に全角や半角、英字が混在していると、「名前順」の並べ替えの結果が、50音順と一致しない場合があります。
- 使用回数はｉアプリをバージョンアップしても引き継がれます。
- 使用回数にはｉアプリ待受画面として起動した回数は含みません。
- 「ソフトのサイズ順」を選択すると、ｉアプリのソフトサイズとデータ記録領域の合計が大きい順に並べ替えられます。

◆フォルダ内のｉアプリの件数を確認する〈フォルダ内ソフト件数〉

1 （1秒以上）▶フォルダにカーソルを合わせて

マークの意味→P238「ｉアプリを起動する」操作3

◆ｉアプリの設定状況を確認する〈ソフト情報〉

保存領域の使用状況や保存件数、ｉアプリ待受画面、ワンタッチｉアプリ、自動起動の設定状況を確認します。

1 （1秒以上）▶

ｉアプリからさまざまな機能を利用する

- それぞれの機能に対応したｉアプリをあらかじめダウンロードしておく必要があります。
- ｉアプリによっては、操作方法が異なったり、利用できない場合があります。

◆ｉアプリから電話をかける

1 電話番号を選択▶発信条件を設定▶MENU▶「はい」

条件を設定して電話をかける→P69

◆ｉアプリからカメラ機能を利用する

1 ｉアプリを操作してカメラ撮影を行う

✔**お知らせ**

- ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した静止画または動画は、ｉアプリ内（ｉアプリによってはマイピクチャの「ｉモード」「デコメピクチャ」フォルダ、ｉモーションの「ｉモード」フォルダ、または追加したアルバム）に保存されます。また、自動的にサーバへ送られる場合があります。

◆ｉアプリからバーコードリーダーを利用する

1 ｉアプリを操作してコードを読み取る

- 読み取ったデータはｉアプリで利用、保存されます。

◆ｉアプリから赤外線通信を利用する

- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。

1 赤外線通信の確認画面で「はい」

◆ｉアプリからiC通信を利用する

1 **iC送信の確認画面で「はい」▶送信先にFeliCaマークをかざす**

◆ｉアプリからトルカを利用する

❖ｉアプリからトルカを保存する

1 **トルカ保存の確認画面で「はい（新規）」**

トルカの「トルカフォルダ」に保存されます。

上書き保存する：**「はい（上書き）」▶フォルダを選択▶上書きするトルカを選択**

表示する：**「プレビュー」**

❖ｉアプリからトルカを使用する

1 **トルカを選択する旨の画面で■▶フォルダを選択▶トルカを選択**

❖ｉアプリからトルカを検索する

1 **トルカを読み込むかの確認画面で「はい」**

- 「一覧から選択」を選択した場合は、トルカ一覧からトルカを選択してください。

おサイフケータイ／トルカ

おサイフケータイとは

ｉモード端末のICカード機能を使ったｉモードの便利な機能（ｉモードFeliCa）やICカードを搭載したｉモード端末を「おサイフケータイ」と呼びます。
FeliCaとは、かざすだけでデータの読み書きができる非接触ICカードの技術方式の1つです。
おサイフケータイを対応店舗の読み取り機にかざすだけで電子マネーを使って支払いができたり、飛行機のチケットやポイントカードとして利用できるなど、携帯電話がますます便利な道具になります。
また従来のFeliCaに対応した非接触ICカードと比べ、通信を利用しておサイフケータイ内のICカードに電子マネーを入金したり、残高や利用履歴を確認できたりと、より便利に利用できます。

※ おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、ICカード機能に対応したｉアプリ（ICアプリ）により設定を行う必要があります。詳細はIP（情報サービス提供者）にご確認ください。
※ ご利用にあたっての注意事項については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

- おサイフケータイの故障により、ICカード内のデータが消失、変化してしまう場合があります（修理時など、おサイフケータイをお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、iCお引っこしサービスによる移し替えを除き、IP（情報サービス提供者）のバックアップサービスをご利用いただきます。バックアップサービスの有無やご利用条件（必要な事前手続きや料金など）、iCお引っこしサービスへの対応の有無はサービスごとに異なりますので、事前にIP（情報サービス提供者）にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内のデータの消失、変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- おサイフケータイの盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービスの提供者に対応方法をお問い合わせください。なお、本FOMA端末では、おまかせロック、ICカードロックを利用できます。

◆ おサイフケータイの利用方法

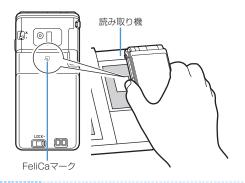
ステップ 1

おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードする→P236
お買い上げ時はiD 設定アプリとDCMXクレジットアプリが登録されています。

ステップ 2

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してICカード内のデータの読み書きを行う→P262
おサイフケータイ対応ｉアプリで電子マネーや乗車券にお金をチャージ（入金）したり、残高や利用履歴をｉモード端末で確認したりできます。

ステップ 3

FeliCaマークを読み取り機にかざす
FOMA端末のFeliCaマークを読み取り機にかざして、電子マネーとして支払いに利用したり、乗車券の代わりとして利用したりできます。この機能は、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動せずに利用できます。

✔**お知らせ**

- ICカードアクセスイルミネーションが「ON」の場合は、FeliCaマークを読み取り機の読み取り可能な範囲にかざすとランプが点滅します。
- FOMA端末のFeliCaマークを読み取り機にかざしてもICカードが認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。
- 通話中やｉモード中でもFeliCaマークを読み取り機にかざしてICカードを利用できますが、ｉモード中はおサイフケータイ対応ｉアプリを起動できません。
- 電源を切った状態でもFeliCaマークを読み取り機にかざしてICカードを利用できますが、電池パックを装着していない場合は利用できません。ICカード機能を利用するときは、電池パックを装着してください。また、電池パックを装着していても、電池パックを長期間利用しなかったり、電池アラームが鳴った後で充電しなかった場合は、利用できなくなることがあります。その場合は電池パックを充電してください。
- 電源を切った状態では、おサイフケータイ対応ｉアプリを起動してICカード内のデータを読み書きしたり、トルカを取得したりできません。
- FeliCaマークを読み取り機にかざしたとき、ｉアプリが起動する場合があります。ただし、ｉアプリToで起動しないように設定している場合は起動しません。
- FeliCaマークを読み取り機にかざすときに、FOMA端末に強い衝撃を与えないでください。

iCお引っこしサービスとは

iCお引っこしサービス※1は、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイお取り替え時に、ICカード内のデータを一括※2でお取り替え先のおサイフケータイ※3に移すサービスです。ICカード内データを移し替えた後は、おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードするだけで、簡単におサイフケータイ対応サービスがご利用になれます。
iCお引っこしサービスは、お近くのドコモショップなど窓口にてご利用いただけます。詳しくは、『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

※1 iCお引っこしサービスご利用には手数料がかかります（一部手数料がかからない場合もあります）。また、ICアプリのダウンロード、各種設定にはパケット通信料がかかります。
※2 おサイフケータイ対応サービスによっては、一部対象外のサービスがあります。対象外サービスはiCお引っこしサービスご利用時に消去されますので、事前に各おサイフケータイ対応サービスのバックアップサービスのご利用や削除などを行ってください。
※3 iCお引っこしサービスは、お取り替え先のおサイフケータイがiCお引っこしサービス対応の機種である場合にご利用いただけます。

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動する

- おサイフケータイ対応ｉアプリを初めて起動またはダウンロードすると、「FOMAカード情報とICカードの対応付けを行います」と表示されます。[■]を押すと、それ以降は対応付けされたFOMAカードを挿入していないとICカード機能を利用できません。なお、別のFOMAカードに差し替えて利用する場合は、対応付けされたFOMAカードを挿入しておサイフケータイ対応ｉアプリをすべて削除しないとICカード機能を利用できません。

1 [MENU]▶[6][4][1]

以降の操作→P238「ｉアプリを起動する」操作3

✔**お知らせ**

- おサイフケータイ対応ｉアプリ起動中は、FeliCaマークを読み取り機にかざしてもおサイフケータイを利用できない場合があります。
- 次の場合は、動作中のおサイフケータイ対応ｉアプリは中断されます。そのとき、読み書きしていたデータが破棄されることがあります。
  - 電話がかかってきたとき
  - 開閉ロックが起動したとき
  - お知らせタイマー、目覚まし、スケジュールで指定した時刻や日時になったとき
  - 他の機能に切り替えたとき
- 圏外にいる場合や登録データが利用できない場合は、おサイフケータイ対応ｉアプリによっては起動しないことや、正常に動作しないことがあります。

トルカとは

トルカとは、おサイフケータイで取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。トルカは読み取り機やサイトなどから取得が可能で、メール、赤外線通信／iC通信、microSDメモリーカードを使って簡単に交換できます。

- 対応機種：トルカ対応機種でご利用いただけます。
  詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

❖トルカ利用の流れ

おサイフケータイを読み取り機にかざしてトルカを取得

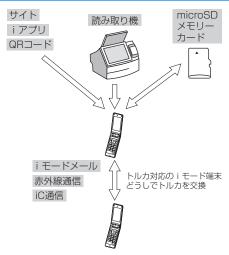
トルカ一覧からトルカを選択

トルカ（詳細）

「詳細」ボタンを押して詳しい情報をダウンロード

トルカを取得する

- 保存できるトルカのサイズは1件あたり最大1024バイトです。トルカ（詳細）は1件あたり最大100Kバイトです。
- 最大保存件数→P458

❖トルカの取得手段

- 読み取り機からの取得方法は、「おサイフケータイの利用方法」のステップ3と同じです。→P260
- その他の取得・交換方法
  QRコード読み取り→P159
  サイトからダウンロード→P175
  ｉモードメール添付・保存→P198、207
  ｉアプリから保存→P257
  microSDメモリーカード移動／コピー→P293
  赤外線通信／iC通信→P305、307

✔お知らせ

- 読み取り機からトルカを取得したときは、トルカ取得設定、トルカ取得確認設定、自動読取機能設定、着信イルミネーションのトルカ取得、音量設定のトルカ取得音量に従って動作します。
- 取得、ダウンロードしたトルカは「トルカフォルダ」に保存されます。ただし、読み取り機から取得した場合は、トルカ振り分け設定に従って保存されます。
- トルカ取得設定の自動表示設定が「ON」のときは、読み取り機からトルカを取得すると、詳細をダウンロードするためのサイト接続確認画面が表示される場合があります。自動表示中にキー操作をしなかった場合は、トルカは未読の状態で保存されます。
- トルカ（詳細）はメール添付、赤外線送信／iC送信、microSDメモリーカードへ移動／コピーをすると、詳細は含まれない、または保存不可を示す画面が表示される場合があります。
- トルカによっては更新や移動／コピー、メールや赤外線などの送信ができない場合があります。

トルカ一覧

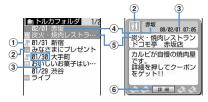
トルカを表示する

取得したトルカを表示したり、サイトから詳細情報をダウンロードしたりします。

1 [MENU]▶[6][3]▶フォルダを選択

保存領域の使用率

: トルカなし　: 未読トルカなし　: 未読トルカあり
: 利用済みトルカなし　: 利用済みトルカあり

2 トルカを選択

① 状態マーク
: 未読　表示なし：既読
② カテゴリマーク
③ 取得日時
④ インデックス
⑤ タイトル
⑥「詳細」ボタン
詳細情報がある場合に表示されます。

メールに添付する：**トルカにカーソルを合わせて[✉]**
メールに添付できるサイズ→P198
- トルカ（詳細）を添付できる場合は、詳細を含めて貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。トルカ（詳細）を添付できない場合は、詳細は含まれないが貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。
- 表示中のトルカをメールに添付する場合は[MENU][2]を押します。

✔お知らせ

- 次の方法で取得したトルカは既読のトルカとして保存されます。
  - QRコード読み取り
  - サイトからダウンロード
  - ｉモードメール受信
  - 既読のトルカを赤外線通信／iC通信で受信
- トルカによっては有効期限が設定されている場合があります。期限が過ぎると、トルカ一覧画面の背景色が異なる色で表示されます。
- トルカ一覧画面とトルカ（詳細）に、トルカ発行者独自のカテゴリマークが表示される場合があります（検索やトルカ振り分け設定の条件「ジャンル」のカテゴリマークには含まれません）。
- トルカ（詳細）の更新：[MENU]→「更新」→「はい」
- トルカ（詳細）のFlash画像やGIFアニメーションをもう一度動作させる：[MENU]→「リトライ」
- Flash画像がトルカ（詳細）に収まっていない場合は、スクロールにより画面内に収まった時点で動作が開始されます。
- 「利用済みトルカ」フォルダのトルカは表示できません。
- ｉモード通信で詳細情報をダウンロードするときは、パケット通信料がかかります。
- 受信側がトルカ対応機種の場合でも、機種によってはトルカ（詳細）を受信できない場合があります。

◆ トルカを検索する

〈例〉ジャンルで検索する

1 MENU ▶ 6 3 ▶ MENU ▶ 1 ▶ 検索条件欄を選択

2 1 ▶ ジャンル欄を選択 ▶ 1 ～ 5

ジャンル選択画面

タイトルで検索する：2 ▶ 検索文字列欄にタイトルの一部を入力（全角10（半角21）文字以内）

インデックスで検索する：3 ▶ 検索文字列欄にインデックスの一部を入力（全角7（半角15）文字以内）

3 📖

✔お知らせ

- フォルダ内のトルカの検索：MENU →「フォルダ内検索」
- 「利用済みトルカ」フォルダのトルカは検索できません。

トルカを管理する

フォルダの作成やトルカの削除など、トルカをより便利に使うためのさまざまな機能があります。

◆ フォルダを作成／削除する

- フォルダは「トルカフォルダ」と「利用済みトルカ」フォルダ以外に最大20個作成できます。

〈例〉フォルダを作成する

1 MENU ▶ 6 3

2 MENU ▶ 2

フォルダ名を変更する：フォルダにカーソルを合わせて MENU ▶ 4 ▶ 操作3に進む

並び順を変更する：フォルダにカーソルを合わせて MENU ▶ 8 または 9

削除する：フォルダにカーソルを合わせて MENU ▶ 3 ▶ 認証操作 ▶「はい」

3 フォルダ名を入力（全角8（半角16）文字以内）▶ 📖

✔お知らせ

- 「トルカフォルダ」と「利用済みトルカ」フォルダは、フォルダ名や並び順の変更、削除ができません。

◆トルカを削除する

〈例〉1件削除する

1 MENU▶6 3▶フォルダを選択

2 トルカにカーソルを合わせてMENU▶3 1

複数削除する：MENU▶3 2▶トルカを選択▶□

フォルダ内を全件削除する：MENU▶3 3▶認証操作

3 「はい」

✔お知らせ

- 表示中のトルカの削除：MENU→「削除」
- 「利用済みトルカ」フォルダのトルカの削除：トルカにカーソルを合わせて■→「はい」

◆トルカを他のフォルダに移動／コピーする

- トルカをmicroSDメモリーカードへ移動／コピーすることもできます。→P293

〈例〉1件移動／コピーする

1 MENU▶6 3▶フォルダを選択

2 トルカにカーソルを合わせてMENU▶4▶1または2▶1

複数移動／コピーする：MENU▶4▶1または2▶2▶トルカを選択▶□

フォルダ内を全件移動／コピーする：MENU▶4▶1または2▶3

3 移動またはコピー先のフォルダを選択▶「はい」

✔お知らせ

- 表示中のトルカの移動／コピー：MENU→「移動／コピー」→「フォルダ移動」または「フォルダ間コピー」
- 「利用済みトルカ」フォルダには移動／コピーできません。

◆トルカを並べ替える〈ソート〉

トルカの並び順を一時的に並べ替えます。

1 MENU▶6 3▶フォルダを選択▶MENU▶5 2▶1～5

✔お知らせ

- 全角や半角の文字が混在していると、「タイトル順」「インデックス順」の並べ替えの結果が50音順と一致しない場合があります。
- 「かな順」を選択すると、トルカがデータとして保有するID順に並べ替えます（IDは表示できません）。

◆トルカの件数や領域使用状況を確認する〈保存内容確認〉

1 MENU▶6 3▶MENU▶5

✔お知らせ

- フォルダ内の保存件数の確認：MENU→「表示」→「トルカ件数確認」
- 「利用済みトルカ」フォルダのトルカは、保存件数や保存領域に影響しません。

トルカの情報を利用する

電話番号やメールアドレス、URLを電話帳やブックマークに登録したり、画像を保存したりできます。

- 電話番号、メールアドレス、URLからPhone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用できます。

1 MENU▶6 3▶フォルダを選択▶トルカ（詳細）を選択

2 目的に応じた操作を行う

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する：

① 電話番号やメールアドレスにカーソルを合わせてMENU▶4▶1または2

② 1または2

- 登録済みの電話帳データに登録するときは、電話帳データを選択します。

③ 電話番号やメールアドレスなどを登録

電話帳登録→P87、89

URLをブックマークに登録する：URLにカーソルを合わせてMENU▶4 3▶登録先フォルダを選択

以降の操作→P170「ブックマークに登録する」操作2

画像を保存する：MENU▶4 4▶画像を選択

- 背景画像を保存する場合はMENU 4 5を押します。

以降の操作→P174「画像をダウンロードする」操作2以降

トルカの機能を設定する

◆ トルカ取得の動作を設定する〈トルカ取得設定〉

読み取り機からトルカを取得するかどうかや、読み取り機からトルカを取得したときの動作を設定します。

1 MENU▶8 6 2 2▶各項目を設定▶📖

トルカ取得設定：「ON」にすると、読み取り機からトルカを取得します。

重複チェック設定：「ON」にすると、保存しているトルカと重複する場合は新たにトルカを取得しません。

自動振り分け設定：「ON」にすると、トルカ振り分け設定に従って振り分けます。

自動表示設定：「ON」にすると、待受画面表示中の場合のみ約15秒間自動的に表示されます。

◆ トルカ取得完了の確認動作を設定する〈トルカ取得確認設定〉

読み取り機からトルカを取得したときの、取得完了をお知らせするランプや音量の設定を行います。

1 MENU▶8 6 2 1▶各項目を設定▶📖

イルミネーション設定：取得が完了したときにランプを点滅させるかどうかを設定します。

イルミネーションカラー：ランプの点灯色を設定します。

トルカ取得音量：取得が完了したときに鳴る音の音量を設定します。

◆自動読取機能を利用する〈自動読取機能設定〉

読み取り機にFOMA端末をかざしてトルカを利用する際、利用可能なトルカを自動的に読み取りさせるかどうかを設定します。「ON」にすると、利用可能なトルカが自動的に認識され、「利用済みトルカ」フォルダに移動されます。「ON」にしないと、トルカによっては利用できない場合があります。

- 「利用済みトルカ」フォルダには、トルカが最大20件保存されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 [MENU]▶[8][6][2][3]▶[1]または[2]

✔お知らせ

- 本機能が「OFF」のときに読み取り機にFOMA端末をかざすと、自動読取機能利用の確認画面や自動読取機能無効を示す画面が表示される場合があります。トルカを利用する場合は「ON」にしてください。

◆トルカを振り分ける条件を設定する〈トルカ振り分け設定〉

読み取り機から取得したトルカを、指定したフォルダに振り分ける条件を設定します。

- 最大20件登録できます。
- 本機能を実行するには、トルカ取得設定の自動振り分け設定を「ON」にする必要があります。

〈例〉ジャンルで振り分ける

1 [MENU]▶[8][6][2][4]

登録済みの振り分け条件（優先順位の高い順）

トルカ振り分け一覧 1/1
01 TITLE クーポン
02 INDEX 赤坂
03 [ジャンル] コンビニ/スーパー/食品
04 条件なし

[ジャンル]：ジャンル　TITLE：タイトル
INDEX：インデックス　表示なし：条件なし

2 [☐]▶振り分け条件欄を選択

3 [1]▶ジャンル欄を選択▶[1]～[5]

ジャンル選択画面→P265

タイトルで振り分ける：[2]▶振り分け条件文字列欄にタイトルの一部を入力（全角10（半角21）文字以内）
インデックスで振り分ける：[3]▶振り分け条件文字列欄にインデックスの一部を入力（全角7（半角15）文字以内）
条件なしで振り分ける：[4]

4 振り分け先フォルダ欄を選択▶フォルダを選択▶[☐]

5 優先順位を選択

選択した行の上に振り分け条件が追加されます。

- 1件目の振り分け条件を登録する場合は「最後に追加する」を選択します（登録済みの条件を変更したときは「最後に移動する」と表示されます）。

✔お知らせ

- 「利用済みトルカ」フォルダは振り分け先フォルダに指定できません。

❖振り分け条件を確認・変更・削除する

〈例〉振り分け条件を確認する

1 [MENU]▶[8][6][2][4]

2 振り分け条件を選択

振り分け条件詳細画面が表示されます。

変更する：振り分け条件にカーソルを合わせて[MENU]▶[2]▶振り分け条件欄を選択

- 振り分け条件詳細画面から操作する場合は、[MENU][1]を押し振り分け条件欄を選択します。
以降の操作→P268「トルカを振り分ける条件を設定する」操作3以降

優先順位を変更する：振り分け条件にカーソルを合わせてMENU▶5
以降の操作→P268「トルカを振り分ける条件を設定する」操作5

削除する：振り分け条件にカーソルを合わせてMENU▶3または4▶「はい」

- 「全件削除」を選択した場合は、認証操作を行います。
- 振り分け条件詳細画面から操作する場合は、MENU2を押します。

ICカードロック

ICカード機能を使用できないようにする

ICカードロックを起動すると、次の機能が利用できなくなります。

- ICカードの利用
- 読み取り機からのトルカ取得
- おサイフケータイ対応ｉアプリのダウンロードや利用
- iC通信

- ICカードロックとオールロックの両方を起動するには、先にICカードロックを起動してから、オールロックを起動してください。

1 （1秒以上）▶「はい」

ICカードロックを起動すると、待受画面にまたは(個別ICカードロックのとき）が表示されます。

解除する：（1秒以上）▶認証操作

✔お知らせ

- 電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。
- ICカードロック中は、おサイフケータイ対応ｉアプリによっては削除できない場合があります。

◆指定したICカード機能のみロックする〈ICカードロック時動作設定〉

ICカードロックを起動したとき、あらかじめ指定したおサイフケータイ対応ｉアプリのICカード機能だけをロックするように設定できます（個別ICカードロック）。

1 MENU▶643

2 2▶おサイフケータイ対応ｉアプリを選択▶

すべてのICカード機能をロックする：1

✔お知らせ

- 選択したおサイフケータイ対応ｉアプリは、ICカード一覧でが表示されます。→P238
- ICカード内にサービスを登録済みで、サービス利用可能なおサイフケータイ対応ｉアプリが選択対象となります。

◆ICカードロックを自動起動する〈ICカードオートロック設定〉

指定した時間が経過すると、ICカードロックが自動的に起動するように設定します。

1 MENU▶644▶各項目を設定▶

✔お知らせ

- 本機能が「ON」のときに電源を切ったり、電池残量がなくなって電源が切れたりした場合は、指定した時間を待たずにICカードロックが起動します。
- おサイフケータイ対応ｉアプリの利用中にロックするまでの時間が経過した場合は、おサイフケータイ対応ｉアプリの終了後にICカードロックが起動します。

◆指定した時刻に自動的にICカードロックを解除する〈ICカードロック解除予約〉

ICカードロック中、指定した時間帯のみICカードが使えるように設定します。

- 最大7件登録できます。
- 電源が入っている場合のみ動作します。

1 MENU▶6 4 5▶**認証操作**▶1～7

設定／解除する：**タイトルにカーソルを合わせてMENU**
- 設定中のICカードロック解除予約は、タイトルの左にが表示されます。

2 **各項目を設定**▶

時刻：ICカードロックを解除する開始時刻と終了時刻（24時を超えて翌日に設定できます）を入力します。
繰り返し：「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、曜日を選択してを押します。
タイトル：全角9（半角18）文字以内で入力します。

✔**お知らせ**

- おサイフケータイ対応ｉアプリの利用中にICカードロック解除の終了時刻になった場合は、おサイフケータイ対応ｉアプリの終了後にICカードロックが起動します。
- ICカードロック解除の時間帯はICカードロックを起動できますが、ICカードオートロック設定の自動起動はできません。

◆電源を切ったときICカード機能をロックする〈電源OFF時ICロック設定〉

電源を切ったとき、すべてのICカード機能をロックするか、電源を切る前のICカードロックの状態を継続するかを選択できます。

1 MENU▶6 4 6▶**認証操作**

2 1**または**2

データ表示／編集／管理

画像を使いこなす

動画／ｉモーションを使いこなす

キャラ電を使いこなす

メロディを使いこなす

microSDメモリーカードを使いこなす

各種データを管理する

赤外線通信／iC通信を使いこなす

サウンドレコーダーを使いこなす

画像を表示する

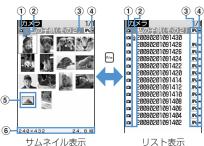
- FOMA端末では、静止画（JPEGまたはGIF形式の画像）やアニメーション（GIFアニメーション、Flash画像）、パラパラマンガを表示できます。ただし、横縦（縦横）のサイズが640×480より大きいGIF形式の画像やGIFアニメーション、1728×2304より大きいJPEG形式の画像は表示できません。

1 MENU ▶ 5 1 ▶ フォルダを選択

- フォルダの内容は次のとおりです。
  - **カメラ**：カメラで撮影した画像、動画／ｉモーションから切り出した画像
  - **ｉモード**：サイトやホームページ、メール、ｉアプリから取得した画像、ミュージックプレーヤーで保存した画像
  - **デコメピクチャ**：お買い上げ時に登録されている画像、サイトやメールから取得した画像、バーコードリーダーで読み取った画像
  - **デコメ絵文字**：お買い上げ時に登録されている画像、サイトなどから取得したデコメ絵文字
    - デコメ絵文字の規格（画像サイズが20×20、ファイルサイズが90Kバイト以内、メール添付やFOMA端末外への出力可、JPEGまたはGIF形式）に該当する画像を取得したときは、直接このフォルダに保存されます。規格に該当しない画像は保存できません。
  - **アイテム**：お買い上げ時に登録されているフレーム画像、サイトからダウンロードしたフレームやスタンプ用の画像
  - **プリインストール**：お買い上げ時に登録されている画像
  - **データ交換**：バーコードリーダーで読み取った画像、microSDメモリーカードや外部機器から取り込んだ画像
  - **マイアルバム**：他のフォルダから移動した画像
    - アルバムを追加すると表示されます。→P300

microSDメモリーカードの一覧に切り替える：フォルダ一覧で A/a

2 画像にカーソルを合わせる

カーソル位置の画像の表示名と詳細を示すマークが表示されます。

① **取得元**
　：プリインストール　：ｉモード、メール、ｉアプリ
　：カメラ　：フレーム、スタンプ　：データ交換

② **画像の種類**
　表示なし：静止画　：パラパラマンガ
　：GIFアニメーション／Flash画像

③ **ファイル形式**
　表示なし：パラパラマンガ
　GIF：GIF形式の画像／GIFアニメーション
　JPG：JPEG形式の画像　：SWF（Flash画像）

④ **ファイル制限**
　（グレー）／（青）：ファイル制限あり／なし

⑤ **サムネイル表示できない画像**
　：プレビュー画像なし
　：FOMAカード動作制限機能が設定されている画像

⑥ **画像サイズと実メモリサイズ**
　カーソル位置の画像のサイズが表示されます。

3 ■

画像表示画面では、画像の表示名とコメントが表示されます。

※ 全画面表示のときはMENU、□、CLR、✉のいずれかを押しても、元の表示に戻せます。

- ◎を押すと、前後の画像に切り替えられます。
- GIFアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像の再生中は次の操作ができます（全画面表示中を除く）。
  ■：一時停止／再生
  □：スロー再生（パラパラマンガの一時停止中のみ）
  MENU 7：先頭から再生

メールに添付する：✉

添付できるファイルについて→P198

- ファイルサイズが90Kバイトより小さい場合は、本文への貼り付け確認画面が表示されます。
- 画像サイズやファイルサイズによっては、QVGAサイズへの変換確認画面が表示されます。

✔お知らせ

- 画面サイズより大きな静止画は画面サイズに縮小表示され、全画面表示にすると自動でスクロールします。スクロール中は■で一時停止／再開できます。
- 画面サイズより大きなJPEG形式の画像は、画像一覧でカーソルを合わせてMENU 0を押すか、画像表示画面で■を押すと、等倍表示されます。等倍表示中は、◎でスクロールできます。CLR、MENU、A/a、□、✉のいずれかを押すと元の画面に戻ります。

◆スライドショーを表示する

フォルダ内の画像を順番に全画面で表示します。

- 動作設定で速度や表示順を変更できます。→P279

1 MENU▶5 1▶フォルダにカーソルを合わせてMENU▶5

- すべての画像の表示が終わるか、CLR、MENU、A/a、□、✉のいずれかを押すとフォルダ一覧に戻ります。

◆画像を待受画面や電話帳などに設定する

〈例〉待受画面に設定する

1 MENU▶5 1▶フォルダを選択▶画像にカーソルを合わせてMENU▶2

2 1▶「はい」

- 画面サイズより小さい、拡大表示可能な画像の場合は「はい（等倍表示）」または「はい（拡大表示）」を選択します。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面解除の確認画面が表示されます。

電話帳に新規登録する：2

電話帳登録→P87

電話帳に更新登録する：3▶電話帳データを選択

電話発着信画像に設定する：4▶1または2

テレビ電話画像に設定する：5▶1〜7

- 画像サイズが176×144より大きい画像、およびFOMA端末外に出力不可の画像は、発信画像と着信画像のみ設定できます。

メール送受信画像に設定する：6▶1〜4

- メール送受信画像に設定した画像は、メッセージR/F、SMSを送受信したときにも表示されます。

メニューアイコンに設定する：7または8▶1〜0
選択した画像がアイコンデザインの「カスタム1」または「カスタム2」のメニューアイコンまたは背景に設定されます。
- パラパラマンガ、Flash画像、「アイテム」フォルダの画像はメニューアイコンに設定できません。

◆パラパラマンガを作成する

同じフォルダ内の静止画を9枚まで選択して、パラパラマンガを作成できます。
- 640×480より大きい静止画は登録できません。
- 登録した静止画は個別に表示したり編集したりできなくなります。また、解除するまでmicroSDメモリーカードや外部機器に保存したり、iモードメールに添付して送信したりできません。

1 MENU▶51▶フォルダを選択

2 MENU▶41

パラパラマンガを解除する：パラパラマンガにカーソルを合わせてMENU▶42

3 パラパラマンガに登録する画像を選択

選択順に画像に1〜9の番号が表示されます。
MENU：すべての選択を解除

4 📖▶表示名を入力（36文字以内）▶📖

静止画を編集する

- 次の静止画は編集できません。
  - 「アイテム」「プリインストール」フォルダ内の静止画
  - メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画（自端末でファイル制限を「あり」に設定した静止画を除く）
  - 縦横のどちらかのサイズが8ドットより小さい静止画
  - microSDメモリーカードに保存されている静止画
- 編集した静止画をパソコンなどで表示した場合、透過表示されていた部分は白く表示されます。

1 MENU▶51▶フォルダを選択▶静止画にカーソルを合わせて📖▶MENU▶編集項目によりP275〜P278の操作を行う

編集メニュー画面

2 編集が終わったら■▶「保存」

編集した静止画が同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。

- 編集後の画像サイズが20×20でファイルサイズが90Kバイト以内の場合は、「デコメ絵文字」フォルダに保存されます。
- フレームまたはスタンプ用の画像として保存するときは、「フレーム・スタンプ用」を選択します。

✔お知らせ

- 画像サイズが編集時の表示領域より大きい場合は縮小表示されます。ただし、スタンプやテキスト貼付、拡大／縮小の場合は等倍で表示されます。
- 編集後、ファイルサイズが大きくなる場合があります。

❖サイズを変更する

拡大／縮小したり、特定サイズに変更したりします。

- 画質が劣化する場合があります。
- 1728×2304（拡大／縮小は352×288）ドット以下の画像を編集できます。

〈例〉特定サイズに変更する

1 編集メニュー画面で 1

2 1 〜 9

- 指定したサイズと静止画の縦横比が異なる場合は、サイズ枠が表示されます。■を押すとサイズ枠の部分が切り取られて指定サイズに変更されます。

✥：サイズ枠を上下左右に移動
MENU：縦横比を保持せず画像全体を指定サイズに変更
📖：縦横比を保持して画像全体を指定サイズに変更

拡大／縮小する：0 ▶ ✥ ▶ ■

- 縦横比を保持したまま、5%ずつ拡大または縮小します。MENUで20%ずつ縮小、📖で20%ずつ拡大できます。
- 画面の右上に変更後のサイズと、拡大／縮小率が表示されます。
- 縦横のいずれかが、最大432ドットまで拡大、最小8ドットまで縮小できます。

❖任意のサイズに切り出す

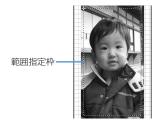
特定または任意のサイズに変更します。

- 16×16ドット以上、1728×2304（範囲指定は1224×1632）ドット以下の画像を編集できます。

〈例〉特定サイズに切り出す

1 編集メニュー画面で 2

2 1～9▶ で切り出し枠の位置を調整

MENU：切り出し範囲の指定
□：切り出し枠の縦横の切り替え
A/a：切り出しサイズの切り替え
範囲を指定して切り出す：
① 0

② で始点を決めて■
範囲指定枠の左上の位置が設定され、範囲指定枠の右下にが表示されます。
③ で終点を決めて□
範囲指定枠が切り出し枠になります。

3 ■

❖明るさや色調を変更する

- 480×640ドット以下の画像を編集できます。

〈例〉明るさを調整する

1 編集メニュー画面で 3

2 1▶ で明るさを調整

一段階ずつ明るさが増減します。
MENU／□：明るさを最小／最大に調整
モノトーンにする：2
セピアにする：3

3 ■

❖特殊な効果をかける

次のような特殊効果をかけます。
ぼかし：画像をぼかす
球面：中心から球面状に盛り上げる
エンボス：鉛色にして凸凹を強調する
うずまき：中心から渦状に回転させる
きらきら：光ったようなマークを入れる
モザイク：モザイクをかける
スケッチ（モノクロ）：えんぴつでスケッチしたような効果をかける
スケッチ（カラー）：えんぴつでスケッチして水彩絵の具で色をつけたような効果をかける

- 480×640ドット以下の画像を編集できます。

1 編集メニュー画面で 4▶1～8

- 「スケッチ（モノクロ）」または「スケッチ（カラー）」を選択したときは次の操作ができます。■を押すと効果が確定されます。
  ：効果の調節
  □：線の太さの切り替え
  A/a／✉：効果を最小／最大に切り替え

❖反転／回転させる

- 480×640ドット以下の画像を編集できます。

1 **編集メニュー画面で 5 ▶ で静止画を反転または回転させる**

/ ：左／右に90度回転

2

❖フレームを重ねる

- 352×288または240×432ドット以下の画像を編集できます。

1 **編集メニュー画面で 6**

画像の詳細情報変更でフレーム候補に設定した画像と、編集している静止画と同じサイズのフレームが表示されます。

2 **フレームを選択**

：フレームの切り替え
：フレームを180度回転

3

❖スタンプを貼り付ける

- 352×288または240×432ドット以下の画像を編集できます。

1 **編集メニュー画面で 7 ▶ スタンプを選択**

画像の詳細情報変更でスタンプ候補に設定した画像と、編集中の静止画より小さいサイズのスタンプが表示されます。

2 **で位置を調整して**

効果音が鳴り、スタンプが貼り付けられます。
：すべてのスタンプを消去
- 続けて別の位置に貼り付けられます。

3

❖テキストを貼り付ける

- 352×288または240×432ドット以下の画像を編集できます。

1 **編集メニュー画面で 8 ▶ 各項目を設定 ▶**

- テキストは、全角20（半角40）文字以内で入力します。
- 貼り方を「一字ごと」にすると、 を押すたびに1文字ずつ貼り付けられます。最後の文字を貼り付けると最初の文字に戻ります。

2 **で貼り付ける位置を調整して**

効果音が鳴り、テキストが貼り付けられます。
：すべてのテキストを消去
- 続けて別の位置にテキストを貼り付けられます。

3

❖任意の部分を切り抜く

選択した色と近似している部分を切り抜きます。
- 240×432ドット以下の画像を編集できます。

1 **編集メニュー画面で 9**

画面の中央に切り抜く色を指定する が表示されます。

2 **で切り抜く色に を合わせて**

の位置の色と近似している部分が切り抜かれます。続けて別の部分の切り抜きができます。

3

❖ファイルサイズを制限して保存する

- 1728×2304（メール添付用（小）は480×640）ドット以下の画像を編集できます。ファイルサイズが2Mバイト以下の画像は「メール添付用（大）」に設定できません。

1 編集メニュー画面で[0]▶[1]または[2]

メール添付用（小）は90Kバイト以内、メール添付用（大）は2Mバイト以内で保存されます。

◆明るさや色のバランスを補正する

- 静止画によっては補正してもあまり変化しない場合があります。
- 352×288または240×432ドット以下の画像を編集できます。

1 [MENU]▶[5][1]▶フォルダを選択▶静止画にカーソルを合わせて[📖]▶[📖]

画面の右上に補正モードが表示されます。

2 [MENU]▶[1]～[7]

- [カメラ]を押しても補正モードを変更できます。

静物：静物や植物などに適した補正をする
背景：背景に適した補正をする
風景：風景画像に明るさや色のメリハリをつける
美肌：人物画像を白くなめらかにする
日焼け：人物画像を小麦色にする
青ざめ：人物画像を青ざめさせる
酔っ払い：人物画像を赤らめさせる
[左右]：補正効果の調整
[A/a]／[✉]：補正効果を最小／最大に調整

3 [■]

電話帳お預かりサービス

画像をお預かりセンターに保存する

電話帳お預かりサービスを利用して、データBOXのマイピクチャに保存してある画像をネットワーク上のお預かりセンターに保存します。

- 電話帳お預かりサービスについて→P141
- 本サービスはお申し込みが必要な有料サービスです。サービス未契約の場合は、お預かりセンターに接続しようとすると、その旨をお知らせする画面が表示されます。
- 1件あたりのファイルサイズが100Kバイトを超える画像は保存／復元できません。
- 1回の操作で最大10件保存できます。
- 復元操作の詳細は『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- お預かりセンターに保存した履歴を確認できます。→P97

1 [MENU]▶[5][1]▶フォルダを選択

2 [MENU]▶[5][6]▶画像を選択▶[📖]▶「はい」▶認証操作

[■]：保存を中止

3 通信結果を確認する

- 通信結果の表示は約5秒後に消えます。

✔お知らせ

- マイピクチャの「アイテム」「プリインストール」フォルダ内のデータは選択できません。

動作設定

画像の動作条件を設定する

- お買い上げ時は小さい画像の拡大とスライドショーのランダム表示が「なし」、スライドショーの切替え速度が「普通」、それ以外の項目は「あり」に設定されています。

1 MENU▶5 1▶MENU▶4▶**各項目を設定**▶📖

一覧の画像表示：画像一覧でサムネイル表示にするかどうかを設定します。

タイトル表示：画像表示画面で表示名を表示するかどうかを設定します。

番号表示：画像表示画面でフォルダ内やアルバム内での件数と総件数を表示するかどうかを設定します。

コメント表示：画像表示画面でコメントを表示するかどうかを設定します。

小さい画像の拡大：画像の縦横比を保持したまま表示領域いっぱいに拡大表示するかどうかを設定します。「あり」にしても、全画面表示では拡大表示されません。

大きい画像の縮小：画像の縦横比を保持したまま表示領域に合わせて縮小表示するかどうかを設定します。「なし」にしても、全画面時の自動スクロールを「なし」に設定中の全画面表示では縮小表示されます。

効果音再生：画像に設定されている効果音を再生するかどうかを設定します。「あり」にしても、スライドショーでは再生されません。

全画面時の自動スクロール：全画面表示で、静止画が画面に表示しきれない大きさの場合、自動的にスクロールするかどうかを設定します。

スライドショーの切替え速度：表示速度を設定します。

スライドショーのランダム表示：表示順をランダムにするかどうかを設定します。

✔**お知らせ**

- 画像一覧、画像表示画面からの操作：MENU→「動作設定」

動画／ｉモーションを再生する

- FOMA端末では、次の形式で、画像サイズが48×48～320×240の動画／ｉモーションを再生できます。

ファイル形式（拡張子）	符号化形式	
MP4（MP4、3GP）	映像	MPEG4、H.263、H.264
	音声	AMR、AAC、HE-AAC、Enhanced aacPlus
ASF（ASF）	映像	MPEG4
	音声	G.726

1 MENU▶5 3▶**フォルダを選択**

- フォルダの内容は次のとおりです。

プレイリスト：動画／ｉモーションのプレイリスト

プレイリストの作成／再生→P282

カメラ：カメラで撮影した動画、動画から切り出した動画、動画メモ、サウンドレコーダーで録音した音声

ｉモード：サイトやメールから取得したｉモーション、ｉモーションや音楽データから切り出したｉモーション、microSDメモリーカードから移動したコンテンツ移行対応のｉモーション

プリインストール：お買い上げ時に登録されている動画

データ交換：microSDメモリーカードから移動／コピーした動画／ｉモーション（コンテンツ移行対応のｉモーション以外）、外部機器から取り込んだ動画／ｉモーション

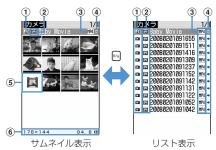
マイアルバム：他のフォルダから移動した動画／ｉモーション

- アルバムを追加すると表示されます。→P300

microSDメモリーカードの一覧に切り替える：**フォルダ一覧で** A/a

2 動画／ｉモーションにカーソルを合わせる

カーソル位置の動画／ｉモーションの表示名と詳細を示すマークが表示されます。

サムネイル表示　　リスト表示

①**取得元**
　：プリインストール　　：ｉモード、メール、ｉアプリ
　：カメラ　：データ交換　：テレビ電話

②**再生制限**
　：再生制限なし　／／：回数／期限／期間制限あり

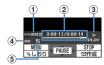
③**ファイルの種類**
　(白）／(青)：MP4／しおり付きMP4
　：部分的に保存したMP4
　(白）／(青)：ASF／しおり付きASF

④**ファイル制限**
　(グレー）／(青)：ファイル制限あり／なし

⑤**サムネイル表示できない動画／ｉモーション**
　：音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）や部分的に取得したｉモーション、サウンドレコーダーで録音した音声
　：サムネイル画像を取得できない動画／ｉモーション
　：FOMAカード動作制限機能が設定されている動画／ｉモーション

⑥**画像サイズと実メモリサイズ**
　カーソル位置の動画／ｉモーションのサイズが表示されます。

メールに添付する：
添付できるファイルについて→P198

3

①**再生音量**

②**再生時間／総再生時間**
　数字とバーで示します。

③**再生状態**
　：再生中　：停止中　：一時停止中

④**ファイルの種類**
　：音声　：映像

⑤**拡大／縮小表示**
　：拡大表示中　：縮小表示中

- しおりを設定した動画／ｉモーションの場合は、しおりからの再生確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると、先頭または再生停止位置から再生されます。
- 画面サイズより大きな動画／ｉモーションの場合は、縮小再生の確認画面が表示されます。
- 再生中は次の操作ができます。
  - ：音量調整
  - ：一時停止／再生／先頭から再生（停止中）
  - ：巻き戻し／早送り再生
  - 1：10秒巻き戻し（再生開始から10秒未満の場合は先頭から再生）
  - 3：30秒早送り（再生終了まで30秒未満の場合は再生終了1秒前から再生）
  - ：停止

CLR：一覧画面に戻る

- チャプター情報を持つ動画／ｉモーションの場合は、再生中に 4 を押すと前のチャプターから、6 を押すと次のチャプターから再生されます。MENU→「チャプター一覧」→チャプターを選択すると、選択したチャプターから再生できます。
- 一時停止中に を押すと、再生位置インジケータ上に位置指定つまみが表示されます。再度 を押して位置指定つまみを移動し を押すと、指定した位置から再生されます。
位置指定つまみは、次のように操作します。
：1分単位で移動
（2秒以上）：5分単位で移動（およそ20分以上の動画／ｉモーションのみ）
- CLRや を押したり、他の機能の影響によって再生が中断したときは、再生停止位置が保存され、次回再生時にその停止位置から再生されます。再生停止位置の情報はFOMA端末本体およびmicroSDメモリーカードでそれぞれ、最大5つの動画／ｉモーションについて保存されます。新しい情報が登録されると古い情報は順に削除されます。データを取得しながら再生しているときやプレビュー再生では、再生停止位置は保存されません。

しおりを設定する：再生中に A/a ▶「はい」

- 停止中に A/a：解除
- 保存されていない動画／ｉモーションや、再生制限が設定されているｉモーションには設定できません。

表示の縦横を切り替える：

- を押すたびに縦横が切り替わります。
- 画像サイズが320×240の動画／ｉモーションの場合は、縦→横→横（ワイド）の順に切り替わります。

✔お知らせ

- ｉモーションによっては、再生画面の総再生時間が「-：--：--」と表示される場合があります。このとき、次の操作は利用できません。
  - 早送り再生、30秒早送り、巻き戻し再生、10秒巻き戻し
  - しおりや再生停止位置からの再生
  - 位置指定つまみを使った再生
  - 次のチャプターの先頭からの再生、前のチャプターの先頭からの再生、チャプター選択による再生
- 再生制限が設定されたｉモーションを選択すると、再生制限の状態が表示されます。再生制限により再生できない場合は、削除の確認画面が表示されます（再生期間前の場合を除く）。なお、再生期間や期限が制限されている場合に、FOMA端末の日付・時刻を変更しても再生できません。
- ダウンロードに失敗、またはダウンロードを中断して部分的に取得したｉモーションを選択すると、残りデータのダウンロード確認画面が表示されます。ダウンロードしても再取得できなかったときは、部分的に保存されていたデータは削除されます。
また、部分的に取得したｉモーションの再生期間や再生期限が過ぎている場合は再取得ができません。このとき、削除の確認画面が表示され、部分的に保存したｉモーションを削除できます。

◆プレイリストを作成／再生する

プレイリストとは、動画／ｉモーションのタイトルをひとまとめにして再生順などを管理するものです。

- 最大登録件数→P458
- 1つのプレイリストに最大100件のタイトルを登録できます。
- FOMA端末本体の動画／ｉモーションのタイトルのみ登録できます。ただし、FOMAカード動作制限機能や再生制限（期限内および期間内の場合を除く）が設定されていたり、部分的に保存した動画／ｉモーションのタイトルは登録できません。

❖プレイリストを作成／削除する

1 MENU▶5 3▶「プレイリスト」フォルダを選択

2 MENU▶1

1件もプレイリストが作成されていないとき：「はい」

名前を変更する：プレイリストにカーソルを合わせてMENU▶2▶名前を入力（全角10（半角20）文字以内）▶□

1件削除する：プレイリストにカーソルを合わせてMENU▶3 1▶「はい」

複数削除する：MENU▶3 2▶プレイリストを選択して□▶「はい」

全件削除する：MENU▶3 3▶認証操作▶「はい」

3 プレイリストの名前を入力（全角10（半角20）文字以内）▶□

- 「プレイリストYYYYMMDD（作成年月日）」が入力されています。

4 フォルダを選択▶動画／ｉモーションを選択▶□▶「はい」

❖プレイリストに動画／ｉモーションのタイトルを追加／解除する

1 MENU▶5 3▶「プレイリスト」フォルダを選択▶プレイリストを選択

2 MENU▶3 1

1件解除する：タイトルにカーソルを合わせてMENU▶3 2 1▶「はい」

複数解除する：MENU▶3 2 2▶タイトルを選択して□▶「はい」

全件解除する：MENU▶3 2 3▶認証操作▶「はい」

3 1〜3▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションを選択▶□

- 「1件登録」を選択したときは、□を押さずに操作4に進みます。
- 「全件登録」を選択して動画／ｉモーションのデータがあるフォルダを選択すると、フォルダ内で登録可能な動画／ｉモーションのタイトルが選択されます。

4 「はい」

✔お知らせ

- プレイリストから動画／ｉモーションのタイトルを解除しても、データ自体は削除されません。データ自体を削除したり、microSDメモリーカードに移動した場合は、プレイリストから解除されます。

❖プレイリストを再生する

プレイリストを使うと、選択したタイトル以降の動画／ｉモーションを連続で再生できます。

- 再生中は、しおりの位置や再生停止位置からの再生、チャプター情報を利用した再生、早送り／巻き戻しや位置指定つまみの操作はできません。

1 **m▶5 3▶「プレイリスト」フォルダを選択▶プレイリストを選択▶最初に再生したい動画／ｉモーションを選択**

- 再生中の画面には通常表示されるアイコンのほかに、次のアイコンが表示されます。
  ON／OFF：リピート再生あり／なし
- 再生中は次の操作ができます。
  ■：一時停止／再生
  ◘：音量調整
  a：データの先頭から再生（再生から3秒以内に押すと前のデータを再生）
  t：停止
  l：次のデータを再生

❖プレイリスト内の再生順を並べ替える

1 **m▶5 3▶「プレイリスト」フォルダを選択▶プレイリストを選択▶m▶3 3▶タイトルにカーソルを合わせてaまたはl▶t**

◆動画／ｉモーションを待受画面や電話帳などに設定する

- 音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）、再生制限が設定されているｉモーションは待受画面に設定できません。
- 着信画像と電話帳に設定できるのは映像のみの動画／ｉモーションです。
- 着信音および着信画像に設定できるのは、詳細情報の着信音設定および着信画面設定が「可」になっている動画／ｉモーションのみです。ただし、次の動画／ｉモーションは設定できません。
  - 外部機器に転送し、FOMA端末本体に戻したもの
  - コンテンツ移行対応のｉモーション以外で、microSDメモリーカードからFOMA端末本体に移動またはコピーしたもの（FOMA端末本体からmicroSDメモリーカードに移動またはコピーしてから戻したもの含む）

〈例〉待受画面に設定する

1 **m▶5 3▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションにカーソルを合わせてm▶2**

2 **1▶「はい（等倍表示）」または「はい（拡大表示）」**

待受画面に設定したときの動作→P108

電話帳に新規登録する：2

電話帳登録→P87

電話帳に更新登録する：3▶電話帳データを選択

着信音に設定する：4▶1〜8

- 「メモリ指定電話着信音」または「メモリ指定メール着信音」を選択したときは、電話帳一覧で電話帳データを選択→tを押します。

着信画像（音声電話、テレビ電話）／メール着信結果画像に設定する：5▶1〜3

✔お知らせ

- プレイリストのタイトル一覧からの操作：m→「動画の利用」

動画／ｉモーションを編集する

静止画の切り出しや任意の範囲の切り出しなど、ｉモーションに保存されている動画／ｉモーションを編集します。

- 次の動画／ｉモーションは編集できません。また、ダウンロードしたｉモーションの符号化形式によっては編集できないことがあります。
  - ファイル制限が「あり」に設定されている動画／ｉモーション（自端末で「あり」に設定した動画を除く）
  - 再生制限が設定されているｉモーション
  - ASF形式の動画
- 編集した動画／ｉモーションは元のデータが保存されていたフォルダに新しいデータとして保存されます。ただし、静止画として切り出したデータはマイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。編集後にメールに添付した場合も同様です。

◆静止画を切り出す（キャプチャ）

位置を指定し、静止画として切り出します。

- 切り出した静止画の画像サイズは、再生時の表示サイズになります。

1 MENU▶5 3▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションを選択

2 切り出す位置でMENU▶4

3 画像を確認して□

- 続けてキャプチャするには、■を押して再生を再開してから、操作2～3を繰り返します。

メールに添付する：✉

- ファイルサイズが90Kバイト以内の場合は、本文への貼り付け確認画面が表示されます。

◆動画／ｉモーションを切り出す（選択切り出し）

先頭から指定した位置まで切り出します。

- ファイルサイズが11K～2048Kバイトまでの動画／ｉモーションを編集できます。

1 MENU▶5 3▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションにカーソルを合わせてMENU▶4 1

再生時間の下に□が表示されます。

- テロップ（テキスト）が含まれるデータを切り出すと、テロップ（テキスト）は削除されます。

2 ■▶切り出す位置で■

現在のファイルサイズ／最大ファイルサイズ

CLR：やり直す

- 500Kバイトより大きいファイルのときは、MENUを押して「メール添付用（小）」を選択すると500Kバイトで、「設定なし」を選択すると最大サイズより約1000バイト小さいファイルで切り出せます。2048Kバイトのファイルのときは、MENUを押して「メール添付用（大）」を選択すると2047Kバイトで切り出せます。
- ■を押さずに最後まで切り出したときは、終点がファイルの最大サイズより約1000バイト小さい位置に設定されます。

3 表示名を入力（36文字以内）▶□

再生する：A/a

メールに添付する：✉

◆ファイルサイズを指定して切り出す（サイズ切り出し）

先頭から指定したファイルサイズまで切り出します。

- ファイルサイズが11K～2048Kバイトまでの動画／ｉモーションを編集できます。
- 指定できるファイルサイズは10K～2047Kバイトです。上限は切り出す動画／ｉモーションにより異なります。

1 **MENU▶5 3▶フォルダを選択▶動画／ｉモーションにカーソルを合わせてMENU▶4 2**

- テロップ（テキスト）が含まれるデータを切り出すと、テロップ（テキスト）は削除されます。

2 **切り出すサイズを入力**

- 500Kバイトより大きいファイルのときは、MENUを押して「メール添付用（小）」を選択すると500が、2048Kバイトのファイルのときは、MENUを押して「メール添付用（大）」を選択すると2047が入力できます。

3 **表示名を入力（36文字以内）▶□**

再生する：A/a
メールに添付する：✉

動作設定

動画／ｉモーションの動作条件を設定する

- お買い上げ時は一覧の画像表示が「あり」、表示画像の拡縮が「なし」、リピート再生が「ON」、照明設定が「常灯」、音量が「レベル20」に設定されています。

1 **MENU▶5 3▶MENU▶4▶各項目を設定▶□**

一覧の画像表示：画像一覧でサムネイル表示にするかどうかを設定します。
表示画像の拡縮：画像の縦横比を保持したまま表示領域いっぱいに拡大または縮小表示するかどうかを設定します。
リピート再生：プレイリスト再生時にリピート再生するかどうかを設定します。
照明設定：再生中の照明の動作を設定します。「端末設定に従う」にすると、ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（通常時）に従います。
- ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（ｉモーション）にも反映されます。

音量：再生時の音量を設定します。

✔**お知らせ**

- 動画／ｉモーション一覧からの操作：MENU→「動作設定」

コンテンツ移行対応

動画／ｉモーションをmicroSDメモリーカードに移動する

◆FOMA端末のコンテンツ移行対応のデータをmicroSDメモリーカードに移動する

サイトから取得した著作権のあるｉモーションのうち、コンテンツ移行対応のｉモーションをmicroSDメモリーカードに移動します。コピーはできません。

- 音楽データをオススメ着信音に設定してFOMA端末に保存したｉモーションも、コンテンツ移行対応のｉモーションになります。
- コンテンツ移行対応のｉモーションは、詳細情報の「microSDへの移動」が「可」または「可（同一機種間）」になっている場合だけ、microSDメモリーカードに移動できます。

1 MENU▶5 3▶「ｉモード」フォルダを選択▶ｉモーションにカーソルを合わせてMENU▶5 4

2 1～3

複数移動する：2▶ｉモーションを選択▶□

3 移動先のフォルダにカーソルを合わせて□▶「はい」

- 複数移動または全件移動の場合は、続けて移動の確認画面が表示されます。
- 移動先の選択画面で□を押すとホームフォルダに移動できます。

✔お知らせ

- 作成したフォルダに移動した場合、他のFOMA端末で確認できないことがあります。
- データの移動中にmicroSDメモリーカードを取り外したり、電源を切ったりしないでください。microSDメモリーカード内のすべてのコンテンツ移行対応データが利用できなくなる場合があります。
- 「複数移動」や「全件移動」を選択して、コンテンツ移行対応以外のｉモーションも一緒にmicroSDメモリーカードに移動した場合、コンテンツ移行対応以外のｉモーションは、microSDメモリーカードの「動画」または「その他の動画」フォルダに保存されます。

❖コンテンツ移行対応のデータをFOMA端末またはフォルダに移動する

microSDメモリーカードに保存したコンテンツ移行対応のｉモーションを、FOMA端末またはmicroSDメモリーカードの他のフォルダに移動します。

1 MENU▶6 5 1 5▶フォルダを選択▶ｉモーションにカーソルを合わせてMENU▶3▶1または2

2 1～3

複数移動する：2▶ｉモーションを選択▶□

3 「はい」

ｉモーションの「ｉモード」フォルダに保存されます。

本体に全件移動する：認証操作▶「はい」

フォルダに移動する：フォルダにカーソルを合わせて□▶「はい」

- 移動先の選択画面で□を押すとホームフォルダに移動できます。

✔お知らせ

- microSDメモリーカード内のコンテンツ移行対応のｉモーションは、サイトからダウンロードしたり、FOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動したときと同じFOMAカードを挿入しているとき（ｉモーションによっては、さらに同一機種であるとき）のみ移動できます。

キャラ電を表示する

キャラ電とは、テレビ電話利用時に画面に表示させるキャラクタのことです。テレビ電話中はダイヤルキーを押してキャラクタを動かせます。また、待受画面に設定して不在着信があるときなどにアクションさせるように設定できます。

- テレビ電話中にキャラ電を利用する→P80

1 **MENU▶5 5▶フォルダを選択**

- フォルダの内容は次のとおりです。
  iモード：サイトからダウンロードしたキャラ電
  プリインストール：お買い上げ時に登録されているキャラ電
  マイフォルダ：他のフォルダから移動したキャラ電
  - フォルダを追加すると表示されます。→P300

2 **キャラ電にカーソルを合わせる**

キャラ電の表示名とキャラ電の詳細を示すマークが表示されます。

① 取得元
：プリインストール　：iモード

② ファイル制限
（グレー）：ファイル制限あり

テレビ電話をかける：**▶電話番号を入力するか📖を押して電話帳から選択▶**

- 電話番号を入力してMENUを押すと、条件を設定して電話をかけられます。→P69

テレビ電話代替画像に設定する：✉

待受画面に設定する：

① MENU▶3▶各項目を設定▶📖

- 「全体アクション」「パーツアクション」を選択した場合は、アクション一覧からアクションが選択できます。ただし、キャラ電によっては選択できません。
- 「直接入力」を選択した場合は、入力欄に数字を入力してアクションを指定します。
- 不在着信や未読メールにアクションを設定した場合に、不在着信や未読メールがないときは、通常に設定したアクションが動作します。両方を設定していて不在着信と未読メールがあるときは、両方のアクションを交互に繰り返しますが、アクション間隔を「OFF」にしている場合は、不在着信のアクションが1回だけ動作します。
- アクション間隔を「OFF」にすると、1回だけアクションが動作します。

②「はい（等倍表示）」または「はい（拡大表示）」

- iアプリ待受画面が設定されているときは、続けてiアプリ待受画面解除の確認画面が表示されます。

3 **■**

：拡大／等倍表示
1～9：対応するアクションの実行
0：アクションの中止
✉：アクション一覧の表示
✉（1秒以上）：全体アクションとパーツアクションの切り替え

- 現在のアクション種別は、画面の左下に次のアイコンで表示されます。
  Action：全体アクション　Parts：パーツアクション

動作設定

キャラ電の動作条件を設定する

- お買い上げ時は表示サイズが「拡大」、照明設定が「端末設定に従う」に設定されています。

1 MENU ▶ 5 5 ▶ MENU ▶ 4 ▶ **各項目を設定** ▶ 📖

表示サイズ：拡大表示するかどうかを設定します。
照明設定：再生中の照明の動作を設定します。「端末設定に従う」にすると、ディスプレイの照明設定の点灯時間設定（通常時）に従います。

メロディを再生する

- FOMA端末では、SMF形式やMFi形式のメロディを再生できます。

1 MENU ▶ 5 4 ▶ **フォルダを選択**

- フォルダの内容は次のとおりです。
  iモード：サイトやiモードメールから取得したメロディ
  プリインストール：お買い上げ時に登録されている着信音用メロディ→P411
  メール添付メロディ：お買い上げ時に登録されているメール添付用メロディ→P411
  データ交換：バーコードリーダーで読み取ったメロディやmicroSDメモリーカードから移動またはコピーしたメロディ、外部機器から取り込んだメロディ
  マイアルバム：他のフォルダから移動したメロディ
  - アルバムを追加すると表示されます。→P300

microSDメモリーカードの一覧に切り替える：**フォルダ一覧で** A/a

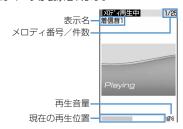
2 **メロディにカーソルを合わせる**

メロディの表示名と詳細を示すマークが表示されます。

① **取得元**
♪：プリインストール、メール添付メロディ
i：iモード、メール　⟳：データ交換
② **ファイルの種類**
MFi：MFi　SMF：SMF
③ **ファイル制限**
➡（グレー）／➡（青）：ファイル制限あり／なし

メールに添付する：✉

3 ■

メロディ再生画面では、再生しているメロディの表示名や再生位置、音量を示すマークが表示されます。

- 再生中は次の操作ができます。
  ◀▶：音量調整
  ▲▼：前後のメロディ再生
  ■、CLR：停止

◆メロディを着信音に設定する

- 「メール添付メロディ」フォルダのメロディは着信音に設定できません。

1 **MENU▶5 4▶フォルダを選択▶設定するメロディにカーソルを合わせてMENU▶2▶1～8**

- 「メモリ指定電話着信音」または「メモリ指定メール着信音」を選択したときは、電話帳一覧で電話帳データを選択→田を押します。

動作設定

メロディの動作条件を設定する

- お買い上げ時は音量が「レベル4」、イルミネーションパターンが「イルミパターン1」、イルミネーションカラーが「メロン」、バイブレータが「OFF」、再生位置が「フルコーラス再生」、再生画面背景が「標準」に設定されています。

1 **MENU▶5 4▶MENU▶5▶各項目を設定▶田**

- イルミネーションパターンを「メロディ連動」にすると、イルミネーションカラーは「レインボー」で動作します。また、「メロディ連動」に対応していないメロディがあります。
- 再生位置を「ポイント再生」にすると、メロディの一部分が再生されます。ただし、「ポイント再生」に対応していないメロディがあります。
- 再生画面背景を「選択」にすると、画像フォルダに保存されている画像を選択できます。

✔お知らせ

- メロディ一覧およびメロディ再生画面からの操作：MENU→「動作設定」

microSDメモリーカードについて

撮影した静止画や動画、メロディなどのデータをmicroSDメモリーカードに保存したり、電話帳やスケジュールなどのデータをバックアップしたりできます。また、外部機器で作成した動画をmicroSDメモリーカードに保存してFOMA端末で再生したり（→P435）、FOMA端末内のmicroSDメモリーカードをドライブとして認識させ、パソコンからデータを操作したりできます（→P299）。

- 別途microSDメモリーカードが必要です。お持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- 初期化されていないmicroSDメモリーカードは、FOMA端末で初期化してから使用してください（→P298）。なお、初期化を中断したmicroSDメモリーカードの動作は保証できません。
- microSDメモリーカードは、SDメモリーカード規格に準拠したフォーマット（FAT12／FAT16）でお使いください。FAT32のフォーマットで初期化した場合は正常に動作しないことがあります。FAT以外のフォーマットで初期化されたmicroSDメモリーカードは、FOMA端末で利用できません。
- microSDメモリーカード内のデータは、コンテンツ移行対応のｉモーションを除き、待受画面や着信音、着信画像などに設定できません。

- F705iでは2GバイトまでのmicroSDメモリーカードに対応しています（2007年12月現在）。microSDメモリーカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については次のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDメモリーカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  - ｉモードから
  「@Fケータイ応援団」（2007年12月現在）
  ｉMenu → メニュー／検索→ ケータイ電話メーカー→ @Fケータイ応援団

  サイトアクセス用QRコード

※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。
  - パソコンから
  FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→microSD対応状況
  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

◆microSDメモリーカード使用時の留意事項

- データの保存中や削除中、使用状況確認中、初期化中は、microSDメモリーカードを取り外したり、電源を切ったり、衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる場合があります。
- microSDメモリーカードを取り付けているFOMA端末に落下などの強い衝撃を与えないでください。microSDメモリーカードが飛び出す場合があります。
- microSDメモリーカードにラベルやシールを貼らないでください。
- データのコピー中、移動中、削除中やmicroSDメモリーカードの初期化中、情報更新中はディスプレイ上部に が表示され、データ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。また、MULTIを押して他の機能に切り替えることもできません。
- パソコンなど他の機器で書き込み保護されたmicroSDメモリーカードは、データの保存、削除、初期化などができません。
- パソコンなど他の機器からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。
- microSDメモリーカードによっては、保存した動画に乱れが発生する場合があります。
- microSDメモリーカードに保存されたデータは、バックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いします。万一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◆microSDメモリーカードのフォルダ構成

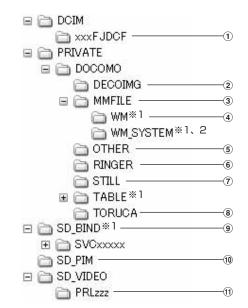
■FOMA端末で表示したとき（MENU▶6 5）

フォルダごとに保存されるデータと最大保存件数は次のとおりです。保存件数はmicroSDメモリーカードの容量により少なくなります。

① **マイピクチャ（9999件まで保存可能）**
  カメラで撮影した静止画、DCF規格のJPEG、GIF
  その他の画像（9999件まで保存可能）
  DCF規格外のJPEG、GIFアニメーション
  デコメ絵文字（9999件まで保存可能）
  動画（4095件まで保存可能）
  動画／ｉモーション
  動画（1000件まで保存可能）
  コンテンツ移行対応のｉモーション
  その他の動画（9999件まで保存可能）
  音声のみの動画／ｉモーション

メロディ（9999件まで保存可能）
ミュージック（着うたフル®は1000件まで、WMAファイルは500件まで保存可能）
② 電話帳／スケジュール／受信メール／未送信メール／送信メール／メモ／Bookmark（合計で9999件まで保存可能）
③ トルカ（999件まで保存可能）
④ iアプリのデータ（1200件まで保存可能）
⑤ 上記以外のデータ（999件まで保存可能）

■ パソコンなどに挿入して表示したとき

FOMA端末からmicroSDメモリーカードにデータを移動またはコピーしたときや、カメラで撮影した静止画や動画を直接microSDメモリーカードに保存したときなどは、そのファイルに対応したフォルダがmicroSDメモリーカードに自動的に作成されます。フォルダ構成と保存されるファイル形式は次のとおりです。
パソコンなどからmicroSDメモリーカードにデータを保存するときは、次のファイル形式、ファイル名で決められたフォルダに保存し、情報更新を行ってください。→P298
また、ミュージックプレーヤーのファイル（WMAファイル）はWindows Media Playerを使用して保存してください。情報更新は必要ありません。→P315

※1 このフォルダにあるファイルは、削除したりファイル名を変えたりしないでください。FOMA端末でデータを正しく表示、再生できなくなります。
※2 このフォルダは隠しフォルダです。パソコンの設定によっては表示されません。

① マイピクチャ（aaaaxxxx.JPG/GIF）
② デコメ絵文字（DIMGxxxx.JPG/GIF）
③ その他の動画（MMFxxxx.3GP/ASF/MP4）
- AAC形式の音楽データを保存できます。

④ ミュージックプレーヤー（xxxx.WMA）

⑤ その他（OTHERxxx.yyy）
⑥ メロディ（RINGxxxx.MID/MLD/SMF）
⑦ その他の画像（STILxxxx.JPG/GIF）
⑧ トルカ（TORUCxxx.TRC）
⑨ コンテンツ移行対応のデータ（aaaaaaaa.SB1/SB2）
  - コンテンツ移行対応のデータは、パソコンでは表示、再生できません。

⑩ PIMの各フォルダ（PIMxxxxx.VBM/VCF/VCS/VMG/VNT）
⑪ 動画（MOLzzz.3GP/ASF/MP4）
  - 拡張子が「3GP」「MP4」のファイルはMP4形式として扱われます。

- フォルダ名とファイル名の規則は次のとおりです。使用する文字はすべて半角です。
  「xxx」001～999（「xxxFJDCF」のみ100～999）
  「xxxx」0001～9999
  「xxxxx」00001～65535
  「zzz」001～FFF（16進数）
  「a」A～Z（大文字）、0～9、_（アンダーバー）

✔お知らせ

- パソコンなどでmicroSDメモリーカード内のフォルダ名を変更したり削除したりすると、FOMA端末でデータを正しく表示できなくなります。

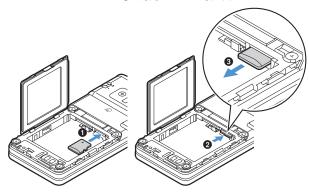
◆ microSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

- 必ず電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください。
  電池パックの取り外しかた→P49
- microSDメモリーカードスロットには、microSDメモリーカード以外は挿入しないでください。また、傷や変形、ゴミの付着などがあるmicroSDメモリーカードは取り付けないでください。故障の原因となる場合があります。
- microSDメモリーカードは正しく取り付けてください。完全に挿入しないで電池パックを取り付けると、microSDメモリーカードを破損するおそれがあります。また、正しく取り付けていない状態では、データのコピーやバックアップなどの操作ができません。
- microSDメモリーカードの金属端子部分に触れないようにご注意ください。
- 取り付け／取り外しを行うときに、microSDメモリーカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

■ 取り付けかた

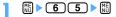
microSDメモリーカードの印字面を上にしてスロットにゆっくり差し込み（❶）、「カチッ」と音がするまでさらに差し込みます。

■ 取り外しかた

microSDメモリーカードの中央を❷の方向に軽く押し、飛び出したmicroSDメモリーカードを❸の方向にまっすぐ引き出します。

FOMA端末とmicroSDメモリーカードの間でデータをやりとりする

- 次のデータは移動またはコピーができます。
  - 画像（パラパラマンガを除く）、デコメ絵文字、動画／ｉモーション、メロディ、トルカ（詳細含む）
- 次のデータはコピーとバックアップ／復元ができます。
  - 電話帳、スケジュール、メール、メモ、ブックマーク
- ミュージックの音楽データの移動→P320
- microSDメモリーカードの使用状況で空き領域を確認してから操作してください。空き領域が少ない場合、データが保存できないことがあります。

◆microSDメモリーカードの使用状況を確認する

1

✔お知らせ

- 実際に使用できるmicroSDメモリーカードの容量は、表示される空き領域の容量より少なくなります。
- 使用領域にはFOMA端末で認識できないデータの容量も含まれます。

◆FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードに移動／コピーする

- FOMA端末外への出力が禁止されているデータ（自端末でファイル制限を「あり」に設定したデータや「データ交換」フォルダ内のデータを除く）は移動やコピーできません。
- 電話帳をコピーしても、登録されている動画はコピーされません。また、登録されている静止画はコピーされますが、FOMA端末以外では表示できません。
- スケジュールをコピーしても、メンバーリストやイメージ（画像）はコピーされません。
- コンテンツ移行対応の動画／ｉモーションは移動のみ可能です。→P286

〈例〉画像を移動／コピーする

1 **MENU▶5 1▶フォルダを選択▶画像にカーソルを合わせてMENU▶5▶4または5**

2 **1～3▶「はい」**

複数移動／コピーする：**2▶画像を選択▶**

◆FOMA端末のデータをmicroSDメモリーカードにバックアップする

- 電話帳に登録されている動画はバックアップできません。また、静止画はバックアップできますが、表示できません。

〈例〉PIMデータをバックアップする

1 **MENU▶6 5 2▶1～7▶MENU▶1 4▶認証操作▶「はい」**

選択したデータが1つにまとめられてmicroSDメモリーカードにバックアップされます。

- 電話帳データをバックアップすると、プロフィール情報のデータもバックアップされます。
- ■を押してバックアップを中止すると、途中までバックアップしたデータは破棄されます。

✔お知らせ

- 添付ファイルを含めたメールサイズが100Kバイトを超える場合は、microSDメモリーカードにはメール本文のみコピーされます。また、添付ファイルが複数ある場合は、100Kバイトを超えた分のファイルはコピーされません。
- 保護したｉモードメールをmicroSDメモリーカードにコピーしたりバックアップしたりすると、保護は解除されます。
- シークレット属性を設定した電話帳グループのデータをバックアップすると、グループのシークレット属性が解除され、グループ内の各電話帳データにシークレット属性が設定されます。

- マイピクチャ、ｉモーション、メロディ内のデータをmicroSDメモリーカードに移動またはコピーすると、ファイル名がパソコンでデータを保存するときの決まりに従って変更されます。→P291
- 静止画をFOMA端末本体からmicroSDメモリーカードに移動またはコピーすると、microSDメモリーカード側で表示される実メモリサイズがFOMA端末で表示される実メモリサイズより大きくなることがあります。この場合、microSDメモリーカード側で表示される実メモリサイズが実際のサイズになります。
- 電話帳一覧からの操作：MENU→「データバックアップ」→「microSDへコピー」または「microSDへバックアップ」
- スケジュールのデイリービュー画面からの操作：MENU→「赤外線／iC／microSD」→「microSDへコピー」または「microSDへバックアップ」
- ブックマーク一覧からの操作：MENU→「移動／microSD」→「microSDへコピー」→「1件コピー」または「バックアップ」
- メール一覧からの操作：MENU→「移動／コピー」→「microSDへコピー」→「1件コピー」または「バックアップ」
- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、トルカ一覧からの操作：MENU→「移動／コピー」→「microSDへ移動」または「microSDへコピー」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」「1件コピー」「複数コピー」「全件コピー」のいずれかを選択します。
- メモ一覧からの操作：MENU→「赤外線／iC／microSD」→「microSDへコピー」または「microSDへバックアップ」
- メモ帳参照からの操作：MENU→「赤外線／iC／microSD」→「microSDへコピー」

◆microSDメモリーカードのデータをFOMA端末に移動／コピーする

- 最大保存件数→P458

❖マルチメディアデータを移動／コピーする

- コンテンツ移行対応の動画／ｉモーションは移動のみ可能です。→P286

1 MENU▶6 5 1▶1～4、6または7▶フォルダを選択▶データにカーソルを合わせてMENU▶3

2 1～6

複数移動／コピーする：2または5▶データを選択▶□

3 「はい」

マイピクチャ、ｉモーション、メロディの「データ交換」フォルダに保存されます。

❖PIMデータをコピーする

- バックアップデータはFOMA端末にコピーできません。

1 MENU▶6 5 2▶1～7

2 データにカーソルを合わせてMENU▶1 1▶「はい」

❖ トルカを移動／コピーする

1 [MENU]▶[6][5][3]▶フォルダを選択▶データにカーソルを合わせて[MENU]▶[2]

2 [1]〜[6]

複数移動／コピーする：[2]または[5]▶データを選択▶[田]

3 「はい」

トルカの「トルカフォルダ」に保存されます。

◆ microSDメモリーカードのバックアップデータを復元する

- 復元の方法には、新しいデータとして保存する追加復元と、現在のデータを消去して保存する上書き復元があります。上書き復元を行う場合はデータの消去にご注意ください。
- 電話帳のグループの並び順は、復元してもバックアップしたときの並び順に戻らない場合があります。

〈例〉PIMデータを復元する

1 [MENU]▶[6][5][2]▶[1]〜[7]

2 バックアップデータにカーソルを合わせて[MENU]▶[1]▶[2]または[3]

- バックアップデータには次のマークが表示されます。また、ファイル名にはバックアップした日時が付けられています。

  ：電話帳　：スケジュール　：メール　：メモ

  ：ブックマーク

3 認証操作▶「はい」

- [■]を押して復元を中止しても、その時点までに処理されたデータは復元されます。

microSDメモリーカードのデータを表示する

- 他の機器でmicroSDメモリーカードのデータを変更、追加、削除したことによってFOMA端末でデータを正しく表示できなくなったときは、情報を更新してください。→P298
- マルチメディアのデータの一覧画面では、[A/a]を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります（メロディを除く）。
- マルチメディアやトルカのフォルダ一覧画面では、[A/a]を押すとFOMA端末のフォルダ一覧に切り替えられます。
- データの一覧画面で[田]を押すと、ページを指定してジャンプできます。ページ番号を入力しないで[■]を押すと1ページにジャンプします。
- データの一覧画面でメール添付可能なデータにカーソルを合わせて[✉]を押すと、カーソル位置のデータを添付したメールが作成できます。添付できるファイルについて→P198

◆ マルチメディアデータを表示する

- ミュージックの音楽データの再生→P318

1 [MENU]▶[6][5][1]▶[1]〜[4]、[6]または[7]▶フォルダを選択

2 データにカーソルを合わせる

データを検索する：[MENU]▶[5]▶日付を入力▶[田]

動画／ｉモーションを連続再生する：[MENU]▶[6]

- 連続再生中は次の操作ができます。

  [A/a]／[✉]：前後の動画再生

  [■]：一時停止／再生

  [◎]：音量調整

  [田]：連続再生停止

3 ■

画像表示中の操作→P273「画像を表示する」操作3
動画／ｉモーション再生中の操作→P280「動画／ｉモーションを再生する」操作3
メロディ再生中の操作→P288「メロディを再生する」操作3

「マイピクチャ」「その他の画像」「デコメ絵文字」フォルダの画像の表示名の表示／非表示を切り替える：📖

◆コンテンツ移行対応のｉモーションを表示する

1 MENU ▶ 6 5 1 5 ▶ フォルダを選択

ルートフォルダ一覧画面

サブフォルダ一覧画面

① **フォルダとデータ**

(ピンク）／(ピンク)：初期フォルダ／ホームフォルダに設定した初期フォルダ

- 初めて「動画」フォルダを表示したときに作成されます。フォルダ名は変更できます。

(水色）／(水色)：通常フォルダ／ホームフォルダに設定した通常フォルダ

：データ

② **フォルダ名**

- 「動画」はルートフォルダです。

ホームフォルダに設定する：**フォルダにカーソルを合わせて📖 ▶「はい」**

ホームフォルダに移動する：✉

2 **データを選択**

待受画面に設定する：**データにカーソルを合わせて MENU ▶ 1 1 ▶「はい」**

着信音に設定する：**データにカーソルを合わせて MENU ▶ 1 2 ▶ 1 ～ 8 ▶「はい」**

- 「メモリ指定電話着信音」または「メモリ指定メール着信音」を選択したときは、電話帳一覧で電話帳データを選択→「はい」を選択します。

着信画像に設定する：**データにカーソルを合わせて MENU ▶ 1 3 ▶ 1 ～ 3 ▶「はい」**

✔お知らせ

- 通話中、ｉモード接続中、データ通信中などでデータ転送モードに移行できない場合は、再生、移動、削除、動画の利用などの操作はできません。
- microSDメモリーカードを利用するｉアプリを待受画面に設定している場合、microSDメモリーカードに保存したコンテンツ移行対応のｉモーションの再生や移動ができないことがあります。
- microSDメモリーカード内のコンテンツ移行対応のｉモーションは、サイトからダウンロードしたり、FOMA端末からmicroSDメモリーカードに移動したときと同じFOMAカードを挿入しているとき（ｉモーションによっては、さらに同一機種であるとき）のみ再生できます。

◆PIMデータを表示する

1 MENU ▶ 6 5 2 ▶ 1 ～ 7

- マークの意味は次のとおりです。

：電話帳　：スケジュール　：メール　：メモ
：ブックマーク

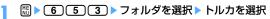
※ バックアップデータのマークは、マークが後ろに重なったデザインで表示されます。

2 **データを選択**

バックアップデータを表示する：**バックアップデータを選択▶データを選択**
データを検索する：**MENU▶3▶日付を入力▶📖**

✔お知らせ
- microSDメモリーカードに保存されているスケジュールは、設定した日時になってもアラームは鳴りません。
- 電話帳の詳細画面のサブメニューから、画像／名前表示切替や基本情報の確認ができます。
- メールの詳細画面のサブメニューから、文字サイズの変更、メールアドレスの電話帳新規登録や更新登録、添付データの表示／非表示やタイトル確認ができます。また、受信メールの場合は、返信や転送もできます。
- ブックマークの詳細画面のサブメニューから、URLのコピー、電話帳新規登録や更新登録ができます。

◆ トルカを表示する

1 **MENU▶6 5 3▶フォルダを選択▶トルカを選択**

✔お知らせ
- microSDメモリーカードに保存されているトルカから詳細情報はダウンロードできません。

◆ ｉアプリのデータを表示する

1 **MENU▶6 5 4▶データを選択**

詳細画面には、利用の可否、利用できない理由、プロバイダ（特定のプロバイダが提供する複数のｉアプリから利用できる場合）、ソフト（データを利用するｉアプリがFOMA端末に保存されている場合）の各項目が表示されます。データによっては表示されない項目があります。
- 利用できない理由の意味は次のとおりです。
  - ソフト動作制限　あり：データを利用するｉアプリが存在しません。該当するｉアプリをもう一度ダウンロードすることで利用できることがあります。ただし、「FOMAカード（UIM）動作制限」「機種制限」「シリーズ制限」のいずれかが「あり」と表示されているときは、ｉアプリをダウンロードしても利用できないことがあります。
  - FOMAカード（UIM）動作制限　あり：データは他のFOMAカード（UIM）で利用されている可能性があります。
  - 機種制限　あり：データは他の機種によって利用されている可能性があります。
  - シリーズ制限　あり：データはF705iシリーズ以外のシリーズで利用されている可能性があります。

microSDメモリーカードを管理する

◆microSDメモリーカードを初期化する

新しく購入したmicroSDメモリーカードをFOMA端末で使用するときや、すべてのデータを削除するときに初期化します。

- microSDメモリーカードの状態によっては、初期化できない場合があります。

1 MENU▶6 5▶📖▶**「簡易初期化」または「完全初期化」**

簡易初期化：データ管理領域のみを初期化します。必要最小限の処理を行うことで、初期化の時間を短縮する方法です。保存されているデータはすべて消去されます。microSDメモリーカードが一度初期化済みで、microSDメモリーカードに問題がない場合のみ実行してください。

完全初期化：データ管理領域とデータ領域の両方を初期化します。新しく購入したmicroSDメモリーカードを初期化するときなどに実行してください。

2 **認証操作▶「はい」**

◆microSDメモリーカードの情報を更新する

他の機器でmicroSDメモリーカード内のデータを変更、追加、削除したことによってFOMA端末でデータを正しく表示できなくなったときに実行します。

- 情報更新を行うとデータの表示名が次のように変更されます。
  - 「マイピクチャ」「その他の画像」「デコメ絵文字」のデータは、ファイル名と同じ名称に変更されます。
  - 「メロディ」「動画」「その他の動画」「トルカ」のデータは、タイトル名と同じ名称に変更されます。タイトル名が存在しないときはファイル名と同じ名称（トルカの場合は「無題」）に変更されます。
  - 「その他」のデータは、ファイル名に拡張子を追加した名称に変更されます。
- 「動画」フォルダ内に音声のみの動画／ｉモーションが保存されている場合に情報更新を行うと、音声のみの動画／ｉモーションは一覧に表示されなくなります。情報更新を行う前に「動画」内の音声のみの動画／ｉモーションをFOMA端末本体に移動するか、またはパソコンなどでmicroSDメモリーカードのPRIVATE￥DOCOMO￥MMFILEの直下、あるいはMMFILE内のMUDxxx（xxxは001～999）にファイル名を変更して保存しておくことをおすすめします。

1 MENU▶6 5▶A/a▶**データの種類を選択**▶📖▶**「はい」**

✔お知らせ

- 「動画🔑」「ミュージック」「ｉアプリのデータ」のデータは情報更新できません。
- microSDメモリーカードに保存されているデータが多い場合は、情報更新に時間がかかります。
- 他の機器でmicroSDメモリーカードにデータを保存した場合、FOMA端末で管理情報を作成するために必要な空き容量が不足し、microSDメモリーカードに保存したデータがFOMA端末で正しく表示できなくなることがあります。

◆microSDメモリーカードを修復する〈カードチェック〉

- microSDメモリーカードの状態により、修復できない場合があります。

1 MENU▶6 5▶✉▶**「はい」**

USBモード設定

パソコンからFOMA端末のmicroSDメモリーカードのデータを操作する

別売りのFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01またはFOMA USB接続ケーブルでパソコンと接続し、FOMA端末内のmicroSDメモリーカードのデータを操作する場合に設定します。

- Windows 2000、Windows XP、Windows Vistaに対応しています。
  MTPモードの場合→P315「WMAファイルを保存する」

1 MENU ▶ 6 2 6

2 2 または 3

microSDモード：FOMA端末内のmicroSDメモリーカードをドライブとして認識させ、パソコンからデータを操作するときに設定します。

MTPモード：Windows Media PlayerでmicroSDメモリーカードに音楽データを転送するときに設定します。

通信モードにする：1

- パソコンと接続したパケット通信や64Kデータ通信、データ転送をするときに設定します。

3 「はい」

待受画面に次のアイコンが表示されます。

：microSDモード中　：MTPモード中

※ microSDメモリーカードが挿入されていないときはグレーで表示されます。

◆パソコンとの接続について

パソコンとの接続方法については、付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。なお、「microSDモード」「MTPモード」で利用する場合は、「パソコン接続マニュアル」にあるFOMA通信設定ファイルのインストールは不要です。

- パソコンとFOMA端末が接続されると、待受画面に が表示されます。■を押して を選択すると、USBモード設定の画面を表示できます。このとき、パソコンでFOMA端末を接続すると自動的にデータ通信を行うように設定している場合は、「通信モード」以外に設定できないことがあります。
- microSDモード中またはMTPモード中は、約6秒間隔でランプが青色で点滅します。
- 通信モード中にドコモケータイdatalinkを使ってデータ転送を行っている場合は、ディスプレイ上部に が表示され、データ転送モード中（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。また、MULTIを押して他の機能に切り替えることもできません。

✔お知らせ

- USBケーブルを無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
- microSDモード中にパソコンからUSBケーブルを取り外すときは、パソコンの画面右下のタスクトレイの をクリックして、「USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ（E:）※1を安全に取り外します※2」をクリックし、「'USB大容量記憶装置デバイス'は安全に取り外すことができます。」が表示されることを確認してください。
  ※1　ドライブに割り当てられる文字はパソコンのシステムによって異なります。
  ※2　Windows 2000の場合は「停止します」と表示されます。
- データ転送中にUSBケーブルを外さないでください。誤動作やデータ消失の原因となります。

- microSDモード中またはMTPモード中に接続しても、次の場合はパソコンがFOMA端末を認識しないことがあります。
  - LifeKitの「microSD」を起動しているとき
  - FOMA端末本体のデータをmicroSDメモリーカードに移動／コピーしているとき
  - 静止画撮影、動画撮影、サウンドレコーダーが動作しているとき
  - ダウンロードしたｉモーションなどを直接microSDメモリーカードに保存しているとき
  - ミュージックプレーヤーを起動しているとき

フォルダやアルバムを利用する

フォルダ一覧にフォルダやアルバムを追加して、データの整理などに利用します。

- 一覧によって、アルバムと表示される場合とフォルダと表示される場合があります。
- お買い上げ時に登録されている固定フォルダは、名前の変更や削除ができません。

◆フォルダやアルバムを追加する

- FOMA端末のデータBOXのキャラ電ときせかえツールにフォルダを、マイピクチャ、ｉモーション、メロディにアルバムを追加できます。
- microSDメモリーカードのマルチメディアの「動画」にフォルダが作成できます。
- microSDメモリーカードの「動画」は最大1000個、FOMA端末のデータBOXのマイピクチャは最大100個、それ以外はデータの種類ごとに最大10個ずつ追加できます。

〈例〉マイピクチャのアルバムを追加する

1 MENU ▶ 5 1

2 MENU ▶ 1

- メロディの一覧画面ではサブメニューの項目番号が異なります。「アルバム追加」を選択してください。

アルバムを削除する：**アルバムにカーソルを合わせてMENU ▶ 2 ▶「はい」**
- データが保存されているときは認証操作を行います。
- メロディの一覧画面ではサブメニューの項目番号が異なります。「アルバム削除」を選択してください。

アルバム名を変更する：**アルバムにカーソルを合わせてMENU ▶ 3**
- メロディの一覧画面ではサブメニューの項目番号が異なります。「アルバム名変更」を選択してください。

3 アルバム名を入力（全角10（半角20）文字以内）▶ 田

✔お知らせ

- microSDメモリーカードの「動画」でフォルダを削除すると、次のように動作します。
  - 初期フォルダを削除すると、初期フォルダのサブフォルダとデータだけが削除されます。
  - ホームフォルダに設定されているフォルダを削除すると、初期フォルダがホームフォルダに設定されます。
  - 削除しようとしたフォルダ内に、コンテンツ移行対応のｉモーション以外の無効なファイル（一覧画面に表示されないファイル）が存在すると、フォルダ内のコンテンツ移行対応のｉモーションは削除されますが、フォルダは削除されません。この場合、microSDメモリーカードをパソコンなどから操作して、無効なファイルが格納されていない状態にしてから、もう一度フォルダを削除してください。

◆データをフォルダやアルバムに移動／コピーする

❖データを移動する

- 「プリインストール」「デコメ絵文字」「メール添付メロディ」フォルダに保存されているデータは移動できません。

〈例〉マイピクチャのデータを移動する

1. MENU▶5 1▶フォルダを選択
2. データにカーソルを合わせてMENU▶5 1
   - メロディ、きせかえツールの一覧画面ではサブメニューの項目番号が異なります。メロディの場合は「移動／コピー」→「アルバムへ移動」を、きせかえツールの場合は「移動」→「フォルダへ移動」を選択してください。
3. 1～3

   複数移動する：2▶データを選択▶📖
4. 移動先のアルバムを選択▶「はい」

❖データを固定フォルダに戻す

- キャラ電のデータ、microSDメモリーカードのデータは、固定フォルダに戻す操作はできません。

〈例〉マイピクチャのアルバムのデータを固定フォルダに戻す

1. MENU▶5 1▶アルバムを選択
2. データにカーソルを合わせてMENU▶5 2
   - メロディ、きせかえツールの一覧画面ではサブメニューの項目番号が異なります。「移動／コピー」（きせかえツールでは「移動」）→「フォルダへ戻す」を選択してください。
3. 1～3

   データを複数戻す：2▶データを選択▶📖
4. 「はい」

✔お知らせ

- 「デコメピクチャ」フォルダで固定フォルダに戻す操作をすると、お買い上げ時に登録されている画像は「ｉモード」フォルダに移動します。

❖データをコピーする

マイピクチャとｉモーションでは、データを同じアルバムまたはフォルダにコピーできます。

- 次のデータはコピーできません。
  - 「プリインストール」フォルダのデータ
  - マイピクチャのパラパラマンガや「アイテム」フォルダの画像
  - 再生制限が設定されているｉモーション
  - ファイル制限が「あり」に設定されているデータ（自端末で「あり」に設定したデータを除く）

〈例〉マイピクチャのデータをコピーする

1. MENU▶5 1▶フォルダを選択
2. データにカーソルを合わせてMENU▶5 3

   コピー元のデータと同じアルバムまたはフォルダ内に保存されます。

✔お知らせ

- アルバム内でコピーしたデータを固定フォルダに戻すと、コピー元のデータが保存されていた固定フォルダに移動します。

◆アルバム再生する

アルバム内のメロディをまとめて再生できます。

1. MENU▶5 4▶アルバムにカーソルを合わせてMENU▶1
   - アルバム再生時は次の操作ができます。

     上下キー：前後のデータ再生

     左右キー：音量調整

     ■、CLR：停止

データの詳細情報を表示／変更する

表示名やファイルサイズなど、データの詳細情報を確認します。また、一部の情報は変更できます。

◆詳細情報を表示する〈詳細情報参照〉

〈例〉画像の詳細情報を表示する

1 MENU▶51▶フォルダを選択

2 画像にカーソルを合わせてMENU▶31
- キャラ電、きせかえツールの一覧画面ではサブメニューの項目番号が異なります。「詳細情報」→「参照」を選択してください。microSDメモリーカードの一覧画面では「詳細情報」→「参照」を選択するか、「詳細情報」を選択します。

✔お知らせ
- microSDメモリーカードに保存されているデータの詳細情報は、FOMA端末で表示する内容と異なる場合があります。

◆詳細情報を変更する〈詳細情報変更〉

〈例〉画像の詳細情報を変更する

1 MENU▶51▶フォルダを選択

2 画像にカーソルを合わせてMENU▶32▶項目を設定▶□
- キャラ電、きせかえツールの一覧画面ではサブメニューの項目番号が異なります。「詳細情報」→「変更」を選択してください。microSDメモリーカードのコンテンツ移行対応のｉモーションの一覧画面でも同様に操作できます。

◆表示項目と変更可否一覧

詳細情報で表示される項目は次のとおりです。

表示名：FOMA端末で表示するタイトル
- メロディは全角25（半角50）文字以内で、それ以外は36文字以内で変更できます。

タイトル：データのオリジナルタイトル
- 設定されていない場合は「---」と表示されます。
- 画像では表示されません。

ファイル名：メール添付時に表示されるファイル名
- 画像、動画／ｉモーション、メロディのみ、半角英数字と「.」「-」「_」で、36文字以内で変更できます。ただし、先頭に「.」は使用できません。

ファイル制限：メールに添付して送信した場合の、受信した相手の携帯電話から他の携帯電話への転送の制限
- 画像、動画／ｉモーション、メロディのみ変更できます。ただし、サイトなどからダウンロードしたデータやASF形式の動画は変更できません。

microSD／本体への移動：FOMA端末本体とmicroSDメモリーカード間の移動の制限

ファイル種別：ファイルの種別
- キャラ電やきせかえツールでは表示されません。また、Flash画像では「---」と表示されます。

表示サイズ：データの表示サイズ
- Flash画像やメロディ、きせかえツールでは表示されません。

実メモリサイズ（バイト）：データの実ファイルサイズ

消費メモリサイズ（バイト）：データの保存に利用するメモリサイズ
- 同じデータでもFOMA端末とmicroSDメモリーカードでは、消費メモリサイズが異なる場合があります。

保存日時：データを保存した日時

取得元：データの取得元

■ 画像とキャラ電で表示される項目

コメント：データの説明など
- 100文字以内で変更できます。

■ 画像で表示される項目
種類：画像の種類
メール添付サイズ（バイト）：メール添付可能なデータの添付時のサイズ
フレーム候補：フレームとして貼り付け可能かどうか
- JPEG画像またはGIF画像のみ変更できます。
- 画像サイズが352×288または240×432より大きい画像、および「アイテム」フォルダの画像と合成した画像は「する」に変更できません。
- 「する」に設定しても、画像は元のフォルダに保存され、「アイテム」フォルダには表示されません。

スタンプ候補：スタンプ画像として貼り付け可能かどうか
- JPEG画像またはGIF画像のみ変更できます。
- 画像サイズが240×432以上の画像、および「アイテム」フォルダの画像と合成した画像は「する」に変更できません。
- 「する」に設定しても、画像は元のフォルダに保存され、「アイテム」フォルダには表示されません。

■ 動画／ｉモーションで表示される項目
作成者：作成者情報
- 自端末で撮影した動画の場合、プロフィール情報の名前が表示されます。名前の登録がない場合は「---」と表示されます。
- 256文字以内で変更できます。

コピーライト：著作者名／公表年月日など
- 256文字以内で変更できます。

説明：データの説明
- 256文字以内で変更できます。

音：音声データの種別
着信音設定：着信音に設定可能かどうか
- コンテンツ移行対応のｉモーションの場合、microSDメモリーカードでは「不可」でも、本体へ移動すると「可」になることがあります。
- 自端末で、品質（動画撮影）を「XQ（最高品質）」以外、撮影種別を「画像+音声」または「音声のみ」で撮影した動画や、その動画から切り出した動画は「可」になります。

着信画面設定：着信画面に設定可能かどうか
- コンテンツ移行対応のｉモーションの場合、microSDメモリーカードでは「不可」でも、本体へ移動すると「可」になることがあります。
- 自端末で撮影種別を「画像のみ」で撮影した画像サイズが320×240以下の動画や、その動画から切り出した動画は「可」になります。

再生制限：再生の制限

■ メロディで表示される項目
再生時間：データの再生時間

データを削除する

- 「プリインストール」（キャラ電を除く）や「メール添付メロディ」フォルダに保存されているデータは削除できません。

〈例〉マイピクチャのデータを1件削除する

1 MENU▶5 1▶フォルダを選択

2 データにカーソルを合わせてMENU▶6 1

複数削除する：MENU▶6 2▶データを選択▶MENU
全件削除する：MENU▶6 3▶認証操作
- メロディ、きせかえツールの一覧画面ではサブメニューの項目番号が異なります。「削除」を選択して操作してください。microSDメモリーカードの一覧画面でも、サブメニューから「削除」を選択して操作できます。

3 「はい」

✔お知らせ
- パラパラマンガを削除すると、パラパラマンガを構成している元の画像も削除されます。

- 待受画面や着信音などに設定しているデータを削除すると、それぞれの設定はお買い上げ時または標準の設定に戻ります。電話帳に設定されているデータを削除すると、着信音や発着信時の画面の設定に従って動作します。
- 既に設定されているきせかえツールを削除すると、そのきせかえツールが対応している項目の設定がお買い上げ時の状態に戻ります。
- お買い上げ時に登録されているデータを削除した場合は、サイトからダウンロードできます。→P411

ソート

データを並べ替える

一覧画面のデータの並び順を変更します。

〈例〉マイピクチャのデータを並べ替える

1 MENU ▶ 5 1 ▶ フォルダを選択

2 MENU ▶ 7 ▶ 各項目を設定 ▶ 📖

- メロディ、きせかえツールの一覧画面ではサブメニューの項目番号が異なります。「ソート」を選択してください。
- 「昇順」に設定した場合の、項目ごとの並び順は次のとおりです。選択できる項目はデータにより異なります。

  表示名：半角数字→半角大文字英字→半角小文字英字→かな→全角カナ→漢字→絵文字→全角数字→全角大文字英字→全角小文字英字→半角カナ

  保存日時：日付・時刻の古い順

  実メモリサイズ：サイズの小さい順

  格納順：アルバムに移動した順

  取得元：プリインストール→ｉモード→フレーム・スタンプ→カメラ→データ交換

✔お知らせ

- 表示名はUnicode順でソートされます。半角記号、全角記号は種類によって並び順が異なります。また、表示名に全角と半角が混在していると50音順と一致しない場合があります。

メモリ確認

FOMA端末の保存容量を確認する

データの種類ごとに、FOMA端末の保存容量や空き容量などを表示します。空き容量を確認してから、データのダウンロードやmicroSDメモリーカードからのコピー／移動を行ってください。

1 MENU ▶ 8 7 6 3 ▶ データの種類にカーソルを合わせる

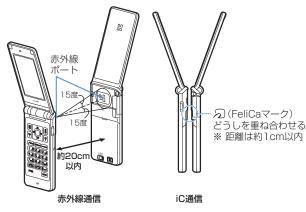
赤外線通信／iC通信について

赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータの送受信をしたり、iC通信機能が搭載された他のFOMA端末とFeliCaマークを重ね合わせてデータの送受信をしたりできます。また、これらの機能に対応したｉアプリを利用することもできます。

❖赤外線通信／iC通信を利用するときの留意事項

- パソコンと接続したパケット通信、64Kデータ通信、データ転送は同時に使用できません。
- 赤外線通信中、iC通信中やINBOX操作中は、ディスプレイ上部に 🔄 が表示され、データ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード、データ通信などはできません。また、MULTI を押して他の機能に切り替えることもできません。
- FOMA端末の赤外線通信機能はIrMC1.1に準拠しています。ただし、相手の端末がIrMC1.1に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。

◆赤外線通信／iC通信を行うには

- 赤外線通信の通信距離は約20cm以内にしてください。また、データの送受信が終わるまで、FOMA端末を相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
- 赤外線放射角度は中心から15度以内です。
- iC通信時は、送信側と受信側のFeliCaマークを約1cm以内に重ね合わせてください。また、データの送受信が終わるまで重ねたまま動かさないでください。

赤外線通信　　iC通信

✔お知らせ

- iC通信でFeliCaマークを重ね合わせるとき、FOMA端末に強い衝撃を与えないでください。
- iC通信でFeliCaマークどうしを重ね合わせても通信が開始されない場合は、重ねる位置を5～10mm程度ずらしてください。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下などでは、赤外線通信を正常にできない場合があります。
- 相手側のFOMA端末によっては、データの送受信がしにくい場合があります。

赤外線送信／iC送信

赤外線通信／iC通信を使ってデータを送信する

データを1件ずつ送信する方法と、データの種別ごとにまとめて送信する方法があります。

- 送信できるデータは次のとおりです。

データの種類	留意事項
電話帳／プロフィール	• 相手の端末によっては、画像が送信されない場合があります。 • 全件送信ではプロフィール情報も送信されます。また、電話帳グループのシークレット属性は解除され、各電話帳データにシークレット属性が設定されて送信されます。 • データ送受信設定の電話帳の画像送信が「あり」のときは、電話帳の画像も送信されます。
スケジュール	―
受信／送信／未送信メール	• メール本文中に貼付された、ｉアプリが起動できるリンク項目は削除されます。
メモ	―
ブックマーク	• 相手の端末によっては、フォルダ分けの設定が反映されない場合があります。
トルカ	• FOMAカード動作制限機能が設定されているファイルを含むトルカ（詳細）は送信できません。 • IP（情報サービス提供者）の設定によっては、送信できない場合があります。 • 相手の端末によっては、トルカ（詳細）は送信されない場合があります。

データの種類	留意事項
画像	• 表示名は全角9（半角18）文字以内で送信され、超過した文字は削除されます。 • ファイルサイズが500Kバイトより大きいデータは送信できません。
動画／iモーション	
メロディ	－

• FOMA端末外への出力が禁止されているデータは送信できません（自端末でファイル制限を「あり」に設定したデータや「データ交換」フォルダのデータを除く）。
• F705i以外のｉモード端末や赤外線通信機器へデータを送信した場合、受信側で登録できない項目は破棄されます。
• 絵文字を入力したデータをｉモード端末以外に送信すると、正しく表示されない場合があります。また、受信側がｉモード端末であっても絵文字2の対応機種でない場合は、絵文字2が正しく表示されないことがあります。

◆データを1件送信する

• 赤外線通信の場合は、相手の機器を受信待機状態にする必要があります。

〈例〉電話帳データを1件送信する

1 電話帳検索▶電話帳データにカーソルを合わせて MENU▶8▶1または3▶「はい」

• 一覧画面によってサブメニューの項目番号は異なります。「赤外線送信」または「iC送信」を選択して操作してください。画面によっては「赤外線／iC送信」または「赤外線／iC／microSD」を選択してから「赤外線送信」または「iC送信」を選択します。

✔お知らせ

• プロフィール情報画面からの操作：MENU（赤外線）またはA/a（iC送信）
• プロフィール情報の詳細画面からの操作：MENUを押し「プロフィール送信」→「赤外線送信」または「iC送信」

◆データを全件送信する

選択した機能のすべてのデータを送信します。

• 送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。あらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておいてください。
• 赤外線通信の場合は、相手の機器を受信待機状態にする必要があります。
• 画像や動画／ｉモーション、メロディ、プロフィールは全件送信できません。

1 MENU▶6 2▶2または3▶1～8▶認証操作▶4桁の認証パスワードを入力▶「はい」

✔お知らせ

• フォルダやデータの一覧画面、スケジュールのカレンダーやデイリービュー画面から、以下のいずれかの方法で操作できます。
MENU→「赤外線全件送信」または「iC全件送信」
MENU→「赤外線／iC送信」→「赤外線全件送信」または「iC全件送信」
MENU→「赤外線／iC／microSD」→「赤外線全件送信」または「iC全件送信」
• 全件送信した場合、受信側でデータの並び順が変わることがあります。

赤外線通信／iC通信を使ってデータを受信する

データを1件ずつ受信する方法と、データの種類ごとにまとめて受信する方法があります。

- iC受信では、他の機能が起動しているとデータを受信できません。必ず待受画面で受信操作をしてください。
- 受信できるデータは次のとおりです。

データの種類	受信後の保存場所
電話帳／プロフィール	電話帳 • 1件受信の場合は、最も小さい空きメモリ番号に保存されます。 • 全件受信で上書き保存をした場合は、プロフィール情報（自局電話番号を除く）も上書きされます。
スケジュール	スケジュール帳
受信／送信／未送信メール	受信／送信／未送信メール • F2102V、F2051のメールデータを赤外線通信で全件受信しても、相手の端末が設定したフォルダ名にはなりません。
メモ	メモ帳
ブックマーク	Bookmark • 全件受信すると、相手の端末が作成したフォルダごとデータを受信します。 • FOMA Fシリーズ以外の端末から受信した場合は、先頭のフォルダに保存されます。
トルカ	トルカの「トルカフォルダ」
画像	マイピクチャの「データ交換」フォルダ デコメ絵文字はマイピクチャの「デコメ絵文字」フォルダ
動画／ｉモーション	ｉモーションの「データ交換」フォルダ
メロディ	メロディの「データ交換」フォルダ

- FOMA Fシリーズ以外の端末から画像、動画／ｉモーション、メロディを受信したとき、メモとして登録される場合があります。

◆データを1件受信する

- 512Kバイトより大きいデータは受信できません。

❖データを1件赤外線受信する

1 **MENU▶6 2 1 1▶1または2▶「はい」▶送信側でデータを1件送信**

保存確認あり：受信したデータはINBOXに一時的に保存されます。受信完了後、INBOXが表示されます。

以降の操作→P308「受信したデータを保存する」操作2

保存確認なし：受信したデータはデータの種類により決められた保存場所に保存されます。

❖データを1件iC受信する

1 **送信側でデータを1件送信▶受信側を待受画面にしてFeliCaマークを重ね合わせる**

以降の操作→P308「受信したデータを保存する」操作2

◆データを全件受信する

データの種類ごとにまとめて受信します。

- 送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力します。あらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておいてください。
- 画像や動画／ｉモーション、メロディ、プロフィールは全件受信できません。

❖データを全件赤外線受信する

1 **MENU▶6 2 1 2▶1または2**

上書き確認あり：受信したデータはINBOXに一時的に保存されます。

上書き確認なし：受信したデータはFOMA端末に上書き保存されます。選択するとデータ削除の確認画面が表示されます。「はい」を選択し、認証操作を行ってから操作2に進みます。

※ 上書き保存するとFOMA端末の元のデータはすべて消去され、新しいデータで上書きされますのでご注意ください。

2 **4桁の認証パスワードを入力▶「はい」▶送信側でデータを全件送信**

- 「上書き確認あり」を選択した場合は、受信完了後、INBOXが表示されます。
以降の操作→P308「受信したデータを保存する」操作2

❖データを全件iC受信する

1 **送信側でデータを全件送信▶受信側を待受画面にしてFeliCaマークを重ね合わせる▶4桁の認証パスワードを入力▶再度FeliCaマークを重ね合わせる**

受信完了後、INBOXが表示されます。
以降の操作→P308「受信したデータを保存する」操作2

✔お知らせ

- FOMA端末ではToDo（用件を管理するリスト機能）データを保存できません。ToDoデータとスケジュールデータの両方を全件受信した場合、スケジュールデータのみが保存されます。ToDoデータのみを「上書き確認なし」で全件受信した場合、FOMA端末に登録されているスケジュールはすべて削除されますのでご注意ください。
- 受信するデータの種類や件数によって受信時間は異なります。データ容量が大きい場合や件数が多い場合は、受信に時間がかかることがあります。

◆受信したデータを保存する

INBOXに一時的に保存されている受信データをFOMA端末に保存します。

1 **MENU▶6 2 4**

- マークの意味は次のとおりです。
  - ：電話帳／プロフィール　：スケジュール　：メール
  - ：メモ　：ブックマーク　：トルカ　：画像
  - ：動画／ｉモーション　♪：メロディ

※ 全件受信したデータのマークは、マークが後ろに重なったデザインで表示されます。

2 **データを選択▶「はい」**

削除する：**データにカーソルを合わせてMENU▶2または3**

- 「全件削除」を選択した場合は、認証操作を行います。

✔お知らせ

- 保存するデータのサイズによっては、受信できる件数がFOMA端末の最大保存件数、登録件数より少なくなる場合があります。
- メールをフォルダごとに保存できる機器から受信したメールデータの場合、メール連動型ｉアプリ用のフォルダに保存されることがあります。保存したメールデータを確認するには、保存されているメール連動型ｉアプリ用のフォルダにカーソルを合わせて[MENU][1]を押してください。

赤外線リモコン機能を利用する

赤外線リモコン用のｉアプリをダウンロードして、FOMA端末を赤外線リモコンとして使用します。

- 各機器に対応したｉアプリをダウンロードしてください。操作はｉアプリによって異なります。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリのGガイド番組表リモコンを起動すると、FOMA端末をテレビなどの赤外線リモコンとして利用できます。
- 対応機器や周囲の明るさによって、通信動作に影響を受ける場合があります。
- 赤外線リモコンに対応した機器でも操作できない場合があります。

❖リモコン操作について

FOMA端末の赤外線ポートを対応機器の赤外線受信部に向けてリモコン操作をしてください。リモコン操作ができる角度は中心から15度、距離は最大で約4mです。ただし、操作する機器や周囲の明るさなどによって、操作できる角度と距離は変わります。

データ送受信設定

データ送受信時の動作を設定する

赤外線通信やiC通信、パソコンと接続したパケット通信、64Kデータ通信、データ転送によるデータ送受信時の動作を設定します。

1 [MENU]▶[6][2][5]▶各項目を設定▶[□]

通信終了音：通信終了時に終了音としてキー確認音（→P104）を鳴らすかどうかを設定します。

自動認証：パソコンと接続したパケット通信、64Kデータ通信、データ転送時に、通信相手と認証コードを自動でやりとりするかどうかを設定します。

- 「あり」に設定するときは、認証操作を行い、4～8桁の携帯側認証コード（FOMA端末側）とパソコン側認証コード（相手側）を入力し、[□]を押してください。

電話帳の画像送信：電話帳データの全件送信時に、電話帳に登録されている画像を一緒に送信するかどうかを設定します。

サウンドレコーダー

サウンドレコーダーで音声を録音する

録音した音声はFOMA端末だけでなくmicroSDメモリーカードや外部機器に保存したり、iモードメールに添付して送信したりできます。

- 次の形式やタイトルで保存されます。
  ファイル形式：MP4（MobileMP4）　符号化方式：AMR
  拡張子：3gp
  タイトル：録音した日時が自動的に付けられます。ファイル名は変更できます。→P302
- 録音時間の目安は次のとおりです。時間は品質やサイズ制限などによって変わります。microSDメモリーカードは容量が64MBの場合の目安です。

項　目	品質	サイズ制限		
		メール添付用（小）（500Kバイト）	メール添付用（大）（2Mバイト）	制限なし
1回あたりの録音時間	STD	約485秒	約33分	※
	HQ	約319秒	約21分	※
F705iの最大録音時間	STD	約315分	約316分	約316分
	HQ	約207分	約207分	約207分
microSDメモリーカードの最大録音時間	STD	約988分	約989分	約989分
	HQ	約650分	約650分	約650分

※ 最大録音時間と同じです。

◆音声を録音する

- 音声は送話口から録音されます。
- 周囲の騒音が少ない、できるだけ静かな場所で録音してください。
- マナーモード中でも、録音確認音（シャッター音）は鳴ります。

1 MENU▶67

A/a／✉：静止画／動画撮影画面に切り替え

音声録音画面（待機中）

① **録音時設定操作ガイド**

を押して録音時の設定ができることを示します。

② **保存先**

: FOMA端末　: microSDメモリーカード

③ **撮影種別**

音声のみ（サウンドレコーダー）であることを示しています。

④ **カウンタ**

設定している保存先に録音できる最大時間（目安）を示します。
録音時は経過時間と残り時間（目安）を示します。

⑤ **インジケータ**

保存領域の使用率を示します。

- microSDメモリーカードの保存領域は、音声が保存されていなくても0にならない場合があります。

録音時／一時停止中はサイズ制限で設定しているファイルサイズに対する、録音したサイズの割合を示します。

⑥ **品質とサイズ制限→P312「録音時の設定を変更する」**

2 ■

録音確認音（シャッター音）が鳴り、ディスプレイにが表示され、録音が始まります。録音中はランプが赤色で点滅します。

- 録音を一時停止するときは■を押します。が表示され、ランプが緑色で点灯します。もう一度■を押すと、録音を開始します。

3

録音確認音（シャッター音）が鳴り、録音が終了します。

- ファイルサイズが制限値に達すると録音が終了し、その時点までに録音した音声が保存対象になります。
- 一時停止中にを押して録音を終了した場合は、その時点までに録音した音声が保存対象になります。
- 動画／録音詳細設定の自動保存が「する」の場合は、操作4以降の操作はできません。

4 **を押して録音した音声を確認**

すぐに保存する：**操作5に進む**

保存しないで録音し直す：CLR

メールに添付する：✉▶**「はい」**

- 添付した音声がｉモーションの「カメラ」フォルダに保存されます。

タイトルを編集する：MENU▶3

- 31文字以内で編集できます。

保存先を切り替える：MENU▶5

保存されている音声を一覧表示する：MENU▶6▶1**または**2

5 ■

録音した音声がｉモーションの「カメラ」フォルダに保存されます。

- 保存先がmicroSDメモリーカードに設定されている場合は、マルチメディアの「その他の動画」に保存されます。

✔お知らせ

- 録音した音声のファイルサイズが2Mバイトより大きい場合は、メールに添付したり、microSDメモリーカードに保存したりできません。
- 撮影画面でMENUを押し「機能切替」→「サウンドレコーダー」を選択するか、または動画／録音詳細設定の撮影種別を「音声のみ」に設定した場合でも、サウンドレコーダーを起動できます。
- サウンドレコーダーを利用する際の注意事項→P153「カメラで動画を撮影する」のお知らせ

録音時の設定を変更する

品質やサイズ制限など、音声に関する設定を変更します。

- 動画／録音詳細設定でも設定できます。→P153

◆音声の品質を設定する

1 MENU▶6 7▶📹▶品質のマーク（HQ STD）にカーソルを合わせる

- 8を押してもマークを選択できます。

2 ◎で品質にカーソルを合わせて■

設定した品質がマークで表示されます。

HQ **高品質**：音質はよくなりますが、録音できる時間が短くなります。

STD **標準**：標準的な品質です。

◆ファイルサイズを制限する

1 MENU▶6 7▶📹▶サイズ制限のマーク（∞ ✉H ✉）にカーソルを合わせる

- 9を押してもマークを選択できます。

2 ◎でサイズ制限にカーソルを合わせて■

設定したサイズ制限がマークで表示されます。→P158「ファイルサイズを制限する」の「動画撮影のとき」

音楽再生

音楽データの取り扱いについて

- 本書では、ミュージックプレーヤーで再生する着うたフル®とWMA（Windows Media® Audio）ファイルを合わせて「音楽データ」と記載しています。
- FOMA端末では、著作権保護技術で保護されたWMAファイルや着うたフル®を再生できます。
- インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件（許諾、禁止行為など）をよくご確認のうえ、ご利用ください。
- 著作権保護技術で保護されたWMAファイルは、FOMA端末固有の情報を利用して再生しています。故障や修理、電話機の変更などでFOMA端末固有の情報が変更された場合は、既存のWMAファイルは再生できなくなることがあります。
- CCCD（コピーコントロールCD）の取り扱いや、音楽データをWMAファイルに変換できない場合の対処については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末およびmicroSDメモリーカードに保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、FOMA端末やmicroSDメモリーカードに保存した音楽データは、パソコンなどの他の媒体にコピーまたは移動しないでください。

音楽の再生方法について

- FOMA端末で音楽を再生する方法は次のとおりです。
  - ミュージックプレーヤーで再生
  サイトから取得した着うたフル®や、パソコンでインターネットホームページやCDから取り込んでmicroSDメモリーカードに転送した音楽データ（WMAファイル）を再生します。
  - ｉモーションとして再生
  ｉモードで取得してFOMA端末のデータBOXに保存した音声のみのｉモーションを再生します。microSDメモリーカードに保存すればmicroSDメモリーカードからも再生できます。
  データBOXからｉモーションを再生する→P279
  microSDメモリーカードからｉモーションを再生する→P295
- 音楽を聴きながらメールやｉモードサイトの表示などを利用することができます（バックグラウンド再生）。→P327、433
- 音楽を聴いているときに着信などがあると、再生が一時停止する場合があります。→P318

ミュージックプレーヤーについて

サイトからダウンロードした着うたフル®や、音楽CDやインターネットなどからパソコンに取り込んだWindows Media® Audio（WMA）ファイルを、FOMA端末本体やmicroSDメモリーカードに保存し、再生することができます。FOMA端末を閉じたままでも、開いた状態で他の機能を使いながらでも再生できます。プレイリストの再生やシャッフル再生、曲の確認に便利なイントロ再生など、さまざまな聴きかたを楽しめます。

- ミュージックプレーヤーは着うたフル®およびWindows Media Audio（WMA）ファイルに対応しています。
- 着うたフル®の場合はｉモードから取得し、WMAファイルの場合はパソコンからWindows Media Playerを使用して、保存します。
- WMAファイルはFOMA端末本体に保存できません。
- ミュージックプレーヤーを使用すると電池の消費が早くなりますのでご注意ください。
- microSDメモリーカードの取り扱いや使用時の注意事項→P289「microSDメモリーカードについて」
- Windows Media Playerについては、お使いのパソコンの各パソコンメーカにお問い合わせください。

❖うた・ホーダイとは

音楽配信会社が提供する定額で再生期限付きのサービスです。
再生期限を過ぎたものや、サービスの登録を停止したものなどは再生できません。再生させるためには、ライセンス更新が必要です。

音楽データを保存する

◆着うたフル®をダウンロードする

- 保存できる着うたフル®のサイズは1件あたり最大5Mバイトです。
- 最大保存容量→P457

1 **着うたフル®があるサイトを表示▶着うたフル®を選択**

ダウンロードが開始されます。うた・ホーダイの場合は、再生期限情報が取得され、うた・ホーダイのダウンロードが開始されます。
ダウンロードを中断する：[田]▶「いいえ」

2 **「保存」**

再生する：「再生」
途中までダウンロードしたデータを保存する：「部分保存」
- ダウンロードが中断されたときの再開確認画面で「いいえ」を選択すると表示されます。
- 残りのデータは音楽データ一覧画面から取得できます。→P319「フォルダ内の音楽データを連続再生する」操作2

詳細情報を表示する：「情報表示」→P323

保存を中止する：「戻る」▶「いいえ」

3 表示名を入力（50文字以内）▶[回]

- 表示名にはあらかじめ着うたフル®の詳細情報の「タイトル-アーティスト」が入力されています。
- ガイド表示領域の左下に「[アイコン]」が表示された場合は、[R/a]を押すたびに、保存先をFOMA端末本体とmicroSDメモリーカードに切り替えられます。「[SD]保存」が表示されているときに[回]を押すと、microSDメモリーカードに保存されます。保存した後、ミュージックプレーヤーの音楽データ一覧画面のアイコンで保存先を確認することができます。→P317

◆WMAファイルを保存する

WMAファイルをmicroSDメモリーカードへ保存するには、Windows Media Playerを使用します。

- **パソコンのOSとWindows Media Playerは、次のバージョンの組み合わせで使用することをおすすめします。**
  - **パソコンのOSがWindows XP Service Pack 2以降の場合**
    Windows Media Player 10（10.00.00.3802以降のバージョン）またはWindows Media Player 11（11.0.5721.5145以降のバージョン）
  - **パソコンのOSがWindows Vistaの場合**
    Windows Media Player 11（11.0.6000.6324以降のバージョン）
- 操作方法については、Windows Media Player10／11のヘルプをご覧ください。また、操作環境についての最新情報は、富士通のホームページをご覧ください。
- パソコンとFOMA端末を接続する前に、Windows Media Playerのバージョンを必ず確認してください。
- Windows XP、Windows VistaやWindows Media Playerは常にアップデートして、最新の状態にしておくことをおすすめします。アップデートがされていないと、転送したWMAファイルの操作や表示が遅くなるなど十分な性能が得られないことがあります。
- パソコンからプレイリストを転送できます。ただし、転送できるプレイリスト内の音楽データは最大400件です。
- WMAファイルはFOMA端末本体に保存できません。
- 他のFOMA端末でmicroSDメモリーカードに保存されたWMAファイルはF705iで表示・再生されない場合があります。また、他のFOMA端末でWMAファイルを転送したmicroSDメモリーカードを使用すると、MTPモードに切り替えてもパソコンで認識されないことがあります。これらの場合には、WMA一括削除（→P324）を行うか、microSDメモリーカードを初期化（→P298）してください。microSDメモリーカードを初期化すると音楽ファイル以外のデータもすべて削除されますのでご注意ください。

1 Windows Media PlayerでパソコンにWMAファイルを準備する▶FOMA端末のUSBモード設定を「MTPモード」に設定する

USBモード設定→P299

- microSDメモリーカードを取り付けてから、「MTPモード」に切り替えてください。

2 Windows Media Playerを起動した状態でパソコンとFOMA端末をUSBケーブルで接続する

- パソコンとの接続方法については、付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

3 パソコンからWMAファイルを転送する▶データ転送が終わったらFOMA端末のUSBモード設定を「通信モード」に設定する▶USBケーブルを取り外す

ナップスター®アプリについて

ナップスター®アプリを利用して音楽データを保存することもできます。

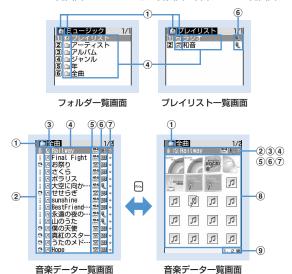
- ナップスター®アプリは下記のホームページからダウンロードできます。
  http://www.napster.jp/
- ナップスター®アプリについてご不明な点がございましたら下記のホームページをご覧ください。
  http://www.napster.jp/support/

✔お知らせ

- データ転送中にUSBケーブルを外さないでください。誤動作やデータ消失の原因となります。
- パソコンからFOMA端末内のmicroSDメモリーカードにアクセスしているときは、MTPモードから他のモードに切り替えられません。
- FOMA端末内のmicroSDメモリーカードに保存されているWMAファイルは、パソコンとFOMA端末を接続中にWindows Media Playerから削除することもできます。
- パソコンから音楽データが転送できないときは「ポータブルデバイス用パソコン環境診断」を使用すると、お使いのパソコンの環境での最適な対処方法を確認することができます。
  ポータブルデバイス用パソコン環境診断については、パソコンから次のホームページをご覧ください。
  FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→WMP環境診断ツール
- Windows Media Playerとナップスター®アプリをパソコンで同時に使用すると、パソコンの処理速度が落ちる場合があります。
- F902iS以前のFOMA Fシリーズのミュージックプレーヤーで再生できたAAC形式のファイルは、F705iのミュージックプレーヤーでは再生できませんが、microSDメモリーカードのマルチメディア内の「その他の動画」では再生できます。データをminiSDメモリーカードからmicroSDメモリーカードへコピーする際に、AAC形式のファイルのコピー先をmicroSDメモリーカードのPRIVATE￥DOCOMO￥MMFILEの直下、あるいはMMFILE内のMUDxxx（xxxは001～999）にしてください（→P291）。コピーした後にmicroSDメモリーカードの情報更新を行うと、コピーしたファイルが表示されます。
  ※ ファイル名が「MMFxxxx」（xxxxは0001～9999）以外のファイルや、拡張子が「m4a」のファイルは、コピーしても表示・再生できません。
  ※ コピーの際は、FOMA FシリーズSDユーティリティをご利用になることをおすすめします。SDユーティリティを利用するとファイル名が自動的に変換されます。
  FOMA FシリーズSDユーティリティについては、パソコンから次のホームページをご覧ください。
  FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→データリンクソフト

ミュージックプレーヤーの画面の見かた

■ フォルダー一覧画面・プレイリスト一覧画面・音楽データ一覧画面

フォルダー一覧画面　プレイリスト一覧画面

音楽データ一覧画面（リスト表示）　音楽データ一覧画面（ジャケット画像表示）

① フォルダ／プレイリストの種類
：トップフォルダ　：プレイリストフォルダ　：通常フォルダ
：プレイリスト　：FOMA端末で作成したプレイリスト
：パソコンから転送したプレイリスト

② 取得元
：ｉモード　：データ交換

③ 再生制限
：再生制限なし　：部分的に保存したデータ　※1：回数制限
※1：期限制限　※1：期間制限　※2：ライセンス期限内
※2：ライセンス期限切れ／再生禁止　※2：再生不可
※1　着うたフル®のみ表示
※2　うた・ホーダイのみ表示

④ フォルダ名／プレイリスト名／曲の表示名

⑤ ファイル形式と著作権管理
：着うたフル®、DoCoMo
：WMAファイル、Windows Mediaデジタル著作権管理テクノロジ（WMDRM）
：WMAファイル、著作権管理なし

⑥ 保存場所
：FOMA端末本体　：microSDメモリーカード

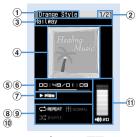
⑦ ファイル制限の有無
（グレー）：ファイル制限あり

⑧ ジャケット画像
音楽データに含まれたジャケット画像が表示されます。ジャケット画像が表示できない場合には次のアイコンが表示されます。
：ジャケット画像なし
：FOMAカード動作制限機能が設定されているデータ
：部分的に保存したデータ

⑨ カーソルを合わせた音楽データのファイルサイズ（実メモリサイズ）

✔お知らせ

- FOMA端末本体のプレイリストに登録されている曲の元の音楽データが削除されたり、保存されているmicroSDメモリーカードが取り外されたりして認識できなくなると、プレイリストで表示される曲名は「---」になり再生できなくなります。元の音楽データが削除されたときは、プレイリストの登録を解除してください。元の音楽データが保存されているmicroSDメモリーカードを取り外しているときは、microSDメモリーカードを取り付けると登録された曲名が表示されます。

■ プレーヤー画面

プレーヤー画面

① アーティスト名
② 曲番号／フォルダやプレイリスト内の曲数
③ 曲タイトル
④ 曲のジャケット画像
⑤ 再生時間／トータル時間
⑥ 再生位置インジケータ
⑦ 再生状態
  play：通常再生　intro：イントロ再生　stop：一時停止中
⑧ リピート再生※
  REPEAT：1曲リピート　REPEAT：全曲リピート
⑨ イコライザ※
⑩ シャッフル※
⑪ 再生音量

※ 機能を「OFF」または「ノーマル」に設定すると、文字がグレーで表示されます。
機能の動作設定→P324

❖プレーヤー画面での操作

［■］、［▯］：再生／一時停止
［◉］：音量調整
［◀］（1秒以上）／［▶］（1秒以上）：巻き戻し／早送り
［◀］：曲の先頭に移動※1
［▶］：次の曲に移動
［✉］：再生を停止せずに音楽データ一覧画面を表示※2
［CLR］：再生を停止して音楽データ一覧画面を表示
※1 曲の始まりから3秒以内に操作すると前の曲に移動します。
※2 もう一度［✉］を押すとプレーヤー画面に戻ります。

音楽データを再生する

◆フォルダ内の音楽データを連続再生する

1 ［MENU］▶［9］▶フォルダまたはプレイリストを選択

- 再生中や一時停止中にミュージックプレーヤーを終了すると、次に起動したときに、起動と同時に前回終了時の曲の先頭からの再生が始まります。
- サイドキー長押し設定で「ミュージックプレーヤー」に設定しているときは、FOMA端末を閉じた状態で［▯］を1秒以上押すとミュージックプレーヤーが起動し、同時に前回終了時の曲の先頭からの再生が始まります。
  FOMA端末の電源を入れ直したり、前回再生時の曲の詳細情報の変更を行ったりするなどして、前回再生時の曲の情報がないときは、トップフォルダ直下にある「全曲」フォルダ内の最初の曲から再生される場合があります。

2 音楽データを選択

再生が開始されます。

- ダウンロードに失敗、またはダウンロードを中断して部分的に取得した着うたフル®を選択すると、残りデータのダウンロードの確認画面が表示されます。ダウンロードして再取得できなかったときは、部分的に保存されていたデータは削除されます。
  また、部分的に取得した着うたフル®の再生期間や再生期限が過ぎている場合は再びダウンロードできず、削除の確認画面が表示されます。

うた・ホーダイを選択したとき

選択したファイル、または他のファイルで再生期限を更新する必要がある場合は、サイト接続の確認画面が表示されます。[MENU]を押し更新が完了すると、うた・ホーダイが再生されます。

イントロ再生する：音楽データにカーソルを合わせて[i]

フォルダ内の曲の最初の7秒だけを次々に再生します。

- イントロ再生中に[■]または[ ]を押すとイントロ再生が解除され、再生が継続されます。

✔お知らせ

- 次の場合は再生が一時停止されます。動作終了後に自動的に再開されます。
  - 音声電話／テレビ電話の着信があったとき
  - メールを受信したとき（受信・自動送信表示設定が「通知優先」の場合）
  - ｉモード問合せを行ったとき
  - お知らせタイマーや目覚まし、スケジュールの指定日時になったとき
  - ミュージックプレーヤーと同時に使用できない機能が実行されたとき
    マルチタスクの組み合わせ→P433
- 同時に多くの機能を利用すると、再生中の曲が途切れる場合があります。
- 電池残量が2以下になると再生の確認画面が表示されます。
- 再生中には操作できなくなるメニューがあります。

❖音楽データに再生制限が設定されているとき

再生制限の種類と確認する内容は次のとおりです。

回数制限

残り再生回数と再生の確認画面が表示されます。規定回数の再生が終了すると次回再生時に再生回数終了と音楽データ削除の確認画面が表示されます。

期限制限

期限が終了すると次回再生時に期限終了と音楽データ削除の確認画面が表示されます。

期間制限

期間前には再生不可のメッセージが表示されます。期間が過ぎると次回再生時に期間終了と音楽データ削除の確認画面が表示されます。

再生期限（うた・ホーダイ）

期限が過ぎると、再生期限の更新確認画面が表示されます。再生期限の更新にはサイトへの接続が必要です。サイトの接続の際にはパケット通信料がかかります。

- 着うたフル®の残り再生回数、再生期限、再生期間は詳細情報で確認できます。
- 日付・時刻を変更しても、再生制限の期限や期間は変更できません。

✔お知らせ

- うた・ホーダイの再生期限には、再生期限が過ぎた後に数日間の猶予期間が設定されている場合があります。この期間中は、再生期限情報を更新しなくても利用できます。
- うた・ホーダイをダウンロードした際に使用していたFOMAカードと異なるFOMAカードを挿入した場合は、うた・ホーダイは再生できません。
- うた・ホーダイをダウンロードした際に使用していたFOMAカードと異なるFOMAカードを挿入して（FOMA端末譲渡の場合など）ミュージックプレーヤーを使用する場合は、データ一括削除を実施することをおすすめします。→P353
- FOMA端末内に正しいライセンスが更新されていないサイトからうた・ホーダイのダウンロードを行うと、保存前の再生ができません。ダウンロード前にライセンス更新を行っておくことをおすすめします。
- 着信音やアラーム音に設定したうた・ホーダイが再生不可能になった場合は、お買い上げ時の音が鳴ります。

- 国際ローミング中の再生期限の更新にかかるパケット通信料はパケ・ホーダイまたはパケ・ホーダイフルの適用対象外です。
- 再生期限が切れるか確認できなくなったことにより再生できなくなったWMAファイルは、パソコンで再生期限内であることを確認し、FOMA端末をパソコンに接続して同期をとると再生できます。→P315
- 時差のある海外では、うた・ホーダイの再生期限は現地時間で表示されます。日本時間で再生期限が過ぎると、表示されている現地時間に関わらず再生できなくなりますのでご注意ください。

◆スイッチ付イヤホンマイクでの操作

スイッチ付イヤホンマイク（ステレオイヤホンセット含む）を接続しているときは、スイッチの操作で再生や一時停止ができます。

- スイッチで操作をするためには、イヤホンスイッチ設定を「ミュージックプレーヤー操作」にする必要があります。フォルダ一覧画面でMENU 3を押し、イヤホンスイッチの設定を行ってください。→P350
- スイッチを1秒以上押すと、ミュージックプレーヤーが起動し、同時に前回終了時の曲の先頭からの再生が始まります。前回再生時の曲の情報がないときは、トップフォルダ直下にある「全曲」フォルダ内の最初の曲から再生される場合があります。
- 起動中の操作は次のとおりです。

押しかた	プレーヤー画面での動作	音楽データ一覧画面での動作
1回	再生／一時停止	再生
1秒以上	曲の先頭に移動※	カーソルを上に移動
2回	次の曲に移動	カーソルを下に移動
3回	ミュージックプレーヤー終了	

※ 再生開始3秒以内の場合は前の曲に移動

フォルダ・プレイリスト・音楽データの管理

◆音楽データを移動する

FOMA端末本体とmicroSDメモリーカードの間で音楽データを移動します。

- 着うたフル®のみ移動できます。

〈例〉音楽データを1件移動する

1 プレイリスト以外の音楽データ一覧画面で音楽データにカーソルを合わせてMENU▶4▶1または2

2 1▶「はい」

音楽データが移動され、と[SD]が切り替わります。

複数移動する：2▶音楽データを選択▶[田]▶「はい」

フォルダ内を全件移動する：3▶「はい」

✔お知らせ

- 部分的に保存した着うたフル®、再生制限に達している着うたフル®は移動できません。
- 着信音に設定されている音楽データをFOMA端末本体からmicroSDメモリーカードへ移動すると、着信音はお買い上げ時の設定に戻ります。

◆音楽データを削除する

〈例〉音楽データを1件削除する

1 プレイリスト以外の音楽データ一覧画面で音楽データにカーソルを合わせて▶MENU▶5

2 1▶「はい」

複数削除する：2▶音楽データを選択▶[田]▶「はい」

フォルダ内を全件削除する：3▶認証操作▶「はい」

✔お知らせ

- フォルダ内にあるすべての音楽データを削除すると、そのフォルダも削除されます。ただし、トップフォルダ直下の各フォルダは削除されません。
- 着信音に設定されている音楽データを削除すると、着信音はお買い上げ時の設定に戻ります。

◆プレイリストを作成する

プレイリストとは音楽データをひとまとめにして演奏順などを管理するものです。

- プレイリストはFOMA端末本体に最大20件、microSDメモリーカードに最大100件保存できます。
- パソコン上でプレイリストを作成して音楽データとともに転送することもできます。→P315

1 フォルダ一覧画面で「プレイリスト」フォルダを選択▶MENU▶1▶プレイリストの名前を入力（全角8（半角16）文字以内）▶□

空のプレイリストが作成されます。

- プレイリストの名前にはあらかじめ「playlistYYYYMMDD」（YYYYMMDDはプレイリストを作成した年月日）が入力されています。

✔お知らせ

- 最大件数を超えると、プレイリスト削除の確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されているプレイリストを削除してください。

◆登録する音楽データからプレイリストを作成する

〈例〉音楽データを1件登録したプレイリストを作成する

1 プレイリスト以外の音楽データ一覧画面で音楽データにカーソルを合わせてMENU▶3 1 1

複数登録する：音楽データ一覧画面でMENU▶3 1 2▶音楽データを選択▶□

フォルダ内を全件登録する：音楽データ一覧画面でMENU▶3 1 3

2 プレイリストの名前を入力（全角8（半角16）文字以内）▶□

◆プレイリストに音楽データを登録する

- FOMA端末本体で作成したプレイリストは1つあたり100件、パソコンから転送したプレイリストは1つあたり400件の音楽データを登録できます。
- FOMA端末で作成したプレイリストにのみ登録できます。

❖登録するプレイリストから操作する

〈例〉音楽データを1件登録する

1 プレイリストを選択▶MENU▶3 1

2 1▶フォルダを選択▶音楽データを選択

複数登録またはフォルダ内を全件登録する：2または3▶フォルダを選択▶音楽データを選択▶□

- 「全件登録」を選択すると、すべての音楽データが選択された状態で表示されます。登録しない音楽データを、■を押して選択状態から解除してください。

❖登録する音楽データから操作する

〈例〉音楽データを1件追加する

1 プレイリスト以外の音楽データ一覧画面で音楽データにカーソルを合わせて MENU ▶ 3 2 1

複数追加する：音楽データ一覧画面で MENU ▶ 3 2 2 ▶ 音楽データを選択 ▶ 📖

フォルダ内を全件追加する：音楽データ一覧画面で MENU ▶ 3 2 3

2 プレイリストを選択

音楽データがプレイリストの最後の行に追加されます。

❖音楽データの登録されていないプレイリストに音楽データを登録する

1 音楽データの登録されていないプレイリストを選択 ▶「はい」▶ フォルダを選択 ▶ 音楽データを選択 ▶ 📖

◆プレイリストから音楽データを解除する

- プレイリストから音楽データを解除しても、音楽データ自体は削除されません。
- パソコンから転送したプレイリストからは音楽データの解除ができません。

〈例〉音楽データを1件解除する

1 プレイリスト内の音楽データ一覧画面で音楽データにカーソルを合わせて MENU ▶ 3 2 1 ▶「はい」

複数解除する：プレイリスト内の音楽データ一覧画面で MENU ▶ 3 2 2 ▶ 音楽データを選択 ▶ 📖 ▶「はい」

全件解除する：プレイリスト内の音楽データ一覧画面で MENU ▶ 3 2 3 ▶「はい」

◆プレイリストを削除する

1 フォルダ一覧画面で「プレイリスト」フォルダを選択 ▶ プレイリストにカーソルを合わせて MENU ▶ 3 ▶「はい」

◆プレイリストの名前を変更する

- パソコンから転送したプレイリストは名前を変更できません。

1 フォルダ一覧画面で「プレイリスト」フォルダを選択 ▶ プレイリストにカーソルを合わせて MENU ▶ 4 ▶ プレイリストの名前を入力（全角8（半角16）文字以内）▶ 📖

◆プレイリストをコピーする

1 フォルダ一覧画面で「プレイリスト」フォルダを選択 ▶ プレイリストにカーソルを合わせて MENU ▶ 2

- microSDメモリーカードのプレイリストをコピーするときは、2 を押し「はい」を選択します。コピーされたプレイリストはFOMA端末で作成されたプレイリストとしてFOMA端末本体に保存されます。

◆音楽データの表示順を変更する〈ソート〉

音楽データを指定した方法で並べ替えます。

1 音楽データ一覧画面で MENU ▶ 6 ▶ 各項目を設定 ▶ 📖

対象：並べ替えの方法を選択します。

順序：並び順を選択します。

✔お知らせ

- プレイリスト内ではソートできません。

◆プレイリスト内の曲順を自由に並べ替える

- FOMA端末本体で作成したプレイリストでのみ並べ替えができます。

1 プレイリストの音楽データ一覧画面でMENU▶3 3▶音楽データにカーソルを合わせてA/aまたは✉▶📖

◆音楽データを着信音に設定する

音楽データ全体を着信音にする「まるごと着信音」と、音楽データの一部分のみを着信音にする「オススメ着信音」があります。

- WMAファイルは着信音に設定できません。

〈例〉FOMA端末本体の音楽データをまるごと着信音に設定する

1 音楽データ一覧画面で音楽データにカーソルを合わせてMENU▶1

2 1〜8▶1

- メモリ指定着信音（電話、メール）に設定するときは、メモリ指定着信音を設定する電話帳データを選択して、📖を押します。

FOMA端末本体の音楽データをオススメ着信音に設定する：1〜8▶2▶設定する部分を選択

- 📖を押すと、設定する部分が再生できます。

microSDメモリーカードの音楽データをまるごと着信音に設定する：1〜8▶1▶確認画面で「はい」

音楽データがFOMA端末本体に移動され、着信音に設定されます。

microSDメモリーカードの音楽データをオススメ着信音に設定する：1〜8▶2▶設定する部分を選択▶確認画面で「はい」▶表示名を入力▶📖

音楽データの選択した部分がコンテンツ移行対応のｉモーションとしてFOMA端末本体のｉモーションの「ｉモード」フォルダに保存され、着信音に設定されます。

- 「ミュージック（会員制）」の音楽データを設定すると、音楽データがFOMA端末本体に移動されます。

✔お知らせ

- 詳細情報（→P323）のまるごと着信音設定およびオススメ着信音設定が「不可」になっているミュージックは着信音に設定できません。

◆音楽データの詳細情報を表示する〈詳細情報表示〉

1 音楽データ一覧画面で音楽データにカーソルを合わせてMENU▶2 1▶🔘で各情報を表示

- WMAファイルとそれ以外のファイルでは、表示される情報の種類が異なります。
- 「表示名」は音楽データ一覧画面で表示される名前、「タイトル」はプレーヤー画面で表示される名前、「オリジナルタイトル」はダウンロード時のタイトルです。
- 「トラック番号」は、アルバム内の曲番号／アルバム内総曲数を表示します。
- 「ファイル名」には拡張子は表示されません。
- 「ファイル種別」の「WMA」はWMAの、「ミュージック」は着うたフル®の、「ミュージック（会員制）」はうた・ホーダイのファイルであることを示します。
- 「音」は音楽データの形式とビットレートを表示します。WMAファイルではビットレートは表示されません。
- 詳細情報のファイル情報を表示中にMENUを押すと、URL情報に表示されているサイト接続の確認画面が表示されます。

音楽データの詳細情報を変更する：

① 音楽データ一覧画面で音楽データにカーソルを合わせてMENU▶2 2▶項目を選択▶変更内容を入力

- 詳細情報の表示中に📖を押しても、詳細情報を変更できます。
- 表示名は50文字以内、タイトル、アーティスト、アルバム、ジャンル、コメントは128文字以内、年、トラック番号、総トラック数は半角数字4桁以内で入力します。
- 「表示名を自動作成」を選択すると、表示名が「タイトル-アーティスト」に変更されます。

- 「オリジナルに戻す」を選択すると、ボタンの上の項目がダウンロード時の情報に戻ります。

②[■]

✔お知らせ

- 一時停止している音楽データの詳細情報を変更すると、次にミュージックプレーヤーを起動したときに先頭から再生されない場合があります。
- WMAファイルの詳細情報は変更できません。

◆音楽データに含まれた画像や歌詞を表示する

- JPEG形式、GIF形式の画像を表示できます。
- ジャケット画像は1枚、画像は2枚、歌詞は7枚まで表示できます。
- 歌詞は画像データとして保存されます。

1 **音楽データ一覧画面で音楽データにカーソルを合わせて[MENU]▶[2][3]**

- プレーヤー画面で操作するときは[MENU][2]を押します。

2 **[1]～[3]**

全画面で表示する：[A/a]

- 複数の画像や歌詞がある場合は、[◎]で前後の画像や歌詞を表示できます。
- 解除するときは、[CLR]、[MENU]、[A/a]、[■]、[✉]のいずれかを押します。

保存する：[■]

- 画像や歌詞はマイピクチャの「ｉモード」フォルダに保存されます。

✔お知らせ

- 画像や歌詞によっては保存できない場合があります。
- WMAファイルではデータに埋め込まれたジャケット画像のみ表示できますが、ジャケット画像の保存はできません。

◆WMAファイルを一括して削除する〈WMA一括削除〉

1 **トップフォルダ内のフォルダ一覧画面で[MENU]▶[1]▶認証操作▶「はい」**

microSDメモリーカードに保存されたWMAファイルとプレイリストが削除されます。

✔お知らせ

- WMA一括削除を行うと、microSDメモリーカードのWMフォルダ、WM_SYSTEMフォルダとフォルダ内に保存されているすべてのデータが削除されます。ミュージックプレーヤーで利用しないデータも削除されますのでご注意ください。

動作設定

ミュージックプレーヤーの設定

- お買い上げ時は、一覧の画像表示「なし」、音量「レベル20」、リピート再生「全曲リピート」、シャッフル「OFF」、イコライザ「ノーマル」に設定されています。

1 **フォルダ一覧画面、音楽データ一覧画面、プレーヤー画面で[MENU]▶「動作設定」▶各項目を設定▶[■]**

✔お知らせ

- この設定はミュージックプレーヤーを終了しても保持されます。
- イコライザの「バス1」は低音を強調、「バス2（イヤホンのみ）」はイヤホンで聴くときに不足しがちな重低音を補正、「トレイン」はイヤホンなどで聴くときの音漏れを軽減する効果があります。

その他の便利な機能

マルチアクセス

マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMSの3つの機能を同時に使用できる機能です。

- 同時に使用できる機能は次のとおりです。
  - 音声電話：1通信
  - ｉモード、ｉアプリ、ｉモードメール、パソコンとつないだパケット通信：いずれか1通信
  - SMS：1通信
- マルチアクセス中はそれぞれの通信について通信料金がかかります。
- マルチアクセスの組み合わせ→P431

◆マルチアクセスでできる主な操作

❖通信中に音声電話を受ける

〈例〉ｉモード中に音声電話を受ける

1 ｉモード中に電話がかかってくる▶[通話]

電話がつながります。

- [終話]を押すと、表示中の機能が終了します。

❖通信中に他の通信を行う

〈例〉音声電話中にｉモードに接続する

1 音声電話中に[MULTI]▶[2][1]

- サイト画面を表示したまま通話できます。
- [終話]を押すと、表示中の機能が終了します。

〈例〉音声電話中にｉモードメールを送信する

1 音声電話中に[MULTI]▶[1][2]▶ｉモードメールを送信

- メール作成画面を表示したまま通話できます。
- [終話]を押すと、表示中の機能が終了します。

マルチタスクについて

マルチタスクとは、複数の機能を同時に実行し、画面を切り替えながら操作できる機能です。

- 同時に実行できる機能は2つまでです。ただし、ダイヤル発信、プロフィール情報、マナーモード設定／解除は、他の機能が2つ実行されていても起動できる場合があります。
- マルチタスクの組み合わせ→P433

◆新しい機能を実行する

通話中や通信中などの機能を実行中に別の機能を実行できます。

〈例〉通話中にスケジュールを登録する

1 通話中にMULTI▶7 1▶スケジュールを登録

- スケジュール画面を表示したまま通話できます。
- ⌒を押すと、表示中の機能が終了します。

✔お知らせ

- 動画の再生中、カメラの操作中、ミュージックの曲の再生中などにメールを自動受信するなど、同時に多くの機能を実行すると、画面がスムーズに動作しない場合や、再生中の音声が途切れる場合があります。

◆操作する機能を切り替える

画面切替メニューを表示すると、画面を切り替えながら操作できます。

- 画面切替メニューは、メニュー項目に表示される名称と異なる場合があります。

〈例〉音声電話中画面からサイト画面へ切り替える

1 音声電話中にMULTI▶「iモード」

- 通話中画面に戻すには、MULTIを押し「電話」を選択します。
- 画面切替メニュー表示中にMENUを押すと新規起動メニューが表示され、新しい機能を起動できます。もう一度MENUを押すと画面切替メニューに戻ります。

◆実行中のすべての機能を終了する

1 マルチタスク中にMULTI▶📖▶「はい」

自動電源ON/OFF設定

自動的に電源を入れる/切る

指定した時刻に電源を自動的に入れたり、切ったりします。

〈例〉自動的に電源を入れる

1 MENU ▶ 8 7 1 2

自動的に電源を切る：MENU ▶ 8 7 1 3

2 各項目を設定 ▶ 📖

✔お知らせ

- 自動電源OFF設定が「ON」のときでも、待受中以外のときに指定した時刻になった場合には、電源は切れません。動作中の機能を終了すると電源が切れます。
- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された所では、電源を切るだけではなく、自動電源ON設定を「OFF」にしてください。

お知らせタイマー

簡単な操作でタイマーを設定する

タイマーでお知らせするまでの時間（分）を待受画面で入力して設定します。

1 時間を入力（1～60分）▶ ☐

カウントダウンが始まります。

- FOMA端末を閉じてもカウントダウンを継続します。
- カウントダウン中にCLRまたは⏎を押すと、終了の確認画面が表示されます。

❖指定した時間が経過すると

ディスプレイに次の画面が表示され、音量設定の目覚まし音量でタイマーが鳴り、背面表示部（FOMA端末を閉じているとき）とランプが点滅します。また、バイブレータ設定の目覚まし鳴動時や着信イルミネーションの電話着信に従って動作します。

- ⏎を押すと、タイマーが終了します。
- 約1分間何も操作しないか、⏎以外のキーを押すと、タイマーが停止します。

✔お知らせ

- 通話中に指定した時間になると、警告音が鳴りタイマーが停止した画面が表示されます。
- イミテーションコール通話中に指定した時間になると、タイマーは鳴らず、バイブレータが「パターンA」で振動します。
- 次の場合に指定した時間になると、操作や動作が終了した後、タイマーが鳴動します。
  - 電話の発着信中、呼出中、切断中
  - 64Kデータ通信の発着信中
  - データ転送モード中
  - 赤外線リモコン使用中
  - ワンタッチアラーム鳴動中

目覚まし

指定した時刻に目覚ましを鳴らす

- 最大9件登録できます。

1 MENU ▶ 7 3 ▶ 1 ～ 9

設定／解除する：**タイトルにカーソルを合わせてMENU**

- 設定中の目覚ましは、タイトルの左にが表示されます。

2 各項目を設定

時刻：目覚ましを鳴らす時刻を入力します。

繰り返し：「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、曜日を選択してを押します。

タイトル：全角7（半角14）文字以内で入力します。

スヌーズ：スヌーズ動作（約1分間鳴った後に4分間停止する動作）を約30分間繰り返すかどうかを設定します。

3 で音設定画面に切り替え ▶ 各項目を設定

目覚まし音（アラーム）：「端末設定に従う」にすると、音設定の目覚まし音に従います。

ミュージックの設定→P101

音量：「端末設定に従う」にすると、音量設定の目覚まし音量に従います。

4 でその他設定画面に切り替え ▶ 各項目を設定

バイブレータ：「端末設定に従う」にすると、バイブレータ設定の目覚まし鳴動時に従います。

イルミネーションパターン：「メロディ連動」にすると、イルミネーションカラーは「レインボー」で動作します。

イルミネーションカラー：ランプの点灯色を設定します。

5

- 目覚ましを設定すると、待受画面にまたは(スケジュールアラームも設定しているとき）が表示されます。

❖指定した時刻になると

ディスプレイに次の画面が表示され、設定に従って動作します。

- を押すと目覚ましが終了します。
- 約1分間何も操作しないか、以外のキーを押すと、目覚ましは停止またはスヌーズ動作になります。
- スヌーズ動作で停止しているときは、ディスプレイに「スヌーズ中 Snooze」と表示されます。
- 目覚まし停止中にCLRまたはを押すと、目覚ましは終了します。スヌーズ動作で停止しているときはを押すと終了します。

✔お知らせ

- 目覚まし音に動画／iモーションを設定すると、目覚ましが動作するとき画面に動画／iモーションが表示されます。
- 目覚ましとスケジュールアラームを同じ日時に設定していると、目覚ましが鳴った後に続けてスケジュールアラームが通知されます。
- 通話中に指定した時刻になると、警告音が鳴り目覚ましの画面が表示されます。
- イミテーションコール通話中に指定した時刻になると、目覚まし音は鳴らず、バイブレータが「パターンA」で振動します。
- 次の場合に指定した時刻になると、操作や動作が終了した後、目覚ましが動作します。
  - 電話の発着信中、呼出中、切断中
  - 64Kデータ通信の発着信中
  - データ転送モード中
  - 赤外線リモコン使用中
  - ワンタッチアラーム鳴動中

アラーム自動電源ON設定

アラームが鳴る時刻に自動的に電源が入るように設定する

目覚ましやスケジュールの指定日時に電源が入っていなかったとき、アラームが鳴るように電源を自動的に入れるかどうかを設定します。

1 MENU▶8 7 1 5▶1または2

✔お知らせ

- 電池パックを外した場合など、電源を切る操作や自動電源OFF設定以外で電源が切れると、本機能は動作しません。
- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された所では、電源を切るだけではなく、本機能を「OFF」にしてください。

ワンタッチアラーム設定

ワンタッチで大音量アラームを鳴らす

ワンタッチアラームを設定し、FOMA端末を閉じた状態でサイドキー操作を行うと、大音量でアラームを鳴らすことができます。

- 本設定が「ON」の場合は次の機能が動作せず、ワンタッチアラームが鳴動します。
  - クイック伝言メモ
  - HOLD
  - サイドキー長押し設定で設定した機能
  - 通話中音声メモ／動画メモ

◆ワンタッチアラームの動作を設定する

1 MENU▶7 8▶各項目を設定▶□

ワンタッチアラーム設定：ワンタッチアラームを有効にするかどうかを設定します。
- 「OFF」にした場合は、操作2は不要です。

音量：「ステップトーン」にすると、音量が次第に大きくなり約5秒で最大になります。

アラーム鳴動中着信動作：「着信優先」にすると、電話がかかってきたときワンタッチアラームの鳴動を終了し、着信の動作を行います。「着信拒否（アラーム継続）」にすると、アラームが鳴り続け、着信は不在着信として記録されます。

2 ■

待受画面に□が表示されます。FOMA端末を閉じているときは、約15秒間隔でランプが点滅します。

◆ワンタッチアラームを起動する

- FOMA端末を閉じた状態で操作してください。

1 □（1秒以上）

アラームが鳴り、ランプが点滅し、バイブレータが振動します。
- いずれかのキーを押すと、ワンタッチアラームは終了します。
- 何も操作せずに約10分経過すると、自動的にワンタッチアラームは終了します。

✔お知らせ

- 次の場合は、本設定が「ON」でもワンタッチアラームは鳴動しません。
  - 電源が入っていないとき
  - 電池が切れそうなとき（→P54）
  - マナーモード中
  - おまかせロック中
  - メールの削除、保護、移動／コピー、既読／未読変更を実行中
  - データ転送モード中
  - ソフトウェア更新中
- 通話中やパソコンとつないだパケット通信中、64Kデータ通信中は、ワンタッチアラームを起動できますが、パソコンとつないだパケット通信中以外は通話や通信が切断されます。
- おまかせロック中を除く各種ロック中でもワンタッチアラームは起動できます。

- 他の機能の処理が終了する前にワンタッチアラームを起動すると、鳴動開始が多少遅れる場合があります。
- ワンタッチアラーム鳴動中の各動作や各操作は次のとおりです。
  - 電池が切れそうになると、ワンタッチアラームは終了します。
  - 自動電源OFF設定の時刻になっても電源は切れず、ワンタッチアラーム終了後に電源が切れます。
  - 自動起動設定の時刻になってもｉアプリは起動せず、起動失敗履歴に記録されます。
  - お知らせタイマー、目覚まし、スケジュールで指定した時間や日時になると、ワンタッチアラーム終了後にそれぞれ動作します。
  - ソフトウェア更新の予約日時になっても、ソフトウェアの書き換えは始まりません。
  - 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）で発信操作を行うと、ワンタッチアラームを終了して電話を発信できます。
  - おまかせロックが起動すると、ワンタッチアラームは終了します。
  - 64Kデータ通信やパソコンとつないだパケット通信の着信があると、アラーム鳴動中着信動作の設定に関わらず着信は拒否されます。このとき、64Kデータ通信のみ不在着信として記録されます。
  - オート着信機能設定が「ON」のときや伝言メモの設定中は、ワンタッチアラームが終了し、それぞれの機能が起動します。
- 公共モード中は本設定が「ON」であることを示すランプは点滅しませんが、ワンタッチアラームを起動できます。
- 本設定を長時間「ON」にしていると、待受時間が短くなります。
- ワンタッチアラームは、周囲の注意をこちらに向けるためのもので、犯罪防止や安全を保証するものではありません。本機能をご利用した際に、万一損害が発生したとしても、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

スケジュール帳

スケジュールを管理する

◆カレンダーを表示する

1 （1秒以上）

カレンダー画面

土曜日は青や水色、休日・祝日は赤やピンク、当日はその他の色で表示されます。

- を押すと前月、を押すと翌月に切り替わります。
- 画面の見かたは次のとおりです。

① 用件アイコン
- 複数のスケジュールを登録した日付は、最も早い時刻に登録したスケジュールの用件アイコンが表示されます。

② カーソル位置の日付に登録したスケジュール一覧
- 一覧の見かたはデイリービュー画面（→P335）と同じです。

③ スケジュールを4件以上登録している場合

特定の日を指定して表示する（日付移動）： MENU▶4 2▶**年月日を入力**

- 当日に戻すときはMENU 4 1を押します。
- デイリービュー画面から操作する場合は、MENU 5 2を押します。当日に戻すときは、MENU 5 1を押します。

✔お知らせ

- カレンダーは2000年1月1日から2060年12月31日まで表示できます。
- コーディネイト／きせかえの設定やスクリーン設定により、表示される色は異なる場合があります。
- カレンダーの祝日は、「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成17年法律第43号までのもの）」に基づいています。春分の日、秋分の日の日付は前年の2月1日の官報で発表されるため異なる場合があります（2007年12月現在）。また、上記法律は2007年1月から施行されていますが、2006年までの一部の祝日、振替休日については、改正前の日付で表示されないため、ご注意ください。

◆カレンダーの表示形式を設定する〈カレンダーモード設定〉

- お買い上げ時は、動作モードが「マンスリーモード」、表示モードが「ノーマルモード」に設定されています。

1 📖（1秒以上）▶MENU▶6 1▶**各項目を設定**▶📖

動作モード： 🔲を押して日付を移動したとき、「マンスリーモード」は1か月ごとに画面が切り替わり、「スライドモード」は1週間ごとに画面がスクロールします。

表示モード： 1週間の始まり（左側に表示）が「ノーマルモード」は日曜日、「ビジネスモード」は月曜日になります。

◆休日を設定する〈休日設定〉

- 最大30件設定できます。

〈例〉日付を指定して設定する

1 📖（1秒以上）

2 **日付にカーソルを合わせて**MENU▶6 2 1

カレンダー画面の日付の色が変わります。

- 毎年繰り返して休日にするときはMENU 6 2 2を押します。

解除する：日付にカーソルを合わせてMENU▶6 2▶3**または**4

曜日を指定して設定する：

① MENU▶6 3▶**曜日を選択**

- 日曜日以外の曜日を選択したときは、MENUを押すとお買い上げ時の状態に戻ります。

② 📖

◆祝日を設定する〈祝日設定〉

- 最大5件新規登録できます。

1 📖（1秒以上）▶MENU▶6 4

2 📖

変更する：祝日を選択▶操作3に進む

削除する：祝日にカーソルを合わせてMENU▶**「はい」**

- お買い上げ時に設定されている祝日は削除できません。

3 **各項目を設定**▶📖

祝日名： 全角11（半角22）文字以内で入力します。

- お買い上げ時に設定されている祝日名は変更できません。

表示：「ON」にすると、カレンダー画面では祝日に設定した日付の色が変わり、カーソルを合わせるとカレンダー画面上部に祝日名が表示されます。デイリービュー画面では祝と祝日名が表示されます。

日付： 祝日にする日付を入力します。お買い上げ時に設定されている祝日の日付を変更するときは、「カスタマイズ」を選択し、日付を入力します。

◆スケジュールを登録する

- 最大登録件数→P458

1 回（1秒以上）▶日付にカーソルを合わせて回

- デイリービュー画面から操作する場合は回を押します。

2 各項目を設定

：用件アイコンを選択します。
予定：選択した用件アイコンに対応した予定の内容が表示されます。全角100（半角200）文字以内で変更できます。
終日：時間を指定せずに終日のスケジュールとして設定するときは「ON」を選択します。
開始日時：開始日時を入力します。
終了日時：終了日時を入力します。開始日時よりも後の日付に設定すると、カレンダー画面には、設定した日付の右上にが表示されます。また、カレンダー画面のスケジュール一覧、デイリービュー画面、スケジュール詳細画面の用件アイコンの下にが表示されます（長期間スケジュール）。
要約・メモ：全角300（半角600）文字以内で入力します。

3 でメンバーリスト選択画面に切り替え▶「〈メンバーリスト選択〉」▶電話帳からメンバーを選択

- 最大5名登録できます。
- メンバーを削除するときは、メンバーにカーソルを合わせてMENUを押します。

4 でアラーム設定画面に切り替え▶各項目を設定

アラーム：アラームを設定するときは「あり」を選択し、アラーム音を選択します（スケジュールアラーム）。
- 「端末設定に従う」にすると、音設定のスケジュール音に従います。
ミュージックの設定→P101

予告アラーム：開始日時より前に予告アラームを鳴らすときは「あり」を選択します。
予告アラーム時間（分前）：開始日時の何分前に予告アラームを鳴らすかを設定します。

5 でその他の設定画面に切り替え▶各項目を設定

繰り返し：繰り返しを設定すると、カレンダー画面には、設定した日付の右上にが表示されます。また、カレンダー画面のスケジュール一覧、デイリービュー画面、スケジュール詳細画面の用件アイコンの下にが表示されます（繰り返しスケジュール）。
- 「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、曜日を選択して回を押します。
- 開始年月日を「31日」やうるう年の「2月29日」などに設定し、繰り返しを「毎月」または「毎年」にした場合など該当する日が存在しない月や年には、その月、年の月末（「30日」や「2月28日」など）が繰り返し日となります。

イメージ：スケジュールアラーム画面を変更するときは、「あり」を選択して「画像選択」を選択し、画像を選択します。

6 回

- アラームや予告アラームを設定したスケジュールを登録すると、待受画面にまたは（目覚ましも設定しているとき）が表示されます。

❖待受画面からスケジュールを登録する〈クイックスケジュール〉

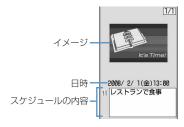
カレンダー画面を表示せず、簡単なキー操作でスケジュールを登録できます。

1 日時を8桁の数字で入力▶回

スケジュールの新規作成画面が表示されます。
- 2月1日7時5分の場合、0 2 0 1 0 7 0 5と入力します。
- 時間2桁、分2桁の4桁を入力すると、当日（現在の時刻より前の時刻を入力した場合は、翌日）の新規作成画面が表示されます。

以降の操作→P333「スケジュールを登録する」操作2以降

❖指定した日時になると

ディスプレイに次の画面が表示され、音量設定のスケジュール音量でアラームが鳴ります。また、バイブレータ設定のスケジュール鳴動時や着信イルミネーションの電話着信の設定に従って動作します。

- [終話キー]を押すとアラームが終了します。
- 約1分間何も操作しないか、[終話キー]以外のキーを押すと、アラームが停止します。
- アラームが停止しているときに[■]を押すと、スケジュール詳細画面が表示されます。

✔お知らせ

- 終日が「ON」のスケジュールは、指定した日の0時にスケジュールアラームが動作します。
- スケジュールアラームに動画／iモーションを設定すると、スケジュールアラームが動作するとき画面に動画／iモーションが表示されます。
- 同じ日時に複数のスケジュールアラームを設定している場合、アラームを停止した後[左右キー]を押して他のスケジュールの内容を確認できます。
- スケジュールアラームと目覚ましを同じ日時に設定していると、目覚ましが鳴った後に続けてスケジュールアラームが通知されます。
- 通話中に指定した日時になると、警告音が鳴りスケジュールアラーム画面が表示されます。
- イミテーションコール通話中に指定した日時になると、アラーム音は鳴らず、バイブレータが「パターンA」で振動します。
- 次の場合に指定した日時になると、操作や動作が終了した後、アラームが動作します。
  - 電話の発着信中、呼出中、切断中
  - 64Kデータ通信の発着信中
  - データ転送モード中
  - 赤外線リモコン使用中
  - ワンタッチアラーム鳴動中

◆スケジュールアラームの初期値を設定する〈アラーム初期値設定〉

新規登録するスケジュールのスケジュールアラームの初期値を変更できます。

- お買い上げ時は、通常登録時、待受画面から登録時が「アラームあり」に設定されています。

1 **[□]（1秒以上）▶[MENU]▶[6][5]▶各項目を設定▶[□]**

通常登録時：カレンダー画面からスケジュールを登録するときの初期値を設定します。

待受画面から登録時：クイックスケジュールで登録するときの初期値を設定します。

◆登録したスケジュールを確認・変更する

〈例〉スケジュールを確認する

1 📖（1秒以上）▶スケジュールの登録日を選択

デイリービュー画面

- 🔘を押すと、日付が切り替わります。

2 スケジュールを選択

スケジュール詳細画面

変更する：スケジュールにカーソルを合わせてMENU▶2
- スケジュール詳細画面から操作する場合は📖を押します。
  以降の操作→P333「スケジュールを登録する」操作2以降

用件を指定して表示する（用件別表示モード）：
① MENU▶42▶用件アイコンを選択
カレンダー画面、デイリービュー画面の右上に選択した用件アイコンが表示され、用件アイコンのスケジュールのみ表示されます。
- 元の表示に戻す場合はMENU41を押します。
- カレンダー画面から操作する場合はMENU32を押します。
  元の表示に戻す場合はMENU31を押します。

✔お知らせ

- 表示中のスケジュールの内容に電話番号、メールアドレス、URLが含まれている場合は、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用できます。

❖スケジュールをコピーして貼り付ける

- コピーしたスケジュールは最新の1件だけがスケジュール帳を終了するまで記録され、別の日付に何度でも貼り付けられます。

1 📖（1秒以上）▶スケジュールの登録日を選択▶スケジュールにカーソルを合わせてMENU▶61

2 CLR▶貼り付ける日付にカーソルを合わせてMENU▶5
- デイリービュー画面から操作する場合は、MENU62を押します。

◆スケジュールからｉモードメールの操作を行う

❖メールを作成する

メール本文に自動的にスケジュールを入力したり、1件のスケジュールデータとして添付したりできます。

- スケジュールはメール本文にDate To形式で入力されます。→P348

〈例〉デイリービュー画面から1件のスケジュールを入力する

1 [📖]（1秒以上）▶スケジュールの登録日を選択

2 スケジュールにカーソルを合わせて[✉]

- 選択した日付に登録されているすべてのスケジュールを入力するときは[MENU][7][1][2]を押します。
- 登録しているすべてのスケジュールをまとめて入力するときは[MENU][7][1][3]を押します。
- カレンダー画面から操作する場合は、[MENU][8][1]を押し[1]または[2]を押します。
- スケジュール詳細画面から操作する場合は、[✉]を押します。

添付する：スケジュールにカーソルを合わせて[MENU]▶[7][1][4]

- スケジュール詳細画面から操作する場合は、[MENU][4][2]を押します。

❖メールを検索する

〈例〉カレンダー画面から検索する

1 [📖]（1秒以上）▶日付にカーソルを合わせて[MENU]▶[8][2]▶[1]または[2]

- デイリービュー画面から操作する場合は、[MENU][7][2]を押し[1]または[2]を押します。

✔お知らせ

- メールを作成するとき、入力されるスケジュールがメール本文の最大文字数を超えた場合は、超過分が削除されます。
- 用件別表示モードに切り替え中は、表示されている用件だけがメール本文入力の対象になります。

◆スケジュールを削除する

〈例〉デイリービュー画面から削除する

1 [📖]（1秒以上）▶スケジュールの登録日を選択▶[MENU]▶[3]▶[1]～[4]▶「はい」

- 「全件削除」を選択した場合は、認証操作を行います。
- カレンダー画面から操作する場合は、[MENU][2]を押し[1]～[3]を押します。
- スケジュール詳細画面から操作する場合は、[MENU][3]を押します。

✔お知らせ

- 選択した日付を含む長期間スケジュールを登録している場合は、「1日削除」または「選択日前日まで削除」を選択すると、長期間スケジュール削除の確認画面が表示されます。
- 用件別表示モードに切り替え中は、表示されている用件だけが削除の対象となります。

◆メンバーリストを利用する

メンバーリストを選択して、電話をかけたり、メールを作成したりできます。

1 **📖（1秒以上）▶スケジュールの登録日を選択▶スケジュールを選択▶🔲でメンバーリスト一覧画面を表示**

2 **メンバーにカーソルを合わせて目的に応じた操作を行う**

電話をかける：✆または A/a

- MENU 4 を押すと、条件を設定して電話をかけられます。→P69

ｉモードメールを作成する：✉

メールアドレスが宛先に設定され、スケジュールがDate To形式で本文に入力されます。

- メンバー全員にｉモードメールを送信するときはMENU 5 2 を押します。

サイトを表示する：MENU▶6

✔お知らせ

- 電話帳データに登録している2件目以降の電話番号やメールアドレスを利用するときは、メンバーリスト一覧画面からメンバーを選択して、電話帳の詳細画面から利用する電話番号またはメールアドレスを表示します。ただし、電話帳の詳細画面からｉモードメールを作成するとスケジュールは本文に入力されません。

◆他人に見られたくないスケジュールを守る〈シークレット属性〉

スケジュールにシークレット属性を設定します。プライバシーモード中（スケジュールが「指定スケジュール非表示」のとき）は、シークレット属性を設定したスケジュールは表示されません。

- プライバシーモードの設定→P131

1 **📖（1秒以上）▶スケジュールの登録日を選択**

2 **スケジュールにカーソルを合わせてMENU▶9**

カーソル位置のスケジュールにシークレット属性を設定していると🔑が点滅

デイリービュー 1/1
2008/ 2/ 1(金)
11:00 ～ 12:00
会議

- 解除するときは、スケジュールにカーソルを合わせてMENU 9 を押します。
- スケジュール詳細画面から操作する場合は、MENU 6 を押します。

◆スケジュールの登録件数を確認する〈登録件数確認〉

1 **📖（1秒以上）▶MENU▶7**

よく使う機能を登録する

よく使う機能を自由に登録して、自分だけのメニューを作れます。

- セレクトメニューの1階層目に登録した機能は、待受画面で対応するダイヤルキー（1～9）を1秒以上押すことで起動できます。ただし、下の階層がある機能、人物、グループを登録した場合は起動できません。

❖テンプレートを読み込む

4種類のテンプレートのいずれかを読み込んで、セレクトメニューを設定します。

1 MENU▶[本]▶MENU▶7 1▶1～4

スタンダード：ミュージックプレーヤー、時報イルミネーション、開閉イルミネーション、新着アニメ、イミテーションコール開始、2in1モード切替、背面表示パターン設定、ワンタッチアラーム設定

セキュリティ：開閉ロック、プライバシーモード設定、ICカードロック、ICカードロック時動作設定、ICカードオートロック設定、パスワードマネージャー、セキュリティランプ設定、着信／受信時動作設定

カスタマイズ：コーディネイト／きせかえ、ライフスタイル設定、待受画面選択、新着アニメ、開閉操作音、背面表示パターン設定、文字サイズ設定、フォント選択、ダウンロード辞書

ユーザデータ：Bookmark、画面メモ、スケジュール帳、メモ帳、目覚まし、単語登録、定型文、microSD

2 認証操作▶「はい」

- セレクトメニューのメニュー項目をすべて削除している場合は、認証操作の後テンプレートが読み込まれます。

◆セレクトメニューを作成する

- 1つの階層に最大9個のメニュー項目を登録できます。

1 MENU▶[本]

2 メニュー項目を登録

人物を追加登録する：MENU▶1 1▶**電話帳から人物を選択**

- 電話帳に登録した画像（Flash画像、動画／ｉモーションを除く）または人物アイコンがメニュー画面に表示されます。

機能を追加登録する：

① MENU▶1 2

機能選択画面

- 機能選択画面は、メニュー設定のノーマルに従って表示されます。ただし、ノーマルが「アニメーション」「シンプル」「きせかえツールに従う」の場合は、機能選択画面が「タイルアイコン」で表示されます。

② **メニュー項目にカーソルを合わせて**[本]

- 下の階層がないメニュー項目は、メニュー項目を選択しても登録できます。

グループを追加登録する：MENU▶1 3▶**グループ名を入力（全角9（半角18）文字以内）**▶[本]

グループ内に追加登録する：
3階層目は、グループを登録できません。

① グループを選択

- グループ内にメニュー項目を登録していないときは項目選択画面が表示されます。

② MENU ▶ 1 ▶ 1 〜 3 ▶ 登録の操作を行う

上書き登録する：メニュー項目にカーソルを合わせて MENU ▶ 2 ▶ 1 〜 3 ▶ 登録の操作を行う

- グループに上書きするときは上書きの確認画面が表示されます。

◆セレクトメニューを利用する

機能を実行したり人物に電話をかけたりします。

1 MENU ▶ 📖 ▶ メニュー項目を選択

- 機能を選択すると、機能が起動または下の階層のメニュー項目が表示されます。
- 人物を選択すると、電話帳の登録内容を利用できます。→P339「人物を利用する」操作2
- グループを選択すると、グループ内に登録したメニュー項目が表示されます。

❖人物を利用する

1 MENU ▶ 📖

2 人物にカーソルを合わせて目的に応じた操作を行う

電話をかける：✓ または A/a

- 人物を選択して 1 を押すと、条件を設定して電話をかけられます。→P69
- 電話番号を2件以上登録している場合は、電話帳の詳細画面から利用する電話番号を選択します。

iモードメールを作成する：✉

- メールアドレスを2件以上登録している場合は、電話帳の詳細画面から利用するメールアドレスを選択します。

SMSを作成する：✉（1秒以上）

- 電話番号を2件以上登録している場合は、電話帳の詳細画面から利用する電話番号を選択します。

サイトを表示する：人物を選択 ▶ 4

詳細情報を表示する：人物を選択 ▶ 5

◆セレクトメニューを編集する

メニュー項目の表示順やアイコンの変更、グループ名の変更やメニュー項目の削除を行います。

1 MENU ▶ 📖

2 メニュー項目にカーソルを合わせて目的に応じた操作を行う

メニュー項目を入れ替える：MENU ▶ 4 ▶ 入れ替え先のメニュー項目を選択 ▶「はい」

アイコンを変更する：MENU ▶ 5 ▶ アイコンを選択

- 元のアイコンに戻すには MENU 5 📖 を押します。

グループ名を変更する：MENU ▶ 6 ▶ グループ名を変更 ▶ 📖

メニュー項目を削除する：MENU ▶ 3 ▶「はい」

◆セレクトメニューをリセットする

1 MENU ▶ 📖 ▶ MENU ▶ 7 2 ▶ 認証操作 ▶「はい」

- 登録内容がすべて削除された後に■を押すと、項目選択画面が表示されます。

サイドキー長押し設定

サイドキーを長押しして起動する機能を設定する

FOMA端末を閉じた状態で▯を1秒以上押したとき起動するように、機能を設定できます。

1 MENU ▶ 8 7 7 ▶ 1 〜 5

- 「設定なし」にすると機能は起動しません。

プロフィール情報

自分の名前などを登録する

お客様の電話番号、名前、メールアドレスなどを登録します。

1 MENU ▶ 0

- 自局電話番号にはご契約の電話番号が表示されます。

2 📖 ▶ 認証操作 ▶ 各項目を設定 ▶ 📖

- 各設定項目→P87「FOMA端末電話帳に登録する」操作2以降（メモリ番号とグループは設定できません）
- 1件目の電話番号には、自局電話番号が表示されます。変更できません。

✔お知らせ

- 自局電話番号はFOMAカードに、それ以外の項目は、FOMA端末に登録されます。
- プロフィール情報のメールアドレスを変更しても、ｉモードのメールアドレスは変更されません。また、ｉモードのメールアドレスを変更しても、プロフィール情報のメールアドレスは変更されません。
- 2in1がONでデュアルモードのときは、操作1の後に✉を押してAナンバーとBナンバーのプロフィール情報を切り替えられます。

◆プロフィール情報の詳細を確認する

1 MENU ▶ 0 ▶ ■ ▶ 認証操作

- 📷を押すたびに詳細画面が切り替わります。
- 登録した電話番号に発番号設定を設定している場合は、詳細画面上部に❗が表示されます。

プロフィール情報の詳細画面

基本情報を表示する： MENU ▶ 8 1
1件目の電話番号やメールアドレスなどが表示されます。

詳細画面の表示を切り替える： MENU ▶ 8 2 ▶ 1 〜 3
各設定項目→P93「詳細画面の表示を切り替える」

登録内容を編集する： MENU ▶ 2 ▶ 編集して📖

登録内容をリセットする： MENU ▶ 3 ▶「はい」

✔お知らせ

- 2in1がONのときは、表示中のプロフィール情報のみリセットされます。

◆プロフィール情報の詳細を利用する

プロフィール情報の詳細画面から、電話をかけたりメールを作成したりできます。

1 MENU▶0▶■▶認証操作

2 目的に応じた操作を行う

電話をかける：**電話番号の詳細画面を表示▶✓または A/a**
- ■を押しても音声電話をかけられます。
- 自局電話番号には発信できません。
- MENU 4を押すと、条件を設定して電話をかけられます。→P69

発番号設定を設定する：**電話番号の詳細画面を表示▶MENU▶7 1▶1～3**

ｉモードメールを作成する：**メールアドレスの詳細画面を表示▶✉または■**
- メールアドレスを入れ替えるときは、MENU 7 2を押し、1件目にするメールアドレスを選択します。
- SMSを作成するときは、電話番号の詳細画面を表示して✉を押します。

サイトを表示する：**URLの詳細画面を表示▶■**

登録内容をコピーする：**MENU▶5▶1～8**
- 電話番号とメールアドレスは1件目の内容がコピーされます。2件目以降の内容をコピーするときは、2件目以降の詳細画面を表示してMENU 5を押し2または3を押します。

リラックスモードプラス

気分に合わせて音や画像、光を楽しむ

音や画像、光によってリラックスした雰囲気を演出します。再生時間中は画像が表示され、調和した音や音楽、イルミネーションを楽しめます。

1 MENU▶7 7
- 「♪紙飛行機」「♪積み木」は、周囲の音（声、息を吹きかける、口笛を吹く、手や物をたたく）を感知して、音、画面、イルミネーションが変化します。また、音に反応してバイブレータが振動することがあります。

2 1～7▶再生時間を選択

音量設定の電話着信音量に従って再生されます。
- 再生中は次の操作ができます。

 ⬍：音量調整

 CLR：一覧画面に戻る

✔お知らせ
- 音量設定の電話着信音量が「Steptone」の場合は、Level3の音量で再生されます。
- 再生中はディスプレイが常時点灯します。
- 本機能から音や音楽が流れているときは、周囲の音に反応しません。
- 次の場合は再生が停止しますが、それぞれの動作を終了すると再開します。
  - MULTIを押したとき
  - 電話がかかってきたとき
  - メールやメッセージR/Fを受信したとき
  - お知らせタイマー、目覚まし、スケジュールで指定した時刻や日時になったとき
  - ▯を1秒以上押して他の機能を起動したとき

イミテーションコール

電話着信と通話中を装う

イミテーションコールとは、電話の着信動作を起こし、電話を受けた後に流れるガイダンスに応答して通話中を装うことができる機能です。

- 音声回線を使用しないため、電波状態に関わらず利用できます。また、通話料金はかかりません。

◆イミテーションコールを設定する

1 MENU ▶ 7 9 2 ▶ 各項目を設定 ▶ 📖

- 鳴動開始時間を「10秒後に鳴らす」にすると、イミテーションコールを開始したときカウントダウン画面が表示され、約10秒後に着信動作を行います。

◆イミテーションコールを開始する

1 MENU ▶ 7 9 1

イミテーションコール設定に従い着信音が動作し、イミテーションコール着信中画面が表示されます。また、着信イルミネーションの電話着信に従って（ただし、「OFF」の場合は「イルミパターン2」）動作します。

- ▯を押すと、消音で動作します。

2 📞

イミテーションコールのガイダンスが受話口から流れ、イミテーションコール通話中画面が表示されます。また、通話中イルミネーションが「OFF」の場合でも、通話中イルミネーションのイルミネーションカラーに従ってランプが点滅します。

- 終了するには⏏を押します。

✔お知らせ

- サイドキー長押し設定を「イミテーションコール」にして、イミテーションコール設定の鳴動開始時間を「10秒後に鳴らす」にした場合は、▯を1秒以上押してイミテーションコールを開始すると、バイブレータが約0.5秒間振動した後、カウントダウンを始めます。
- マナーモード中は、着信音は鳴らずバイブレータが「パターンA」で振動します。
- 公共モード（ドライブモード）中、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続中でも着信音はスピーカーから鳴ります。
- エニーキーアンサー設定に関わらず、ダイヤルキーなどを押してイミテーションコール着信を受けられます。
- 通話中クローズ設定に関わらず、FOMA端末を折り畳んでイミテーションコール通話を終了できます。
- イミテーションコール通話中に次の動作があると、着信音やアラーム音は鳴らず、バイブレータが「パターンA」で振動します。
  - 電話がかかってきたとき
  - メールやメッセージR/Fを受信したとき
  - お知らせタイマー、目覚まし、スケジュールで指定した時刻や日時になったとき
- イミテーションコール通話中に他の機能に切り替えると、他の機能を終了後にイミテーションコール再開の確認画面が表示されます。

音声メモ／動画メモ

声や画像を録音／録画する

通話中や待受中に声や画像を録音／録画できます。

- 通話中音声メモと待受中音声メモは、1件につき最大30秒、合わせて最大4件録音できます。
- 動画メモは、1件につき最大30秒録画できます。
- 圏外通知や番号変更案内などガイダンスによっては録音できない場合があります。
- 電波の状態により、通話中音声メモや動画メモの録音内容が途切れたり、録画画像が乱れる場合があります。

◆通話中に相手の声や画像を録音／録画する

1 通話中に▯（1秒以上）

録音または録画が開始されます。残り約5秒になると、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。終了時には「ピーッ」と音が鳴ります。

録音／録画時間の経過

音声電話中音声メモ　　テレビ電話中動画メモ

- 動画メモ録画中は、テレビ電話画像選択の動画メモ画像の設定に従って画像が相手に送信されます。
- 動画メモ録画中に■を押すと、録画時間の経過表示と通話時間表示が切り替わります。
- 録音または録画を途中で停止するときは▯を1秒以上押します。
- 動画メモはｉモーションの「カメラ」フォルダに保存されます。

◆待受中に自分の声を録音する

- FOMA端末を開いている状態で操作してください。

1 ▯（1秒以上）▶3

約3秒後に「ピーッ」と音が鳴り、録音が開始されます。残り約5秒になると、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。終了時には「ピーッ」と音が鳴ります。

- 録音中は画面の下に録音時間の経過が表示されます。
- 録音を途中で停止するときは■、CLR、⌒のいずれかを押します。

◆音声メモを再生する

- FOMA端末を開いている状態で操作してください。

1 ▯（1秒以上）▶4

①状態マーク

　MEMO：通話中音声メモ　表示なし：待受中音声メモ

②Bナンバーの発着信（2in1がONでデュアルモードの場合）

③海外滞在時（GMT+09:00を除く）の音声メモマーク※1

④国際電話の通話中音声メモマーク

⑤電話番号※2／名前（電話帳に登録している場合）／発信者番号非通知理由／音声メモ（待受中音声メモの場合）

⑥カーソル位置の録音日時（海外滞在時は滞在地の日時）、電話番号※2／発信者番号非通知理由／音声メモ（待受中音声メモの場合）
⑦発着信したマルチナンバーの名称（マルチナンバーを利用している場合）

※1 録音日時が記録されていないときなど、表示されない場合があります。

※2 国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます。

2 音声メモを選択

- 再生中は画面の下に再生時間の経過が表示されます。
- 再生中は次の操作ができます。
  - ：音量調整
  - ：停止
  - ：スピーカーホン機能ON／OFFの切り替え

削除する：音声メモにカーソルを合わせて▶2▶1または2▶「はい」

- 「全件削除」を選択した場合は、認証操作を行います。

電話をかける：通話中音声メモにカーソルを合わせてまたは

- 3を押すと、条件を設定して電話をかけられます。→P69

電話番号を電話帳に登録する：

①通話中音声メモにカーソルを合わせて▶4または5▶1または2

- 登録済みの電話帳データに登録するときは、電話帳データを選択します。

②名前や電話番号などを登録

電話帳登録→P87、89

3 音声メモを削除するかどうかを選択

✔お知らせ

- 2in1がONでAモードのときはAナンバーの通話で録音した通話中音声メモのみ、BモードのときはBナンバーの通話で録音した通話中音声メモのみが表示されます。デュアルモードのときは、すべての通話中音声メモが表示されます。

通話時間／通話料金

通話時間・料金を確認する

音声電話、テレビ電話などの直前および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 通話時間は、音声電話通話時間、テレビ電話通話時間、64Kデータ通信時間に分けて表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金はかけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「0YEN」または「******YEN」と表示されます。
- 通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算）が表示されます。
  ※ 901iシリーズより前に発売されたFOMA端末でも通話料金はFOMAカードに蓄積されていますが、表示はできません。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の時間や料金とは異なる場合があります。
- 表示される通話料金に消費税は含まれていません。

◆通話時間を確認する

1 MENU▶8 7 6 1

- 以前に通話時間を積算リセットした場合は、その時点からの積算時間が表示されます。

直前通話時間：直前に発着信した音声電話、テレビ電話、データ通信の通話時間または通信時間
積算通話時間（音声）：音声電話で通話した積算時間
積算通話時間（テレビ電話）：テレビ電話で通話した積算時間
積算通話時間（データ）：データ通信を行った積算時間
前回リセット日時（音声）：音声電話の積算時間を前回リセットした日時
前回リセット日時（テレビ電話）：テレビ電話の積算時間を前回リセットした日時
前回リセット日時（データ）：データ通信の積算時間を前回リセットした日時
積算通話時間をリセットする：**通話時間確認画面で[四]▶認証操作▶1～4▶「はい」**

- 通話時間確認画面に戻るときは[四]を押します。

◆通話料金を確認する

1 MENU▶8 7 6 2 1

- 直前通話料金の情報がない場合は、「******YEN」と表示されます。
- 以前に通話料金を積算リセットした場合は、その時点からの積算料金が表示されます。

直前通話料金（音声）：直前に通話した音声電話の料金
直前通話料金（テレビ電話）：直前に通話したテレビ電話の料金
直前通話料金（データ）：直前に行ったデータ通信の料金
積算通話料金：音声電話、テレビ電話、データ通信の通話料金と通信料金の積算料金
前回リセット日時：積算通話料金を前回リセットした日時

積算通話料金をリセットする：**通話料金確認画面で[四]▶PIN2コードを入力▶「はい」**

❖積算通話料金を自動的にリセットする〈通話料金自動リセット設定〉

積算通話料金を毎月1日0時に自動的にリセットするかどうかを設定します。

1 **MENU▶8 7 6 2 4▶認証操作▶1または2▶PIN2コードを入力**

✔お知らせ

- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
- 着もじの送信料金はカウントされません。
- ｉモード通信、パケット通信の通信時間や通信料金はカウントされません。ｉモード利用料などの確認方法については『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。
- WORLD CALL利用時の国際通話料はカウントされます。その他の国際電話サービス利用時はカウントされません。
- FOMA端末の電源を切ると、直前通話料金は「******YEN」と表示されます。
- 直前および積算の音声電話通話時間やテレビ電話通話時間、データ通信時間が9999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントされます。
- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合の直前通話料金には、音声電話、テレビ電話それぞれの合計額が表示されます。なお、切り替え中には、料金は加算されません。
- 2in1をご契約いただいている場合は、積算通話時間と積算通話料金にはAナンバーとBナンバーの合計が表示されます。

- 通話料金自動リセット設定が「ON」のときは、次のようになります。
  - 1日0時に電源が切れているときや通話中は、電源が入った後や通話終了後にリセットされます。
  - 日付時刻設定で翌月以降の日時を設定すると、その時点でリセットされます。
  - 電源を入れるときにはPIN2コードの入力、日付時刻設定を行うときには認証操作が必要です。
  - 設定時と異なるFOMAカードに差し替えて電源を入れると、設定は解除されます。

◆通話料金の上限を通知する〈通話料金上限通知〉

積算通話料金が設定した金額を超えたとき、アラームやアイコン表示などでお知らせします。

1 MENU ▶ 8 7 6 2 2 ▶ **認証操作** ▶ **各項目を設定** ▶

通話料金上限通知：上限金額を超えたとき通知するかどうかを設定します。

料金上限（円）：上限金額を10～100000円の範囲で、1円の位は省略して入力します。

通知方法：アラームとアイコンで通知するか、アイコンのみで通知するかを設定します。

アラーム音：通知する音を選択します。

アラーム時間（秒）：アラームが鳴る時間を1～60秒の範囲で設定します。

❖通話料金が上限を超えると

- 通話中または通信中に設定した料金の上限を超えると、ディスプレイ上部に¥が表示されます。
- 通知方法が「アラーム+アイコン表示」の場合は、設定した料金の上限を超えた通話や通信を終了して待受画面に戻ると、アラームが鳴りディスプレイに「通話料金が上限を超えました」と表示されます。ただし、FOMA端末を閉じて通話や通信を行っている場合や、FOMA端末を閉じて通話を終了した場合は、アラームは鳴りません。
- アラームは、音量設定の電話着信音量に従います。

❖上限通知アイコンを消去する〈上限通知アイコン消去〉

1 MENU ▶ 8 7 6 2 3 ▶ **認証操作** ▶ **「はい」**

✔お知らせ

- 通知方法が「アラーム+アイコン表示」でも、通話料金自動リセット設定が「ON」のときに通話料金の上限を超える通話を1日0時に行うと、アラームは鳴らずメッセージも表示されません。

電卓

電卓として使う

FOMA端末で四則演算（+、−、×、÷）ができます。

- 8桁以内で入力します。
- スケジュール帳やメモ帳の入力欄から電卓を利用できます。→P362

1 MENU ▶ 7 4 ▶ **計算する**

電卓画面には、FOMA端末のキーに割り当てられている操作が表示されます。

0～9：数字の入力

（方向キー）：+、−、×、÷の入力

（決定キー）：=の入力（計算の実行）

＊：小数点の入力

＃：入力した数字の+、−の切り替え

（メールキー）：入力した数字の1桁削除

CLR：入力した数字、計算結果の削除

数値をコピーする：MENU ▶ 1

- コピーした数値を貼り付ける場合はMENU 2を押します。
- コピーした数値は最新の1件だけが電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。

✔お知らせ

- 計算結果の整数部分が8桁を超えたり、0で除算したりするとエラーとなり、「E」と表示されます。小数点を含む数値が8桁を超える場合は、表示に収まらない小数部分が四捨五入されて表示されます。

メモ帳

メモを作成する

大切な情報や覚書などを、メモ帳に入力できます。

- 最大登録件数→P458

1 MENU▶7 2▶📖

- メモ帳参照画面から操作する場合は、MENU 1を押します。

2 各項目を設定▶📖

種別アイコン：種別アイコンを選択します。
メモ内容：全角1000（半角2000）文字以内で入力します。
期限：期限を設定するときは「あり」を選択し、日付を入力します。

◆メモを確認する

1 MENU▶7 2

1行表示　　2行表示

① **状態マーク**
メモの期限の状態（完了／未完了）を表示
：未完了（期限の2日以上前）
：未完了（期限の1日前または当日）
：未完了（期限超過）　：完了　表示なし：期限なし
② **種別アイコン**
③ **メモ内容**
④ **期限**

2 メモを選択

メモ帳参照画面が表示されます。

- メモ内容に電話番号、メールアドレス、URLが含まれる場合は、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用できます。

種別アイコンを指定して表示する（アイコン別表示モード）：
MENU▶4 2▶**種別アイコンを選択**
メモ一覧の右上に選択した種別アイコンが表示され、種別アイコンのメモのみ表示されます。

- 元の表示に戻す場合は、MENU 4 1を押します。

完了／未完了を指定して表示する（完了状態別表示）：
MENU▶5▶2**または**3
完了メモ一覧または未完了メモ一覧が表示されます。

- 元の表示に戻す場合は、MENU 5 1を押します。

完了／未完了を変更する：**期限を設定しているメモにカーソルを合わせて**✉

- メモ帳参照画面から操作する場合は、MENU 4を押します。

メモを並べ替える：MENU▶6▶**各項目を設定**▶📖
ｉモードメールを作成する：**メモにカーソルを合わせて**MENU▶7

- メモ帳参照画面から操作する場合は、MENU 5を押します。

メモを変更する：**メモにカーソルを合わせて**MENU▶2

- メモ帳参照画面から操作する場合は、📖を押します。

以降の操作→P347「メモを作成する」操作2

◆メモからスケジュールを登録する

- 全角300（半角600）文字以内のメモ内容がスケジュール帳に反映されます。

❖サブメニューからスケジュールに登録する

1 MENU▶7 2▶メモにカーソルを合わせてMENU▶8

スケジュール帳の要約・メモ欄にメモ内容が入力された画面が表示されます。開始日時と終了日時の日付は、メモの期限の設定によって異なります。

- メモ帳参照画面から操作する場合は、MENU 6を押します。

以降の操作→P333「スケジュールを登録する」操作2以降

❖Date To形式からスケジュールを登録する

Date To形式とは、次の文字列で構成されます。

〈例〉 2008/02/01□17:00□~□2008/02/01□18:00□

開始年月日　開始時刻　終了年月日　終了時刻

講習会 ↵

内容　改行までが内容とみなされます。

※「～」以外はすべて半角です。□は半角空白を示します。

- 年は西暦、時刻は24時間制です。月、日、時、分が1桁のときは前に0を付ける必要はありません。
- 定型文を利用すると、簡単に現在日時のDate To形式の文を入力できます。→P360

1 MENU▶7 2▶メモを選択▶Date To形式の記述を選択

スケジュールの新規作成画面が表示されます。

以降の操作→P333「スケジュールを登録する」操作2以降

◆メモを削除する

〈例〉1件削除する

1 MENU▶7 2

2 メモにカーソルを合わせてMENU▶3 1

- メモ帳参照画面から操作する場合は、MENU 3を押します。

複数削除する：MENU▶3 2▶メモを選択▶📖

全件削除する：MENU▶3 3▶認証操作

完了したメモのみ削除する：MENU▶3 4

3 「はい」

✔お知らせ

- アイコン別表示モードや完了状態別表示に切り替え中は、表示されているメモだけが削除の対象となります。

辞典を利用する

FOMA端末内の国語辞典、和英辞典、英和辞典を利用します。「今日は何の日」「今日の歴史」も調べることができます。

〈例〉国語辞典で検索する

1 m▶75▶「学研モバイル国語辞典」▶入力欄に単語を入力（全角20（半角40）文字以内）

■を押して文字入力画面から切り替わった時点で検索結果画面が表示されます。

検索結果画面

- 検索結果一覧にカーソルがあるとき、単語を入力するにはmを押します。

2 検索結果一覧から調べたい単語を選択

詳細画面（単語の意味）が表示されます。

- 詳細画面でm1を押すと、内容をコピーできます。
- 検索結果画面または詳細画面でm2を押すと、検索した単語を別の辞典で検索できます。
- 単語によっては正しく検索できない場合があります。

◆検索履歴を利用・削除する

〈例〉国語辞典から検索履歴を利用する

1 m▶75▶「学研モバイル国語辞典」▶m▶1

検索履歴が表示されます。

- 最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

2 単語を選択

検索結果画面が表示されます。

1件削除する：単語にカーソルを合わせてm▶1▶「はい」
複数削除する：m▶2▶単語を選択▶m▶「はい」
全件削除する：m▶3▶認証操作▶「はい」

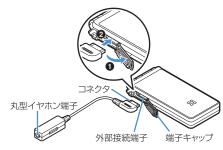
スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

外部接続端子に外部接続端子用イヤホン変換アダプタを接続すると、別売りの平型スイッチ付イヤホンマイクを接続できます。スイッチを押して電話をかけたり受けたりできます。

◆スイッチ付イヤホンマイクを接続する

- マナーモード中に平型スイッチ付イヤホンマイクを接続すると、イヤホン切替設定に関わらずイヤホンから音が鳴ります。このとき、途中でイヤホンを抜くと、メロディは停止します。ｉアプリ、ミュージック、動画／ｉモーションなどは、消音で動作や再生を続けます。

■ 接続する

①FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開き（❶）、外部接続端子用イヤホン変換アダプタのコネクタを差し込む（❷）

②平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを平型イヤホン端子に差し込む

- 丸型イヤホン端子には直径3.5mmのイヤホンプラグを接続できます。
- イヤホン端子にマイク機能のないイヤホンを接続すると、送話することができません。

■ 取り外す

①外部接続端子用イヤホン変換アダプタから平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを引き抜く

②FOMA端末から外部接続端子用イヤホン変換アダプタのコネクタを引き抜く

◆イヤホンマイクのスイッチ動作を設定する〈イヤホンスイッチ設定〉

平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを、音声電話の発信またはミュージックプレーヤーの操作で使用できるように設定します。

- イヤホンスイッチ発信→P351
- ミュージックプレーヤー操作→P320

1 MENU ▶ 8 5 4 3 ▶ **各項目を設定** ▶ 📖

イヤホンスイッチ設定：スイッチの利用方法を選択します。

電話帳メモリ番号：イヤホンスイッチ設定を「イヤホンスイッチ発信」にした場合、電話をかける相手をFOMA端末電話帳から検索して設定します。

◆スイッチを押して音声電話をかける〈イヤホンスイッチ発信〉

イヤホンスイッチ設定で設定した相手には、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押して音声電話をかけられます。

1 「ピピッ」と音がするまで、スイッチを1秒以上押す▶通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す

✔お知らせ

- イヤホンスイッチ設定の電話帳メモリ番号に複数の電話番号を登録している場合は、1件目の電話番号に音声電話がかかります。
- イヤホンスイッチ設定の電話帳メモリ番号の電話帳データを削除したり、メモリ番号の入れ替えや他の電話帳データで上書きしたりすると、イヤホンスイッチ設定は解除されます。

◆スイッチを押して電話を受ける〈イヤホンスイッチ応答〉

1 電話がかかってきたら、「ピピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す▶通話が終わったら、「ピッ」と音がするまでスイッチを1秒以上押す

✔お知らせ

- 平型スイッチ付イヤホンマイクを接続して通話中にFOMA端末を閉じた場合の動作は、次のとおりです。
  - 通話中クローズ設定に関わらず通話を継続
  - テレビ電話で相手にカメラ映像を送信中の場合は、代替画像を送信
- キャッチホンが開始の場合は、通話中にかかってきた音声電話に、スイッチを1秒以上押して出られます。キャッチホン中は、スイッチを1秒以上押すたびに通話相手を切り替えられます。

◆イヤホンをつないで自動で電話を受ける〈オート着信機能設定〉

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続しているときに音声電話やテレビ電話の着信があった場合、設定した呼出時間が経過すると自動的に応答するかどうかを設定します。

- 通話中の着信に対しては動作しません。
- 公共モード中は動作しません。

1 MENU▶8 5 4 2▶各項目を設定▶📖

自動着信機能：「ON」にすると、平型スイッチ付イヤホンマイクを接続しているときに自動的に応答します。

自動着信機能時間（秒）：自動的に応答するまでの時間を0～120秒の範囲で設定します。

✔お知らせ

- 自動着信機能時間を呼出動作開始時間設定の時間以内にすると、電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたとき、本機能は動作しません。

◆イヤホンからのみ着信音を鳴らす〈イヤホン切替設定〉

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続したときに、着信音をイヤホンとスピーカーの両方から鳴らすか、イヤホンからのみ鳴らすかを設定します。

- アラーム音などの通知音も本設定に従って動作します。

1 MENU▶8 5 4 1▶1～3

- 「イヤホン（20秒後通知有）」にすると、イヤホンからのみ着信音が鳴った後、約20秒経過するとスピーカーからも着信音が鳴ります。

クイック起動設定

電源を入れたときの起動時間を短縮する

FOMA端末の電源を入れたときの起動時間を短くするかどうかを設定します。

1
MENU ▶ 8 7 5 ▶ 1 または 2

✔お知らせ

- 次の場合は通常起動となります。
  - 電池残量が2以下のとき
  - 電池パックを取り付け直したとき
  - 電源を切ってから30秒以内または24時間経過したとき

設定状況確認

各種機能の設定状況を確認する

FOMA端末の各種設定状況を確認します。

1
MENU ▶ 8 7 6 4 ▶ で設定状況を確認

✔お知らせ

- パーソナルデータロック中は、ロックされている項目の設定状況が「---」で表示されます。
- プライバシーモード中（マイピクチャまたはｉモーションが「認証後に表示」のとき）は、認証操作が必要です。

各種設定リセット

各種機能の設定をリセットする

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- お買い上げ時の状態に戻る機能については、「メニュー一覧」をご覧ください。→P398
- 「メニュー一覧」にお買い上げ時の状態が記載されていない機能やデータで、お買い上げ時の状態に戻るものは次のとおりです。
  - 基本設定：マナーモード、公共モード（ドライブモード）、きせかえツールの動作設定、上限通知アイコン、絵文字・記号・顔文字の入力履歴
  - 変換学習データ：入力予測機能で登録されたデータ

1 MENU ▶ 8 7 6 6 ▶ 認証操作 ▶ リセットする項目を選択 ▶ 📖 ▶ 「はい」

✔お知らせ

- ｉモード設定をリセットすると、ｉチャネルのテロップが待受画面に表示されなくなります。待受画面でCLRを押してｉチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップ表示されるようになります。

データ一括削除

登録データを一括して削除する

FOMA端末に保存、登録、設定したデータを一括して削除します。

- 保護したデータも削除されます。
- お買い上げ時に登録されている次のデータは削除されます。
  - iD 設定アプリ、DCMXクレジットアプリ以外のｉアプリ
  - キャラ電
  - マイピクチャの「デコメピクチャ」「デコメ絵文字」「アイテム」フォルダの画像
- 各種設定リセットの対象となる機能は、お買い上げ時の状態に戻ります。
- 保存、登録、設定した次のデータや機能は、削除されたりお買い上げ時の状態に戻ります。
  - 日付時刻設定
  - リダイヤル
  - 着信履歴
  - 着もじ（送信メッセージ履歴含む）
  - 録音した応答保留ガイダンス
  - 伝言メモ（録音した応答ガイダンス含む）
  - テレビ電話使用機器設定
  - 電話帳データ
  - 電話帳から行う設定
  - メニュー設定
  - フォント
  - バイリンガル
  - 端末暗証番号
  - プライバシーモード設定
  - プライバシーモード
  - 着信／受信時動作設定
  - HOLD
  - セキュリティランプ設定
  - 電話帳お預かりサービスの電話帳通信履歴
  - 電話帳お預かりサービスの送信設定
  - 静止画撮影
  - 動画撮影
  - バーコードリーダーで読み取ったデータ
  - URL入力
  - URL履歴
  - ラストURL
  - オリジナル証明書
  - ブックマーク
  - ブックマークのツータッチサイト登録
  - 画面メモ
  - メッセージR/F
  - ｉモードメール
  - メールテンプレート
  - メール送受信履歴
  - メール振り分け設定
  - メールグループ
  - チャットメール
  - チャットメール画面から行う設定
  - SMS
  - ｉアプリ
  - ｉアプリ一覧から行う設定
  - ｉアプリの履歴表示
  - パターンクリエーターで作成、取得したパターンデータ
  - トルカ
  - トルカ振り分け設定
  - ICカードロック解除予約
  - マイピクチャ、ミュージック、ｉモーション、メロディ、キャラ電、きせかえツールに保存したデータ
  - マイピクチャ、ミュージック、ｉモーション、メロディ、キャラ電、きせかえツールから行う設定
  - 作成したフォルダ、アルバム
  - 変更したフォルダ名
  - 赤外線通信／iC通信のINBOXのデータ
  - データ送受信設定

- サウンドレコーダー
- 目覚まし
- スケジュール
- スケジュール帳から行う設定
- セレクトメニュー
- 通話料金自動リセット設定
- プロフィール情報（自局電話番号以外）
- 音声メモ
- 通話時間
- メモ帳
- 辞典の検索履歴
- USSD登録
- 追加サービスの応答メッセージ登録
- 電話帳2in1設定
- 定型文
- パスワードマネージャーで登録したパスワード
- ダウンロード辞書
- ソフトウェア更新（予約更新）

1 **MENU ▶ 8 7 6 7 ▶ 認証操作 ▶「はい」**

再起動中にデーター括削除されます。

✔お知らせ

- 本機能を実行して再起動すると、初めて電源を入れたときと同様の画面が表示（文字を大きいサイズに変更するかどうかの確認画面は、設定を行わず確認画面を消していた場合のみ表示）されます。→P56
- 次のデータは削除されません。また、お買い上げ時の設定に戻せません。
  - 「受信BOX」フォルダに保存されている「おすすめBEST5」（削除した場合は再び保存）
  - おサイフケータイ対応ｉアプリとその関連データ
  - FOMAカードやmicroSDメモリーカードに保存、登録、設定されているデータ
  - パソコンから設定したデータ通信の設定
  - 更新お知らせアイコン（消去した場合は再び表示）
- 削除されるデータが多い場合は、再起動に時間が約1分程度かかることがあります。途中で電源を切らないようご注意ください。
- お買い上げ時に登録されているデータを削除した場合は、サイトからダウンロードできます。→P411
- 2in1がONのときは、2in1のモードに関わらずデータが削除されます。

文字入力

区点コード一覧について、詳細は付属のCD-ROM内の「PDF版「区点コード一覧」」をご覧ください。「PDF版「区点コード一覧」」をご覧になるには、Adobe® Reader®（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細は、「Adobe Reader ヘルプ」をご覧ください。

文字入力について

文字を入力する方法を説明します。

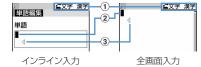
- 文字の入力方式には、かな入力方式とスロット入力方式があります。→P357、366
- 入力できる文字の種類には、全角文字（ひらがな／漢字／カタカナ／英字／数字／記号／絵文字）、半角文字（カタカナ／英字／数字／記号）があります。全角の文字や空白、改行は、半角文字2文字分にカウントされます。半角文字では、濁点と半濁点も1文字分にカウントされます。
- 入力できる漢字はJIS第一水準漢字と第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は、変形または省略して表示されます。
- 本書では文字入力の最後に■を押す操作も含めて「入力する」と表記しています。

◆文字入力画面の見かた

文字の入力画面には、インライン入力と全画面入力の2種類があります。

インライン入力：画面を切り替えずに入力欄にカーソルを合わせて、文字を直接入力します。

全画面入力：入力欄を選択すると、入力エリアが全画面表示されます。

- 貼り付けや定型文入力などで入力可能な文字数を超えた場合、超過分は削除されます。

① 入力モード

② カーソル（点滅）

文字が入力または挿入される位置を示します。■で移動できます。

③ 入力可能な範囲

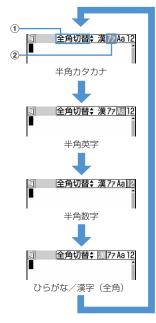
これ以上入力できないことを示すマークです。

- 日付・時刻の入力欄など、■を押しても数字が入力できる場合があります。

◆入力モードを切り替える

〈例〉かな入力方式のとき

1 文字入力画面で■

- 押すたびに入力モードは次のように切り替わります。

① 切り替え表示
かな入力方式のとき、[icon]で全角／半角の切り替えができることを示します。
② 切り替え項目
カーソル位置の色が変わります。
- [icon]を押しても、入力モードを切り替えられます。
- スロット入力方式では半角数字は表示されません。また、全角と半角の切り替えはできません。

2 利用する切り替え項目にカーソルを合わせて[■]

❖切り替え項目と入力モード

切り替え項目	入力モード	
漢	ひらがな／漢字	漢字
ｱｱ	半角カタカナ	半ｶﾅ
Aa	半角英字	半英
12※	半角数字	半数
ア※	全角カタカナ	全ｶﾅ
Ａ※	全角英字	全英
1※	全角数字	全数

※ スロット入力方式では表示されません。
- 文字入力画面によって切り替えられる入力モードは異なります。
- 単語登録の読みを入力するときは全かなが表示されます。

かな入力方式

かな入力方式で文字を入力する

かな入力方式では、1つのキーに複数の文字が割り当ててあり、キーを押すたびに文字が切り替わります。

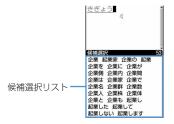
文字の割り当て一覧→P412
- 文字を入力して約1秒経過すると、カーソルは右に移動します。移動するまでの秒数は入力設定で変更できます。→P367

◆文字を入力する〈かな漢字変換〉

〈例〉電話帳の登録で「企業」と入力する

1 [MENU]▶[4][2]▶「きぎょう」と入力

「き」：[2]を2回
「ぎ」：カーソルが右に移動したら[2]を2回▶[＊]
「ょ」：[8]を3回▶[A/a]
「う」：[1]を3回

候補選択リスト

- 入力中は次の操作ができます。
[A/a]：大文字と小文字の切り替え
[✉]：1つ前の文字に戻す（濁点、半濁点入力時を除く）
（例：…→1→お→え→う→い→あ→1→…）
[CLR]：文字の取り消し
[＊]：濁点、半濁点の付加
（例：…→ほ→ぼ→ぽ→ほ→…）

2 [辞書キー]

- 候補選択リストが表示されていないときは、[決定キー]を押しても変換できます。
- CLRを押すと、変換前の状態に戻ります。
- 変換しないときは、[辞書キー]を押さずに操作3に進みます。

変換候補一覧を表示する：
[辞書キー]を押しても目的の文字が表示されないときは、[決定キー]を押すか、もう一度[辞書キー]を押すと変換候補一覧が表示されます。

カナ英数候補一覧を表示する：
ひらがなを入力中にMENUを押すと、カナ英数、日付、時刻などが一覧で表示されます。

- 複数ページあるときは、A/aまたは[メールキー]を押すとページが切り替わります。各候補に割り当てられているキーを押すか、[決定キー]で各候補を選択します。

3 [■]▶「閉じる」

文字を挿入する：
[マルチカーソルキー]を押して挿入する位置までカーソルを移動し、文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

文字を削除する：

- カーソルが入力文字の途中にある場合
  （例：ドコモ太郎）
  - CLRを押すと、カーソル位置の1文字が削除されます。
  - CLRを1秒以上押すと、カーソル位置の文字とそれ以降のすべての文字が削除されます。
- カーソルが入力文字の末尾にある場合
  （例：ドコモ太郎 ）
  - CLRを押すと、カーソルの左の1文字が削除されます。
  - CLRを1秒以上押すと、すべての入力文字が削除されます。

改行する：
改行する位置にカーソルを移動し、#を押します。カーソルが入力文字の末尾にある場合は、[下キー]を押しても改行できます。

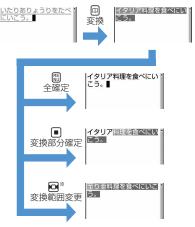
- 入力欄によっては改行できない場合があります。

✔お知らせ

- 入力中に[右キー]を押してカーソルを右に移動した場合は、次の操作はできません。
  A/a：大文字と小文字の切り替え
  [メールキー]：1つ前の文字に戻す
- ひらがなで読みを入力して、全角英字、ギリシャ文字などに変換できます。
  →P424

❖複数の文節を一括変換する

- 全角24文字以内で変換します。

〈例〉「イタリア料理を食べにいこう。」と入力する

※ 画面は［■］の場合の例です。

◆入力予測機能を使って文字を入力する

入力予測機能は、ひらがな／漢字モードで文字を入力したときに、読みの先頭部分が一致する単語の候補選択リストが表示される機能です。候補選択リストには、一度入力した単語が自動的に変換学習データとして登録されるため、次に同じ内容を入力するときには、先頭の文字を入力するだけですばやく入力できます。

- 変換学習データの他に、次の単語が表示されます。
  - 標準搭載の単語
  - 単語登録した単語
  - ダウンロード辞書から選択した単語
- 入力予測機能は、全画面入力のひらがな／漢字モードでのみ利用できます。

〈例〉「明日」を選択して入力する

1 文字入力画面で「あ」を入力

- 候補選択リストが表示されます。入力文字が増えるたびに候補が変わります。

2 ［■］▶候補を選択

候補選択リスト

- 複数ページあるときは、［A/a］または［✉］を押すとページが切り替わります。

3 「閉じる」

❖変換学習リセットをする

候補選択リストに変換学習データとして登録されたデータを、リセットしてお買い上げ時の状態に戻します。

1 ［MENU］▶［8］［7］［2］［3］▶認証操作▶「はい」

便利な入力機能を使って文字を入力する

文字入力画面のサブメニューから絵文字や記号、定型文などを入力したり、データを引用したりできます。

- 文字を確定する前やデコメールの装飾選択画面、インライン入力画面では、サブメニューは表示されません。

◆定型文を入力する

- 定型文一覧→P414

1 文字入力画面で[MENU]▶[4][1]▶[1]～[8]

- 定型文を登録すると、[9]が選択できます。
- メール本文の入力画面では[MENU][5][1]を押します。

2 定型文を選択

◆絵文字・記号を入力する

- 記号一覧→P417
- 絵文字一覧→P418

〈例〉絵文字を入力する

1 文字入力画面で[絵]

① 入力履歴欄
　絵文字一覧の絵文字1、絵文字2、絵文字D、記号一覧の全角記号と半角記号の最初のページに表示されます。

② 絵文字・記号一覧
　記号は入力可能なもののみ表示されます。

- [絵]を押すたびに、絵文字1と絵文字2が切り替わります。
- [MENU]を押すと、記号が入力できます。押すたびに、全角記号と半角記号が切り替わります。
- 複数ページあるときは、[A/a]または[✉]を押すとページが切り替わります。

デコメ絵文字（絵文字D）を入力する：
メール本文の入力画面または署名編集の入力画面では、[絵]を押すたびに絵文字一覧が絵文字1→絵文字2→絵文字Dに切り替わります。
絵文字Dの絵文字一覧には「デコメ絵文字」フォルダに保存されている画像が表示されます。選択するとデコメ絵文字が入力されます。
デコメ絵文字のダウンロード方法→P173

2 入力する絵文字を選択

CLRを押して、絵文字一覧を閉じます。

- 入力履歴欄には、最近入力したものから順に、絵文字または記号が最大10文字表示され、文字を選択できます。

✔お知らせ

- 絵文字や記号の読みを入力しても変換できます。→P418、424
- 絵文字や記号は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。
- 文字入力画面のサブメニューから「絵文字・記号・顔文字」→「絵文字」または「記号」を選択しても入力できます。このとき、回を押すと入力履歴欄の上に連続入力欄が表示され、絵文字は10文字、記号は全角10（半角20）文字連続して選択できます。ただし、絵文字Dは連続入力欄の表示はされません。
- 「デコメ絵文字」フォルダに画像が保存されていない場合、メール本文の入力画面または署名編集の入力画面で絵文字Dを表示したときは、絵文字一覧が空白で表示されます。
- メール本文の入力画面または署名編集の入力画面でMENUを押し、「デコレーション」→「画像挿入」→「本体」を選択しても、デコメ絵文字が挿入できます。
- 文字入力画面のサブメニューから「絵文字・記号・顔文字」→「記号」を選択したときは、左側のカッコ（例：｛）を選択すると、右側のカッコ（例：｝）も自動的に入力されます。

◆顔文字を入力する

- 顔文字一覧→P427

1 文字入力画面でMENU▶5 3▶2〜9

- メール本文の入力画面ではMENU 6 3を押します。
- 顔文字種別一覧から入力した顔文字は、1を押すと最近入力したものから順に最大18件まで入力履歴一覧で表示されます。

2 顔文字を選択

◆データを引用して文字を入力する

パスワードマネージャーに登録済みのパスワード、電話帳データ、プロフィール情報の登録内容、電卓の計算結果、バーコードリーダーで読み取ったデータの文字列情報を引用して入力できます。

- 文字入力画面と引用データが同じ機能のとき（電話帳の文字入力画面における電話帳データなど）には引用できません。

❖パスワードの内容を引用する

1 文字入力画面でMENU▶4 3▶認証操作

- メール本文の入力画面ではMENU 5 3を押します。

2 引用するパスワードデータを選択

❖電話帳データの内容を引用する

1 文字入力画面でMENU▶4 4▶引用する電話帳データを選択

- メール本文の入力画面ではMENU 5 4を押します。

2 引用する内容を選択

❖プロフィール情報の内容を引用する

1 文字入力画面でMENU▶4 5▶認証操作

- メール本文の入力画面ではMENU 5 5を押します。

2 引用するプロフィール情報を選択

❖電卓の計算結果を引用する

1 メモ帳またはスケジュール帳の文字入力画面でMENU▶4 6▶計算する▶■

❖バーコードリーダーの読み取りデータを引用する

1 URL入力画面でMENU▶4 6

- ｉモード中の文字入力画面でも引用できます。
- 読み取るコードとカメラの距離が近いときは、接写切り替えスイッチを🌷側に切り替えて接写モードにしてください。

2 コードを読み取る▶■

定型文登録

定型文を登録する

- 最大50件登録できます。

1 MENU▶8 7 2 4 9▶「〈新しい定型文〉」

登録した定型文を削除する：定型文にカーソルを合わせてMENU▶「はい」を選択

- 登録済みの定型文を確認するときは、確認する定型文にカーソルを合わせて回を押します。■を押すと編集できます。

2 定型文を入力

- 全角64（半角128）文字以内で入力します。

3 回

定型文は「ユーザ作成」に登録されます。

- 登録済みの定型文を編集したときは確認画面が表示されます。上書き登録するときは「はい」を、登録を中止するときは「いいえ」を選択します。

❖文字入力中に登録する

1 文字入力画面でMENU▶6 2

- メール本文の入力画面ではMENU 7 2を押します。

2 開始位置を選択

全文を選択する：MENU▶■▶操作4に進む

- メール本文の入力画面で全文を選択する場合は、✉を押します。操作4に進みます。

3 終了位置を選択

選択した範囲の文字が定型文編集画面に表示されます。

開始位置から文頭までを選択する：MENU▶■
開始位置から文末までを選択する：回▶■

4 [辞書キー]

✔お知らせ

- 選択した範囲の文字列内に空白が含まれていた場合は、次の動作となります。
  空白のみ：定型文として登録不可
  文字列の前後に空白：文字列のみ有効
  文字と文字の間に空白：空白も有効
- 定型文が既に50件登録されているときに新たに登録するときは、一覧から登録データを削除するか登録済みの定型文を編集してください。

文字をコピー／切り取りして貼り付ける

- コピーまたは切り取った文字は、最新の1件だけが電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。

◆文字をコピー／切り取りする

1 文字入力画面で MENU ▶ 1 または 2

- メール本文の入力画面では MENU 2 を押すとコピーし、MENU 3 を押すと切り取りします。

2 開始位置を選択

全文を選択する：MENU ▶ ■

- メール本文の入力画面で全文を選択する場合は、[メールキー]を押します。

3 終了位置を選択

選択した範囲の文字がコピーまたは切り取りされます。

開始位置から文頭までを選択する：MENU ▶ ■

開始位置から文末までを選択する：[辞書キー] ▶ ■

◆文字を貼り付ける

- 入力可能な文字数を超える場合は、すべての文字を貼り付けることができない旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、入力可能な文字数以降が消去された文章が貼り付けられます。

1 文字入力画面で貼り付ける位置にカーソルを合わせて MENU ▶ 3

文字がカーソル位置に挿入されます。

- メール本文の入力画面では MENU 4 を押します。

✔お知らせ

- コピーまたは切り取った文字種と、貼り付け先の文字種が適合しているときのみ、貼り付けられます。たとえば、メールアドレスの入力欄にひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。
- 改行が入力できない入力画面に改行を含んだ文字列を貼り付けた場合、改行は空白に置き換えられます。

区点コード入力

区点コードで入力する

区点コード一覧表にある文字、数字、記号を4桁の区点コードを使って入力します。

- 「区点コード一覧」については、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。

〈例〉「携」（区点コード2340）を入力する

1 文字入力画面で MENU ▶ 4 2 ▶ 4桁の区点コード（2 3 4 0）を入力 ▶ ■

- メール本文の入力画面では MENU 5 2 を押します。

単語登録

よく使う単語をあらかじめ登録する

よく使う単語をあらかじめ登録しておくと、文字の変換のときに簡単に呼び出せます。

- 最大200件登録できます。また、同じ読みの単語は最大5件登録できます。

1 [MENU]▶[8][7][2][1]▶「〈新しい単語〉」

① 単語を登録するときに選択
② 行の先頭を示すマーク
③ 登録済みの単語
読みの50音順に並びます。

- 登録済みの単語を確認するときは、単語にカーソルを合わせて[i]を押します。[■]を押すと編集できます。
- 単語を削除するときは、単語にカーソルを合わせて[MENU]を押し、「削除」を選択します。登録した単語を全件削除するときは、「すべて削除」を選択します。

2 単語欄に登録する単語を入力

- 全角12（半角24）文字以内で入力します。

3 読み欄に読みを入力

- 8文字以内のひらがなで入力します。
- 次の文字を先頭に入力すると、登録できません。
  - を、ん、ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ、っ、ゃ、ゅ、ょ、ゎ、゛（濁点）、゜（半濁点）、ー（長音）
- 空白を入力すると、登録後に削除されます。

4 [i]

- 登録済みの単語を編集したときは確認画面が表示されます。元の単語に上書きするときは「上書き登録」を、元の単語を残して新規に登録するときは「新規登録」を選択します。

❖文字入力中に登録する

1 文字入力画面で[MENU]▶[6][1]

- メール本文の入力画面では[MENU][7][1]を押します。

2 開始位置を選択

全文を選択する：[MENU]▶[■]▶**操作4に進む**

- メール本文の入力画面で全文を選択する場合は、[✉]を押します。操作4に進みます。

3 終了位置を選択

選択した範囲の文字が単語入力欄に表示されます。

開始位置から文頭までを選択する：[MENU]▶[■]
開始位置から文末までを選択する：[i]▶[■]

4 読みを入力▶[i]

✔お知らせ

- 単語が既に200件登録されているときに新たに登録するときは、一覧から単語を削除するか登録済みの単語を編集してください。
- 改行を含んだ文字列を選択した場合は、空白に置き換えられます。

パスワードマネージャー

パスワードをあらかじめ登録する

ユーザ名やパスワードなどの認証情報を登録しておくと、これらの入力が必要なサイトやホームページで、登録した内容を引用して入力できます。

- パスワードマネージャーを使用するには、端末暗証番号を「0000」以外に変更する必要があります。→P125
- 登録したパスワードの引用方法→P361
- 最大50件登録できます。

1 MENU ▶ 8 4 8 ▶ 認証操作

2 📖

1件削除する：パスワードにカーソルを合わせてMENU ▶ 2 ▶「はい」
複数削除する：MENU ▶ 3 ▶ パスワードを選択 ▶ 📖 ▶「はい」
全件削除する：MENU ▶ 4 ▶「はい」
順番を変更する：パスワードにカーソルを合わせてMENU ▶ 5 または 6

3 タイトル欄にタイトルを入力

- 全角12（半角24）文字以内で入力します。

4 パスワード欄にパスワードを入力

- 全角64（半角128）文字以内で入力します。

5 📖

❖文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択してパスワード登録できます。

1 文字入力画面でMENU ▶ 6 3

- メール本文の入力画面ではMENU ▶ 7 3を押します。

2 開始位置を選択

全文を選択する：MENU ▶ ■ ▶ 操作4に進む

- メール本文の入力画面で全文を選択する場合は、✉を押して認証操作を行い、操作4に進みます。

3 終了位置を選択 ▶ 認証操作

選択した範囲の文字がパスワードの入力欄に表示されます。
開始位置から文頭までを選択する：MENU ▶ ■
開始位置から文末までを選択する：📖 ▶ ■

4 タイトルを入力 ▶ 📖

- パスワードは登録した順に表示されます。

ダウンロード辞書

ダウンロードした辞書を使用する

ダウンロードした日本語変換用の辞書に登録されている単語を、変換候補として表示されるように設定します。

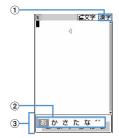
- 最大5件の辞書を同時に使用できます。
- 辞書のダウンロード方法→P174

1 MENU ▶ 8 7 2 2 ▶ 使用する辞書を選択 ▶ 📖

スロット入力方式

スロット入力方式で文字を入力する

スロット入力ボード（上下2段の入力バー）に表示された文字から、[十字キー]を使って入力文字を指定します。

- スロット入力方式で入力するには、入力方式の設定が必要です。→P367
- 入力方式をスロット入力方式に設定していても、インライン入力ではかな入力方式になります。
- スロット入力方式では、全角文字のカタカナ、英字、数字の入力と、入力予測機能を利用しての入力はできません。
- 文字の割り当て一覧→P413

① 入力モード
② 入力バー
③ スロット入力ボード

- 上段と下段の入力バーを切り替えるときは、[A/a]を押します。
- スロット入力ボードで操作している場合に、入力エリアを操作（文字のコピーやカーソル移動など）するときは、[✉]を押します。スロット入力ボードの操作に戻すときはもう一度[✉]を押します。

〈例〉電話帳の登録で「企業」と入力するとき

1 [MENU]▶[4][2]▶[■]▶「きぎょう」と入力

「き」：[◀]を1回▶[▼]を1回▶[■]
「ぎ」：[■]▶[◀]を4回▶[■]
「ょ」：[A/a]▶[◀]を2回▶[▼]を5回▶[■]
「う」：[A/a]▶[▶]を5回▶[▼]を2回▶[■]

メール本文の入力画面では、[0]～[9]、[＊]を押すと、スロット入力ボードが表示されます。

2

[□]を押しても目的の文字が表示されないときは、[Ô]を押すか、もう一度[□]を押すと変換候補が一覧表示されます。変換候補の一覧が複数ページあるときは、[✉]または[A/a]を押すとページが切り替わります。各候補に割り当てられているキーを押すか、[Ô]を押して変換候補を選択します。ただし、[MENU]を押しても、カナ英数候補一覧は表示されません。

- 変換前の状態に戻して文字入力を続けるには[CLR]を押します。
- 変換しないで確定するときは[MENU]を押します。確定と同時にスロット入力ボードが有効になります。

3 [■]

4 [MENU]▶[8]

- [✉][■]を押しても同様に操作できます。

入力設定

入力方式を設定する

1 [MENU]▶[8][7][2][5]▶各項目を設定▶[□]

入力方式：「かな入力」または「スロット入力」にするかを設定します。

入力予測：候補選択リストを表示するかどうかを設定します。

自動カーソル：カーソルが右側に自動移動するまでの時間を設定します。

- 「OFF」に設定すると、カーソルは自動移動しません。
- 「遅い」に設定すると、約1.5秒経過するとカーソルが移動します。
- 「普通」に設定すると、約1秒経過するとカーソルが移動します。
- 「速い」に設定すると、約0.5秒経過するとカーソルが移動します。

❖文字入力中に設定を変更する

- 文字が確定される前やデコメール装飾選択画面では変更できません。
- インライン入力中は自動カーソルの変更しかできません。

1 文字入力画面で[MENU]▶[7]▶[1]〜[3]

- メール本文の入力画面では[MENU][8]を押します。
- 「かな入力」と「スロット入力」を切り替えるときは[1]を押します。
- 入力予測のON／OFFを切り替えるときは[2]を押します。
- 自動カーソルの移動時間を選択するときは[3]を押し、[1]〜[4]を押して設定します。

✔お知らせ

- 自動カーソルが「OFF」の場合、同じキーに割り当てられている文字を続けて入力するときは、最初の文字を入力した後[▶]を押してカーソルを右に移動させてから次の文字を入力します。たとえば、「あい」と入力するときは、[1][▶][1][1]の順に押します。

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

- FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	申し込み	月額使用料	サービス名	申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	必要	有料	デュアルネットワークサービス	必要	有料
キャッチホン	必要	有料	英語ガイダンス	不要	無料
転送でんわサービス	必要	無料	マルチナンバー	必要	有料
			2in1	必要	有料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料	公共モード（ドライブモード）※	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料	公共モード（電源OFF）※	不要	無料

※ 公共モード→P76、77

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- お申し込み、お問い合わせについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- **本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。**

留守番電話サービス

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、音声電話またはテレビ電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 伝言メモを同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスが開始のときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合は、不在着信として記録され、待受画面に 2(数字は件数)が表示されます。
- 留守番電話のテレビ電話対応設定について変更するには、「1412」へ音声電話発信をしてください。
- テレビ電話で新しい伝言メッセージをお預かりしたときはSMSでお知らせします。
- キャラ電で留守番電話サービスセンターに接続された場合、DTMF操作が行えません。サブメニューよりDTMF送信に切り替えて操作してください。→P68

❖留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：サービスを開始に設定する
ステップ2：電話をかけてきた相手が伝言を録音する
ステップ3：伝言メッセージを再生する

1 MENU▶8 8 1▶**メニュー項目を選択して操作**

- 2in1がONのときは、留守番サービスの開始、停止、メッセージ再生、留守番サービス設定はAナンバーとBナンバーそれぞれに設定できます。このとき、AモードではAナンバー、BモードではBナンバーについて設定し、デュアルモードではどちらかのナンバーを選択して設定します。それ以外の設定はAナンバー、Bナンバーともに共通です。

メニュー項目	機能と操作
1留守番サービス	
1留守番サービス開始	▶**「はい」**▶**「はい」**▶**呼出時間を入力** • 呼出時間を「0秒」にすると、着信履歴には記録されません。 • Bモードのときは、呼出時間は設定できません。 デュアルモードのとき ▶**「Aナンバー」または「Bナンバー」**▶**「はい」**▶**「はい」**▶**呼出時間を入力** •「Bナンバー」を選択した場合は、呼出時間は設定できません。
2留守番呼出時間設定	▶**「はい」**▶**呼出時間を入力** • 呼出時間を「0秒」にすると、着信履歴には記録されません。
3留守番サービス停止	▶**「はい」** デュアルモードのとき ▶**「Aナンバー」または「Bナンバー」**▶**「はい」**
4留守番設定確認	▶**「はい」** • 設定確認画面で、サブメニューから設定を変更できます。 デュアルモードまたはBモードのとき ▶**「Aナンバー」または「Bナンバー」**▶**「はい」** • Bナンバーでは、開始／停止のみ確認できます。

メニュー項目		機能と操作
	5 留守番メッセージ再生	▶「はい」▶音声ガイダンスの指示に従って操作 • [icon] 1 で表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。 デュアルモードのとき ▶「Aナンバー」または「Bナンバー」▶「はい」▶音声ガイダンスの指示に従って操作
	6 留守番サービス設定	音声ガイダンスを聞きながら留守番電話サービスを設定します。 ▶「はい」▶音声ガイダンスの指示に従って操作 デュアルモードのとき ▶「Aナンバー」または「Bナンバー」▶「はい」▶音声ガイダンスの指示に従って操作
	7 メッセージ問合せ	伝言メッセージがあるかどうかを確認します。 ▶「はい」
2 件数増加鳴動設定		新しい伝言メッセージが増えたときやメッセージ問合せを行って新しい伝言メッセージがあると、通知音が鳴るように設定します。 ▶各項目を設定▶[四] **件数通知音：** 「ON」にすると、通知音が鳴り、音声電話のバイブレータ設定に従って振動します。 **通知メロディ：** 件数通知音を設定します。
3 着信通知		

メニュー項目		機能と操作
	1 着信通知開始	FOMA端末の電源が入っていないときや圏外にいるときに着信があった場合、再び電源が入ったときや圏内になったときに、着信があったことをSMSで通知します。 ▶「はい」▶「はい」または「いいえ」 •「はい」を選択すると、発信者番号通知の着信のみ通知します。 •「いいえ」を選択すると、すべての着信を通知します。
	2 着信通知停止	▶「はい」
	3 着信通知開始設定確認	▶「はい」
4 表示消去		伝言メッセージのマークを消します。 ▶「はい」

キャッチホン

音声電話中に別の音声電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の音声電話を保留にして新しい音声電話に出ることができます。また、通話中の電話を保留にして、別の相手へ電話をかけることもできます。

- テレビ電話中や音声電話中にテレビ電話がかかってくると、キャッチホンは動作しませんが、不在着信として記録されます。
- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ通話中着信動作選択を「通常着信」にしてください。他の設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても音声電話中にかかってきた音声電話に応答することはできません。
- 音声電話中にかかってきた別の音声電話に出るときは、次の操作を行います。
  [発信]：現在の通話を保留にし、かかってきた電話に応答する
  [終話]：現在の通話が切断され、かかってきた電話の着信画面が表示される。[発信]を押し電話に応答する
- キャッチホン中は、[R/a]を押すたびに通話相手を切り替えられます。

- 音声電話中に別の相手に音声電話をかける場合は、MENUを押し「ダイヤル入力」を選択します。

1 MENU▶8 8 2 1▶**メニュー項目を選択して操作**

メニュー項目	機能と操作
1キャッチホン開始	▶「はい」
2キャッチホン停止	▶「はい」
3キャッチホン設定確認	▶「はい」

転送でんわサービス

電波の届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、かかってきた音声電話またはテレビ電話を転送するサービスです。

- 伝言メモを同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。
- 転送でんわサービスが開始のときに、かかってきた音声電話やテレビ電話に応答しなかった場合は、不在着信として記録され、待受画面に 2（数字は件数）が表示されます。

❖転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1：転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ2：転送先の電話番号を登録する
ステップ3：お客様のFOMA端末に電話がかかる
ステップ4：電話に出ないと指定した転送先に転送される

1 MENU▶8 8 2 2▶**メニュー項目を選択して操作**

- 2in1がONのときは、転送サービスの開始と停止はAナンバーとBナンバーそれぞれに設定できます。このとき、AモードではAナンバー、BモードではBナンバーについて設定し、デュアルモードではどちらかのナンバーを選択して設定します。それ以外の設定はAナンバー、Bナンバーともに共通です。

メニュー項目	機能と操作
1転送サービス開始	▶「はい」▶「はい」 ▶**転送先番号を入力**▶□▶「はい」▶**呼出時間を入力** • 転送先番号入力画面でMENUを押すと電話帳から、A/aを押すと着信履歴から、✉を押すとリダイヤルから、電話番号を選択できます。 • 呼出時間を「0秒」にすると、着信履歴には記録されません。 • Bモードのときは、転送先番号、呼出時間は設定できません。 デュアルモードのとき ▶「Aナンバー」または「Bナンバー」▶「はい」 ▶「はい」▶**転送先番号を入力**▶□▶「はい」 ▶**呼出時間を入力** •「Bナンバー」を選択した場合は、転送先番号、呼出時間は設定できません。
2転送サービス停止	▶「はい」 デュアルモードのとき ▶「Aナンバー」または「Bナンバー」▶「はい」
3転送先変更	転送先を変更したり、転送先を変更して転送サービスを開始にしたりします。 ▶**転送先番号を入力**▶□▶1**または**2▶「はい」 • 電話番号入力画面でMENUを押すと電話帳から、A/aを押すと着信履歴から、✉を押すとリダイヤルから、電話番号を選択できます。 • 2in1がONでデュアルモードまたはBモードのとき、Bナンバーについては、転送先の変更のみできます。
4転送先通話中時設定	転送先の電話が通話中などで転送できないときに、留守番電話サービスで応答するように設定します。 ▶「はい」

メニュー項目	機能と操作
5転送サービス設定確認	▶「はい」 デュアルモードまたはBモードのとき ▶「Aナンバー」または「Bナンバー」▶「はい」 • Bナンバーでは、開始／停止のみ確認できます。

❖転送ガイダンスの有／無を設定する

1 1429▶(発信キー)▶音声ガイダンスの指示に従って操作

• 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの迷惑電話を着信しないように拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

• 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。着信履歴にも記録されません。

1 MENU▶8873▶メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
1迷惑電話着信拒否登録	最後に着信応答した電話番号を着信拒否に登録します。 ▶「はい」 • 通話していない不在着信などは登録の対象になりません。
2電話番号指定拒否登録	指定した電話番号を着信拒否に登録します。 ▶「はい」▶電話番号を入力▶(決定キー)▶「はい」 • 電話番号入力画面でMENUを押すと電話帳から、A/aを押すと着信履歴から、(メールキー)を押すとリダイヤルから、電話番号を入力できます。
3迷惑電話全登録削除	▶「はい」
4迷惑電話1登録削除	最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。 ▶「はい」
5拒否登録件数確認	▶「はい」

番号通知お願いサービス

電話番号を通知してこない音声電話またはテレビ電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。

• 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、着信履歴に記録されず、待受画面に(アイコン 2)(数字は件数）は表示されません。

1 MENU▶8842▶メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
1番号通知開始	▶「はい」
2番号通知停止	▶「はい」
3番号通知設定確認	▶「はい」

デュアルネットワークサービス

お使いになっているFOMA端末の電話番号で、mova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- FOMA端末とmova端末を同時には利用できません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、利用不可状態の端末から行ってください。

1 MENU ▶ 8 8 7 5 ▶ メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
1 デュアルネットワーク切替	mova端末に切り替えていたデュアルネットワークサービスを、FOMA端末に切り替えます。 ▶ **「はい」** ▶ **ネットワーク暗証番号を入力**
2 デュアルネットワーク状態確認	▶ **「はい」**

英語ガイダンス

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

1 MENU ▶ 8 8 7 4 ▶ メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
1 ガイダンス設定	▶ **「はい」** ▶ **1 または 2** • 発信時に自分が聞くガイダンスの言語を選択します。 ▶ **「はい」** ▶ **1 ～ 3** • 着信時に相手が聞くガイダンスの言語を選択します。「日本語＋英語」にすると日本語→英語の順に、「英語＋日本語」にすると英語→日本語の順にガイダンスが流れます。
2 ガイダンス設定確認	▶ **「はい」**

サービスダイヤル

ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。→P48

1 MENU ▶ 8 8 7 6 ▶ メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
1 ドコモ故障問合せ	ドコモ指定の故障取扱窓口に電話をかけます。 ▶ **「はい」**
2 ドコモ総合案内・受付	ドコモ総合案内・受付に電話をかけます。 ▶ **「はい」**

通話中着信設定

通話中着信動作選択の設定を開始／停止したり、設定内容を確認したりします。

1 MENU ▶ 8 8 7 8 ▶ メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
1 通話中着信設定開始	▶「はい」
2 通話中着信設定停止	▶「はい」
3 通話中着信設定確認	▶「はい」

通話中着信動作選択

通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選択する

留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンをご契約されているお客様の通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、または64Kデータ通信にどのように対応するかを設定できます。

- 留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンを契約されていない場合は、通話中にかかってきた着信に応答できません。
- 通話中着信動作選択を利用する場合は、あらかじめ通話中着信設定を開始にしてください。

1 MENU ▶ 8 8 7 9 ▶ メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
1 通常着信	キャッチホンが開始のときは、キャッチホンが動作します。停止のときは、音声電話または64Kデータ通信を終了し、かかってきた音声電話に応答できます。また、音声電話中にかかってきた音声電話の対応をサブメニューから選択できます。→P73
2 留守番電話	通話中にかかってきた音声電話またはテレビ電話を、留守番電話サービスに接続します。
3 転送でんわ	通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、または64Kデータ通信を、あらかじめ登録している転送先に転送します。 • 64Kデータ通信中に64Kデータ通信を着信した場合は転送されません。
4 着信拒否	通話中にかかってきた音声電話、テレビ電話、または64Kデータ通信の着信を拒否します。

- いずれの設定の場合でも、不在着信として記録されます。

遠隔操作設定

遠隔操作を設定する

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

- 海外で留守番電話サービスや転送でんわサービスを利用する場合は、あらかじめ遠隔操作設定を開始にする必要があります。

1 MENU ▶ 8 8 7 2 ▶ メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
1 遠隔操作開始	▶「はい」
2 遠隔操作停止	▶「はい」
3 遠隔操作設定確認	▶「はい」

マルチナンバー

FOMA端末の電話番号として基本契約番号の他に、付加番号1と付加番号2の最大2つの番号を追加してご利用いただけるサービスです。

- FOMAカードを取り外したり、差し替えたりした場合、FOMA端末に登録していたマルチナンバーの設定（名称、電話番号など）が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。
- 発着信中の画面に基本契約番号の名称または付加番号の名称が表示されます。
- リダイヤルまたは着信履歴から発信する場合は、以前発着信したマルチナンバーの名称が表示され、この番号で発信します。

1 MENU ▶ 8 8 7 7 ▶ **メニュー項目を選択して操作**

メニュー項目	機能と操作
1通常発信番号設定	▶ 1〜3 ▶ **「はい」**
2通常発信番号設定確認	▶ **「はい」**
3電話番号設定	基本契約番号の名称は、プロフィール情報の設定内容が表示されます。 ▶ **各項目を設定** ▶ 皿 **付加番号1または2名称：** 全角10（半角20）文字以内で入力します。この名称は、電話の着信画面やリダイヤル、着信履歴などに表示されます。 **付加番号1または2電話番号：** 26桁以内で入力します。 **マルチナンバー発信：** 「有効」にすると、電話をかけるときにサブメニューからマルチナンバーの発信番号を選択できます。
4着信設定	▶ 1 **または** 2 ▶ **各項目を設定** ▶ 皿 • 付加番号ごとに着信動作を設定するときは、個別設定を「ON」にします。 「着信音」「イメージ表示」の設定操作→P100「電話着信時の動作を変更する」

◆ 電話番号を選択して電話をかける

- 電話番号設定のマルチナンバー発信を「無効」にすると、マルチナンバーを選択できません。

1 **電話番号を入力** ▶ MENU ▶ 4 ▶ 1〜3 ▶ MENU

✔お知らせ

- リダイヤル、着信履歴からの操作：MENU→「マルチナンバー」
- 伝言メモ一覧、音声メモ一覧、スケジュールのメンバーリスト一覧画面からの操作：MENU→「発信オプション」
- 電話帳の電話帳一覧からの操作：MENU→「発信オプション／メール」→「発信オプション」
- 電話帳の電話番号の詳細画面からの操作：MENU→「着もじ／マルチナンバー」→「マルチナンバー」
- 発信オプションから操作する場合、「指定なし」にすると通常発信番号設定に従います。

2in1

1つの携帯電話で2つの電話番号・メールアドレスが使え、専用のモード機能を利用することで、あたかも2つの携帯電話を使い分けるようにご利用いただけるサービスです。

- 2in1の詳細は『ご利用ガイドブック（2in1編）』をご覧ください。
- 2in1がONのとき、FOMAカードの差し替え（2in1契約者→2in1契約者）を行う場合は、正しいBナンバーを取得するために、2in1をOFFにしてから再度2in1をONにしてください。また、FOMAカードの差し替え（2in1契約者→2in1未契約者）を行う場合も、正しいプロフィール情報に更新するために、2in1をOFFにしてください。

❖各モードについて

Aモード：お客様電話番号（Aナンバー）での発信とｉモードメール（Aアドレス）での送受信、およびその関連データの閲覧ができます。

Bモード：2in1電話番号（Bナンバー）での発信とWEBメール（Bアドレス）が利用できるサイトへのアクセス、およびその関連データの閲覧ができます。

デュアルモード：A／Bの両方の機能を備えたモードです。

- 2in1のモードごとの動作→P378

❖注意事項

- Bアドレスは専用のWEBメールサイトでメールの送受信を行います。→P202
- ｉモードを契約している場合は、Bモードでもｉモードサービスを利用できます。
- BモードのときはMail To機能を利用できません。

✔お知らせ

- 次の場合は、2in1のモードに関わらずすべてのデータが削除されます。
  - 伝言メモ、音声メモ、リダイヤル、着信履歴、電話帳データ、メール送受信履歴の全件削除
  - 受信／送信／未送信メールの「1件削除」または「複数削除」以外の削除操作
  - メールフォルダや電話帳のグループの削除
  - データ一括削除
- 外部機器と接続して発信・ATコマンド発信を行うことはできません。
- テロップ表示設定は、モードごとに設定できます。

❖2in1設定を設定する〈2in1設定〉

- 2in1設定を設定したり動作させたりするには、2in1をONにしてください。
- 2in1がONでセレクトメニューの設定がお買い上げ時の状態のとき、待受画面で[6]を1秒以上押すと2in1モード切替が起動します。

1 **[MENU]▶[8][8][6]▶認証操作▶「はい」▶メニュー項目を選択して操作**

- 既に2in1をONにしている場合は、認証操作を行うと2in1設定画面が表示されます。

メニュー項目	機能と操作
1 2in1モード切替	▶1～3 • 現在設定しているモードは選択できません。
2 電話帳2in1設定	Aモード、Bモード、A／B両モードで表示させるFOMA端末電話帳の電話帳データを設定します。 「共通」にした電話帳データは、A／B両方のモードで表示されます。 名前の表示について→P86 ▶**モードを選択**▶**電話帳検索**▶**電話帳データを選択**▶(FUNC)▶**「はい」** • 電話帳選択画面では、名前の右側にA（Aモードの電話帳データ）、B（Bモードの電話帳データ）、またはAB（A／B両モードの電話帳データ）が表示されています。
3 モード別待受画面設定	
1 デュアルモード待受画面	以降の操作→P108「画像／動画／ｉモーション／キャラ電を待受画面に設定する」操作3
2 Bモード待受画面	以降の操作→P108「画像／動画／ｉモーション／キャラ電を待受画面に設定する」操作3
4 発着信番号設定	
1 Bナンバー着信設定	▶**1または2** 以降の操作→P101「電話やメール・メッセージの着信音を変える」操作3 • 本設定では「きせかえツールに従う」は表示されません。
2 Bナンバー識別表示	Bナンバーを利用するとき、発着信中や通話中画面などに表示される「発信中」などの状態表示を《発信中》などとカッコでくくるかどうかを設定します。 ▶**1または2**
5 2in1機能OFF	▶**「はい」** OFFにすると、AナンバーとAアドレスのみ利用できます。電話帳、受信メール、リダイヤル、着信履歴などのデータは、すべて表示されます。

✔お知らせ

- 初めて2in1を契約したときには、既にFOMA端末電話帳に登録している電話帳データの電話帳2in1設定はすべて「A」に設定されます。再契約された場合は、以前に設定していた電話帳2in1設定を引き継ぎます。
- モード別待受画面設定では静止画、アニメーション、パラパラマンガが設定できます。

❖2in1のモードごとの機能

モードごとに動作の違いがある項目のみ記載しています（Aモードと同じ動作をするものは除いています）。

サービス		Aモード	Bモード	デュアルモード
電話／テレビ電話	発信	Aナンバー	Bナンバー	発信時に選択※1
	着信※2	すべて		
電話帳	表示※3、4	「A」「共通」	「B」「共通」	すべて
	名前変換※5	「A」「共通」	「B」「共通」	すべて
	新規登録時	「A」	「B」	「A」
	赤外線通信／iC通信からの全件受信	送信側の電話帳2in1設定に従う※6		
	赤外線通信／iC通信からの1件受信	「A」	「B」	「A」
	microSDメモリーカードからの復元	バックアップ時の電話帳2in1設定に従う※6		

サービス		Aモード	Bモード	デュアルモード
	microSDメモリーカードからの1件コピー	「A」	「B」	「A」
	FOMAカード電話帳へコピー	「共通」(電話帳2in1設定は設定されない)		
	FOMAカード電話帳からコピー	「A」	「B」	「A」
リダイヤル/着信履歴表示		Aナンバー発着信	Bナンバー発着信	すべての発着信
メール/SMS	表示※4	Aアドレス/Aナンバーで送受信したメール/SMS	Bアドレス※7/Bナンバーに受信したメール/SMS	すべて
	送信	Aアドレス/Aナンバー	送信不可	Aアドレス/Aナンバー※8
	受信※9	すべて		
	WEBメールサイト	利用不可	利用可能	利用可能
	赤外線通信/iC通信からの全件受信	送信側の状態を引き継ぐ※10		
	赤外線通信/iC通信からの1件受信	Aアドレス/Aナンバー		
	microSDメモリーカードからの復元	バックアップ時の状態を引き継ぐ※10		
	microSDメモリーカードからの1件コピー	Aアドレス/Aナンバー		
	FOMAカードへ移動/コピー(SMSのみ)	自分のナンバーの情報を削除して移動/コピー		
	FOMAカードから移動/コピー(SMSのみ)	すべてAナンバーとして移動/コピー		
iアプリ		利用可能	利用可能※11	利用可能※12
プロフィール情報表示		Aナンバー/Aアドレス	Bナンバー/Bアドレス	すべて

※1 スケジュールのメンバーリストまたはセレクトメニューの人物から発信する場合も、発信時に選択できます。電話帳から発信する場合は、電話帳2in1設定で「A」または「共通」にした相手にはAナンバーで、「B」に設定した相手にはBナンバーで発信されます。クイックダイヤル発信とイヤホンスイッチ発信も同様です。
伝言メモ、通話中音声メモ、リダイヤル、着信履歴、メール送受信履歴から発信する場合は、発着信時のナンバーに従って発信されます。
プロフィール情報に登録した電話番号に発信する場合は、Aナンバーのプロフィール情報の電話番号にはAナンバーで、Bナンバーのプロフィール情報の電話番号にはBナンバーで発信されます。
ただし、発信オプションから発信する場合は、「Aナンバー」または「Bナンバー」を選択できます。

※2 電話帳2in1設定によって表示される電話帳データのみ、メモリ別着信拒否/許可が動作します。
電話帳2in1設定によって表示されない電話帳データは、メモリ登録外着信拒否に従います。

※3 シークレット属性を設定している場合は、プライバシーモードの動作が優先されます。

※4 microSDメモリーカード内の電話帳、メール、SMSは2in1のモードに関わらず、すべて表示されます。

※5 電話番号やメールアドレスを電話帳に登録している場合、発信中、呼出中、通話中、受信メールの発信元、送信/未送信メールの宛先などに、電話帳に登録している名前が表示されます。

※6 送信側やバックアップ時の端末が2in1非対応機種の場合、電話帳2in1設定はすべて「A」に設定されます。

※7 WEBメールサイト上で端末に保存操作をしたメール、新着通知メール、アラーム通知メール

※8　電話帳2in1設定で「B」にした相手にもAアドレスでメールを、Aナンバーで SMSを送信しますのでご注意ください。
メール受信履歴のBアドレス／Bナンバーの履歴を利用して送信できません。

※9　AモードのときにBアドレス／Bナンバーへ受信した場合、またはBモードのときにAアドレス／Aナンバーへ受信した場合は、メール着信音は鳴らず、ランプやバイブレータも動作しません。

※10　送信側やバックアップ時の端末のAアドレス／Aナンバーは受信側または復元先のAアドレス／Aナンバーとして、Bアドレス／Bナンバーは受信側または復元先のBアドレス／Bナンバーとして保存されます。

※11　メール機能を利用するｉアプリ、ｉアプリ待受画面は利用できません。

※12　ｉアプリ待受画面は利用できません。

追加サービス（USSD登録）

新しいネットワークサービスを登録する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

1 MENU▶8 8 7 1▶**メニュー項目を選択して操作**

メニュー項目	機能と操作
1 USSD登録	登録・変更する ▶**番号にカーソルを合わせて**[■]▶**各項目を設定**▶[■] **USSDコード：** ドコモから通知されたサービスコードを入力します。 ・サービスコードとはネットワークサービスの設定などを行うためのコードです。FOMA端末ではUSSDコードとして登録します。 **名称：** サービス名を全角10（半角20）文字以内で入力します。 登録したサービスを利用する ▶**サービスを選択** 登録したサービスを削除する ▶**サービスにカーソルを合わせて**MENU▶1**または**2▶**「はい」**
2 応答メッセージ登録	追加したサービスを実行したときに、サービスセンターから返ってくるコードに対応したメッセージを登録します。登録したコードが応答として返ってきたときにこのメッセージが表示されます。 登録・変更する ▶**番号を選択**▶**各項目を設定**▶[■] **USSDコード：** ドコモから通知されたサービスコードを入力します。 **応答メッセージ：** 全角10（半角20）文字以内で入力します。 登録した応答メッセージを削除する ▶**応答メッセージにカーソルを合わせて**MENU▶1**または**2▶**「はい」**

パソコン接続

データ通信の詳細については付属のCD-ROM内または、ドコモのホームページ上の「パソコン接続マニュアル」（PDF形式）をご覧ください。
PDF版「パソコン接続マニュアル」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Reader ヘルプ」をご覧ください。

データ通信について

FOMA端末とパソコンを接続して利用できる通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信とデータ転送（OBEX）に分類されます。

- パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータを編集したりするには、付属のCD-ROMからソフトのインストールや各種設定を行う必要があります。
- OSをアップグレードして使用されている場合の動作は保証いたしかねます。
- 海外ではパケット通信や64Kデータ通信の利用はできません。
- IP接続には対応しておりません。
- FOMA端末は、FAX通信やRemote Wakeupには対応しておりません。
- ドコモのPDA、museaやsigmarion Ⅱ、sigmarion Ⅲと接続してデータ通信が行えます。ただし、museaやsigmarion Ⅱをご利用の場合は、これらのアップデートが必要です。アップデートの方法などの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

❖データ転送（OBEX）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

❖パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384kbps、送信最大64kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。
画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

❖64Kデータ通信

データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMA64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64Kのアクセスポイントを利用して、データを送受信できます。
長時間通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

ご利用になる前に

◆動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、次のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	USBポート（USB仕様1.1／2.0に準拠）を持つPC/AT互換機
OS（各日本語版）	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista
必要メモリ※	Windows 2000：64MB以上 Windows XP：128MB以上 Windows Vista：512MB以上
ハードディスク容量※	5MB以上の空き容量

※ FOMA PC設定ソフトの動作環境です。パソコンのシステム構成により異なる場合があります。

- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◆必要な機器について

FOMA端末とパソコン以外に、次の機器が必要です。

- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- 付属のCD-ROM「FOMA® F705i用CD-ROM」

※ パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため利用できません。
※ USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※ 本書では、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01を例に説明しています。

◆ご利用時の留意事項

❖インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンでインターネットを利用する場合、通常ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）の利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細は、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaがご利用いただけます。
  mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもご利用いただけます。FOMA端末でのインターネット接続には、ブロードバンド接続オプションなどに対応したmopera Uのご利用をおすすめします。
  moperaはお申し込みが不要で、月額使用料は無料です。今すぐインターネットに接続したい方に便利なサービスです。

❖接続先（プロバイダなど）について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- PIAFSなどのPHS64K／32Kデータ通信やDoPaのアクセスポイントには接続できません。

❖ユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力してください。IDとパスワードはプロバイダまたは社内LANなど接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細はプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❖パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定してください。詳細は付属のCD-ROM内の『簡易操作マニュアル』をご覧ください。
『簡易操作マニュアル』（PDF形式）をご覧になるには、Adobe® Reader®（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。パソコンにインストールされていない場合は、同CD-ROMからインストールできます。

❖パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です。
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

※ 上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりするときは通信できない場合があります。

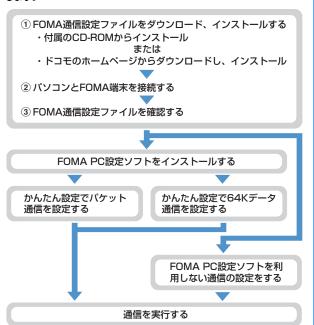
データ転送（OBEX）の準備の流れ

FOMA充電機能付USB接続ケーブル01（別売）をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする
・付属のCD-ROMからインストール
または
・ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

データ転送

データ通信の準備の流れ

パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

❖FOMA通信設定ファイルについて

パソコンと接続してパケット通信または64Kデータ通信を行うには、FOMA通信設定ファイルをインストールする必要があります。

❖FOMA PC設定ソフトについて

付属のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールすると、パケット通信または64Kデータ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単に操作できます。

ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
ATコマンドの詳細は付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

CD-ROMについて

付属のCD-ROMには、FOMA端末でデータ通信をご利用になる際のソフトウェアや、PDF版「パソコン接続マニュアル」、PDF版「区点コード一覧」などが収録されています。詳細は、付属のCD-ROMをご覧ください。

■ 収録ソフト／PDF

- FOMA通信設定ファイル
- FOMA PC設定ソフト
- FOMAバイトカウンタ
- ドコモケータイdatalinkのご案内
- FirstPass PCソフト
- mopera Uのご案内（mopera Uかんたんスタート／U かんたん接続設定ソフト／U オリジナルデータ取得ソフト／FOMAバイトカウンタ）
- ナップスター®のご案内
- PDF版「パソコン接続マニュアル」／「Manual for PC connection setting」
- PDF版「区点コード一覧」／「Kuten Code List」
- Adobe® Reader®

CD-ROMをパソコンにセットすると、次のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。［はい］をクリックしてください。

※ 画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

ドコモケータイdatalinkの紹介

「ドコモケータイdatalink」は、お客様の携帯電話の電話帳やメールなどをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しております。詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。また、付属のCD-ROMから下記サイトへのアクセスも可能です。

http://datalink.nttdocomo.co.jp/

ダウンロード方法、転送可能なデータ、対応OSなど動作環境、インストール方法、操作方法、制限事項などの詳細については上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。

なお、ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途USB接続ケーブル（別売）が必要となります。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、FOMAネットワークのサービスエリア外の海外でも、提携する通信事業者のネットワークを利用して通話やｉモードなどが利用できるサービスです。

- 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいたお客様はWORLD WINGのお申し込みは不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいたお客様や途中でご解約されたお客様は、再度お申し込みが必要です。
- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをお申し込みいただいていないお客様はお申し込みが必要です。
- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- WORLD WINGに対応しているFOMAカード（青色以外）をFOMA端末に取り付けておく必要があります。
- 海外のドコモのローミングエリア※1のみで利用できます。エリアやご利用料金についての詳細は、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- ドコモのローミングエリアは、世界標準規格である3GPP※2に準拠した第3世代移動通信ネットワークです。

※1 本FOMA端末は3Gサービスエリアのみ対応しています。GSM／GPRSサービスエリアでは利用できません。

※2 3GPP（3rd Generation Partnership Project）は、第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体です。

■ 主要国の国番号

国際電話を利用するときや国際ダイヤルアシスト設定などで利用する国番号は、次の番号を使用してください（2007年12月現在）。

ご利用地域	国番号	ご利用地域	国番号
アメリカ合衆国	1	ドイツ	49
イギリス	44	トルコ	90
イタリア	39	日本	81
インド	91	ニューカレドニア	687
インドネシア	62	ニュージーランド	64
エジプト	20	ノルウェー	47
オーストラリア	61	ハンガリー	36
オーストリア	43	フィジー	679
オランダ	31	フィリピン	63
カナダ	1	フィンランド	358
韓国	82	フランス	33
ギリシャ	30	ブラジル	55
シンガポール	65	ベトナム	84
スイス	41	ペルー	51
スウェーデン	46	ベルギー	32
スペイン	34	香港	852
タイ	66	マカオ	853
台湾	886	マレーシア	60
タヒチ（仏領ポリネシア）	689	モルディブ	960
チェコ	420	ロシア	7
中国	86		

- 国番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外で利用できるサービス

滞在国の通信事業者とネットワークによって、利用できる通信サービスが異なります。

- サービスに対応している国・地域および通信事業者などの情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- パソコンなどと接続して行うデータ通信（パケット通信・64Kデータ通信）は利用できません。
- 滞在国のネットワークの状況などにより、通話時間、待受時間が通常の半分程度になることがあります。

◆通信サービス

- 音声電話※1
- テレビ電話※1、2
- ｉモードメール
- ｉモード
- SMS
- ｉチャネル※3

※1　2in1を利用しているときは、Bナンバーでの発信はできません。マルチナンバーを利用しているときは、付加番号での発信ができません。

※2　海外の特定3G通信事業者をご利用のお客様、またはFOMA端末をご利用のお客様と国際テレビ電話ができます。

※3　自動更新は、海外の通信事業者に接続されたとき自動的に一時停止されます。ｉチャネルの自動更新を再開するには、再度ｉチャネル設定を行う必要があります。なお、海外ではｉチャネル受信ごとにパケット通信料がかかります（国内の無料通話適用外）。
海外利用時には、ベーシックチャネルの自動更新についても通信料がかかります（日本国内では、月額サービス利用料に含まれます）。

■ SMSについて

国際ローミング中でも、日本国内や海外でFOMA端末をご利用のお客様または海外通信事業者をご利用のお客様との間でSMSの送受信ができます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

- 宛先がFOMA端末の場合は、国内と同様に相手の電話番号をそのまま入力します。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、相手の電話番号の前に「+」と「国番号」を入力します。または、「010」「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力します（相手の電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いた電話番号を入力します）。
- 海外の通信事業者を利用している相手に送信したSMSの本文中に相手側が対応していない文字が含まれる場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』や『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

◆ネットワークサービス

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、ネットワークサービスの設定／解除などの操作を、海外からも行えます。

- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスでも、利用する海外の通信事業者によっては利用できない場合があります。
詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』や『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

海外利用の準備と確認

- 本FOMA端末は3Gサービスエリアのみ対応しています。
- 海外でのご利用料金は毎月のご利用料金と合わせてご請求させていただきます。ただし、渡航先の通信事業者などの事情により、翌月以降の請求書にてお支払いいただく場合があります。また、同一課金対象期間のご利用であっても同一月に請求されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 国際ローミング中の日付・時刻→P56
- 国際ローミング中の待受画面の表示→P394

◆出発前の準備

❖充電について

- ACアダプタの取り扱い上の注意について→P21
- ACアダプタの充電方法について→P51

❖ｉモードの利用

- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

■ 日本での設定

ｉMenu→「料金＆お申込・設定」→「オプション設定」→「海外利用設定」→「ｉモード利用設定」

■ 海外での設定

ｉMenu→「海外利用設定」→「ｉモード利用設定」

❖ネットワークサービスの利用

海外で留守番電話サービスや転送でんわサービスをご利用になるには、各ネットワークサービスをご契約いただき、あらかじめ遠隔操作設定を開始にする必要があります。

◆滞在国での利用

海外で電源を入れると、自動的に通信事業者を検索し、利用可能なネットワークに接続されます。→P393

❖お問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、取扱説明書裏面の「海外での紛失、盗難、精算などについて」または「海外での故障に関して」をご覧ください。なお紛失、盗難された後に発生した通話料や通信料もお客様のご負担となりますので、ご注意ください。

- 国際電話アクセス番号、ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号の最新情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

■ 主要国の国際電話アクセス番号（表1）

主要国の国際電話アクセス番号は次のとおりです（2007年8月現在）。

ご利用地域	アクセス番号	ご利用地域	アクセス番号
アイルランド	00	デンマーク	00
アメリカ合衆国	011	ドイツ	00
アラブ首長国連邦	00	トルコ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イタリア	00	ノルウェー	00
インド	00	ハンガリー	00
インドネシア	001	フィリピン	00
オーストラリア	0011	フィンランド	00
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0041／0014
韓国	001	ベトナム	00
ギリシャ	00	ベルギー	00
シンガポール	001	ポーランド	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001

ご利用地域	アクセス番号	ご利用地域	アクセス番号
スペイン	00	マカオ	00
タイ	001	マレーシア	00
台湾	002	モナコ	00
チェコ	00	ルクセンブルク	00
中国	00	ロシア	810

■ ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

各国のユニバーサルナンバー用国際電話識別番号は次のとおりです（2007年8月現在）。

ご利用地域	国際識別番号	ご利用地域	国際識別番号
アイルランド	00	中国	00
アメリカ合衆国	011	デンマーク	00
アルゼンチン	00	ドイツ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イスラエル	014	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
オーストラリア	0011	フィリピン	00
オーストリア	00	フィンランド	990
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0021
韓国	001	ブルガリア	00
コロンビア	009	ペルー	00
シンガポール	001	ベルギー	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マレーシア	00
タイ	001	南アフリカ共和国	09
台湾	00	ルクセンブルク	00

- 一部ご利用できない場合があります。
- ユニバーサルナンバーは、上記に記載のある国のみご利用可能です。
- 携帯電話でかけた場合、滞在国内通信料がかかります。
- ホテルから電話される場合、電話使用料を別途ホテルから請求される場合があります（お客様の負担となります）。ホテル側に確認してからご利用ください。
- 携帯電話、公衆電話、ホテルなどからは、ユニバーサルナンバーをご利用いただけない場合が多いためご注意ください。

◆帰国後の確認

帰国後に電源を入れると、自動的にFOMAネットワークに接続されます。FOMAネットワークに接続できない場合は、ネットワークサーチ設定を「オート」に設定し直します。

滞在国で電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から音声電話やテレビ電話をかけられます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- テレビ電話の場合、接続先の端末によりFOMA端末に表示される相手側の映像が乱れたり、接続できない場合があります。
- 通信事業者によっては、発信者番号通知を設定していても、発信者番号が通知されなかったり、正しい番号表示にならない可能性があります。
- よくかける相手の国名と国番号を国際ダイヤルアシスト設定で登録しておけば、ダイヤル操作が簡単にできます。

◆滞在国外（日本を含む）に電話をかける

1 0（1秒以上）▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶✆または[A/a]▶「はい」

- 0を1秒以上押すと「+」が入力されます。
- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

❖国番号を選択して滞在国外（日本を含む）に電話をかける

国際ダイヤルアシスト設定に登録している国番号を選択します。

1 地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶[MENU]▶2▶発信方法欄を選択▶1または2▶国際電話発信欄を選択▶2▶国番号欄を選択▶国番号を選択▶[MENU]▶「はい」

地域番号（市外局番）の先頭の「0」が「+」と選択した国番号に変換されます。

- 「発信方法」で「テレビ電話」を選択した場合には、[A/a]を押すと通話中に表示するキャラ電を選択できます。

❖電話帳を利用して滞在国外（日本を含む）に電話をかける

- 電話帳に登録している電話番号が「0」で始まる場合にのみ有効です。
- あらかじめ国際ダイヤルアシスト設定の国番号変換を「ON」に、国番号設定を電話をかける国に設定しておく必要があります。

1 [📖]▶電話帳検索▶相手にカーソルを合わせて✆または[A/a]▶「はい」

地域番号（市外局番）の先頭の「0」が「+」と設定した国番号に変換されます。

◆滞在国内に電話をかける

1 電話番号を入力▶✆または[A/a]

電話帳を利用する：[📖]▶電話帳検索▶相手にカーソルを合わせて✆または[A/a]▶「元の番号で発信」

◆海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

同じ国に滞在している場合でも、「+」と日本の国番号「81」を入力して電話をかけてください。

1 0（1秒以上）▶81▶90-XXXX-XXXXまたは80-XXXX-XXXX▶✆または[A/a]▶「はい」

滞在国で電話を受ける

日本国内で電話を受けるのと同様の操作で、電話を受けられます。

■ 日本から電話をかけてもらうときは

お客様が日本国内にいるときと同様に、お客様の電話番号を入力して電話をかけてもらいます。

090-XXXX-XXXXまたは080-XXXX-XXXX

■ 日本以外から電話をかけてもらうときは

滞在国に関わらず日本経由で電話をかけるため、日本への国際電話をかけるのと同様の操作で電話をかけてもらいます。

発信国の国際アクセス番号▶81（日本の国番号）▶90-XXXX-XXXXまたは80-XXXX-XXXX

✔お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信者には日本までの通話料がかかり、着信者には国際転送料を含んだ着信料がかかります。

- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、海外の通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。また、相手が利用している通信事業者によっては、相手の発信者番号と異なる番号が通知される場合があります。

ネットワークサーチ設定

通信事業者の検索方法を設定する

国際ローミング開始時や利用中のネットワークが圏外になったとき、他の通信事業者を自動的に検索して接続し直します。

- 電波の状態やネットワークの状況によって設定できない場合があります。
- 日本国内ではNTT DoCoMo以外の通信事業者は選択できません。

1 MENU ▶ 8 9 1 1 ▶ 1 〜 3

オート：他の通信事業者に自動的に接続し直します。

マニュアル：通信事業者を検索し直し、接続ネットワーク一覧が表示されます。通信事業者を選択します。

- MENU を押すと再検索できます。

ネットワーク再検索：「オート」の場合は、自動的に通信事業者が切り替わります。「マニュアル」の場合は、通信事業者を検索し直し、一覧が表示されます。通信事業者を選択します。

✔お知らせ

- 接続ネットワーク一覧では利用できない通信事業者に✕が表示されます。
- 「マニュアル」のときに接続した通信事業者が圏外になった場合は、再度通信事業者を検索し直すか、「オート」にしてください。

優先ネットワーク設定

優先的に接続する通信事業者を設定する

ネットワークサーチ設定が「オート」の場合に接続する通信事業者の優先順位を設定します。

1 MENU ▶ 8 9 1 3

優先順位の高い通信事業者から順に表示されます。

2 通信事業者にカーソルを合わせて MENU ▶ 2

詳細情報を表示する：**通信事業者を選択**

1件削除する：**通信事業者にカーソルを合わせて MENU ▶ 3 1 ▶「はい」▶ 📖**

複数削除する：**MENU ▶ 3 2 ▶ 通信事業者を選択 ▶ 📖 ▶「はい」▶ 📖**

全件削除する：**MENU ▶ 3 3 ▶ 認証操作 ▶「はい」▶ 📖**

3 優先順位を選択 ▶ 📖

選択した優先順位の上に順位が変更されます。

- 優先順位を最後にする場合は、「〈最後に指定〉」を選択します。

◆優先ネットワークリストに通信事業者を追加登録する

- 最大20件登録できます。

〈例〉FOMA端末に登録されていない通信事業者を追加する

1 MENU ▶ 8 9 1 3

2 MENU ▶ 1 1 ▶ 各項目を設定 ▶ 📖

MCC：国番号を3桁で入力します。

MNC：ネットワーク番号を2〜3桁で入力します。

FOMA端末に登録されている通信事業者の一覧から選択する：**MENU ▶ 1 2 ▶ 国名を選択 ▶ 通信事業者にカーソルを合わせて 📖**

現在利用できる通信事業者から選択する：**MENU ▶ 1 3 ▶ 通信事業者にカーソルを合わせて 📖**

3 **優先順位を選択▶[□]**

選択した優先順位の上に追加されます。

- 優先順位を最後にする場合は、「〈最後に指定〉」を選択します。

国際ローミング中の待受画面の表示について

◆オペレータ名の表示を設定する〈オペレータ名表示設定〉

ディスプレイ上部にオペレータ名を表示します。

1 **[MENU]▶[8][9][1][2]▶[1]または[2]**

✔お知らせ

- FOMAネットワークを利用しているときや圏外のときは、本設定に関わらずオペレータ名は表示されません。

◆デュアル時計の表示を設定する〈デュアル時計設定〉

滞在国の時刻と日本の時刻を表示します。

1 **[MENU]▶[8][9][3]▶[1]または[2]**

✔お知らせ

- 自動時刻・時差補正が「ON」の場合、接続している滞在国の通信事業者のネットワークによる時差補正情報を受信したときに、デュアル時計が24時間表示で表示されます。
- デュアル時計では、右側に日本時間を表示します。右側に他の国の時刻を表示させる場合は、デュアル時計設定を「OFF」に、時計表示設定のデザインを「世界時計」にしてください。
- 待受画面設定で動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリを待受画面に設定すると、デュアル時計は表示されません。

ローミングガイダンス設定

ローミングガイダンスを設定する

国際ローミング中に音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、相手に国際ローミング中であることを通知するガイダンスを流すように設定します。

- 日本国内で設定してください。

1 **[MENU]▶[8][8][5]**

2 **[1]または[2]▶「はい」**

- 設定内容を確認するときは[3]を押し、「はい」を選択します。

✔お知らせ

- 本設定が停止のときでも、通信事業者で設定している呼出音が流れます。
- 本設定が開始のときでも、通信事業者の事情により、外国語ガイダンスが流れる場合があります。

ローミング時着信規制

国際ローミング中の着信を規制する

すべての着信を規制したり、テレビ電話の着信を規制したりできます。

- 海外の通信事業者によっては、設定できない場合があります。
- 海外ではパソコンなどと接続して行う64Kデータ通信は利用できません。

1 MENU▶8 9 1 9

2 1▶1または2

ローミング時着信規制を停止する：2

設定内容を確認する：3▶「はい」

3 「はい」▶ネットワーク暗証番号を入力

海外用サービス

国際ローミング中にネットワークサービスを利用する

海外から留守番電話サービスや転送でんわサービスなどの設定を操作します。

- ネットワークサービスの詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』や『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- あらかじめ遠隔操作設定を開始にしておく必要があります。
- 海外から操作した場合は、ご利用いただいた国の国際通話料がかかります。

1 MENU▶8 9 1▶メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
4留守番電話（海外）	海外から留守番電話サービスを操作します。 1留守番サービス開始 2留守番サービス停止 3留守番メッセージ再生 4留守番サービス設定 5留守番呼出時間設定
5転送でんわ（海外）	海外から転送でんわサービスを操作します。 1転送サービス開始 2転送サービス停止 3転送サービス設定
6遠隔操作設定（海外）	海外から遠隔操作設定を操作します。
7番号通知お願い（海外）	海外から番号通知お願いサービスを操作します。
8ローミングガイダンス（海外）	海外からローミングガイダンス設定を操作します。

2 「はい」▶音声ガイダンスの指示に従って操作

付録／外部機器連携／困ったときには

外部機器との連携

困ったときには

メニュー一覧

• 青文字は、各種設定リセットを行うとお買い上げ時の状態に戻るメニューです。

1メール

メニュー		お買い上げ時	参照
1受信メール		―	209
2新規メール		―	192
3チャットメール		―	226
4未送信メール		―	209
5送信メール		―	209
6問合せ・WEBメール	1ｉモード問合せ	―	203
	2SMS問合せ	―	232
	3メール選択受信	―	202
	4ｉモード問合せ設定	すべて選択	222
	5WEBメール	―	202
7SMS	1SMS作成	―	230
	2FOMAカード（UIM）受信SMS	―	233
	3FOMAカード（UIM）送信SMS	―	233
	4SMS設定	送信文字種：日本語 送達通知：要求しない 有効期間：3日 SMSC：ドコモ アドレス：81903101652 Type of Number：international	232
8テンプレート読込み		―	196
9メール設定	1メール着信設定	着信音選択：メロディ／着信音2 着信イルミネーション設定：ゆっくり点滅／ソーダ バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	100
	2チャットメール着信設定	着信動作設定：メール着信動作に従う	100

メニュー			お買い上げ時	参照
	3メール振り分け設定		［受信振り分け設定、送信振り分け設定］振り分け：ON	220
	4署名設定		［自動挿入］する ［署名編集］―	222
	5メール返信設定	1メール返信引用設定	引用：する 引用文字：>	223
		2クイック返信設定	ON	223
		3クイック返信本文登録	了解です 後で連絡します ごめんなさいm(_ _)m ありがとう(^-^) OK	223
	6メールグループ		―	222
	7受信・表示設定	1受信・自動送信表示	通知優先	225
		2メール選択受信設定	OFF	222
		3メール受信添付ファイル設定	すべて選択	224
		4添付ファイル自動再生設定	自動再生する	224
		5メール一覧表示設定	表示スタイル：2行表示 本文お試し表示：する 自動既読設定：ON	224

2ｉモード

メニュー		お買い上げ時	参照
1ｉMenu		―	164
2Bookmark		―	170
3Internet	1URL入力	http://	169
	2URL履歴	―	169
4画面メモ		―	172

メニュー			お買い上げ時	参照
5ラストURL			―	166
6 i モード問合せ			―	203
7メッセージR/F	1メッセージR		―	181
	2メッセージF		―	181
	3メッセージ設定	1メッセージ自動表示	メッセージR優先	180
		2 i モード問合せ設定	すべて選択	222
		3添付ファイル自動再生設定	自動再生する	224
		4メッセージR着信設定	着信音選択：メロディ／着信音2 着信イルミネーション設定：ゆっくり点滅／ソーダ バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	100
		5メッセージF着信設定	着信音選択：メロディ／着信音2 着信イルミネーション設定：ゆっくり点滅／ソーダ バイブレータ設定：OFF 鳴動時間（秒）：10	100
8 i チャネル	1 i チャネル一覧		―	189
	2テロップ表示設定		テロップ表示：表示する テロップ速度：普通 テロップ文字サイズ：中 テロップパターン：パターン1	189
	3 i チャネル初期化		―	189
9 i モード設定	1ツータッチサイト表示		―	171
	2接続待ち時間設定		60秒間	177
	3照明設定		常灯	178
	4証明書設定	1証明書管理※1	CA証明書1～13、ドコモ証明書1：有効	183
		2ユーザ証明書操作	―	184
		3証明書発行接続先設定	接続先：ドコモ	186
		4暗証番号入力省略設定	省略する	186

メニュー		お買い上げ時	参照
	5表示・効果設定	画像、アニメーション：表示する 端末情報データ利用設定：利用する 効果音設定：ON	179
	6 i モーション設定	自動再生設定：自動再生する	188
	7接続先設定	i モード（FOMAカード）	178

3 i アプリ

メニュー		お買い上げ時	参照
1ソフト一覧		―	238
2 i アプリ設定	1ソフトの並べ替え	使用日時順	256
	2自動起動設定	自動起動する	252
	3ソフト情報表示設定	表示しない	237
	4照明設定	端末設定に従う	240
	5バイブレータ設定	使用する	240
	6ツータッチ i アプリ表示	―	251
3履歴表示		[自動起動失敗履歴、異常終了履歴、セキュリティエラー履歴] ―	239 252 254

4電話帳／履歴

メニュー		お買い上げ時	参照
1電話帳検索		全件表示（50音）	90
2電話帳登録		―	87
3FOMAカード（UIM）登録		―	89
4着信履歴		―	63
5リダイヤル		―	63
6伝言メモ／音声メモ	1伝言メモ設定	停止する	78
	2伝言メモ一覧	―	79
	3音声メモ録音	―	343
	4音声メモ一覧	―	343
7メール送受信履歴	1メール送信履歴	―	217
	2メール受信履歴	―	217

メニュー		お買い上げ時	参照
8プロフィール情報		あなたの名前、メールアドレス：ー 自局電話番号：ご契約電話番号	58 340

5データBOX

メニュー	お買い上げ時	参照
1マイピクチャ	―	272
2ミュージック	―	318
3ｉモーション	―	279
4メロディ	―	288
5キャラ電	―	287
6きせかえツール	―	116

6LifeKit

メニュー		お買い上げ時	参照
1バーコードリーダー		―	159
2赤外線・iC・PC連携	1赤外線受信	―	307
	2赤外線全件送信	―	306
	3iC全件送信	―	306
	4受信済みデータ保存	―	308
	5データ送受信設定	通信終了音：OFF 自動認証：なし 電話帳の画像送信：あり	310
	6USBモード設定※2	通信モード	299
3トルカ		―	264
4ICカード	1ICカード一覧	―	262
	2ICカードロック	OFF	269
	3ICカードロック時動作設定	ICカード機能停止	269
	4ICカードオートロック設定	オートロック：OFF	269
	5ICカードロック解除予約	―	270
	6電源OFF時ICロック設定	直前のロック状態を継続	270
5microSD		―	293
6カメラ	1静止画撮影	―	148
	2動画撮影	―	152
7サウンドレコーダー		―	310
8電話帳お預かりサービス	1お預かりセンターに接続	―	97
	2電話帳通信履歴表示	―	97
	3送信設定	電話帳内画像送信：なし	97

7ステーショナリー／便利

メニュー		お買い上げ時	参照
1スケジュール帳		―	331
2メモ帳		―	347
3目覚まし		―	329
4電卓		―	346
5辞典		―	349
6お知らせタイマー		03分	328
7リラックスモードプラス		―	341
8ワンタッチアラーム設定		ワンタッチアラーム設定：OFF	330
9イミテーションコール	1イミテーションコール開始	―	342
	2イミテーションコール設定	鳴動開始時間：すぐに鳴らす 着信音：メロディ／着信音1 着信音量：レベル4	342

8設定／NWサービス※3

メニュー				お買い上げ時	参照
1音／バイブ	1音設定	1電話着信音	1電話着信音	電話：メロディ／着信音1	101
			2テレビ電話着信音	テレビ電話：メロディ／ハープ	101
			3発番号なし動作設定	［非通知設定、公衆電話、通知不可能］設定解除	139
		2メール・メッセージ着信音	1メール着信音	メール：メロディ／着信音2	101
			2チャットメール着信音	チャットメール：メール連動	101

メニュー				お買い上げ時	参照
			3メッセージR着信音	メッセージR：メロディ／着信音2	101
			4メッセージF着信音	メッセージF：メロディ／着信音2	101
		3アラーム音	1目覚まし音	目覚まし音：メロディ／目覚まし時計	102
			2スケジュール音	アラーム：メロディ／時間になりました 予告アラーム：メロディ／もうすぐ予定の時間です	102
		4操作確認音	1キー確認音	エレクトロニック	104
			2静止画撮影シャッター音	標準	104
			3動画撮影シャッター音	標準	104
			4開閉操作音	Pea Skip	104
		5充電確認音		ON	104
		6通話保留・警告音	1応答保留ガイダンス設定	保留音：内蔵音	75
			2通話保留音	ENTERTAINER	104
			3通話品質アラーム音	アラームOFF	104
			4再接続アラーム音	アラームOFF	105
			5電池アラーム音	ON	105
	2音量設定	1電話着信音量		Level4	102
		2メール・メッセージ着信音量		Level4	102
		3受話音量		Level4	102
		4アラーム音量	1目覚まし音量	Level4	102

メニュー				お買い上げ時	参照
			2スケジュール音量	Level4	102
		5ｉアプリ音量		Level4	102
		6トルカ取得音量		Level4	102
		7キー／開閉操作音量		Level4	102
		8メロディ音量		Level4	102
	3バイブレータ設定	1電話着信時	1電話着信時	OFF	103
			2テレビ電話着信時	OFF	103
		2メール・メッセージ着信時	1メール着信時	OFF	103
			2チャットメール着信時	―	103
			3メッセージR着信時	OFF	103
			4メッセージF着信時	OFF	103
		3アラーム鳴動時	1目覚まし鳴動時	OFF	103
			2スケジュール鳴動時	OFF	103
		4ｉアプリ利用時		ON	103
	4マナーモード選択			通常マナーモード	106
	5呼出動作開始時間設定			着信呼出動作：OFF	140
2ディスプレイ	1待受画面設定	1待受画面選択		コーディネイト／きせかえの設定に従う	108 409
		2時計表示設定		デザイン：ON／コーディネイト／きせかえの設定に従う 形式：12時間表示 表示位置：コーディネイト／きせかえの設定に従う 曜日：英語	121 409
		3電池アイコン設定		コーディネイト／きせかえの設定に従う	118 409

メニュー				お買い上げ時	参照
			4アンテナアイコン設定	コーディネイト／きせかえの設定に従う	118 409
			5カレンダー／待受カスタマイズ	—	110
			6テロップ表示設定	テロップ表示：表示する テロップ速度：普通 テロップ文字サイズ：中 テロップパターン：パターン1	189
		2新着アニメ		名前：すべての着信 新着アニメ：ON 待受画面新着アクション：コーディネイト／きせかえの設定に従う 背面表示新着アクション：コーディネイト／きせかえの設定に従う	120 409
		3背面表示パターン設定		背面表示：ON 時計パターン：パターン1 開閉動作パターン：なんでもランダム 着信パターン：CALL メール受信中パターン：MAIL メール着信結果パターン：MAIL	114
		4メニュー設定	1メニュー設定※4	ノーマル：アニメーション セレクト：タイルアイコン アニメーションデザイン：コーディネイト／きせかえの設定に従う アイコン拡大表示：OFF 起動メニュー：ノーマル セレクトメニューショートカット：セレクト	115 409
			2セレクトメニュー登録	ミュージックプレーヤー、時報イルミネーション、開閉イルミネーション、新着アニメ、イミテーションコール開始、2in1モード切替、背面表示パターン設定、ワンタッチアラーム設定	338

メニュー				お買い上げ時	参照
	5各種画面設定	1スクリーン設定		コーディネイト／きせかえの設定に従う	115 409
		2電話発着信画像設定	1電話発信設定	イメージ表示：標準画像	112
			2電話着信設定	イメージ表示：標準画像	112
			3テレビ電話発信設定	イメージ表示：標準画像	112
			4テレビ電話着信設定	イメージ表示：標準画像	112
			5人物画像表示設定	ON	113
			6発番号なし動作設定	［非通知設定、公衆電話、通知不可能］設定解除	139
		3メール送受信画像設定	1メール送信画像設定	イメージ表示：標準画像	113
			2メール受信画像設定	イメージ表示：標準画像	113
			3メール着信結果画像設定	イメージ表示：標準画像	113
			4問合せ画像設定	イメージ表示：標準画像	113
		4テレビ電話画像選択		［代替画像］ イメージ表示：標準キャラ電 ［伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像］ イメージ表示：標準画像	82
	6照明設定			［点灯時間設定］ 通常時：10秒 ACアダプタ接続時、iアプリ：端末設定に従う iモード中、静止画撮影中、動画撮影中、iモーション：常灯 ［照明設定範囲］ ディスプレイ＋キー ［明るさ調整］ 明るさ3	114

メニュー			お買い上げ時	参照
	7イルミネーション設定	1着信イルミネーション	電話、テレビ電話着信イルミネーションパターン：イルミパターン2 メール、メッセージR/F着信イルミネーションパターン：ゆっくり点滅 電話、テレビ電話着信イルミネーションカラー：ライム メール、メッセージR/F着信イルミネーションカラー：ソーダ チャットメール着信イルミネーションパターン、イルミネーションカラー：メール連動 トルカ取得イルミネーション：ON トルカ取得イルミネーションカラー：マンゴー	118
		2通話中イルミネーション	通話中イルミネーション：ON イルミネーションカラー：レインボー	119
		3ICカードアクセスイルミネーション	ICカードイルミネーション：ON イルミネーションカラー：レモン	119
		4開閉イルミネーション	端末開閉時点灯：ON イルミネーションパターン:ゆっくり点滅 イルミネーションカラー：コーディネイト／きせかえの設定に従う	119 409
		5時報イルミネーション	設定：常時 時報イルミネーション音：スタンダード 音量：レベル1	119 409
	8不在着信お知らせ		ON	118
	9文字表示設定	1文字サイズ設定	中（標準）	121
		2フォント選択	漢字／英数字：ゴシック ひらがな／カタカナ：漢字／英数字と同じ	121
		3バイリンガル	Japanese	122

メニュー				お買い上げ時	参照
3コーディネイト／きせかえ	1コーディネイト／きせかえ			コーディネイト／きせかえの設定に従う	107
	2ライフスタイル設定			―	107
4セキュリティ／ロック	1ロック	1開閉ロック		開閉ロック：OFF	137
		2オールロック		―	127
		3パーソナルデータロック		OFF	129
		4ICカードロック	1ICカードロック	OFF	269
			2ICカードオートロック設定	オートロック：OFF	269
			3ICカードロック解除予約	―	270
			4電源OFF時ICロック設定	直前のロック状態を継続	270
			5ICカードロック時動作設定	ICカード機能停止	269
		5ダイヤル発信制限		OFF	130
	2プライバシーモード	1プライバシーモード設定		電話帳・履歴：指定電話帳非表示 メール・履歴、マイピクチャ、iモーション、iアプリ：表示する スケジュール：指定スケジュール非表示 プライバシー新着通知、自動起動：OFF	131
		2シークレット反映		―	134
	3セキュリティランプ設定			ON	138
	4着信／受信時動作設定			電話着信時動作、メール受信時動作：プライバシーモードに従う	135
	5FOMAカード（UIM）			［PIN1／PIN2コード変更］0000 ［PIN1コードON/OFF］OFF	125
	6暗証番号変更			0000	125

メニュー			お買い上げ時	参照
	7スキャン機能	1パターンデータ更新	―	455
		2自動更新設定	―	455
		3スキャン機能設定	スキャン機能、メッセージスキャン：有効	455
		4バージョン表示	―	457
	8パスワードマネージャー		―	365
5発着信・通話機能	1電話発着信設定	1電話発信設定	イメージ表示：標準画像	112
		2電話着信設定	着信音：メロディ／着信音1 イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション：イルミパターン2／ライム	100
	2発番号なし動作設定		［非通知設定、公衆電話、通知不可能］設定解除	139
	3エニーキーアンサー設定		ON	74
	4イヤホン機能設定	1イヤホン切替設定	イヤホン+スピーカー	351
		2オート着信機能設定	自動着信機能：OFF	351
		3イヤホンスイッチ設定	イヤホンスイッチ設定：OFF	350
	5メモリ着信拒否／許可	1メモリ別着信拒否／許可	設定解除	139
		2メモリ登録外着信拒否	OFF	141
	6発着信詳細設定	1優先通信モード設定	設定なし	74
		2プレフィックス設定	プレフィックス1：009130010	71
		3サブアドレス設定	ON	71
	7通話詳細設定	1ノイズキャンセラ設定	ON	72
		2通話中クローズ設定	切断	74
	8セルフモード設定		OFF	129

メニュー				お買い上げ時	参照
6テレビ電話／トルカ	1テレビ電話	1テレビ電話発信設定		イメージ表示：標準画像	112
		2テレビ電話着信設定		着信音：メロディ／ハープ イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション：イルミパターン2／ライム	100
		3テレビ電話動作設定		音声自動再発信：OFF テレビ電話画面設定：両方 子画面表示：自画像 画面サイズ設定：大 受信画質設定：標準 照明設定：明るさ2 スピーカーホン設定：ON	81
		4パケット通信中着信設定		テレビ電話優先	83
		5テレビ電話画像選択		［代替画像］ イメージ表示：標準キャラ電 ［伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像］ イメージ表示：標準画像	82
		6テレビ電話使用機器設定		本体	83
		7テレビ電話切替機能通知	1切替機能通知開始	―	82
			2切替機能通知停止	―	82
			3切替機能通知設定確認	―	82
	2トルカ	1トルカ取得確認設定		イルミネーション設定：ON イルミネーションカラー：マンゴー トルカ取得音量：レベル4	267
		2トルカ取得設定		トルカ取得設定、重複チェック設定：ON 自動振り分け設定、自動表示設定：OFF	267
		3自動読取機能設定		ON	268
		4トルカ振り分け設定		―	268

メニュー				お買い上げ時	参照
7時計／入力／他	1時計	1日付時刻設定※5		自動時刻・時差補正：ON オフセット時間：＋／00時間00分	56
		2自動電源ON設定		自動電源ON：OFF	328
		3自動電源OFF設定		自動電源OFF：OFF	328
		4時計表示設定		デザイン：ON／コーディネイト／きせかえの設定に従う 形式：12時間表示 表示位置：コーディネイト／きせかえの設定に従う 曜日：英語	121 409
		5アラーム自動電源ON設定		OFF	330
		6ライフスタイル設定		―	107
	2文字入力設定	1単語登録		―	364
		2ダウンロード辞書		―	365
		3変換学習リセット		―	359
		4定型文		―	362
		5入力設定		入力方式：かな入力 入力予測：ON 自動カーソル：普通	367
	3文字サイズ設定			中（標準）	121
	4ソフトウェア更新			―	449
	5クイック起動設定			ON	352
	6情報表示／リセット	1通話時間		―	345
		2通話料金	1通話料金表示	―	345
			2通話料金上限通知	通話料金上限通知：OFF	346
			3上限通知アイコン消去	―	346
			4通話料金自動リセット設定	OFF	345
		3メモリ確認		―	304
		4設定状況確認		―	352
		5電池レベル表示		―	55
		6各種設定リセット		―	352
		7データ一括削除		―	353
		8初期設定		［日付時刻設定］自動時刻・時差補正：ON ［暗証番号設定］0000 ［キー確認音設定］エレクトロニック	56
	7サイドキー長押し設定			マナーモード設定／解除	340
8NWサービス	1留守番電話	1留守番サービス	1留守番サービス開始	―	370
			2留守番呼出時間設定	―	
			3留守番サービス停止	―	
			4留守番設定確認	―	
			5留守番メッセージ再生	―	
			6留守番サービス設定	―	
			7メッセージ問合せ	―	
		2件数増加鳴動設定		件数通知音：ON 通知メロディ：着信音1	
		3着信通知	1着信通知開始	―	
			2着信通知停止	―	
			3着信通知開始設定確認	―	
		4表示消去		―	

メニュー			お買い上げ時	参照
2キャッチホン／転送でんわ	1キャッチホン	1キャッチホン開始	—	371
		2キャッチホン停止	—	
		3キャッチホン設定確認	—	
	2転送でんわ	1転送サービス開始	—	372
		2転送サービス停止	—	
		3転送先変更	—	
		4転送先通話中時設定	—	
		5転送サービス設定確認	—	
3着もじ	1メッセージ作成		—	66
	2メッセージ表示設定		番号通知ありのみ	67
4番号通知	1発信者番号通知	1発信者番号通知設定	—	58
		2発信者番号通知確認	—	
	2番号通知お願いサービス	1番号通知開始	—	373
		2番号通知停止	—	
		3番号通知設定確認	—	
5ローミングガイダンス設定	1ローミングガイダンス開始		—	394
	2ローミングガイダンス停止		—	
	3ローミングガイダンス設定確認		—	

メニュー			お買い上げ時	参照
62in1設定	12in1モード切替		デュアルモード	377
	2電話帳2in1設定		—	
	3モード別待受画面設定	1デュアルモード待受画面	仔猫	
		2Bモード待受画面	ブルー	
	4発着信番号設定	1Bナンバー着信設定	[電話着信音設定] 電話：メロディ／着信音4 [テレビ電話着信音設定] テレビ電話：メロディ／Jam Ring	
		2Bナンバー識別表示	ON	
	52in1機能OFF		—	
7その他のNWサービス	1追加サービス	1USSD登録	—	380
		2応答メッセージ登録	—	
	2遠隔操作設定	1遠隔操作開始	—	375
		2遠隔操作停止	—	
		3遠隔操作設定確認	—	
	3迷惑電話ストップ	1迷惑電話着信拒否登録	—	373
		2電話番号指定拒否登録	—	
		3迷惑電話全登録削除	—	
		4迷惑電話1登録削除	—	
		5拒否登録件数確認	—	

メニュー				お買い上げ時	参照
		4英語ガイダンス	1ガイダンス設定	―	374
			2ガイダンス設定確認	―	
		5デュアルネットワーク	1デュアルネットワーク切替	―	374
			2デュアルネットワーク状態確認	―	
		6サービスダイヤル	1ドコモ故障問合せ	―	374
			2ドコモ総合案内・受付	―	
		7マルチナンバー	1通常発信番号設定	―	376
			2通常発信番号設定確認	―	
			3電話番号設定	基本契約番号　名称：基本契約番号 電話番号：ご契約電話番号 付加番号1　名称：付加番号1 付加番号2　名称：付加番号2 付加番号1、2　電話番号：未登録 マルチナンバー発信：無効	
			4着信設定	［付加番号1、付加番号2］個別設定：OFF	
		8通話中着信設定	1通話中着信設定開始	―	375
			2通話中着信設定停止	―	
			3通話中着信設定確認	―	
		9通話中着信動作選択		通常着信	375
9国際ローミング／ダイヤルアシスト	1国際ローミング設定	1ネットワークサーチ設定		オート	393
		2オペレータ名表示設定		表示あり	394

メニュー				お買い上げ時	参照
		3優先ネットワーク設定		―	393
		4留守番電話（海外）	1留守番サービス開始	―	395
			2留守番サービス停止	―	
			3留守番メッセージ再生	―	
			4留守番サービス設定	―	
			5留守番呼出時間設定	―	
		5転送でんわ（海外）	1転送サービス開始	―	
			2転送サービス停止	―	
			3転送サービス設定	―	
		6遠隔操作設定（海外）		―	
		7番号通知お願い（海外）		―	
		8ローミングガイダンス（海外）		―	
		9ローミング時着信規制	1ローミング時着信規制開始	―	395
			2ローミング時着信規制停止	―	
			3ローミング時着信規制確認	―	

メニュー			お買い上げ時	参照
	2国際ダイヤルアシスト設定	1自動変換機能設定	国番号変換：ON（国番号：81、国名称：日本） 国際プレフィックス変換：ON（名称：World Call、国際アクセス番号：009130010）	70
		2国番号設定	—	70
		3国際プレフィックス設定	—	71
	3デュアル時計設定		ON	394

9ミュージックプレーヤー

メニュー	お買い上げ時	参照
ミュージックプレーヤー	—	318

0プロフィール情報

メニュー	お買い上げ時	参照
プロフィール情報	あなたの名前、メールアドレス：— 自局電話番号：ご契約電話番号	58 340

※1　各種設定リセットを行うと、FOMAカードに保存されている証明書もすべて有効になります。
※2　USBケーブル接続中は、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。
※3　ネットワークサービスについては『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
※4　各種設定リセットを行うと、ノーマル（アイコンデザイン、アニメーションデザイン含む）がお買い上げ時の設定に戻ります。
※5　各種設定リセットを行うと、自動時刻・時差補正（タイムゾーン、サマータイム含む）とオフセット時間がお買い上げ時の設定に戻ります。

メニュー設定のノーマルが「シンプル」の場合

1 でんわ	1 電話帳検索	3 カメラ	1 カメラ	5 iアプリ	1 ソフト一覧	7 設定／ステーショナリー	1 音／バイブ
	2 電話帳登録		2 マイピクチャ		2 待受画面設定		2 ディスプレイ
	3 リダイヤル		3 待受画面設定		3 iアプリ設定		3 目覚まし
	4 着信履歴	4 iモード	1 i Menu	6 データBOX	1 マイピクチャ		4 電卓
	5 伝言メモ一覧		2 Bookmark		2 iモーション		5 伝言メモ設定
	6 プロフィール情報		3 ラストURL		3 メロディ		6 情報表示／リセット
2 メール	1 受信メール		4 画面メモ		4 キャラ電		7 留守番電話
	2 送信メール		5 iチャネル一覧			0 プロフィール情報	
	3 未送信メール		6 テロップ表示設定				
	4 新規メール						
	5 iモード問合せ						

コーディネイトの設定項目

あらかじめ登録されている5種類のコーディネイトを選択すると、次の項目が一括で設定されます。

項　目		設定内容				
		モイモイ（YUKI）※1	フラワー（SAKURA）※1	スクエアドット（GUNJYO）※1	ウェーブ	アドバンストモード
スクリーン設定		モイモイ	フラワー	スクエアドット	ウェーブ	アドバンストモード
待受画面設定		モイモイ※2	フラワー	スクエアドット	ウェーブ	アドバンストモード※3
時計表示設定	**デザイン**	デジタル4	アナログ	デジタル2	デジタル3	デジタル4
	形式	12時間表示	12時間表示	12時間表示	12時間表示	12時間表示
	表示位置	上	上	上	中	上
	曜日	英語	英語	英語	英語	日本語
メニュー設定（アニメーションデザイン）		モイモイ	フラワー	スクエアドット	ウェーブ	アドバンストモード
電池アイコン設定／アンテナアイコン設定		／	／	／	（グレー）／（グレー）	（青）／（青）
文字サイズ設定（一括）		中（標準）	中（標準）	中（標準）	中（標準）	最大※4
フォント選択		ゴシック	ゴシック	ゴシック	ゴシック	リュウミン

項　目		設定内容				
		モイモイ（YUKI）※1	フラワー（SAKURA）※1	スクエアドット（GUNJYO）※1	ウェーブ	アドバンストモード
照明設定（明るさ調整）		明るさ3	明るさ3	明るさ3	明るさ3	明るさ5
開閉イルミネーション	イルミネーションパターン	ゆっくり点滅	ゆっくり点滅	ゆっくり点滅	ゆっくり点滅	ゆっくり点滅
	イルミネーションカラー	アクア＊ソーダ＊スカイ	ピーチ＊スノー＊ローズ	アクア＊スノー	スノー	メロン＊レモン＊ライム
新着アニメ	待受画面新着アクション	メモ	フォレスト	スクエア	テロップ	お知らせ
	背面表示新着アクション	イヌ	フラワー	スクエア	テロップ	ストーム
背面表示パターン設定	時計パターン	パターン1	パターン1	パターン1	パターン1	パターン1
	開閉動作パターン	なんでもランダム	なんでもランダム	なんでもランダム	なんでもランダム	なんでもランダム
	着信パターン	CALL	CALL	CALL	CALL	CALL
	メール受信中パターン	MAIL	MAIL	MAIL	MAIL	MAIL
	メール着信結果パターン	MAIL	MAIL	MAIL	MAIL	MAIL

※1　（）内はFOMA端末のカラー名です。
※2　数種類のパターンで表示され、季節、時間、電池残量によって画像が変化する場合があります。
※3　季節と時間によって画像が変化します。
※4　文字を大きいサイズに変更するかどうかの確認画面で、「はい」を選択したときの文字サイズです。

お買い上げ時に登録されているデータ

- お買い上げ時に登録されているｉアプリ、キャラ電、フレーム、デコメピクチャ、デコメ絵文字（絵文字D）を削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。
  アクセス方法（2007年12月現在）
  ｉMenu → メニュー／検索 → ケータイ電話メーカー → @Fケータイ応援団

サイトアクセス用QRコード
※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

◆着信音用メロディ

固定着信音
着信音1～6

メロディ（[ ]内は作曲者名）	
ニュルンベルクのマイスタージンガー［Wilhelm Richard Wagner］	ラデツキー行進曲［JOHAN STRAUSS］
Rhapsody In Blue［GEORGE GERSHWIN］	カノン［JOHANN PACHELBEL］
La Branche Lune	La Vista
SWEET RASPBERRY	Stylish Cafe
Ignition	Satellite
Joy Rhythm	Jam Ring
You've got mail	

効果音／ボイス	
黒電話	ハープ
目覚まし時計	もうすぐ予定の時間です
時間になりました	無音

◆メール添付用メロディ

メロディ（[ ]内は作曲者名）	
誕生日	ウィリアムテル序曲[GIOACCHINO ANTONIO ROSSINI]
結婚行進曲[BARTHOLDY FELIX J L MENDELSSOHN]	祝婚歌[RICHARD WILHELM WAGNER]
運命[VAN LUDWIG BEETHOVEN]	ジングルベル[JAMES PIERPONT]
タフワフワイ[ハワイ民謡]	さくら[日本民謡]
紅葉[岡野　貞一]	雪[文部省唱歌]
おもちゃの兵隊のマーチ[LEON JESSEL]	登場
3･3･7拍子	Are you sleeping?[フランス民謡]
トッカータとフーガ[JOHANN SEBASTIAN BACH]	子守唄[FRANZ SCHUBERT]
蛍の光[スコットランド民謡]	ハッピー　お出掛け　スキップ　メリーゴーランド　安らぎ　頑張れ　ヤッター　ファイト　焦燥　16ビート　忙しい　エレクトロ　ハーモニカ　迷宮　タンゴ　エキゾチック　アジアン　中華　南国　琴
草津節[日本民謡]	お祭り　悲哀　不安　がっくり　発見　チャイム　お知らせ

ダイヤルキーの文字割り当て一覧（かな入力方式）

キー	ひらがな／漢字モード（全角）※1	カナモード（全角または半角）※1	英字モード（全角または半角）※1	数字モード（全角または半角）※2
1	あ　い　う　え　お　1	ア　イ　ウ　エ　オ　1	.　／　@　￣※3　－　：　＿　［　￥　］　＾　｀　｛　｜　｝　1	1
2	か　き　く　け　こ　2	カ　キ　ク　ケ　コ　2	a　b　c　2	2
3	さ　し　す　せ　そ　3	サ　シ　ス　セ　ソ　3	d　e　f　3	3
4	た　ち　つ　て　と　4	タ　チ　ツ　テ　ト　4	g　h　i　4	4
5	な　に　ぬ　ね　の　5	ナ　ニ　ヌ　ネ　ノ　5	j　k　l　5	5
6	は　ひ　ふ　へ　ほ　6	ハ　ヒ　フ　ヘ　ホ　6	m　n　o　6	6
7	ま　み　む　め　も　7	マ　ミ　ム　メ　モ　7	p　q　r　s　7	7
8	や　ゆ　よ　8	ヤ　ユ　ヨ　8	t　u　v　8	8
9	ら　り　る　れ　ろ　9	ラ　リ　ル　レ　ロ　9	w　x　y　z　9	9
0	わ　を　ん　ー　、　。　・　？　！　「　」　■　0	ワ※4　ヲ　ン　ー　、　。　・　？　！　「　」　■　0	！　”　＃　＄　％　＆　’　（　）　＊　＋　，　；　<　＝　>　？　■　0	0　＋※5
＊	゛　゜	゛　゜	※半角の場合のみ入力できます。 @docomo.ne.jp　.com　.or.jp　.go.jp　.ne.jp　.co.jp　.ac.jp　http://www.　www.　.html　.htm	＊　P※5
＃	改行	改行	改行	＃　T※5

■：空白　　　：入力後に[A/a]（A／a）を押すたびに、大文字と小文字が切り替わります。

※1　全角の場合でも、数字は半角で入力されます。

※2「＊」「#」「P」「T」「+」は、これらの文字が有効な入力欄のみ入力できます。

※3　半角の場合は「～」と入力されます。

※4　全角の場合のみ大文字と小文字が切り替わります。

※5　該当するキーを1秒以上押すと入力できます。

入力バーの文字割り当て一覧（スロット入力方式）

入力バー		ひらがな／漢字モード（全角）
上段	あ	あいうえお ぁぃぅぇぉ １
	か	かきくけこ ２
	さ	さしすせそ ３
	た	たちつてとっ ４
	な	なにぬねの ５
	゛゜※	゛゜
下段	は	はひふへほ ６
	ま	まみむめも ７
	や	やゆよ ゃゅょ ８
	ら	らりるれろ ９
	わ	わをんー 、。？！「」 □ ０
	↵	改行

入力バー		カナモード（半角）
上段	ｱ	ｱｲｳｴｵ ｧｨｩｪｫ1
	ｶ	ｶｷｸｹｺ 2
	ｻ	ｻｼｽｾｿ 3
	ﾀ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ 4
	ﾅ	ﾅﾆﾇﾈﾉ 5
	ﾞ	ﾞ ﾟ
下段	ﾊ	ﾊﾋﾌﾍﾎ 6
	ﾏ	ﾏﾐﾑﾒﾓ 7
	ﾔ	ﾔﾕﾖ ｬｭｮ8
	ﾗ	ﾗﾘﾙﾚﾛ9
	ﾜ	ﾜｦﾝ ｰ､｡?!｢｣ □ 0
	↵	改行

<table>
<tr><th colspan="2">入力バー</th><th>英字モード（半角）</th></tr>
<tr><td>上段</td><td>.</td><td>. / @ ~ - : _ [¥] ^ ` { | } 1</td></tr>
<tr><td></td><td>A</td><td>A B C a b c 2</td></tr>
<tr><td></td><td>D</td><td>D E F d e f 3</td></tr>
<tr><td></td><td>G</td><td>G H I g h i 4</td></tr>
<tr><td></td><td>J</td><td>J K L j k l 5</td></tr>
<tr><td></td><td>定</td><td>@docomo.ne.jp .com .or.jp .go.jp .ne.jp .co.jp
.ac.jp http://www. www. .html .htm</td></tr>
</table>

入力バー		英字モード（半角）
下段	M	M N O m n o 6
	P	P Q R S p q r s 7
	T	T U V t u v 8
	W	W X Y Z w x y z 9
	!	! " # $ % & ' ( ) * + , ; < = > ? □ 0
	↵	改行

□：空白

※ [■]を押すたびに「゛」「゜」が切り替わります。

定型文一覧

- **絵文字アート（16件）**

♥♪♨☀♥	✂〰🎟💣	😞〽〽	👀〽〽	🎁♨📊	♨👂✋	🆗✌✨✨	💨💣〰💫〽‼
🍸🍸♨🍺🍺	📷✨〰♨	⚽〰👟💨	〰♨🐱♨〰	💡👀💡✨‼	🏠👀〽〰🔜🏢	🏥😞⤵	✨🌙✨zzz

- **装飾線（5件）**

+−−+−−+−−+−−+−−+−−+−−+	□■□■□■□■□■□	･:*:･ﾟ'★,｡･:*:･ﾟ'☆･:	＜`)ゞ＞＜｡｡oO｡oO
♪//♪//♪//♪//♪//♪			

- **アドレス・データ形式（11件）**

http://www.	http://	@docomo.ne.jp	.net	.com	.ne.jp	.co.jp
.or.jp	.go.jp	.ac.jp	xxxx/xx/xx xx:xx 〜 xxxx/xx/xx xx:xx Schedule↵※			

※「xxxx/xx/xx xx:xx」には現在の日付・時刻が入力されます。

- **ビジネス（14件）**

いつもお世話になっております。○○の○○です。
本日はお忙しいところお時間をいただき、誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。
本日の会議は○○のため中止となりました。ご周知ください。
本日の会議は○○のため○○に延期となりました。ご確認ください。
只今会議中のため、電話に出ることができません。○○後に折り返しご連絡いたします。
只今移動中のため、電話に出ることができません。○○後に折り返しご連絡いたします。
今、○○です。これから帰社します。帰社予定時刻は○○頃です。
今、○○です。このまま帰宅します。
これから出社します。○○頃になります。
これからお伺いさせていただきます。本日の待ち合わせ時間は○○で変更ございませんでしょうか。
只今○○へ出張中です。会社に戻るのは○○の予定です。
○○の件につき、ＰＣにメールを入れておきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。
○○の件につき、至急確認したいことがございます。ご連絡ください。
本日、○○のため、欠勤させていただいております。

・ **プライベート（14件）**

今日は一日お疲れ様でした。明日もお互い頑張りましょう。
今日は一日ありがとう。とても楽しかったです。
○○で○○といういいお店を見つけました。今度一緒に行きませんか？
今日、○○という映画を観てきました。とても良かったです。今度是非観てみてください。
今日のデートはどこに行きたい？○○なんてどうかな？
○月○日にみんなで○○へ行く計画をしています。ご一緒にいかがですか？
アドレスを変更しました。新アドレスは@docomo.ne.jpです。電話帳の登録変更をお願いいたします。
○○で○○時に待ち合わせしましょう。よろしくね。
○月○日、飲みに行きませんか？久しぶりにみんなと楽しく飲みたいです。
○月○日、○○へ遊びに行きませんか？久しぶりにみんなと会いたいです。
○月○日の予定はいかがですか？一緒に○○なんてどうかなと思って。
明日はいよいよ、待ちに待った○○です。今日はゆっくり休んで明日に備えましょう。
体調はどうですか？無理しないでゆっくり休んでくださいね。早く良くなりますように。
本日、○○時から○○チャンネルのテレビ番組の録画をお願いいたします。

・ **文例集（16件）**
先頭に表示される【xxx】は入力されません。

【寒中見舞】寒さ厳しき折、お変わりございませんか。ご自愛なさいますようお祈り申し上げます。
【暑中見舞】暑中お見舞い申し上げます。時節柄、ご健康には十分ご留意のうえご活躍くださいますよう心から祈念いたしております。
【御礼】時下益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。この度はご丁寧なお心遣いをいただき、厚く御礼申し上げます。
【残暑見舞】残暑お見舞い申し上げます。残暑ことのほか厳しい折柄、皆様のご健康をお祈り申し上げます。
【結婚祝】時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。この度はご結婚おめでとうございます。お二人の門出を心より祝福申し上げます。
【出産祝】時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。この度はご出産おめでとうございます。お子様の壮健なご成長を祈念いたします。
【入学祝】ご入学おめでとうございます。充実した学生生活を送り、さらに大きく飛躍されることをお祈りいたします。
【卒業祝】ご卒業おめでとうございます。新しい人生の門出を心よりお祝い申し上げます。
【就職祝】ご就職おめでとうございます。ご健康に留意され、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。
【病気見舞】お体の具合はいかがでしょうか。一日も早いご回復をお祈り申し上げます。
【転居案内】転居のご案内を申し上げます。住所、電話番号などは改めてお知らせいたします。取り急ぎご連絡まで。
【詫状】この度は多大なご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。何卒ご寛容の上、引続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。
【誕生日祝】心から○○様のお誕生日をお祝いいたしますとともに、今後のご健康とご繁栄を祈念いたします。

【成功祝】ご成功の報に接し、心よりお祝い申し上げますとともに、今後益々のご活躍を祈念いたします。
【就任祝】この度のご就任、心からお喜び申し上げます。今後益々のご健勝とご隆盛をお祈りいたします。
【人事異動通知】この度弊社の人事異動により○○へ異動となりました。今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願いいたします。

- **絵文字対応（22件）**

おはよう今日も一日頑張ろう‼	おやすみまた明日ね(-_-)zzz…
おやすみいい夢見てねzzz	ありがとう‼今日はとても楽しかったですまた連絡してね
m(__)mごめんなさい。遅れます	□＼(__)深く反省してます
もう少し待ってください	今、終わりましたこれから帰ります
さようならまた会える日を楽しみにしてます‼	(o^_^o)はじめまして!ちゃんとメール届いてる？
お久しぶりです!元気!?	最近の調子はどう
今日の都合はどう!?	お腹すいたな。食事に行きませんか？
旅行でも行きませんか？	今日何時に終わる？
あとで連絡します	連絡ください
今日は外食します	了解しましたじゃあね(^o^)/~~
あなたにお任せします	すぐに戻ります

- **英語文（46件）**

Hello! How are you?	Hi! What's up?
Long time no talk. How are you doing?	Good morning. Have a nice day!
Good night.	Good-bye. Talk to you soon.
See you. Bye ;-)	I had fun today, thanks.
Thanks :-)	Thanks, but no thanks.
Please accept my apologies.	Get my message?
I'll contact you later.	I'll be late, but hope you'll wait for me. Thanks.
I'll be there soon, so please wait for me. Thanks.	Give me a call or send me a message. Thanks.
I'm leaving work. See you soon.	I'm getting back to my office. Any messages to me?
I'll eat out.	Let's go get a drink!
Let's go eat!	Sorry, but I'm busy.
When will you be off work today?	What's on for today?
I'll leave it to you.	Good for you!
Hope you do your best.	Are you OK?

Cheer up! You can make it.	I have some good news.
I have some bad news.	Really? No kidding!
I can't believe it!	Keep in touch!
Have a nice weekend!	All right. Okay.
Wonderful! Super!	It's my favorite.
I love you. I miss you.	I'm very happy.
I'm sad….	I give up!
Welcome!	Happy birthday!
Happy New Year!	Happy holidays!

- **ユーザ作成（最大50件）**
  登録した定型文が表示されます。

記号一覧

半角	! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` {	} ~ ｡ ｢ ｣ ､ ･ ｰ ﾞ ﾟ
全角	、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～‖｜…‥‘’“”（）〔〕［］｛｝〈〉《》 「」『』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄￠￡％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑ ↓〓∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜ ΝΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπρστυφχψωАБВГДЕЁЖЗИЙКЛМНОП РСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮЯабвгдеёжзийклмнопрстуфхцчшщъыьэюя─│┌┐ ┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣┳┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤ ⅥⅦⅧⅨⅩ㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡㍻〝〟№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾㍽㍼≒≡∫∮∑√⊥∠ ∟⊿∵∩∪

■：空白
※ 実際の表示と異なるものがあります。

絵文字一覧

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。→P357

絵文字	読　み
	はーと、あい、こころ、すき、らぶ
	はーと、あい、こころ、どきどき、すき、らぶ、ゆれるはーと
	はーと、しつれん、ふられた、わかれた、しょっく
	はーと、あい、こころ、すき、らぶ、はーとたち
	かお、えがお、わらう、わらい、わーい、うれしい、にこにこ
	かお、おこる、いかり、ぷん、ちっ
	かお、かなしい、こまった、ごめん、がく
	かお、かなしい、こまった、さいあく、もうやだ
	かお、だめ、ふら
	どうぶつ、いぬ
	どうぶつ、ねこ
	てんき、はれ、たいよう
	てんき、くもり、くも
	てんき、あめ、かさ
	てんき、ゆき、ゆきだるま
	てんき、かみなり、いかずち、いかづち、でんき
	てんき、うずまき、たいふう、あらし、ぐるぐる、くるくる、めまい
	てんき、きり、あめ
	てんき、こさめ、あめ、かさ
	おんぷ、おんがく、うた、るん
	おんぷ、おんがく、うた、さんれんぷ、るん、むーど
	おんせん、ふろ、おふろ、いいきぶん
	はな、かわいい
	きす、きっす、くちびる、くち、ちゅ、ちゅう、ちゅー、きすまーく
	きらきら、ぴかぴか
	でんきゅう、ぴか、あいであ、あいでぃあ、ひらめき
	いかり、おこる、おこり、きれる、むかつく、むか
	がんばる、がんばれ、ぱんち、ぐー、ぐう
	ばくだん、ばくはつ
	おやすみ、すいみん、ねる、ねむい、ぐー、ずー、ぐう、ずう
	びっくり、あっ、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん
	びっくり、ほんと、えっ、えー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん
	びっくり、ちょー、えくすくらめーしょん、えくすくらめいしょん
	しょっく、ぐらぐら、どん
	あせ、あせる、ひやあせ

絵文字	読　み
	あせ、あせる、ひやあせ、なみだ、だらー、たらー
	いそぐ、いそげ、だっしゅ、ためいき、ふぅ、ふう、ふー、はしる
	のばす、ちょうおん、ちょーおん
	のばす、くるり、ちょうおん、ちょーおん
OK	おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、けってい
↗	やじるし、みぎうえ、あがる、あげる、あっぷ、みぎななめうえ
↘	やじるし、みぎした、さがる、さげる、だうん、みぎななめした
↖	やじるし、ひだりうえ、あがる、あげる、あっぷ、ひだりななめうえ
↙	やじるし、ひだりした、さがる、さげる、だうん、ひだりななめした
⤴	やじるし、ぐっど、あがる、あげる、ぐっと
⤵	やじるし、ばっど、さがる、さげる、ばっと
	かお、め、からだ
	かお、みみ、からだ
	ぐー、ぐう、じゃんけん、て、こぶし、ぱんち、からだ
	ちょき、じゃんけん、て、ぴーす
	ぱー、ぱあ、じゃんけん、て、ばい、さんせい
	あし、あしあと、あるく、とほ、からだ、きっく、けり、ける
♥	とらんぷ、はーと、あい、こころ
♠	とらんぷ、すぺーど
♦	とらんぷ、だいや

絵文字	読　み
♣	とらんぷ、くらぶ
	のりもの、こうつう、でんしゃ、れっしゃ、えき
M	のりもの、こうつう、ちかてつ、えむ
	のりもの、こうつう、しんかんせん、のぞみ、ひかり、こだま
	のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、せだん
	のりもの、こうつう、じどうしゃ、くるま、たくしー、どらいぶ、あーるぶい
	のりもの、こうつう、ばす
	のりもの、こうつう、ふね、ふぇりー、こうかい
	のりもの、こうつう、ひこうき、じぇっと、じぇっとき、ふらいと、くうこう
	のりもの、よっと、ふね、りぞーと
	つりー、くりすます、き
	いえ、うち、おうち、じたく
	びる、かいしゃ、しょくば、がっこう
	ゆうびん、ゆうびんきょく、ぽすと
	びょういん、びょうき、けが
BK	ぎんこう、ばんく
ATM	えーてぃーえむ、えいてぃえむ、ぎんこう
H	ほてる
CVS	こんびに、こんびにえんす、こんびにえんすすとあ
GS	がそりんすたんど、がそりん、がすすた、すたんど
Ⓟ	ちゅうしゃじょう、ちゅうしゃ、ぱーきんぐ
	しんごう、しんごうき

絵文字	読　み
	といれ、かっぷる、でーと、けっこん
	しょくじ、ごはん、れすとらん、ふぁみれす
	こーひー、どりんく、のみもの、かっぷ、こっぷ、きっさてん、さてん、おちゃ
	かくてる、おさけ、さけ、ばー
	びーる、おさけ、さけ、いざかや、のみかい、こんぱ、かんぱい
	はんばーがー、ばーがー、けいしょく、ふぁーすとふーど
	はいひーる、ひーる、くつ、あし
	はさみ、かっと、びよういん、びようしつ、さんぱつ、とこや
	まいく、からおけ、うた、うたう
	えいが、えいがかん、しねま、かめら、さつえい、びでお
	うま、けいば、もくば、めりーごーらんど、ゆうえんち
	おんがく、おと、きく、へっどほん、へっどふぉん
	え、あーと、げいじゅつ、びじゅつ、ぱれっと
	えんげき、ひと、しんし、ぼうし
	いべんと、はた
	ちけっと、きっぷ
	すぽーつ、うんどう、しゃつ、たんくとっぷ
	すぽーつ、うんどう、やきゅう、そふと、ぼーる、そふとぼーる
	すぽーつ、うんどう、ごるふ
	すぽーつ、うんどう、てにす、たっきゅう、らけっと

絵文字	読　み
	すぽーつ、うんどう、さっかー、ぼーる
	すぽーつ、うんどう、すきー、すのーぼーど、ぼーど、すけーと、すのぼ、すべる
	すぽーつ、うんどう、ばすけっと、ばすけ、ばすけっとぼーる
	すぽーつ、うんどう、ごーる、はた、れーす、えふわん、もーたーすぽーつ
	ぽけべる、ぽけっとべる、ぺーじゃー
	たばこ、しがー、しがれっと、きつえん、いっぷく
	たばこ、しがー、しがれっと、きんえん
	かめら、しゃしん、さつえい、げきしゃ
	かばん、ばっぐ、てさげ、りょこう
	ほん、のーと、しょしんしゃ
	りぼん、ちょうねくたい、ねくたい、あめ
	ぷれぜんと、たんじょうび、おくりもの
	ろうそく、きゃんどる、たんじょうび、ばーすでい、ばーすでー
	でんわ、くろでん、てれふぉん、てれほん、てる、てれ
	けいたいでんわ、けいたい、けーたい、でんわ、ぴっち、ふぉーん、ふぉん
	めーる、てがみ
	めも、しょるい、れぽーと、しゅくだい、しけん
	てれび、がめん、ばんぐみ
	げーむ、こんとろーら
	しーでぃー、あるばむ、しんぐる、でぃすく
	くつ、しゅーず、すにーかー、あし

絵文字	読　み
	めがね
	くるまいす
♈	せいざ、おひつじざ、おひつじ
♉	せいざ、おうしざ、おうし
♊	せいざ、ふたござ、ふたご、すなどけい
♋	せいざ、かにざ、かに
♌	せいざ、ししざ、しし
♍	せいざ、おとめざ、おとめ
♎	せいざ、てんびんざ、てんびん、おもち、もち
♏	せいざ、さそりざ、さそり
♐	せいざ、いてざ、いて、あがる、あっぷ
♑	せいざ、やぎざ、やぎ
♒	せいざ、みずがめざ、みずがめ、なみ
♓	せいざ、うおざ、うお、さかな
●	つき、しんげつ、まる
	つき
	つき、はんげつ
	つき、みかづき
○	つき、まんげつ、まる
	でんわ、けいたいでんわ、けいたい、けーたい、ふぉーん、ふぉん、ぴっち、ちゃくしん
	めーる、てがみ、じゅしん
FAX	ふぁっくす、ふぁくす、じゅしん
	あいもーど、あい、どこも
	あいもーど、あい、どこも

絵文字	読　み
	どこもていきょう、でい、でー、でぃー
	どこもぽいんと、ぽいんと、でい、でー、でぃー
¥	えん、かね、きんがく、ねだん、りょうきん
FREE	ただ、むりょう、じゆう、ひま、ふりー
ID	あいでぃ、あいでぃー、あいでー
	かぎ、きー、ひみつ、ぱすわーど、ろっく
	かいぎょう、まがる、つづく、つづき
CL	さくじょ、しーえる、くりあ、くーる
	さがす、しらべる、むしめがね、さーち
NEW	にゅー、にゅう、あたらしい、しん
	はた、もくひょう、ごるふ、いちじょうほう、いち
	だいやる、だいある、ふりーだいやる、ふりーだいある
#	しゃーぷ
	もばきゅー、もばきゅう、しつもん、きゅう、きゅー
1	1、いち、すうじ、ばんごう
2	2、に、すうじ、ばんごう
3	3、さん、すうじ、ばんごう
4	4、よん、し、すうじ、ばんごう
5	5、ご、すうじ、ばんごう
6	6、ろく、すうじ、ばんごう
7	7、しち、なな、すうじ、ばんごう
8	8、はち、すうじ、ばんごう
9	9、きゅう、く、きゅー、すうじ、ばんごう
0	0、ぜろ、れい、すうじ、ばんごう
	かちんこ、さつえい、すたーと、はこ

絵文字	読　み
	ふくろ、つぼ
	ぺんさき、ぺん
	はんこ、ひと、ひとかげ
	いす、ざせき、すわる
	よる、よなか、しんや、れいと
soon	すぐ、もうすぐ、すーん
ON!	おん
end	おわり、えんど
	じかん、じこく、たいむ、とけい
	じてんしゃ、ちゃり、ちゃりんこ、のりもの
	れんち、すぱな、こうぐ、どうぐ
	ぱそこん、ぴーしー、こんぴゅーた、こんぴゅーたー
	えんぴつ、ぶんぼうぐ
	くりっぷ、ぶんぼうぐ、てんぷ
	やじるし、さゆう
	やじるし、じょうげ
	やじるし、りさいくる、かいてん、まわる
NG	えぬじー、だめ
秘	ひみつ、まるひ
禁	きんし、げんきん、だめ
空	くうしつ、くうせき、くうしゃ、あき、あく、から
合	ごうかく
満	まんしつ、まんせき、まんしゃ、いっぱい、まんたん、ふる
	けいこく、きけん、びっくり

絵文字	読　み
©	こぴーらいと、しー、まるしー
TM	とれーどまーく、てぃーえむ
®	れじすたーどとれーどまーく、とれーどまーく、あーる、まるあーる
	あいあぷり、あるふぁ、あぷり
	あいあぷり、あるふぁ、あぷり
	どるぶくろ、どる、かね、おかね
	うでどけい、とけい、うぉっち
	すなどけい、とけい
	おにぎり、おむすび、ごはん、おべんとう、べんとう
	けーき、しょーとけーき、でざーと、おかし、かし
	ぱん、ぶれっど
	どんぶり、らーめん、めん、うどん、そば
	ゆのみ、おゆのみ、おちゃ、ちゃ
	とっくり、おちょこ、おさけ、さけ、にほんしゅ
	わいんぐらす、わいん、おさけ、さけ
	ばなな、くだもの
	りんご、あっぷる、くだもの
	さくらんぼ、ちぇりー、くだもの
	くろーばー、よつば、はっぱ
	ちゅーりっぷ、はな
	わかば、ふたば、はっぱ
	もみじ、こうよう、はっぱ
	さくら、はな
	かたつむり、まいまい、でんでんむし、どうぶつ、むし

絵文字	読　み
	ひよこ、とり、どうぶつ
	ぺんぎん、とり、どうぶつ
	さかな、おさかな、どうぶつ
	うま、どうぶつ
	ぶた、どうぶつ、ぶー
	しゃつ、てぃーしゃつ、ふく、ようふく、てぃしゃつ
	ずぼん、ぱんつ、じーぱん、じーんず、ふく、ようふく
	けしょう、くちべに、るーじゅ、りっぷ
	ゆびわ、あくせさりー、りんぐ
	おうかん、かんむり、おうさま
	べる、ちゃぺる、かね
	どあ、とびら、と
	がっこう、だいがく
	なみ、うみ、つなみ、おおなみ
	ふじさん、やま
	すぽーつ、うんどう、すのーぼーど、ぼーど、すのぼ、すべる
	すぽーつ、うんどう、はしる、にげる
	かお、こまる、うーむ、うーん、うむ、むすっ、かんがえる
	かお、ほっ
	かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる
	かお、ひやあせ、たらー、だらー、あせ、あせる
	かお、おこる、ぷー、ぶー
	かお、ぼけー、しらー、しらけ
	かお、はーと、らぶ、すき、わーい、うれしい
	かお、あっかんべー、べー、いたずら
	かお、うぃんく、ういんく、ぱちっ、ぱち
	かお、うれしい、わーい、きゃっ、きゃ
	かお、がまん
	かお、どうぶつ、ねこ
	かお、かなしい、なく、えーん、わーん、なきがお
	かお、なみだ、かなしい、ぽろり、なく、なきがお
	かお、おいしい、うまい、まんぞく
	かお、えがお、わらう、うっしっし、うしし、ししし
	かお、さけぶ、さけび、げっそり、ひゃー、むんく
	て、おっけー、おーけー、おーけい、おうけい、ぐっど、ゆび、おやゆび、ぐっと
	てがみ、めーる、らぶれたー、こいぶみ
	がまぐち、さいふ、おかね、かね

特殊記号一覧

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。→P357

読　み	入力文字
あーる	Ｒ ｒ ㌃
あい	Ｉ ｉ
あすたりすく	＊
あすてりすく	＊
あっとまーく	＠
あるふぁ	Α α
あるふぁー	Α α
あんだーばー	＿
あんど	＆
あんぱさんど	＆
いー	Ｅ ｅ
いーた	Η η
いおた	Ι ι
いこーる	＝
いち	① Ⅰ
いぷしろん	Ε ε
うぷしろん	Υ υ
えい	Ａ ａ
えいち	Ｈ ｈ
えー	Ａ ａ
えす	Ｓ ｓ
えっくす	Ｘ ｘ

読　み	入力文字
えっち	Ｈ ｈ
えぬ	Ｎ ｎ
えふ	Ｆ ｆ
えむ	Ｍ ｍ
える	Ｌ ｌ
えん	￥
おう	Ｏ ｏ
おー	Ｏ ｏ
おーむ	Ω ω
おす	♂
おなじ	々 〃
おみくろん	Ο ο
おめが	Ω ω
おんぐすとろーむ	Å
おんぷ	♪
かい	Χ χ
かける	×
かっこ	「」 『』 【】 ‘’ “” （） 〔〕 ［］ ｛｝ ＜＞ 《》
かっぱ	Κ κ
かぶ	㈱

読　み	入力文字
かぶしきがいしゃ	㈱ ㏍
から	～
かろりー	㌍
がんま	Γ γ
がんまー	Γ γ
きー	Χ χ
きごう	＜＞＠／〃 ±々×≠÷ ≦≧∴§＼ ∞∧∈∨¬ ∋∀⊆⊇∃ ∠⊂⊥⊃⌒ ∪∩∂⊿∇ Σ≡≒∮≪ 〟〝≫∟√ ∽∝∵∫∬ Å‰†‡¶
きゅー	Ｑ ｑ
きゅう	⑨ Ⅸ
きろ	㌔
きろぐらむ	㎏
きろめーとる	㎞
く	⑨ Ⅸ

読　み	入力文字
くさい	Ξ ξ
ぐざい	Ξ ξ
くしー	Ξ ξ
ぐらむ	㌘
くろぼし	★
くろまる	●
けい	Ｋ ｋ
けー	Ｋ ｋ
ご	⑤ Ⅴ
ごうどう	≡
こめ	※
こめじるし	※
ころん	：
さん	③ Ⅲ
さんかく	△▲▽▼
し	④ Ⅳ
しー	Ｃ ｃ
じー	Ｇ ｇ
しーしー	㏄
しーた	Θ θ
じーた	Ζ ζ
じぇい	Ｊ ｊ

読　み	入力文字
じぇー	Ｊｊ
しかく	□■◇◆
しぐま	Σσ
しち	⑦Ⅶ
しめ	〆
しゃーぷ	＃
しゃせん	／＼
じゅう	⑩Ⅹ
じゅういち	⑪
じゅうきゅう	⑲
じゅうく	⑲
じゅうご	⑮
じゅうさん	⑬
じゅうし	⑭
じゅうしち	⑰
じゅうなな	⑰
じゅうに	⑫
じゅうはち	⑱
じゅうよん	⑭
じゅうろく	⑯
しょうなり	＜
しょうわ	㍼
しろぼし	☆
しろまる	○
ずけい	☆★○●◎ ◇◆□■△ ▲▽▼

読　み	入力文字
すらっしゅ	／＼
ぜーた	Ζζ
せくしょん	§
せっし	℃
ぜっと	Ｚｚ
せみころん	；
せんち	㎝ ㌢
せんちめーとる	㎝
せんと	￠ ㌣
だい	㈹
たいしょう	㍽
だいなり	＞
だいひょう	㈹
たう	Ττ
だがー	†
だくてん	゛
たす	＋
だぶりゅ	Ｗｗ
だぶりゅー	Ｗｗ
だぶるだがー	‡
たんい	°′″℃￥ ＄￠￡％
てぃー	Ｔｔ
でぃー	Ｄｄ
てー	Ｔｔ
でー	Ｄｄ
でるた	Δδ

読　み	入力文字
てん	、，．・・・・・’” ‘“｀´¨ ヽヾゝゞ 、｀'"
てんてん	‥…
でんわ	℡
ど	℃°
どう	々〃仝
どしー	℃
どる	＄㌦
とん	㌧
ないし	～
なぜならば	∵
なな	⑦Ⅶ
なみ	～
なんばー	№
に	②Ⅱ
にじゅう	⑳
にじゅうまる	◎
にゅー	Νν
のま	々
ぱーせんと	％㌫
ぱーみる	‰
ぱい	Ππ
はいふん	‐
はち	⑧Ⅷ
ばつ	×

読　み	入力文字
はてな	？
はんだくてん	゜
びー	Ｂｂ
ぴー	Ｐｐ Ππ
ひく	－
ひしがた	◇◆
びっくり	！
びょう	″
ふぁい	Φφ
ぶい	Ｖｖ
ふぃー	Φφ
ぷさい	Ψψ
ぷしー	Ψψ
ふとうごう	＜＞≦≧≠ ≪≫
ぷらす	＋
ぷらすまいなす	±
ふらっと	♭
ふん	′
へいせい	㍻
へいほうめーとる	㎡
ぺーじ	㌻
べーた	Ββ
べーたー	Ββ
へくたーる	㌶
ほし	☆★※
ぽんど	￡

読　み	入力文字
まいなす	−
まる	○ ● ◎ 。 . ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨
みゅー	Μμ

読　み	入力文字
みり	㎜ ㍉
みりぐらむ	㎎
みりばーる	㍊
みりめーとる	㎜
むげん	∞
むげんだい	∞
めいじ	㍾
めーとる	㍍
めす	♀

読　み	入力文字
やじるし	→←↑↓ ⇒ ⇔
ゆう	㈲
ゆー	Ｕ ｕ
ゆうげんがいしゃ	㈲
ゆうびん	〒
ゆうびんばんごう	〒
ゆえに	∴
ゆぷしろん	Υ υ

読　み	入力文字
よん	④ Ⅳ
らむだ	Λ λ
りっとる	㍑
ろー	Ρ ρ
ろく	⑥ Ⅵ
わい	Ｙ ｙ
わっと	㍗
わる	÷

※ 実際の表示と異なるものがあります。
※ 入力文字には全角のみ、半角のみ、全角と半角の両方が存在するものがあります。

顔文字一覧

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。→P357

- 　　　は、「かお」または「かおもじ」と入力しても変換できます。

- 挨拶・返事（19 件）

顔文字	読　み
(^-^)/~~	あいさつ、ばい
(＾＾)ﾉｼ	あいさつ、ばいばい
(^_^)/~	あいさつ、ばいばい
ヾ(^_^) byebye!!	あいさつ、ばいばい
(^^)/	あいさつ、おーい、じゃあ、どーも、よろしく
(^-^)/	あいさつ、おーい、じゃあ、どーも、よろしく
(^^)/~~~	あいさつ、ばいばい
(^_^)/	あいさつ、おーい
(〃⌒ー⌒〃)ゞ	あいさつ、にこっ
～('-'*)	あいさつ、やぁ
(*^-^)ノ	あいさつ、ちわっ
ヾ(´ω`＝´ω`)ノ	あいさつ、おはよう
(o^-')b	へんじ、ぐっ、ぐー
(≧ω≦)b	へんじ、ぐっ、ぐー
(・∀・∩)	へんじ、はい
('-^*)ok	へんじ、おっけー
(｀_´)ゞ了解！	へんじ、りょうかい
(｡･_･｡)ﾉ	あいさつ、やあ
(=ﾟ ωﾟ)ﾉ	あいさつ、やあ

- 笑う・うれしい（34 件）

顔文字	読　み
(^-^)	わらう、にこっ
(^-^)v	うれしい、にこっ
(^o^)	うれしい、うほほ、にこっ、わーい
o(^o^)o	うれしい、うきうき
(o^_^o)	うれしい、にこっ
(*^_^*)	うれしい、にこっ
(・∀・)	わらう、きたー、にこっ
ヾ(^▽^)ノ	うれしい、わーい
ヽ(´ー`)ノ	うれしい、わーい
(*⌒▽⌒*)	うれしい、にこっ
(☆▽☆)	うれしい、きらーん
(^^)v	うれしい、やったね、ぴーす、にこっ、ぶい
(=⌒ー⌒=)	うれしい、にこっ
(　´∀`)	うれしい、にこっ
(≧∀≦)	うれしい
:)	わらう、にこっ、すまいる
V(^0^)	うれしい、ぴーす
(^з^)/ﾁｭｯ	わらう、ちゅっ、にこっ
((o(^-^)o))	うれしい、わくわく
(^^)	わらう、にこっ
v(^o^)	うれしい、いえい、ぶい、ぴーす
(^_^)v	うれしい、やったね、ぴーす、にこっ、ぶい
(^・^)	わらう、にこっ
(^0^)	わらう、わーい

顔文字	読 み
(^O^)/	わらう、おーい、はーい
(^O^)v	わらう、やったね、ぴーす、にこっ、ぶい
)^o^(	わらう、ほっぺがおちる
＼(^o^)／	わらう、わーい
:-)	わらう、にこっ、すまいる
ヽ(≧▽≦)/	うれしい、きゃー
d=(^o^)=b	うれしい、ぐー
ε＝ヾ(*~▽~)ノ	うれしい、きゃー
(@^O^@)	うれしい
(´艸`)	うれしい、むふふ

• 照れる・怒る（18件）

顔文字	読 み
(^^ゞ	てれる、ぽりぽり
f(^_^)	てれる、てへ
(#^.^#)	てれる、にこっ、ぽっ
(*^.^*)	てれる、えへっ
(〃▽〃)	てれる、てれ
(*'-')	てれる、てへっ
(=° ω° =)	てれる、てへっ
(*´д`*)	てれる、こまる、てれ
:p	てれる、てへっ
('∇')	てれる、うふふ
ヽ(*`Д´)ノ	おこる、こら、ごるあ、ごるぁ
o-_-)=○☆	おこる、ぱんち
(ノ-"-)ノ~┻━┻	おこる、ちゃぶだい
(-_-#)	おこる、こらっ
:-(	おこる、ふまん
Ψ(`◇´)Ψ	おこる、こら
(ノ`△´)ノ	おこる、こらっ
(●`ε´●)	おこる、ぷんぷん、むかっ

• 泣く・悲しい（19件）

顔文字	読 み
(>_<)	なく、あいた、いたい、いてー、ひぇー
(T^T)	なく、うるうる
(T_T)	なく、しくしく
(/_;)	なく、しくしく
(+_+)	かなしい、びくっ
(x_x;)	かなしい、がっくり
(/_・、)	なく、くすん
(つд`)	なく、ぐすん
○｜￣｜＿	かなしい、がっくし
(´・ω・`)	かなしい、しょぼん
(;O;)	なく、しくしく
(>_<。)	なく
(;_;)	なく、しくしく
(T-T)	なく、なき、うるうる
(TOT)	なく、なき、うるうる
(ノ_・。)	なく、いたい
:<	なく、かなしい
(；´д⊂)	なく、なき、ぐすん
° ・(ノД`)・° ・	なく、えーん

• 驚き（28件）

顔文字	読 み
(*_*)	おどろき、びくっ
(・・?	おどろき、めがてん
(・・;)	おどろき、めがてん
(°-°)	おどろき、うーん
(@_@)	おどろき、びくっ
(--;)	おどろき、ぎくっ
(-_☆)	おどろき、きらーん
(￣□￣;)!!	おどろき、がーん

顔文字	読 み
(°o°　;)	おどろき、ぽかーん
Σ(￣□￣)!	おどろき、びっくり、がーん、ぎく
(￣◇￣;)	おどろき、えっ
ヽ(°ロ°　;)ノ	おどろき、えっ
(;°ロ°)	おどろき、えっ
((((°д°;))))	おどろき、がくがく
(=_=;)	おどろき、ぎくっ、てつや
(・.・;)	おどろき、めがてん
(°o°)	おどろき、ぎくっ、ぎょ
(°o°;	おどろき、ぎくっ、ぎょ
(@_@。	おどろき、びくっ、ぎょっ
(°Д°)	おどろき、ぽかーん
(°_°)	おどろき、うーん
(・。・;	おどろき、めがてん
(・_・)	おどろき、めがてん
(・_・;	おどろき、めがてん
(・o・)	おどろき、めがてん
(°o°)/	おどろき、おおー、びっくり
(°o°;;	おどろき、ぎくっ
Σ(°□°;)	おどろき、がーん

・疑問・焦り（21件）

顔文字	読 み
(^^;)	あせり、ぎくっ、あせ
(?_?)	ぎもん、なぜ
(-_-;)	あせり、ぎくっ、あせ
w=(°o°)=w	ぎもん、ばたばた
σ(^_^;)?	ぎもん、えっ
(;¬_¬)ｼﾞｰ	ぎもん、じー
O(><;)(;><)O	あせり、あたふた
(°Д°;≡;°Д°)	あせり、あたふた
^^;	あせり、ぎくっ
(^^;;	あせり、ぎくっ、あせ
(^_^;)	あせり、ぎくっ、あせ
(^-^;	あせり、ぎくっ、あせ
(~_~;)	あせり、ぎくっ、あせ
(¥_¥;	ぎもん、ぎくっ、あせ
(*_*;	あせり、びくっ
^_^;	あせり、ぎくっ、あせ

顔文字	読 み
(?_?;	ぎもん、ぎくっ、なぜ
ε=┌(・_・)┘	あせり、にげる
(°∇°;)	あせり、ぎくっ、あせ、えっ
((○(>_<)○))	あせり、じたばた
(;°O°)	あせり、ぎくっ、あせ

・その他（61件）

顔文字	読 み
(~▽~@)♪♪♪	うたう
('◇')ゞ	りょうかい、おっけー、らじゃ
m(_ _)m	ぺこり
_(._.)_	ぺこり
<(_ _)>	ありがと、おねがい、ごめん、ぺこり
≡≡≡ヘ(*--)ノ	いそぐ、にげる
(^_^;))))))ｺｿｺｿ…	こそこそ
p(^-^)q	がんばれ、ふぁいと
;)	ういんく
(^_-)	ういんく
(・∀・)イイ	いい
(^人^)	かんしゃ、ありがとう

顔文字	読 み
!(^^)!	ぴんぽーん
ヽ(^^)	よしよし、おい
(*≧m≦*)	ぷっ
(σ・∀・)σ	げっつ
(￣ー￣)	にやり
(・∀・)つ	どうぞ
(^-^)_旦～	どうぞ、おちゃ
(ｼ° □°)ｼ	きて、かもん、おいで
♪～(￣ε￣)	くちぶえ
(￣。￣)y-～～	たばこ
(｀・ω・´)	しゃきーん
⊂(・∀・)⊃	せーふ
(-.-;)y-~~~	いっぷく
(-。-)y-゜゜゜	いっぷく
(￣～￣)	うまい、たべる
(￣人￣)	おねがい
(^-^)人(^-^)	かんぱい、なかま、たっち
(i_i)＼(^_^)	よしよし
(^▽^)σ)~O~)	つんつん
～～(m´Д｀)m	たすけて

顔文字	読 み
～～(m｀∀´)m	いひひ
φ(. _.)ﾒﾓﾒﾓ	めもめも、かきかき
(゜∇^)] ﾓｼﾓｼ	もしもし
(´□`)	あーん
┐(￣∇￣;)┌	やれやれ
(´へ`;)	はぁ、ためいき
(;-_-)=3	ためいき
(-"-;)	うーん
(´ー`)	ふふん、じまん
(´¬`)	よだれ
(￣ー+￣)ﾌｯ	ふっ
(~_~)	ほへー
(~o~)	ほへー
(p_-)	むしめがね
(-_-)	じとっ
(-.-)	じとっ
(-.-")凸	ちちち
(..)	どれどれ
[壁]_-)	ちらっ
(+。+)	いたい
(-_-)zzz	ねてる、ねる
(_ _).oO	ねむい

顔文字	読 み
(´_ゝ`)	ふーん
(UoU)	ねむい
(^(I)^)	くま
U^I^U	いぬ
ﾎﾟｲｯ(-__-)ノ⌒	ぽい
ヽ(゜▽、゜)ノ	よだれ
>゜))))彡	さかな

※ 実際の表示と異なるものがあります。

マルチアクセスの組み合わせ

現在実行中の動作ごとに発生、実行する処理の動作可否を次に示します。

- ｉモード中（ｉモード接続）は、ｉチャネル（情報の受信を除く）での通信を含みます。
- ｉモードメール受信は、メッセージR/F、ｉチャネルの情報の受信を含みます。

○：新たに実行できる　△：条件により新たに実行できる　×：新たに実行できない

現在の状態			音声電話中	テレビ電話中	ｉモード中	パソコンとつないだパケット通信中	64Kデータ通信中
発生・実行する処理	音声電話	発信	△※1	×	○	○	×
		着信	△※1、2、3	△※2、3、4	○	○	△※2、3、5
	テレビ電話	発信	×	×	○※6	×	×
		着信	△※2、3、4	△※2、3、4	△※7	△※8、9	△※2、3、4
	ｉモード	接続	○	×	×	×	×
	ｉモードメール	送信	○	×	○	×	×
		受信	○※10	×	○	×	×
	SMS	送信	○	×	○	○	×
		受信	○※10	○※10	○	○	○※10
	パソコンとつないだパケット通信	発信	○	×	×	×	×
		着信	○	×	×	×	×
	64Kデータ通信	発信	×	×	×	×	×
		着信	△※3、8、11	△※3、8、11	△※8、11	△※8、11	△※8、11

※1　キャッチホンをご利用の場合は、通話中に別の相手に電話をかけたり受けたりできます。
※2　留守番電話サービスまたは転送でんわサービスをご利用の場合は各サービスで対応できます。
※3　通話中着信設定が開始の場合、通話中着信動作選択に従います。
※4　キャッチホンが開始の場合、不在着信として記録されます。
※5　キャッチホンが開始の場合、現在の通信を終了して電話を受けるか、着信を拒否するかなどを選択できます。
※6　ｉモードが切断されます。
※7　パケット通信中着信設定に従います。
※8　不在着信として記録されます。
※9　留守番電話サービスまたは転送でんわサービスが開始のとき、呼出時間を「0秒」にすると各サービスで対応できます。
※10　着信音は鳴りません。
※11　転送でんわサービスを開始に設定し、呼出時間が「0秒」の場合は、転送でんわサービスで対応できます。

マルチタスクの組み合わせ

現在実行中の機能・グループごとに、新規起動メニュー項目の起動可否を次に示します。

- 起動可能な機能でも、FOMA端末の状態によって実施できない操作もあります。

○：起動可能　×：起動不可

メニュー項目 ＼ 実行中の機能・グループ	音声電話	テレビ電話	データ通信	ダイヤル発信	メール	iモード	iアプリ一覧	電話帳・履歴	データBOX	LifeKit	ステーショナリー／便利	音量設定	ミュージックプレーヤー	マナーモード設定／解除
音声電話中	マルチアクセスの組み合わせ→P431			×	○	○	○	○※2	○※2	○※2	○	○※2	×※1	×
テレビ電話中				×	×※1	×※1	×	×※1	×	×	○※2	○※2	×	×
パケット通信中				○	×※1	×	○	○	○※2	○	○	○	×	○
64Kデータ通信中				×	○※2	×※1	○	○※2	○※2	○※2	○	○※2	×	×
ダイヤル発信	○	○	○	×	○	○	○	○	○※2	○	○	○	×	○
メール	○	○	○※2	○	○※2	○※2	○	○	○※2	○	○	○	○	○
iモード	○	○	○※2	○	○※2	×※1	×	○	○※2	○※2	○	○	○	○
iアプリ	○	○	○	○	○※2	×※1	×	○	×	○※2	○	○	×	○
電話帳／履歴	○	○	○	○	○	○	○	○※2	○※2	○※2	○	○	○	○
データBOX	○	○	○	○	○	○	○	○	○※2	○※2	○	○	×※1	○
LifeKit（赤外線通信／iC通信を除く）	○	○	○	○	○	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○	×※1	○
ステーショナリー／便利	○	○	○	○	○	○	○	○	○※2	○	○※2	○	○※2	○※2
設定／NWサービス	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2
ミュージックプレーヤー	○	○	○	○	○	○	×	○※2	×※1	×	○※2	○	×	○
プロフィール情報	○	○	○	○	○	○	○	○※2	○※2	○	○	○	○	○

※1　動作中の機能によっては、起動できる機能があります。
※2　動作中の機能によっては、起動できない機能があります。

FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末から利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス （有料：案内料＋通話料） （電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

✔お知らせ

- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。また、目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳細は一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください（2007年12月現在）。
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をおかけになった場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護等の事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがございます。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、警察、消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署、警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります（2007年12月現在）。
- 一般電話の転送電話をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話または携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください。ただし、一般電話または公衆電話からFOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話は利用できます。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。
詳細は、ドコモショップなどの窓口へお問い合わせください。また、オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA DCアダプタ 01／02
- FOMA ACアダプタ 01／02※1
- FOMA 乾電池アダプタ 01
- 電池パック F12
- 車内ホルダ 01
- 卓上ホルダ F22
- リアカバー F25

- キャリングケースS 01
- FOMA USB接続ケーブル※2
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01※2
- FOMA補助充電アダプタ 01
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01※3／P02※3
- 平型ステレオイヤホンセット P01※3
- イヤホンジャック変換アダプタ P001※3
- スイッチ付イヤホンマイク P001※4／P002※4
- 外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01※1
- FOMA室内用補助アンテナ※5
- FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）※5
- 骨伝導レシーバマイク 01※3

※1 ACアダプタの充電方法について→P51
※2 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※3 F705iと接続するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01が必要です。
※4 F705iと接続するには、外部接続端子用イヤホン変換アダプタ 01とイヤホンジャック変換アダプタ P001が必要です。
※5 日本国内で使用してください。

動画データを外部機器から取り込んでFOMA端末で再生する

パソコンなどの外部機器で作成した動画（MP4形式）をmicroSDメモリーカードに保存することで、FOMA端末で再生できます。

- microSDメモリーカード内のマルチメディアデータを再生する→P295
- 再生可能なMP4形式→P279

※ 対応外部機器については、次のホームページをご覧ください。
パソコンから
FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→動画再生機能の対応状況

- microSDメモリーカード内の動画を再生するには、FOMA FシリーズSDユーティリティなどを使って決められたフォルダに保存する必要があります。
microSDメモリーカードのフォルダ構成→P291
microSDメモリーカードの情報更新→P298

※ FOMA FシリーズSDユーティリティについては、次のホームページをご覧ください。
パソコンから
FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→データリンクソフト

FOMA端末で撮影した動画データをパソコンなどで再生する

FOMA端末で撮影した動画（MP4形式）をmicroSDメモリーカードやメール添付などでデータ転送し、パソコンで再生できます。

- FOMA端末で撮影した動画ファイル→P146

❖動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画（MP4形式）を再生するには、アップルコンピュータ株式会社のQuickTime Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3＋3GPP）が必要です。
QuickTime Playerは次のホームページからダウンロードできます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細は、上記ホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックしていただき、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P449

■ 電源・充電関連

●FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P49
- 電池切れになっていませんか。→P52、54
- デュアルネットワークサービスでmova端末が有効となっている場合、FOMA端末でのサービスの利用はできません。FOMA端末が有効になっているかご確認ください。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

●充電できない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P49
- 充電端子が汚れていませんか。端子部分を乾いた綿棒などで清掃してください。
- ACアダプタのコネクタがFOMA端末の外部接続端子や卓上ホルダの接続端子にしっかりと差し込まれていますか。卓上ホルダにFOMA端末が正しく取り付けられていますか。→P52

●充電中に背面表示部の照明が点滅する

- 通話中、通信中の場合は、直ちに終了してください。FOMA端末からACアダプタ（卓上ホルダ）、DCアダプタを外し、正しい方法でもう一度充電してください。→P52
- 以上の操作をしても正常に充電できない場合は、ドコモショップなどの窓口にご連絡ください。

●ディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅し、アラームが鳴っている

電池が少なくなっています。充電してください。→P51、54

■ 電話関連

●ダイヤルキーを押しても発信できない

- オールロックを起動していませんか。→P127
- おまかせロックを起動していませんか。→P128
- セルフモードを起動していませんか。→P129
- ダイヤル発信制限を起動していませんか。→P130
- 開閉ロックを設定していませんか。→P137

●電話をかけたが話中音（プープー音）が出てつながらない

- 市外局番を忘れていませんか。
- 発信音を聞かず、急いで電話番号を入力していませんか。
- 圏外と表示されていませんか。→P55

●着信音が鳴らない

- 音量設定の電話着信音量を「Silent」にしていませんか。→P102
- 次の機能を設定していませんか。
  - メモリ別着信拒否／許可→P139
  - 発番号なし動作設定→P139
  - 呼出動作開始時間設定→P140
  - メモリ登録外着信拒否→P141
- 公共モードを起動していませんか。→P76
- マナーモードを起動していませんか。→P105
- セルフモードを起動していませんか。→P129
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間が「0秒」の場合、着信音は鳴りません。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 伝言メモ応答時間設定を「0秒」にしていませんか。→P78
- オート着信機能設定の自動着信機能時間を「0秒」にしていませんか。→P351

●通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

- はっきりボイスをONにすると、相手の声が聞き取りやすくなります。→P62
- 音量設定の受話音量を変更していませんか。→P62、102

●電話がかかってきたとき、設定していない着信音、イメージ、イルミネーションで動作する
・複数の機能で電話着信音を設定している場合は、優先順位に従って着信音が鳴ります。→P102
・複数の機能で着信画像を設定している場合は、優先順位に従って画像が表示されます。→P113
・複数の機能でイルミネーションパターンやイルミネーションカラーを設定している場合は、優先順位に従ってランプが動作します。→P119
・オールロックを起動していませんか。→P127
・おまかせロックを起動していませんか。→P128
・パーソナルデータロックを起動していませんか。→P129
・プライバシーモードを起動していませんか。→P131
・着信／受信時動作設定を設定していませんか。→P135

●電話がかかってきたとき、電話帳に登録している名前や着信音などが動作しない
・相手の電話番号が電話帳に登録している内容と一致していません。正しい電話番号を登録してください（名前の表示について→P86）。
・オールロックを起動していませんか。→P127
・おまかせロックを起動していませんか。→P128
・パーソナルデータロックを起動していませんか。→P129
・プライバシーモードを起動していませんか。→P131
・着信／受信時動作設定を設定していませんか。→P135

■設定・操作関連

●メニューのアイコンが鍵のアイコンになり、選択できない
各種ロック機能やFOMAカード未挿入などで機能が実行できない場合は、アイコンが🔒で表示されます。→P46、127

●キー確認音が鳴らない
・キー確認音を「OFF」にしていませんか。→P104
・マナーモードを起動していませんか。→P105

●FOMA端末の電源を入れると「FOMAカード（UIM）を挿入してください」と表示される
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があります。FOMAカードを確認してください。→P46

●FOMA端末を開くたびに認証画面が表示される
開閉ロック中です。→P137

●電話帳やメールを表示しようとすると認証画面が表示される
プライバシーモード中です。認証操作を行うか、設定を解除してください。→P131

●待受画面に🔇が表示されている
HOLD中です。→P136

●待受画面に🔒が表示され、操作できない
開閉ロック中です。→P137

●FOMA端末を閉じているときに▯を押しても操作できない
HOLD中です。→P136

●日付・時刻が消去された
日付時刻設定の自動時刻・時差補正が「OFF」のときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。→P56

●ディスプレイが暗い
・省電力の状態になっていませんか。→P56
・照明設定の明るさ調整を変更していませんか。→P115

●ディスプレイ、ダイヤルキーの照明が点灯しない
照明設定の点灯時間設定で通常時を「0秒」にしていませんか。→P114

●目覚ましやスケジュールアラームを設定しても、電源が切れているときに指定した日時に動作しない
アラーム自動電源ON設定を「OFF」にしていませんか。→P330

●通話料金が積算されなくなった
通話料金のFOMAカードへの積算が上限（約1677万円）に達した可能性があります。リセットすることにより0円に戻せます。→P345

■ メール・iアプリ・データ関連

●カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

・手ぶれ補正オートで撮影してください。→P157
・近くの被写体を撮影するときは、接写撮影に切り替えてください。→P155

●メール受信時に、設定していない着信音、イメージ、イルミネーションで動作する

・複数の機能でメール着信音を設定している場合は、優先順位に従って着信音が鳴ります。→P102
・複数の機能でイルミネーションパターンやイルミネーションカラーを設定している場合は、優先順位に従ってランプが動作します。→P119
・メール着信音に音声と映像のある動画／iモーションを設定している場合は、イメージは設定したiモーションになります。
・複数のメールを同時に受信すると、最後に受信したメールに設定されている条件に従って動作します。
・プライバシーモードを起動していませんか。→P131
・着信／受信時動作設定を設定していませんか。→P135

●メール受信時に、電話帳に登録している名前や着信音などが動作しない

・相手の電話番号またはメールアドレスが電話帳に登録している内容と一致していません。正しい電話番号とメールアドレスを登録してください（名前の表示について→P86）。
・プライバシーモードを起動していませんか。→P131
・着信／受信時動作設定を設定していませんか。→P135

●静止画や動画が や で表示される

データが壊れている場合は正しく表示されません。

●キーを押したときの画面の反応が遅い

FOMA端末とmicroSDメモリーカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときは、画面の反応が遅くなる場合があります。

●iアプリ／iアプリ待受画面が起動できない

・FOMAカード動作制限機能により、起動できません。→P47
・iアプリがIP（情報サービス提供者）により停止状態になっていませんか。
・iアプリDXを起動するには日付・時刻の設定が必要です。→P56
・iアプリDXでは、iアプリの有効性を確認するため、iアプリの通信設定に関わらず通信する場合があります。また、有効性の確認が完了するまでiアプリを起動できない場合があります。
・オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、プライバシーモード中（iアプリが「認証後に表示」のとき）はiアプリ待受画面を起動できません。→P127、128、129、131

●iアプリ動作中にディスプレイの照明が点灯しない

・照明設定の点灯時間設定で通常時を「0秒」、iアプリを「端末設定に従う」にしている場合、照明は点灯しません。→P114、240
・公共モード中は、iアプリの照明設定を「ソフトに従う」にしても照明は点灯しません。

●データ転送が行われない

USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

■ その他

●おサイフケータイが使えない

・ICカードロックを起動していませんか。→P269
・電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。→P49、128

●ディスプレイに残像が残る

・FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、しばらくの間、ディスプレイから残像が消えないことがあります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
・FOMA端末を開いたまましばらく同じ画面を表示していると、何か操作して画面が切り替わったとき、前の画面表示の残像が残る場合があります。

●ディスプレイに常時点灯する／点灯しないドット（点）がある

FOMA端末のディスプレイは非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯するドットや点灯しないドットが存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。

●ランプの点灯色や明るさに差異がある
・次の現象はランプに用いているLEDやFOMA端末の特性によるものであり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。
- FOMA端末ごとに、あるいはランプによって点灯色や明るさに差異があります。
- FOMA端末の塗装色により、ランプの色が点灯色名とは異なる色に見えることがあります。
- ランプの点灯色名はLEDの主たる光源色を記載していますが、各機能によって光源の設定が微妙に異なるため、同じ点灯色名でも異なる色に見えることがあります。
・イルミネーション設定で「ストロベリー」「メロン」「アクア」が点灯することを確認してください。いずれかの色が点灯しない場合は、ドコモショップなどの窓口にご連絡ください。→P118

●FOMA端末を閉じているとき、ランプが点灯／点滅する
・次の機能を設定していませんか。
- 不在着信お知らせ→P118
- 時報イルミネーション→P119
- USBモード設定→P299
- ワンタッチアラーム設定→P330

●取扱説明書に記載されていない電池アイコンやアンテナアイコンが表示されている／スクリーン設定で選択できる組み合わせの種類が増えている／メニュー設定のアニメーションデザインが増えている
隠し機能が起動しています。隠し機能を起動または解除する場合は、セレクトメニューのグループ名に「こだま」と入力します。→P338

■ 海外利用時

●待受画面にオペレータ名が表示されない、または圏外が表示され、国際ローミングサービスが利用できない
・国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。
・利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドで確認してください。
・ネットワークサーチ設定でサービスに対応している通信事業者を検索してください。→P393
・日本国内から海外へ移動した後に初めて利用するときは、FOMA端末の電源を入れ直してください。

●音声電話やテレビ電話がかかってこない
ローミング時着信規制を開始にしていませんか。→P395

●相手の電話番号が通知されてこない／相手の電話番号とは違う番号が通知されてくる／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない
相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されていない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

こんな表示が出たら

FOMA端末に表示される主なエラーメッセージを50音順に示します。

• エラーメッセージ内の「(数字)」または「(XXX)」は、ｉモードセンターから送信されたエラーを区別するためのコードです。

●宛先をご確認ください
SMSの送信に失敗しました。宛先を確認してください。

●アドレスをご確認ください
メールグループのメールアドレスに不正がある、または入力されていません。

●以下の宛先にはメール送信できませんでした(561) Mails could not be sent to following address.(561)○○@△△△.ne.jp
以下の宛先にｉモードメールを送信できませんでした。■を押すと送信に失敗した宛先が表示されます。宛先を確認し、電波状態のよい所で送信し直してください。メッセージ内に表示されるメールアドレスは送信先により異なります。

●遠隔操作可能なサービスは未契約です
遠隔操作を行おうとした留守番電話サービスまたは転送でんわサービスが未契約です。利用するには別途ご契約が必要です。

●応答がありませんでした(408)
サイトやホームページから規定時間内に応答がなく、通信が切断されました。しばらくたってから操作し直してください。

●オールロック中
オールロック中です。→P127

●同じサービスを利用するソフトがあるためダウンロード／バージョンアップできません　該当するサービスを削除しますか？
既に登録しているおサイフケータイ対応ｉアプリを削除しないと、同様のおサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロードまたはバージョンアップできません。「はい」を選択して、登録済みのおサイフケータイ対応ｉアプリを削除してください。

●おまかせロック中です
おまかせロック中です。→P128

●画像に誤りがあり正しく動作しません
画像データに誤りがあるため、Flash画像を表示できません。

●圏外です
電波の届かない所かFOMAサービスエリア外にいるため実行できません。

●更新できませんでした
パターンデータの更新に失敗しました。他に起動している機能をすべて終了し、電波状態のよい所で更新し直してください。

●このカードは認識できません
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、異常があります。FOMAカードを確認してください。→P46

●この画像は保存できません
画像にエラーがあるため、保存できません。

●この機能は利用できません
2in1がONでBモードのときは、メール作成できません。

●この形式のデータは実行できません
FOMA端末で対応していないファイル形式のデータはmicroSDメモリーカードからFOMA端末に移動／コピー、検索できません。

●このサイトとのSSL通信は無効です
サイトの証明書が書き換えられています。接続できません。

●このサイトの安全性が確認できません。接続しますか？
サイトの証明書がFOMA端末で対応していません。

●このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？
サイトの証明書が有効期限前か期限切れです(→P183)。日付・時刻を設定していない場合や、間違っている場合にも表示されることがあります。→P56

●この接続先の安全性が確認できません。接続しますか？
CA証明書が有効期限切れです(→P183)。日付・時刻を設定していない場合や、間違っている場合にも表示されることがあります。→P56

●この接続先は安全でない可能性があります。接続しますか？
サイトの証明書のCN名（サーバ名）が実際のサーバ名と一致していません。→P183

●このソフトは現在利用できません
IP（情報サービス提供者）によってｉアプリの使用が停止されています。

●このデータは再生できない可能性があります
動画／ｉモーションがFOMA端末で対応していない形式です。

●このデータは保存できません。取得しますか？
データを保存できませんが、取得するときは「はい」を選択します。

●サービス未契約です
・ｉモードが契約されていないため実行できません。利用するには申し込みが必要です。
・ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。

●サービス未提供です
SMSが未提供です。

●再生可能日前です。再生できません
ｉモーション、音楽データに設定されている再生期間より前のため再生できません。詳細情報を確認してください。→P302、323

●再生期限の更新が必要なデータがあります。携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を送信し、サイトに接続しますか？
ミュージックプレーヤーで音楽を再生しようとした際に再生期限切れのうた・ホーダイが存在すると表示されます。「はい」を選択すると、音楽データを更新します（データを更新する際のパケット通信料は有料です）。「いいえ」を選択すると、再生期限切れのうた・ホーダイは利用することができません。→P318

●再生制限データに誤りがあるため、取得できません
再生制限データが誤っているため取得できません。

●再生できません。更新が可能なデータは本体をPCに接続し転送元ソフトを起動して更新してください
音楽データの再生期限が切れているか、再生期限の確認ができない、またはFOMA端末の故障や修理、電話機の変更などによってFOMA端末固有の情報が変更されたため、再生できません。パソコンで再生期限内であることを確認し、FOMA端末をパソコンに接続して同期をとると、再生できます。→P315

●最大サイズを超えたので中断しました
・サイトやホームページのサイズが最大サイズを超えました。■を押すと正常に取得した部分まで表示します。
・ダウンロードしようとしたデータが最大サイズを超えました。

●最大サイズを超えています。受信できません（452）
サイトやホームページのサイズが最大サイズを超えています。

●サイトが移動しました（301）
サイトやホームページが自動的にURL転送を行っているか、URLが変更されています。

●サイトに接続できませんでした（403）
接続を拒否されるなど、何らかの原因でサイトに接続できませんでした。

●削除しますか？ ICカード内データも削除されます
ｉアプリを削除するとICカード内のデータも削除されるおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれます。ｉアプリおよびICカード内のデータを削除するときは「はい」を選択します。

●時刻がリセットされたため、このデータを取得／再生できません。日付時刻設定にて自動時刻・時差補正をONに設定し電源を入れ直してください
日付時刻設定の自動時刻・時差補正が「OFF」のときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。→P56

●指定サイトがみつかりません（404）
URLが正しいかどうか確認してください。

●指定サイトに表示データがありません（204）
指定のサイトにデータがありませんでした。

●指定されたソフトがありません
指定されたソフトがFOMA端末に保存されていません。

●指定されたソフトが起動できませんでした
ｉアプリにエラーが発生したため、起動できません。ｉアプリToで起動するとき、ソフト動作設定や起動条件などに問題がある場合は起動できません。

●指定したサイトへは接続できませんでした（504）
何らかの原因で、指定のサイトなどに接続できませんでした。

●しばらくお待ちください
・音声回線／パケット通信設備が故障、または音声回線ネットワーク／パケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
・110番、119番、118番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

●しばらくお待ちください（パケット）
パケット通信設備が故障、またはパケット通信ネットワークが非常に混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●受信が中断されました。受信できなかったメッセージがあります
受信中にエラーが発生したため、SMSをすべて受信できませんでした。電波状態のよい所でSMS問合せを行ってください。→P232

●情報が正しくないため再生できませんでした
添付されたデータが不正のため再生できませんでした。

●既にメッセージをお預かりしています
既にSMSは送信済みです。

●正常に接続できませんでした（400）
サイトやホームページのエラーにより接続できません。URLを確認してください。

●赤外線／iC通信　FOMAカード（UIM）が挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした
赤外線通信／iC通信で受信したデータにｉアプリToが設定されていても、FOMAカード動作制限機能により起動できません。→P47

●赤外線／iC通信　接続相手が見つかりません。続けますか？
赤外線通信／iC通信状態にしてから通信する相手が見つからないまま一定時間が経過しました。自分と相手の端末を正しく配置してください。→P305

●赤外線／iC通信　中断されました
赤外線通信／iC通信中にエラーが発生しました。赤外線通信／iC通信中は、データの送受信が終了するまでFOMA端末を正しい位置から動かさないでください。→P305

●赤外線／iC通信　認証接続できませんでした
認証パスワードが正しくないため、データの全件送信ができませんでした。→P306

●セキュリティエラーのため、ｉアプリ待受画面を解除しました
許可されていない操作やｉアプリの動作があったため、ｉアプリ待受画面が終了しました。

●セキュリティエラーのため、終了しました
許可されていない操作やｉアプリの動作があったため、ｉアプリが終了しました。

●接続が中断されました
電波状態のよい所で操作し直してください。同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

●接続できません
ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい所で操作し直してください。

●接続できませんでした（562）
ｉモードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい所で操作し直してください。

●設定時間内に接続できませんでした
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●送信できません　宛先を確認してください（451）
宛先が正しいかどうか確認してください。

●送信できませんでした
SMSの送信に失敗しました。電波状態のよい所で送信し直してください。

●送信できませんでした（552）
ｉモードセンターのエラーにより、ｉモードメールの送信に失敗しました。しばらくたってから送信し直してください。

●そのソフトは最新です
既に最新のｉアプリにバージョンアップされています。

●ソフトに誤りがあります
ｉアプリのデータに誤りがあるためダウンロードできません。

●ソフトを起動し、ICカード内データを削除後、ソフトを削除してください
ICカード内のデータを削除しておく必要があります。ｉアプリを起動し、ICカード内のデータを削除してから、ｉアプリを削除してください。→P255、262

●対応機種ではありません
ダウンロードしようとしたｉアプリが本FOMA端末に対応していません。

●対応していないコンテンツです
FOMA端末で対応していないため、コンテンツ選択による操作は行えません。

●ダイヤル発信制限中です
ダイヤル発信制限中は禁止されている操作ができません。→P130

●ダウンロードできませんでした
受信中に通信が中断されました。電波状態のよい所で操作し直してください。

●ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用ください
ｉモードパケット定額サービスをご利用の場合に限り、一定時間内に著しく大量なデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってからｉモードをご利用ください。

●注意！電話番号やURLの記述があります。送信元に心当たりが無い場合はご注意ください。
・スキャン機能設定のメッセージスキャンが「有効」のとき、電話番号やURLの記載が含まれているSMSを表示しようとしました。
・moperaメールや留守番電話の着信通知などをSMSで受信した場合は、表示されません。

●次の宛先にはメール送信できませんでした（561）
次の宛先にｉモードメールを送信できませんでした。■を押すと送信に失敗した宛先が表示されます。宛先を確認し、電波状態のよい所で送信し直してください。

●データが壊れています。お買い上げ時の状態に戻しますか？
データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。お買い上げ時の状態に戻さないと起動できません。

●データが不正です
データに不正があるためダウンロードできません。

●データ転送モードへ移行できません
FOMA端末が通信中のため、データ転送モードへ移行できません。通信が終了してから操作し直してください。

●データまたはmicroSDが壊れています
microSDメモリーカードに保存しているデータまたはmicroSDメモリーカードに問題があるため、アクセスできません。microSDメモリーカードを初期化するか、新しいmicroSDメモリーカードを取り付けてください。→P292、298

●データまたはmicroSDが壊れています。保存先を本体に変更します
静止画や動画の保存先を「microSD」にしているときにmicroSDメモリーカードにアクセスできない場合、自動的に「本体」に切り替わります。

●電話帳のシークレット属性をメールに反映しますか？電話帳、メールの件数によっては、時間がかかる場合があります
シークレット属性が設定されている電話帳データを外部から取り込んだり、電話帳データにシークレット属性を設定したりした場合に表示されます。→P134

●問合せできませんでした
電波状態のよい所で操作し直してください。同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

●登録中です。しばらくしてからご利用ください（554）
ｉモードへのユーザ登録中です。しばらくたってから操作し直してください。

●登録できるサービスがいっぱいです。上書きされたサービスの楽曲は再生できなくなります。上書きしますか？
登録できるうた・ホーダイのサービスが上限値を超えています。「はい」を選択すると再生期限の最も古いサービスから上書きされます。また、上書きされたサービスからダウンロードした音楽データは再生できなくなります。

●長すぎる項目がありました。入力が完全ではありません
サイトなどに表示されている項目を選択して電話帳に登録するときに、文字数が規定の長さを超えています。■を押すと超過分は削除された状態で電話帳登録画面が表示されます。

●入力データまたはURLが長すぎます
サイトやホームページの入力欄に入力した文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから送信し直してください。

●入力データをご確認ください（205）
サイトやホームページの入力データに誤りがあります。

●認証タイプに未対応です（401）
認証タイプに対応していないため、指定のサイトやホームページに接続できません。

●認証を中止しました
認証画面でCLRを押して認証を中止したときに表示されます。

●パスワードをご確認ください（401）
サイトやホームページの認証画面に入力したユーザ名またはパスワードに誤りがあります。

●日付時刻が設定されていません。起動できません
日付・時刻を設定していない場合、起動できない機能があります。→P56

●不正なmicroSDです。著作権保護機能は利用できません
何らかの原因でmicroSDメモリーカード内の認証領域にアクセスできません。エラーの発生したmicroSDメモリーカードには、コンテンツ移行対応のデータを保存できません。

●不正なデータが含まれています
バーコードリーダーで読み取ったデータからｉアプリを起動する場合、データに不正があるときは起動できません。

●不正なデータのため保存できません
ダウンロードしたキャラ電に不正があります。

●他の機能が起動中のため起動できません
パターンデータの更新を行う場合は、他の機能をすべて終了してください。

●保存できないデータです
赤外線通信／iC通信で受信したデータがFOMA端末で対応していないファイル形式のため保存できません。

●保存領域に誤りがあるため、パスワードマネージャーを使用できません。終了します
パスワードマネージャーの保存領域に誤りがあるため、パスワードの登録や引用ができません。

●未保存のデータを本体に保存するか削除してください
赤外線通信／iC通信のINBOXの保存件数がいっぱいです。INBOXのデータをFOMA端末に保存するか、削除してください。→P308

●無効なデータを受信しました（XXX）
・指定のサイトやホームページに対応していません。
・URLを確認してください。
・受信データにエラーがあるため表示できません。
・圏内自動送信メールの送信に失敗しました。

●メールデータを参照できませんでした
・メールまたはフォルダを他の処理で使用しているため参照できません。
・チャットメールでメールデータを参照できません。

●メモリ不足が発生したためアプリケーションを終了します
メモリ不足が発生したため処理を中断して、アプリケーションを終了します。

●メモリ不足です
メモリが不足したため処理を中断します。頻繁に表示される場合は、一度電源を入れ直してください。

●ユーザ証明書がありません。継続しますか？
ユーザ証明書がダウンロードされていません。

●ユーザ証明書の有効期限が切れています。継続しますか？
ユーザ証明書の有効期限が切れています。→P183

●読取機による携帯電話内トルカの自動読取機能を利用しますか？
「はい」を選択し、自動読取機能設定を「ON」にしてください。

●料金情報の読込／リセットができませんでした
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、異常があります。→P46

●連続撮影はできません
マイピクチャ内の保存領域が不足しているため、連続撮影できません。自動的に連続撮影が解除されます。

●FOMAカード情報が一致しないためダウンロード／バージョンアップ／起動できません。
FOMAカードとICカードの対応付けを行った後に、異なるFOMAカードに差し替えておサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロード、バージョンアップ、起動しようとした場合に表示されます。→P262

●FOMAカード（UIM）がいっぱいです
FOMAカードの保存領域が不足しているため、SMSを保存できません。FOMAカード内のSMSを削除するか、FOMA端末に移動してください。→P234

●FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できません
FOMAカード動作制限機能により操作できません。データやファイルを保存したときと同じFOMAカードを挿入してください。→P47

●FOMAカード（UIM）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした
FOMAカード動作制限機能によりｉアプリを起動できません。ｉアプリのダウンロード時と同じFOMAカードを挿入して利用してください。→P47

●FOMAカード（UIM）が挿入されていないためご利用できません
FOMAカードが挿入されていません。→P46

●ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？
ｉアプリ利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。ｉアプリを継続して利用するには「はい」、ｉアプリの通信を終了して継続するには「いいえ」、ｉアプリを終了するには「ｉアプリ終了」を選択します。

●ｉアプリ利用を継続し、通信を行いますか？
「ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？」と表示された後で、再びｉアプリが通信しようとしました。

●ｉモーション最大サイズを超えています
ｉモーションの取得時に最大サイズを超えたため、取得を中断しました。→P186

●ｉモードセンターが混みあっています。しばらくお待ち下さい（555）
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●ICカード内データがいっぱいのためダウンロード／バージョンアップ／起動できません　いずれかのサービスを削除しますか？
おサイフケータイ対応ｉアプリをダウンロード、バージョンアップ、起動する際、ICカード内データの保存領域が不足している場合に表示されます。画面の指示に従ってICカード内のデータを削除後、ｉアプリを削除してください。→P255、262

●ICカード内データが削除できないソフトが存在します。それ以外を削除しますか？
削除するｉアプリの中に、ICカード内のデータを削除できないために削除できないおサイフケータイ対応ｉアプリが含まれています。それ以外のｉアプリを削除するときは「はい」を選択します。

●ICカード内データにエラーがあるため削除できません
ICカード内のデータに不正があるおサイフケータイ対応ｉアプリは削除できません。

●PINロック解除コードがロックされています
ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

●SMSセンター設定を確認してください
SMS設定（SMSC）が誤っています。→P232

●SSL通信が切断されました
SSL通信中にエラーが発生したか、サーバ側の認証エラーのためSSL通信が中断されました。

●SSL通信が無効です
SSL通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。

●SSL通信が無効に設定されています
FOMA端末の証明書が無効に設定されています。接続するには設定を変更してください。→P183

●“○○○.ne.jp”宛のメールが混み合っているため、送信することができません（555）
Unable to send. “○○○.ne.jp” is not available temporarily. (555)
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。メッセージ内に表示されるドメイン名は送信先により異なります。

保証とアフターサービス

❖保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障、修理やその他取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化、消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、iモード、iアプリでダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。
  - ※ 本FOMA端末は、電話帳などのデータやiモーション、iアプリの利用するデータをmicroSDメモリーカードに保存していただくことができます。
  - ※ 本FOMA端末は電話帳お預かりサービス（お申し込みが必要な有料サービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターに保存していただくことができます。
  - ※ パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalink（→P386）とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル01（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

❖アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください（→P437）。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障、損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。
- お買い上げ後の液晶画面・コネクタなどの破損の場合は、有料修理となります。

■ 次の場合は、修理できないことがあります。

- 水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ、結露、汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損、変形している場合は修理できないことがありますのであらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外となりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

- ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

- FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■ お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災、けが、故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
  - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障、損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障、修理やその他取り扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合はもう一度設定してくださるようお願いします。
- FOMA端末の受話口部やスピーカーなどに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけるとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によっては修理できないことがあります。

▲メモリダイヤル（電話帳機能）および
ダウンロード情報などについて▼

- お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化、消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。本FOMA端末はFOMA端末にダウンロードされた画像・着信メロディを含むデータおよびお客様が作成されたデータを故障修理時に限り移し替えを行います（一部移し替えできないデータもあります。また、故障の程度によっては移し替えできない場合があります）。
  ※ FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合、もしくは移し替えができない場合があります。

iモード故障診断サイトについて

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。

TOP画面

テストメニュー一覧画面

- 「iモード故障診断サイト」へのアクセス方法
  iMenu→お知らせ→サービス・機能→iモード→iモード故障診断

  サイトアクセス用QRコード

  ※ アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。
- iモード故障診断を行う場合のパケット通信料は無料です。ただし、海外からアクセスする場合のパケット通信料は有料です。
- FOMA端末の機種によりテスト項目は異なります。また、テスト項目は変更になることがあります。
- 各テスト項目で動作を確認する際は、サイト内の注意事項をよくお読みになり、テストを行ってください。
- iモード故障診断サイトへの接続およびメール送信テストを行う際に、お客様のFOMA端末固有の情報（機種名やメールアドレスなど）が自動的にサーバ（iモード故障診断サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をiモード故障診断以外の目的には利用いたしません。
- ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

ソフトウェア更新

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびiMenuの「お知らせ」でご案内させていただきます。

※ ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料です。

- ソフトウェア更新には、次の2種類の方法があります。
  即時更新：更新したいときすぐに更新を行います。
  予約更新：更新する日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

✔お知らせ

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗します。
- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様のFOMA端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- 接続先設定が「iモード（FOMAカード）」以外の場合でもソフトウェア更新ができます。
- ソフトウェア更新は、電池をフル充電して、電池残量が十分にある状態（→P54）で実行してください。

- 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
  - FOMAカードが挿入されていないとき
  - 電池がフル充電されていないとき
  - 電源が切れているとき
  - 圏外が表示されているとき
  - 日付・時刻を設定していないとき
  - 通話中
  - 他の機能を実行しているとき
  - PIN1コード入力中
  - PIN1コードロック中
  - オールロック中
  - おまかせロック中
  - セルフモード中
  - パーソナルデータロック中
  - パソコンとつないだパケット通信中
  - 64Kデータ通信中
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- PIN1コードON／OFFが「ON」のときソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信機能の操作ができません。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は音声電話の着信のみ受けられます。
- ソフトウェア更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL通信を行います。証明書管理でSSL証明書を有効にしてください。お買い上げ時は、有効に設定されています。→P183
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナアイコンが3本表示されている状態（→P55）で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、もう一度電波状態のよい所でソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。また、メール選択受信設定が「ON」の場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にｉモードセンターにメールがあることを通知する画面が表示されない場合があります。→P202
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、たいへんお手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- 海外ではソフトウェア更新をご利用できません。

◆ソフトウェア更新のお知らせを受信する〈更新お知らせ受信設定〉

あらかじめ更新お知らせ受信設定を「有効」にしておくことで、ソフトウェア更新が必要な場合、待受画面に（更新お知らせアイコン）を表示します。

1 MENU ▶ 8 7 4 ▶ **認証操作** ▶ **「更新お知らせ受信設定」** ▶ **「設定変更」** ▶ **「有効」**

- 「設定確認」を選択すると設定を確認できます。

2 ■▶■

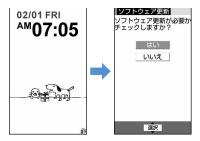
✔お知らせ

- (更新お知らせアイコン）は次の場合に表示されます。
  - ドコモから通知があった場合
  - 予約更新に失敗した場合
  - 予約更新を取り消した場合
  - データ一括削除を実行した場合
  - ソフトウェア更新画面を表示した場合
  - お買い上げ時（表示されていない場合もあります）

◆ソフトウェア更新を起動する

ソフトウェア更新を起動するには待受画面で(更新お知らせアイコン）を選択する方法とメニューの項目番号を選択する方法があります。

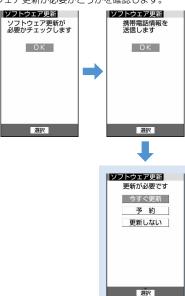
〈例〉更新お知らせアイコンを選択して起動する

1 ■▶(更新お知らせアイコン）にカーソルを合わせて■▶「はい」▶認証操作

- 「いいえ」を選択すると更新お知らせアイコン消去の確認画面が表示されます。

メニューから起動する：MENU▶8 7 4▶認証操作▶「更新実行」

2 注意事項を確認して■

3 ■▶■

ソフトウェア更新が必要かどうかを確認します。

ソフトウェア更新画面

- 更新が必要な場合は「更新が必要です」と表示されます。「今すぐ更新（→P452)」または「予約（→P453)」を選択します。
- 更新が必要ない場合は「更新は必要ありません このままご利用ください」と表示されます。■を押してそのままご利用ください。

- 更新お知らせ受信設定が「無効」の場合は、有効にするかどうかの確認画面が表示されます。

◆すぐにソフトウェアを更新する〈即時更新〉

- サーバが混み合っていて、即時更新ができない場合があります。

1 **ソフトウェア更新画面で「今すぐ更新」▶約5秒後に自動的にダウンロード開始**

■を押すと、すぐにダウンロードを開始します。ダウンロード中は、ランプが点滅します。

- ダウンロードを中止するときは■を押します。

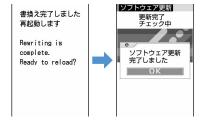
サーバが混み合っているとき：

- 「予約」を選択して更新日時を予約してください。→P453

2 ダウンロード終了後、約5秒後に自動的に書き換え開始

■を押すと、すぐに書き換えを開始します。
書き換え中はランプが点滅します。また、すべてのキー操作が無効となり、更新を中止することもできません。

3 書き換え終了後、自動的に再起動▶■

再起動すると再びサーバと通信を行いますので、しばらくお待ちください。

◆日時を予約してソフトウェアを更新する〈予約更新〉

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混み合っている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する日時をサーバと通信して設定しておきます。

〈例〉表示されている候補から予約する

1 ソフトウェア更新画面で「予約」

予約可能な日時がサーバの時刻で表示されます。

2 希望日時を選択▶「はい」

表示されている候補以外から予約する：
①「その他の日時」
②希望日を選択
各時間帯の予約の空き状況が表示されます。
○：空きあり　△：空きわずか

- 回を押すと、時間帯の左に表示されている記号の説明を表示できます。

③希望時間帯を選択
サーバに接続され、選択した希望日と時間帯に近い予約候補が表示されます。
④希望日時を選択▶「はい」

3 ■
予約の設定が完了すると、待受画面に が表示されます。

❖予約を確認・変更・取り消しをする

〈例〉ソフトウェア更新の予約日時を確認する

1 MENU▶8 7 4▶認証操作▶「更新実行」▶内容を確認

- 確認を終了するときは「OK」を選択します。

予約を変更する：「変更」▶■
予約候補の選択画面が表示されます。
以降の操作→P454「表示されている候補以外から予約する」操作②以降
予約を取り消す：「取消」▶「はい」▶■▶■

❖予約の日時になると

予約日時になると次の画面が表示され、約5秒後に自動的にソフトウェア更新を開始します（■を押すと、すぐにソフトウェア更新を開始します）。予約日時前には、電池がフル充電されていることをご確認の上、電波の十分届く所でFOMA端末を待受画面にしておいてください。ダウンロードが完了するとソフトウェアの書き換えが行われ、再起動します。

- ソフトウェア更新を中止する場合は を押し「はい」を選択します。

✔お知らせ

- 次の場合は、ソフトウェア更新の予約が解除されることがあります。
  - 電池パックを取り外した場合
  - 電池が切れたまま充電しなかった場合
  - データ一括削除を行った場合
  - おまかせロック中に予約日時になったとき
- 他の機能を使用していると予約時刻になっても起動しないことがあるのでご注意ください。通話中またはメール受信中に予約日時になったときは、通話終了後またはメール受信終了後にソフトウェア更新を開始します。
- 同じ日時にアラームなどが設定されていた場合には、アラームなどが優先され、ソフトウェア更新が起動しないことがあります。

スキャン機能

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやｉモードメール、SMSなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- チェックのために使用するパターンデータは、新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされます。自動更新設定が「有効」の場合、パターンデータがバージョンアップされたときに自動的にダウンロードと更新が行われます。
- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータが侵入することに対して、一定の防衛手段を提供する機能です。
  各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合には、本機能によって障害などの発生を防げませんので、あらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。また、当社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は停止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

◆スキャン機能を設定する〈スキャン機能設定〉

本設定を「有効」にすると、データやプログラムを実行する際、自動的にチェックします。

1 MENU▶8473▶各項目を設定▶□

スキャン機能：スキャン機能を有効にするかどうかを設定します。
メッセージスキャン：SMSを表示する際にスキャン機能を有効にするかどうかを設定します。

2 「はい」

- 本設定を「有効」にすると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。→P456

◆自動でパターンデータを更新する〈自動更新設定〉

パターンデータの更新が自動的に行われるように設定します。

1 MENU▶8472

2 「有効」▶「はい」▶「はい」▶■

- 自動更新を利用しないときは「無効」を選択します。
- パターンデータの自動更新に成功すると、待受画面にアイコンが表示されます。アイコンを選択し、メッセージを確認した後、■を押してください。

◆パターンデータを更新する

自動更新設定が「無効」のときや、待受画面にアイコン（パターンデータの自動更新失敗）が表示された場合には、パターンデータを手動で更新してください。

1 MENU▶8471▶「はい」▶「はい」

パターンデータのダウンロードと更新が開始されます。

2 ■

- パターンデータ更新が必要ない場合は「パターンデータは最新です」と表示されます。■を押してそのままご利用ください。

✔お知らせ

- パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- FOMA端末で正しい日付・時刻を設定していない場合は、パターンデータの更新はできません。
- パターンデータ更新中に音声電話の着信があった場合は、更新は中断されます。テレビ電話の着信、外部機器や赤外線機能を利用してのデータ受信があった場合は、更新は中断されません。

◆スキャン結果の表示について

■スキャンされた問題要素の表示について

①警告レベル画面表示中に「詳細」

問題要素が6個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略され、検出された問題要素の総数が表示されます。

問題要素一覧
PadHtml030.H
PadHtml029.H
PadHtml028.H
PadHtml027.H
PadHtml026.H
以下省略、総数30
OK

■スキャン結果の表示について

警告レベル	対応方法
警告レベル0 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります OK 詳細	「OK」：起動中のアプリケーションの処理を続行する 「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示する
警告レベル1 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？ はい いいえ 詳細	「はい」：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止する 「いいえ」：起動中のアプリケーションの処理を続行する 「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示する
警告レベル2 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があるため終了します OK 詳細	「OK」：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止する 「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示する
警告レベル3 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります データを削除しますか？ はい いいえ 詳細	「はい」：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除する 「いいえ」：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止する 「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示する
警告レベル4 問題要素が検出されました 正常に動作できないためデータを削除します OK 詳細	「OK」：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除する 「詳細」：検出された問題要素の名前の一覧を表示する

✔お知らせ

- 待受画面に設定しているｉアプリに問題要素が見つかり起動を中止した場合は、ｉアプリ待受画面が解除されます。
- 問題要素によっては、「詳細」ボタンが表示されない場合があります。

◆パターンデータのバージョンを確認する〈バージョン表示〉

1 MENU▶8 4 7 4

主な仕様

本体

品名		FOMA F705i
サイズ		高さ106mm×幅49mm× 厚さ13.7mm（閉じたとき）
質量		約111g（電池パック装着時）
連続待受時間※1、2	FOMA／3G	静止時：約490時間 移動時：約340時間
連続通話時間※2、3	FOMA／3G	音声電話時：約170分 テレビ電話時：約100分
充電時間※4		ACアダプタ：約120分 DCアダプタ：約120分

液晶部	方式	ディスプレイ：TFT262,144色
	サイズ	ディスプレイ：約2.7inch
	画素数	ディスプレイ：103,680画素 （240×432）
背面表示部	方式	37セグメントLED
	サイズ	縦37.2mm×横11.2mm
	発色数	1色
撮像素子	種類	CMOS
	サイズ	1/5inch
	有効画素数	約130万画素
カメラ部	記録画素数（最大時）	約120万画素
	ズーム（デジタル）	最大約16.0倍
記録部	静止画記録枚数※5	約402枚
	静止画連続撮影	2～9枚
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間※6	最大約34分（本体保存時） 最大約106分 （microSDメモリーカード64MB保存時）
	動画ファイル形式	MP4、ASF
音楽再生	連続再生時間	ｉモーション：約480分※7 着うたフル®：約480分※7、8 WMAファイル：約540分※8
保存容量	着うた®	約26.5MB※9
	着うたフル®	

※1　連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場合など）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

※2　ｉモード通信、ｉモードメールの作成、ダウンロードしたｉアプリの起動やｉアプリ待受画面設定、ミュージックプレーヤーでの曲の再生、ワンタッチアラームの設定や起動などを行うと連続待受時間、連続通話時間は短くなります。

※3　連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

※4　充電時間は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

※5　静止画記録枚数とは、画像サイズが「128×96」、画質が「スタンダード」、ファイルサイズが10Kバイトの場合です。

※6　動画録画時間とは、1件あたりの数値です。画像サイズ、品質、および撮影する映像によって異なります。

※7　AAC形式のファイルです。

※8　バックグラウンド再生に対応しています。

※9　着うた®専用に約10.0MB、着うたフル®専用に約6.5MBの保存領域を確保しています。

電池パック

品　名	電池パック F12
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	670mAh

F705iの保存・登録・保護件数

- FOMA端末内のデータのファイルサイズの表示は、データを扱う機能によって多少の誤差が生じる場合があります。

種　別		保存・登録件数	保護件数
電話帳※1		最大1000件	―
きせかえツール※1		最大36件	―
ブックマーク		最大100件	―
画面メモ※1		最大100件	最大50件
ダウンロード辞書		最大10件	―
ダウンロードしたフォント※2		最大5件	―
メッセージR※1		最大100件	最大50件
メッセージF※1		最大50件	最大25件
メール	受信メール※1、3、4	最大1000件	最大500件
	送信メール※1、3	最大200件	最大100件
	未送信メール※1、3	最大200件	最大100件
	メールテンプレート※1、5	最大100件	―
FOMAカードのSMS※6		最大20件	―
ｉアプリ※1、7		最大100件	―
トルカ※1		最大100件	―
画像※1、8		最大1000件	―
動画／ｉモーション／サウンドレコーダーで録音した音声※1		最大100件	―
動画／ｉモーションのプレイリスト		最大100件	―
キャラ電※1、9		最大50件	―
メロディ※1		最大500件	―
ミュージック※1		最大30件	―
スケジュール帳		最大300件	―

種　別	保存・登録件数	保護件数
メモ帳	最大50件	―

※1　実際に保存・登録できる件数は、データサイズにより少なくなる場合があります。
※2　お買い上げ時に登録されているフォント（プリティー桃）の件数を含みます。
※3　ｉモードメールとSMSの合計件数です。
※4「おすすめBEST5」の件数を含みます。
※5　お買い上げ時に登録されているメールテンプレートの件数を含みます。
※6　送信SMSと受信SMSの合計件数です。送達通知は保存件数に含まれません。
※7　お買い上げ時に登録されているｉアプリの件数を含みます。また、メール連動型ｉアプリは最大5件（ｉアプリの最大保存件数100件に含む）保存できます。
※8　お買い上げ時に登録されている「デコメピクチャ」「デコメ絵文字」「アイテム」フォルダのデータの件数を含みます。
※9　お買い上げ時に登録されているキャラ電の件数を含みます。

携帯電話機の比吸収率などについて

◆携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA F705iの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA F705iのSARの値は1.3W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご覧ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/
富士通のホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/sar/

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

◆Declaration of Conformity

The product "FOMA F705i" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.fmworld.net/product/phone/doc/.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits**for exposure to radio-frequency(RF) energy, which SAR*value, when tested for compliance against the standard was 0.982W/Kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/Kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

日本輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問い合わせください。

索引／クイックマニュアル

索引

索引の使いかた

機能名やキーワードを列挙した索引には、「五十音目次」としての機能もあります。なお、「登録」「削除」などの操作については、まず第一階層（**太字**）の機能名やキーワードで検索したのち、第二階層の索引項目から探してください。

〈例〉キャラ電をダウンロードしたいとき

キャラ電......80, 287
　移動......301
　削除......303
　詳細情報参照／変更......302
　ソート......304
　ダウンロード......175

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

英数字・記号

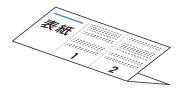
クイックマニュアル

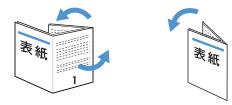
◆クイックマニュアルの使いかた

本書に綴じ込みされている「クイックマニュアル」は、FOMA端末の基本的な画面表示や操作方法について簡潔に説明しています。キリトリ線で切り取り、下記のように折ってご使用ください。また、外出時などには、4枚合わせて携帯してください。
「クイックマニュアル（海外利用編）」は、海外で国際ローミングサービス（WORLD WING）をご利用いただく際に携帯してください。

1 キリトリ線から切り離す（4枚）

切り離しの際にはけがなどにご注意ください。

2 それぞれを横半分に折る

3 表紙が外に向くように左右を折り畳む

キリトリ線

FOMA® F705i

クイックマニュアル

❖総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

❖故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記までお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

電話帳の登録

❖FOMA端末電話帳の登録

1 MENU▶4 2
2 名前を入力▶□
3 各項目を設定▶□

❖FOMAカード電話帳の登録

1 MENU▶4 3
2 名前を入力▶□
3 各項目を設定▶□

❖リダイヤルや着信履歴からの登録

1 □
2 相手にカーソルを合わせてMENU▶4 1
・登録済みの電話帳へ追加：MENU▶4 2
3 1（FOMA端末電話帳）または2（FOMAカード電話帳）
・登録済みの電話帳へ追加する場合は、追加する相手を選択
4 各項目を設定▶□

電話帳の検索

1 MENU▶4 1
・FOMAカード電話帳への切り替え：
MENU▶4 1▶7
2 1〜6
・FOMAカード電話帳の検索は1〜3、FOMA端末電話帳への切り替えは4

電話帳の修正

1 □
2 相手にカーソルを合わせてMENU▶3 1
・FOMAカード電話帳は、修正する相手にカーソルを合わせてMENU▶3
3 修正▶□
・上書き確認画面が表示される

文字の入力

❖文字の入力・変換（かな方式）

〈例〉「企業」と入力する

1 ひらがな／漢字モードで文字を入力
「き」：2を2回
「ぎ」：カーソルが右に移動したら2を2回▶＊
「ょ」：8を3回▶A/a
「う」：1を3回
・入力した文字の変換前にできる操作
MENU：カナ英数に変換
A/a：大文字／小文字の切り替え
□：1つ前の文字に戻す
（例：…→1→お→え→う→い→あ→1→…）
CLR：文字の取り消し
＊：濁点「゛」や半濁点「゜」の付加
（例：…→ほ→ぼ→ぽ→ほ→…）

・文字の挿入：カーソルを挿入位置に移動▶文字を入力
2 □
・変換候補一覧の表示：□／□
・変換前の状態に戻す：CLR
3 ■

❖入力モードの切り替え

文字入力画面で□（複数回）▶■
・□で全角と半角が切り替えられます。

❖文字の削除

カーソルが文中にあるとき

CLR：カーソル位置の文字の削除
・1秒以上押すと、カーソル位置の文字と、その右側にあるすべての文字を削除

カーソルが文末にあるとき

CLR：カーソル位置の左側にある文字の削除
・1秒以上押すと、すべての入力文字を削除

❖絵文字・記号・定型文の入力

絵文字を入力する：
文字入力画面で[絵]▶絵文字を選択
記号を入力する：
文字入力画面で[絵]▶[MENU]▶記号を選択
定型文を入力する：
文字入力画面で[MENU]▶[4][1]（メール本文の入力画面では[5][1]）▶定型文種別を選択▶定型文を選択

文字のコピーと貼り付け

文字をコピーする：
文字入力画面で[MENU]▶[1]（メール本文の入力画面では[2]）▶開始位置を選択▶終了位置を選択
文字を貼り付ける：
文字入力画面で、貼り付ける位置にカーソルを合わせて[MENU]▶[3]（メール本文の入力画面では[4]）

カメラ機能

静止画を撮影する：
[カメラ]▶被写体にカメラを向けて[■]▶[■]
動画を撮影する：
[カメラ]（1秒以上）▶被写体にカメラを向けて[■]▶[絵]▶[■]
画像を表示する：
[MENU]▶[5][1]▶[1]▶画像を選択
動画を再生する：
[MENU]▶[5][3]▶[2]▶動画を選択
・動画再生中にできる操作
・[上下]：音量調整
・[左右]：巻き戻し再生／早送り再生
・[■]：一時停止／再生
・[絵]：停止

テレビ電話

❖テレビ電話のかけかた

1 電話番号を入力▶[A/a]
2 通話する
・通話中保留：[■]
・受話口／スピーカーの切り替え：[通話]
・送信する画像の切り替え：[A/a]
3 通話が終了したら[終話]

❖テレビ電話の受けかた

1 電話がかかってくる▶[A/a]または[通話]
・応答保留：[終話]
・通話中の操作は「テレビ電話のかけかた」の操作2と同様
2 通話が終了したら[終話]

iモードメール

❖送受信できる文字数

項　目	全　角	半　角
題名	15文字	30文字
メールアドレス	―	50文字
本文	5000文字	10000文字

❖iモードメールの作成・送信

1 [メール]（1秒以上）

宛先欄
題名欄
添付ファイル欄
本文欄
本文に入力済みの文字と装飾の合計バイト数

2 [To]を選択▶入力方法を選択▶宛先を入力または選択
3 [Sub]を選択▶題名を入力
4 [Text]を選択▶本文を入力
・デコメールの作成：[メール]▶装飾方法を選択▶文字を入力

キリトリ線

5 [Menu]
・メールの保存：[MENU]▶3
・圏内自動送信：[MENU]▶2

❖ファイルの添付

1 メール作成画面で[添付]を選択
メール作成画面の表示方法→P11
・添付ファイルの解除：[✉]▶「はい」
2 添付するファイルの種類を選択▶添付元を選択▶フォルダを選択▶ファイルを選択

❖送信・保存したｉモードメールの編集・送信

〈例〉未送信メールを編集する
1 [✉]▶4
・送信メールの編集：[✉]▶5
2 フォルダを選択
3 メールを選択
・送信メールの編集：メールを選択▶[Menu]

4 編集▶[Menu]

❖ｉモード問合せ

[✉]▶[✉]

ディスプレイの見かた

❖ディスプレイ上部

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫

① [icon]：電池アイコン
② [icon]：アンテナアイコン
圏外：圏外表示
Self：セルフモード中
[icon]：データ転送モード中

③ [icon]／[icon]：ｉモード中（ｉモード接続中）／（パケット通信中）
④ [icon]：赤外線通信中など
¥：積算通話料金が上限を超過
⑤ [icon]：スピーカーホン機能利用中
⑥ [icon]：電話帳データ、スケジュールデータがシークレット属性
⑦ [icon]：未読メール、メッセージR/F状態表示
⑧ [icon]：ｉモードセンター蓄積状態表示
⑨ [icon]：SSLページ表示中など
[icon]：圏内自動送信失敗メールあり
[icon]：圏内自動送信メールあり
⑩ [icon]／[icon]：ｉアプリ／ｉアプリDX動作中
[icon]：ｉアプリ待受画面表示中など
[icon]：ｉアプリDX待受画面表示中など
⑪ [icon]：ｉアプリ自動起動失敗

⑫ [icon]：ワンタッチアラーム設定中

❖ディスプレイ下部

①②③④⑤
⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰

① [icon]：不在着信
② [icon]：伝言メモ
③ [icon]：留守番電話サービスの伝言メッセージ
④ [icon]：未読メール
⑤ [icon]：未読トルカ
⑥ [icon]：マナーモード中
[icon]：オリジナルマナーモード中
⑦ S：電話着信音量消音設定中
V：音声電話着信のバイブレータ設定中

SV：電話着信音量消音と音声電話着信のバイブレータ同時設定中
⑧ [icon]：公共モード（ドライブモード）中
⑨ [icon]／[icon]：伝言メモ設定中／満杯
⑩ [icon]：ダイヤル発信制限中
[icon]：HOLD中
⑪ [icon]：パーソナルデータロック中
⑫ [icon]：FOMAカード読み込み中
[icon]：ICカードロック中など
⑬ [icon]：有効マルチカーソルキー
[icon]：開閉ロック中
⑭ [icon]：目覚まし設定中
[icon]：スケジュールアラーム設定中
[icon]：目覚ましとスケジュールアラームを同時に設定中
⑮ SD：USBモード設定とmicroSDメモリーカードの状態表示

⑯ [icon]：USBケーブルで外部機器と接続中
⑰ [icon]：ソフトウェア更新お知らせアイコン
[icon]／[icon]：最新パターンデータの自動更新失敗／成功

キリトリ線

メニュー一覧

〈例〉メモ帳を起動する
MENU ▶ 7 ▶ 2

1 メール

1 受信メール
2 新規メール
3 チャットメール
4 未送信メール
5 送信メール
6 問合せ・WEBメール
7 SMS
8 テンプレート読込み

9 メール設定	メール着信設定 チャットメール着信設定 メール振り分け設定 署名設定 メール返信設定 メールグループ 受信・表示設定

2 i モード

1 i Menu
2 Bookmark
3 Internet
4 画面メモ
5 ラストURL
6 i モード問合せ
7 メッセージR/F
8 i チャネル

9 i モード設定	ツータッチサイト表示 接続待ち時間設定 照明設定 証明書設定 表示・効果設定 i モーション設定 接続先設定

3 i アプリ

1 ソフト一覧
2 i アプリ設定
3 履歴表示

キリトリ線

4 電話帳／履歴

1 電話帳検索
2 電話帳登録
3 FOMAカード（UIM）登録
4 着信履歴
5 リダイヤル
6 伝言メモ／音声メモ
7 メール送受信履歴
8 プロフィール情報

5 データBOX

1 マイピクチャ
2 ミュージック
3 i モーション
4 メロディ
5 キャラ電
6 きせかえツール

6 LifeKit

1 バーコードリーダー	
2 赤外線・iC・PC連携	
3 トルカ	
4 ICカード	ICカード一覧 ICカードロック ICカードロック時動作設定 ICカードオートロック設定 ICカードロック解除予約 電源OFF時ICロック設定
5 microSD	
6 カメラ	
7 サウンドレコーダー	
8 電話帳お預かりサービス	

キリトリ線

7 ステーショナリー／便利

1 スケジュール帳
2 メモ帳
3 目覚まし
4 電卓
5 辞典
6 お知らせタイマー
7 リラックスモードプラス
8 ワンタッチアラーム設定
9 イミテーションコール

8 設定／NWサービス

1 音／バイブ	
2 ディスプレイ	
3 コーディネイト／きせかえ	
4 セキュリティ／ロック	ロック プライバシーモード セキュリティランプ設定 着信／受信時動作設定 FOMAカード（UIM） 暗証番号変更 スキャン機能 パスワードマネージャー
5 発着信・通話機能	電話発着信設定 発番号なし動作設定 エニーキーアンサー設定 イヤホン機能設定 メモリ着信拒否／許可 発着信詳細設定 通話詳細設定 セルフモード設定
6 テレビ電話／トルカ	
7 時計／入力／他	時計 文字入力設定 文字サイズ設定 ソフトウェア更新 クイック起動設定 情報表示／リセット サイドキー長押し設定
8 NWサービス	留守番電話 キャッチホン／転送でんわ 着もじ 番号通知 ローミングガイダンス設定 2in1設定 その他のNWサービス
9 国際ローミング／ダイヤルアシスト	

9 ミュージックプレーヤー

0 プロフィール情報

ミュージックプレーヤー

[MENU][9]：ミュージックプレーヤー起動
[終話]：ミュージックプレーヤー終了
[センターキー]、[サイドキー]：再生／一時停止
[上下キー]：音量調整
[左キー]（1秒以上）／[右キー]（1秒以上）：巻き戻し／早送り
[左キー]：曲の先頭に移動※1
[右キー]：次の曲に移動
[メールキー]：再生を停止せずに音楽データ一覧画面を表示※2
[CLR]：再生を停止して音楽データ一覧画面を表示
※1 曲の始まりから3秒以内に操作すると前の曲に移動します。
※2 もう一度[メールキー]を押すとプレーヤー画面に戻ります。

その他の主な操作

機　能	操作方法
HOLDの起動／解除	[MENU]（1秒以上）
ｉチャネル一覧の表示	[CLR]
セルフモードの起動／解除	[CLR]（1秒以上）
公共モードの起動／解除	[＊]（1秒以上）
ｉモードメニューの表示	[iモードキー]
ｉアプリフォルダ一覧の表示	[iモードキー]（1秒以上）
着信履歴の表示	[左キー]
プライバシーモードの起動／解除	[左キー]（1秒以上）※
リダイヤルの表示	[右キー]
ICカードロックの起動／解除	[右キー]（1秒以上）※
スケジュール帳の表示	[スケジュールキー]（1秒以上）
電源ON／OFF	[終話]（2秒以上）
マナーモードの起動／解除	[＃]（1秒以上）
新規起動メニュー	[MULTI]

機　能	操作方法
伝言メモ／音声メモメニューの表示	FOMA端末を開いて□（1秒以上）

※ 解除時は認証操作が必要です。

利用できるサービス

FOMA端末から利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス（有料：案内料＋通話料）（電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール（有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

ネットワークサービス

❖留守番電話サービス

申し込み：必要　月額使用料：有料

サービスを開始する：

MENU▶8 8 1 1 1▶「はい」▶「はい」▶呼出時間を入力▶■

サービスを停止する：

MENU▶8 8 1 1 3▶「はい」

伝言メッセージを再生する：

MENU▶8 8 1 1 5▶「はい」▶音声ガイダンスに従って操作する

❖キャッチホン

申し込み：必要　月額使用料：有料

サービスを開始／停止する：

MENU▶8 8 2 1▶1［開始］または2［停止］▶「はい」

通話中にかかってきた電話を受ける：

通話中に[通話キー]

・ 通話相手の切り替え：[A/a]

通話中に電話をかける：

通話中にMENU▶8▶電話番号を入力▶[通話キー]

・ 通話相手の切り替え：[A/a]

通話を終了する：

一方の相手との通話が終了したら[終話キー]

・ 保留中相手との通話再開：[通話キー]

❖転送でんわサービス

申し込み：必要　月額使用料：無料

サービスを開始する：

1　MENU▶8 8 2 2 1▶「はい」▶「はい」

2　転送先電話番号を入力▶■

　・ 電話帳から転送先を入力：MENU

3　[回]▶「はい」▶呼出時間を入力▶■

サービスを停止する：

1　MENU▶8 8 2 2 2▶「はい」

❖番号通知お願いサービス

申し込み：不要　月額使用料：無料

サービスの開始／停止：

1　MENU▶8 8 4 2▶1［開始］または2［停止］▶「はい」

紛失時などの緊急連絡先

❖おまかせロック

※おまかせロックは有料サービスです。ご利用の一時中断と同時、もしくは一時中断中に申し込まれた場合、無料になります。

おまかせロックの設定／解除

0120-524-360

（24時間受付）

❖その他緊急連絡先

連絡先：

連絡先：

連絡先：

・ ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

キリトリ線

FOMA® F705i

クイックマニュアル（海外利用編）

❖海外での紛失、盗難、精算などについて

〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

（24時間受付）

● ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1）-81-3-5366-3114＊(無料)

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F705iからご利用の場合は、+81-3-5366-3114でつながります（「+」は[0]を1秒以上押します）。

● 一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）-800-0120-0151＊

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

キリトリ線

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）の最新情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

❖海外での故障に関して

〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉

（24時間受付）

● ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号（表1）-81-3-6718-1414＊(無料)

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F705iからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります（「+」は[0]を1秒以上押します）。

● 一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）-800-5931-8600＊

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号（表1）／ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）の最新情報については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外で利用するための準備

❖ｉモードの設定

日本での設定：ｉMenu▶「料金＆お申込・設定」▶「オプション設定」▶「海外利用設定」▶「ｉモード利用設定」

海外での設定：ｉMenu▶「海外利用設定」▶「ｉモード利用設定」

❖遠隔操作設定の開始

日本での設定：[MENU]▶[8][8][7][2]▶[1]▶「はい」

海外での設定：[MENU]▶[8][9][1][6]▶「はい」▶音声ガイダンスの指示に従って操作

❖デュアル時計設定

[MENU]▶[8][9][3]▶[1]［ON］または[2]［OFF］

海外で利用できるサービス

- 音声電話
- テレビ電話
- ｉモードメール
- ｉモード
- SMS
- ｉチャネル

❖ネットワークサーチ設定

[MENU]▶[8][9][1][1]▶[1]〜[3]

❖優先ネットワーク設定

[MENU]▶[8][9][1][3]▶通信事業者にカーソルを合わせて[MENU]▶[2]▶優先順位を選択▶[田]

❖オペレータ名表示設定

ディスプレイ上部にオペレータ名を表示します。

02/01 FRI
AM07:05

[MENU]▶[8][9][1][2]▶[1]［表示あり］または[2]［表示なし］

❖帰国後の設定

帰国後に電源を入れると、自動的にFOMAネットワークに接続されます。FOMAネットワークに接続できない場合は、ネットワークサーチ設定を「オート」に設定し直します。

音声電話／テレビ電話のかけかた

❖滞在国外（日本を含む）への電話のかけかた

[0]（1秒以上）▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶[通話]または[テレビ電話]▶「はい」

- 海外にいるWORLD WING利用者へ電話をかけるときは、同じ国に滞在している場合でも、「+」と日本の国番号「81」を入力してください。

❖滞在国内への電話のかけかた

電話番号を入力▶[通話]または[テレビ電話]

音声電話／テレビ電話の受けかた

電話がかかってくる▶[通話]または[テレビ電話]

ローミングガイダンス設定

・日本国内で設定してください。
MENU▶8 8 5▶1［開始］または2［停止］▶「はい」

国際ローミング中の着信を規制する

・海外の通信事業者によっては、設定できない場合があります。

1 MENU▶8 9 1 9
2 1▶1または2
　・ローミング時着信規制の停止：2
3 「はい」▶ネットワーク暗証番号を入力

ネットワークサービス

海外から利用する場合はあらかじめ遠隔操作設定が必要です。

❖留守番電話サービス

MENU▶8 9 1 4▶1［開始］または2［停止］▶「はい」▶音声ガイダンスの指示に従って操作

❖転送でんわサービス

MENU▶8 9 1 5▶1［開始］または2［停止］▶「はい」▶音声ガイダンスの指示に従って操作

❖ローミングガイダンス設定

MENU▶8 9 1 8▶「はい」▶音声ガイダンスの指示に従って操作

主要国の国番号

国際電話を利用するときや国際ダイヤルアシスト設定などで利用する国番号は、次の番号を使用してください。

（2007年12月現在）

ご利用地域	国番号	ご利用地域	国番号
アメリカ合衆国	1	ドイツ	49
イギリス	44	トルコ	90
イタリア	39	日本	81
インド	91	ニューカレドニア	687
インドネシア	62	ニュージーランド	64
エジプト	20	ノルウェー	47
オーストラリア	61	ハンガリー	36
オーストリア	43	フィジー	679
オランダ	31	フィリピン	63
カナダ	1	フィンランド	358
韓国	82	フランス	33
ギリシャ	30	ブラジル	55
シンガポール	65	ベトナム	84
スイス	41	ペルー	51
スウェーデン	46	ベルギー	32
スペイン	34	香港	852

ご利用地域	国番号	ご利用地域	国番号
タイ	66	マカオ	853
台湾	886	マレーシア	60
タヒチ（仏領ポリネシア）	689	モルディブ	960
チェコ	420	ロシア	7
中国	86		

・この他の国番号および詳細については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

主要国の国際電話アクセス番号（表1）

（2007年8月現在）

ご利用地域	アクセス番号	ご利用地域	アクセス番号
アイルランド	00	デンマーク	00
アメリカ合衆国	011	ドイツ	00
アラブ首長国連邦	00	トルコ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イタリア	00	ノルウェー	00
インド	00	ハンガリー	00
インドネシア	001	フィリピン	00
オーストラリア	0011	フィンランド	00
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0041／0014
韓国	001	ベトナム	00

ご利用地域	アクセス番号	ご利用地域	アクセス番号
ギリシャ	00	ベルギー	00
シンガポール	001	ポーランド	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マカオ	00
タイ	001	マレーシア	00
台湾	002	モナコ	00
チェコ	00	ルクセンブルク	00
中国	00	ロシア	810

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表2）

（2007年8月現在）

ご利用地域	国際識別番号	ご利用地域	国際識別番号
アイルランド	00	中国	00
アメリカ合衆国	011	デンマーク	00
アルゼンチン	00	ドイツ	00
イギリス	00	ニュージーランド	00
イスラエル	014	ノルウェー	00
イタリア	00	ハンガリー	00
オーストラリア	0011	フィリピン	00
オーストリア	00	フィンランド	990

ご利用地域	国際識別番号	ご利用地域	国際識別番号
オランダ	00	フランス	00
カナダ	011	ブラジル	0021
韓国	001	ブルガリア	00
コロンビア	009	ペルー	00
シンガポール	001	ベルギー	00
スイス	00	ポルトガル	00
スウェーデン	00	香港	001
スペイン	00	マレーシア	00
タイ	001	南アフリカ共和国	09
台湾	00	ルクセンブルク	00

お問い合わせについて

海外での紛失や、盗難、精算、故障については、クイックマニュアル（海外利用編）表紙の「海外での紛失、盗難、精算などについて」、またはP1の「海外での故障に関して」までお問い合わせください。
・各お問い合わせ番号の先頭には、滞在先に割り当てられている「国際電話アクセス番号（表1）」「ユニバーサル用国際電話識別番号（表2）」が必要になります。

キリトリ線

「ドコモｅサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

ｉモードから	ｉMenu ⇒ 料金＆お申込・設定 ⇒ 各種手続き（ドコモｅサイト） パケット通信料無料
パソコンから	My DoCoMo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種手続き（ドコモeサイト）

※ｉモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ｉモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

※ やむを得ず電話を受ける場合には、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末をご使用になる場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● 公共モード（ドライブモード／電源OFF）

電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような所にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話が切断されます。→P76

● 伝言メモ

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音／録画します。→P78

● 着信バイブレータ

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。→P103

● マナーモード／オリジナルマナーモード

キー確認音や着信音などFOMA端末から鳴る音をすべて消します（マナーモード）。→P105

マナーモードの動作を変更することもできます（オリジナルマナーモード）。→P106

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

(局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

海外での紛失、盗難、精算などについて〈DoCoMo インフォメーションセンター〉(24時間受付)

●ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号(表1) **-81-3-5366-3114*** (無料)

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F705iからご利用の場合は、+81-3-5366-3114でつながります(「+」は「0」キーを1秒以上押します)。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2) **-800-0120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号(表1)/ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)は、取扱説明書P390、391をご覧ください。

海外での故障に関して〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉(24時間受付)

●ドコモの携帯電話の場合

滞在国の国際電話アクセス番号(表1) **-81-3-6718-1414*** (無料)

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※F705iからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります(「+」は「0」キーを1秒以上押します)。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2) **-800-5931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号(表1)/ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号(表2)は、取扱説明書P390、391をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ　株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸
株式会社NTTドコモ関西　株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元 富士通株式会社

Li-ion 00

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

古紙パルプ配合率20%再生紙を使用

適切に管理された森林の植林木80%利用しています

大豆油インキを使用しています。

'08.5 (2.2 版)
CA92002-5272

FOMA® F705i パソコン接続マニュアル

■ パソコン接続マニュアルについて
本マニュアルでは、FOMA F705iでデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「FOMA通信設定ファイル」「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法などを説明しています。
お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

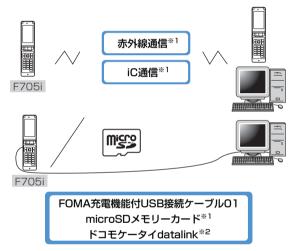
'07. 12（1.1版）
CA92002-5277

データ通信について

FOMA端末とパソコンを接続して利用できる通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信とデータ転送（OBEX）に分類されます。

- パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータを編集したりするには、付属のCD-ROMからソフトのインストールや各種設定を行う必要があります。
- OSをアップグレードして使用されている場合の動作は保証いたしかねます。
- 海外ではパケット通信や64Kデータ通信の利用はできません。
- IP接続には対応しておりません。
- FOMA端末は、FAX通信やRemote Wakeupには対応しておりません。
- ドコモのPDA、museaやsigmarion Ⅱ、sigmarion Ⅲと接続してデータ通信が行えます。ただし、museaやsigmarion Ⅱをご利用の場合は、これらのアップデートが必要です。アップデートの方法などの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

データ転送（OBEX）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

※1 詳しくは、『F705i取扱説明書』の「データ表示／編集／管理」章をご覧ください。
※2 詳しくは、『F705i取扱説明書』の「パソコン接続」章をご覧ください。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384kbps、送信最大64kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。
画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMA64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64Kのアクセスポイントを利用して、データを送受信できます。
長時間通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

ご利用になる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、次のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	USBポート（USB仕様1.1／2.0に準拠）を持つPC/AT互換機
OS（各日本語版）	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista
必要メモリ※	Windows 2000 ：64MB以上　 Windows XP ：128MB以上 Windows Vista：512MB以上
ハードディスク容量※	5MB以上の空き容量

※ FOMA PC設定ソフトの動作環境です。パソコンのシステム構成により異なる場合があります。

- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer6.0以降（Windows Vistaの場合は、Microsoft Internet Explorer7.0以降）です。CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。

  ①［スタート］→「ファイル名を指定して実行」を順にクリック
  Windows Vistaのとき：（スタート）→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」を順にクリック

  ②「名前」に次のように入力して［OK］をクリック
  ＜CD-ROMドライブ名＞：index.html
  ※ CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。

CD-ROMをパソコンにセットすると、次のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。［はい］をクリックしてください。
※ 画面はWindows XPを使用した場合の例です。お使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

必要な機器について

FOMA端末とパソコン以外に、次の機器が必要です。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- 付属のCD-ROM「FOMA® F705i用CD-ROM」

※ パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため利用できません。
※ USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※ 本マニュアルでは、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01での場合を例に説明しています。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンでインターネットを利用する場合、通常ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）の利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細は、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

● ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaがご利用いただけます。
mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもご利用いただけます。FOMA端末でのインターネット接続には、ブロードバンド接続オプションなどに対応したmopera Uのご利用をおすすめします。
moperaはお申し込みが不要で、月額使用料は無料です。今すぐインターネットに接続したい方に便利なサービスです。

接続先（プロバイダなど）について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

● PIAFSなどのPHS64K／32Kデータ通信やDoPaのアクセスポイントには接続できません。

ユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力してください。IDとパスワードはプロバイダまたは社内LANなど接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細はプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定してください。詳細は付属のCD-ROM内の『簡易操作マニュアル』をご覧ください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です。

- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

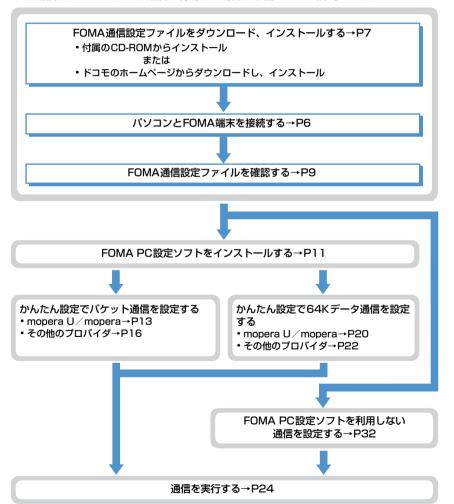
※ 上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪かったりするときは通信できない場合があります。

データ転送（OBEX）の準備の流れ

FOMA充電機能付USB接続ケーブル01（別売）をご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイルをインストールしてください。

FOMA通信設定ファイルをダウンロード、インストールする
- 付属のCD-ROMからインストール
  または
- ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

データ通信の準備の流れ

パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

FOMA通信設定ファイルについて

パソコンと接続してパケット通信または64Kデータ通信を行うには、FOMA通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC設定ソフトについて

付属のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールすると、パケット通信または64Kデータ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単に操作できます。

インストール／アンインストール前の注意点

- 操作を始める前に他のプログラムが稼動中でないことを確認し、稼動中のプログラムがある場合は終了してください。
- FOMA通信設定ファイルやFOMAバイトカウンタ、FOMA PC設定ソフトのインストール／アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーで行うとエラーになる場合があります。Windows Vistaの場合、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、「許可」または［続行］をクリックするか、パスワードを入力して［OK］をクリックしてください。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカやマイクロソフト社にお問い合わせください。
- パソコンの操作方法、管理者権限の設定などについては、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

■ データ通信の用語集

- **APN（Access Point Name）**
  パケット通信で接続するプロバイダなどを識別する文字列。たとえば、mopera Uは「mopera.net」がAPNとなります。
- **cid（Context Identifier）**
  FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号。FOMA端末では1から10までの10件が使えます。
- **DNS（Domain Name System）**
  ドメインネーム（例：nttdocomo.co.jp）を、コンピュータで使うIPアドレスに変換するシステムのことです。
- **OBEX（Object Exchange）**
  データ通信の国際規格の1つ。OBEXに対応している携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データの送受信ができます。
- **QoS（Quality of Service）**
  サービスの品質。通信時にユーザーの意図どおりに回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。
- **通信設定最適化**
  FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータ。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。
- **管理者権限**
  OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザーは、ドライバやソフトなどのインストール／アンインストールができません。

パソコンとFOMA端末を接続する

● パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。
● 初めてパソコンに接続する場合は、あらかじめFOMA通信設定ファイルをインストールしてください。→P7

USBケーブルで接続する

● FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01は別売りです。

1 USBケーブルのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む

2 USBケーブルのパソコン側をパソコンのUSBポートに差し込む

• FOMA通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続した場合は、USBケーブルが差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求され、ウィザード画面が表示されます。その場合は、FOMA端末を取り外します。Windows 2000、Windows XPではウィザード画面で［キャンセル］をクリックして終了してください。

• パソコンとFOMA端末が接続されると、FOMA端末の待受画面に が表示されます。

取り外しかた

1 USBケーブルのコネクタのリリースボタンを押し（①）、FOMA端末から引き抜く（②）

2 パソコンからUSBケーブルを引き抜く

お知らせ

• FOMA端末からUSBケーブルを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかからないように注意してください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
• データ通信中にUSBケーブルを外さないでください。データ通信が切断され、誤動作やデータ消失の原因となります。

FOMA通信設定ファイルをインストールする

FOMA端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、FOMA通信設定ファイルが必要です。使用するパソコンにFOMA端末を初めて接続する前に、インストールしておきます。

FOMA通信設定ファイルをインストールする

- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P5
- 操作4までFOMA端末を接続しないでください。

〈例〉Windows XPにインストールするとき

1 CD-ROMをパソコンにセット

2 ［データリンクソフト・各種設定ソフト］→「FOMA通信設定ファイル(USBドライバ)」の［インストール］を順にクリックし、表示されるウィンドウから「F705ist.exe」アイコンをダブルクリック

3 ［インストール開始］をクリック

4 FOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されたら、FOMA端末をパソコンに接続

- FOMA端末は電源の入った状態で接続してください。

5 インストール完了画面で［OK］をクリック

- 続いてFOMAバイトカウンタをインストールします。FOMAバイトカウンタとは、携帯電話とパソコンを接続してデータ通信を行った際の、データ通信料金の概算を把握するソフトウェアです。FOMAバイトカウンタが稼働しているときは、終了させてください。

6 「FOMAバイトカウンタセットアップへようこそ」画面で［次へ］をクリック

7 「注意事項」をお読みの上、［次へ］をクリック

8 「使用許諾契約」画面で内容を確認の上、契約内容に同意する場合は「使用許諾契約の全条項に同意します」を選択し、［次へ］をクリック

9 「インストール先の選択」画面でインストール先を確認して［次へ］をクリック

- 変更する場合は［変更］をクリックし、任意のインストール先を指定して［OK］をクリックします。

10 ［インストール］をクリック

11 ［完了］をクリック

12 ［OK］をクリックし、ご利用に合わせてオプション設定を行う

- オプション設定の方法や、FOMAバイトカウンタの使いかたについては、『FOMAバイトカウンタ操作マニュアル』を参照してください。

お知らせ

- インストールには数分かかる場合があります。
- Windowsを再起動する旨のメッセージが表示された場合は、画面の指示に従い再起動してください。
- データ通信中にインストールを行わないでください。

FOMA通信設定ファイルを確認する

● FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。

〈例〉Windows XPで確認するとき

1 ［スタート］→「コントロールパネル」→［パフォーマンスとメンテナンス］アイコン→［システム］アイコンを順にクリック

■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→［システム］アイコンをダブルクリック

■ Windows Vistaのとき

（スタート）→「コントロールパネル」→「システムとメンテナンス」→「デバイスマネージャ」を順にクリック

操作3に進みます。

2 ［ハードウェア］タブをクリック→［デバイス マネージャ］をクリック

3 各デバイスの種類をダブルクリック→次のデバイス名が登録されていることを確認

- デバイスの種類とデバイス名は次のとおりです。表示される順番はOSにより異なります。
  - USB（Universal Serial Bus）またはユニバーサルシリアルバスコントローラ：FOMA F705i
  - ポート（COMとLPT）：
    FOMA F705i Command Port（COMx）※
    FOMA F705i OBEX Port（COMx）※
  - モデム：FOMA F705i

  ※x はパソコンの環境により、異なった数字が表示されます。

通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P5
- 操作の前に、パソコンからFOMA端末を取り外してください。

〈例〉Windows XP でアンインストールするとき

1 ［スタート］→「コントロールパネル」→［プログラムの追加と削除］アイコンを順にクリック

■ Windows 2000のとき
［スタート］をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリック

■ Windows Vistaのとき
（スタート）→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を順にクリック

2 「プログラムの追加と削除」画面で「FOMA F705i USB」を選択して［変更と削除］をクリック

■ Windows 2000のとき
「アプリケーションの追加と削除」画面で「FOMA F705i USB」を選択して［変更と削除］をクリック

■ Windows Vistaのとき
「プログラムのアンインストールまたは変更」画面で「FOMA F705i USB」を選択して「アンインストールと変更」をクリック

3 「FOMA F705i Uninstaller」と表示されていることを確認して［はい］をクリック

ドライバのアンインストールを開始します。

4 ドライバのアンインストール中画面の表示後に［OK］をクリック

お知らせ

- 削除画面で「FOMA F705i USB」が表示されていないときは、再度「FOMA通信設定ファイルをインストールする」の操作を行った後に、アンインストールを行ってください。→P7

FOMA PC設定ソフトを利用して通信する

FOMA PC設定ソフトを利用すると、簡単な操作で通信の設定が行えます。

FOMA PC設定ソフトについて

かんたん設定

ガイドに従い操作することで、FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成を行い、同時に通信設定最適化などを行います。

通信設定最適化

パケット通信を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。通信性能を最大限に活用するには、通信設定最適化が必要になります。

接続先（APN）の設定

パケット通信を行う際に必要な接続先（APN）の設定を行います。接続先には通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPNと呼ばれる接続先名を設定し、その登録番号（cid）を接続先電話番号の入力欄に指定して接続します。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや社内LANに接続する場合はAPN設定が必要です。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

- 旧W-TCP環境設定ソフト、旧FOMAデータ通信設定ソフト、バージョンが4.0.0より前のFOMA PC設定ソフトをインストールされている場合は、あらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。
  FOMA PC設定ソフトのバージョンを確認するには、FOMA PC設定ソフトの起動画面で「メニュー」をクリック→「バージョン情報」をクリックします。
  FOMA PC設定ソフトの起動画面の表示方法→P13「かんたん設定でパケット通信を設定する」の「mopera U／moperaを利用する場合」操作1
- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P5

〈例〉Windows XPにインストールするとき

1 CD-ROMをパソコンにセット

2 ［データリンクソフト・各種設定ソフト］→「FOMA PC設定ソフト」の［インストール］を順にクリック

- ［インストール］をクリックすると、次のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。［実行］または［実行する］をクリックしてください。
  ※ 画面はお使いのパソコンの環境により異なる場合があります。

3 「FOMA PC設定ソフト セットアップへようこそ」画面で［次へ］をクリック

4 「使用許諾契約」画面で内容を確認の上、契約内容に同意する場合は［はい］をクリック

- ［いいえ］をクリックし、「はい」をクリックすると、インストールを中止します。

■ Windows Vistaのとき

操作6に進みます。

5 「セットアップタイプ」画面で「タスクトレイに常駐する」を選択して［次へ］をクリック

セットアップ後、タスクトレイに「通信設定最適化」が常駐します。→P26

- インストール後に常駐の設定は変更できます。

6 「インストール先の選択」画面でインストール先を確認して［次へ］をクリック

- 変更する場合は［参照］をクリックし、任意のインストール先を指定して［OK］をクリックします。

7 「プログラム フォルダ」のフォルダ名を確認して［次へ］をクリック

- 変更する場合はフォルダ名を入力し、［次へ］をクリックします。

8 ［完了］をクリック

FOMA PC設定ソフトが起動します。このまま各種設定に進みます。

お知らせ

- 旧W-TCP環境設定ソフト、旧FOMAデータ通信設定ソフト、FOMA PC設定ソフトがインストールされている場合は、インストールを中断する旨のメッセージが表示されます。［OK］をクリックし、プログラムの追加と削除またはアプリケーションの追加と削除から、これらのソフトをアンインストールしてください。
- インストールの途中で［キャンセル］や［いいえ］をクリックした場合は、インストールを中断する確認画面が表示されます。インストールを継続する場合は［いいえ］をクリックしてください。中断する場合は［はい］をクリックし、［完了］をクリックしてください。

かんたん設定でパケット通信を設定する

FOMA PC設定ソフトのかんたん設定では、表示される内容に従って選択や入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。

- 操作の前に、必ずパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。→P6
- Windows Vistaをお使いの場合は、一部画面が異なります。

mopera U／moperaを利用する場合

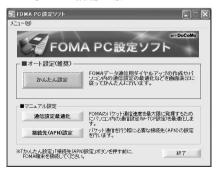
〈例〉Windows XPで設定するとき

1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows Vistaのとき

（スタート）→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」→［かんたん設定］を順にクリック

2 「パケット通信」を選択して［次へ］をクリック

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択して［次へ］をクリック

- 「『mopera U』への接続」を選択して［次へ］をクリックすると、ご契約の確認メッセージが表示されます。ご契約がお済みの場合、［はい］をクリックします。

4 「FOMA端末設定取得」画面で［OK］をクリック

5 「接続名」に任意の接続名を入力→「設定しない（推奨）」または「186を付加する（通知する）」を選択→「PPP接続」を選択→［次へ］をクリック

- 「接続名」の先頭に .（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?!<>｜”
- mopera UはPPP接続、IP接続ともに対応しております。moperaはPPP接続のみに対応しております。

本FOMA端末は、IP接続には対応しておりません。

6 「使用可能ユーザーの選択」を設定して［次へ］をクリック

■ Windows Vistaのとき

［次へ］をクリック

操作8に進みます。

- 「ユーザID」「パスワード」は空欄でもかまいません。

7 「最適化を行う」が選択されていることを確認して［次へ］をクリック

- 既に最適化されている場合、この画面は表示されません。

8 「設定情報」を確認して［完了］をクリック

9 ［OK］をクリック

設定した内容によっては、パソコンを再起動する必要があります。再起動する旨のメッセージが表示された場合は［はい］をクリックしてください。

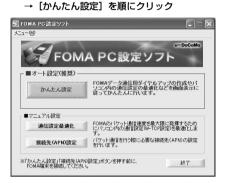
通信を実行する→P24

その他のプロバイダを利用する場合

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows 2000のとき
［スタート］をクリック→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows Vistaのとき
（スタート）→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」→［かんたん設定］を順にクリック

2 「パケット通信」を選択して［次へ］をクリック

3 「その他」を選択して［次へ］をクリック

4 「FOMA端末設定取得」画面で［OK］をクリック

5 「接続名」に任意の接続名を入力→［接続先（APN）設定］をクリック

- 発信者番号通知の設定については、プロバイダなどから提供された各種情報に従ってください。
- 「186を付加する（通知する）」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。
- 「接続名」の先頭に .（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?!<> | ”
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、［詳細情報の設定］をクリックし、各種情報を登録してください。

6 ［追加］をクリック

番号（cid）1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が設定されています。番号（cid）2または4～10に接続先（APN）を設定してください。

7 「接続先（APN)」にプロバイダなどのFOMAパケット網に対応した接続先（APN）を正しく入力→「PPP接続」を選択→［OK］をクリック

- 「接続先（APN)」には半角文字で、英数字、ハイフン（ - ）、ピリオド（ . ）のみ使用できます。

本FOMA端末は、IP接続には対応しておりません。

8 ［OK］をクリック

9 「接続先（APN）の選択」の接続先名を確認して［次へ］をクリック

「接続先（APN）の選択」には、操作7で設定した「接続先（APN)」と「接続方式」が表示されます。

10 「使用可能ユーザーの選択」を設定→「ユーザID」を入力→「パスワード」を入力→［次へ］をクリック

■ Windows Vistaのとき

「ユーザID」を入力→「パスワード」を入力→［次へ］をクリック

操作12に進みます。

- 「ユーザID」「パスワード」には、プロバイダなどから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正しく入力してください。

11 「最適化を行う」が選択されていることを確認して［次へ］をクリック

- 既に最適化されている場合、この画面は表示されません。

12 「設定情報」を確認して［完了］をクリック

13 ［OK］をクリック

設定した内容によっては、パソコンを再起動する必要があります。再起動する旨のメッセージが表示された場合は［はい］をクリックしてください。

通信を実行する→P24

かんたん設定で64Kデータ通信を設定する

mopera U／moperaを利用する場合

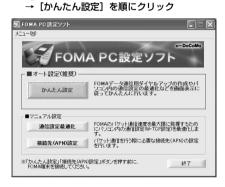
〈例〉Windows XPで設定するとき

1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows Vistaのとき

（スタート）→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」→［かんたん設定］を順にクリック

2 「64Kデータ通信」を選択して［次へ］をクリック

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択して［次へ］をクリック

- 「『mopera U』への接続」を選択して［次へ］をクリックすると、ご契約の確認メッセージが表示されます。ご契約がお済みの場合、［はい］をクリックします。

4 「接続名」に任意の接続名を入力→「モデムの選択」が「FOMA F705i」に設定されていることを確認→「設定しない」または「186を付加する（通知する）」を選択→［次へ］をクリック

- 「接続名」の先頭に．（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?!<> | ”

5 「使用可能ユーザーの選択」を設定して［次へ］をクリック

■ Windows Vistaのとき

［次へ］をクリック

- 「ユーザID」「パスワード」は空欄でもかまいません。

6 「設定情報」を確認して［完了］をクリック

7 ［OK］をクリック

通信を実行する→P24

その他のプロバイダを利用する場合

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows Vistaのとき

（スタート）→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」→［かんたん設定］を順にクリック

2 「64Kデータ通信」を選択して［次へ］をクリック

3 「その他」を選択して［次へ］をクリック

4 「接続名」に任意の接続名を入力→「モデムの選択」が「FOMA F705i」に設定されていることを確認→「電話番号」に接続先の電話番号を半角で入力→［次へ］をクリック

- 「接続名」の先頭に .（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?!<> | ”
- 「電話番号」はプロバイダなどから提供された情報を基に正しく入力してください。次の文字（半角文字）と半角空白が使用できます。
  0123456789ABCDPTWabcdptw!@$-.( )+＊#,&
- 発信者番号通知の設定については、プロバイダなどから提供された各種情報に従ってください。
- 「186を付加する（通知する）」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、［詳細情報の設定］をクリックし、各種情報を登録してください。

5 「使用可能ユーザーの選択」を設定→「ユーザID」を入力→「パスワード」を入力→［次へ］をクリック

■ Windows Vistaのとき

「ユーザID」を入力→「パスワード」を入力→［次へ］をクリック

- 「ユーザID」「パスワード」には、プロバイダなどから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正しく入力してください。

6 「設定情報」を確認して［完了］をクリック

7 ［OK］をクリック

通信を実行する→P24

通信を実行する

通信の実行や切断について説明します。

〈例〉Windows XPで実行するとき

1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P6

2 デスクトップの接続アイコンをダブルクリック

Windows XP

Windows 2000

Windows Vista

- 接続アイコンが表示されていない場合は、次のスタートメニューからの接続方法を利用してください。

■ Windows XPのスタートメニューから接続するとき

［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック→接続アイコンをダブルクリック

■ Windows 2000のスタートメニューから接続するとき

［スタート］をクリック→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック→接続アイコンをダブルクリック

■ Windows Vistaのスタートメニューから接続するとき

（スタート）→「接続先」を順にクリック→接続先を選択して［接続］をクリック

3 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→［ダイヤル］をクリック

- mopera Uまたはmoperaを利用する場合､「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 設定中に「ユーザー名」の入力や「パスワード」の保存をした場合、入力は不要です。
- 接続完了画面が表示された場合は［OK］をクリックしてください。

お知らせ

- FOMA端末には、パケット通信を実行すると発信中画面が、64Kデータ通信を実行すると呼出中画面が表示され、接続すると次の画面が表示されます。

パケット通信のとき

64Kデータ通信のとき

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- 通信を実行する場合、アイコン作成時のFOMA端末を接続した場合のみ有効です。

通信を切断する

パソコンのブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

〈例〉Windows XPで通信を切断するとき

1 タスクトレイの をクリック→［切断］をクリック

■ Windows Vistaのとき

タスクトレイの を右クリック→「切断」を選択して切断する接続先をクリック

パケット通信の設定を最適化する<通信設定最適化>

通信設定最適化とは、Windows 2000、Windows XPをお使いの場合に、FOMAネットワークでパケット通信を行う際にTCP/IPの伝送能力を最適化するためのTCPパラメータ設定ツールです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この設定が必要です。

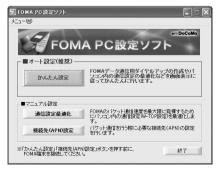
通信設定最適化を利用してパソコンのパケット通信の設定をFOMAネットワーク用に最適化する方法と、最適化を解除する方法について説明します。

Windows XPでの最適化の設定と解除

Windows XPの場合は、ダイヤルアップごとに最適化できます。

1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［通信設定最適化］をクリック

■ タスクトレイから通信設定最適化を起動するとき

タスクトレイの をクリック

2 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていないとき

①「通信設定最適化」画面で［最適化を行う］をクリック

- 「FOMA端末（受信最大384kbps）」が選択されていることを確認します。

②最適化するダイヤルアップの「最適化」欄の□をクリックして☑にし、［実行］をクリック

③［OK］をクリック

システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。

■ システム設定が最適化されているとき

内容を変更する場合は設定を行ってください。

■ 最適化を解除するとき

- 64Kデータ通信を行う場合や、FOMA端末以外で通信を行う場合に解除します。

①「通信設定最適化（ダイヤルアップ作成）」画面で解除するダイヤルアップの「最適化」欄の☑をクリック

- 「最適化」欄の「する」が非選択（□）になったことを確認します。

②［実行］をクリック

③［OK］をクリック

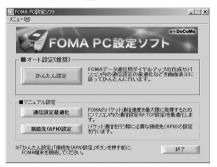
3 画面に従ってパソコンを再起動

設定を有効にするには、パソコンの再起動が必要です。［いいえ］を選択したときは、次回起動後に設定が有効になります。

Windows 2000での最適化の設定と解除

1 ［スタート］をクリック→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［通信設定最適化］をクリック

■ タスクトレイから通信設定最適化を起動するとき

タスクトレイの をクリック

2 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていないとき

① ［最適化を行う］をクリック

• 「FOMA端末（受信最大384kbps）」が選択されていることを確認します。

② ［OK］をクリック

■ システム設定が最適化されているとき

• 64Kデータ通信を行う場合や、FOMA端末以外で通信を行う場合などに解除します。

① ［最適化を解除する］をクリック

• 「FOMA端末（受信最大384kbps）」が選択されていることを確認します。

② ［OK］をクリック

3 画面に従ってパソコンを再起動

設定を有効にするには、パソコンの再起動が必要です。［いいえ］を選択したときは、次回起動後に設定が有効になります。

接続先（APN）を設定する

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。

- 操作の前に、必ずパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。→P6
- 接続先（APN）は、FOMA端末の登録番号（cid）1～10に設定できます。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が設定されています。その他のプロバイダや社内LANに接続する場合は、cid2または4～10にAPNを設定します。
- 接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

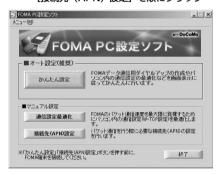
〈例〉Windows XPで設定するとき

1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［接続先（APN）設定］をクリック

■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［接続先（APN）設定］をクリック

■ Windows Vistaのとき

（スタート）→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」→［接続先（APN）設定］を順にクリック

2 「FOMA端末設定取得」画面で［OK］をクリック

3 接続先（APN）の設定を行う

■ 接続先（APN）を追加するとき

［追加］をクリック

■ 登録済みの接続先（APN）を編集・修正するとき

編集・修正する接続先（APN）を選択して［編集］をクリック

■ 登録済みの接続先（APN）を削除するとき

削除する接続先（APN）を選択して［削除］をクリック→［OK］をクリック

- 番号（cid）の1と3に登録されている接続先（APN）は削除できません。削除を実行してFOMA端末に設定を書き込んだ場合でも、実際には削除されず元の設定に戻ります。

■ ファイルへ保存するとき

「ファイル」をクリック→「名前を付けて保存」または「上書き保存」をクリック

- FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存するときに利用します。

■ ファイルから読み込むとき

「ファイル」をクリック→「開く」をクリック

- パソコンに保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA端末に書き込みをしたりするときに利用します。

■ FOMA端末から接続先（APN）情報を読み込むとき

「ファイル」をクリック→「FOMA端末から設定を取得」をクリック

- FOMA端末に手動でアクセスし、登録された接続先（APN）設定を読み込みます。

■ FOMA端末に接続先（APN）情報を書き込むとき

［FOMA端末へ設定を書き込む］をクリック→［はい］をクリック

- 表示されている接続先（APN）設定がFOMA端末に書き込まれます。

■ ダイヤルアップを作成するとき

①追加、編集した接続先（APN）を選択して［ダイヤルアップ作成］をクリック

「FOMA端末設定書き込み」画面が表示されます。

②［はい］をクリック→［OK］をクリック

「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。

③「接続名」に任意の接続名を入力→［ユーザID・パスワードの設定］をクリック

- 「接続名」の先頭に.（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?!<>｜”
- 発信者番号通知の設定については、プロバイダなどから提供された各種情報に従ってください。
- 「186を付加する（通知する）」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。
- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、［ユーザID・パスワードの設定］はしなくてもかまいません。その場合は操作⑤に進みます。

④「使用可能ユーザーの選択」を設定→「ユーザID」を入力→「パスワード」を入力→［OK］をクリック
Windows Vistaのとき：「ユーザID」を入力→「パスワード」を入力→「OK」をクリック

- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で［詳細情報の設定］をクリックし、各種情報を登録後、［OK］をクリックしてください。

⑤［OK］をクリック→［OK］をクリック

お知らせ

- 追加や編集をするときは「接続方式」を「PPP接続」に設定してください。「IP接続」を選択すると、FOMA端末へ設定を書き込めません。
- 接続先（APN）設定はFOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末（故障修理により交換された端末など）を接続する場合は、APNを登録し直してください。
- パソコンに登録されている接続先（APN）を継続利用する場合は、同じAPNの登録番号（cid）をFOMA端末に登録してください。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P5

アンインストールを実行する前に

タスクトレイに が表示されている場合は、 を右クリックし、「終了」をクリックして、通信設定最適化の常駐を解除してください。

アンインストールする

〈例〉Windows XPでアンインストールするとき

1 ［スタート］→「コントロールパネル」→［プログラムの追加と削除］アイコンを順にクリック

■ Windows 2000のとき
［スタート］をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリック

■ Windows Vistaのとき
（スタート）→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を順にクリック

2 「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して［削除］をクリック

■ Windows 2000のとき
「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して［変更と削除］をクリック

■ Windows Vistaのとき
「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して［アンインストール］をクリック

3 「FOMA PC設定ソフトセットアップ」と表示されていることを確認して［はい］をクリック

FOMA PC設定ソフトのアンインストールを開始します。

■ 最適化されている場合に解除するとき
解除するかどうかの確認画面で［はい］をクリック→「再起動の確認」画面で今すぐ再起動するかどうかを設定→［完了］をクリック
- 最適化の解除はパソコンの再起動後に行われます。

4 ［完了］をクリック

FOMA PC設定ソフトを利用しない通信を設定する

FOMA PC設定ソフトを使わずに、ダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。

ダイヤルアップネットワークの設定の流れ

データ通信の準備の流れ→P4

接続先（APN）を設定する※→P32
・接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、設定は不要です。

発信者番号の通知／非通知を設定する※→P34
・必要に応じて設定してください。

ダイヤルアップネットワークの設定をする

ご使用のOS	Windows Vista	Windows XP	Windows 2000
接続先の設定	P36	P39	P42
TCP/IP設定	P37	P41	P45

※ パケット通信の場合に設定します。
設定するには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。
ここではWindows 2000、Windows XPに添付されている「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows Vistaの場合は、Windows Vista対応のソフトを使って設定してください（ご使用になるソフトの設定方法に従ってください）。

接続先（APN）を設定する

接続先（APN）と登録番号（cid）について

パケット通信の接続先（APN）は、FOMA端末の登録番号（cid）1～10に設定できます。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。その他のプロバイダや社内LANに接続する場合は、cid2または4～10にAPNを登録します。

- 接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録として考えられます。接続先の設定項目をFOMA端末の電話帳と比較すると、次のようになります。

接続先の設定項目	FOMA端末の電話帳の登録項目
登録番号（cid）	登録番号（メモリ番号）
APN	相手の電話番号

- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。

接続先（APN）を設定する

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 **パソコンとFOMA端末を接続**
接続方法→P6

2 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」（Windows 2000の場合は「プログラム」）→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック

3 「名前」に接続先名など任意の名前を入力→［OK］をクリック

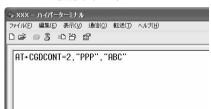
- 「接続名」に次の記号（半角文字）は使用できません。
  ¥/:＊?<>|"

4 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を入力→「接続方法」が「FOMA F705i」に設定されていることを確認→［OK］をクリック

- 市外局番はパソコンの環境により異なります。接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。

5 「接続」画面で［キャンセル］をクリック

6 接続先（APN）を「AT+CGDCONT=＜cid＞,"PPP","＜APN＞"」の形式で入力→↵

＜cid＞　：2または4～10の範囲で任意の番号
＜APN＞：接続先（APN）

- +CGDCONTコマンド→P54「ATコマンドの補足説明」
- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、↵を押します。

7 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

8 切断の確認で［はい］をクリック→保存の確認で［いいえ］をクリック

発信者番号の通知／非通知を設定する

パケット通信時の発信者番号の通知／非通知を一括して設定します。
発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。
● mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「非通知」に設定すると接続できません。

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P6

2 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」(Windows 2000の場合は「プログラム」)→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック

3 「名前」に接続先名など任意の名前を入力→［OK］をクリック

- 「接続名」に次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?<>｜”

4 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を入力→「接続方法」が「FOMA F705i」に設定されていることを確認→［OK］をクリック

- 市外局番はパソコンの環境により異なります。接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。

5 「接続」画面で［キャンセル］をクリック

6 発信者番号の通知／非通知を「AT＊DGPIR=<n>」の形式で入力→⏎

<n>：0～2
0　：そのまま接続（お買い上げ時）
1　：184を付けて接続（非通知）
2　：186を付けて接続（通知）

- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、⏎を押します。

7 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

8 切断の確認で［はい］をクリック→保存の確認で［いいえ］をクリック

ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けられます。

● ＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で設定を行った場合の発信者番号の通知／非通知は次のとおりです。

<table>
<tr><th>＊DGPIRコマンドによる設定 ／ ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=3の場合）</th><th>設定なし</th><th>非通知</th><th>通知</th></tr>
<tr><td>＊99＊＊＊3#</td><td>通知</td><td>非通知</td><td>通知</td></tr>
<tr><td>184＊99＊＊＊3#</td><td colspan="3">非通知</td></tr>
<tr><td>186＊99＊＊＊3#</td><td colspan="3">通知</td></tr>
</table>

Windows Vistaでダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P6

2 （スタート）→「接続先」を順にクリック

3 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリック

4 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択して［次へ］をクリック

■「どのモデムを使いますか？」画面が表示されたとき

「FOMA F705i」をクリック

5 「ダイヤルアップの電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊<cid>#」）を半角で入力→「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「接続名」を入力して［接続］をクリック

＜cid＞：P32「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

接続先	パケット通信	64Kデータ通信
mopera U	＊99＊＊＊3#	＊8701
mopera	＊99＊＊＊1#	＊9601

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 「接続名」の先頭に．（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?<>｜

6 接続中の画面で［スキップ］をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定だけを行います。

7 「インターネット接続テストに失敗しました」画面で「接続をセットアップします」をクリック

8 ［閉じる］をクリック

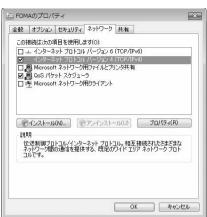
TCP/IPプロトコルを設定する

1 （スタート）→「接続先」を順にクリック

2 作成した接続先を右クリックして「プロパティ」をクリック

3 ［全般］タブの各項目の設定を確認

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続の方法」の「モデム－FOMA F705i（COMx）」のみを選択します（xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます）。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

4 ［ネットワーク］タブをクリック→各項目を画面例のように設定

- 「インターネットプロトコルバージョン6（TCP/IPv6）」を非選択（□）にします。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）」を選択し［プロパティ］をクリックして、各種情報を設定してください。
- プロバイダなどから「QoSパケットスケジューラ」および、その他の項目についての指示がある場合は、必要に応じて選択、非選択を設定してください。

5 ［オプション］タブをクリック→［PPP設定］をクリック

6 すべての項目を非選択（□）に設定→［OK］をクリック

7 ［OK］をクリック

通信を実行する→P24

Windows XPでダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P6

2 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック

3 「ネットワークタスク」の「新しい接続を作成する」をクリック

4 「新しい接続ウィザードの開始」画面で［次へ］をクリック

5 「インターネットに接続する」を選択して［次へ］をクリック

6 「接続を手動でセットアップする」を選択して［次へ］をクリック

7 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して［次へ］をクリック

■「デバイスの選択」画面が表示されたとき
「モデム-FOMA F705i（COMx）」のみを選択して［次へ］をクリック

- xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます。

8 「ISP名」に任意の接続名を入力→［次へ］をクリック

- 「接続名」の先頭に.（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
¥/:＊?<> | ”

9 「電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊<cid>#」）を半角で入力→［次へ］をクリック

<cid>：P32「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

接続先	パケット通信	64Kデータ通信
mopera U	＊99＊＊＊3#	＊8701
mopera	＊99＊＊＊1#	＊9601

10 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「パスワードの確認入力」を入力→各項目を画面例のようにすべて選択して［次へ］をクリック

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」は空欄でもかまいません。

11 「新しい接続ウィザードの完了」画面で［完了］をクリック

12 「(操作8で入力したISP名)へ接続」画面で設定内容を確認して［キャンセル］をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定の確認だけを行います。

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続方法」の「モデム－FOMA F705i(COMx)」のみを選択します(xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます)。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択(□)にします。

3 ［ネットワーク］タブをクリック→各項目を画面例のように設定

- 「この接続は次の項目を使用します」の「QoS パケットスケジューラ」は設定を変更できませんので、そのままにしてください。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し［プロパティ］をクリックして、各種情報を設定してください。

4 ［設定］をクリック

5 すべての項目を非選択（□）に設定→［OK］をクリック

6 ［OK］をクリック

通信を実行する→P24

Windows 2000でダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P6

2 ［スタート］をクリック→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック→［新しい接続の作成］アイコンをダブルクリック

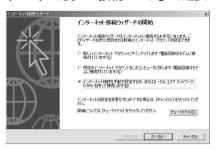
■「所在地情報」画面が表示されたとき

①「市外局番／エリアコード」に市外局番を入力→［OK］をクリック

②「電話とモデムのオプション」画面で［OK］をクリック

3 「ネットワークの接続ウィザードの開始」画面で［次へ］をクリック

4 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択して［次へ］をクリック

5 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択して［次へ］をクリック

6 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択して［次へ］をクリック

■「モデムの選択」画面が表示されたとき

「FOMA F705i」を選択して［次へ］をクリック

7 「電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊<cid>#」）を半角で入力→［詳細設定］をクリック

<cid>：P32「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

接続先	パケット通信	64Kデータ通信
mopera U	＊99＊＊＊3#	＊8701
mopera	＊99＊＊＊1#	＊9601

- 「市外局番とダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

8 ［接続］タブの各項目を画面例のように設定

9 ［アドレス］タブをクリック→各項目を設定

- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、各種情報を設定してください。
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合は、設定を変更しなくてもかまいません。

10 ［OK］をクリック

11 ［次へ］をクリック

12 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→［次へ］をクリック

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。［次へ］をクリックし、入力されていないことを確認する画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

13 「接続名」に任意の接続名を入力→［次へ］をクリック

- 「接続名」の先頭に.（半角文字のピリオド）は使用できません。

14 「いいえ」を選択して［次へ］をクリック

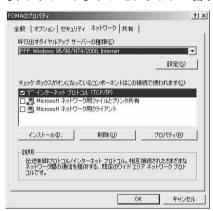
15 ［完了］をクリック

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック

2　［全般］タブの各項目の設定を確認

- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続の方法」の「モデム－FOMA F705i（COMx）」のみを選択します（xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます）。
- モデムを変更した場合は、「電話番号」の各項目が初期化されますので、もう一度接続先電話番号を入力してください。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（ ）にします。

3　［ネットワーク］タブをクリック→各項目を画面例のように設定

4　［設定］をクリック→すべての項目を非選択（ ）に設定→［OK］をクリック

5　［OK］をクリック

通信を実行する→P24

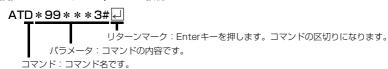
ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。

ATコマンドについて

ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ず「AT」を付けて、半角英数字で入力してください。

〈例〉ATDコマンドでmopera Uに接続するとき

ATコマンドは、コマンドに続くパラメータを含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字から↵を押した直前までの文字のことで、「AT」を含む最大160文字入力できます。

ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末のように動作させるモードです。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作できます。

● オフラインモード
　FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作します。

● オンラインデータモード
　FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させる場合がありますので、通信中はATコマンドを入力しないでください。

● オンラインコマンドモード
　FOMA端末が通信中の状態でも、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態です。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

■ オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替えるとき

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

- +++コマンドまたはS2レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。
  - ※ USBインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO↵」と入力します。

お知らせ

- 2in1がONのときは、ATコマンド発信を行うことはできません。

ATコマンド一覧

● FOMA F705i（モデム）で使用できるATコマンドです。
● パソコンや通信ソフトのフォント設定により、「¥」を入力しても「\」と表示される場合があります。
● FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されないことがあります。

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
A/	直前に実行したコマンドを再実行します。 直前の応答が「ERROR」の場合は「ERROR」を返します。
A/ OK	
AT	A/、+++以外のコマンドの先頭に付けて、本一覧のコマンドを使用します。本コマンドのみで使用すると、FOMA端末がATコマンドを使用できる状態のときに「OK」を返します。
AT ↵ OK	
ATA	パケット着信および64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。 パケット着信中には次のコマンドが入力できます。 ATA184：発信者番号通知なし着信動作　　ATA186：発信者番号通知あり着信動作
RING ATA ↵ CONNECT	
ATD	ATD＊99＊＊＊<cid>#：パケット通信の発信処理を行います。 <cid>または＊＊＊<cid>を省略すると<cid>=1になります。 ATD［パラメータ］［電話番号］：64Kデータ通信の発信処理を行います。 電話番号に次の文字以外を入力すると発信できません。 0～9、＊、#、A、a、B、b、C、c また、次の文字と空白は入力できますが、ダイヤル時には認識されません。 ,、!、-、@、D、d、P、p、T、t、W、w ATDの後に186または184を挿入し、発信者番号の通知／非通知を指定できます。 ATDNまたはATDLでリダイヤル発信ができます。
ATD＊99＊＊＊1# ↵ CONNECT 460800	
ATE<n> ※1	パソコンから送信されたコマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかどうかを設定します。 n=0：エコーバックなし　　n=1：エコーバックあり（お買い上げ時） 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定すると文字が二重に表示されなくなります。
ATE1 ↵ OK	
ATH	通信中に入力すると、回線を切断します。 オンラインコマンドモードで実行してください。→P47
ATH ↵ NO CARRIER	
ATI<n>	確認コードを表示します。 n=0：「NTT DoCoMo」　　n=1：FOMA端末の機種名を表示 n=2：FOMA端末のバージョンを表示　　n=3：ACMP信号の要素を表示 n=4：FOMA端末で通信可能な機能の詳細を数値で表示
ATI0 ↵ NTT DoCoMo OK	
ATO	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻します。
ATO ↵ CONNECT 460800	
ATQ<n> ※1	リザルトコードを表示するかどうかを設定します。 n=0：表示（お買い上げ時）　　n=1：表示しない ATQ1を実行した場合は「OK」を返しません。
ATQ0 ↵ OK	
ATS0=<n> ※1	FOMA端末が自動着信するまでの呼出回数を設定します。 n=0：自動着信なし（お買い上げ時）　　n=1～255：指定したリング数で自動着信 ATS0?：現在の設定を表示
ATS0=0 ↵ OK	
ATS2=<n>	エスケープキャラクタの設定を行います。 n=0～127（お買い上げ時n=43）　　n=127に設定するとエスケープは無効になります。 ATS2?：現在の設定を表示
ATS2=43 ↵ OK	
ATS3=<n>	コマンド文字列の最後を認識する復帰（CR）キャラクタの設定を行います。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。 n=13（固定値） ATS3?：現在の設定を表示
ATS3=13 ↵ OK	
ATS4=<n>	改行（LF）キャラクタの設定を行います。英文字でリザルトコードを表示する場合、復帰（CR）キャラクタの後に付きます。 n=10（固定値） ATS4?：現在の設定を表示
ATS4=10 ↵ OK	

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
ATS5=<n> ATS5=8 ↵ OK	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。コマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。 n=8（固定値） ATS5?：現在の設定を表示
ATS6=<n> ATS6=5 ↵ OK	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=2～10（お買い上げ時n=5） ATS6?：現在の設定を表示
ATS8=<n> ATS8=3 ↵ OK	カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=0～255（固定値n=3） ATS8?：現在の設定を表示
ATS10=<n> ※1 ATS10=1 ↵ OK	自動切断の遅延時間（1/10秒）を設定できますが、動作しません。 n=1～255（お買い上げ時n=1） ATS10?：現在の設定を表示
ATS30=<n> ATS30=0 ↵ OK	64Kデータ通信時、データの送受信がない場合に切断するまでの時間（分）を設定します。 n=0～255：（お買い上げ時n=0、n=0は不活動タイマOFF） ATS30?：現在の設定を表示
ATS103=<n> ATS103=1 ↵ OK	64Kデータ通信で、着サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。 n=0：＊　　n=1：/（お買い上げ時）　　n=2：￥または\ ATS103?：現在の設定を表示
ATS104=<n> ATS104=1 ↵ OK	64Kデータ通信で、発サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。 n=0：#　　n=1：%（お買い上げ時）　　n=2：& ATS104?：現在の設定を表示
ATV<n> ※1 ATV1 ↵ OK	リザルトコードの表示方法を設定します。 n=0：数字表示　　n=1：英文字表示（お買い上げ時） ATV0を実行した場合は、同一行に「0」を返します。
ATX<n> ※1 ATX4 ↵ OK	ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行うかどうかと、接続時の「CONNECT」に速度を表示するかどうかを設定します。 ビジートーン検出：接続先が通話中のとき「BUSY」応答を送出 ダイヤルトーン検出：FOMA端末に接続されているかどうかを判定 n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時） n=0に設定すると、AT&EおよびAT￥Vコマンドが無効になります。
ATZ ※3 ATZ ↵ OK（オフライン時）	FOMA端末のATコマンド設定を不揮発メモリの内容にリセットします。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してからリセットします。
AT%V AT%V ↵ Ver1.00 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT&C<n> ※1 AT&C1 ↵ OK	DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。 n=0：常にON　　n=1：回線接続状態に従い変化（お買い上げ時） n=0に設定する場合は、接続完了時の「CONNECT」を送出する直前にCD信号をONにします。回路が切断され、「NO CARRIER」を送出する直前にCD信号をOFFにします。
AT&D<n> ※1 AT&D2 ↵ OK	オンラインデータモードのときに、DTEから受け取る回路ER（DTR）信号がONからOFFに変わったときの動作を設定します。 n=0：状態を無視（常にONとみなす） n=1：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモードに移行 n=2：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモードに移行（お買い上げ時）
AT&E<n> ※1 AT&E1 ↵ OK	接続時の速度表示仕様を設定します。 n=0：無線区間通信速度を表示 n=1：パソコンとFOMA端末間の通信速度を表示（お買い上げ時）
AT&F AT&F ↵ OK（オフライン時）	FOMA端末のATコマンド設定をお買い上げ時の状態に戻します。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してから戻します。

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT&S<n> ※1 AT&S0 ↵ OK	DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御を設定します。 n=0：常にON（お買い上げ時）　n=1：接続時にON
AT&W AT&W ↵ OK	現在の設定をFOMA端末に記録します。
AT＊DANTE AT＊DANTE ↵ ＊DANTE：3 OK	FOMA端末の受信レベルを「＊DANTE：<n>」の形式で表示します。 n=0：圏外　n=1：FOMA端末の受信レベルのアンテナが0または1本 n=2：FOMA端末の受信レベルのアンテナが2本 n=3：FOMA端末の受信レベルのアンテナが3本 AT＊DANTE=?：表示可能な値のリストを表示
AT＊DGANSM=<n> ※2 AT＊DGANSM=0 ↵ OK	パケット着信呼に対する着信拒否／許可を設定します。 n=0：着信拒否設定OFF、着信許可設定OFF（お買い上げ時） n=1：着信拒否設定ON　n=2：着信許可設定ON AT＊DGANSM?：現在の設定を表示　AT＊DGANSM=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGAPL=<n>[,<cid>] ※2 AT＊DGAPL=0,1 ↵ OK	パケット着信呼に対して着信を許可する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。 n=0：着信許可リストに追加　n=1：着信許可リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加または削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加または削除します。 AT＊DGAPL?：現在の設定を表示　AT＊DGAPL=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGARL=<n>[,<cid>] ※2 AT＊DGARL=0,1 ↵ OK	パケット着信呼に対して着信を拒否する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。 n=0：着信拒否リストに追加　n=1：着信拒否リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加または削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加または削除します。 AT＊DGARL?：現在の設定を表示　AT＊DGARL=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGPIR=<n> ※2 AT＊DGPIR=0 ↵ OK	パケット通信確立時に、発信者番号を通知するかどうかを設定します。発信時、着信時に有効です。 n=0：APNにそのまま接続（お買い上げ時）　n=1：APNに184を付けて接続 n=2：APNに186を付けて接続 ダイヤルアップネットワークでも通知／非通知を設定した場合→P36 AT＊DGPIR?：現在の設定を表示　AT＊DGPIR=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DRPW AT＊DRPW ↵ ＊DRPW：0 OK	FOMA端末が受信する電波の受信電力指標を表示します。 AT＊DRPW=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CAOC AT+CAOC ↵ +CAOC："000024" OK	直前通話料金を表示します。
AT+CBC AT+CBC ↵ +CBC：0,100 OK	FOMA端末の電池残量を「+CBC：<bcs>,<bcl>」の形式で表示します。 bcs=0：電池パックから電源の供給あり　bcs=1：電池パックから電源の供給なし bcs=2：電池パックが取り外されている　bcs=3：電源供給エラー bcl=0：電池残量なしまたは電池パックが取り外されている　bcl=1～100：電池残量あり AT+CBC=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CBST=<n>,1,0 ※1 AT+CBST=116,1,0 ↵ OK	利用する回線を設定します（ベアラサービスの設定）。 n=116：64Kデータ通信（お買い上げ時）　n=134：64Kテレビ電話 AT+CBST?：現在の設定を表示　AT+CBST=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CEER AT+CEER ↵ +CEER：36 OK	直前の通信の切断理由を表示します。 切断理由一覧→P53
AT+CGDCONT ※2 →P54	パケット通信の接続先（APN）を設定します。→P54
AT+CGEQMIN ※2 →P54	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準を設定します。→P54
AT+CGEQREQ ※2 →P55	パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。→P55

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+CGMR	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+CGMR ↵ 1234567890123456 OK	
AT+CGREG=<n> ※1	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。通知される内容は圏内／圏外です。 n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CGREG：<stat>」の形式で通知 stat=0：圏外　　stat=1：圏内　　stat=4：不明 stat=5：圏内（国際ローミング中） AT+CGREG?：「+CGREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CGREG=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CGREG=0 ↵ OK	
AT+CGSN	FOMA端末の製造番号を表示します。
AT+CGSN ↵ 123456789012345 OK	
AT+CLIP=<n> ※1	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示するかどうかを設定します。 n=0：リザルトを表示しない（お買い上げ時）　　n=1：リザルトを表示する AT+CLIP?：「+CLIP：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 m=0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 m=1：発信時に相手に番号を通知するNW設定　　m=2：不明 AT+CLIP=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CLIP=0 ↵ OK	
AT+CLIR=<n> ※2	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。 n=0：サービスご契約の設定に従う　　n=1：通知しない n=2：通知する（お買い上げ時） AT+CLIR?：「+CLIR：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 m=0：CLIRは未起動（常時通知）　　m=1：CLIRは起動（常時非通知） m=2：不明　　m=3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） m=4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト） AT+CLIR=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CLIR=2 ↵ OK	
AT+CMEE=<n> ※1	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。 n=0：リザルトコードを使用せずに「ERROR」を表示（お買い上げ時） n=1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示 n=2：リザルトコードを使用し、英文字で理由を表示 n=1またはn=2に設定すると、「+CME ERROR：xxxx」の形式で理由を表示します（xxxxには、数字または英文字が表示されます）。→P53「エラーレポート一覧」 AT+CMEE?：現在の設定を表示　　　AT+CMEE=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CMEE=0 ↵ OK	
AT+CNUM	FOMA端末の自局電話番号を「+CNUM：,"<number>",<type>」の形式で表示します。 number：自局電話番号 type=129：国際アクセスコード+を含まない type=145：国際アクセスコード+を含む
AT+CNUM ↵ +CNUM：,"090XXXXXXXX", 129 OK	
AT+COPS=<n>,2,<oper> ※2	接続する通信事業者の検索方法を設定します。 n=0：オート（お買い上げ時）　　　n=1：マニュアル　　　n=3：マッピングしない n=1に設定した場合は、<oper>にPLMN Numberを16進数で設定します。 AT+COPS?：現在の設定を表示　　　AT+COPS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+COPS=0 ↵ OK	
AT+CPAS	FOMA端末が外部機器にATコマンドを送受信できる状態かどうかを「+CPAS：<n>」の形式で表示します。 n=0：可能　　n=1：不可能　　n=2：状態不明　　n=3：可能かつ着信中 n=4：可能かつ通信中 AT+CPAS=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CPAS ↵ +CPAS：0 OK	
AT+CPIN="<pin>", "<newpin>"	PIN1／PIN2コードやPINロック解除コードの入力が必要な場合に、これらを入力します。PINロック解除コードの入力が必要な場合は、<newpin>に新しいPIN1／PIN2コードを入力します。PIN1／PIN2コードの入力が要求されているときに<newpin>を入力しても、PIN1／PIN2コードの変更はできません。 AT+CPIN?：現在の要求されているコードを「+CPIN：<n>」の形式で表示 n=READY：コード入力の要求なし　　n=SIM PIN：PIN1コード入力待ち n=SIM PIN2：PIN2コード入力待ち n=SIM PUK：PIN1ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち n=SIM PUK2：PIN2ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち
AT+CPIN="0000" ↵ OK	

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+CR=<n> ※1 AT+CR=0 ↵ OK	接続時に「CONNECT」が表示される前に、通信の種別を表示するかどうかを設定します。 n=0：表示しない（お買い上げ時）　n=1：「+CR：<serv>」の形式で通信の種別を表示 serv=GPRS：パケット通信　serv=SYNC：64Kデータ通信 serv=AV64K：64Kテレビ電話 AT+CR?：現在の設定を表示　AT+CR=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CRC=<n> ※1 AT+CRC=0 ↵ OK	着信時に+CRINGのリザルトコードを使用するかどうかを設定します。 n=0：使用しない（お買い上げ時） n=1：「+CRING：<type>」のリザルトコードを使用する type=GPRS "PPP",,,"<APN>"：パケット通信　type=SYNC：64Kデータ通信 type=AV64K：64Kテレビ電話 AT+CRC?：現在の設定を表示　AT+CRC=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CREG=<n> ※1 AT+CREG=0 ↵ OK	ネットワークの圏内／圏外情報を表示するかどうかを設定します。 n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CREG：<stat>」の形式で通知 stat=0：圏外　stat=1：圏内　stat=4：不明 stat=5：圏内（国際ローミング中） AT+CREG?：「+CREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CREG=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CUSD=<n>,"<str>" ※1 AT+CUSD=0,"012345678" ↵ OK	ネットワークサービスの追加サービス（USSD登録）の問い合わせや設定を行います。<str>には、ドコモから通知されたサービスコードを入力します。 n=0：中間リザルトを応答しない（お買い上げ時） n=1：中間リザルトを「+CUSD：<m>, "<str>",0」の形式で応答する m=0：情報の要求なし　m=1：情報の要求あり AT+CUSD?：現在の設定を表示　AT+CUSD=?：設定可能な値のリストを表示
AT+FCLASS=<n> ※1 AT+FCLASS=0 ↵ OK	FOMA端末がサポートする通信種別を設定します。 n=0：データのみサポート（お買い上げ時） AT+FCLASS?：現在の設定を表示　AT+FCLASS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+GCAP AT+GCAP ↵ +GCAP：+CGSM,+FCLASS,+W OK	FOMA端末でサポートしているATコマンドの範囲を「+GCAP：<n>」の形式で表示します。 n=+CGSM：GSMコマンドをサポート（一部のみサポートの場合を含む） n=+FCLASS：+FCLASSコマンドをサポート　n=+W：+Wコマンドをサポート
AT+GMI AT+GMI ↵ FUJITSU OK	FOMA端末のメーカ名を表示します。
AT+GMM AT+GMM ↵ FOMA F705i OK	FOMA端末の機種名を表示します。
AT+GMR AT+GMR ↵ Ver1.00 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+IFC=<n,m> ※1 AT+IFC=2,2 ↵ OK	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。 n：DCE by DTE　m：DTE by DCE 0：フロー制御を行わない　1：XON/XOFFフロー制御を行う 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時） AT+IFC?：現在の設定を表示　AT+IFC=?：設定可能な値のリストを表示
AT+WS46=<n> ※1 AT+WS46=22 ↵ OK	発信時に使用する無線ネットワークを設定します。発信に影響は与えません。 n=22：FOMAネットワーク（固定値） AT+WS46?：現在の設定を表示　AT+WS46=?：設定可能な値のリストを表示
AT¥S AT¥S ↵ E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 ・・・（中略）・・・S104=001 OK	現在設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。
AT¥V<n> ※1 AT¥V0 ↵ OK	接続時の応答コード仕様を設定します。 n=0：拡張リザルトコードを使用しない（お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用する

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
+++	通信中に入力すると、オンラインデータモードからオンラインコマンドモードに移行します。 エスケープガード区間は1秒の固定値です。
+++(非表示) OK	

※1 &Wコマンドでで FOMA端末に記録されます。
※2 &FおよびZコマンドによるリセットは行われません。
※3 &Wコマンドを使用する前にZコマンドを実行すると、最後に記録した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
26	APNが存在しないか、または正しくありません。
27	
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありません。
19	相手側を呼出しましたが応答がありません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、または着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMAカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM（FOMAカードに相当するICカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

● ＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。
＜APN＞は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。

■ コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信の接続先（APN）を設定します。
- **書式**
  +CGDCONT=［＜cid＞［,"PPP"［,"＜APN＞"]]］
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞　：1～10
  ＜APN＞：任意
- **実行例**
  「abc」というAPN名を登録する場合のコマンド（＜cid＞=2の場合）
  AT+CGDCONT=2,"PPP","abc" ↵
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGDCONT=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT?：現在の設定を表示します。
  AT+CGDCONT=?：設定可能な値のリストを表示します。

■ コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準を設定します。
- **書式**
  AT+CGEQMIN=［＜cid＞［,,＜Maximum bitrate UL＞［,＜Maximum bitrate DL＞]]］
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞：1～10
  ＜Maximum bitrate UL＞：なし（お買い上げ時）または64
  ＜Maximum bitrate DL＞：なし（お買い上げ時）または384
  ※＜Maximum bitrate UL＞および＜Maximum bitrate DL＞では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「64」および「384」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。
- **実行例**
  (1) 上りと下りですべての速度を許容する場合のコマンド（＜cid＞=2の場合）
  　AT+CGEQMIN=2 ↵
  　OK
  (2) 上り64kbps、下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=4の場合）
  　AT+CGEQMIN=4,,64,384 ↵
  　OK
  (3) 上り64kbps、下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=5の場合）
  　AT+CGEQMIN=5,,64 ↵
  　OK
  (4) 上りすべての速度、下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=6の場合）
  　AT+CGEQMIN=6,,,384 ↵
  　OK

• **パラメータを省略した場合の動作**
AT+CGEQMIN=：すべての<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQMIN=<cid>：指定した<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQMIN?：現在の設定を表示します。
AT+CGEQMIN=?：設定可能な値のリストを表示します。

■ コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

• **概要**
パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。

• **書式**
AT+CGEQREQ=［<cid>］

• **パラメータ説明**
上り64kbps、下り384kbpsの速度で接続を要求するコマンドのみ設定できます。各<cid>にはその内容がお買い上げ時に設定されています。
<cid>：1～10

• **実行例**
（<cid>=3の場合）
AT+CGEQREQ=3 ↵
OK

• **パラメータを省略した場合の動作**
AT+CGEQREQ=：すべての<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQREQ=<cid>：指定した<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQREQ?：現在の設定を表示します。
AT+CGEQREQ=?：設定可能な値のリストを表示します。

リザルトコード

● ATVコマンドがn=1（お買い上げ時）に設定されている場合は英文字、n=0の場合は数字でリザルトコードが表示されます。→P49

■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けられません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です（通信ネットワークが混雑しています。しばらくたってから接続し直してください）。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

• **AT&Eコマンドがn=0に設定されている場合**

数字表示	文字表示	FOMA端末－基地局間の接続速度
122	CONNECT 64000	64000bps
125	CONNECT 384000	384000bps

• AT&Eコマンドがn=1に設定されている場合

数字表示	文字表示	FOMA端末ーパソコン間の接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

※ 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度を表示しますが、FOMA端末ーパソコン間はUSBケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
3	AV64K	64Kテレビ電話で接続
5	PACKET	パケット通信で接続

■ リザルトコード表示例

ATX0が設定されているとき

AT¥Vコマンドの設定に関わらず、接続完了の際に「CONNECT」のみの表示となります。

文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
CONNECT

数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
1

ATX1が設定されているとき

• ATX1、AT¥V0（お買い上げ時）が設定されている場合
接続完了のときに、「CONNECT<FOMA端末ーパソコン間の速度>」の書式で表示します。
文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
CONNECT 460800
数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
1 21

• ATX1、AT¥V1が設定されている場合※1
接続完了のときに、次の書式で表示します。
「CONNECT＜FOMA端末ーパソコン間の速度＞＜通信プロトコル＞＜接続先APN＞/＜上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度＞/＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞」※2
文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
CONNECT 460800 PACKET mopera.net/64/384
（mopera.netに、上り最大64kbps、下り最大384kbpsで接続したことを表します。）
数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
1 21 5

※1 ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできないことがあります。AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。

※2 AT¥V1が設定されている場合、＜接続先APN＞以降はパケットで接続している場合のみ表示されます。

FOMA® F705i
区点コード一覧

'07.12（1版）
CA92002-5279

区点コード一覧

※ 区点コード入力の操作については、取扱説明書「文字入力」章の「区点コードで入力する」をご覧ください。
※ 区点コード一覧の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点1～3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰

区点1～3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫

区点1～3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪

区点1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想

区点1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ										
390									濡	
ね										
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
の										
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					

区点1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
449	鑓									
					ゆ					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
					よ					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
					ら					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
					り					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
					る					
466	瑠	塁	涙	累	類					
					れ					
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
					ろ					
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
					わ					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			